

**医療情報システム
(電子カルテ等)
更新業務仕様書**

**令和5年8月
金沢市立病院**

目次

| | | |
|------|--------------------------------------|----|
| I | 概要 | 2 |
| 1. | 業務名 | 2 |
| 2. | 概要 | 2 |
| 3. | 方針 | 2 |
| 4. | 業務内容・業務範囲 | 3 |
| 5. | 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築作業期間 | 7 |
| 6. | 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築場所 | 7 |
| II. | 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築における前提条件 | 8 |
| 1. | 情報システムインフラハードウェア | 8 |
| 2. | 電子カルテシステム等基幹システム連携対象システム及び医療機器 | 11 |
| 3. | 電子カルテシステム等基幹システム利用者等 | 12 |
| 4. | 当院の概要及び状況 | 12 |
| 5. | 電子カルテシステム等基幹システム運用予定時間・稼働時間帯等 | 13 |
| 6. | 電子カルテシステム等基幹システム開発作業場所 | 14 |
| 7. | 電子カルテシステム等基幹システム開発スケジュール | 14 |
| III. | 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築必要要件 | 14 |
| 1. | 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築体制等要件 | 14 |
| 2. | 電子カルテシステム等基幹システム機能等要件 | 15 |
| 3. | 付帯作業要件 | 28 |
| IV. | 保守について | 30 |
| 1. | 保守対応要件 | 30 |
| 2. | 保守に関する留意事項 | 35 |

別紙 1.更新対象システム一覧

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

I 概要

1. 業務名

金沢市立病院電子カルテシステム等更新業務

2. 概要

金沢市立病院(以下「当院」という)では、根拠に基づく質の高い医療の推進、カルテ開示等の情報提供の推進、医療安全対策の総合的推進、医療経営の近代化・効率化等が叫ばれる社会情勢、および平成13年12月の厚生労働省よりしめされた「保険医療分野の情報化に向けてのグランドデザイン」の中において、「2006(平成18)年度までに全国の400床以上の病院と全診療所のそれぞれ6割以上に電子カルテシステムを普及させる」とした背景をもとに、診断・治療・看護等の質的向上、患者サービスの充実、病院業務の効率化、患者安全管理を含めた病院経営の改革、データ蓄積・後活用による研究への応用等の観点から、平成21年9月より電子カルテシステムを中心とした「医療情報システム」(以下「既存医療情報システム」という)を、導入、運用している。

本調達は、既存医療情報システムのサーバ機器で、別紙1「更新対象システム一覧」の中で「更新対象」及び「ハード更新」と示した、老朽化の影響が大きな電子カルテシステム及び電子カルテシステムと密接に関わるシステム(以下「電子カルテシステム等基幹システム」という)のハードウェア更新及び更新後のハードウェアで正常に動作するシステムソフトウェア(OS及びミドルウェア含む)の構築を行うとともに、電子カルテシステム等基幹システムを利用するために必要なクライアント機器、ネットワーク機器等を導入するものである。

3. 方針

本業務の推進については、下記の方針に従い遂行するものとする。

- (1) 令和6年3月中までに、更新対象となるシステムを稼働すること。但し、正当な理由により稼働時期について延伸することが望ましい場合は、応札者・当院の双方合意の上で稼働時期を調整出来るようにすること。
- (2) 電子カルテシステム等基幹システムの更新により医療情報システムがシステム化される範囲は、基本的に既存医療情報システムと同等とし、当院における診療業務をトータルにシステム化できるものとする。
- (3) 更新対象システムの稼働予定期間は、今調達の医療情報システムが本稼働してから7ヶ年を基本とする。
- (4) 電子カルテシステム等基幹システムは、品質確保、トータルコスト削減及び構築時

の職員負担軽減を図るため、当院と同等規模以上の病院において実績のあるパッケージソフトウェアを導入し、必要最低限度の範囲においてカスタマイズを行うものとする。なお基幹となる電子カルテシステムについては原則ノンカスタマイズ型のパッケージソフトウェアの導入とし、運用に必要な最低限の範囲のカスタマイズのみ認めるものとする。

- (5) 上記(4)でいう「カスタマイズ」とは、今回導入予定の電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェアに対してプログラムソースコードの改変・追加を伴うものである。また「必要最低限度の範囲」とは、「帳票」、「統計及び2次利用のためのデータ抽出処理」、「画面入力時、表示及び印刷時等の細かなサポート機能」、「他システムとの連携」、「既存医療情報システムパッケージソフトウェア外のパッケージソフトウェア(高可用性ソフトウェア等)と連携することによって実現される機能」範囲のことである。よって、本業務仕様書を満たすために今回対象パッケージソフトウェアに対するカスタマイズが必要な場合においては、「必要最低限度の範囲」を超えるカスタマイズは行わないこと(行わなくとも本仕様書を満たせるパッケージソフトウェアであること)を前提とする。
- (6) 職員の負担軽減や既存運用との整合性についても配慮した電子カルテシステム等基幹システム仕様とし、運用の大幅な変更の必要の無いシステムであるものとする。特に、医師・看護師等の「業務運用」及び「電子カルテ等のシステム動作」(オーダーの入力方法・選択肢等)について現状のとおりできることを必須とする。
- (7) 費用低減の観点から、発注者側において既に導入されている「情報システムインフラ」(プリンタ、ネットワーク等)の一部を活用するものであること。
- (8) 情報システムの基本として平易な操作性の実現と、セキュリティ及びシステム障害発生時において必要なレベルでの業務継続性を確保できるものとする。
- (9) 本業務完了翌年度より、本業務受注者(又は電子カルテシステム等基幹システム用として導入した機器類の製造メーカー)にて発注者側が要求する内容の保守が受注できるものであることとする。但し、保守契約は本業務とは別に契約するものであると共に、保守契約の締結を保証するものではない。
- (10) 既存医療情報システムと同等の機能を提供、新規に部門システムのパッケージソフトウェアを導入することにより機能を補っても構わない。
- (11) 当更新業務において、既設システムへの影響も含めた病院業務への妨げや、患者様への迷惑とならないよう最新の注意を払って更新業務作業を行うこととする。
- (12) 今回更新システムについては、令和6年4月の制度改定対応時等の全ての費用を含むこととする。

4. 業務内容・業務範囲

4-1 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築に必要なハードウェア及びソフトウェアの調達

(1) サーバ及びクライアント共通

① 電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェア

- ・ 当院要件を満たす電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェア及びライセンス等一式(ライセンス、メディア及びオプションプログラム等含む)

(2) サーバ関連

① サーバ関連ハードウェア

- ・ サーバ機器本体

上記電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェアが滞りなく稼動しているサーバ機器構成であること。なお、導入時期によりサーバ機器構成が後継品となる場合は、元の構成と同等以上の仕様であること。また、後継品であることを示すことが可能であるものとする。

- ・ その他要件を満たす為に必要な機器一式(接続用のケーブル等)

② サーバ関連ソフトウェア(ライセンス及びメディア含む)

- ・ 基本ソフトウェア(OS 等)
- ・ ミドルウェア(DBMS、運用管理ソフトウェア、バックアップソフトウェア等)
- ・ その他、電子カルテシステム等基幹システムが当院要件を満たす内容で動作する為に必要なサーバ用ソフトウェア(運用管理ソフトウェア等。運用管理ソフトウェアについては、当院指定ソフトウェアは無いものとする。電子カルテシステムソフトウェアに運用管理ソフトウェアが必要な場合、それに適したものを必要に応じて添付すること)及びライセンス等一式

(3) クライアント関連

① クライアント関連ハードウェア

- ・ クライアント端末機器(キーボード及びマウス等含む)
- ・ その他電子カルテシステム等基幹システム要件を満たすために必要な機器一式(接続用のケーブル等)

※既設プリンタ、ラベルプリンタ、バーコードスキャナ、リストバンドプリンタ、フラットヘッドスキャナについては流用するものとする

② クライアント関連ソフトウェア

- ・ 電子カルテシステム等基幹システムのうち、クライアント端末上で動作させるために必要なソフトウェア(ランタイム及びプラグイン等)及びライセンス等一式(クライアント端末機器 475 台分)
- ・ 医事会計システムをクライアント端末上で動作させるために必要なソフトウェア(ランタイム及びプラグイン等)及びライセンス等一式(クライアント機器 30 台分)

ただし、電子カルテシステムと相乗り可能とする)

- ・ 診療情報管理システム・がん登録システムをクライアント端末上で動作させるために必要なソフトウェア(ランタイム及びプラグイン等)及びライセンス等一式(クライアント機器 5 台分。ただし、電子カルテシステムと相乗り可能とする)
- ・ 技師支援システムをクライアント端末上で動作させるために必要なソフトウェア(ランタイム及びプラグイン等)及びライセンス等一式(クライアント機器 475 台分。ただし、電子カルテシステムと相乗り可能とする)
- ・ 地域連携システムをクライアント端末上で動作させるために必要なソフトウェア(ランタイム及びプラグイン等)及びライセンス等一式(クライアント機器 475 台分。ただし、電子カルテシステムと相乗り可能とする)

(4) ネットワーク関連

- ① 新サーバ用のサーバスイッチ、各フロアに設置しているエッジスイッチ
※他既設コアスイッチ、フロアスイッチ、PoE スイッチ、無線 LAN アクセスポイント、RADIUS サーバなどについては流用するものとする

(5) 廃棄

- ① 電子カルテシステム等基幹システム更新業務で出てくることが想定される、機器等の梱包材等、不要物の廃棄

4-2 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築作業

(1) サーバ及びクライアント共通

- ① 電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェアのクライアントへの展開
 - ・ 後述の「Ⅲ 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築必要要件」を実現するために必要となる電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェアの適用。
 - ・ 電子カルテシステム等基幹システムソフトウェアを適用し、本業務内で調達するクライアント環境で電子カルテシステム等基幹システムが利用・操作可能となるまでの作業一式(発注者既設又は発注者側で調達した機器について、受注者側等に引き取り作業が必要な場合は、引き取りにかかる経費等も含むものとする)。既存流用する機器については、原則既存の設定を変更することなく運用が可能であること。
- ② 今回更新対象外である当院既設の他部門システムと、電子カルテシステム等基幹システムとのシステム間連携にかかる費用及び既存システムベンダーとの調整(当院既設の部門システム側に改修が必要な場合の費用やテスト・立ち

会の費用を含む)。

- ③ 当院既設の医療機器と電子カルテシステム等基幹システムとの連携にかかる費用及び既存医療機器ベンダーとの調整(当院既設医療機器側に改修が必要な場合の費用やテスト・立ち会の費用を含む)。

(2) サーバ関連

① サーバ関連ハードウェアの設置等

- ・ サーバ等の設置場所は、「データセンター安全対策適合証明」を取得しているデータセンターを用いて行うこと。
- ・ データセンターから当院までの回線は閉域網を利用し、両端にはファイアウォールを設置すること。
- ・ 一部当院に設置するサーバ等がある場合は、当院が指定する場所へのサーバ関連ハードウェアの搬入及び据付を行うこと。

② サーバ関連ソフトウェアのセットアップ

- ・ 基本ソフトウェアのインストール及び設定(ネットワーク設定含む)
- ・ 必要なミドルウェア等のインストール及び設定
- ・ その他、医療情報システムパッケージソフトウェアが稼働状態となるまでの作業一式

(3) クライアント関連

① クライアント関連ハードウェアの設置等

- ・ 指定場所へのクライアント関連ハードウェアの搬入及び据付
原則、既設の端末と同じ場所へ設置すること。(なお、既存の端末設置場所の入替のため全体台数に変更はないものとする)。
- ・ 据え付け完了後のクライアント関連ハードウェアの接続(導入ハードウェア間の接続及び発注者が指定するネットワーク・電源への接続)
- ・ 既設流用の機器については、原則既設機器設定の変更することなく利用可能であること
- ・ 据え付け、接続後のクライアント関連ハードウェア調整及び稼働確認

② クライアント関連ソフトウェアのセットアップ

- ・ 基本ソフトウェアのインストール及び設定(ネットワーク設定含む)
- ・ 必要なミドルウェア等のインストール及び設定
- ・ その他、電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェアが稼働状態となるまでの作業一式

③ 既設プリンタ等への接続

- ・ 後述の「Ⅱ 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築における前提条件」に記載されている既設プリンタ等への論理的な接続(ドライバーインストール等)

(4) ネットワーク関連

- ① 新サーバ用のサーバスイッチ新設、各フロアに設置のエッジスイッチ更新・設定。また、更新・設定作業については、電子カルテシステム等基幹システムが稼働する1カ月前以上に行うこと。
- ② サーバ関連ハードウェア及びクライアント関連ハードウェアの設置等のために既設ネットワーク機器の設定変更等が発生する場合、受注者が費用負担することとする。また、ネットワーク配線工事については、サーバ室内の配線についても含むものとする。

4-3 付帯作業

(1) データ移行

(2) 各種マニュアルの作成(環境保護の観点からデータにて提供すること)

(3) システムテスト

(4) システム設計図書等各種ドキュメントの作成

(5) プロジェクト管理等(スケジュール提案・管理、会議打ち合わせ、議事録作成等)

(6) その他

- ① 病院職員の負担軽減のため、原則、リハーサルについては実施しないものとする。
- ② システム動作、業務運用の変更が発生する場合、都度発注者と協議し、必要に応じ説明会等を開催すること。

(7) 廃棄

- ① 今回の更新業務で出てくることが想定される、機器等の梱包材等、不要物の廃棄一切を、行うこと。

なお、不要物等の保管場所が限られている為、当院と協議の上、複数回の廃棄のための引取りを行うこと。またISO、プライバシーマーク取得業者であること。

5. 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築作業期間

契約日から令和6年3月31日まで

6. 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築場所

金沢市立病院(金沢市平和町3丁目7番3号) 他

II. 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築における前提条件

1. 情報システムインフラハードウェア

当院で導入されている既設のインフラの一部を継続して利用することを前提とする。既設インフラのうち、本業務にて利用するものはラベルプリンタ、イメージスキャナー、ハンディバーコードリーダー、ネットワーク及びサーバ室(サーバラック含む)とする。詳細は以下のとおりとする。

1-1 既設ラベルプリンタ

電子カルテシステム等基幹システムからのラベル出力に用いるラベルプリンタは、既設医療情報システム用としているラベルプリンタを利用することが可能であるものとする(詳細は下表参照)。

(既設ラベルプリンタ)

| 品名 | メーカー名 | 印刷方法 (出力色) | 用紙サイズ(台 紙サイズ) | 接続方 法 | 備考 | 既設 台数 |
|---------------|-------|---------------------------|---|------------|---------------------|----------|
| レスプリ R412v | SATO | 熱転写及 び 感熱 (モノクロ) | 長さ: 15~397mm (18~400mm) 幅:25~115mm (28mm~118mm) | LAN USB | 28枚/分 ※A4横送 り | 35 |

1-2 既設リストバンドプリンタ

電子カルテシステム等基幹システムからのラベル出力に用いるリストバンドプリンタは、既設医療情報システム用としているリストバンドプリンタを利用することが可能であるものとする(詳細は下表参照)。

(既設リストバンドプリンタ)

| 品名 | メーカー名 | 印刷方法 (出力色) | 用紙サイズ(台 紙サイズ) | 接続方 法 | 備考 | 既設 台数 |
|---------------|-------|---------------------------|---|------------|---------------------|----------|
| レスプリ R412v | SATO | 熱転写及 び 感熱 (モノクロ) | 長さ: 15~397mm (18~400mm) 幅:25~115mm | LAN USB | 28枚/分 ※A4横送 り | 4 |

| | | | | | | |
|--|--|--|--------------|--|--|--|
| | | | (28mm~118mm) | | | |
|--|--|--|--------------|--|--|--|

1-3 既設イメージスキャナ

電子カルテシステム等基幹システムに対して、紙文書等を画像化して取り込むために使用するイメージスキャナは、既存医療情報システム用としているイメージスキャナを利用するものとする(詳細は下表参照)

| 品名 | メーカー名 | センサー | 最大原稿サイズ | 接続方法 | 読取解像度 | 既設台数 |
|----------|-------|---------------------------------------|---------|------|-----------------------------|------|
| ES-H7200 | EPSON | カラーCCD ラインセンサー R/G/B モノクロ(4ライン) | A3 | LAN | 50~4800 dpi (1dpi 刻み) | 6 |

1-4 既設ハンディ型バーコードリーダー

電子カルテシステム等基幹システムから出力されるラベル類のうち「バーコード」が印字されるラベルのバーコードを読み取るためのバーコードリーダーとして医療情報システム用としているバーコードリーダーを利用するものとする(詳細は下表参照)。

(既設イメージスキャナ)

| 品名 | メーカー名 | 光源 | スキャン速度 | 接続方法 | 読取対応バーコード形式 | 既設台数 |
|------------------|-------------------|--------------------------|------------|------|--|------|
| Symbol LS2208 | モトローラ ソリューションズ | 650mm 可視 光 半導体レーザー | 100 スキャン/秒 | USB | UPC/EAN/JAN、 UCC/EAN128、 Code39、Code128、 Codabar(NW-7)等 | 282 |

1-5 既設ネットワーク

電子カルテシステム等基幹システムは、既設のコアスイッチ及び無線 LAN アクセスポイントを活用し、ハードウェア老朽化の影響が大きいエッジスイッチの更新を行う。このとき、既設ネットワーク機器との接続を行うこと。

(既設ネットワーク)

| 品名 | メーカー | 用途 | 設置場所 | 既設台数 |
|------------------------------|----------|-----------------|------------|------|
| Catalyst 9500-24Y4C | シスコシステムズ | コアスイッチ | 本館 2 階サーバ室 | 2 |
| Catalyst 9200L-48T-4G | シスコシステムズ | サーバスイッチ (部門用) | 本館2階サーバ室 | 2 |
| Catalyst 9300L-24T-4G | シスコシステムズ | フロアスイッチ | 各フロア | 14 |
| Catalyst 2960X-24PS-L | シスコシステムズ | PoE スイッチ | 各フロア | 4 |
| Catalyst 2960L-8PS-JP | シスコシステムズ | PoE スイッチ | 各フロア | 5 |
| ワイヤレス LAN コントローラ 3504 | シスコシステムズ | 無線コントローラ | 本館2階サーバ室 | 2 |
| Aironet 1832i | シスコシステムズ | 無線 LAN アクセスポイント | 各フロア | 65 |
| SystemWalker Centric Manager | 富士通 | ネットワーク管理ソフトウェア | 本館2階サーバ室 | 1 |

1-6 既設登録医情報検索システム用クライアント

電子カルテシステム等基幹システムと連携する登録医情報検索システム用クライアントは、既存のクライアントを利用するものとする(詳細は下表参照)

| 品名 | メーカー | 用途 | 設置場所 | 既設台数 |
|--------------------|------|-----------------|--------------|------|
| MEDIA STAFF HR モデル | PFU | 登録医検索システムクライアント | 本館 1F 地域連携室前 | 1 |

1-7 サーバ室及びその他インフラ

- (1) サーバ室は当院本館 2Fに設置されており、本業務で導入されるサーバ関連ハードウェア等は開発用のサーバ等一部機器を除き基本的に本サーバ室に設置するものとする。
- (2) サーバ室は、空調設備完備であるほか、サーバ設置用 19 インチラックが設置済

みである。なおサーバラックのメーカー及び型番は「富士通社製 19 インチラック
モデル 1640」である。

2. 電子カルテシステム等基幹システム連携対象システム及び医療機器

電子カルテシステム等基幹システムは、今回更新対象である部門システム(別紙 1 参照)と情報の送受信を行う必要がある。また、医療機器との連携も必要である。

2-1 連携対象システム

- (1) 今回更新対象であるシステムについては、次に挙げる通りであるが、本更新業務にあたっては、連携仕様変更などが発生する場合には、対象部門システム側にかかる費用を含めて受注者が負担するものとする。

(既存部門システムで継続して利用するもの)

| 既存システム名 | メーカー名 | パッケージ名等 |
|-------------|-------|---------|
| 石川県地域連携システム | NEC | ID-LINK |

なお各部門システムとの連携については、既存の連携内容と同等の連携を行うことができること。

- (2) 電子カルテシステム等基幹システムと各部門システムは以下の連携を行うこと

① オーダ情報の送受信

電子カルテシステムで発生し、各部門システムに送信されるオーダの受信を行うこと。オーダ内に含まれる項目については、後述の電子カルテシステム等基幹システム機能等要件に定める情報が含まれており、これらについて適正に送受信されること。

② 実施情報の送受信

結果情報の送信を伴う部門システムについては、各部門システムから電子カルテ側へ実施情報の送信を行い、電子カルテ側でこれを受信すること。また、レポートを伴う結果については、レポートとセットで結果を送信できること。

(レポートが電子カルテシステムから参照できること)

③ 会計情報発生

電子カルテシステムにおいては、各部門システムからの「実施情報」を契機として、医事会計システムに対して会計情報を発生させる機能を有していること。会計情報については、原則電子カルテシステムの機能を用いて発生させること。

(3) 連携対象となるシステムとの連携に関する注意点

- ① 電子カルテシステム等基幹システム及び各部門システムとの連携経路については既設ネットワークとし、連携方法としては原則オンライン連携とする。
- ② 連携を実現するために、連携対象のシステムに対する改修や連携対象システム側のテスト等が必要な場合は、必ず連携対象のシステムメーカーに了承を得た上で対応すること。また、この際に連携対象システム側及び電子カルテシステム等基幹システム側に費用が発生する場合は、当業務に費用を含むものとする。
- ③ 電子カルテシステム等基幹システムと各部門システムとの連携については別紙1の「更新対象システム一覧」記載の内容を満たすこととし、後述の電子カルテシステム等基幹システム機能等要件の内容を満たすこと。

2-2 連携対象医療機器

- (1) 技師支援システム(RIS)に接続する医療機器について、各医療機器メーカーと協議し、必要な医療機器の接続及び確認作業を行うこと。
- (2) 今回の見積金額には接続作業費用を含めるものとする。
- (3) 再接続予定部門システム
 - ① 技師支援システム(RIS)

3. 電子カルテシステム等基幹システム利用者等

- (1) 電子カルテシステム等基幹システムを直接利用する利用者は400名以内を前提とする。
- (2) 電子カルテシステム等基幹システムとして登録した者の中から1名をシステム管理者(当院内でのシステム管理責任者)とし、さらに1名を管理補助者とする。
- (3) 電子カルテシステム等基幹システム同時利用については、クライアント端末機台数分とする。
- (4) オンライン処理の同時処理数(多重度)は、ユーザ登録数(=クライアント端末台数)を基に受注者側経験値によることとし、それに基づいてサーバハードウェア等の選定・設計を行うこととする。

4. 当院の概要及び状況

発注者側の概要及び業務状況は下表のとおりである。これを参考として、受注者側経験値

に基づいて、適切な医療情報システムパッケージソフトウェアを選定すると共に、システム全体の処理能力やデータ保存量(運用予定期間及び移行データ量等による)を見積り、必要な能力の機器を選定(システム全体の処理能力及びデータ保存量には十分な余裕をもつこと)し、システムを導入すること。

(1) 発注者側全体概要(令和5年4月現在)

| 区分 | | 数量等 |
|-------|-------|---|
| 診療科 | 標榜診療科 | 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓・リウマチ科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科麻酔科・ペインクリニック科、神経精神科 |
| 稼働病床数 | 一般病床 | 275 床 |
| | 結核病床 | 25 床 |
| | 感染症病床 | 6 床 |

(2) 発注者側 全体業務量(令和4年度)

| 区分 | 備考 |
|-----------|---------|
| 一日平均外来患者数 | 約 240 人 |
| 一日平均入院患者数 | 約 170 人 |

5. 電子カルテシステム等基幹システム運用予定時間・稼働時間帯等

5-1 電子カルテシステム等基幹システム稼働時間帯等

- (1) 電子カルテシステム等基幹システムの利用時間は、原則として 24 時間 365 日とする。

電子カルテシステム等基幹システム利用時間内のうち、深夜・休日等業務処理量の少ない時間帯において、自動スケジューリングにより必要なシステムメンテナンス処理(データベース最適化など)や全データバックアップ処理を行うことができること(限られた時間で必要な処理が行えるだけの能力を有していること)。

6. 電子カルテシステム等基幹システム開発作業場所

電子カルテシステム等基幹システム開発の作業場所は、原則、受注者側にて確保するものとする。但し、病院内でのテスト作業等を行うために必要な最低限度の場所(3～6名程度で作業できる場所)は当院内でも確保する。

7. 電子カルテシステム等基幹システム開発スケジュール

令和6年3月31日までに本稼働を行い、それまでにシステム設計・開発、データ移行、システムテスト及び研修等を完了すること。

前項のことを前提とした「電子カルテシステム等基幹システム開発スケジュール案」を契約締結後2週間以内に受注者側から提示し、発注者の承認を得た上で「電子カルテシステム等基幹システム開発スケジュール」を定め、それを実施するものとする。

受注者は「電子カルテシステム等基幹システムスケジュール」の進捗状況を定期的に発注者に報告することとし、進捗状況によっては、発注者の了承を条件に本稼働日以外に変更することができるものとする。

III. 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築必要要件

以下に記す要件は、電子カルテシステム等基幹システムを更新・構築するに当たって対応が必要な要件である。

機器等の導入・設定、パッケージソフトウェアの設定(カスタマイズを含む)、その他の作業により本要件を満たすこと。

1. 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築体制等要件

- (1) 本業務に当たる主要メンバーは、今回導入する電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェアの導入・構築等プロジェクトに対する豊富な経験(経験年数が複数年であり、また複数の導入・構築等プロジェクトへの参加実績があること)を持つ者で構成すること。
- (2) 本業務完了までの進捗管理を行うこと。また、進捗報告会議を業務完了まで月に1回以上開催し、発注者に対して進捗報告などを行うこと。
- (3) 本業務にかかるシステムの運用、カスタマイズ詳細仕様及びその他の課題については、発注者側と共同で対応等を検討し、発注者側の意見を十分に理解したうえで対応すること。このために受注者と発注者間で頻繁な打ち合わせ会議等が必要と考えられるため、それに対応できる体制とすること(電話や電子メールでの連絡で済ませ

-
- ず、直接発注者と意見を交換することが望まれる)。
- (4) 本業務の進捗会議及び打ち合わせ会議については、議事録を作成し、発注者側へ提出すること。
 - (5) 本業務プロジェクトに関する課題については「課題管理表」にてとりまとめ管理し、解決に努めること。
 - (6) 当院内で電子カルテシステム等基幹システムに係る作業を行う際には、作業報告書を発注者側に提出すること。
 - (7) 本仕様書に特段記載の無い機能がパッケージソフトウェアに存在する場合、発注者側の業務改善が見込める機能であれば、積極的に提案し、機能を運用可能な状態とすること。
 - (8) 電子カルテシステム等基幹システムのうち、電子カルテシステム及び医事会計システムについては、制度改定対応時の対応等今後の運用管理の観点から当院内に開発環境を構築し、作業を行うことを前提とする。その他システムについては開発環境を当院内に構築することは発注者側より求めない。しかしながら、発注者側テストにおいて、当院内に開発環境を設置した方が効率的と考えられる場合は、開発機器の設置場所等について発注者側と調整し了承を得た上で、当院内に開発環境を構築すること。この場合の開発環境構築は受注者側が責任を持って本業務範囲内で行うものとする。

2. 電子カルテシステム等基幹システム機能等要件

電子カルテシステム等基幹システムが実現すべき業務機能と、それら機能を実現するために、電子カルテシステム等基幹システムを構成するソフトウェア・ハードウェア等が有しているべき能力・機能等を定めるものである。

2-1 電子カルテシステム等基幹システム基本要件

電子カルテシステム等基幹システム全体として満たすべき基本的な要件であり、以下のとおりとする。

- (1) 電子カルテシステム等基幹システムの動作速度(オンライン処理レスポンス等)は、現在想定される最大同時使用端末数から同時にオンライン処理を行った場合であっても、利用者にストレスを与えないレベルであること。具体的には下記の要件を満たすこと。
 - ① 1端末のみで1件の処理を行っている場合は平均3 秒程度を目標とし、業務が

-
- 集中している場合でも 6 秒以内に抑えることを目標とすること。
- ② オンライン帳票印刷処理において画面上で要求を出してから印刷(プリンタへのデータ到達)又はプレビューが開始されるまでの時間は、平均 6 秒程度を目標とすること。
 - ③ 但し、バッチ処理等の高負荷処理が行われている場合は上記①②の限りではないものとするが、この場合でもオンライン業務が可能であること。
 - ④ バッチ処理等の高負荷処理についても、基本的に業務に影響の無い処理時間で完了するものであること。
 - ⑤ 電子カルテシステム等基幹システムのデータ格納量は日々増加していくと考えられるが、電子カルテシステム等基幹システムの動作速度及びレスポンスは、システム稼働予定期間終了時まで維持できるものであること。
- (2) 電子カルテシステム等基幹システム格納データ容量は稼働期間内に発生が予想されるデータ及び稼働時移行データを格納しても十分な余力を有するものであること。
- (3) セキュリティについては、以下の要件を満たすこと。
- ① 電子カルテシステム等基幹システムで認証されたユーザ以外からの電子カルテシステム等基幹システムへのアクセスを禁止する対策を施すこと。
 - ② 電子カルテシステム等基幹システムへのアクセス記録を収集でき、一定期間保存できること。
 - ③ サーバハードウェア及びデータベース本体へのネットワークを通じた、医療情報システム業務機能外からの直接アクセスに対する不正なアクセスを防止する対策を講じること。
 - ④ 万が一のウィルス侵入に備え、電子カルテシステム等基幹システムのサーバハードウェアに対して発注者指定のコンピュータウイルス対策ソフト(トレンドマイクロ社製 ウィルスバスターコーポレートエディションの導入時の最新 Ver)を導入し、医療情報システムのコンピュータウイルス対策サーバから管理(パターンファイル配信など)をできるようにすること(コンピュータウイルス対策ソフトのライセンス及びソフト本体については発注者側より提供する)。
 - ⑤ サーバ関連ハードウェア障害及びソフトウェア障害により、基本的にデータ破壊が発生しないようなシステム構成・構造とすること。
 - ⑥ 大規模災害やオペレーションミスなどにより、避けがたいデータ破壊又は意図せぬデータ更新が発生してしまう可能性を考慮し、システムデータを定期的に自動バックアップし、そのバックアップデータによりシステムデータを「避けがたいデータ破壊又は意図せぬデータ更新発生から24時間前以内の状態」に復元できるシステム構成・構造とすること。
 - ⑦ 院内及びデータセンター内において完結し、運用上、他の外部ネットワークと接続を必要としないシステム構成であること。

2-2 サーバ関連ハードウェア基本要件

電子カルテシステム等基幹システムを稼働させるために、本業務内で調達するサーバハードウェア等の満たすべき基本的な要件であり、以下のとおりとする。

- (1) サーバ関連ハードウェアは、本システムが円滑かつ適切に稼働する能力及び構成であること。特にサーバ機器本体は、迅速なクライアント応答速度が確保できるCPU性能及びメインメモリを有し、安全性を確保するための方策が施されていること。
- (2) 冗長性確保と障害発生時の切り分けを確保するとともに、省スペース化の観点から仮想化技術を取り入れたサーバの集約化の措置を講じること。
- (3) サーバ機器本体の設置台数については、効率的な設置を行い、経費の縮減を図ること。
- (4) サーバ関連ハードウェアとして導入されるディスク装置については、稼働予定期間のデータ及び初期登録・移行データを含んでも十分な容量と性能を有するものであること。
- (5) サーバ関連ハードウェアとして導入されるディスク装置については、RAID技術等によるディスク構成の冗長化が行われていること。ディスク装置に接続されているハードディスクドライブの単体故障からデータを保護し、継続的に業務を実行できる能力を有すること。
- (6) サーバ機器本体は、メモリ・ハードディスク等のスロットに空きを持ち、拡張性を確保すること。
- (7) サーバ関連ハードウェアの構成として、定期的にシステムデータの自動バックアップを行うことができること。また、取得したバックアップデータは、電子カルテシステム等基幹システムがウィルス感染した場合に影響を受けない場所へ2週間分以上保存すること。
- (8) 各種設定及びインストール作業に光ディスクドライブ等が必要な場合は、それを搭載するか、接続しておくこと(発注者側では光ディスクドライブ等は準備しない)。
- (9) 停電時において、最低1分程度業務を継続することができること(無停電電源装置等を調達し、それを接続すること)。それを超えた停電の場合、データの整合性を保全しつつ自動停止及び自動電源切断を行う機能を有すること。
- (10) 「Ⅱ 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築における前提条件」にある各種インフラハードウェア(有線LAN、サーバラック、電源、キーボード・ディスプレイ等)に対応する機能及び性能を有すると共に、必要な配線・金具等を添付すること。
- (11) サーバ関連ハードウェア基本要件を満たすために一般的に必要なと思われる項目を

下表に提示する。
 (12)サーバー関連ハードウェア(今回、当院に設置する分)については、ラック4本以内に納めること。

(例示:サーバ関連ハードウェア基本要件を満たすために一般的に必要なと思われる項目)

| 項目 | 備考 |
|-----------------------------------|--|
| サーバ機能を提供するサーバハードウェア本体 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な処理能力を有すること ・必要な冗長性を有すること |
| 磁気ディスク装置 (サーバハードウェア本体に内蔵又は外付け) | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な処理能力を有すること ・必要な冗長性を有すること |
| 無停電電源装置 | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な電源容量があること ・停電時にサーバの電源保護を行うことができること。 |
| 磁気テープ装置 (サーバハードウェア本体に内蔵又は外付け) | <ul style="list-style-type: none"> ・必要な性能を有すること |
| 各種添付品 | <ul style="list-style-type: none"> ・ラックマウントに必要な器具 ・ネットワーク接続に必要な器具 (LAN ケーブルは除く) ・ディスプレイ切替機との接続に必要な器具 (ディスプレイ切替機との接続ケーブルは除く) |

2-3 サーバ関連ハードウェア詳細要件

サーバ関連ハードウェア基本要件を受けて、サーバ関連ハードウェアについて冗長性等に関して一般的に最低限必要と思われる具体的な能力等を以下のとおり示す。

- (1) サーバ機能を提供するサーバハードウェア本体
 - ① 導入するサーバについては以下の性能に相当する能力を最低限有していること。
 - ・ 基幹システムは障害時において可用性の高いシステムとするため、クラスタ構成による冗長性の高いシステムとすること。
 - ・ ラックマウント型であること。
 - ・ 迅速なクライアント応答速度を確保する性能を保有すること

- ・ OS は、ソフトウェアの動作が保証されており、稼動を予定している期間がサポート期間対象内にある Linux もしくは Windows Server であること。
- ・ CPU ソフトウェアの動作を保証する性能を保有し、サポート期間対象内にあること
- ・ 主記憶容量 ソフトウェアの動作を保証する性能を保有し、サポート期間対象内にあること
- ・ ディスク容量 ソフトウェアの動作を保証する性能を保有し、サポート期間対象内にあること
- ・ 電源ユニット 冗長性を持たせること

(2) ストレージ装置

- ① ストレージ装置は、冗長性を持たせること。
- ② 電子カルテシステム用については以下の性能に相当する能力を最低限有していること。
- ③ 電子カルテサーバとの接続は二重化した光ファイバーによる接続とし、クラス構成それぞれの接続がなされていること。
 - ・ コントローラー／キャッシュ／ディスクドライブ／電源／ファン／ホスト・インターフェース・アダプタの活性保守が可能であること。
 - ・ 機能として、RAID0、1、1+0、5+0、6 を自由構成できるディスクアレイ専用装置とすること。
 - ・ ディスク容量 2.5 インチ SAS 300GB(15krpm)×30 以上
 2.5 インチ SAS 600GB(10krpm)×10 以上
- ④ 診療情報 DWH システム用については以下の性能に相当する能力を最低限有していること。
 - ・ ホットスペアディスクを搭載し、活性保守・活性交換可能であること。その他の必要領域は RAID5、6 のいずれかの構成として必要容量を搭載すること。
 - ・ 診療情報 DWH システムとの接続は光ファイバーとすること。
 - ・ コントローラー／キャッシュ／ディスクドライブ／電源／ファン／ホスト・インターフェース・アダプタの活性保守が可能であること。
 - ・ RAID0、1、1+0、5+0、6 をサポートするディスクアレイ専用装置とすること。
 - ・ ディスク容量 2.5 インチ SAS 600GB(15krpm)×32 以上

(3) 無停電電源装置

- ① 無停電電源装置は、データセンター等で CVCF に接続していない物理サーバに対し、1台以上接続されていること。ストレージ装置については、冗長性確保のため1台につき2台接続することとする。なお、院内に設置するものは CVCF を利用しないこととなる。
- ② 冗長性確保のため、UPS を利用する場合は、必ず独立した無停電電源装置で

あること。共有は認めない。

- ③ 無停電電源装置は、停電発生時において最低 1 分程度業務を続行できるだけの電力をサーバ、ディスク装置に供給できること。
- ④ 停電継続時間が1分を超えた場合において、サーバハードウェア本体及びディスク装置と連携し、安全かつ適切にそれらの電源をきることができること。また、連携のためにソフトウェアやオプション機材が必要な場合は添付すること。

2-4 クライアント関連ハードウェア基本要件

電子カルテシステム等基幹システムを稼働させるために、本業務内で調達及び設置等を行うクライアント関連機器の基本的な要件であり、以下のとおりとする。

- (1) クライアント関連ハードウェアは、電子カルテシステム等基幹システムが円滑かつ適切に稼働する能力及び構成であること。特にクライアント端末機は、電子カルテシステム等基幹システムについて迅速な応答速度が確保できるCPU性能及びメインメモリ等を有していること。
- (2) クライアント関連ハードウェアの設置場所は既設医療情報システム端末の設置場所と同一を基本とする。受注者側事情により既設設置場所以外の場所に設置しなければならない場合は、必要となるネットワーク及び電源等一切の作業及び費用は本業務内で受注者側で対応を行うこと。発注者側事情の場合は、それらについて発注者側で対応する。
- (3) クライアント端末については、電子カルテシステム等基幹システムの画面を表示し、電子カルテ等基幹システム利用者がキーボード及びマウス等を利用して、電子カルテシステム等基幹システムの諸機能を利用し、診療業務を行うための機器である。本機器については、本業務内で受注者側が用意すること。ただし、マウスについては発注者側で準備するものとする。
- (4) 電子カルテシステム等基幹システムから帳票等の印刷出力を行うプリンタ機器については、一部既設する機器を利用することを基本とする。
- (5) 電子カルテシステム等基幹システムから印刷出力された検体ラベル上のバーコードを読み取るためのバーコードリーダーについては、既設機器を利用することを基本とする。
- (6) 電子カルテシステム等基幹システムと接続する、診察券発行機、再来受付機、収納POSレジについては老朽化が進んでおり、更新が必要な状態となっているため今回更新対象とし、費用に含むこと。
- (7) 「Ⅱ 電子カルテシステム等基幹システム更新・構築における前提条件」にある各種インフラハードウェア(有線LAN、サーバラック、電源等)に対応する機能及び性

能を有すると共に、必要な配線・金具等を添付すること。

- (8) 電子カルテシステム等基幹システムで導入する端末については、下記の既存部門システムと同一端末での運用を必須要件とする。従って、今回導入する端末については、既存部門システムが円滑かつ適切に稼動するブラウザ等のバージョン等の選択を行うこと。

(電子カルテシステム等基幹システムと同一クライアントでの稼動が必要となる部門システム)

| システム名称 | メーカー名 | 備考等 |
|------------------|--------------------|-------------------|
| HOPE/SERAPORT | 富士通株式会社 | リハビリ部門システム |
| タイムリフォーマー | 富士通株式会社 | 看護職員情報管理・勤務管理システム |
| JUST 物品管理システム | (株)ジェイ・エス・エス | 物品管理システム |
| JUST 薬剤管理システム | (株)ジェイ・エス・エス | 薬剤管理システム |
| JUST 健康管理システム | (株)ジェイ・エス・エス | 健康管理システム |
| ePower/CLIP | (株)NSD ビジネスイノベーション | リスクマネジメントシステム |
| MyWEB Medical | (株)ソフテック | グループウェア |
| EV Insite ビュアー | (株)PSP | 放射線画像ビューアー |
| CardioAgent ビュアー | 東芝メディカルシステムズ | 放射線等動画ビューアー |
| PrimeVita ビュアー | 日本光電工業(株) | 心電図波形等ビューアー |

- (9) クライアント関連ハードウェア基本要件を満たすために一般的に必要なと思われる項目及び数量を下表に提示する。

(例示:クライアント関連ハードウェア基本要件を満たすために一般的に必要なと思われる項目)

| 項目 | 備考 |
|-------------|--|
| クライアント端末機 | <ul style="list-style-type: none"> 必要な処理能力を有すること 必要な台数(475台)を導入し設置すること |
| 診察券発行機 | <ul style="list-style-type: none"> 必要な処理能力を有すること 必要な台数(1台)を導入し設置すること |
| 再来受付機 | <ul style="list-style-type: none"> 必要な処理能力を有すること 必要な台数(2台)を導入し設置すること |
| 収納 POS レジ端末 | <ul style="list-style-type: none"> 必要な処理能力を有すること 必要な台数(2台)を導入し設置すること |

2-5 クライアント関連ハードウェア詳細要件

クライアント関連ハードウェア要件を受けて、クライアント関連ハードウェアについて一般的に最低限必要と思われる具体的な能力等を以下のとおり示す。

(1) クライアント端末機(472 台)

クライアント端末機については、以下の性能に相当する能力を最低限有していること。電子カルテシステムだけでなく、各部門システムとの相乗りも行うので考慮すること。OSは、Windows 11 Pro(64bit)、ブラウザソフトは Edge であること。

① ノートブック(315 台)

- ・ CPU Core i5-1235U 以上
- ・ 主記憶容量 8GB 以上
- ・ ディスク容量 暗号化フラッシュ メモリ 256GB 以上
- ・ ネットワーク 802.11a/b/g/n/ac/ax 無線、Wi-Fi、LAN&Bluetooth 対応
- ・ 表示 15.6 型フル HD 対応
- ・ バッテリ 8 時間相当以上対応
- ・ ODD DVDドライブ内蔵
- ・ キーボード テンキー付のキーボード
- ・ USB Type-A 2 ポート以上

② デスクトップタイプ(157 台)

- ・ CPU Core i3-13100 以上
- ・ 主記憶容量 8GB 以上
- ・ ディスク容量 暗号化フラッシュ メモリ 256GB 以上
- ・ ネットワーク 1000base-T 対応
- ・ ODD DVDドライブ
- ・ USB Type-A 4 ポート以上、Type-C 1 ポート以上

③ ディスプレイと接続(DisplayPort、DVI-D)できること。

④ デスクトップクライアントについては、正常に動作することが確認されている日本語キーボードを添付すること。

⑤ Microsoft Office Standard 2021(435 台)、Microsoft Office Professional Plus 2021(41 台)を搭載すること。

⑥ ATOK Medical 3 for Windows(472 台)、医学辞書2023 for ATOK(472 台)を搭載すること。

⑦ サーバ、クライアント端末には WithSecure クライアントを搭載すること。

⑧ サーバに Windows を採用する場合は、必要台数分のデバイスCALを用意すること

(2) レーザープリンタ(190 台)

以下の性能に相当する以上であること。

- ① 両面印刷が可能であること。
- ② 給紙カセットは2段以上あり、それぞれ 250 枚以上セットできること。また、A4、A3用紙がセットできること。
- ③ 手差し印刷ができること。
- ④ メモリは 512MB以上であること。
- ⑤ IPv4のネットワーク対応であること。
- ⑥ LAN インターフェースが搭載されていること。
- ⑦ 片面A4印刷の速度が ~~32.0~~33.0 枚/分以上であること。また、両面A4印刷の速度が 26.0 枚/分以上であること
- ⑧ 装置寿命は5年または~~60~~120 万ページ以上であること。

(3) ディスプレイ①(83 台)

以下の性能に相当する以上であること。

- | | |
|----------------|-------------------------------------|
| ・ 種類 | カラー(IPS) |
| ・ バックライト | LED |
| ・ サイズ | 21. 3型 |
| ・ 解像度 | 1200 × 1600 |
| ・ 表示領域 | 324 × 432 mm |
| ・ 画素ピッチ | 0.27 × 0.27 mm |
| ・ 表示色 | 10-bit:約 10.7 億色 8-bit:約 1677 万色 |
| ・ 輝度(標準値) | 500 cd/m ² |
| ・ コントラスト比(標準値) | 1800:1 |
| ・ 入力端子 | DisplayPort、DVI-D |
| ・ 出力端子 | DisplayPort(ディジーチェーン) |

(4) ディスプレイ②(5 台)

以下の性能に相当する以上であること。

- | | |
|----------|--------------|
| ・ 種類 | カラー(IPS) |
| ・ バックライト | LED |
| ・ サイズ | 21. 3型 |
| ・ 解像度 | 1200 × 1600 |
| ・ 表示領域 | 324 × 432 mm |

- ・ 画素ピッチ 0.27 × 0.27 mm
- ・ 表示色 10-bit:約 10.7 億色
8-bit:約 1677 万色
- ・ 輝度(標準値) 1000 cd/m²
- ・ コントラスト比(標準値) 1800:1
- ・ 入力端子 DisplayPort×2、DVI-D
- ・ 出力端子 DisplayPort(デジタルチェーン)

(5) ページプリンタ(2 台)

以下の性能に相当する以上であること。

- ① 両面印刷が可能であること。
- ② 給紙カセットは2段以上あり、それぞれ 590 枚以上セットできるとこ。また、A4、A3用紙がセットできるとこ
- ③ 手差し印刷ができること
- ④ メモリは 2GB 以上であること。
- ⑤ IPv4のネットワーク対応であること。
- ⑥ LAN インターフェースが搭載されていること。
- ⑦ 連続プリント速度は片面A4で 60 枚/分以上であること。また、両面A4で 60 ページ/分以上であること。
- ⑧ 装置寿命は5年または320万ページ以上であること

(6) 診察券発行機(1 台)

診察券発行機については、以下の性能に相当する能力を最低限有していること。

- ・ 医事会計システムから患者情報を取込み診察券を自動発行できること。
- ・ 診察券は凹凸で以下の事項が表記できること。
患者番号、カタカナ患者氏名、生年月日、性別(凹凸文字)
- ・ 裏磁気カードに対応できること。
- ・ チッパ・リボンの交換は、1,500 枚以上必要ないこと。
- ・ 日本語カナでエラーメッセージ表示できること。
- ・ 接続方法は現行と同じ、LAN 接続とすること。
- ・ 処理能力とし、250 枚/時間以上を有すること
- ・ 250 枚以上のカードホッパー容量を有すること。
- ・ JIS II 型 X6301 プラスチックカード対応可能なこと。
- ・ 収容文字種別(凹凸文字)は以下の文字であること
カタカナ文字 48(ア～ヲン、ゝ、°)
英文字 11(A,B,C,F,H,K,M,O,S,T,W)

記号 4(-,/,.,))
数字 10(OCR7B 0~9)

- ・ エンコード仕様は JIS II 型 X6302(磁気記録様式)であること
- ・ 保証期間はご使用開始日(本稼働日)の月初より1年間とすること。

(7) 再来受付機(2台)

自動再来受付機については、以下の性能に相当する能力を最低限有していること。

- ・ CPU Core™ i3 プロセッサ以上
- ・ 主記憶容量 4GB 以上
- ・ ディスク容量 装置内蔵型で SSD 240GB 以上
- ・ ネットワーク 1000Base-T/100Base-TX/10Base-T
管理者用として USB2.0 を 2 ポート接続可能なこと。
- ・ ディスプレイ 15 インチ以上の液晶カラー表示、解像度は 1024×768 以上で 1620 万色以上表示可能でありタッチパネル方式で操作可能な事。
輝度の調整が簡単に行えるようにソフト機構を有すること。
正面から左右それぞれ 30°、全体で 60° の可視角のプライバシーフィルタを有すること。
- ・ サーマルプリンタ 機器本体に内蔵されており、感熱ロール紙(紙幅 80mm 程度)に印字可能なこと。
操作者に操作を促すためプリンター部の用紙排出口近傍をランプ等で光らせる機能を有すること。
操作指示ランプは複数色から色が指定できること。
また用紙排出口手前にランプが流れるように点灯し、用紙の発券向きがわかりやすい表示機能を有すること。
- ・ 磁気カードリーダー JIS-I 型(第1、2トラック)／JIS-II 型を読み取り可能なこと。
いたづらを防止するため、誤挿入防止機能を有すること。
操作者に操作を促すため磁気カードリーダー部のカード挿入口近傍をランプ等で光らせる機能を有すること。
操作指示ランプは複数色から色が指定できること。
また磁気カードリーダー挿入口手前にランプが流れるように点灯し、カード操作方向がわかりやすい表示機能を有すること。
- ・ 対人センサー 照明光の強いエリアや通行人が多いエリアで、不要な検出を少なくできるよう、20cm～140cm の範囲で検出距離を変更できる機能を有すること。

待機時はスクリーンセーバー等の画面とし、機器の前に人がいることを感知してサービス画面に復旧できるような機能を有すること。

- ・ 自動運転タイマー スケジュール設定により自動的に電源投入、電源切断ができること
- ・ 無停電電源装置 停電発生時の電源供給用に内蔵 UPS を有すること。
- ・ 保証期間 ご使用開始日(電子カルテシステム本稼働月)の月初より 15 年間

(8) 収納 POS レジ端末(2 台)

収納 POS レジ端末については、以下の性能に相当する能力を最低限有していること。

- ・ CPU Dual Core プロセッサ Celeron G540(2.50GHz)
- ・ 主記憶容量 2GB 以上
- ・ ディスク容量 80GB 以上
- ・ ネットワーク 1000base-T 対応
- ・ ディスプレイ 15 インチカラーLCD で省電力 LED バックライトタッチパネル付き
- ・ その他機能 停電対応バッテリー搭載のこと。漢字カスタムディスプレイ搭載のこと。磁気カードリーダ搭載のこと。タッチスキャナ搭載のこと。1ステーションプリンタ搭載のこと。外付け DVD スーパーマルチドライブ搭載のこと。コンパクトドローア搭載のこと。
- ・ 自動釣銭機 硬貨釣銭機では、機器状態のLED表示、エラー内容のコード表示に加え、文字メッセージでわかりやすく内容表示をすること。硬貨、紙幣の収納庫には開閉錠を搭載していること。

出金口には、正常に出された現金、取り忘れやお客様にお渡しすべきではないリジェクト貨について、注意を促せるような仕組を有していること。

硬貨釣銭機の大きさは 260(W)×580(D)×130(H)以下であること。

(9) エッジスイッチ

- ・ エッジスイッチ(60 台)

エッジスイッチについては、以下の性能に相当する能力を最低限有していること。

- ① 10/100/1000 イーサネットポートを 24 ポート以上実装していること。

-
- ② 1 ギガビットイーサネット SFP スロットを 4 ポート以上実装していること。
 - ③ 各イーサネットポートについては、同時にすべて使用できること
 - ④ 最大 56Gbps 以上のスイッチング容量を実装する固定型の L2 スイッチ製品であること。
 - ⑤ 一般的なエッジスイッチに備わっていると想定される、以下の規格に準拠している事(IEEE802.1Q、IEEE802.1D、IEEE802.1w、IEEE802.1s、IEEE 802.3ad)
 - ⑥ IPv4 IGMP 及び、IPv6 MLDv1、v2 Snooping に対応していること。
 - ⑦ 1000 個以上の VLAN に対応していること。尚、VLAN ID は 4000 以上を利用可能であること。
 - ⑧ 8,000 以上の MAC アドレスに対応していること。
 - ⑨ IEEE802.1p の QoS による優先制御機能を有すること。
 - ⑩ 光ファイバーの単一方向リンク(片対障害)検出機能を有すること。
 - ⑪ IEEE802.1x に準拠した認証機能を有すること。
 - ⑫ 将来的な省エネ対策として IEEE802.3az で標準化されている省電力技術に対応していること。

・ サーバスイッチ(2 台)

サーバスイッチについては、以下の性能に相当する能力を最低限有していること。

- ① 10/100/1000 イーサネットポートを 48 ポート以上実装していること。
- ② SFP/SFP+スロットを 4 ポート以上実装していること。
- ③ 各イーサネットポートについては、同時にすべて使用できること
- ④ 一般的なエッジスイッチに備わっていると想定される、以下の規格に準拠している事(IEEE802.1Q、IEEE802.1D、IEEE802.1w、IEEE802.1s、IEEE 802.3ad)
- ⑤ IPv4 IGMP 及び、IPv6 MLDv1、v2 Snooping に対応していること。
- ⑥ VLAN ID は 4000 以上を利用可能であること。
- ⑦ 将来的にポート数が増えた場合を想定して、スタックケーブルによる接続が可能なこと。またスタックされたすべての筐体は1台の論理ユニットとして設定・管理できること。

パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

電子カルテシステム等基幹システム全体に対する詳細な要件であり、その内容は別紙 2「パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件」のとおりとし、記載の内容については全て満たすことを前提とする。

さらに、本業務機能詳細要件に記載の無い機能で、診療業務の効率化等に資すると考えられる機能をパッケージソフトウェアが元々実装している場合は、それらの機能を当

院の診療業務運用に取り入れることができるように、積極的に提案するとともに、発注者側が求めた場合も対応すること(この提案及び対応作業費用についても、本業務費用内での対応となるため注意すること)。

3. 付帯作業要件

3-1 データ移行要件

受注者の責任のもと既設医療情報システムから電子カルテシステム等基幹システムへデータ等の移行を行うこと。

- (10) データ移行の手法については、既設医療情報システムから出力したデータファイルを取り込む方式とする。なお、既存システムから出力等した情報を元に電子カルテシステム等基幹システムに手入力する方法については原則認めない。
- (11) 既設医療情報システムからのデータ出力については、既設医療情報システム業者と調整し作業を行うこと。なおこの際の出力側作業費用についても、本業務内に含むものとする。
- (12) 電子カルテシステム等基幹システム本稼働後に新たに記録されるデータの所有権及び著作権は、全て発注者に帰属するものとし、本システムから次期システムへの更新の際に、当院が必要だと判断した場合は、無償で一般的に活用できる汎用的なデータ形式に変換した上で発注者に提供すること。また、データを提供する際には、データベースの仕様、コード体系及びカラムの詳細なデータ利用構造(カラムに対するシステム内の位置づけ、データの意味、リレーション構造))等のデータ内容が理解できるものも併せて提供すること。
- (13) 移行したデータの整合性については、受注者にて十分に検証した方法に基づき、実施するものとし、当院においては移行後の最終的な確認作業のみ行うこととする。
- (14) データの移行については、内容、手法及びスケジュールについて、発注者側に提示し承認を得ること。
- (15) 今回更新対象となるシステムソフトウェアパッケージからの、データ移行実績を有すること。

3-2 各種マニュアル作成要件

以下に示すマニュアルの作成を行うこと。また、他に必要なマニュアルがある場合は追

加で作成を行うこと。マニュアルは環境保護と再利用の観点からデータにて提供すること。

(マニュアル例)

| 区分 | 概要 |
|-----------|--|
| 業務操作マニュアル | 利用者が操作に迷った時などに参照するマニュアルであり、全ての業務について、その操作方法が詳細に記載されているもの |
| 業務運用マニュアル | 利用者が運用に迷った時などに参照するマニュアルであり、業務フローやQ&Aが書かれているもの |
| 管理マニュアル | システム管理者がシステムの管理に用いるマニュアルであり、 <ul style="list-style-type: none">・日常のシステム管理に必要な事項・通常時確認事項(バックアップの正常終了確認方法など)・サーバハードウェアを含めたシステムの起動及び終了方法・システム障害発生時の対応方法(データ破壊時のリストア等) 等が書かれているもの |

3-3 電子カルテシステム等基幹システムテスト要件

- (1) 受注者側テストとして、受注者が独自に構築したテスト環境にて電子カルテシステムが正常に稼働するかを確認すること。
- (2) 受注者側テストとして、テスト環境にて正常に稼働することを確認した後に、発注者内に構築した実運用環境に適用し、実運用環境においてもテストを行い正常に稼働することを確認すること。また、処理性能が要件を満たしているかを確認すること。
- (3) 受注者側テストの計画書と結果報告書を作成し、発注者側に報告すること。また、発注者側の求めに応じてテスト項目の修正及び追加を行うこと。
- (4) 受注者側のテストに続いて、発注者側のテストを行うこととする。このテストを行うための「発注者側テスト計画書」を作成すること。「発注者側テスト計画書」は具体的なテスト内容が記載されたものであること。
- (5) 発注者側テストの支援、補助及び立ち会いを行うこと。
- (6) 発注者側テスト結果報告書を作成すること。
- (7) 運用変更がないことを前提としているため、原則操作教育は実施しない。(但し、部門により教育が必要と判断される場合においては実施すること)

3-4 電子カルテシステム等基幹システム設計図書作成要件

- (1) 本業務プロジェクトの全体像が把握できるもの。
- (2) 電子カルテシステム等基幹システム全体の概要が分かるもの。
- (3) クライアント端末、サーバハードウェアの仕様、設定及び性能がわかるもの。
- (4) 電子カルテシステム等基幹システムソフトウェア(電子カルテシステム等基幹システムパッケージソフトウェア)の主な設定内容(カスタマイズ内容含む)が分かるもの。
- (5) 電子カルテシステム等基幹システムのデータベースレイアウト及びデータベース項目概要が分かるもの。
- (6) 電子カルテシステム等基幹システムが「Ⅲ 2 2-1 電子カルテシステム等基幹システム基本要件」を満たしていることが確認できるもの
- (7) 電子カルテシステム等基幹システムの出力帳票のレイアウトが分かるもの
- (8) その他、システムの設定・動作を理解するために必要な書類
- (9) 端末管理台帳、ライセンス管理台帳

IV. 保守について

電子カルテシステム等基幹システム稼働後、令和6年4月よりシステム保守契約(契約は別途毎年度行う予定)を計画している。本業務受注者により、下記のとおり保守契約を受注可能なシステムを構築することを基本とするが、本業務受注者で保守を受注できない部分がある場合は、下記条件を満たすことの可能な保守業者を責任を持って発注者に紹介すること(但し本要件は必ずしも保守契約締結を保証するものではないことに注意)。

1. 保守対応要件

1-1 電子カルテシステム等基幹システム保守契約内容

- (1) 基本的に電子カルテシステム等基幹システム全体として、受注者を軸に1本の保守契約とすることとし、基本的に受注者以外と保守に関する契約は結ばないが、次の場合はその限りではないものとする。
 - ① 制度上やむをえない等、当院が承諾する理由により受注者が保守契約を請け負うことのできない品目(医療機器等)がある場合は、事前に当院に同意を得た後、それらの品目の保守に最も適した保守業者を斡旋すること。
ただし、当院は被斡旋業者と必ず契約を行うわけではないため注意すること。

- ② 受注者以外との保守契約を締結した場合、保守契約の方法については受注者側と協議の上決定することとする。

1-2 電子カルテシステム等基幹システム保守基本要件

- (1) 今回更新対象である、電子カルテシステム等基幹システム全体について、その業務対象範囲とする。
- (2) 保守内容は「一次保守」、「二次保守」、「予防保守」(システム予防保守及びハードウェア予防保守)、「ソフトウェア保守」の4つに区分する。それぞれの作業内容の詳細は「1-3. 電子カルテ等基幹システム詳細要件」のとおりとする。
- (3) 「電子カルテシステム等基幹システム」は複数のサブシステムにより構成されている。それぞれのサブシステム毎の「一次保守」、「二次保守」「予防保守」の対応要不要と対応時間帯は次の「保守SLA表」の通りとする。

(保守SLA表)

<凡例>

◎:24時間 365日(閏年については366日)対応

○:平日(祝日および12月29日～1月3日を除く月曜日～金曜日)

●:年1回対応 対応時間は診療時間外

ー:対応なし

| 対象システム | ハードウェア | | | ソフトウェア | |
|---------------|--------|----|----|--------|----|
| | 一次 | 二次 | 予防 | 一次 | 二次 |
| 電子カルテシステム | ◎ | ◎ | ● | ◎ | ◎ |
| 医事会計システム | ◎ | ◎ | ● | ◎ | ◎ |
| 技師支援システム | ◎ | ◎ | ● | ◎ | ◎ |
| 医薬品情報システム | ◎ | ◎ | ー | ◎ | ○ |
| 服薬指導システム | ◎ | ◎ | ー | ◎ | ○ |
| 経営管理 DWH システム | ◎ | ◎ | ー | ◎ | ○ |
| 収納 POS レジシステム | ◎ | ◎ | ● | ◎ | ○ |
| 自動再来受付システム | ◎ | ○ | ● | ◎ | ○ |
| 診察券発行機 | ◎ | ○ | ー | ◎ | ○ |
| 診療情報 DWH システム | ◎ | ○ | ー | ◎ | ○ |
| 診療情報管理システム | ◎ | ○ | ー | ◎ | ○ |
| がん登録システム | ◎ | ○ | ー | ◎ | ○ |
| 地域連携システム | ◎ | ○ | ー | ◎ | ○ |

| | | | | | |
|----------------|---|---|---|---|---|
| クライアント端末管理システム | ◎ | ○ | — | ◎ | ○ |
|----------------|---|---|---|---|---|

(4) 電子カルテシステム等基幹システムを構成するハードウェア機器の保守については以下のとおりとする。

- ① 保守対象機器について、障害が発生した場合は、各システムサーバ、ネットワーク機器については24時間365日(閏年にあつては366日)、医用モニタ、自動再来受付機、収納POSレジ端末については平日8時半～17時にて障害対応及び復旧を行うこと。

1-3 電子カルテ等基幹システム詳細要件

(1) 一次保守作業内容等

- ① システム監視作業
 - ・ サーバ、ハードディスク、ネットワーク機器等の動作状況等の監視
- ② システム管理・管理支援作業
 - ・ 機器(プリンタ、サーバ、端末等)管理
 - ・ ネットワークアドレス管理
 - ・ ログファイルの抽出、保存、資料作成
 - ・ システム資源の管理、登録及び最新資源の配布
 - ・ コンピュータウイルスチェックソフト及び、そのコンピュータウイルスチェック定義ファイルについての定期的な更新と管理
 - ・ システムに関する要望受付・管理
 - ・ 病院側情報担当者の業務支援
- ③ 定期処理作業
 - ・ 日次、週次、月次、年次等の定期処理(バックアップ処理等も含む)の実行、終了確認及び異常発生時の復旧対応
- ④ 質問対応作業
 - ・ システムの操作・機能等に関する質問対応
 - ・ 端末操作・プリンタ操作等に対する質問対応
 - ・ システム管理(サーバ操作等)に係る質問対応
 - ・ 質問回答に対してシステムに関する高度な専門的な知識が必要となる場合の、連絡窓口及び担当技術者(ソフトウェア担当 SE, ハードウェア担当 CE)への調査及び回答の依頼と、それらの回答進捗管理
- ⑤ システム要望対応・対応支援作業
 - ・ マスタ設定等でシステム変更が可能な軽微な要望への対応を行う。
 - ・ 所定のツールを用いた電子カルテシステム等の画面、帳票、文書、テンプレート

-
- ト等に関する修正・追加支援作業
- ・ 電子カルテシステム等のマスタファイル管理(修正等)支援
 - ・ 端末・プリンタ等の設定変更
- ⑥ 障害対応作業(一次対応)
- ・ 障害発生時の障害把握、解析及び切り分け
 - ・ 把握した障害内容を元とした、必要な専門作業員(SE、CE)及び病院側担当者等への連絡
 - ・ 軽度障害(端末のディスククラッシュによる端末リカバリなど)等、専門作業員の来院無しに対応可能な障害発生時における適切な回復作業
 - ・ 障害発生時における、専門作業員来院までの間のバイパス作業(代替機器設置等)
 - ・ 障害発生前の状態に回復させる際に必要となる、システムバックアップ、データベースログ等の管理、設定及び取得等
 - ・ 再発防止及び対応策の文書による報告
- ⑦ 教育等
- ・ 本システム開発業務で開発及び導入されたアプリケーション・ハードウェアを対象とした、利用者職員及びシステム管理者職員に対する操作教育、機能教育、運用管理教育等を行うこと。
- ⑧ 消耗品等の交換
- ・ 作業員の来院無しに交換可能な、定期交換部品及び消耗品(プリンタトナー等)の交換
- ⑨ ドキュメント整備
- ・ 運用関連ドキュメント(運用手引書、マニュアル等)のメンテナンス
 - ・ システム要望、質問、障害等を管理する書類の作成及びメンテナンス
- ⑩ その他作業
- ・ 業務報告書(日次、月次)の作成及び報告
 - ・ 病院側で開催するシステム関係会議への参加
 - ・ ユーザ会の活動状況に対する報告
 - ・ その他、システムの安定運用に必要な作業
- ⑪ 一次保守作業体制等(電子カルテシステム・医事会計システム・技師支援システム)
- ・ 開院日の8:00~18:00については、障害発生時15分以内に現地にて一次対応作業を開始できる体制をとること。
 - ・ 閉院日及び開院日の18:00以降~翌朝8:00までの時間帯については、院内からの障害、質問などの連絡を常時受けられ、また必要な人員を手配できる体制をとること。また、この期間については、緊急を要する作業以外は行う必要は

ないものとする

- ⑫ 一次保守作業体制等(医薬品情報システム・服薬指導システム・経営管理 DWH システム・収納 POS レジシステム・自動再来受付システム・診察券発行機・診療情報 DWH システム・診療情報管理システム・がん登録システム・地域連携システム・クライアント端末管理システム)
- ・ 開院日の 8:00~18:00 については、障害発生時 15 分以内に現地にて一次対応作業を開始できる体制をとること。

(2) 二次保守作業内容等

- ① 中程度以上の一次保守作業により対応できない障害からの復旧作業を行い、できる限り速やかに復旧させること。
- ② 障害状況に応じて、専門作業員(SE,CE)の病院派遣、また障害通知、通報を行うこと。
- ③ 保守対象となるシステムに関するサポートは、緊急時において 60 分目処で到着できること。
- ④ 電子カルテシステム・医事会計システム・技師支援システムの二次保守作業対応時間は、24 時間 365 日とする。
- ⑤ 医薬品情報システム・服薬指導システム・経営管理 DWH システム・収納 POS レジシステム・自動再来受付システム・診察券発行機・診療情報 DWH システム・診療情報管理システム・がん登録システム・地域連携システム・クライアント端末管理システムの二次保守作業の対応時間は、平日(祝日及び 12 月 29 日～1 月 3 日を除く月曜日～金曜日)8:30~17:00 とする。

(3) 予防保守作業内容

① 予防保守共通事項

予防保守については、システムとハードウェアに大別される。その両方に共通する事項は以下のとおりとする。

- ・ 予防保守作業は、原則、システム運用に影響が出ないように行うこと。
- ・ 予防保守作業前には必ず発注者側と協議を行い、予防保守作業内容及び日程について同意を得ること。
- ・ 予防保守作業日程については、予防保守作業までの間に十分な院内通知期間を有するスケジュールとなるように考慮すること。
- ・ 但し、緊急性を有する場合、予防保守日程及び予防保守時間帯等について、この限りでは無い。

② システム予防保守

- ・ システム稼働状態の監視により、不具合及び障害の前兆となる現象及び状況(データ格納領域の容量不足や過負荷等)を検知した場合は、それを解消するための予防保守(データベース拡張、不要ファイル削除など)を行うこと

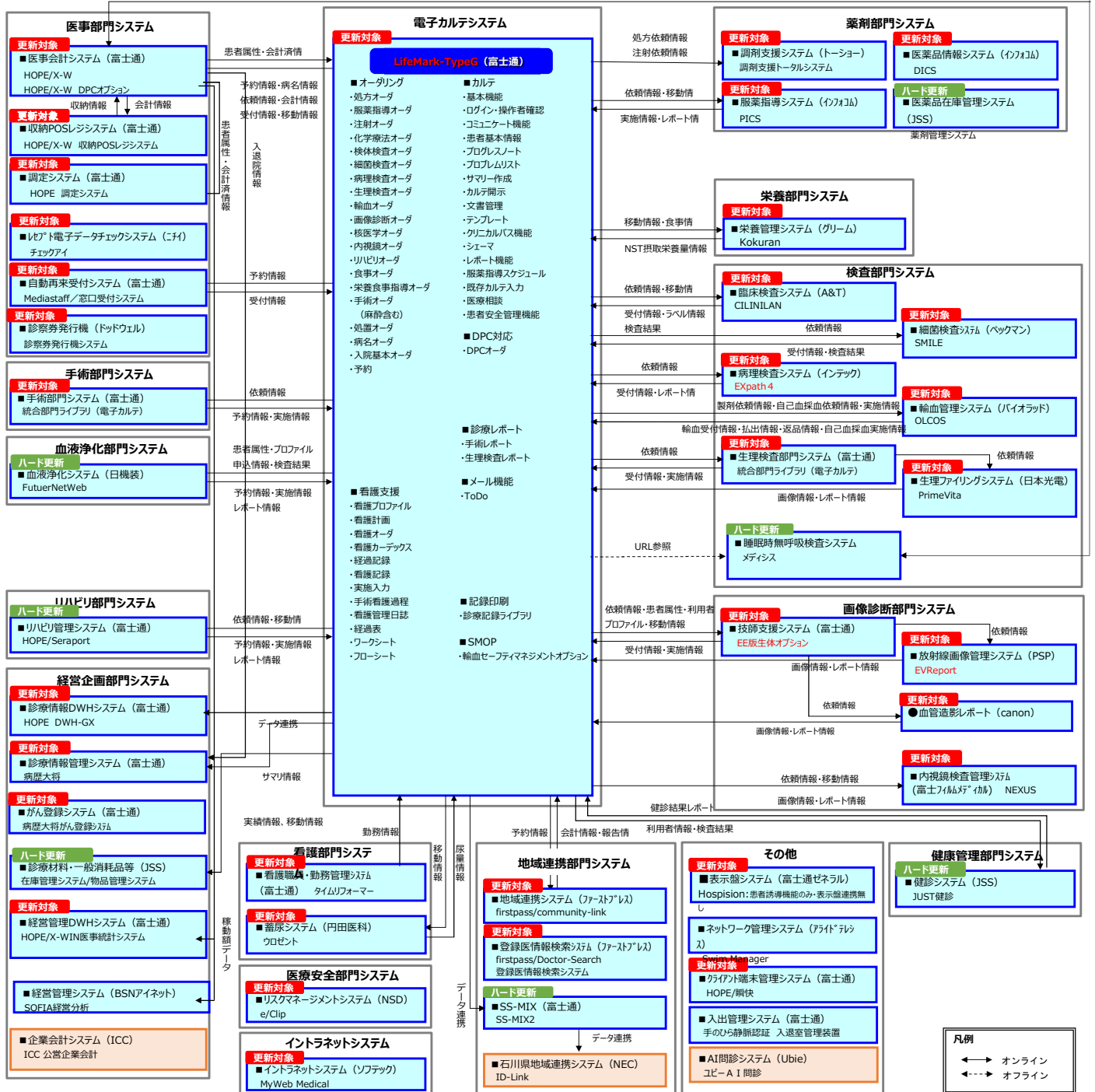
-
- ・ 予防保守作業時間帯については、基本的に夜間又は閉院日とする。
- ③ ハードウェア予防保守
- ・ 定期点検が必要とされたハードウェアは年に1回以上定期点検(調整、清掃、プリンタトナー等を除く消耗品の交換等)を行い、機器の稼動状況を良好な状態に保つこと。
- (4) ソフトウェア保守作業内容
- ① アプリケーションソフトウェア
- ・ 電子カルテシステムの定期的(最低年 1 回)なバージョンアップ(制度改正によらない機能の向上及び機能追加)の提供
 - ・ その他のシステムについて、可能な範囲でのバージョンアップの提供
 - ・ 法令改正(診療報酬改定、薬価改正を含む)が公示された場合の対応(但し、抜本的な法令等の改正があり、その対応範囲が非常に広範囲に及ぶ場合は、その対応内容及び範囲等について、費用も含めて両者別途協議)
 - ・ バグなどの障害対応修正を行うこと。
 - ・ 軽微な改善修正(両者協議の上)
- ② 基本ソフトウェア
- ・ オペレーティングソフトウェア、ミドルウェア、オフィスソフトなどについて、セキュリティホール及びバグ修正の情報提供を行うこと。また対応については本業務発注者と本業務受託者の双方で協議の上対応すること。
- ③ 医薬品情報の更新
- ・ 病院側で別途入手する「医薬品情報データ」を元に、薬価収載品目変更、添付文書改訂に伴う医薬品情報データベース更新作業を随時行うこと。(少なくとも年 4 回、重大な変更がある場合は随時)

2. 保守に関する留意事項

- (1) 本更新業務により構築された医療情報システムに対して、「IV1 保守対応要件」を満たす保守を行う場合の年間経費は、(地方税及び特別地方消費税は含まない)は、基本的に本業務契約額の 20%を超えないものとする。よって、この値を超えない前提の構成でシステムを構築すること。
- (2) 実際の保守契約を行う際においては、「IV1 保守対応要件」を前提としつつ、その詳細な保守内容、仕様及び保守費用について受注者と発注者が協議の上、改めて定めるものとする。
- (3) 令和5年度中に電子カルテシステム等基幹システムが稼動した場合、契約期限である令和6年3月31日までの期間の保守費用は更新業務に含むこと。
- (4) 保守体制について体制図を発注者に提示し、了承を得ること。

別紙1 更新対象システム一覧

患者属性



凡例
 → オンライン
 - - - オフライン

| 1章 基本的要件 | | | | |
|----------|-------|-------|--------|--|
| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
| 1-1 | | | | 基本的要件 |
| 1-1-1 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 2024年3月末までに稼働するシステムであること 但し、半導体不足等の応札者の責めに帰さない事由により納期確保が困難な場合は、速やかに当院と協議の上、稼働日を設定すること。 |
| 1-1-2 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 今回導入する端末は電子カルテのアプリケーションがインストールされた状態で納品されること。 |
| 1-1-3 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | ベンダーが決定した場合、契約を担当する部門において、将来医療機器関連の包括的な契約があることを想定して、「医療機器販売及び賃貸業」の届け出または許可申請を受けていること。また、電子カルテシステムの契約・導入を滞りなく完了した経験があること。 |
| 1-1-4 | 基本的要件 | 基本方針 | 基本方針 | 医療情報システムを安全に管理・運用する為に、また病院側の運用負担軽減の為に、電子カルテシステムを「パブリッククラウドにてクラウド型のサービスで提供すること。 |
| 1-1-5 | 基本的要件 | 基本方針 | 基本方針 | 下記ガイドラインに対応した、電子カルテシステムサービスであること。 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」(厚生労働省) 「医療情報を取り扱う情報システム・サービスの提供ベンダーにおける安全管理ガイドライン」(経済産業省・総務省) |
| 1-1-6 | 基本的要件 | 基本方針 | 基本方針 | データセンターと病院間のネットワークが接続できない場合に備え、院内の機器のみで業務継続が可能なシステム構成とすること。 |
| 1-1-7 | 基本的要件 | 基本方針 | 基本方針 | 米国クラウド法（CLOUD Act：正式名称Clarifying Lawful Overseas Use of Data Act）に該当するクラウドサービスを利用した場合、日本国内にデータセンターが設置されている場合であっても保存されているデータに対して政府／捜査機関から「閲覧／差し押さえ等」が法的に行われる可能性がある為、電子カルテシステム、医事会計システムについてはこの法律に該当しないクラウド上に病院情報システムを設置すること。 |
| 1-1-8 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本方針 | 汎用性とシステムの安定性を考慮し、データベースサーバはLinuxサーバ、クライアントはWindows8.1と同等以上のOSを搭載すること。 |
| 1-1-9 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 利用者指向でメンテナンス性の高いシステムであること。 |
| 1-1-10 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 電子カルテシステムサーバ・オーダリングサーバ・看護支援サーバを二系統化し、メインサーバのいかなる部品が故障をきたしても、待機系サーバに自動で切り替わり継続利用ができること。またその際に、端末利用者はサーバの切り替えを意識することなく業務を継続できること。 |
| 1-1-11 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 電子カルテシステムは、停電等によりクライアントの電源断が発生した場合でも、直前に入力した全てのデータを電源再投入時に復元し、継続して入力ができるような仕組みであること。 |
| 1-1-12 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 他病院で起こったトラブル事例が整理されていること。トラブル発生時は全国の各拠点に通知し、同じ原因でトラブルが起こらないよう管理する体制を有するとともに、重大なトラブルについては速やかにユーザが把握できるよう障害情報を公開する仕組みを有すること。 |
| 1-1-13 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 情報保護の観点から、システム構築に携わるSEは全員、院内の出入りに際し、IDの提示を行うか名札を着用していること。また、システム構築に携わるSEは全員、提供ベンダの責任において院内の行動に関する倫理・道徳・社会常識的な指導がなされていること。なお、指導方法については、マニュアル化し、プロジェクトメンバー全員が理解した上でシステム構築にあたること。 |
| 1-1-14 | 基本的要件 | 基本的要件 | 基本的要件 | 電子カルテでMicrosoft®社（以下MS）のEXCEL®（以下EXCEL）WORD®（以下WORD）形式のファイルを扱うことが可能なこと。対応するソフトについてはMS社以外の製品でも1製品以上動作保証されている電子カルテシステムであること |
| 1-1-15 | 基本的要件 | 基本的要件 | システム構成 | データセンターと病院間のネットワークが接続できない場合に備え、院内に参照用DBサーバを設置すること。 |
| 1-1-16 | 基本的要件 | 基本的要件 | システム構成 | データセンターと病院間のネットワークが接続できない場合に備え、院内にログオン等の認証関連機器を設置すること。 |
| 1-1-17 | 基本的要件 | 基本的要件 | システム構成 | サーバのディスク装置に関しては、すべてディスクアレイ方式を採用し、ディスク障害による業務の停止を防止すること。 |
| 1-1-18 | 基本的要件 | 基本的要件 | システム構成 | 全ての業務サーバに無停電電源装置を接続すること。 |
| 1-1-19 | 基本的要件 | 基本的要件 | システム構成 | 院内外のネットワークを通じてチーム医療、ネットワーク型医療を推進するために、可能な限り標準化技術に基づくプロダクトでシステムを構成すること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|------------------|------------------|-----------|--|
| 1-1-20 | 基本的要件 | 基本的要件 | ネットワーク | 回線は冗長化構成をとること。 |
| 1-1-21 | 基本的要件 | 基本的要件 | ネットワーク | メイン回線はレスポンスを確保する為、帯域を確保した専用線を使用すること。 |
| 1-1-22 | 基本的要件 | 基本的要件 | ネットワーク | バックアップ回線はベストエフォートなどの回線を利用することも可能とする。 |
| 1-1-23 | 基本的要件 | 基本的要件 | ネットワーク | 病院とデータセンター間でフレット網を利用する場合は、IPsec-VPNを利用してセキュリティ対策を実施すること。ただし、専用線を利用する場合には暗号化は不要とする。 |
| 1-1-24 | 基本的要件 | 基本的要件 | レスポンス | システムは、常に安定したレスポンスで稼働できるだけのシステム構成・容量であること。診療データは最低過去6年分と稼働後7年間分のデータを保存可能とする環境を用意すること。 |
| 1-1-25 | 基本的要件 | 基本的要件 | バックアップ | データバックアップは毎日必要であるが、バックアップ処理中も電子カルテシステムの中断を伴わない運用がとれること。 |
| 1-1-26 | 基本的要件 | 基本的要件 | セキュリティ | データセンター側の機器に対してウイルスソフトでセキュリティを確保すること。ウイルスパターンファイルは常に最新状態にする仕組みを提供すること。 |
| 1-1-27 | 基本的要件 | 基本的要件 | セキュリティ | 患者プライバシー保護に十分配慮した高度なセキュリティ機能を有すること。また、コンピュータウイルス等の脅威を避けるため、リモート操作による保守だけではなく、現地にて直接システム保守を行える体制をととのえること。 |
| 1-1-28 | 基本的要件 | 基本的要件 | セキュリティ | 改ざん防止、患者プライバシー保護に配慮した高度なセキュリティ機能を有すること。具体的には、改ざん防止を図るため、過去の修正箇所がわかるように「消し線」をかけ修正項目を表示し、履歴管理ができること。また、修正・削除された項目については画面上非表示にもできること。 |
| 1-1-29 | 基本的要件 | 基本的要件 | セキュリティ | 今回導入するシステムは、将来的に十分なセキュリティ機能を搭載することを条件に、外部ネットワークを通じて、異なる医療施設間における患者診療情報を交換を可能とする「標準形式による診療データの格納」を実現すること。 |
| 1-1-30 | 基本的要件 | 基本的要件 | 認証 | すべての業務システムは、特に指定の無い限り、ID・パスワードでログインできること。 |
| 1-1-31 | 基本的要件 | 基本的要件 | 認証 | パスワード設定後、一定の期間(概ね3ヶ月程度)変更されていない場合、画面上に警告を発する、またはログインを拒否する機能を有すること。 |
| 1-2 | データセンター要件 | データセンター要件 | | データセンター要件 |
| 1-2-1 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | クラウド基盤として広く使われている基盤を利用すること。クラウド基盤とは下記のようなものをさす。Eucalyptus,OpenStack,CloudStack,Wakame-vdc,Abiquo,OpenNebula,OpenQRM,Vmware |
| 1-2-2 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | JQAデータセンター安全対策適合証明を取得していること。 |
| 1-2-3 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 建物の環境性能評価CASBEEで最高ランク「Sランク」の評価を取得していること。 |
| 1-2-4 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 日本データセンター協会が定めるファシリティ基準項目に準拠していること。また、すべての評価項目でティアⅢ以上の評価を有していること。 |
| 1-2-5 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 第三者による監査報告書を提出できること。 |
| 1-2-6 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 日本情報処理開発協会(JIPDEC)が管理する、個人情報取り扱いに関する認定制度プライバシーマークを取得していること。 |
| 1-2-7 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 電力会社からの受電経路を2回線以上確保していること。例：「本線予備線2回線受電方式」等 |
| 1-2-8 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 電力会社からの給電が停止した場合でも、非常用発電設備が自動的に稼働し、電力を供給する仕組みが整っていること。 |
| 1-2-9 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター内の主要設備は、それぞれ冗長構成をとっていること。例：「非常用発電設備」「CVCF」「バッテリー」等 |
| 1-2-10 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 24時間365日安定した運用が可能であること。 |
| 1-2-11 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 24時間有人監視を実施していること。 |
| 1-2-12 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 有人受付、機械式入退管理のいずれの場合も認証履歴を取得し、定期的に履歴を検証して、不審な活動が無いことを確認すること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-----------|-----------|-----------|--|
| 1-2-13 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 建物、部屋に対する不正な物理的な侵入を抑制するため、侵入検知装置を導入すること。 |
| 1-2-14 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 医療情報が保存されるサーバ機器等への不正アクセスを防止するため、サーバラックの施錠管理、鍵管理が行われていること。 |
| 1-2-15 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 傍受、盗撮等の不正な行為を防止するため、部屋を区切る壁面、天井、床部分においては、十分な厚みを持たせ、監視カメラでの常時監視及び画像記録の保存、不正に取り付けられた装置の定期的な検出等の対策を施すこと。 |
| 1-2-16 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 自然災害、人的災害による損傷を避けるため、建物自体の防災対策を適切に実施すること。 |
| 1-2-17 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 大規模地震に備えた広域災害対策訓練を年1回以上実施していること。 |
| 1-2-18 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | ISO27001（情報セキュリティ）を取得していること。 |
| 1-2-19 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | ISO27017（クラウドサービスセキュリティ）を取得していること。 |
| 1-2-20 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | SOC2 Type2を取得していること。 |
| 1-2-21 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | FISC安全対策基準（金融情報システムにおけるシステム監査基準や安全対策基準）を取得していること。 |
| 1-2-22 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンターについてはCASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency) Sランクに準拠していること |
| 1-2-23 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンターの客観的評価として以下の認証を取得していること。 |
| 1-2-24 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | ISO9001（品質マネジメントシステム）を取得していること。 |
| 1-2-25 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | ISO14001（環境マネジメントシステム）を取得していること。 |
| 1-2-26 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | ISO/IEC20000（ITサービスマネジメント）を取得していること。 |
| 1-2-27 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | プライバシーマークを取得していること。 |
| 1-2-28 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 株式会社アイ・エス・レーティングによる情報セキュリティ格付で「AAAis」を取得していること。 |
| 1-2-29 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 医療情報を保存する情報処理システムを配置する場所としては、情報処理事業者の専有する建物、あるいは情報処理事業者が全体を専有するフロア、あるいは十分に安全性が確保された外部事業者のデータセンター内に設置された医療情報処理設備専用のサーバラックとすること。 |
| 1-2-30 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 医療情報を保管及び処理する施設を配置する部屋は他の業務を行う施設とは独立した部屋とすること。外部事業者のデータセンターにてサーバラックを利用する場合には、情報処理事業者専有のサーバラックとし、十分な強度を持ったサーバラックを選定し常時施錠すること。 |
| 1-2-31 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 部屋を区切る壁面、天井、床部分においては、傍受、盗撮等の不正な行為を防止するため、十分な厚みを持たせ、監視カメラでの常時監視及び画像記録の保存、不正に取り付けられた装置の定期的な検出等の対策を施すこと。 |
| 1-2-32 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 情報処理施設には、激しい地震の振動にも耐えられるように、免震構造（建物の振動を緩和する仕組）又は耐震構造（強い振動にも耐えうる頑強な構造）を採用した建物を利用すること。 |
| 1-2-33 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | サーバラームは建物の2階以上に設置すること。また、屋上からの漏水の危険がある最上階や、水使用設備が隣室または直上階にある場所は避けること。 |
| 1-2-34 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 情報システムを設置する場所には、停電や電力障害が生じた場合に電源を確保するための対策を講じること。 |
| 1-2-35 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 情報システムを設置する場所では、設置されている機器等による発熱を抑えるのに十分な容量の空調を提供すること。 |
| 1-2-36 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 重要な物理的セキュリティ境界に警備員を常駐させていること。 |
| 1-2-37 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 火災発生時の消火設備が情報処理システムに損傷を与えないよう配慮されていること。 |
| 1-2-38 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 情報伝送に用いるケーブル類については直接の傍受リスクについて配慮されていること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|---------------|--------------------|------------------------------------|--|
| 1-2-39 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | セキュリティゲートウェイ（ネットワーク境界に設置したファイアウォール、ルータ）において、接続先の限定、接続時間の限定等、確立されたポリシーに基づいて各ネットワークインタフェースのアクセス制御を行うこと。 |
| 1-2-40 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | 情報処理システムへ不正な IP アドレスを持つトラフィックが通過できないように設定すること（接続機器類のIP アドレスをプライベートアドレスとして設定して、ファイアウォール、VPN 装置等のセキュリティゲートウェイを通過しようとするトラフィックをIP アドレスベースで制御する等） |
| 1-2-41 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンター要件 | データセンターに接続するネットワークルータについてはあらかじめ設定されたネットワークポート間の接続のみに通信が制限されていること。 |
| 1-3 | 3原則の遵守 | 3原則の遵守 | | 3原則の遵守 |
| * | 3原則の遵守 | 3原則の遵守 (概要) | | 厚生労働省の電子保存に関する3原則を満たすシステムであること。以下に真正性、見読性、保存性を遵守するためにどのような技術的対応が可能か回答すること。 |
| 1-3-1 | 3原則の遵守 | 真正性 | | 真正性 |
| 1-3-1-1 | 3原則の遵守 | 真正性 | 作成責任者の識別及び認証 | システムは、利用者IDや各種カード等とパスワードの組み合わせなどで、その操作を行う者を識別して認証すること。 |
| 1-3-1-2 | 3原則の遵守 | 真正性 | 確定操作 | 情報の保存タイミングを制御するために確定操作ができること。 |
| 1-3-1-3 | 3原則の遵守 | 真正性 | 識別情報の記録 | 確定操作を行った利用者の識別情報を保存情報に付加できること。 |
| 1-3-1-4 | 3原則の遵守 | 真正性 | 更新履歴の保存 | システムは更新履歴の保存ができること。また、データを保持するだけでなく、必要に応じて更新情報を参照できること。 |
| 1-3-1-5 | 3原則の遵守 | 真正性 | 使用する機器、ソフトウェアに起因する虚偽入力、書き換え・消去及び混同 | 使用する機器あるいはソフトウェアに起因する虚偽入力、書き換え・消去及び混同の防止策が講じられていること。 |
| 1-3-1-6 | 3原則の遵守 | 真正性 | 故意による虚偽入力、書き換え・消去及び混同の防止 | 故意による虚偽入力、書き換え・消去及び混同の防止策が講じられていること。 |
| 1-3-1-7 | 3原則の遵守 | 真正性 | スクリーンセーバ | スクリーンセーバの解除については、電子カルテシステムで規定された正式な手順（利用者IDとパスワードの入力など）のみとし、その他の手順で解除できないこと。 |
| 1-3-2 | 3原則の遵守 | 見読性 | | 見読性 |
| 1-3-2-1 | 3原則の遵守 | 見読性 | 情報の所在管理 | システムは、分散保存された情報の関連付けができること。 |
| 1-3-2-2 | 3原則の遵守 | 見読性 | 見読化手段の管理 | 保存されている診療情報を見読できること。 |
| 1-3-2-3 | 3原則の遵守 | 見読性 | 情報区分管理 | システムは、情報の区分を設定できるとともに、その区分に応じたアクセス権等を設定できること。 |
| 1-3-2-4 | 3原則の遵守 | 見読性 | 利用者管理 | 診療情報を扱う利用者を管理できること。 |
| 1-3-3 | 3原則の遵守 | 保存性 | | 保存性 |
| 1-3-3-1 | 3原則の遵守 | 保存性 | 媒体の劣化対策 | システムで利用する保存媒体の保証された保存可能期間が診療録及び診療諸記録の法的保存義務年限より短い場合は新たな媒体に複写できること。 |
| 1-3-3-2 | 3原則の遵守 | 保存性 | ソフトウェア・機器・媒体の管理 | 不適切なソフトウェアによる情報の破壊・混同をおこさないためにソフトウェア・機器・媒体の管理が適切におこなわれていること。 |
| 1-3-3-3 | 3原則の遵守 | 保存性 | 継続性の確保 | システムの変更に際して以前のシステムで蓄積した情報の継続的利用を図るための対策が講じられていること。 |
| 1-3-3-4 | 3原則の遵守 | 保存性 | 情報保護機能 | 故意又は過失による情報の破壊が起こらないための機能を備えていること。また破壊が起こった場合に回復できること。 |
| 1-4 | 実績 | | | 導入実績 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-----------------|----------------|----------------|---------|--|
| 1-4-1 | 実績 | 実績 | 実績 | 同一ベンダーにて2023年時点で400床以上の病院において10以上の稼働実績があること。 |
| 1-4-2 | 実績 | 実績 | 実績 | 提案するソフトウェアは、提案時点で製品化されていること。 |
| 1-4-3 | 実績 | 実績 | 実績 | カルテ開示、地域連携、情報共有等の観点から、「診療録の電子保存」に関する厚生労働省の三原則に対応した同一ベンダーの電子カルテパッケージシステムを近隣県内の市立病院または準ずる病院(当院と同規模以上)で稼働実績のあること。また、実績を有する病院名を明示すること。 |
| 1-4-4 | 実績 | 実績 | 実績 | 提案するシステムは、医療機関(病院)において、外来・病棟・全診療科の電子カルテシステムとして稼働している実績を有すること。 |
| 1-4-5 | 実績 | 実績 | 実績 | 今回提案する電子カルテシステムは、今回調達する主要な部門システムと連携した稼働実績を有すること。 |
| 1-4-6 | 実績 | 実績 | 実績 | 基幹となるシステム(電子カルテ、オーダリング、医事、看護、その他カルテ機能に直接関わるシステム群)は提案ベンダーで開発され実績あるパッケージ製品であること。その他のシステムについてもデータ連携のシームレス化を容易にする為、提案ベンダーのパッケージ製品であることが望ましい。 |
| 1-5 | レセ電とDPC | レセ電とDPC | | レセプト電算とDPC対応 |
| 1-5-1 | レセ電とDPC | レセ電とDPC | レセ電とDPC | 電子レセプト請求及びレセプトのチェックができること。 |
| 1-5-2 | レセ電とDPC | レセ電とDPC | レセ電とDPC | レセプト電算にも対応できるシステムとすること。また、DPCにおいては、既に稼働実績のあるシステムを提供できること。 |
| 1-5-3 | レセ電とDPC | レセ電とDPC | レセ電とDPC | 今回提案する電子カルテシステム及び医事会計システムは包括評価(DPC)に対応した実績を有すること。 |
| 1-6 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | | 情報の一元化 |
| 1-6-1 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 医師・看護師・その他患者に関わる病院スタッフが情報共有できるよう、電子カルテシステム・オーダリングシステム・看護支援システムはデータベース・サーバが一体化したものであること。 |
| 1-6-2 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 医師・看護師・その他患者に関わる病院スタッフが情報共有できるよう、電子カルテシステム(オーダリング機能/看護支援機能含む)は1患者のカルテを複数の場所から同時に参照・入力できること。 |
| 1-6-3 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 複数の利用者が同時に1人の患者のカルテにアクセスした際に、安全性を考慮して、機能毎に排他処理が行えるシステムであること。 |
| 1-7 | 機能の一体化 | 機能の一体化 | | 機能の一体化 |
| 1-7-1 | 機能の一体化 | 機能の一体化 | 機能の一体化 | 指示の実施入力や変更/中止指示をリアルタイムに伝達できるように、電子カルテシステムに医師や看護師からの指示を実施できること。実施機能は、実施機能により、注射や処置のコスト送信と実施記録の作成を自動でできること。また、各検査や手術の受付及び実施入力を電子カルテシステムの機能として提供し、病院業務の効率化と安全性、コストバランスを考慮した提案をすること。 |
| 1-7-2 | 機能の一体化 | 機能の一体化 | 機能の一体化 | クリニカルパスシステムは電子カルテシステム上の一機能として動作し、院内スタッフが共有できるよう、電子カルテが作動する全ての端末で利用できること。 |
| 1-8 | ユーザ会 | ユーザ会 | | ユーザ会 |
| 1-8-1 | ユーザ会 | ユーザ会 | ユーザ会 | 全国レベルのユーザ会があり、広くユーザからの意見を聞く体制を確立していること。 |
| 1-8-2 | ユーザ会 | ユーザ会 | ユーザ会 | ユーザ会において年1回の総会その他、ユーザ間で意見交換ができるイベントやセミナーを年複数回開催していること。また、その実績について具体的に示すこと。 |
| 1-8-3 | ユーザ会 | ユーザ会 | ユーザ会 | ユーザ会が管理するInternet上のWebサイトで、ユーザ同士で文書やテンプレート等コンテンツを共有できる場があること。 |
| 1-9 | 標準適用 | 標準適用 | | 標準適用 |
| 1-9-1 | 標準適用 | 標準適用 | 標準適用 | 稼働後のメンテナンスを考慮して、パッケージソフトの標準適用を基本としたシステム構築を行うこと。 |
| 1-9-2 | 標準適用 | 標準適用 | 標準適用 | 電子カルテシステムサーバが導入されるまで、仮のデモシステムを常設し、打ちあわせ等で画面を見ながら運用検討を行える環境を整えること。 |
| 1-9-3 | 標準適用 | 標準適用 | 標準適用 | 円滑なシステム稼働を実現する為に、他病院において電子カルテシステム導入経験のあるSEによる開発導入体制を整備すること。また、主として担当するSEは医療情報技師資格を有すること。 |
| 2章 電子カルテ | | | | |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|-----------------|----------|---|
| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
| 2-1 | 基本機能 | | | 基本機能 |
| 2-1-1 | 基本機能 | 情報の一元化 | | 情報の一元化 |
| 2-1-1-1 | 基本機能 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 医師・看護師・その他患者に関わる病院スタッフが情報共有できるよう、電子カルテシステム・オーダリングシステム・看護支援システムはデータベース・サーバが一体化したものであること。 |
| 2-1-1-2 | 基本機能 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 医師・看護師・その他患者に関わる病院スタッフが情報共有できるよう、電子カルテシステム(オーダリング機能/看護師援機能含む)は1患者のカルテを複数の場所から同時に参照・入力できること。 |
| 2-1-1-3 | 基本機能 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 複数の利用者が同時に1人の患者のカルテにアクセスした際に、安全性を考慮して、機能毎に排他処理を設定できるシステムであること。 |
| 2-1-1-4 | 基本機能 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 複数の端末で同一患者を開いた際、誰が使用中か警告メッセージが表示されること。また、この際にも最低限の制限を除いては利用できること。 |
| 2-1-1-5 | 基本機能 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | 指示の実入力や変更/中止指示をリアルタイムに伝達できるように、電子カルテシステムに医師や看護師からの指示を実施できること。実施機能は、実入力により注射や処置のコスト送信と実施記録の作成を同時に行えること。 |
| 2-1-1-6 | 基本機能 | 情報の一元化 | 情報の一元化 | クリニカルパスシステムは電子カルテシステム上の一機能として動作し、院内スタッフが共有できるよう、電子カルテが動作する全ての端末で利用できること。 |
| 2-1-2 | 基本機能 | セキュリティ機能 | | セキュリティ機能 |
| 2-1-2-1 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者認証 | 電子カルテシステムを利用する際、利用者ID及びパスワードのチェックを行い、利用者を認証できること。 |
| 2-1-2-2 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者認証 | 利用者パスワードの有効期限チェック、利用者の開始日・終了日の設定とチェックができること。 |
| 2-1-2-3 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者認証 | 利用者パスワードの有効期限が切れた場合は、利用者自身がパスワードを変更することで継続して利用できること。 |
| 2-1-2-4 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者認証 | パスワードは利用者以外に知られないようにするため、暗号化してサーバで保存されること。 |
| 2-1-2-5 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者認証 | 利用者認証時は、入力間違い等による再入力のリトライ回数を設定でき、設定されたリトライ回数を越えて入力を間違った場合は自動的に電子カルテシステムを終了できること。 |
| 2-1-2-6 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | 電子カルテシステムを一定時間操作しない場合には、スクリーンセーバが起動すること。このスクリーンセーバ機能はセキュリティの観点からOSが本来有する機能などでは無く、電子カルテシステム固有の機能として提案すること。 |
| 2-1-2-7 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | スクリーンセーバが起動されるまでの時間については、マスタで自由に設定できること。 |
| 2-1-2-8 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | スクリーンセーバ起動時には、端末使用中の利用者名を用い「誰々が使用中」と表示されること。 |
| 2-1-2-9 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | 電子カルテシステム利用者が一時離席する際に、能動的に電子カルテシステムよりスクリーンセーバを起動できること。 |
| 2-1-2-10 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | スクリーンセーバ起動後、一定時間操作がなかった場合には、システムを強制終了できること。 |
| 2-1-2-11 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | スクリーンセーバ起動後、一定時間経過した際、自動でログオフができること。 |
| 2-1-2-12 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | スクリーンセーバ起動中のパソコンについては、強制ログオフができること。 |
| 2-1-2-13 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | 端末単位でスクリーンセーバ機能利用のON/OFFやスクリーンセーバ起動までの時間を設定できること。 |
| 2-1-2-14 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | ログインしたまま一定時間端末を使用しないときにシステムを強制終了させるかどうかをマスタで設定できること。 |
| 2-1-2-15 | 基本機能 | セキュリティ機能 | スクリーンセーバ | スクリーンセーバの解除については、電子カルテシステムで規定された正式な手順（利用者IDとパスワードの入力など）のみとし、他の手順で解除できないこと。 |
| 2-1-2-16 | 基本機能 | セキュリティ機能 | ログ管理 | 電子カルテシステムでの不正ログインの監視ができること。 |
| 2-1-2-17 | 基本機能 | セキュリティ機能 | ログ管理 | カルテ参照などの不正閲覧を監視できること。 |
| 2-1-2-18 | 基本機能 | セキュリティ機能 | ログ管理 | アクセス制限が設定されている患者に対する不正アクセスの監視ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|------|----------|--------|---|
| 2-1-2-19 | 基本機能 | セキュリティ機能 | ログ管理 | カルテ記載機能、オーダ機能、看護機能など電子カルテシステムにおける利用者の操作履歴を確認できること。 |
| 2-1-2-20 | 基本機能 | セキュリティ機能 | ログ管理 | 職員のカルテに他の職員が不正アクセスをしていないかどうか、カルテ参照履歴を確認できること。 |
| 2-1-2-21 | 基本機能 | セキュリティ機能 | ログ管理 | カルテ情報の印刷やファイル保存をした利用者のログ管理ができること。 |
| 2-1-2-22 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者の権限に応じた、カルテ入力やオーダ発行、使用できる機能の制限、参照可能な情報の限定ができるセキュリティ/プライバシーに十分考慮したシステムであること。 |
| 2-1-2-23 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者IDの使用期限設定については使用開始日、使用終了日の設定ができること。 |
| 2-1-2-24 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者IDのパスワードについてはセキュリティを考慮してパスワード有効期限を設定でき、有効期限が切れた場合は利用者に対しパスワード変更を促せること。 |
| 2-1-2-25 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者パスワードは英数字、記号文字を組み合わせて対応していること。 |
| 2-1-2-26 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 各種権限(下記45項～47項)については利用者毎に設定できること。また、職種単位での設定にも対応できること。 |
| 2-1-2-27 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者毎にカルテ内容の記載や修正、オーダ発行権限を設定できること。 |
| 2-1-2-28 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者毎に各種オーダの発行権限や参照権限を設定できること。 |
| 2-1-2-29 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者毎に各患者基本情報の項目毎の記述、修正可否権限を設定できること。 |
| 2-1-2-30 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 電子カルテシステムのコメディカル機能(薬剤モニタシステムやリハビリ・手術部門システムなど)について、職種別に使用できる機能を設定できること。 |
| 2-1-2-31 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 運用性を考慮し、管理者が利用者権限を変更した場合は、該当利用者の次回ログイン時から有効となること。 |
| 2-1-2-32 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 利用者権限 | 利用者がログイン後に自動的に開く患者一覧画面を、外来と入院でそれぞれ利用者ごとに利用者自身が指定できること。利用者の指定がない場合、予め共通設定された患者一覧画面を自動的に開くこと。共通設定も外来と入院で指定できること。 |
| 2-1-2-33 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 医師の不在時にオーダ発行を可能とするため、事前に利用者の権限を他の利用者に委譲できること。権限を委譲してオーダ発行した場合、「だれが・だれに権限を委譲されたか」記録として残すこと。 |
| 2-1-2-34 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 利用者権限を委譲する場合、権限委譲先となる利用者ID毎に委譲期間の設定ができること。 |
| 2-1-2-35 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 権限委譲された利用者が行ったカルテ記載、オーダ発行した内容について、権限を委譲した利用者はその記載内容を表示し確認することができること。それらの記録は表示、確認したことで「未承認」から「承認」状態にステータスが遷移すること。また、承認が必要な記載に関してはカルテ歴上で状態ステータス(承認済、未承認)を確認できること。 |
| 2-1-2-36 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 権限委譲されたカルテ、オーダの承認について、記載内容やオーダ内容が1画面上で確認でき、そのまま承認できること。 |
| 2-1-2-37 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 権限委譲されたカルテ、オーダの承認について、複数患者の複数の記載をまとめて表示し、まとめて一括で承認できること。 |
| 2-1-2-38 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 権限委譲してパスを適用した場合、患者に適用されたパスを承認することで、パスから発行された全ての記録、オーダをまとめて承認できること。 |
| 2-1-2-39 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 権限委譲されたカルテ記載、オーダ内容に対し、文書種別をもとに絞込んで一覧表示できること。 |
| 2-1-2-40 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 権限委譲機能 | 権限委譲されたカルテ記載、オーダ内容に対し、実施予定日をもとに絞込んで一覧表示できること。 |
| 2-1-2-41 | 基本機能 | セキュリティ機能 | VIP機能 | 利用者毎のカルテデータへのアクセス制限は制限レベルの設定(アクセス不可、パスワード入力など)ができること。 |
| 2-1-2-42 | 基本機能 | セキュリティ機能 | VIP機能 | 利用者毎のカルテデータへのアクセス制限は権限レベルの設定(参照のみ許可、記載も許可など)ができること。 |
| 2-1-2-43 | 基本機能 | セキュリティ機能 | VIP機能 | 患者毎にカルテデータへのアクセス制限をかけられること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|----------------|----------|---|
| 2-1-2-44 | 基本機能 | セキュリティ機能 | VIP機能 | 患者毎のカルテデータへのアクセス制限では、アクセス不可、アクセスにはパスワード要(参照のみ可、参照更新可)という制限レベルを設定できること。 |
| 2-1-2-45 | 基本機能 | セキュリティ機能 | VIP機能 | 患者毎のカルテデータへのアクセス制限は利用者の権限に応じてレベルを設定できること。 |
| 2-1-2-46 | 基本機能 | セキュリティ機能 | VIP機能 | 患者毎のカルテデータの記載のアクセス制限を利用者全体、診療科単位、職種単位で制限(参照の禁止、入力禁止設定)をかけることができること。 |
| 2-1-2-47 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 制限患者 | 救急時等の患者状態により、複数IDを持つ患者が存在する。情報を統合するために、複数IDを持つ患者のIDを統合できること。 |
| 2-1-2-48 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 制限患者 | 患者IDの統合後に統合後の診療録と統合前の診療録を同時に開けること。 |
| 2-1-2-49 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 制限患者 | 上記に加え、統合前の診療録から統合後の診療録にオーガなどの記載内容をコピーできること。 |
| 2-1-2-50 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 制限患者 | 上記操作を行うにあたり、一方のカルテを書き込めないよう参照のみに設定できること。 |
| 2-1-2-51 | 基本機能 | セキュリティ機能 | 制限患者 | 制限患者のカルテを開く場合はその都度パスワードを入力しないと開くことができないこと。利用者がログオン後に複数回制限患者のカルテを開いたり閉じたりする場合もその都度パスワードを入力しないと開くことができないこと。 |
| 2-1-2-52 | 基本機能 | セキュリティ機能 | カウンターサイン | 当院では研修医の受け入れを行っているため、記録、指示の責任を明確にする必要がある。研修医がカルテを記載する際には指導医を指定でき、カウンターサインの運用ができること。 |
| 2-1-2-53 | 基本機能 | セキュリティ機能 | カウンターサイン | 指導医を選択した場合の詳細機能については後述するカウンターサイン仕様を満たすこと。 |
| 2-1-3 | 基本機能 | 院内掲示板 | | 院内掲示板 |
| 2-1-3-1 | 基本機能 | 院内掲示板 | 院内掲示板 | 電子カルテの初画面に院内の連絡事項などを表示できること。 |
| 2-1-3-2 | 基本機能 | 院内掲示板 | 院内掲示板 | 電子カルテシステムの「院内掲示板」はHTMLで定義した画面を表示できること。 |
| 2-1-4 | 基本機能 | 利用者ログイン | | 利用者ログイン |
| 2-1-4-1 | 基本機能 | 利用者ログイン | 利用者ログイン | 電子カルテシステムを利用する際、利用者ID及びパスワードのチェックを行い、利用者を認証できること。 |
| 2-1-4-2 | 基本機能 | 利用者ログイン | 利用者ログイン | 利用者パスワードの有効期限チェック、利用者の開始日・終了日の設定とチェックができること。 |
| 2-1-4-3 | 基本機能 | 利用者ログイン | 利用者ログイン | パスワードは利用者以外に知られないようにするため、暗号化してサーバに保存されること。 |
| 2-1-4-4 | 基本機能 | 利用者ログイン | 利用者ログイン | 利用者認証はリトライ回数を越えて間違った場合は自動的に電子カルテシステムが終了すること。 |
| 2-1-4-5 | 基本機能 | 利用者ログイン | 利用者ログイン | 利用者認証のリトライ回数は当院で任意に設定が行えること。 |
| 2-1-4-6 | 基本機能 | 利用者ログイン | 利用者ログイン | 不正利用防止のため、電子カルテシステムにログイン後、利用者自身が前回電子カルテにアクセスした日時と端末、パスワードの有効期限と残日数をいつでも確認できること。 |
| 2-1-5 | 基本機能 | 利用者変更 | | 利用者変更 |
| 2-1-5-1 | 基本機能 | 利用者変更 | 利用者変更 | 利用者情報入力の運用を正確かつ簡便にするため、現在、ログイン中の利用者が開いている患者のカルテを閉じずに別の利用者がログインしカルテ記載できること。 |
| 2-1-5-2 | 基本機能 | 利用者変更 | 利用者変更 | ログオフせずに利用者を変更してログインする際にも、利用者IDの存在チェック/利用者パスワードの照合チェック/利用者パスワードの有効期限チェックができること。 |
| 2-1-6 | 基本機能 | お気に入り追加 | | お気に入り追加 |
| 2-1-6-1 | 基本機能 | お気に入り追加 | お気に入り追加 | 利用者毎に各種ツール(処方オーガツール、検査オーガツール、各種受付業務ツールなど)を起動するメニューの作成ができること。 |
| 2-1-6-2 | 基本機能 | お気に入り追加 | お気に入り追加 | 専用ツールにおける選択画面を介さずに利用者がよく利用する院内文書、テンプレート、シエマ、セットを直接起動できること。 |
| 2-1-6-3 | 基本機能 | お気に入り追加 | お気に入り追加 | 業務上よく利用するツールの起動メニューを、診療科や職種単位のお気に入りセットとして病院共通のお気に入りとして登録、利用できること。 |
| 2-1-6-4 | 基本機能 | お気に入り追加 | お気に入り追加 | 病院共通のお気に入りセットは、利用者ならびに管理者が業務や職種に応じて自由に選択することができること。 また、選択したお気に入りセットは一括で自分のお気に入りとして反映されること。 |
| 2-1-7 | 基本機能 | 利用者ポータル | | 利用者ポータル |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|----------------|----------------|---|
| 2-1-7-1 | 基本機能 | 利用者ポータル | | 利用者通知機能 |
| 2-1-7-1-1 | 基本機能 | 利用者ポータル | 利用者通知機能 | 該当利用者が発行した検査オーダーの結果など、新着情報の到着通知をポップアップにて利用者に通知できること。 |
| 2-1-7-1-2 | 基本機能 | 利用者ポータル | 利用者通知機能 | 新着情報の到着通知は、検査結果、レポート、未承認オーダー、未作成サマリー、未承認サマリーのの中から通知対象にする文書を選択できること。 |
| 2-1-7-1-3 | 基本機能 | 利用者ポータル | 利用者通知機能 | ポップアップ表示をクリックすることにより、利用者ポータル画面が表示されること。 |
| 2-1-7-2 | 基本機能 | 利用者ポータル | 各一覧表示機能 | 各一覧表示機能 |
| 2-1-7-2-1 | 基本機能 | 利用者ポータル | 各一覧表示機能 | システムにログインしている利用者が発行したオーダーの検査結果一覧、レポート一覧、未承認一覧、未作成サマリー、未承認サマリーの一覧が表示できる専用画面を有すること。 |
| 2-1-7-2-2 | 基本機能 | 利用者ポータル | 各一覧表示機能 | 上記画面にて各種ツールのリンクボタンを利用者毎に登録することができること。 |
| 2-1-8 | 基本機能 | 患者選択 | | 患者選択 |
| 2-1-8-1 | 基本機能 | 患者選択 | 患者選択基本機能 | 同一端末上で同一利用者が、最大5人まで患者のカルテを同時に開くことができること。 |
| 2-1-8-2 | 基本機能 | 患者選択 | 患者選択基本機能 | 同時にカルテを開いている患者は氏名を一覧で表示し、患者氏名をクリックすることでカルテの切り替えを行えること。 |
| 2-1-8-3 | 基本機能 | 患者選択 | 患者選択基本機能 | 患者の取り違い防止のため、ある患者から別の患者に切り替えた場合は、元の患者のカルテ画面は非表示とし、Alt+Tabなどの一般的な画面切り替え操作を行っても表示されないこと。 |
| 2-1-8-4 | 基本機能 | 患者選択 | 患者選択基本機能 | 患者の取り違い防止のため、同時にカルテを開いている患者ごとに電子カルテの画面の色を変更すること。 |
| 2-1-8-5 | 基本機能 | 患者選択 | 患者選択基本機能 | 同時にカルテを開いている患者は、全て更新モードで開くことができ、診療録の記載やオーダー発行、患者プロフィールの更新ができること。 |
| 2-1-9 | 基本機能 | メニュー選択 | | メニュー選択 |
| 2-1-9-1 | 基本機能 | メニュー選択 | メニュー選択 | 電子カルテシステムが持つ機能を集約したメニュー画面があること。このメニュー画面から機能をお気に入りに登録できること。 |
| 2-1-9-2 | 基本機能 | メニュー選択 | メニュー選択 | 電子カルテの機能名称の一部一致で該当する機能を検索することができること。検索結果を表示した画面から該当機能を起動できること。 |
| 2-2 | 外来業務 | (機能概要) | | 外来業務 |
| * | 外来業務 | (機能概要) | | 外来業務で使用する機能は患者の来院から離院までの導線を十分に考慮して、効率的且つ安全性の高い機能であること。 以下の業務毎の機能要件を満たすこと。 |
| 2-2-1 | 外来業務 | ブロック受付 | | ブロック受付 |
| * | 外来業務 | ブロック受付 | (業務概要) | ブロック受付では、当日の患者の予約や来院状況が一覧で把握できること。また、ブロックで患者の到着確認を行い、本日の診察スケジュールを把握し、誘導できるよう以下の機能要件を満たすこと。 |
| 2-2-1-1 | 外来業務 | ブロック受付 | | ブロック受付機能 |
| 2-2-1-1-1 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 患者の予約、受付に関する情報を表示できること。 |
| 2-2-1-1-2 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 患者の基本情報(氏名・性別・住所・障害の有無等)、現在の診察ステータス、紹介情報、予約時間、来院時間、予約に関するコメント等を表示できること。 |
| 2-2-1-1-3 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 患者の診察ステータスを把握し、効率的な誘導ができるように、「未受付、来院済、問診中、問診済、到着済、診察中、診察終了、診察一時中断、会計済」などの診察ステータスを自動的に更新し、表示できること。 |
| 2-2-1-1-4 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 患者の誘導を正確に実施するために、診察ステータスの変更を手動でもできること。 |
| 2-2-1-1-5 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 部門システムと連携し、検体検査、放射線、生理、内視鏡検査といった各種検査結果の状態(未実施、実施済等)を自動更新し、一覧上で表示できること。また、検体検査については、至急など一部の結果が到着した場合でもステータスを自動更新でき、結果到着が確認できること。 |
| 2-2-1-1-6 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 検査予約のみの患者についても表示できること。また、検査のみの患者を含む検索と含まない検索、検査のみの患者の検索を画面上で切り替えできること。 |
| 2-2-1-1-7 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 検査予約のみの検索の場合は、検査種別によって絞り込みができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|----------|---|
| 2-2-1-1-8 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | ブロック受付機能として患者到着確認ができること。 |
| 2-2-1-1-9 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | カルテを開かなくても保険情報の変更ができること。 |
| 2-2-1-1-10 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付一覧からカルテを開くことができること。 |
| 2-2-1-1-11 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付ブロック毎に検索条件(日付・診療科・ブロック毎の全予約枠・患者の診察ステータス)を設定し、表示内容の絞り込みができること。 |
| 2-2-1-1-12 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付一覧項目の任意の項目でソートできること。 |
| 2-2-1-1-13 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 利用者毎に受付一覧表示の検索条件を保存できること。 |
| 2-2-1-1-14 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | カードリーダー入力(患者IDカード)によってカルテを表示できること。 |
| 2-2-1-1-15 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 患者ID番号直接入力によるカルテ表示ができること。 |
| 2-2-1-1-16 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付一覧の印刷ができること。 |
| 2-2-1-1-17 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付一覧をファイル出力できること。 |
| 2-2-1-1-18 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 患者基本スケジュール(当日の診察スケジュール)の印刷ができること。 |
| 2-2-1-1-19 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 診察予約、検査予約など予約の存在するオーダについては、受付一覧から予約票の印刷ができること。 |
| 2-2-1-1-20 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付一覧に表示する項目は、任意で表示項目を選択できること。 |
| 2-2-1-1-21 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 救急患者一覧は任意の項目でソートできること。また、最新表示してもソートした表示順が保持できること。 |
| 2-2-1-1-22 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付一覧に特記事項/スタッフ間の連絡事項の有無をアイコンにて表示できること。 |
| 2-2-1-1-23 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 上記特記事項/スタッフ間の連絡事項の詳細画面を参照起動できること。 |
| 2-2-1-1-24 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 併科受診の有無を確認できること。 |
| 2-2-1-1-25 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受診歴を表示できること。 |
| 2-2-1-1-26 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付患者一覧において印刷内容の設定ができること。 |
| 2-2-1-1-27 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 初診、科初診、再診患者の人数を集計し表示できること。 |
| 2-2-1-1-28 | 外来業務 | ブロック受付 | ブロック受付機能 | 受付患者一覧に患者プロフィール情報として、障害情報(聴覚・視覚・運動・言語)、介護区分を含めて10個以上表示できること。 |
| 2-2-1-2 | 外来業務 | ブロック受付 | | 予約患者一覧 |
| 2-2-1-2-1 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 患者の予約情報を表示できること。 |
| 2-2-1-2-2 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 患者の基本情報を表示できること。 |
| 2-2-1-2-3 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 予約患者一覧の期間、予約の種別(診療科、検査等)による検索及び表示ができること。 |
| 2-2-1-2-4 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 同時に検索する条件として予約の種別を複数指定できること。 |
| 2-2-1-2-5 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 予約患者一覧での検索を効率良くするため、一度検索を行った検索条件の保存ができること。 |
| 2-2-1-2-6 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 予約患者一覧の検索条件を利用者の操作により、初期設定の検索条件に戻せること。 |
| 2-2-1-2-7 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 利用者毎に保存された予約患者一覧の検索条件が利用者の操作により、削除できること。 |
| 2-2-1-2-8 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 予約患者一覧から該当患者のカルテを開くことができること。 |
| 2-2-1-2-9 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | カードリーダーで診察券(患者IDカード)を読み込ませることによって、該当患者のカルテを表示できること。 |
| 2-2-1-2-10 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 患者ID番号を直接入力することによって、患者カルテを表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|----------|--|
| 2-2-1-2-11 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 予約患者一覧の印刷ができること。 |
| 2-2-1-2-12 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 予約患者一覧に表示されている情報をCSV形式のファイルに出力できること。 |
| 2-2-1-2-13 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 患者の状態を素早く把握するために、予約患者一覧からカルテを開かずに一画面で患者状態を把握できるポータル画面(プロフィール、病名、検査結果、レポート、カルテ記載、予約状況等)を参照できること。その場合、一覧上に表示されている患者をワンクリックで切り替えて連続参照できること。 |
| 2-2-1-2-14 | 外来業務 | ブロック受付 | 予約患者一覧 | 予約患者一覧は一定時間で自動的に表示を最新化できること。また、自動最新化を画面上で任意に停止することもできること。 |
| 2-2-1-3 | 外来業務 | ブロック受付 | | カナ患者検索 |
| 2-2-1-3-1 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ氏名、性別、生年月日による患者検索及び検索条件に該当する患者一覧を表示できること。 |
| 2-2-1-3-2 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ氏名の前方一致、部分一致による検索ができること。 |
| 2-2-1-3-3 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ氏名の検索の際、大文字、小文字を含めた検索ができること。 |
| 2-2-1-3-4 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | 検索条件に該当する患者情報などの表示ができること。 |
| 2-2-1-3-5 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ患者一覧の検索条件を利用者毎に保存できること。 |
| 2-2-1-3-6 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ患者一覧の検索条件を利用者の操作により、初期設定の検索条件に戻せること。 |
| 2-2-1-3-7 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | 利用者毎に保存されたカナ患者一覧の検索条件を利用者の操作により削除できること。 |
| 2-2-1-3-8 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ患者一覧からカルテを開くことができること。 |
| 2-2-1-3-9 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カードリーダーで診察券(患者IDカード)を読み込ませることによって、該当患者のカルテを表示できること。 |
| 2-2-1-3-10 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | 患者ID番号直接入力による患者カルテ表示ができること。 |
| 2-2-1-3-11 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ患者一覧の印刷ができること。 |
| 2-2-1-3-12 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナ患者一覧に表示されている情報をCSV形式のファイルに出力ができること。 |
| 2-2-1-3-13 | 外来業務 | ブロック受付 | カナ患者検索 | カナが不明な場合を考慮し、漢字でも検索ができること。 |
| 2-2-1-4 | 外来業務 | ブロック受付 | | 診察振り分け機能 |
| 2-2-1-4-1 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 外来業務の効率化のために、当日予約の患者や初診、初療の患者を診察室へ振り分ける機能を有すること。また、外来混雑時にある診察室へ振り分けていた患者を別の診察室へ振り分け、予約変更する機能であること。なお、振り分けた患者を一覧表示できること。 |
| 2-2-1-4-2 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 各ブロックにおける受付情報を表示できること。 |
| 2-2-1-4-3 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 各ブロックに属する予約枠毎の状況を表示できること。 |
| 2-2-1-4-4 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 各ブロックにて受付患者の診察振り分けができること。 |
| 2-2-1-4-5 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 診察振り分けを行う際に直近の予約情報を自動的に取得できること。 |
| 2-2-1-4-6 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 患者の診察ステータスを把握し、効率的な誘導ができるように、「未受付、来院済、問診中、問診済、到着済、診察中、診察終了、診察一時中断、会計済」などの診察ステータスを自動的に更新し、表示できること。 |
| 2-2-1-4-7 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 患者の誘導を正確に実施するために、診察ステータスの変更ができること。 |
| 2-2-1-4-8 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | ブロック受付機能として患者到着確認ができること。 |
| 2-2-1-4-9 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 受付一覧から該当患者のカルテを開くことができること。 |
| 2-2-1-4-10 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | カードリーダー入力(患者IDカード)によってカルテを表示できること。 |
| 2-2-1-4-11 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振り分け機能 | 患者ID番号直接入力によるカルテ表示ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|---------------|---|
| 2-2-1-4-12 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 受付ブロック、予約枠による検索ができること。 |
| 2-2-1-4-13 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 検索条件を利用者毎に保存できること。 |
| 2-2-1-4-14 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 検索条件を利用者の操作により、初期設定の検索条件に戻せること。 |
| 2-2-1-4-15 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 利用者毎に保存された検索条件を利用者の操作により、削除できること。 |
| 2-2-1-4-16 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 患者基本スケジュール(当日の診察スケジュール)の印刷ができること。 |
| 2-2-1-4-17 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 振分対象日付を選択できること。 |
| 2-2-1-4-18 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 振分先診察枠の進捗ステータス別人数表示ができること。 |
| 2-2-1-4-19 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | ブロック受付等で医師の患者数に応じた振り分けができること。具体的には、画面上でドラッグ&ドロップで簡単に患者を別の医師の枠に移動できること。 |
| 2-2-1-4-20 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 予約患者は予約オーダ情報と連携し、予め各診察医ごとに予約表示されること。 |
| 2-2-1-4-21 | 外来業務 | ブロック受付 | 診察振分け機能 | 振分先診察枠の人数把握のため、患者の一覧表示ができること。 |
| 2-2-1-5 | 外来業務 | ブロック受付 | | 制限患者一覧 |
| 2-2-1-5-1 | 外来業務 | ブロック受付 | 制限患者一覧 | 院外利用者に対して、当該利用者の診療に関係する患者のカルテのみ一覧表に表示できること。 |
| 2-2-1-5-2 | 外来業務 | ブロック受付 | 制限患者一覧 | 上記一覧からカルテを開けること。 |
| 2-2-2 | 外来業務 | 問診 | (業務概要) | 問診 |
| * | 外来業務 | 問診 | (業務概要) | 当院の運用として、外来看護師または受付スタッフが患者に問診しカルテに記載することを予定している。そのため、職種による問診入力権限の設定など、効率的且つ正確に入力する機能の提供が望まれる。 下記の機能要件を満たすこと。 |
| 2-2-2-2 | 外来業務 | 問診 | | 患者基本情報 |
| 2-2-2-2-1 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の基本的な情報(既往歴・アレルギー・身長/体重・血液型など)の登録、修正、削除ができること。 |
| 2-2-2-2-2 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の基本情報として医事より患者登録された氏名、住所、電話番号、緊急連絡先など自動的に電子カルテシステムの患者基本情報に反映できること。 |
| 2-2-2-2-3 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | テンプレート入力や同意書作成などで記載する患者氏名や生年月日は患者基本情報として登録されているものを自動連携すること。また、アレルギー情報は各種オーダツールなどで利用できること。 |
| 2-2-2-2-4 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の感染症情報については検査部門から連携され自動的に電子カルテの患者基本情報に反映されること。 |
| 2-2-2-2-5 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の血液型情報については検査部門から連携され自動的に電子カルテの患者基本情報に反映されること。 |
| 2-2-2-2-6 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の初診問診情報を表示・入力できること。 |
| 2-2-2-2-7 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の既往歴、手術歴情報を表示・入力できること。 |
| 2-2-2-2-8 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の薬剤アレルギー、食物アレルギー情報を表示・入力できること。 |
| 2-2-2-2-9 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の障害情報(視覚や聴覚障害など)・生活情報(睡眠や排泄状態など)を表示・入力できること。 |
| 2-2-2-2-10 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の身体的情報(身長・体重・BMI・感染症・血液型など)を表示・入力できること。また感染症や血液型については検査部門から連携され自動的に電子カルテの患者基本情報に反映されること。 |
| 2-2-2-2-11 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 初回、身長と体重を入力する際にはあり得ない値を入力できないように上限値、下限値のチェックができること。 また、設定値は年齢別に設定できること。 |
| 2-2-2-2-12 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 身長と体重を入力する際に、前回入力値との差分が大き場合は、注意メッセージを表示させ、あり得ない値の入力をチェックできること。 |
| 2-2-2-2-13 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の家族構成を表示・入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|--------|---|
| 2-2-2-2-14 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の家族構成情報をもとに家族構成図を自動作成できること。 |
| 2-2-2-2-15 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 新生児や小児科対応として出生時体重や身長、予防接種情報を表示・入力できること。 |
| 2-2-2-2-16 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の治験情報を表示できること。 |
| 2-2-2-2-17 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者に旧姓がある場合、旧姓を表示できること。 |
| 2-2-2-2-18 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者が女性の場合、女性症状を表示、入力できること。 |
| 2-2-2-2-19 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の基本的な情報を、一画面で表示し全体的に情報の把握ができること。 |
| 2-2-2-2-20 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 利用者ごとに表示する情報の位置、表示有無を設定できること。 |
| 2-2-2-2-21 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 基本情報の中から重要度の高い情報のみを絞り込んで表示できること。 |
| 2-2-2-2-22 | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の基本的な情報の編集履歴を参照できること。 |
| 2-2-2-2- | 外来業務 | 問診 | 患者基本情報 | 患者の基本的な情報のうち、登録されている情報のみを抽出して参照できること。 |
| 2-2-3 | 外来業務 | 患者呼び込み | | 患者呼び込み |
| 2-2-3-1 | 外来業務 | 患者呼び込み | | 受付患者一覧 |
| 2-2-3-1-1 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 患者の予約、受付に関する情報を表示できること。 |
| 2-2-3-1-2 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 患者の基本情報、現在の診察状況(ステータス)、紹介情報などを表示できること。 |
| 2-2-3-1-3 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 患者の診察状況(ステータス)を把握し、効率的な誘導ができるように、「未受付、来院済、問診中、問診済、到着済、診察中、診察終了、診察一時中断、会計済」などの現在の診察状況(ステータス)を自動的に更新し、表示できること。 |
| 2-2-3-1-4 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 患者の診察状況(ステータス)を正確に把握し、患者を正確に誘導するために、診察状況(ステータス)は上項に示した自動更新以外にも手動による変更ができること。 |
| 2-2-3-1-5 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 部門システムと連携し、検体検査、放射線、生理、内視鏡検査といった各種検査結果の状態(未実施、実施済等)を自動更新し、一覧上で表示できること。また、検体検査については、至急など一部の結果が到着した場合でもステータスを自動更新でき、結果到着を確認できること。 |
| 2-2-3-1-6 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 検査予約のみの患者についても表示できること。また、「検査のみの患者を含む検索と含まない検索」、「検査のみの患者の検索」を画面上で切り替えできること。 |
| 2-2-3-1-7 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 検査予約のみの検索の場合は、検査種別(伝票別)によって絞り込みできること。 |
| 2-2-3-1-8 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付一覧から該当の患者をクリックすることでカルテ表示ができること。 |
| 2-2-3-1-9 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付ブロック毎に検索条件(日付・診療科・ブロック毎の全予約枠・患者の診察ステータス)を設定し、表示内容の絞り込みができること。 |
| 2-2-3-1-10 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 利用者毎に検索条件(日付・診療科・ブロック毎の全予約枠・患者の診察ステータス)を設定し、当該利用者が受付患者一覧を開く際には、その検索条件で検索結果を表示すること。 |
| 2-2-3-1-11 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付一覧上の、任意の項目で一覧の並べ替えができること。 |
| 2-2-3-1-12 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付一覧の検索条件を利用者毎に保存できること。 |
| 2-2-3-1-13 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付一覧の検索条件を利用者の操作により、初期設定の検索条件に戻せること。 |
| 2-2-3-1-14 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 利用者毎に保存された受付一覧の検索条件を利用者の操作により削除できること。 |
| 2-2-3-1-15 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 診察券(患者IDカード)をカードリーダーで読み込むことで、患者のカルテ表示ができること。 |
| 2-2-3-1-16 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 患者ID番号直接入力によるカルテ表示ができること。 |
| 2-2-3-1-17 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付一覧の印刷ができること。 |
| 2-2-3-1-18 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付一覧に表示されている情報をCSV形式のファイル出力できること。 |
| 2-2-3-1-19 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 当日の診察スケジュール(患者基本スケジュール)の印刷ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|------------|--|
| 2-2-3-1-20 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 診察予約、検査予約など予約の存在するオーダについては、受付一覧から予約票の印刷ができること。 |
| 2-2-3-1-21 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 患者のカルテを開くことなく、検体検査結果履歴を表示できること。 |
| 2-2-3-1-22 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 患者の状態を素早く把握するために、受付患者一覧からカルテを開かずに一画面で患者状態を把握できるポータル画面(プロフィール、病名、検査結果、レポート、カルテ記載、予約状況等)を参照できること。その場合、一覧上に表示されている患者をワンクリックで切り替えて連続参照できること。 |
| 2-2-3-1-23 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付患者一覧は一定時間で自動的に表示を最新化できること。また、自動最新化を画面上で任意に停止することもできること。 |
| 2-2-3-1-24 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付患者一覧では、クリックなどの操作をすることなく一覧上で併科受診の診療科と受診予定時刻を表示できること。 |
| 2-2-3-1-25 | 外来業務 | 患者呼び込み | 受付患者一覧 | 受付患者一覧では、診察状況(ステータス)ごとに色を設定し、一覧上色分けして表示できること。 |
| 2-2-3-2 | 外来業務 | 患者呼び込み | | 予約患者一覧 |
| 2-2-3-2-1 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 患者の予約情報を表示できること。 |
| 2-2-3-2-2 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 患者の基本情報を表示できること。 |
| 2-2-3-2-3 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 期間、予約情報による検索ができること。 |
| 2-2-3-2-4 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 予約患者一覧で利用者毎の検索条件を保存できること。 |
| 2-2-3-2-5 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 予約患者一覧からカルテ表示ができること。 |
| 2-2-3-2-6 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | カードリーダー入力(患者IDカード)によるカルテ表示ができること。 |
| 2-2-3-2-7 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 患者ID番号直接入力によるカルテ表示ができること。 |
| 2-2-3-2-8 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 予約患者一覧の印刷ができること。 |
| 2-2-3-2-9 | 外来業務 | 患者呼び込み | 予約患者一覧 | 予約患者一覧に表示されている情報をCSV形式のファイル出力できること。 |
| 2-2-3-3 | 外来業務 | 患者呼び込み | | カルテ選択患者一覧 |
| 2-2-3-3-1 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | 該当利用者が当日もしくは前日にカルテを保存した患者を一覧表示できること。 |
| 2-2-3-3-2 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧は、カルテ選択日時の降順でソートされて表示されること。 |
| 2-2-3-3-3 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧から患者のカルテを開くことができること。 |
| 2-2-3-3-4 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧から患者の検体検査結果履歴を起動できること。 |
| 2-2-3-3-5 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧から経過表を起動できること。 |
| 2-2-3-3-6 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧から指示一覧を起動できること。 |
| 2-2-3-3-7 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧の印刷ができること。 |
| 2-2-3-3-8 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧に表示されている情報をCSV形式のファイル出力できること。 |
| 2-2-3-3-9 | 外来業務 | 患者呼び込み | カルテ選択患者一覧 | カルテ選択患者一覧の検索条件を利用者ごとに保存できること。 |
| 2-2-4 | 外来業務 | 患者誘導 | | 患者誘導 |
| 2-2-4-1 | 外来業務 | 患者誘導 | | 外来基本スケジュール |
| 2-2-4-1-1 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 行き先の表示順を変更できること。 |
| 2-2-4-1-2 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | オーダの実施状態を把握できること。 |
| 2-2-4-1-3 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 行き先情報を編集できること。 |
| 2-2-4-1-4 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 患者情報を印刷できること。 |
| 2-2-4-1-5 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 保険情報を印刷できること。 |
| 2-2-4-1-6 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 受付番号を印刷できること。 |
| 2-2-4-1-7 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 患者番号バーコードを印刷できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|------------|---|
| 2-2-4-1-8 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 再印刷ができること。 |
| 2-2-4-1-9 | 外来業務 | 患者誘導 | 外来基本スケジュール | 患者を誘導する際、採血や採尿、検査内容によって誘導先が異なるため、検体の材料や検査部位の詳細情報が印字できること。 |
| 2-2-4-2 | 外来業務 | 患者誘導 | | 予約票出力 |
| 2-2-4-2-1 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | カルテ保存時に予約情報があった場合に予約票印刷できること。 |
| 2-2-4-2-2 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | 放射線、生理検査などの種別毎に予約票印刷ができること。 |
| 2-2-4-2-3 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | 患者情報を印刷できること。 |
| 2-2-4-2-4 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | 患者番号のバーコードを印刷できること。 |
| 2-2-4-2-5 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | 予約票の日付に曜日を印字できること。 |
| 2-2-4-2-6 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | 再印刷ができること。 |
| 2-2-4-2-7 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | 予約票出力の詳細条件を設定することで無駄な帳票の削減ができること。 |
| 2-2-4-2-8 | 外来業務 | 患者誘導 | 予約票出力 | 患者導線を明確にするために、検査材料、撮影部位などに応じた項目ごとのコメントを印字できること。 |
| 2-2-4-3 | 外来業務 | 患者誘導 | | オーダ控え印刷 |
| 2-2-4-3-1 | 外来業務 | 患者誘導 | オーダ控え印刷機能 | カルテ保存時に自動発行できること。 |
| 2-2-4-3-2 | 外来業務 | 患者誘導 | オーダ控え印刷機能 | 任意のタイミングで印刷できること。 |
| 2-2-5 | 外来業務 | 実施(外来) | | 実施入力(外来) |
| * | 外来業務 | 実施(外来) | (業務概要) | 外来での指示の実施入力は、効率的且つ安全性を考慮して以下の機能要件を満たすこと。 また、以下の行為、検査などの受付/実施については電子カルテシステム内の機能として提供すること。 ・手術 ・生理検査 |
| 2-2-5-1 | 外来業務 | 実施(外来) | | 処置/注射実施機能 |
| 2-2-5-1-1 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 中央処置室や各診療科の処置室で患者の処置、注射の施行依頼情報を表示できること。 |
| 2-2-5-1-2 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 処置注射患者一覧でカルテを開くことなく、患者IDでの施行依頼データを絞り込みができること。 |
| 2-2-5-1-3 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 処置、注射を施行する、実施場所で絞り込んだ一覧の表示ができること。 |
| 2-2-5-1-4 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 患者の実施状況(ステータス)を把握し、効率的な実施入力ができるように、「未実施、実施済、実施中、未実施確認」などの現在の実施状況(ステータス)を実施入力を元に自動的に更新し、表示できること。 |
| 2-2-5-1-5 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | カレンダーを利用して処置実施日の選択ができること。 |
| 2-2-5-1-6 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 処置注射患者一覧でカルテを開くことなく、患者の処置、注射の施行指示に対して、実施入力ができること。 |
| 2-2-5-1-7 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 実施入力を行った場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 2-2-5-1-8 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 処置注射患者一覧を閉じることなく利用者(実施者)の変更ができること。 |
| 2-2-5-1-9 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 処置、注射指示内容にもとづいた、指示票の印刷ができること。 |
| 2-2-5-1-10 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 指示票を印刷するタイミングで指示が変更できないように設定できること。 |
| 2-2-5-1-11 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | カードリーダーを利用して患者ID読み込み、患者IDを直接入力することで、患者選択ができること。 |
| 2-2-5-1-12 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 処置注射患者一覧より、リストバンドやカードリーダーのバーコードを利用して患者IDの読み込みが行える患者認証ツールを起動できること。 |
| 2-2-5-1-13 | 外来業務 | 実施(外来) | 処置/注射実施機能 | 一覧画面から注射患者認証画面を起動でき、患者認証および実施入力ができること。 |
| 2-2-5-2 | 外来業務 | 実施(外来) | | 薬剤受付 |
| 2-2-5-2-1 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 薬剤部門で処方や注射指示のオーダ受付および内容確認を行う機能を電子カルテシステムにて提供すること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|--------------|---|
| 2-2-5-2-2 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | オーダ受付処理時に会計送信できる仕組みを有すること。 |
| 2-2-5-2-3 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 調剤システムと連携する場合は、オーダ受付処理時に調剤システムへのオーダ情報送信できる仕組みを有すること。 |
| 2-2-5-2-4 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 以下の検索条件で指定されたオーダの依頼数、受付数、印刷数を一覧表示できること。 ・期間・診療科別 ・伝票別 ・伝票状態(未受付・受付済・実施済・変更済・印刷済など) |
| 2-2-5-2-5 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 院外処方箋、院内処方箋などの伝票単位にオーダ依頼数、受付数、印刷数などを表示できること。 |
| 2-2-5-2-6 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 診療科別にオーダ依頼数、受付数、印刷数などを表示できること。 |
| 2-2-5-2-7 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 検索結果の一覧からオーダの詳細を表示・確認できること。 |
| 2-2-5-2-8 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 患者IDまたはオーダ番号、部門番号を指定してのオーダ検索ができ、一覧表示ができること。 |
| 2-2-5-2-9 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 伝票一覧や伝票総合計などの印刷ができること。 |
| 2-2-5-2-10 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 処方・注射伝票の受付処理は診療科単位、オーダの伝票単位に行えること。 |
| 2-2-5-2-11 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 受付を行ったタイミングで処方箋・注射箋の印刷ができること。 |
| 2-2-5-2-12 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 一度受付したオーダの受付取消ができること。 |
| 2-2-5-2-13 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 患者認証用注射ラベルの印刷ができること。 |
| 2-2-5-2-14 | 外来業務 | 実施(外来) | 薬剤受付 | 各部門業務単位に受付データの表示順を設定できること。 |
| 2-2-5-3 | 外来業務 | 実施(外来) | | 検体検査受付/ラベル発行 |
| 2-2-5-3-1 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 検体検査オーダの受付や検体ラベル印刷の機能を電子カルテシステムにて提供すること。 |
| 2-2-5-3-2 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 検体ラベルの印刷タイミングで検体検査の会計情報を送信できる仕組みを有すること。 |
| 2-2-5-3-3 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 以下の検索条件で指定されたオーダの依頼数、受付数、印刷数を一覧表示できること。 ・期間・診療科別 ・伝票別 ・伝票状態(未受付・受付済・実施済・変更済・印刷済など) |
| 2-2-5-3-4 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 検体検査、細菌検査、輸血検査など伝票単位にオーダ依頼数、受付数、印刷数などを表示できること。 |
| 2-2-5-3-5 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 診療科別にオーダ依頼数、受付数、印刷数などを表示できること。 |
| 2-2-5-3-6 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 検索結果の一覧からオーダの詳細を表示・確認できること。 |
| 2-2-5-3-7 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 患者IDまたはオーダ番号を指定してのオーダ検索ができ、一覧表示ができること。 |
| 2-2-5-3-8 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 伝票一覧や伝票総合計などの印刷ができること。 |
| 2-2-5-3-9 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 検査伝票の受付処理は診療科単位、オーダの伝票単位にできること。 |
| 2-2-5-3-10 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 感染症のある患者については識別できるようにマークを印字できること。 |
| 2-2-5-3-11 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 患者到着(受付)のタイミングで検体ラベルの印刷ができること。 |
| 2-2-5-3-12 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 一度受け付けたオーダの受付取消ができること。 |
| 2-2-5-3-13 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | オーダ毎に区切りを設けてラベル出力ができること。 |
| 2-2-5-3-14 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | ラベルの即時出力有無の設定が、採血場所毎、オーダ種別毎、端末毎にできること。 |
| 2-2-5-3-15 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 輸血検査、細菌検査、病理検査の各ラベルの出力ができること。 |
| 2-2-5-3-16 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 自科採血時など、診療科毎に検体ラベルの一括出力ができること |
| 2-2-5-3-17 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ラベル発行 | 出力済みのラベル一覧を表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|---------------|------------------|---|
| 2-2-5-3-10 | 外来業務 | 実施(外来) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 出力済みのラベル一覧からラベル印刷ができること。 |
| 2-2-5-3-19 | 外来業務 | 実施(外来) | ・手術 ・生理 | 以下の検査や手術、リハビリなどの受付/実施機能を提供すること。各業務の機能詳細については、別シート「部門システム」を参照し回答すること。 ・手術 ・生理 |
| 2-2-6 | 外来業務 | 予約センター | | 予約センター業務 |
| 2-2-6-1 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | 事務員等が患者からの連絡を受けて、診察予約の取得・変更・取消や、検査予約の変更などの業務を行うが、同業務をサポートする機能を想定している。具体的には下記機能を実現すること。 |
| 2-2-6-2 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | カードリーダ入力(患者IDカード)によって該当患者を確定できること。 |
| 2-2-6-3 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | キーボードから患者IDを直接入力して、該当患者を確定できること。 |
| 2-2-6-4 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | カナ氏名での検索により該当患者を検索し、確定できること。 |
| 2-2-6-5 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | 再診予約の新規取得、日時変更、削除ができること。 |
| 2-2-6-6 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | 既に取得済みの検査予約(CT、MRIなど)の予約日時の変更ができること。 |
| 2-2-6-7 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | 該当の予約オーダーの詳細内容を確認できること。 |
| 2-2-6-8 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | 検査予約の予約日時の変更時に、間違っ検査指示内容の変更を行えないようにできること。 |
| 2-2-6-9 | 外来業務 | 予約センター | 予約センター | 選択した予約の予約票を印刷できること。 |
| 2-2-7 | 外来業務 | 救急 | | 救急機能 |
| 2-2-7-1 | 外来業務 | 救急 | | 救急患者受付 |
| 2-2-7-1-1 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者来院時に、診察の順番を決めるためのトリアージを行った際、トリアージの区分を登録できること。また、トリアージにより区分の色を変更できること。 |
| 2-2-7-1-2 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急受付した患者を一般の外来患者一覧とは別の一覧として表示できること。 |
| 2-2-7-1-3 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 患者の基本情報、現在の診察ステータス、来院方法などを表示できること。 |
| 2-2-7-1-4 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者受付患者一覧に患者プロフィール情報として、障害情報(聴覚・視覚・運動・言語)、介護区分を含めて10個以上表示できること。 |
| 2-2-7-1-5 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者来院時の来院方法を登録できること。 |
| 2-2-7-1-6 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 患者の診察状況(ステータス)を把握し、効率的な誘導ができるように、「未受付、来院済、問診中、問診済、到着済、診察中、再診察待ち、診察終了、会計済」などの現在の診察ステータスを自動的に更新し、表示できること。 |
| 2-2-7-1-7 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 患者の診察ステータスを正確に把握し、患者を正確に誘導するために、診察ステータスは上項に示した自動更新以外にも手動による変更ができること。 |
| 2-2-7-1-8 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 部門システムと連携し、各種検査結果の状態を自動更新し、一覧上で表示できること。また、検体検査については、一部の結果が到着した場合でもステータスが自動更新され、結果到着が確認できること。 |
| 2-2-7-1-9 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧において検索条件として、日付、診察ステータス、初再診区分、来院方法、救急車番号、転記区分を指定して表示内容の絞り込みができること。 |
| 2-2-7-1-10 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 前日の救急患者を即座に表示できること。 |
| 2-2-7-1-11 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧上の任意の項目で、一覧の表示順を変更できること。 |
| 2-2-7-1-12 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧の検索条件を利用者毎に保存できること。 |
| 2-2-7-1-13 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧の検索条件を利用者の操作により、初期設定の検索条件に戻せること。 |
| 2-2-7-1-14 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 利用者毎に保存された救急患者一覧の検索条件を利用者の操作により、削除できること。 |
| 2-2-7-1-15 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | カードリーダ入力(患者IDカード)によるカルテ表示ができること。 |
| 2-2-7-1-16 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 一覧からの患者のカルテを開くことができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|--------------|------------------------|--|
| 2-2-7-1-17 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 患者ID番号を直接入力することによりカルテの表示ができること。 |
| 2-2-7-1-18 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧の表示内容を印刷できること。 |
| 2-2-7-1-19 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧においては、マスタの設定によって印刷内容の変更ができること。 |
| 2-2-7-1-20 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧の表示内容をCSV形式のファイルに出力できること。 |
| 2-2-7-1-21 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧からレコードを直接右クリックして表示されるメニューより患者の当日の予定が記載された案内票(基本スケジュール票)を印刷できること。 |
| 2-2-7-1-22 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧からレコードを直接右クリックして表示されるメニューより救急患者受付時に入力した内容が記載された救急受付票を印刷できること。 |
| 2-2-7-1-23 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 患者カルテを表示せずに、一覧からレコードを直接右クリックして表示されるメニューより対象の患者の検査歴の一覧を表示できること。 |
| 2-2-7-1-24 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 患者の状態を素早く把握するために、救急患者一覧からカルテを開かずの一画面で患者状態を把握できるポータル画面(プロフィール、病名、検査結果、レポート、カルテ記載、予約状況等)を参照できること。その場合、一覧上に表示されている患者をワンクリックで切り替えて連続参照できること。 |
| 2-2-7-1-25 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急患者一覧に患者プロフィール情報を表示できること。 |
| 2-2-7-1-26 | 外来業務 | 救急 | 救急患者受け | 救急受付時に初再診区分、救急車番号、紹介元を入力できること。 |
| 2-2-7-2 | 外来業務 | 救急 | | 救急カルテ機能 |
| 2-2-7-2-1 | 外来業務 | 救急 | 救急カルテ | 救急の診療記録を事後で入力できること。 |
| 2-2-7-2-2 | 外来業務 | 救急 | 救急カルテ | 救急患者一覧から患者を選択すると、自動的に救急専用の記録シート(カルテ)をカルテ基本画面に表示し、一般カルテと同様に記載ができること。 |
| 2-2-7-2-3 | 外来業務 | 救急 | 救急カルテ | 救急カルテも他の診療録、オーダと同様に指示歴に表示できること。 |
| 2-2-7-2-4 | 外来業務 | 救急 | 救急カルテ | カルテ歴から救急カルテを絞り込んで検索および表示ができること。 |
| 2-3-1 | 入院業務 | | | 入院業務 |
| * | 入院業務 | (業務概要) | | 入院業務は、患者の入院から退院までの導線を十分に考慮して、効率的かつ安全性の高い機能であること。 下記業務毎の機能要件を満たすこと。 |
| 2-3-1-1 | 入院業務 | (業務概要) | | 入院については医師による申し込み、入院決定、入床の各段階について管理できること。 |
| 2-3-1-2 | 入院業務 | (業務概要) | | 退院については医師による申し込み、退院日決定、離院の各段階について管理できること。 |
| 2-3-1-3 | 入院業務 | (業務概要) | | 入院決定操作を行ったタイミングで給食部門システムとのオーダ情報連携を行えること。 |
| 2-3-1-4 | 入院業務 | (業務概要) | | 入院決定操作中の患者に対して、他の利用者が他の端末で同患者の診療記録やオーダ発行などの操作ができること。 |
| 2-3-2 | 入院業務 | 入院日決定 | | 入院日決定 |
| 2-3-2-1 | 入院業務 | 入院日決定 | | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) |
| 2-3-2-1-1 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) | 病棟毎に転入・転出オーダ(入院申込、転棟申込、退院許可)を受け、決定の入力ができる入院予定一覧/入院決定画面(ベッドコントロール)を備えていること。 |
| 2-3-2-1-2 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) | 転入・転出のオーダと即時に連携し、オーダ情報の閲覧及び決定処理ができること。 |
| 2-3-2-1-3 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) | 転入・転出オーダ毎に対象を一覧表示すること。一覧では未決定、決定済を色分けして表示できること。 |
| 2-3-2-1-4 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) | 転入・転出のオーダの情報の概要が一覧表示できること。一覧をクリックすることで詳細情報を表示できること。 |
| 2-3-2-1-5 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) | 転入・転出オーダについて期間、病棟、診療科、主担当医、担当医、申込者及び申し込み/決定による絞り込みが出来ること。 |
| 2-3-2-1-6 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) | 検索期間として許す日数の上限値はシステム設定できること。 |
| 2-3-2-1-7 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/入院決定(ベッドコントロール) | 上記の検索条件を利用者毎に保存し、次回検索時の初期検索条件とできること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|----------------|--------------------------------|---|
| 2-3-2-1-8 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | 転入・転出オーダーの一覧からオーダー画面を表示し、権限に応じてオーダー内容の変更ができること。 |
| 2-3-2-1-9 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | 転入・転出オーダーの一覧から未決定のオーダーについて、転入・転出の決定操作ができること。 |
| 2-3-2-1-10 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | 決定済の転入・転出オーダーの取り消しができること。 |
| 2-3-2-1-11 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | ベッドコントロール画面から直接患者カルテを表示できること。 |
| 2-3-2-1-12 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | ベッドコントロール画面からカルテを開くことなく、直接移動情報、食事情報の専用オーダーツールを表示できること。 |
| 2-3-2-1-13 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | ベッドコントロールの表示内容を印刷できること。 また、条件検索した結果や任意で選択した患者を印刷できること。 |
| 2-3-2-1-14 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | 入院決定時に濃厚流動食入力を5種以上入力できること。 |
| 2-3-2-1-15 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院予定一覧/ 入院決定(ベッド コントロール) | 入院決定時に入院申し込みで入力された食事情報の変更・入力ができること。 |
| 2-3-2-2 | 入院業務 | 入院日決定 | | 入院日決定の連絡患者一覧 |
| 2-3-2-2-1 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院日決定の連絡患者一覧 | 入院日が決定した患者を一覧で表示できること。 |
| 2-3-2-2-2 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院日決定の連絡患者一覧 | 入院予約患者の入院日の決定状況を把握し、患者への入院日の決定連絡済み、未連絡の状況を管理できること。 |
| 2-3-2-2-3 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院日決定の連絡患者一覧 | 入院予定日、病棟、診療科、及び連絡状況での検索ができること。 |
| 2-3-2-2-4 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院日決定の連絡患者一覧 | 入院日決定の連絡を行った相手や状況を入力し、管理できること。 |
| 2-3-2-2-5 | 入院業務 | 入院日決定 | 入院日決定の連絡患者一覧 | 入院日決定の連絡を行ったが、連絡が取れなかった状況も入力し、管理できること。 |
| 2-3-3 | 入院業務 | 入院登録 | | 入院登録 |
| 2-3-3-1 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 入院決定済の患者が入床したタイミングで入院登録の実施入力ができること。その際に病棟のベッド配置がイメージしやすいようにベッドの空き状況や既に入院している患者のベッド位置を病棟のイメージ図(見取り図)で病棟マップとして表現すること。また、実施入力された情報は医事システムへ自動的に送信されること。 |
| 2-3-3-2 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)上に未実施の転入・転出オーダーの一覧を表示できること。 |
| 2-3-3-3 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)は日付を変更することで、その時点での情報を取り込み、ベッドの空き状態などを確認できること。 |
| 2-3-3-4 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)上でベッド移動のシミュレートができること。シミュレーションした結果をベッド移動の決定/実施にできること。 |
| 2-3-3-5 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)よりカルテを開くことなく、該当患者の転入・転出オーダー、食事オーダーの指示ができること。 |
| 2-3-3-6 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)の情報の自動更新ができること。 自動更新までの時間はシステム設でき、自動更新を行わない設定もできること。 |
| 2-3-3-7 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)上で入院患者の情報(ID番号、氏名、年齢、入院日、診療科、主治医、担当看護師、パス、救護区分など)を確認できること。 |
| 2-3-3-8 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)上から、患者のベッドネーム、リストバンドの印刷ができること。 |
| 2-3-3-9 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 感染症患者の確認ができること。感染症患者は視認性向上のためベッドマップ上背景色の変更が自動的にできること。 |
| 2-3-3-10 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 病棟毎に稼働率が確認できること。 |
| 2-3-3-11 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 患者に対して医師、看護師向けの伝達情報がある場合、病棟イメージ図上で通知できること。 |
| 2-3-3-12 | 入院業務 | 入院登録 | 入院登録 | 患者に対して指示の変更や緊急の指示が会った場合、病棟イメージ図上で通知できること。 |
| 2-3-4 | 入院業務 | 入院診療計画書 | | 入院診療計画書 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|------|--------------|--------------|--|
| 2-3-4-1 | 入院業務 | 入院診療計画書 | | 入院診療計画書は通常と急性期向けのフォーマットが選択できること。 |
| 2-3-4-2 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書に記載する症状や看護やリハビリテーションの計画はマスタで設定された項目から選べること。また、フリー入力にも対応すること。 |
| 2-3-4-3 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書は複数の職種によって作成されるため、各職種の記載状況を入力できること。 |
| 2-3-4-4 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 入院予約オーダが発行されたタイミングで、入院診療計画書の作成一覧に患者名が表示されること。 |
| 2-3-4-5 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 作成一覧で、未作成/作成中/作成済/患者へ未提供/印刷済/提供済といった状態の管理ができること。 |
| 2-3-4-6 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書の作成一覧は患者ID指定で検索ができること。 |
| 2-3-4-7 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書に、登録済みのDPCオーダにおける「入院の契機となった傷病名」および「診断群分類」を取り込みできること。 |
| 2-3-4-8 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書の作成一覧に各職種の入院診療計画書の記載状況が表示され、記載状況を管理できること。 |
| 2-3-4-9 | 入院業務 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書 | 入院診療計画書の作成一覧から入院診療計画書の仮印刷ができること。 |
| 2-3-5 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | | 急性期向け入院診療計画書 |
| 2-3-5-1 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 電子カルテシステムより入院診療計画書を作成し、印刷できること。また、急性期の入院診療計画書に対応していること。 |
| 2-3-5-2 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入院診療計画書は複数の職種によって作成されるため、各職種の記載状況を入力できること。 |
| 2-3-5-3 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入院予約オーダが発行されたタイミングで、入院診療計画書の作成一覧に患者名が表示されること。 |
| 2-3-5-4 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入院日が決定したら、作成一覧の入院日が自動更新されること。 |
| 2-3-5-5 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 作成一覧で、未作成/作成中/作成済/患者へ未提供/印刷済/提供済といった状態の管理ができること。 |
| 2-3-5-6 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 作成一覧から、当該患者の入院診療計画書の作成および修正、印刷ができること。 |
| 2-3-5-7 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入院診療計画書の作成一覧は、期間、病棟、診療科、入院予定/入院済の条件指定で検索できること。 |
| 2-3-5-8 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入退院診療計画書作成時にフリーコメント入力ができること。 |
| 2-3-5-9 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | パス登録中の患者についてはその患者の診療内容を反映した患者パスシートを入院診療計画書として連携できること。 |
| 2-3-5-10 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入院診療計画書に、登録済みのDPCオーダにおける「入院の契機となった傷病名」および「診断群分類」を取り込みできること。 |
| 2-3-5-11 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入院診療計画書の作成一覧に各職種の入院診療計画書の記載状況が表示され、記載状況を管理できること。 |
| 2-3-5-12 | 入院業務 | 急性期向け入院診療計画書 | 急性期向け入院診療計画書 | 入院診療計画書の作成一覧から入院診療計画書の仮印刷ができること。 |
| 2-3-6 | 入院業務 | 即入院オーダ | | 即入院オーダ |
| 2-3-6-1 | 入院業務 | 即入院オーダ | 即入院オーダ | 救急患者や診察中に即時に入院の必要性が生じた患者に対応できるよう、予約入院オーダとは別に即時に入院オーダ発行ができること。 |
| 2-3-6-2 | 入院業務 | 即入院オーダ | 即入院オーダ | 即入院オーダについて入床実施状態にするか入院決定状態に留めるかをシステムで設定できること。 |
| 2-3-6-3 | 入院業務 | 即入院オーダ | 即入院オーダ | 電子カルテに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が自動転記され、記録として保存できること。 |
| 2-3-6-4 | 入院業務 | 即入院オーダ | 即入院オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|-----------------|---------|---|
| 2-3-6-5 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 2-3-6-6 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 即入院オーダーを入床実施状態にしている場合、その情報が即時に医事会計システムに送信されること。 |
| 2-3-6-7 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 即入院オーダーを発行した場合は、その情報がタイムリーに栄養管理システムへ送信されること。 |
| 2-3-6-8 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 即入院オーダーを入床実施状態にしている場合、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 2-3-6-9 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 入力項目は、入院時に必要な情報を入力できること。任意の項目の入力(移動日時、診療科、病棟、食事情報を除く)については省略可能な設定ができること。 |
| 2-3-6-10 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 入院に必要な担当情報、食事情報の指定ができること。 |
| 2-3-6-11 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 必要な場合に、入院病名、入院目的を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、入院オーダーの画面から病名登録ができること。 |
| 2-3-6-12 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 入院オーダーの入力漏れを防止するために、入院目的毎(手術、検査、治療)にイベントの入力チェックができること。 |
| 2-3-6-13 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 即入院オーダー発行後は入院中の診療指示が入力できること。 また、入院オーダー発行前でも入院中の診療指示(検査や処置や手術など)を入院予定病棟で発行できること。 |
| 2-3-6-14 | 入院業務 | 即入院オーダー | 即入院オーダー | 入院オーダーの発行時に入院診療計画書を自動で発行できること。 |
| 2-3-7 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | | 病棟での患者選択 |
| 2-3-7-1 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | | 病棟見取図 |
| 2-3-7-1-1 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟のイメージを見取図(病棟見取図)で表現し、どの病室にどの患者が入院しているか一目で把握できること。また、入院登録や転入実施された患者は自動的に病棟見取図に表示されること、退院や転棟の場合は自動的に非表示になること。また、病棟毎で配置が違うため、その病棟に合わせた見取図を表現できること。 |
| 2-3-7-1-2 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟見取図には、当該病棟の患者に指示された各種移動オーダー(入院・退院・転棟・転室)の予定を一覧にて表示できること。 |
| 2-3-7-1-3 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟見取図の日付と時刻を変更することで過去・未来の病棟の状況を確認できること。その場合、過去の入院状況や未来のベット使用状況が病床管理やオーダー、実施情報を取り込んで正確に表示できること。 |
| 2-3-7-1-4 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟見取図から患者のカルテを開けること。 |
| 2-3-7-1-5 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟マップから患者を選択し、ワークシート、経過表、患者スケジュール、インチャージシート、看護必要度の各機能が呼び出せること。 |
| 2-3-7-1-6 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟マップから複数の患者を選択し選択した患者を対象とした、ワークシート、経過表、患者スケジュール、インチャージシート、看護必要度、状態一括登録、経過表一括入力などの各機能を呼び出せること。 |
| 2-3-7-1-7 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 自分の所属するチームや受け持ち患者についてはワンクリックで複数患者を選択できること。 |
| 2-3-7-1-8 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | カードリーダー入力(患者IDカード)によって患者のカルテを表示できること。 |
| 2-3-7-1-9 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 患者ID番号直接入力によるカルテ表示ができること。 |
| 2-3-7-1-10 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟見取図情報の自動更新ができること。なお、更新タイミングについては任意に設定できること。 |
| 2-3-7-1-11 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取図 | 病棟見取図上でカルテを開かなくても入院患者の情報(ID・生年月日・性別・診療科・主治医・担当医・担当看護師・パス・在院日数・救護区分)を確認できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|-----------------|--------|--|
| 2-3-7-1-12 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 病棟見取り図から病室名を選択することにより、その病室の患者の詳細情報(年齢、性別、診療科、主治医・担当医・担当看護師、チーム、入院時病名・術式)を表示できること。 また、あわせて患者情報として障害情報や介護区分、重症区分、看護度、救護区分、面会区分の情報も運用にあわせて表示できること。 |
| 2-3-7-1-13 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 感染症患者の確認ができること。 |
| 2-3-7-1-14 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 病棟見取り図に病棟毎の稼働率を表示できること。 |
| 2-3-7-1-15 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 患者に対して医師、看護師向けの伝達情報がある場合、病棟イメージ図上で通知できること。 |
| 2-3-7-1-16 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 病棟見取り図から患者の所在を検索できること。 |
| 2-3-7-1-17 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 病棟見取り図から空床の検索ができること。 |
| 2-3-7-1-18 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | VIP患者など、患者情報のアクセス制限を設けている患者は、病棟見取り図上でも、表示させる情報を制限できること。 アクセスが許可されている利用者の場合は、制限はかからず情報を参照できること。 |
| 2-3-7-1-19 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 患者プロフィールに登録された障害情報や介護区分を病棟見取り図の病床にアイコン表示させ、患者の情報を識別できること。 また、表示できるアイコンについては、病棟毎に任意に設定できること。 |
| 2-3-7-1-20 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 混合病棟の場合、ケアの内容等が異なるために患者の入院診療科が一目で把握できるよう病棟見取り図の病床にアイコン表示できること。 また、表示できるアイコンについては、病棟毎に任意に設定できること。 |
| 2-3-7-1-21 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 転床する際、同一病棟内であれば、ドラッグ操作で簡単に同時に患者の入れ替え(転床)が行えること。 |
| 2-3-7-1-22 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 入院調整などを行う際に、ベッドキープの目的や理由が病棟見取り図上で把握できるよう、ベッドキープの理由を病床欄に表示できること。 |
| 2-3-7-1-23 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 病棟見取り図上、ベッドキープされている病床は識別できるよう、キープ目的に応じた背景色で表示されること。 |
| 2-3-7-1-24 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 災害時に備え、患者の把握と、補助の有無を確認できるよう、病棟見取り図と患者状態(救護区分、重症区分、看護度といった情報)を病棟見取り図の画面から印刷できること。 また、印刷部数は任意に変更できること。 |
| 2-3-7-1-25 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 緊急に出された指示や指示に変更があった場合、病棟見取り図上の患者に対して自動的にアイコンを表示して通知できること。 |
| 2-3-7-1-26 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | また、アイコンをクリックすることで変更指示の詳細を表示し、指示受け/指示確認ができること。 |
| 2-3-7-1-27 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 患者氏名をダブルクリックすることで、該当患者のカルテを表示できること。 |
| 2-3-7-1-28 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | カードリーダーに患者IDカードを読み込ませることで該当患者のカルテを表示できること。 |
| 2-3-7-1-29 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 患者ID番号を直接入力し、該当患者のカルテを表示できること。 |
| 2-3-7-1-30 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | ベッドをキープできること。 |
| 2-3-7-1-31 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | ベッドキープは患者指定ありでも患者指定なしでもできること。 |
| 2-3-7-1-32 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 患者の状態を素早く把握するために、病棟見取り図からカルテを開かず一画面で患者状態を把握できるポータル画面(プロフィール、病名、検査結果、レポート、カルテ記載、予約状況等)を参照できること。その場合、一覧上に表示されている患者をワンクリックで切り替えて連続参照できること。 |
| 2-3-7-1-33 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟見取り図 | 病棟内のパス適用中の患者が一目で確認できること。 |
| 2-3-7-2 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | | 病棟患者一覧 |
| 2-3-7-2-1 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟見取り図とは別に病棟の入院患者を一覧形式で表示できる画面を有すること。また、その一覧については項目ごとにソートができること。 |
| 2-3-7-2-2 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧では、患者の基本情報や入院情報(診療科、在院日数、主治医など)を表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|-----------------|------------|--|
| 2-3-7-2-3 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧では病棟、日付、診療科、主治医、主看護師の検索条件で患者検索し、表示できること。 |
| 2-3-7-2-4 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧の検索条件は利用者毎に初期値として保存ができること。 |
| 2-3-7-2-5 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧から選択した患者のカルテを開けること。 |
| 2-3-7-2-6 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧の画面からカードリーダ入力(患者IDカード)によって患者のカルテ表示ができること。 |
| 2-3-7-2-7 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧の画面から患者ID番号直接入力によるカルテ表示ができること。 |
| 2-3-7-2-8 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧の印刷ができること。 |
| 2-3-7-2-9 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧をファイル出力ができること。 |
| 2-3-7-2-10 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 病棟患者一覧から患者の経過表を直接開けること。その場合、複数患者を選択し、該当する患者の経過表を開くことができ、入力できること。 |
| 2-3-7-2-11 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 病棟患者一覧 | 患者の状態を素早く把握するために、病棟患者一覧からカルテを開かずに一画面で患者状態を把握できるポータル画面(プロフィール、病名、検査結果、レポート、カルテ記載、予約状況等)を参照できること。その場合、一覧上に表示されている患者をワンクリックで切り替えて連続参照できること。 |
| 2-3-7-3 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | | 担当患者一覧 |
| 2-3-7-3-1 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 医師が担当している患者を一覧表示できること。 |
| 2-3-7-3-2 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当している患者の基本情報や、担当医が患者に対して登録したコメントなどを表示できること。また、入院時の主治医や担当医の登録機能だけでなく、担当医が任意で担当患者として登録し、該当する担当患者を検索表示できること。 |
| 2-3-7-3-3 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧で日付、利用者情報による検索表示ができること。 |
| 2-3-7-3-4 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧の各種検索条件を利用者毎に設定、保存できること。 |
| 2-3-7-3-5 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧からカルテを開けること。 |
| 2-3-7-3-6 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧画面からカードリーダ入力(患者IDカード)によってカルテ表示ができること。 |
| 2-3-7-3-7 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧画面から患者ID番号直接入力によるカルテ表示ができること。 |
| 2-3-7-3-8 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧の印刷ができること。 |
| 2-3-7-3-9 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧をファイル出力ができること。 |
| 2-3-7-3-10 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 担当患者一覧情報の自動更新ができること。また、更新タイミングについてはマスタ設定で任意に設定できること。 |
| 2-3-7-3-11 | 入院業務 | 病棟での患者選択 | 担当患者一覧 | 患者の状態を素早く把握するために、担当患者一覧からカルテを開かずに一画面で患者状態を把握できるポータル画面(プロフィール、病名、検査結果、レポート、カルテ記載、予約状況等)を参照できること。その場合、一覧上に表示されている患者をワンクリックで切り替えて連続参照できること。 |
| 2-3-8 | 入院業務 | 実施入力(入院) | | 実施入力(入院) |
| 2-3-8-1 | 入院業務 | 実施入力(入院) | | 患者スケジュール管理 |
| 2-3-8-1-1 | 入院業務 | 実施入力(入院) | 患者スケジュール機能 | 医師からの指示や、看護ケア指示など患者に対する指示は、横軸を時間、縦軸を患者ごとのカレンダー形式で表示できること。 |
| 2-3-8-1-2 | 入院業務 | 実施入力(入院) | 患者スケジュール機能 | 患者スケジュールは日勤・準夜・深夜ごとに時間帯を切替られること。 |
| 2-3-8-1-3 | 入院業務 | 実施入力(入院) | 患者スケジュール機能 | 時間指定のあるオーダは横軸の時間に合わせて表示されるが、時間指定のないオーダはまとめて表示されること。 |
| 2-3-8-1-4 | 入院業務 | 実施入力(入院) | 患者スケジュール機能 | 患者スケジュールは横軸を診療行為別(処方・注射・検査など)にした表示にも対応できること。 |
| 2-3-8-1-5 | 入院業務 | 実施入力(入院) | 患者スケジュール機能 | 医師からの指示や、看護ケア指示など患者に対する指示は「未実施」、「確認済」、「実施済」、「外来での指示」、「緊急度の高い指示」が識別できるように色で区別し表示できること。 |
| 2-3-8-1-6 | 入院業務 | 実施入力(入院) | 患者スケジュール機能 | 指示受けや指示確認、実施入力がなされた場合には「確認済」や「実施済」の色は自動で変更されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|----------------------|------------|---|
| 2-3-8-1-7 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 注射オーダの実施は開始時間と終了時間の「2回の実施入力」の運用に対応できること。また、終了時間を入力する際にIN量を入力することで、経過表へ自動転記できること。なお、実施入力をした際に、実施した日時、実施者といった情報は自動的に反映されること。 |
| 2-3-8-1-8 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | ワンショットのような注射オーダの実施は「1回の実施入力」に対応すること。その際、実施入力のタイミングでIN量を入力することで、経過表へ自動転記できること。なお、実施入力をした際に、実施した日時、実施者がといった情報は自動的に反映されること。 |
| 2-3-8-1-9 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 水分量や尿量測定を観察指示を実施入力するタイミングで、IN量やOUT量を入力できること。転記や2重入力がないよう、それらの情報は経過表にリアルタイムで反映されること。また、実施入力をした際に、実施した日時、実施者といった情報は自動的に反映されること。 |
| 2-3-8-1-10 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 患者スケジュールで実施入力した情報は、電子カルテや経過表に実施記録として自動転記されること。 |
| 2-3-8-1-11 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 与薬、採血、看護指示などに対し実施入力を行った際には、看護師が医療行為を実施したことを記録として残せること。また、実施入力をした際に、実施した日時、実施者が自動的に記載されること。 |
| 2-3-8-1-12 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 実施入力時に現在の実施日時や予定の実施日時が自動展開されること。 |
| 2-3-8-1-13 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 実施日時は、業務上、遅れて記載されることを考慮し、実際に実施入力を行った時刻の指定ができること。その際、実施時間と記載時間の両方を管理できること。 |
| 2-3-8-1-14 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 注射・処置オーダの実施入力は、医事会計と連動し、実施入力によって会計送信できること。注射オーダについて、「1回実施」の運用では即時に会計送信、「2回実施」の運用では開始1回目の実施で会計送信されること。 |
| 2-3-8-1-15 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 処置オーダの実施入力では、薬剤や使用器材の変更、追加、数量などの変更を実施入力時にできること。 |
| 2-3-8-1-16 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 受持ちやチーム単位で複数患者の実施入力が一画面でまとめてできること。 |
| 2-3-8-1-17 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 継続指示(発熱や疼痛時の指示など)の内容を確認できること。また、実施入力ができること。 |
| 2-3-8-1-18 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 患者スケジュール機能 | 各勤務帯の受持ち看護師への連絡などに使用することを想定して、オーダごとに実施時のコメント入力や当該日付で伝えたいコメントの入力、患者に対するコメントの登録ができること。 |
| 2-3-8-2 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | | 転棟の受入実施 |
| 2-3-8-2-1 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 転入/転出オーダを自動的に取り込み、オーダされた情報の閲覧ができ、転入、転出の決定処理ができる機能を有するベッドコントロールの画面を有すること。 |
| 2-3-8-2-2 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 患者の転入(入院・転棟)に関する情報の表示ができること。 |
| 2-3-8-2-3 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 患者の転出(退院・転棟)に関する情報の表示ができること。 |
| 2-3-8-2-4 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 転入/転出の期間、病棟、診療科による検索ができること。 |
| 2-3-8-2-5 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 検索条件を利用者毎に保存でき、初期検索条件として利用できること。 |
| 2-3-8-2-6 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 転入/転出の指示の決定ができること。 |
| 2-3-8-2-7 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 転入/転出の指示の変更ができること。 |
| 2-3-8-2-8 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 入力間違いやあらゆる事象により既に転棟決定処理した患者の転棟決定を修正できること。 |
| 2-3-8-2-9 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | 決定済の転入/転出を取り消しできること。 |
| 2-3-8-2-10 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | ベッドコントロールの画面から選択した直接カルテを開けること。 |
| 2-3-8-2-11 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | ベッドコントロールの画面からカルテを開くことなく、転入/転出指示の詳細内容が参照できること。 |
| 2-3-8-2-12 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | ベッドコントロールの画面からカルテを開くことなく、食事の指示の詳細内容が参照できること。 |
| 2-3-8-2-13 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 転棟の受入れ実施 | ベッドコントロールの表示内容を印刷できること。 また、条件検索した結果や任意で選択した患者を対象に印刷できること。 |
| 2-3-8-3 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | | 薬剤受付 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|----------------------|------------------|--|
| 2-3-8-3-1 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 電子カルテシステム機能として、処方オーダー情報や注射オーダー情報の受付操作ができること。同時に、受付情報(当該オーダー情報)を薬剤部門システムへ送信できること。 |
| 2-3-8-3-2 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 薬剤受付一覧では、以下の検索条件が指定できること。 ・期間 ・入外区分(入院・外来) ・診療科 ・病棟 ・伝票種別 ・伝票状態(未受付・受付済・実施済・変更済・印刷済など) |
| 2-3-8-3-3 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 上記検索条件を利用者単位に保存できること。 |
| 2-3-8-3-4 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 上記検索条件を端末設定として保存できること。 |
| 2-3-8-3-5 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 伝票単位(院外処方箋、院内処方箋、定期処方箋、臨時処方箋など)にオーダー数、受付数、印刷数などを表示できること。 |
| 2-3-8-3-6 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 診療科別、病棟別にオーダー依頼数、受付数、印刷数などを表示できること。 |
| 2-3-8-3-7 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 検索結果の一覧からオーダー内容詳細画面が表示できること。また、当画面から受付操作ができること。 |
| 2-3-8-3-8 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | オーダー内容詳細画面にて、必要に応じて予め設定した帳票(処方箋控え、注射箋控えなど)が印刷できること。 |
| 2-3-8-3-9 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 患者に感染症情報がある場合、感染症レベルにより一覧の表示色を変更できること。 |
| 2-3-8-3-10 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 患者IDを指定してオーダー検索、一覧表示できること。 |
| 2-3-8-3-11 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | オーダー番号を指定してオーダー検索、一覧表示できること。 |
| 2-3-8-3-12 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 部門番号を指定してオーダー検索、一覧表示できること。 |
| 2-3-8-3-13 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 伝票一覧や伝票総合計などの印刷ができること。 |
| 2-3-8-3-14 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 処方・注射伝票の受付処理を、診療科単位や病棟単位、伝票単位、オーダー単位でできること。 |
| 2-3-8-3-15 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 受付のタイミングで、予め設定した帳票(処方箋控え、注射箋控えなど)の印刷ができること。なお、印刷する・しないの設定はマスクにて設定できること。 |
| 2-3-8-3-16 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 一度受付操作した受付情報(依頼情報)の取消操作ができること。かつ、取消情報(当該依頼情報)を薬剤部門システムへ送信することができること。 |
| 2-3-8-3-17 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 注射の実施入力ができること。 |
| 2-3-8-3-18 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 薬剤受付 | 電子カルテシステム機能として、「注射認証用ラベル」の印刷ができること。 |
| 2-3-8-4 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | | 検体検査受付/ラベル発行 |
| 2-3-8-4-1 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 検体検査の受付や検体ラベル印刷の機能を電子カルテシステムにて提供すること。 |
| 2-3-8-4-2 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 以下の検索条件で指定されたオーダーの依頼数、受付数、印刷数を一覧表示できること。 ・期間・診療科・病棟別 ・伝票別 ・伝票状態(未受付・受付済・実施済・変更済・印刷済など) |
| 2-3-8-4-3 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 検体検査、細菌検査、輸血検査など伝票単位でオーダー依頼数、受付数、印刷数などが表示できること。 |
| 2-3-8-4-4 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 診療科別、病棟別にオーダー依頼数、受付数、印刷数などを表示できること。 |
| 2-3-8-4-5 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 検索結果の一覧からオーダーの詳細を表示・確認できること。 |
| 2-3-8-4-6 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 患者IDまたはオーダー番号の指定によるオーダーの検索、一覧表示できること。 |
| 2-3-8-4-7 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 伝票一覧や伝票総合計などの印刷ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|----------------------|-------------------|--|
| 2-3-8-4-8 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 検査伝票の受付処理は診療科単位や病棟単位、オーダの伝票単位にできること。 |
| 2-3-8-4-9 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 感染症のある患者については識別できるように感染マークを印字できること。 |
| 2-3-8-4-10 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 受付のタイミングで検体ラベルの印刷ができること。 |
| 2-3-8-4-11 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 一度受付したオーダの取消しができること。 |
| 2-3-8-4-12 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | オーダ毎に区切りを設けてラベル出力ができること。 |
| 2-3-8-4-13 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | ラベルの即時出力有無の設定が、採血場所毎、オーダ種別毎、端末毎にできること。 |
| 2-3-8-4-14 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 輸血検査、細菌検査、病理検査の各ラベルの出力ができること。 |
| 2-3-8-4-15 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 検査伝票情報の検索・一覧表示ができ、検査伝票一覧から選択したラベルの印刷ができること。 |
| 2-3-8-4-16 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 病棟ラベルの即時印刷ができること。 |
| 2-3-8-4-17 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 病棟毎に一括ラベルを出力できること。 |
| 2-3-8-4-18 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 検体検査受付/ ラベル発行 | 出力済みラベル一覧を出力できること。 |
| 2-3-8-5 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | | 未実施の確認(未実施一覧) |
| 2-3-8-5-1 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 実施入力漏れを防止するために入院患者の日々の実施(請求)入力の漏れがないかチェックできること。 |
| 2-3-8-5-2 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 実施入力漏れのオーダを患者毎、病棟毎、診療科毎に抽出して表示できること。 |
| 2-3-8-5-3 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 未実施の確認(未実施一覧)では期間、診療科、病棟、患者ID、実施区分による検索表示ができること。 |
| 2-3-8-5-4 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 未実施の確認(未実施一覧)で各種検索条件の保存ができること。 |
| 2-3-8-5-5 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 未実施の確認(未実施一覧)をファイル出力できること。 |
| 2-3-8-5-6 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 一覧から選択したオーダに対する実施ツールを起動できること。 |
| 2-3-8-5-7 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 一覧から選択した患者のカルテを起動できること。 |
| 2-3-8-5-8 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | 未実施の確認 (未実施一覧) | 入院期間中に発行されたオーダの実施状態を退院後も確認できること。 |
| 2-3-8-6 | 入院業務 | 実施入力 (入院) | | 実施機能(その他) |
| * | 入院業務 | 実施入力 (入院) | ・手術 ・生理 | 以下の検査や手術、リハビリなどの受付/実施機能を提供すること。各業務の機能詳細については、別シート「部門システム」を参照し回答すること。 |
| 2-4 | 退院業務 | (業務概要) | | 退院業務 |
| * | 退院業務 | (業務概要) | | 患者の退院許可から退院実施、医師の退院サマリーなど退院に関する業務を支援する下記の機能を提供すること。 |
| 2-4-1 | 退院業務 | 退院指示 | | 退院指示 |
| 2-4-1-1 | 退院業務 | 退院指示 | | 退院許可 |
| 2-4-1-1-1 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院時情報及びベッドコントロールに必要な情報を入力できること。 |
| 2-4-1-1-2 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院予定日を入力できること。 |
| 2-4-1-1-3 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院時の転記を転記区分から選択入力できること。 |
| 2-4-1-1-4 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 合わせて退院経路を選択入力できること。 |
| 2-4-1-1-5 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院後の診療指示を事前に入力ができること。 |
| 2-4-1-1-6 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院許可の指示する際に同画面から栄養評価の入力ができること。 |
| 2-4-1-1-7 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院許可を指示する際に、退院日以降のオーダを一括削除できる画面を起動できること。 |
| 2-4-1-1-8 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院許可の転記理由が死亡退院の場合、オーダー一括削除を実行する画面が自動で起動されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-------------|-------------|------------------------|--|
| 2-4-1-1-9 | 退院業務 | 退院指示 | 退院許可 | 退院許可を指示する際に未評価のパスが存在する場合は確認画面を表示し、評価入力を促すこと。 |
| 2-4-2 | 退院業務 | 退院決定 | | 退院日決定 |
| 2-4-2-1 | 退院業務 | 退院決定 | | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) |
| 2-4-2-1-1 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 転入/転出オーダを自動的に取り込み、オーダされた情報の閲覧ができ、転入、転出の決定処理ができる機能を有するベッドコントロールの画面を有すること。 |
| 2-4-2-1-2 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 患者の転入(入院・転棟)に関する情報を表示できること。 |
| 2-4-2-1-3 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 患者の転出(退院・転棟)に関する情報を表示できること。 |
| 2-4-2-1-4 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 転入/転出の期間、病棟、診療科、主担当医、担当医、オーダ申込者による検索ができること。 |
| 2-4-2-1-5 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 検索条件を利用者毎に保存でき、初期検索条件として利用できること。 |
| 2-4-2-1-6 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 転入/転出の指示の決定ができること。 |
| 2-4-2-1-7 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 転入/転出の指示の変更ができること。 |
| 2-4-2-1-8 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 決定済の転入/転出を取り消しできること。 |
| 2-4-2-1-9 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | ベッドコントロールの画面から選択した直接カルテを開けること。 |
| 2-4-2-1-10 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | ベッドコントロールの画面からカルテを開くことなく、転入/転出指示の詳細内容を参照できること。 |
| 2-4-2-1-11 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | ベッドコントロールの画面からカルテを開くことなく、食事の指示の詳細内容を参照できること。 |
| 2-4-2-1-12 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 退院予定一覧(ベッドコントロール)の表示内容の印刷ができること。 また、条件検索した結果や任意で選択した患者を対象として印刷できること。 |
| 2-4-2-1-13 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 退院日を決定する画面から栄養評価の入力ができること。 |
| 2-4-2-1-14 | 退院業務 | 退院決定 | 退院予定一覧/退院決定(ベッドコントロール) | 退院日決定処理に伴い、配膳停止の食事区分を選択できること。 |
| 2-4-2-2 | 退院業務 | 退院決定 | | 退院決定 |
| 2-4-2-2-1 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 患者容態の急変など即時に退院の必要性があった場合に即時に退院オーダ発行ができること。 |
| 2-4-2-2-2 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 退院オーダを発行した場合は、その情報がタイムリーに栄養管理システムへ送信されること。 |
| 2-4-2-2-3 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 退院オーダを発行した場合は、その情報が即時に医事システムへ送信されること。 |
| 2-4-2-2-4 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 退院予定日を入力できること。 |
| 2-4-2-2-5 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 退院時の転記を転記区分から選択入力できること。 |
| 2-4-2-2-6 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 合わせて退院経路を選択入力できること。 |
| 2-4-2-2-7 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 退院後の診療指示を事前に入力できること。 |
| 2-4-2-2-8 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 退院決定日以降に未実施オーダがある場合、退院オーダ発行のタイミングでワーニング表示を行い医師の判断で修正・削除ができること。 |
| 2-4-2-2-9 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | ワーニング対象のオーダ種別はマスタで設定できること。 |
| 2-4-2-2-10 | 退院業務 | 退院決定 | 退院 | 入退院支援加算の算定要件として必要な退院オーダに退院先の情報を入力し診療録として保存することが可能なこと。また入力が行われていない場合チェックをかけることができること。 |
| 2-4-2-3 | 退院業務 | 退院決定 | | 退院時オーダ削除/変更機能 |
| 2-4-2-3-1 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダ削除/変更機能 | 退院予定日や退院決定日と連動して、退院日以降に入院中指示が発行されている場合はその指示を検索できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|---------------|----------------|---|
| 2-4-2-3-2 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 退院予定日および退院決定日以降に指示されたオーダーがある場合は、そのオーダーの中止(削除)ができること。また、中止(削除)した指示はカルテに履歴として残すこと。 |
| 2-4-2-3-3 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 退院予定日および退院決定日以降に指示されたオーダーがあり、そのオーダーが外来指示としても有効な場合、入院指示から外来指示へ変更できること。また、修正した指示はカルテに履歴として残すこと。 |
| 2-4-2-3-4 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 退院予定日および退院決定以降の指示の入外変更および削除は、「入外変更するオーダー」、「削除するオーダー」を予めマスタ設定し、初期値で表示すること。また、死亡退院の場合は、マスタの初期設定に関らず、削除データとすること。 |
| 2-4-2-3-5 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 検索した退院後の入院中指示は依頼した診療科の情報や「会計送信済み」や「未実施」などの指示の状態を詳細表示できること。また、指示内容(薬剤名や処置行為名、検査項目など)についても詳細に表現すること。 |
| 2-4-2-3-6 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 任意に検索日付の変更ができること。 |
| 2-4-2-3-7 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 入院中指示を一覧で表示する際に「処置系」「検査系」「薬剤」などで表示の絞り込みできること。また、全科・自科の絞り込みもできること。 |
| 2-4-2-3-8 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 退院後の入院中指示を削除、変更する際に、同じ画面から病名の転帰ができること。 |
| 2-4-2-3-9 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 退院後の入院中指示を検索した際に、継続指示の一括停止ができること。 |
| 2-4-2-3-10 | 退院業務 | 退院決定 | 退院時オーダー削除/変更機能 | 退院後の入院中指示を検索した際に、看護指示の一括停止ができること。 |
| 2-4-3 | 退院業務 | 退院登録 | | 退院登録 |
| 2-4-3-1 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 退院許可が登録されている患者に対して、退院決定の実施入力ができること。その際に病棟のベット配置がイメージしやすいように、ベットの空き状況や既に入院している患者のベット位置を病棟のイメージ図(見取り図)で表現すること。また、実施入力された情報は医事会計システムおよび栄養部門へ自動的に送信されること。 |
| 2-4-3-2 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 病棟イメージ見取り図は各種移動オーダーの情報を病棟毎に一覧表示できること。 |
| 2-4-3-3 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 病棟イメージ図(見取り図)は日付を変更することで、その時点での情報を取込み、ベッドの空き状況などを確認できること。 |
| 2-4-3-4 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 病棟イメージ見取り図の情報を自動更新できること。 |
| 2-4-3-5 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 病棟イメージ見取り図上で入院患者の情報(ID番号、氏名、年齢、入院日、診療科、主治医、担当看護師、パス、救護区分など)を確認できること。 |
| 2-4-3-6 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 感染症患者の確認ができること。感染症患者は視認性向上のため色などで表示すること。 |
| 2-4-3-7 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 病棟毎の稼働率を確認できること。 |
| 2-4-3-8 | 退院業務 | 退院登録 | 退院登録 | 医師、看護師へのお知らせ情報を表示できること。 |
| 2-4-4 | 退院業務 | サマリー作成 | | 退院サマリー |
| 2-4-4-1 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 1患者1入院歴に対し、1サマリーで管理できること。 |
| 2-4-4-2 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 外来診療中などに、過去の入院歴サマリーを容易に検索できること。 |
| 2-4-4-3 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 入院日から発生する各種記録(入院までの経過、入院時現症、既往歴・アレルギー、中間サマリー)を、サマリー作成時に自動収集し、引用活用できること。 |
| 2-4-4-4 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | それぞれの記入エリアに対しては自由にテキスト編集ができること。 |
| 2-4-4-5 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | サマリー画面は基本的な情報を一画面で表示し、できる限り1画面で全体像を確認できるように設計できること。 |
| 2-4-4-6 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | シェーマ、テンプレート、検歴、検査レポートなどは添付ファイルとして関連付けできるようにし、印刷、サマリー情報の抽出に活用できるように対応できること。 |
| 2-4-4-7 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 入院日、退院日、病名、手術情報等々の情報種はタグ付情報として格納し、二次活用できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|----------------|----------|--|
| 2-4-4-8 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 院内共通のフォーマットに加え、各診療科毎が個別に作成した画面のレイアウトにも対応し、表示、編集ができること。 |
| 2-4-4-9 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 科別サマリー作成時に職種記述を補助する汎用マスタ検索画面を表示できること。 |
| 2-4-4-10 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 作成した退院サマリ-の保存時に未入力・未選択項目の有無をチェックし、チェック結果ウインドウに表示すること。 また、未入力・未選択項目が存在する場合はサマリーを一保存しない設定ができること。 |
| 2-4-4-11 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 退院サマリーは、作成(未作成・作成中・作成済)・承認(未承認・承認済)・受取(未受取・受取済)の状態管理ができ、訂正依頼・差戻しができること。 |
| 2-4-4-12 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | サマリー作成対象患者の一覧画面において、退院サマリー未作成患者の識別表示ができること。 |
| 2-4-4-13 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | サマリーに対する更新履歴を確認でき、誰がいつ操作したかを確認できること。また、過去の版数のサマリー内容を参照できること。 |
| 2-4-4-14 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 過去の入院時に記載した同一患者のサマリーを複写できること。 |
| 2-4-4-15 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | サマリーに記載した内容をファイル出力できること。 |
| 2-4-4-16 | 退院業務 | サマリー作成 | 退院サマリー | 退院サマリ-の入力項目としては日本HL7協会HL7 CDA に基づく退院時サマリー規約 http://www.hl7.jp/library/item/HL7J-CDA-007.pdf に基づいていること。 |
| 2-4-5 | 退院業務 | 退院療養計画書 | | 退院療養計画書 |
| 2-4-5-1 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書に記載する患者名や診療科、病棟は電子カルテシステムのデータと自動で連携できること。 |
| 2-4-5-2 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書に記載する注意事項(食事や入浴、運動など)は選択肢による入力、フリー入力のいずれにも対応できること。 |
| 2-4-5-3 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 作成した退院療養計画書は、入院診療計画書の作成一覧に作成済であることが反映されること。 |
| 2-4-5-4 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 作成一覧で、未記入/記入中/記入済/患者へ未提供/印刷済/提供済の状態が管理できること。 |
| 2-4-5-5 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 電子カルテシステムより退院療養計画書を作成し、印刷できること。また、急性期の退院療養計画書に対応していること。 |
| 2-4-5-6 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 退院許可が発行されたタイミングで、退院療養計画書の作成一覧に患者名が表示されること。 |
| 2-4-5-7 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 退院日が決定したら、作成一覧の退院日が自動更新されること。 |
| 2-4-5-8 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 作成一覧から、当該患者の退院療養計画書の作成および修正、印刷ができること。 |
| 2-4-5-9 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書の作成一覧は、期間、病棟、診療科、退院予定を含む条件で検索できること。 |
| 2-4-5-10 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書の作成一覧は、IDによる患者検索ができること。 |
| 2-4-5-11 | 退院業務 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書 | 退院療養計画書の作成一覧から退院療養計画書の仮印刷ができること。 |
| 2-5 | 病棟管理 | (機能概要) | | 病棟管理機能 |
| * | 病棟管理 | (機能概要) | | 電子カルテシステムで入力された入院や退院、転棟などの情報を空床管理やベット管理にリアルタイムに取り込み、病床利用の効率化を支援する機能を提供すること。 |
| 2-5-1 | 病棟管理 | | | 移動予定患者一覧 |
| 2-5-1-1 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 入院患者に指示されている病棟移動オーダや外泊、外出指示を病棟単位で把握しやすいように一覧にて表示できること。 |
| 2-5-1-2 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動オーダが指示されている患者の一覧(移動予定患者一覧)では移動カレンダー等を表示する事により、移動指示に関する情報が詳細に表示できること。 |
| 2-5-1-3 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧では日付や病棟別、移動オーダ別、実施状態による検索表示ができること。 |
| 2-5-1-4 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧では設定した検索条件を利用者毎に保存し、初期検索条件として使用できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|--------------------|-------------|--|
| 2-5-1-5 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧は患者のカルテ選択の機能を有し、移動予定患者一覧から該当する患者のカルテを開けること。 |
| 2-5-1-6 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧に表示されている患者の基本情報などを参照したい場合、操作性を向上するために、移動予定患者一覧から該当する患者の基本情報やアレルギー、感染症情報を参照できること。 |
| 2-5-1-7 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧に表示されている患者に対するの各オーダの指示/実施の情報を参照できること。 |
| 2-5-1-8 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧を印刷できること。 |
| 2-5-1-9 | 病棟管理 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧 | 移動予定患者一覧をファイル出力できること。 |
| 2-5-2 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | | ベッドスケジュール管理 |
| 2-5-2-1 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドの使用状況を確認できる機能を有すること。入退院指示や実施情報をリアルタイムに取り込んでベッドスケジュールに反映させること。 |
| 2-5-2-2 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理画面において、病棟、部屋タイプによる検索表示ができること。 |
| 2-5-2-3 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | 感染症患者の確認ができること。 |
| 2-5-2-4 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | 一覧上でベッド移動をシミュレーションできること。 |
| 2-5-2-5 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール参照時に閲覧したい患者のカルテを開き、参照できること。 |
| 2-5-2-6 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュールから患者の基本情報やアレルギー、感染症などのプロフィール情報を参照できること。 |
| 2-5-2-7 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュールをファイル出力できること。 |
| 2-5-2-8 | 病棟管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュール管理 | ベッドスケジュールは未来日を含めた時系列でベッド使用状況を参照できること。 |
| 2-5-3 | 病棟管理 | 病床管理 | | 病床管理 |
| 2-5-3-1 | 病棟管理 | 病床管理 | 病床管理 | 電子カルテに病棟毎の病棟稼働状況を確認できること。 |
| 2-5-3-2 | 病棟管理 | 病床管理 | 病床管理 | 病床管理では病棟毎の稼働率、平均在院日数、入院患者数を一覧表示できること。 |
| 2-5-3-3 | 病棟管理 | 病床管理 | 病床管理 | 病床管理から各病棟のベッド使用状況を確認できること。これはベッドスケジュール管理との連動とする。 |
| 2-5-3-4 | 病棟管理 | 病床管理 | 病床管理 | 病床管理は一覧表示されたものが印刷できること。 |
| 2-5-3-5 | 病棟管理 | 病床管理 | 病床管理 | 病床管理は一覧表示されたものをファイル出力できること。 |
| 2-5-3-6 | 病棟管理 | 病床管理 | 病床管理 | 病床管理情報をCSVファイルで出力できること。 |
| 2-5-3-7 | 病棟管理 | 新生児管理 | 病棟マップ | 病棟マップ上に、正常新生児をリスト表示できること。また、当リスト上には、新生児室に入室中の新生児および母子同室の新生児の両方が表示され、所在により判別できること。 |
| 2-5-3-8 | 病棟管理 | 新生児管理 | 病棟マップ | 病棟マップ上の新生児室ボタン押下により、正常新生児一覧が表示されること。同一覧上には、新生児カナ氏名、新生児氏名、ID、生後日数、生年月日、性別、母親氏名を表示できること。 |
| 2-5-3-9 | 病棟管理 | 新生児管理 | 病棟マップ | 正常新生児表示部分にマウスポインタを合わせることで詳細情報をバルーン表示できること。バルーンには、生後日数、生年月日、入床日、母親氏名、ID、氏名、カナ氏名、部屋種別、性別、在室日数を表示できること。 |
| 2-5-3-10 | 病棟管理 | 新生児管理 | 病棟マップ | 新生児が母子同室の場合、病棟マップ上にひよこアイコンが表示され、母子同室であることが分かること。 |
| 2-5-3-11 | 病棟管理 | 新生児管理 | 病棟マップ | 二人以上の新生児が母子同室状態の場合はひよこアイコン上に人数が表示され、複数人母子同室状態であることが容易に分かること。 |
| 2-5-3-12 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | 病棟マップの母親ラベルの右クリックメニューから正常新生児入室画面を起動できること。また、病棟マップ上の「入室」ボタンからも正常新生児入室画面を起動できること。 |
| 2-5-3-13 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | 母親ラベルから正常新生児入室画面を起動した場合、母親情報については自動登録されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|--------------|----------------|---------|---|
| 2-5-3-14 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | 新生児検索する場合は、設定により母親の苗字を自動設定できること。 |
| 2-5-3-15 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | 新生児検索する場合は、生後日数により絞込みできること。 |
| 2-5-3-16 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | マスク設定により、正常新生児の食事情報を入力するかどうかを設定できること。 |
| 2-5-3-17 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | 担当情報として、主担当医、担当医、担当看護師、副担当看護師、チームを設定できること。 |
| 2-5-3-18 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | 母親の担当情報をボタンクリックにより容易にコピーできること。 |
| 2-5-3-19 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児入室 | 正常新生児入室確定時に、母親と新生児双方の患者プロフィール情報を更新し、親情報と子情報が自動で登録されること。 |
| 2-5-3-20 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児転室 | 母子同室、新生児室の部屋区分の変更ができること。 |
| 2-5-3-21 | 病棟管理 | 新生児管理 | 正常新生児退室 | 正常新生児を退室させられること。 |
| 2-5-3-22 | 病棟管理 | 新生児管理 | 新生児管理 | 母親の移動(転棟、転室、転床、退院)に伴い、新生児の移動を促すメッセージを表示できること。 |
| 2-5-3-23 | 病棟管理 | 新生児管理 | 新生児管理 | 正常新生児の人数は病棟管理日誌で自動取り込みできること。 |
| 2-5-3-24 | 病棟管理 | 新生児管理 | 新生児管理 | 正常新生児に対して発行されたオーダは医事システムに外来扱いで送信されること。 |
| 2-5-4 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | | 入退院文書一覧 |
| 2-5-4-1 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧 | 病棟、診療科単位に入院期間中に作成が必要な文書の作成状況を一覧形式にて管理できること。 |
| 2-5-4-2 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧の対象文書(テンプレート、ワード文書)はマスク設定により登録できること。 |
| 2-5-4-3 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧の対象文書は一覧表示画面から新規作成、修正ができること。 |
| 2-5-4-4 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧画面からカルテを開けること。 |
| 2-5-4-5 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧画面の一覧印刷、一覧ファイル出力ができること。 |
| 2-5-4-6 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧画面の検索条件の保存(利用者単位)ができること。 |
| 2-5-4-7 | 病棟管理 | 入退院文書一覧 | 入退院文書一覧 | 患者ID、病棟、診療科、主担当医、担当医、主看護師、入院期間、文書の作成状況による検索ができること。 |
| 2-6 | カルテ記載 | | | カルテ記載 |
| 2-6-1 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | | カルテ確認機能 |
| 2-6-1-1 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者のカルテを開き記載する前に患者IDや氏名が表示され、カルテ取り違いを防止できること。 |
| 2-6-1-2 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | カルテの取り違えを防止するために、2人以上のカルテを同時に開いている場合には、患者毎にカルテの背景色を変えて表示できること。 |
| 2-6-1-3 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者のカルテを開き記載する前にカルテ入力の設定(入院/外来の切り替え・診療科の変更・保険の変更など)ができること。 |
| 2-6-1-4 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 外来では患者の初診、再診など来院状態が確認でき、また必要に応じてカルテ記載時に変更ができること。 |
| 2-6-1-5 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 外来では患者の院内での状況(診察中・検査中・会計待ちなど)をカルテを開いたり、保存するタイミングで更新し、受付患者一覧に表示するが、正確な導線を把握するため、カルテを開く際に患者の診察方法(診察外、対面診察、電話診察)の選択ができること。 |
| 2-6-1-6 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 利用者が患者のカルテを記載しない場合、参照モードでカルテの表示ができること。 |
| 2-6-1-7 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 利用者が患者のカルテにシステムダウンなどで事後入力する際、事後モードを選択しカルテ記載ができること。 |
| 2-6-1-8 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者のカルテが他の端末で使用されている場合に使用中の情報(端末名、利用者ID、利用者名、電話番号)を表示できること。 |
| 2-6-1-9 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者に救急時などに発行された仮IDで作成されたカルテが存在している場合は警告表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|--------------|---------------|---------|--|
| 2-6-1-10 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者と関連づけられた患者(親族や二重登録された患者など)がいる場合は警告表示できること。 |
| 2-6-1-11 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者制限機能にてVIP設定されている場合はパスワード入力が必要になること。 |
| 2-6-1-12 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者が亡くなっている場合、それを警告するメッセージを表示すること。 |
| 2-6-1-13 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 同姓同名カナ氏名の患者が存在している場合は警告表示できること。 |
| 2-6-1-14 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | カルテ取り違いを防止するために同姓同名患者を一覧で表示し、カルテを開く前に患者を識別できること。 |
| 2-6-1-15 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 同姓同名カナ氏名の患者が存在している場合は警告表示できること。またカナ氏名以外に漢字表記が同じ場合も対象とすること。 |
| 2-6-1-16 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 受付患者一覧で到着確認をする場合、同姓同名患者が来院または入院中の場合その旨を表示することが可能なこと。 |
| 2-6-1-17 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 救急患者一覧で救急受付票を印刷する場合、同姓同名患者が来院または入院中の場合その旨を表示することが可能なこと。また印刷内容にもその旨が印字されていること。 |
| 2-6-1-18 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 診察振分一覧で振分先を変更する場合、同姓同名患者が来院または入院中の場合その旨を表示することが可能なこと。 |
| 2-6-1-19 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 基本スケジュールを印刷する場合、同姓同名患者が来院または入院中の場合その旨を表示することが可能なこと。また印刷内容にもその旨が印字されていること。 |
| 2-6-1-20 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者にアレルギーがある場合、それを警告するメッセージを表示すること。 |
| 2-6-1-21 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 患者基本情報(住所、氏名、年齢、身長、体重、紹介元、保険情報など)を表示できること。 |
| 2-6-1-22 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 患者の写真を取り込み、表示できること。 |
| 2-6-1-23 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | アレルギー情報(食物・薬剤)・感染症・障害情報・妊娠・治療・インプラント・透析・造影剤禁忌・適用中パスやレジメン・介入中チームなどの重要情報はアイコン表示し、常にカルテに表示すること。 |
| 2-6-1-24 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 上記のアイコンにカーソルを合わせることで関連するプロフィール情報をポップアップ表示できること。また、アイコンをクリックすることで関連するツールを起動できること。 |
| 2-6-1-25 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 電子カルテのツールを起動した場合にも、上記の患者情報が常に表示されていること。 |
| 2-6-1-26 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 患者プロフィールと連携させる患者の写真データを登録できること。 |
| 2-6-1-27 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 患者プロフィールに登録した患者の写真データが、患者バー上の「患者識別アイコン」にサムネイル形式で反映されること。 |
| 2-6-1-28 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 患者の写真データ一覧を専用の画像ビューアで表示できること。 |
| 2-6-1-29 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | 患者基本情報 | 患者プロフィールにはマスタ更新により項目を追加できること。 |
| 2-6-1-30 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者モード選択画面で同姓同名患者一覧を表示する際に生年月日については西暦と和暦が併記されて表示されること。 |
| 2-6-1-31 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 患者モード選択画面で同姓同名患者一覧を表示する際に住所の情報が長く表示しきれない場合はマウスカーソルをあわせるとポップアップで住所の内容を全て表示することが可能なこと。 |
| 2-6-1-32 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 同姓同名患者一覧画面で生年月日については西暦と和暦が併記されて表示されること。 |
| 2-6-1-33 | カルテ記載 | カルテ確認機能 | カルテ確認機能 | 同姓同名患者一覧画面で住所の情報が長く表示しきれない場合はマウスカーソルをあわせるとポップアップで住所の内容を全て表示することが可能なこと。 |
| 2-6-2 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | | カルテ1号紙 |
| 2-6-2-1 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 電子カルテシステムに患者基本情報を表示できること。この基本情報はカルテ記載時に常に画面に表示されていること。また、以下の1～7の項目について情報表示できること。 |
| 2-6-2-2 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 1.患者の受診歴が表示できること。 |
| 2-6-2-3 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 2.患者の入退院歴が表示できること。 |
| 2-6-2-4 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 3.患者の薬物・食物・造影剤アレルギー情報を表示できること。 |
| 2-6-2-5 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 4.患者の感染症に関する情報を表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|--------------|---------------|----------|---|
| 2-6-2-6 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 5.患者の家族など、関連する患者情報を表示できること。 |
| 2-6-2-7 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 6.複数のカルテが存在している場合は注意を促す表示ができること。 |
| 2-6-2-8 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 7.紹介患者の場合は紹介元情報が表示されること。 |
| 2-6-2-9 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 上記5と6に関連するカルテを開く際には、当該患者のカルテを閉じることなく表示できること。 |
| 2-6-2-10 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 患者に同姓同名情報があつた場合、アイコンによって警告表示できること。また、アイコンから同姓同名患者を一覧で表示し、患者を識別できること。 |
| 2-6-2-11 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙 | 患者にアレルギー情報などの注意事項があつた場合、それらを警告するアイコンを表示すること。 |
| 2-6-2-12 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙表示 | 紙カルテのカルテ1号紙に該当する情報を1画面に集約して表示できること。 |
| 2-6-2-13 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙表示 | 患者の保険情報(保険者番号、受給者番号)が参照できること。 |
| 2-6-2-14 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙表示 | 患者の病歴情報が参照できること。 |
| 2-6-2-15 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙表示 | 患者の労災情報(傷病名、労務不能期間など)が参照できること。 |
| 2-6-2-16 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙表示 | 労災にかかわる通信欄を記載できること。 |
| 2-6-2-17 | カルテ記載 | カルテ1号紙 | カルテ1号紙表示 | 画面上から備考情報を記載できること。 |
| 2-6-3 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | | カルテ2号紙 |
| 2-6-3-1 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | SOAP表記によるカルテ入力・表示ができること。 |
| 2-6-3-2 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 記載日、記載者(職種、氏名)、診療科、病棟、保険、版数を表示できること。 |
| 2-6-3-3 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 2号紙に記載したカルテの内容で修正したい情報は容易に修正できること。 |
| 2-6-3-4 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 2号紙に記載した検査、処置、注射の指示については同一オーダ内容で複数日のコピーができること。 |
| 2-6-3-5 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 2号紙に記載した検査や処方オーダを項目単位で削除できること。また、削除項目にオーダとして不整合がある場合は、チェックをかけられること。 |
| 2-6-3-6 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 2号紙に登録されたシエマは任意の倍率で拡大表示できること。 |
| 2-6-3-7 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 過去に記載したカルテ内容をコピー&ペーストの操作により、記載中のカルテに利用できること。 |
| 2-6-3-8 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | カルテ入力した記載内容の印刷ができること。 |
| 2-6-3-9 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | カルテはXML形式で保存できること。 |
| 2-6-3-10 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | XML形式で保存されたカルテ内容は容易にテキストデータに変換でき、カルテ記載時にコピー&ペーストができること。 |
| 2-6-3-11 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 過去の2号紙に登録されている記載内容、各種オーダ、シエマ、テンプレート、WORD文書などを、今回の記載に一括コピーできること。 |
| 2-6-3-12 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | カルテ入力した記載内容は文字単位で修飾できること。 |
| 2-6-3-13 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 院内でカルテ入力する記載内容の書式統一を行えるように、【重要】・【注意】等の共通した文字修飾の書式については、フォントパターン(サイズ、カラー、ボールド、イタリック)を設定し、ワンクリックで該当のフォントを設定できること。 |
| 2-6-3-14 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | カルテ記載内容に付箋の貼付ができること。また、付箋には複数パターンを用意し、それぞれの付箋種別ごとに検索ができること。 |
| 2-6-3-15 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 定型の付箋が設定できる機能を有すること。 |
| 2-6-3-16 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | カルテ記載欄にはSOAP記載ができ、SOAP以外の情報も入力できること。 |
| 2-6-3-17 | カルテ記載 | カルテ2号紙 | カルテ記載画面 | 新規、修正、削除を含めて、入力データについて最終的にカルテの更新を行うまでは、Undo、全入力の取り消しができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|-------|------|------|--|
| 2-6-4 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴 |
| 2-6-4-1 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴に表示する診療記録毎に記載日、記載者(職種、氏名)、診療科、病棟、更新日、更新者、版数を表示できること。 |
| 2-6-4-2 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 過去のカルテ歴として 所見や主訴の記述 オーダ情報 各部門でのオーダ実施情報 画像・レポート・検査結果 看護記録 各職種の記録 など患者の診療に関する記録を全て表示すること。 |
| 2-6-4-3 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 過去のカルテを下記に示す条件を指定して検索できること。 |
| 2-6-4-4 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 検索条件として、 「期間設定」 「対象とするオーダ種別の設定」 「所見や主訴のカルテ記述内容のみ」 「レポート」 「診療科設定」 「病棟指定」 「入外区分」 「保険の種類」 「実施情報」 「履歴表示または非表示」 を設定できること |
| 2-6-4-5 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 過去のカルテや発行済みの指示をカルテ歴からコピーできること。 |
| 2-6-4-6 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴から指示に対するレポートや検査結果を容易に表示できること。 |
| 2-6-4-7 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴を参照した際に、オーダ(指示)が現在どのような状態(未実施、実施済、レポート済)であるかを表示できること。 |
| 2-6-4-8 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 過去のカルテの修正は、カルテ歴から簡単な操作で行えること。 |
| 2-6-4-9 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 改竄を防止する為に、過去のカルテを修正・追記した場合は、版数管理し、修正履歴をすべて残すこと。 |
| 2-6-4-10 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテの追記や修正を行った場合、最新情報を表示すること。ただし、任意でこれまでの修正履歴も表示できること。最新情報とこれまでの修正履歴はカルテ歴上で表示できること。 |
| 2-6-4-11 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴から簡単な操作で修正・削除履歴の表示切替えができること。 |
| 2-6-4-12 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴にこれまでの修正履歴を表示した場合、旧版数のカルテと最新版のカルテの色分け表示ができること。 |
| 2-6-4-13 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 利用者ごとに検索条件を自由に設定できること。また、その検索条件については5つ以上設定できること。 |
| 2-6-4-14 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴からカルテの控え印刷ができること。 |
| 2-6-4-15 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテに貼付した付箋を表示・追加・削除できること。 |
| 2-6-4-16 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 特定保険の表示について、表示設定できること。 |
| 2-6-4-17 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 研修医のカルテ記載、指示については指導医の承認機能(カウンターサイン)を有し、個々のカルテ記載について指導医の承認・未承認の状態および指導コメントを確認できること。 |
| 2-6-4-18 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 指導コメントはカルテ記載の中に表示されるのではなく、アイコンを表示し、アイコンをクリックすることでこれまでの指導コメントの一覧と新たにコメントを入力するための画面が起動できること。 |
| 2-6-4-19 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | オーダ削除時に確認メッセージ表示ができること。 |
| 2-6-4-20 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療録の履歴は、患者に対して診療記録や看護記録の記載があった日付のツリーを表示できること。日付選択により、当該カルテを参照できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|-------|------|------|---|
| 2-6-4-21 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 上記に加え、日付範囲の選択により、当該日付範囲のカルテを参照できること。 |
| 2-6-4-22 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療録は、患者に対して診療記録や看護記録の記載があった日付をカレンダー形式で表示できること。日付選択により、当該カルテを参照できること。 |
| 2-6-4-23 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ記載情報は一定数を超えると情報量に応じて日付や月単位でまとめてツリー表示できること。 |
| 2-6-4-24 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療録の履歴は、自科のカルテと他科のカルテを分け、日付単位でツリー表示できること。日付選択により、当該カルテを参照できること。 |
| 2-6-4-25 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 検査結果(検査歴・画像等)やレポートがある日付を自科と全科に分けてツリー表示できること。日付選択により、当該レポートや結果を参照できること。 |
| 2-6-4-26 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ、オーダ、結果・報告などの上位の情報種別内にある日付毎のカルテ情報の件数が一定数を超えると年単位の情報としてまとめてツリー表示できること。 |
| 2-6-4-27 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 上記に加え、年単位の情報内の日付毎のカルテ情報の件数が一定数を超えると月単位にまとめてツリー表示できること。 |
| 2-6-4-28 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 予め条件設定しておくことで汎用的な情報分類を上位の情報分類種別として設定でき、条件設定に応じたデータのみをその配下のツリーとして表示できること。 |
| 2-6-4-29 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 上記の汎用的なカルテ記載情報のまとめ表示は利用者ごとに作成ができること。 |
| 2-6-4-30 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 詳細な検索条件(文書種別、入外区分、診療科、病棟、期間、文書形態、歴表示の有無、代行入力承認状態、カウンターサイン形態・承認状態)を指定し、診療録の検索ができること。 |
| 2-6-4-31 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 各利用者が設定した検索条件を保存でき、その条件をカルテ起動時の初期検索条件として設定、解除できること。 |
| 2-6-4-32 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 詳細な検索条件は利用者ごとに条件保存できること。 |
| 2-6-4-33 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 詳細な検索条件で検索された結果が、一定数を超えるとカルテ記載情報をまとめてツリー表示できること。 |
| 2-6-4-34 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療録のツリー履歴を表示する際に、オーダ情報だけでなく、所見などのカルテ記載(カルテ記載画面のSOAP部でのテキスト記載)がある文書の場合は「記」の文言を表示して、記載の有無をアイコン表示することができること。 |
| 2-6-4-35 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療録のツリー履歴を表示する際に、初診、再診、入院の区別をアイコン表示すること。 |
| 2-6-4-36 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療録をカレンダー形式で表示する際に、初診、再診、入院の区別を日付セルの背景色で区別すること。 |
| 2-6-4-37 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療録の履歴には、患者に対して貼り付けられている付箋を利用者と院内全体に分けてツリー表示できること。 |
| 2-6-4-38 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 設定した付箋の記載内容の変更ができること。また、不要になれば削除操作もできること。 |
| 2-6-4-39 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 付箋を選択することで紐付けられている診療録を直接表示し、編集ができる状態であること。 |
| 2-6-4-40 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 患者の状況について一目で把握するために、注目したい情報種別(カルテ記載、患者の基本情報、検査結果、オーダ指示内容、バイタル情報等)ごとに、ワンクリック操作で情報種別単位で表示できること。 |
| 2-6-4-41 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 診療の密度情報を視覚的にとらえる画面をワンクリックの操作で表示することができること。 |
| 2-6-4-42 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | ロールブラウザ上に表示されたカルテ記載歴から文字列での検索ができること。検索時にはCtrl+Fのショートカットキーでのクイック検索ができること。 |
| 2-6-4-43 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 上記検索以外に、キーワードによるカルテ全文検索ができること。 |
| 2-6-4-44 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | キーワード検索条件が保存できること。 |
| 2-6-4-45 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴から退院サマリーを参照・修正できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|--------------|-----------------------|----------------|--|
| 2-6-4-46 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴の情報量が多い場合には過去カルテの簡略表示を行うことで、いつどのような診療だったのかをわかりやすく表示できること。 |
| 2-6-4-47 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | ワンクリックで以下の条件を検索できること。 「診療記録をすべてを表示」 「所見や主訴などの記述のみ表示」 「サマリーのみ表示」 「オーダ情報のみ表示」 「処方オーダのみ表示」 「検体検査オーダのみ表示」 「放射線・生理・内視鏡検査のみ表示」 「検査結果・レポートのみ表示」 |
| 2-6-4-48 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴からカルテの控え印刷ができること。 |
| 2-6-4-49 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴でカルテ記載部のみの絞り込み表示ができること。 |
| 2-6-4-50 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴上にオーダの状態表示マークを表示でき、マウスカーソルを合わせるとツールチップ(小さな説明窓)が表示され内容を確認できること。 |
| 2-6-4-51 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | レポートの履歴を並べて表示できること。 |
| 2-6-4-52 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | カルテ歴上で、オーダの診療科、病棟、保険を変更できること。 |
| 2-6-4-53 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | オーダの修正・削除・事後修正・事後削除を行う際に、利用者に注意メッセージを表示できること。 |
| 2-6-4-54 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | コンサルテーション依頼(他科診療依頼)については、カルテ歴から返信内容を記載できること。 |
| 2-6-4-55 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 受診歴・入院歴・移動歴の日付をクリックした際に、該当日付のカルテ歴が表示されること。 |
| 2-6-4-56 | カルテ記載 | カルテ歴 | カルテ歴 | 時系列に表示されたカルテの視認性向上のために、所見や主訴の記述、オーダ(指示)、看護記録、レポート、検査結果など情報毎に色分け表示できること。 |
| 2-6-5 | カルテ記載 | 付箋 | | 付箋機能 |
| 2-6-5-1 | カルテ記載 | 付箋 | 付箋 | 重要な情報をすぐに検索できるように、カルテには付箋の貼り付けができること。 |
| 2-6-5-2 | カルテ記載 | 付箋 | 付箋 | 付箋は複数色を利用者が任意に選択でき、貼り付けができること。 |
| 2-6-5-3 | カルテ記載 | 付箋 | 付箋 | 付箋は利用者が任意にタイトルを付け、貼り付けができること。 |
| 2-6-5-4 | カルテ記載 | 付箋 | 付箋 | 貼り付けた付箋は、当該付箋を設定した利用者のみが検索、参照できること。 |
| 2-6-5-5 | カルテ記載 | 付箋 | 付箋 | 貼り付けた付箋は、院内すべての医療従事者が検索、参照できること。 |
| 2-6-5-6 | カルテ記載 | 付箋 | 付箋 | カルテ索引表示画面上に貼り付けた付箋をツリー表示で確認できること。 |
| 2-6-6 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | | 入力支援(テンプレート機能) |
| 2-6-6-1 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | 入力支援(テンプレート機能) | 外来での診察所見や患者主訴の記述を行う際に、入力漏れや院内での標準化、共通化が推進できるように、テンプレート機能で入力できること。 |
| 2-6-6-2 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | 入力支援(テンプレート機能) | 院内で作成したテンプレートは電子カルテシステム内に、「院内共通」、「診療科ごと」、「利用者ごと」に登録できること。 |
| 2-6-6-3 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | 入力支援(テンプレート機能) | テンプレートは自由に作成でき、電子カルテに登録できること。また、電子カルテ稼働後の追加登録は病院にて容易にできること。 |
| 2-6-6-4 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | 入力支援(テンプレート機能) | 電子カルテに登録されたテンプレートはテンプレートの種類毎にフォルダに格納し、ツリー構造にて表示されること。ツリーからテンプレートを選択した際にプレビューできること。 |
| 2-6-6-5 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | 入力支援(テンプレート機能) | テンプレート内で情報入力する機能として、ラジオボタン、リストボックス、チェックボックス、およびコンボボックスなどの機能を設定できること。 |
| 2-6-6-6 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | 入力支援(テンプレート機能) | テンプレート内で情報入力する機能として、選択形式のものについては、択一選択、複数選択の両方に対応できること。 |
| 2-6-6-7 | カルテ記載 | 入力支援(テンプレート機能) | 入力支援(テンプレート機能) | テンプレート内で情報入力する機能として、選択形式による記述のほか、フリー入力ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|--------------|-------------------------|--------------------|--|
| 2-6-6-8 | カルテ記載 | 入力支援 (テンプレート機能) | 入力支援 (テンプレート機能) | テンプレートにはプロフィール項目を登録することができ、テンプレート入力により患者プロフィール情報としても更新できること。 |
| 2-6-6-9 | カルテ記載 | 入力支援 (テンプレート機能) | 入力支援 (テンプレート機能) | テンプレートを作成する際にシエマ(スケッチ図)をテンプレート内に取り込めること。 |
| 2-6-6-10 | カルテ記載 | 入力支援 (テンプレート機能) | 入力支援 (テンプレート機能) | テンプレート内の項目(患者名や病名など)で、予めマスタ設定や予約語設定し、診療データを利用してデフォルト表示できること。 |
| 2-6-6-11 | カルテ記載 | 入力支援 (テンプレート機能) | 入力支援 (テンプレート機能) | テンプレートにて入力された各種データについては、識別情報を付加することで後利用ができること。 |
| 2-6-6-12 | カルテ記載 | 入力支援 (テンプレート機能) | 入力支援 (テンプレート機能) | 二重入力の負荷軽減と算定漏れを防ぐため、各種指導内容や計画書など医事算定可能なテンプレート記載を行った場合は医事会計システムに会計情報を送信できる設定ができること。 また、送信の有無についてテンプレート上で選択できること。 |
| 2-6-7 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | | 入力支援(シエマ機能) |
| 2-6-7-1 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | 電子カルテシステムに人体のスケッチ図(シエマ)を登録し、カルテ記載の際に所見やコメントなど入力保存できること。 |
| 2-6-7-2 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | シエマは「院内共通」、「診療科ごと」、「利用者ごと」に登録することができ、登録したシエマを容易に選択できること。また選択の際は、シエマがプレビューできること。 |
| 2-6-7-3 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | シエマはコントラスト、輝度、シャープネス、左右反転、拡大縮小の加工ができ、加工した画像がカルテとして保存できること。 |
| 2-6-7-4 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | シエマを使って所見やコメントを入力する際に腫瘍や出血など患部の様子をスタンプ(シエマに貼り付けられるイラスト等)として登録し、シエマに貼り付けられること。 |
| 2-6-7-5 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | シエマにはコメントを入力できること。入力できるコメント数は複数可能とし、10個以上登録できること。 |
| 2-6-7-6 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | シエマ内に記述したコメントは画像情報ではなく、文字情報としてカルテに保存し、サムネイル画像状態でもコメントの判読ができること。 |
| 2-6-7-7 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | 患部の様子を表現したスタンプや描画線などについては透過度の変更ができること。 |
| 2-6-7-8 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | Undo(取消し)、Redo(やり直し)ができること。 |
| 2-6-7-9 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | 登録されたシエマを使用しないで、シエマ編集の機能が使用できること。元絵なしでマウスを使い、フリーハンドで記載できる機能を提供すること。 |
| 2-6-7-10 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | シエマ記載時には10色以上のカラーを使用できること。 |
| 2-6-7-11 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | 電子カルテのシエマとして登録されていなくても、デジカメ画像などのJPEG形式の画像を読み込み、カルテに貼り付けられること。 |
| 2-6-7-12 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | タブレットからのペン入力でシエマ記載ができること。 |
| 2-6-7-13 | カルテ記載 | 入力支援 (シエマ機能) | 入力支援 (シエマ機能) | 描画線の太さと色、塗りつぶしの色などを利用者ごとに初期値設定できること。 |
| 2-6-8 | カルテ記載 | 入力支援 (フリー入力) | | 入力支援(フリー入力) |
| 2-6-8-1 | カルテ記載 | 入力支援 (フリー入力) | 入力支援 (フリー入力) | ワープロ入力によるカルテ記載ができること。 |
| 2-6-8-2 | カルテ記載 | 入力支援 (フリー入力) | 入力支援 (フリー入力) | ワープロ入力した記載内容についてはフォントサイズ、文字色、文字強調、アンダーライン、取消し線、インデントの編集設定ができること。 |
| 2-6-8-3 | カルテ記載 | 入力支援 (フリー入力) | 入力支援 (フリー入力) | コピー&ペーストの操作ができること。 |
| 2-6-9 | カルテ記載 | 入力支援 (単語登録) | | 入力支援(単語登録) |
| 2-6-9-1 | カルテ記載 | 入力支援 (単語登録) | 入力支援 (単語登録) | 電子カルテシステムの利用者単位で単語登録ができること。この場合、任意の読みや記号で、関連付けたい単語や文章を登録できること。 |
| 2-6-9-2 | カルテ記載 | 入力支援 (単語登録) | 入力支援 (単語登録) | 電子カルテシステムにログインしたタイミングで利用者の辞書を入力端末へダウンロードできること。 |
| 2-6-9-3 | カルテ記載 | 入力支援 (単語登録) | 入力支援 (単語登録) | 利用者毎に登録した単語を一覧表示できること。 |
| 2-6-9-4 | カルテ記載 | 入力支援 (単語登録) | 入力支援 (単語登録) | 利用者毎に登録した単語を修正できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|--------------|---------------------------|-------------------|---|
| 2-6-9-5 | カルテ記載 | 入力支援 (単語登録) | 入力支援 (単語登録) | 利用者毎に登録した単語を削除できること。 |
| 2-6-10 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | | 入力支援(セット入力機能) |
| 2-6-10-1 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | 効率よく、正確にオーダ入力をするために、よく使うパターンのオーダをセット化できること。その場合、オーダ種別の違うもの(検査と処方など)でもセット化できること。 |
| 2-6-10-2 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | オーダセットは、患者セット、利用者セット、院内共通セット、診療科セットを登録できること。 |
| 2-6-10-3 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | セットを選択する際に、セットの内容をプレビュー表示できること。 |
| 2-6-10-4 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | セット化したオーダを利用してオーダ発行する際に、セット内容の一部のみを今回オーダとして発行できること。 |
| 2-6-10-5 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | 患者セット、利用者セットの作成は任意で電子カルテに登録および削除できること。また、セット名やセットの分類も利用者が自由に設定できること。 |
| 2-6-10-6 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | 一定期間のオーダ(例:3日間隔で行う検査のセット)のセットを利用する際に、オーダ発行時の基準日を選択し、セット化した間隔の日付で全てのオーダを自動展開できること。 |
| 2-6-10-7 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | セット登録はオーダの組み合わせだけでなく、テンプレートや同意書などの文書、シエマもセット化できること。 |
| 2-6-10-8 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | セット登録は病名とその病名に関連するオーダをあわせてセット化できること。 |
| 2-6-10-9 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | 院内共通のセットに関しては、登録および編集できる利用者を制限できること。また、制限は職種別、もしくは利用者単位で設定できること。 |
| 2-6-10-10 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | 各科の科別セットに関して、所属診療科以外の診療科のフォルダにはセット登録および編集ができないよう制限を設定できること。 |
| 2-6-10-11 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | 診療予定の患者に関する記述を事前登録(予習)し、来院時に即時にオーダ発行できること。 |
| 2-6-10-12 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | データベースに登録されていた薬品の名称が変更された場合、セット登録しておいた処方オーダや注射オーダを展開する際に、当該薬品名が自動で変更されること。 |
| 2-6-10-13 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | 薬剤・材料のマスターコードから当該名称を含んだセット、パスの一覧をCSV形式でリスト出力を行い、それに基づきマスターコードを一括更新できること。 |
| 2-6-10-14 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | セット・パス内のマスターコードの一括更新については、更新ログを管理・参照できること。 |
| 2-6-10-15 | カルテ記載 | 入力支援 (セット入力機能) | 入力支援 (セット入力機能) | セット登録は特定の患者を開かずに登録でき、オーダの誤発行を予防できること。 |
| 2-6-11 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | | 入力支援(文書作成) |
| 2-6-11-1 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 検査や手術の説明書や同意書および診療情報提供書などの記述は、院内での標準化の推進、業務の効率化、メンテナンスの簡便性向上のために、MS-WordやMS-Excelでの文書類作成支援機能を電子カルテシステムの機能として提供すること。 |
| 2-6-11-2 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 院内で作成した文書類は電子カルテシステム内に、「院内共通」、「診療科ごと」、「利用者ごと」に登録できること。 |
| 2-6-11-3 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 文書類は自由に作成でき、電子カルテに登録できること。 |
| 2-6-11-4 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 電子カルテに登録された文書類は「院内共通」、「診療科ごと」、「利用者ごと」にツリー構造にて表示されること。ツリーから文書を選択した際にプレビューでき、プレビュー中であることが容易に判別できること。 |
| 2-6-11-5 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 患者情報(氏名、年齢など)や利用者情報(医師名、診療科名など)を作成する文書に自動転記できること。 |
| 2-6-11-6 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 作成した文書は患者の診療記録として電子カルテに保存できること。 |
| 2-6-11-7 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 作成した文書の印刷ができること。また、部数の指定もできること。 |
| 2-6-11-8 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 作成した文書に対するコメントを一覧より入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|--------------|---------------------------|---------------------|--|
| 2-6-11-9 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 文書を作成した場合に、患者の「受取済」や原本の「保管済」の管理ができること。 |
| 2-6-11-10 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 検査や手術・入院オーダなどと連携して説明書/同意書を作成できること。 |
| 2-6-11-11 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 作成した文書に以下の情報を含めたバーコードを印字できること。 ・利用者ID ・患者ID ・文書種別 ・入外 ・診療科 ・病棟 |
| 2-6-11-12 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 電子カルテシステムで作成した文書(同意書、診断書など)を一覧表示できること。 |
| 2-6-11-13 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 電子カルテシステムで作成した文書を期間、患者ID、分類で検索して一覧表示できること。 |
| 2-6-11-14 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 検索された文書の一覧を印刷できること。 |
| 2-6-11-15 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 検索された文書の一覧をCSV形式あるいはEXCELで編集できる形式で出力できること。 |
| 2-6-11-16 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 電子カルテシステムを使用中に、ツールを起動すると、カルテを開いている患者の患者IDで検索した文書一覧が表示できること。 |
| 2-6-11-17 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 作成した文書が「受取済」あるいは「保管済」かどうかの状態を表示し、一覧上で状態の変更できること。 |
| 2-6-11-18 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 文書の一覧より、文書の内容を確認できること。 |
| 2-6-11-19 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 文書(同意書、 診断書など)管理 | 作成した文書に対するコメントを一覧より入力できること。 |
| 2-6-11-20 | カルテ記載 | 入力支援 (文書作成) | 入力支援 (文書作成) | 以前作成した文書を参照しながら、別の文書を更新モードで開きコピー&ペースト等の操作を行えること。 |
| 2-6-12 | カルテ記載 | 入力支援 (前回オーダ複写) | | 入力支援(前回オーダ複写) |
| 2-6-12-1 | カルテ記載 | 入力支援 (前回オーダ複写) | 入力支援 (前回オーダ複写) | 医師の診察時間短縮を目的とし、外来で発行した前回オーダを自動的にカルテ記載画面に展開できること。 また自動展開する対象のオーダや期間は、利用者ごとに設定ができること。 |
| 2-6-12-2 | カルテ記載 | 入力支援 (前回オーダ複写) | 入力支援 (前回オーダ複写) | データベースに登録されていた薬品の名称が変更された場合、過去処方カルテ記載画面に複写する際に、当該薬品名が自動で変更されること。 |
| 2-6-13 | カルテ記載 | 情報共有 | | 情報共有(患者掲示板)機能 |
| 2-6-13-1 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 院内での情報共有推進のために、医療スタッフが患者に関する情報について、スタッフ間で伝達すべきもの、共有すべきものを登録でき、各スタッフがカルテを開く際に自動で情報を表示することができること。 |
| 2-6-13-2 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 提案する院内情報共有の機能は、書き込まれた情報を見落とさないような仕組みを提供すること。 |
| 2-6-13-3 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 提案する院内情報共有の機能は、患者に対して、新しい書き込みがあったことを知らせる機能を提供すること。 |
| 2-6-13-4 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 提案する院内情報共有の機能は、特定のスタッフを指定して情報を送信できること。 |
| 2-6-13-5 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 提案する院内情報共有の機能は、利用者単位で宛先を設定できること。宛先設定された利用者がカルテを開くときに自分宛てのメッセージを表示できること。 |
| 2-6-13-6 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 提案する院内情報共有の機能に患者の特記事項や注意事項を入力できること。また、入力した場合は、患者カルテに特記事項や注意事項が存在することを受付患者一覧、病棟マップに表示する機能を提供すること。 |
| 2-6-13-7 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 患者治療方針、患者やその家族からの訴えを書き込みできること。また、記載内容は必要に応じてカルテにも記録を残せること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|--------------|------------------|-----------|---|
| 2-6-13-8 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 病院スタッフ間の伝言板として自由に記載できること。また、記載内容は必要に応じてカルテにも記載内容を登録できること。 |
| 2-6-13-9 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | カルテチェック情報を表示(カルテ監査)できること。 |
| 2-6-13-10 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 指導歴を表示でき、対象期間については任意で設定できること。また、履歴からカルテに指導料オーダを転記できること。 |
| 2-6-13-11 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 未作成手術レポート、未承認オーダの件数を表示できること。 |
| 2-6-13-12 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | コンサルテーション依頼(他科診療依頼)の依頼文や返信を表示できること。 |
| 2-6-13-13 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | コンサルテーション依頼(他科診療依頼)については、患者掲示板の一覧から返信内容を記載できること。 |
| 2-6-13-14 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 患者掲示板に新規メッセージが登録された際に、病棟マップ上で患者名の横にアイコンを表示できること。 |
| 2-6-13-15 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 提案する院内情報共有機能によって登録されたメッセージが存在することを識別でき(受付患者一覧画面での表示)、それを自由に設定または解除できること。 |
| 2-6-13-16 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 上記内容の掲示板を常時起動した状態にできること。 |
| 2-6-13-17 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 患者に対して個人的な備忘録としてのメモが掲示板に記載できること。 なお、メモの内容は記載者のみが編集・参照できること。 |
| 2-6-13-18 | カルテ記載 | 情報共有 | 情報共有 | 患者掲示板に重要事項を記載する領域があり、記載されている状態では、その旨が分かるよう受付患者一覧と病棟マップにアイコンが表示されること。 |
| 2-6-14 | カルテ記載 | 指示実施の一覧参照 | | 指示実施一覧の参照 |
| 2-6-14-1 | カルテ記載 | 指示実施の一覧参照 | 指示実施の一覧参照 | 医師がオーダの実施状況を即時に確認できるように、発行済オーダを一覧で表示できること。 |
| 2-6-14-2 | カルテ記載 | 指示実施の一覧参照 | 指示実施の一覧参照 | 発行済オーダの一覧は以下の項目が一覧表示されること。 ・オーダ伝票名称 ・指示者の診療科と氏名 ・指示日時 ・実施予定日 ・実施した日 ・指示の現在の状態(部門未受付・部門受付済) ・レポートや結果の状態 |
| 2-6-14-3 | カルテ記載 | 指示実施の一覧参照 | 指示実施の一覧参照 | 発行済オーダの一覧は以下の検索条件で絞り込み表示できること。 ・期間 ・外来/入院/自科検査 ・オーダ伝票種別 ・未実施オーダ、レポート未作成オーダ |
| 2-6-14-4 | カルテ記載 | 指示実施の一覧参照 | 指示実施の一覧参照 | 上記の検索条件は利用者毎に保存できること。 |
| 2-6-14-5 | カルテ記載 | 指示実施の一覧参照 | 指示実施の一覧参照 | 発行済オーダ一覧より、実施内容やレポートを参照できること。 |
| 2-6-14-6 | カルテ記載 | 指示実施の一覧参照 | 指示実施の一覧参照 | 検索した発行済オーダの一覧を印刷できること。 |
| 2-6-15 | カルテ記載 | 成長曲線 | | 成長曲線 |
| 2-6-15-1 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線図は、画像データとして登録できること。 |
| 2-6-15-2 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線図の改版を考慮し、フォーマットの版管理ができること。 |
| 2-6-15-3 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 登録したフォーマットを一覧表示でき、任意のフォーマットに切り替えできること。 |
| 2-6-15-4 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 使用歴のあるフォーマットを判別できること。 |
| 2-6-15-5 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 患者基本情報に登録された測定データを成長曲線図上へ表示できること。また、成長曲線から測定データの追加・修正・削除ができ、患者基本情報に自動反映できること。 |
| 2-6-15-6 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線図のクリックにより、直感的な操作で測定データを登録できること。 |
| 2-6-15-7 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 測定データの連続入力ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|--------------|-------------|---------|--|
| 2-6-15-8 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 年齢は測定日から自動計算され、成長曲線図に応じて、年齢表記を変更できること(年齢「〇歳〇ヶ月〇日」、月齢「〇ヶ月〇日」、日齢「生後〇日」)。 |
| 2-6-15-9 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 患者プロフィールに登録された単位とは異なる単位で表示でき、成長曲線から測定データを登録した場合、正しく単位換算され保存されること。 |
| 2-6-15-10 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線図を印刷できること。 |
| 2-6-15-11 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線図をカルテに保存できること。 |
| 2-6-15-12 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線図の形状によって、画面レイアウト・印刷レイアウト(縦または横)を変更できること。 |
| 2-6-15-13 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線で用いるフォーマットは、マスタメンテナンスツールで登録(新規作成のほか、複写追加、修正)できること。 |
| 2-6-15-14 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | マスタメンテナンスツールを用いて、プロットの色、大きさ、形、ラベルのフォントサイズ、色などの表示条件が実画面を確認しながら容易に設定できること。 |
| 2-6-15-15 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | マスタメンテナンスツールで作成途中のフォーマットは仮保存できること。また、作成中のフォーマットは削除できること。 |
| 2-6-15-16 | カルテ記載 | 成長曲線 | 成長曲線 | 成長曲線図の改版などにより利用に適さなくなったフォーマットは、マスタメンテナンスツールで使用を制限できること。 |
| 2-6-16 | 妊娠経過図 | | | 妊娠経過図 |
| 2-6-16-1 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 妊婦検診の計測、内診、指導、検査などを一覧で管理できること。 |
| 2-6-16-2 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 子宮底・腹囲・体重・血圧・浮腫・尿蛋白・尿糖・胎児心拍数の入力ができること。 |
| 2-6-16-3 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 子宮底・体重のグラフ表示 ができること。 |
| 2-6-16-4 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 子宮口開大、展退、児頭位置SP、硬さ、子宮口位置の入力及び、スコアの表示ができること。 |
| 2-6-16-5 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 胎位入力(シエマ添付可能)およびフリーコメントの入力ができること。 |
| 2-6-16-6 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 出産予定日、および画面を開いた時の月日、週数を表示すること。 |
| 2-6-16-7 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 入力した内容は、カルテ歴として保存されること。 |
| 2-6-16-8 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 保険指導に関して指導時期、指導項目、特記事項の入力ができること。また、乳房のスケッチ図を添付できること。 |
| 2-6-16-9 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | ヘモグロビン、超音波、モニタなど各種検査の予定、実施状況を確認できること。 |
| 2-6-16-10 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 血液型、感染症などの患者基本情報の表示ができること。 |
| 2-6-16-11 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | ハイリスク妊娠、連絡事項、その他特記事項に関してフリー入力ができること。 |
| 2-6-16-12 | 妊娠経過図 | プレプログラム | プレプログラム | 過去の妊娠経過を参照できること。 |
| 2-6-17 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | | 分娩台帳 |
| 2-6-17-1 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩に際し記載が義務付けられている助産記録に含まれることから、助産記録と連携した分娩台帳機能を実現できること。 |
| 2-6-17-2 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 助産記録を新規作成したタイミングで分娩台帳へ自動的に1件追加されること。 |
| 2-6-17-3 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 1分娩に紐づく出産レコードは連続して表示すること。 |
| 2-6-17-4 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩番号は分娩毎に自動採番されること。なお、分娩番号は月通し番号か、年通し番号か選択できること。 |
| 2-6-17-5 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 多胎分娩の際には、分娩番号の枝番で分娩を管理できること。 |
| 2-6-17-6 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩台帳 | 分娩台帳より助産記録、パルトグラム画面に遷移できること。 |
| 2-6-18 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | | 簡易台帳 |
| 2-6-18-1 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 学会向けに患者の症例を収集したり、母親学級などの集団指導での状況を管理するための台帳として、カルテの情報(基本情報、患者プロフィール)を利用して患者の台帳を作成し、管理できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------------|----------------------|---------------|--|
| 2-6-18-2 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 各種一覧(受付患者一覧、予約患者一覧、付箋一覧など)から患者をピックアップし、台帳を作成し管理できること。 |
| 2-6-18-3 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 台帳は、院内共通、科別のカテゴリに分けて登録できること。また、カテゴリ内ではフォルダーを任意に設定でき、分類分けができること。 |
| 2-6-18-4 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 作成した台帳から該当患者のカルテが開くこと。 |
| 2-6-18-5 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 台帳については、ファイル出力と印刷ができること。 |
| 2-6-18-6 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 簡易台帳 | 台帳毎に更新/参照の権限付与、有効期限を設定できること。 |
| 2-6-19 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 |
| 2-6-19-1 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 患者の付箋情報を一覧形式で確認できること。 |
| 2-6-19-2 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 患者指定の有無を選べること。患者指定をする場合は、患者ID、カナで検索できること。 |
| 2-6-19-3 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋の種別(院内共通、科別、利用者等)で検索できること。 |
| 2-6-19-4 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 科別、職種別、作成者別で検索できること。 |
| 2-6-19-5 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋貼付日、付箋タイトルで検索できること。 |
| 2-6-19-6 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 一覧からカルテを起動できること。 |
| 2-6-19-7 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 付箋一覧 | 過去に貼付されていた付箋について、不必要なものについては権限を有する利用者によって削除できること。 |
| 2-7 | マルチカルテビューア | (機能概要) | | カルテ情報のポータル表示 |
| * | マルチカルテビューア | (機能概要) | | 患者の注目したい、若しくは確認したいカルテデータ(カルテ記載、患者の基本情報、検査結果、オーガ指示内容、バイタル情報等)を、ポータルの1画面上で表示(以下マルチカルテビューアと呼ぶ)でき、患者の状態を素早く把握できること。 具体的には下記要件を実現すること。 |
| 2-7-1 | マルチカルテビューア | ビューアレイアウト作成機能 | | ビューアレイアウト作成機能 |
| 2-7-1-1 | マルチカルテビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 記録種別ごとに時系列表示された過去の診療記録をドラッグ&ドロップすることで、各診療記録の子ビューアを作成できること。 またその表示レイアウトの構築ができること。 尚、診療に関する情報を表示するツールを子ビューアと呼ぶ。 作成可能な子ビューアの種別は以下の通りとする。 ・カルテ表示ビューア ・レポート表示ビューア ・検体検査結果ビューア ・検歴時系列ビューア ・細菌検査結果ビューア ・バイタルサインビューア ・患者プロフィールビューア ・病名ビューア ・プロブレムビューア ・予約状況ビューア ・入退院歴ビューア ・サマリー歴ビューア ・付箋表示ビューア ・患者スケジュールビューア ・看護計画ビューア ・チーム医療ビューア |
| 2-7-1-2 | マルチカルテビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 記録種別ごとに時系列表示された過去の診療記録をクリックすることで、対応する子ビューアに表示する情報を自動的に変更できること。 |
| 2-7-1-3 | マルチカルテビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 子ビューア上にて、右クリックメニューより新規ビューアの追加ができること。 |
| 2-7-1-4 | マルチカルテビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 子ビューアの種別を選択して、子ビューアの表示内容の変更ができること。 |
| 2-7-1-5 | マルチカルテビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 子ビューア同士の配置変更ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|------------------|--------------------|---------------|--|
| 2-7-1-6 | マルチカルビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 子ビューアのサイズを任意に変更できること。 |
| 2-7-1-7 | マルチカルビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 子ビューアのサイズを最大化できること。 最大化した子ビューアのサイズを元に戻し、元の位置に表示できること。 |
| 2-7-1-8 | マルチカルビューア | ビューアレイアウト作成機能 | ビューアレイアウト作成機能 | 子ビューアの削除ができること。 削除された子ビューア領域は隣接する子ビューアのレイアウトを自動的に拡大し、当該削除領域を補うこと。 |
| 2-7-2 | マルチカルビューア | レイアウト設定機能 | | ビューアレイアウト設定機能 |
| 2-7-2-1 | マルチカルビューア | レイアウト設定機能 | レイアウト設定機能 | 構築したビューアのレイアウト構成の情報を保存および削除ができること。 また、保存されたレイアウト構成を展開することで、容易にそのレイアウト変更ができること。 |
| 2-7-2-2 | マルチカルビューア | レイアウト設定機能 | レイアウト設定機能 | レイアウトの種別毎に定められた初期起動時の優先度に基づき、初期起動時のビューアのレイアウト構成の指定ができること。 また、レイアウト展開時は、それぞれの子ビューアにおいて直近日付の診療情報を表示できること。 |
| 2-7-2-3 | マルチカルビューア | レイアウト設定機能 | レイアウト設定機能 | 利用者ごとにお気に入りの表示レイアウト構成の情報を追加および削除ができること。 また、お気に入りのレイアウト構成を展開することで、容易にそのレイアウト変更ができること。 |
| 2-7-2-4 | マルチカルビューア | レイアウト設定機能 | レイアウト設定機能 | レイアウトを医師用、看護師用など利用者の職種に応じたレイアウトを院内で設定ができること。 また、利用者が機能を利用する際、職種に応じたレイアウトが初期表示されること。 |
| 2-7-3 | マルチカルビューア | 診療情報検索機能 | | 診療情報検索機能 |
| 2-7-3-1 | マルチカルビューア | 診療情報検索機能 | 診療情報検索機能 | 日付を指定して診療情報を検索できること。 |
| 2-7-3-2 | マルチカルビューア | 診療情報検索機能 | 診療情報検索機能 | カルテ記載のみに絞りに絞込んで検索できること。 |
| 2-7-3-3 | マルチカルビューア | 診療情報検索機能 | 診療情報検索機能 | 各子ビューアに表示設定されている診療記録について、直近の情報を検索し、各子ビューアに表示できること。 |
| 2-7-3-4 | マルチカルビューア | 診療情報検索機能 | 診療情報検索機能 | 同じ記録種別の子ビューアを複数配置させている場合に、子ビューアの個数に応じた過去診療情報の自動検索および自動表示ができること。 |
| 2-7-3-5 | マルチカルビューア | 診療情報検索機能 | 診療情報検索機能 | 子ビューア毎に検索条件を設定できること。 |
| 2-7-3-6 | マルチカルビューア | マルチリンク機能 | マルチリンカー一覧 | リンク情報の検索結果の一覧より行を選択してマルチカルビューアを起動できること。 |
| 2-7-4 | マルチカルビューア | 専用ツール起動機能 | | 専用ツール起動機能 |
| 2-7-4-1 | マルチカルビューア | 専用ツール起動機能 | 専用ツール起動機能 | 選択した子ビューアの表示情報を、対応する専用ツールを別途起動して参照できること。 (例)子ビューアに表示された画像データを専用ビューアで表示する。等 |
| 2-7-5 | マルチカルビューア | カルテエディタ貼付機能 | | カルテ記載画面への貼付機能 |
| 2-7-5-1 | マルチカルビューア | カルテエディタ貼付機能 | カルテエディタ貼付機能 | 検体検査結果、及び検歴時系列ビューアは、子ビューアにて表示している情報をカルテ記載画面に貼り付けできること。 |
| 2-7-5-2 | マルチカルビューア | カルテエディタ貼付機能 | カルテエディタ貼付機能 | 診療履歴画面に表示されているカルテ記載、オーダ、シエマ、画像などのシンボリックリンク情報をカルテ記載画面に貼り付けできること。 |
| 2-7-6 | マルチカルビューア | マルチリンク機能 | | マルチリンク機能 |
| 2-7-6-1 | マルチカルビューア | マルチリンク機能 | マルチリンク機能 | 表示中のマルチカルビューアのレイアウト及び日付情報を保持したまま、いつでもその内容を再現できるようにリンク情報として保存しておけること。 |
| 2-7-6-2 | マルチカルビューア | マルチリンク機能 | マルチリンク機能 | 上記に加え、リンク情報は「全ての利用者が参照可能」、または「その利用者のみ」という区分に分けて保存できること。 |
| 2-7-6-3 | マルチカルビューア | マルチリンク機能 | マルチリンカー一覧 | 保存済みのリンク情報を診療科などの検索条件を与えることで患者横断で検索して、その結果を一覧形式で表示できること。 |
| 2-7-6-4 | マルチカルビューア | マルチリンク機能 | マルチリンカー一覧 | リンク情報の検索結果の一覧より行を選択してリンク情報を削除できること。 |
| 2-7-7 | マルチカルビューア | その他機能 | | その他機能 |
| 2-7-7-1 | マルチカルビューア | その他機能 | その他機能 | マルチレイアウトによる複数診療情報の一画面表示ができること。 |
| 2-7-7-2 | マルチカルビューア | その他機能 | その他機能 | 診療履歴からのドラッグ&ドロップ、クリック連携による診療情報表示ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|----------------|---------|-------|--|
| 2-7-7-3 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | レイアウト内のビューア追加・削除・配置変更・サイズ変更ができること。 |
| 2-7-7-4 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 利用者、診療科、患者別のレイアウト保存・更新・削除ができること。 |
| 2-7-7-5 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 診療情報の日付指定検索ができること。 |
| 2-7-7-6 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 診療情報の直近日検索ができること。 |
| 2-7-7-7 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 操作歴保持によるUndoができること。 |
| 2-7-7-8 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | マルチカルテビューア画面はワンクリックで画面を半画面化し、カルテ記載画面と同時表示できること。 |
| 2-7-7-9 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | カルテ展開時に診療履歴画面の代わりに起動できること。 |
| 2-7-7-10 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | カルテ記載画面を常に表示できること。 |
| 2-7-7-11 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 検体検査結果ビューアから検歴時系列画面の起動ができ、検歴時系列ビューアから検体検査結果画面が起動できること。 |
| 2-7-7-12 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 検体検査結果ビューアで選択した項目を印刷できること。 |
| 2-7-7-13 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 検体検査結果ビューアで選択した項目をそのまま時系列セットとして登録できること。 |
| 2-7-7-14 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 検歴時系列ビューアで選択した項目を印刷できること。 |
| 2-7-7-15 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 子ビューアの上部に現在の検索条件項目を表示できること。 |
| 2-7-7-16 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 診療録の履歴の日付単位のみ表示部分の選択操作と連動してビューア全体の日付が変更できること。 |
| 2-7-7-17 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 診療録の履歴の日付のみ表示部分をドラッグ&ドロップすることによりビューア全体の日付が変更できること。 |
| 2-7-7-18 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 予約状況ビューアでは、期間指定で予約情報の検索ができること。 |
| 2-7-7-19 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | レポート表示ビューアの検索条件項目において、レポートのカテゴリを定義することにより関連するレポートを一括で選択できること。 |
| 2-7-7-20 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 予約患者一覧、病棟患者一覧、担当患者一覧、救急患者一覧、病棟マップから、患者リストを起動し、マルチカルテビューアを参照モードで起動できること。 |
| 2-7-7-21 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 参照モードのマルチカルテビューアから、現在参照中の患者のカルテを開けること。 |
| 2-7-7-22 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 表示中カルテ・オーダの修正、削除が行えること。 |
| 2-7-7-23 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | マルチカルテビューアからカルテ2号紙へ、親文書、子文書、シエマ、オーダ、画像、保存済文書へのリンクのコピーできること。 |
| 2-7-7-24 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 上記に加えて、カレンダー形式で表示した診療履歴とクリック連携して、診療情報表示ができること。 |
| 2-7-7-25 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 検体検査結果ビューアで、単位変更が発生した箇所にマークを表示できること。 |
| 2-7-7-26 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | 検体検査結果ビューア、細菌検査結果ビューアにおいて、画像が添付されている場合、画像参照外部モジュールを起動できること。 |
| 2-7-7-27 | マルチカルテビューア | その他機能 | その他機能 | カルテ歴でカルテ記載部のみの絞り込み表示を行えること。 |
| 2-8 | カルテ検索支援 | | | カルテ検索支援機能 |
| 2-8-1 | カルテ検索支援 | カルテ検索支援 | | 蓄積されたカルテデータをもとに、診療情報の文書量を視覚的に俯瞰して確認でき、そこから目的とするカルテデータへ素早く遷移できること。 具体的には下記要件を実現すること。 |
| 2-8-2 | カルテ検索支援 | 文書量表示 | 文書量表示 | 長期間(10年)における診療情報の文書量表示ができること。 |
| 2-8-3 | カルテ検索支援 | 文書量表示 | 文書量表示 | 患者の全カルテ量を、月単位に時系列でグラフ表示ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|------------------|---------------|-----------|---|
| 2-8-4 | カルテ検索支援 | 文書量表示 | 文書量表示 | 患者のカルテ量を日単位で、カルテ、オーダ、レポートの括り毎にグラフ表示できること。 |
| 2-8-5 | カルテ検索支援 | 文書量表示 | 文書量表示 | 選択期間における診療情報の文書量表示ができること。 |
| 2-8-6 | カルテ検索支援 | 文書量表示 | 文書量表示 | 主病名の罹患期間を表示できること。また病名についての詳細表示もできること。 |
| 2-8-7 | カルテ検索支援 | イベント表示 | イベント表示 | グラフ形式で入院期間を表示できること。 |
| 2-8-8 | カルテ検索支援 | イベント表示 | イベント表示 | パス適用期間の表示ができること。 |
| 2-8-9 | カルテ検索支援 | 重要コメント | 重要コメント | 任意の日付に対して、重要コメントを入力できること。 |
| 2-8-10 | カルテ検索支援 | 検索条件設定 | 検索条件設定 | 全診療科分・自診療科分で表示の切り替えができること。 |
| 2-8-11 | カルテ検索支援 | 検索条件設定 | 検索条件設定 | 診療科や伝票種別など詳細な検索条件を設定できること。 |
| 2-8-12 | カルテ検索支援 | 検索条件設定 | 検索条件設定 | 範囲自動選択のチェックボックスをONとすることで、指定した月を基準月として、基準月を中心に前後に文書量のカウンタを行い、マスクに設定された文書量分のカルテ記載を表示できること。 |
| 2-8-13 | カルテ検索支援 | 検索条件設定 | 検索条件設定 | 利用者自身が記載した内容のみ絞り込みができること。 |
| 2-8-14 | カルテ検索支援 | 検索条件設定 | 検索条件設定 | 検索条件に職種を指定して職種別に記載した内容の絞り込みができること。 |
| 2-8-15 | カルテ検索支援 | 検索条件設定 | 検索条件設定 | 医師用、看護師用など職種ごとによく利用する検索条件をあらかじめ院内で設定ができること。 |
| 2-8-16 | カルテ検索支援 | 検索条件設定 | 検索条件設定 | 利用者ごとに登録した検索条件以外に、利用者の職種と診療中の診療科（カルテを開いている診療科）向けに院内で共有されているおすすめの検索条件を利用できること。 |
| 2-8-17 | カルテ検索支援 | 他画面連携 | 他画面連携 | ナビゲータの検索ツールとして、本機能にて指定した期間のカルテ情報をナビゲータに表示できること。 |
| 2-8-18 | カルテ検索支援 | 他画面連携 | 他画面連携 | カルテ検索を行う場合、文書作成で作成された文書のタイトルも検索条件として指定し検索が可能なこと。 |
| 2-8-19 | カルテ検索支援 | パス/レジメン連携 | パス/レジメン連携 | 患者のカルテ量を俯瞰したグラフ形式の表示画面でマウス等で期間を選択することで、カルテ歴に選択した期間のカルテ内容が表示されること。 |
| 2-8-20 | カルテ検索支援 | パス/レジメン連携 | パス/レジメン連携 | パスカレンダー/レジメンカレンダー利用時において選択日への連動ができること。 |
| 2-9 | 検査結果参照、説明 | (機能概要) | | 検査結果参照・説明 |
| * | 検査結果参照、説明 | (機能概要) | | 患者への結果説明は電子カルテシステムを活用して十分なインフォームドコンセントが行えるように考慮すること。 |
| 2-9-1 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | | 検査結果 |
| 2-9-1-1 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検体検査、細菌検査オーダに対する結果の表示ができること。 |
| 2-9-1-2 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検体検査の結果表示は以下のパターンに対応すること。 ①項目名、結果値、結果コメントの表示のみの簡易表示。 ②項目正式名、結果値、正常値下限、正常値上限、単位、標準材料、など表示した詳細表示。 |
| 2-9-1-3 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 異常値のみ絞り込み表示ができること。 |
| 2-9-1-4 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検査結果を表示している画面から印刷ボタンをクリックすることで検査結果の印刷ができること。 |
| 2-9-1-5 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検査結果のCSVでの出力ができること。 |
| 2-9-1-6 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検査結果を容易にカルテへ貼り付けできること。 |
| 2-9-1-7 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検査結果を容易にクリップボードへコピーできること。 |
| 2-9-1-8 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検査結果を時系列で表示できること。 |
| 2-9-1-9 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 時系列検査結果を表示している画面から印刷ボタンをクリックすることで時系列検査結果の印刷ができること。 |
| 2-9-1-10 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 時系列検査結果のCSVでの出力ができること。 |
| 2-9-1-11 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 時系列結果を容易にカルテへ貼り付けができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|------------------|------------------|-----------|--|
| 2-9-1-12 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 時系列結果を容易にクリップボードへコピーできること。 |
| 2-9-1-13 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | よく使うパターンの時系列の検査結果をセット化し、容易に時系列検査結果を表示できること。 |
| 2-9-1-14 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | セット化した時系列項目は利用者毎、診療科毎、院内共通で登録でき、利用者セットについては利用者によってセットの修正及び削除ができること。 |
| 2-9-1-15 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 一般細菌検査結果の表示ができること。 |
| 2-9-1-16 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 一般細菌検査結果の印刷ができること。 |
| 2-9-1-17 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 抗酸菌検査結果の表示ができること。 |
| 2-9-1-18 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 抗酸菌検査結果の印刷ができること。 |
| 2-9-1-19 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検査歴を一覧表示できること。 |
| 2-9-1-20 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 検査歴一覧上で検査項目が確認できること。 |
| 2-9-1-21 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 複数IDを持つ患者のID統合後に統合後と統合前の検査結果の一覧を同時に参照できること。 |
| 2-9-1-22 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 複数IDを持つ患者のID統合後に統合後と統合前の検査結果を時系列で参照できること。 |
| 2-9-1-23 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 1オーダ単位で、負荷検査項目の結果値を時系列および時系列グラフで参照できること。 |
| 2-9-1-24 | 検査結果参照、説明 | 検査結果 | 検査結果 | 画像での検査結果を参照できること。 |
| 2-9-2 | 検査結果参照、説明 | 画像・レポート参照 | | 画像・レポート参照 |
| 2-9-2-1 | 検査結果参照、説明 | 画像・レポート参照 | 画像・レポート参照 | 電子カルテシステムから発行された各部門の検査オーダに対するレポートや画像が、カルテ歴およびカルテ歴索引からワンクリックで参照できること。 |
| 2-9-2-2 | 検査結果参照、説明 | 画像・レポート参照 | 画像・レポート参照 | 部門システムが画像およびレポートをWeb参照で提供する場合は、部門システムからWebアドレス情報を受信できること。 |
| 2-9-2-3 | 検査結果参照、説明 | 画像・レポート参照 | 画像・レポート参照 | レポート情報は部門システムからHTML形式の情報をレポート情報として受信することもできること。 |
| 2-9-2-4 | 検査結果参照、説明 | 画像・レポート参照 | 画像・レポート参照 | 部門システムからレポート情報を受信する場合、レポート添付画像の表示サイズを業務(部門)毎に設定できること。 |
| 2-9-2-5 | 検査結果参照、説明 | 画像・レポート参照 | 画像・レポート参照 | 部門システムからレポート情報を受信する場合、レポート添付画像のプレビュー画面にて画像の拡大率の変更ができること。 |
| 2-9-3 | 検査結果参照、説明 | 文書参照 | | 文書参照 |
| 2-9-3-1 | 検査結果参照、説明 | 文書参照 | 文書参照 | 入院のご案内などのパンフレット、看護手順などのマニュアルなどの院内文書を電子カルテに登録し、印刷できること。 |
| 2-9-3-2 | 検査結果参照、説明 | 文書参照 | 文書参照 | 登録できるファイルの種類は、MS-Word、MS-Excel、MS-PowePoint、PDFに対応すること。 |
| 2-9-3-3 | 検査結果参照、説明 | 文書参照 | 文書参照 | 登録した文書を選択する際に、対象の文書のプレビュー表示ができること。 |
| 2-9-3-4 | 検査結果参照、説明 | 文書参照 | 文書参照 | 登録した文書に患者氏名、IDなどの情報が印字される場合は、電子カルテシステムから自動的に転記されること。 |
| 2-9-5 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | | レポート作成 |
| 2-9-5-1 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 検査種別ごとにレポート作成に関する詳細な設定ができること。 |
| 2-9-5-2 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポートの報告者・承認者の選択ができること。また、選択時にパスワード入力チェックの有無の設定もできること。 |
| 2-9-5-3 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポートを作成中、承認待ち状態での保存ができること。 |
| 2-9-5-4 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 患者の詳細情報を参照できること。 |
| 2-9-5-5 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 依頼情報を参照できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|-----------|--------|--------|--|
| 2-9-5-6 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 実施情報を参照できること。 |
| 2-9-5-7 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | カルテ標準シエマツールを起動し、作成したシエマをレポートの添付画像として添付できること。 |
| 2-9-5-8 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | クリップボードの画像を貼付けレポートの添付画像として添付できること。 |
| 2-9-5-9 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | ファイルを選択してレポートの添付画像として添付できること。 |
| 2-9-5-10 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | スキャナツールと連携しスキャナから取り込んだ画像をレポートの添付画像として添付できること。 |
| 2-9-5-11 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポートの版数管理ができること。 |
| 2-9-5-12 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポート添付画像のプレビュー画面表示ができること。 |
| 2-9-5-13 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 辞書機能により、利用者毎の雛型文書登録ができること。 |
| 2-9-5-14 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 画像ビューアからの画像貼り付けができること。 |
| 2-9-5-15 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポート添付画像の並びかえができること。 |
| 2-9-5-16 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポート添付画像の削除ができること。 |
| 2-9-5-17 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 患者の過去検査のレポートを参照できること。 |
| 2-9-5-18 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポートの改版時にコメントを入力できること。 |
| 2-9-5-19 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 1オーダに対して複数のレポートを作成できること。 |
| 2-9-5-20 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 実施内容をレポートテンプレートに設定できること。 |
| 2-9-5-21 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | リハビリレポート作成時にリハビリ評価一覧の参照ができること。 |
| 2-9-5-22 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポート記載画面に表示される「検査日」・「検査時年齢」・「施行者1」「施行者2」・「診断医」の文言をオーダ種別ごとにマスタで設定ができること。 |
| 2-9-5-23 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポートを検査実施日でも保存できること。 |
| 2-9-5-24 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポートテンプレートを承認後でも変更できること。 |
| 2-9-5-25 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 内視鏡レポート作成画面から病理オーダ画面を起動し、所見、診断名を連携することができること。また内視鏡レポートと病理オーダの関連付けができること。 |
| 2-9-5-26 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | テンプレート表示領域をレポート記載画面の全画面に表示できること。 |
| 2-9-5-27 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 保存したレポートを削除できること。 |
| 2-9-5-28 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 仮報告レポートを作成できること。 |
| 2-9-5-29 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポート添付画像を最大20枚まで貼り付けできること。 |
| 2-9-5-30 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポート添付画像の表示サイズを業務(部門)毎に設定できること。 |
| 2-9-5-31 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 自科検査等のレポートについては、レポート作成候補一覧・検査結果一覧からではなく独自にレポート作成画面が起動できること。 |
| 2-9-5-32 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 心電図など検査結果や、紙ベースの情報をスキャナを通して対象検査のレポートに貼付けができること。 |
| 2-9-5-33 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 一括スキャナ取込み機能によりスキャナから取り込んだ画像を添付した仮報告レポート(0版レポート)を作成できること。 |
| 2-9-5-34 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 一括スキャナ取込み対象オーダをバーコードによって読み込みができること。 |
| 2-9-5-35 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 一括スキャナ取込みを行ったレポートの履歴を参照できること。 |
| 2-9-5-36 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 複数枚の連続取込みができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-----------------|---------------------|-------------|---------------|--|
| 2-9-5-37 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | レポート記載画面から起動し、スキャナから取り込んだ画像をレポートへ貼り付けできること。(一枚・複数枚) |
| 2-9-5-38 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | 取り込んだ画像をプレビュー画面にて参照できること。 |
| 2-9-5-39 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | プレビュー画面にて画像を拡大して参照できること。 |
| 2-9-5-40 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | プレビュー画面にて画像を回転(右回り・左回り)して参照できること。 |
| 2-9-5-41 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | スキャナの解像度の設定を端末ごとにマスクにて設定し、取り込みできること。 |
| 2-9-5-42 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | スキャナの解像度の設定を1端末につき複数設定できること。 |
| 2-9-5-43 | 検査結果参照、説明 | レポート作成 | レポート作成 | スキャナ取込み方法の切り替え(ADF⇔原稿台)ができること。 |
| 2-10 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | | | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 |
| 2-10-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | | 薬歴 |
| 2-10-1-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 指定した検索期間内の処方歴(院外、院内、入院含む)及び注射歴をカレンダー形式で表示できること。 |
| 2-10-1-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 表示された内容を印刷できること。 |
| 2-10-1-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 検索期間は、予めマスク設定した期間を初期表示できること。 |
| 2-10-1-4 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 表示する時間の単位は、15分、1時間、3時間、1日から選択して表示ができること。 |
| 2-10-1-5 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 処方薬・注射薬の表示/非表示が切り替えられること。処方薬は、内服薬/外用薬を区別して表示/非表示が切り替えられること。 |
| 2-10-1-6 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 用法の表示/非表示が切り替えられること。 |
| 2-10-1-7 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | Rp単位での表示ができること。 |
| 2-10-1-8 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 同一薬品で異なる薬品単位で入力された処方方は、同じ単位に換算して表示できること。 |
| 2-10-1-9 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 薬品の実施状況をマークにより確認ができ、同時に、実施時間、実施者情報をポップアップで表示できること。 |
| 2-10-1-10 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 経過表からの参照ができ、経過表に表示する薬剤を選択できること。 |
| 2-10-1-11 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬歴 | 薬歴 | 一覧表示された薬品のDI参照ができること。 |
| 2-10-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | | 薬剤情報 |
| 2-10-2-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | | DI参照 |
| 2-10-2-1-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(全体) | 医薬品添付文書情報(MEDIS-DC)の参照が出来ること。 また、データはシステム提供者より一括して提供され、更新を4回/年継続的に行われること。 |
| 2-10-2-1-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(全体) | 服薬指導で参照する添付文書情報と同一なものとする。 |
| 2-10-2-1-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(全体) | 採用薬品をレベル分けして管理できること。 |
| 2-10-2-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | | DI参照 |
| 2-10-2-2-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 採用薬品以外にもMEDIS-DCで登録されている全薬品が参照できること。 |
| 2-10-2-2-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 以下の方法で薬剤の検索ができること。 |
| 2-10-2-2-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | ・添付文書内の全ての文字で検索できること。 |
| 2-10-2-2-4 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | ・薬品名称/一般名で検索できること。また薬効分類で検索できること。 |
| 2-10-2-2-5 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | ・同効薬で検索できること。 |
| 2-10-2-2-6 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | ・識別文字で検索できること。 |
| 2-10-2-2-7 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | また各検索機能について一度検索した結果内での再検索が可能な絞込みができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-----------------|---------------------|-------------|------------------|--|
| 2-10-2-2-8 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 添付文書段落の表示項目が選択できること。 |
| 2-10-2-2-9 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 検索された薬品内の相互作用チェックができること。 |
| 2-10-2-2-10 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 検索時に語句の同義語登録が薬剤部で登録利用できること。 |
| 2-10-2-2-11 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 鑑別照会により画像付き鑑別報告書が印刷ができること。 |
| 2-10-2-2-12 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 採用薬品添付文書について、データとしてダウンロードができること。 |
| 2-10-2-2-13 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 添付文書段落に薬剤部で公開したい内容を追加記載し、表示できること。 |
| 2-10-2-2-14 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 緊急安全情報等、薬剤部で公開したい内容を段落と共に追加記載し、表示できること。 |
| 2-10-2-2-15 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 添付文書情報更新については、薬剤部で作業可能な操作であること。 |
| 2-10-2-2-16 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | 採用薬について採用薬品集を作成できること。 |
| 2-10-2-2-17 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(薬剤部利用内容) | データ更新時期以外でも、登録の必要な薬品は個別に登録できること。 |
| 2-10-2-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | | DI参照 |
| 2-10-2-3-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | 採用薬品以外にもMEDIS-DCで登録されている全薬品が参照できること。 |
| 2-10-2-3-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | 薬剤検索方法として次の機能を有していること。 |
| 2-10-2-3-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | ・添付文書内の全ての文字で検索できること。 |
| 2-10-2-3-4 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | ・薬品名称/一般名で検索できること。また薬効分類で検索できること。 |
| 2-10-2-3-5 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | 添付文書内表示でMEDISが表形式で表現されているものは表として表示できること。 |
| 2-10-2-3-6 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | 処方オーダー画面と連動し、起動できること。 |
| 2-10-2-3-7 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | 注射オーダー画面と連動し、起動できること。 |
| 2-10-2-3-8 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | DI参照(医師利用内容) | 薬歴画面と連動し、起動できること。 |
| 2-10-2-4 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | | セット・パス一括内容変更 |
| 2-10-2-4-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | セット・パス一括内容変更 | 指定した薬剤・材料を含むセットおよびパスの一覧を検索できること。 |
| 2-10-2-4-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | セット・パス一括内容変更 | 上記の検索結果をCSVとして出力することができること。 |
| 2-10-2-4-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | セット・パス一括内容変更 | 検索結果から、当該セットやパス内容の詳細が参照できること。 |
| 2-10-2-4-4 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | セット・パス一括内容変更 | セットおよびパス内に含まれる指定した薬剤・材料を、一括で置換できること。 |
| 2-10-2-4-5 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 薬剤情報 | セット・パス一括内容変更 | 薬剤・材料を一括更新した際の操作ログを管理・参照できること。 |
| 2-10-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | | 服薬指導 |
| 2-10-3-1 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導指示と連動して服薬指導対象患者を一覧で表示できること。 |
| 2-10-3-2 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導対象患者を同意日、患者ID、診療科、病棟、担当薬剤師、服薬指導可否、麻薬指導有無、在宅指導有無にて検索し、検索結果を一覧表示できること。 |
| 2-10-3-3 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導対象患者の一覧を印刷できること。 |
| 2-10-3-4 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導対象患者に、担当薬剤師を割り当てられること。 |
| 2-10-3-5 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | カレンダー形式の服薬指導スケジュールで服薬指導の予定を入力できること。 予定は服薬指導依頼1件について複数入力できること。 |
| 2-10-3-6 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | カレンダー形式の服薬指導スケジュールで服薬指導の実施入力ができること。 実施は服薬指導、退院時指導それぞれについてできること。 |
| 2-10-3-7 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 薬剤指導管理料の算定情報を医事会計システムに送信できること。 また服薬指導、退院時服薬指導それぞれに対応できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|------------------|----------|------------------|--|
| 2-10-3-8 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 医薬品安全性情報等管理体制加算の指定ができること。 |
| 2-10-3-9 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 薬剤指導管理料の算定情報については救急救命入院料算定患者、ハイリスク薬投与患者などの算定区分を入力できること。ハイリスク薬投与患者については投与コメントを入力できること。 |
| 2-10-3-10 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 退院時指導の算定情報においては後期高齢者退院時薬剤情報提供料についても対応できること。 |
| 2-10-3-11 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導の予定/実績/算定情報をカレンダー形式で一覧表示できること。 |
| 2-10-3-12 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導対象患者に在宅指導の予定が入力できること。 |
| 2-10-3-13 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導対象患者の薬歴が参照できること。 |
| 2-10-3-14 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導時の患者情報(身長・体重、病歴、主訴、副作用・禁忌など)が参照・登録できること。 |
| 2-10-3-15 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導レポートが作成できること。 |
| 2-10-3-16 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導レポートを印刷できること。 |
| 2-10-3-17 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導時の患者情報(身長・体重、病歴、主訴、副作用・禁忌など)が印刷できること。 |
| 2-10-3-18 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 服薬指導同意書が印刷できること。 |
| 2-10-3-19 | 薬歴・薬剤情報・服薬指導 | 服薬指導 | 服薬指導の受付、スケジュール管理 | 薬歴が印刷できること。 |
| 2-11 | プロブレム管理 | | | プロブレム管理 |
| 2-11-1 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | 患者の疾患に対して登録したプロブレム、看護計画で登録した看護問題点を一覧表示し、カンファレンス情報(カンファレンス日、記載者、カンファレンス内容)も合わせて入力・参照できることで、各スタッフ間の情報連携に活用できること。 |
| 2-11-2 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | 問題点から、病名登録画面や看護問題リスト画面を表示できること。 |
| 2-11-3 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | 問題点一覧からクリニカルパス画面を表示できること。 |
| 2-11-4 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | 問題点一覧から経過表(温度板)を表示できること。 |
| 2-11-5 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | 問題点一覧からカルテ画面を表示できること。 |
| 2-11-6 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | プロブレム管理 | 入力したカンファレンス内容を院内のスタッフ間で共有できるよう、患者の掲示板として表示できること。 |
| 2-12 | EXCEL連携機能 | | | EXCEL連携機能 |
| 2-12-1 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Microsoft Office Excelを使用し、院内共通フォーマットとして雛形を登録できること。 |
| 2-12-2 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | 予め登録されている雛形Excelファイルを用い定型的記録を行うことができること。 |
| 2-12-3 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | 各診療科ごとに登録されている雛形Excelファイルを階層形式で選択することができること。 |
| 2-12-4 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | 患者毎にExcelシートを管理できること。患者毎のファイルは、一覧形式で表示できること。 |
| 2-12-5 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | 患者一人に対して複数のExcelシートに記載でき、一覧上で管理できること。 |
| 2-12-6 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシートの入力はワープロ入力、リストからの選択に対応すること。 |
| 2-12-7 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシートの更新記録が、カルテに記載されること。 |
| 2-12-8 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシートは一次保存機能があり、継続的に記録ができること。 |
| 2-12-9 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシートでスコア表示などがある場合は自動的に計算できること。 |
| 2-12-10 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | 履歴参照機能により過去のExcelシートの参照ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-----------------|----------------|----------|--|
| 2-12-11 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシート一覧で開始日、タイトル、記載者、文書形態、使用終了状況により表示するシートを絞り込むことができること。 |
| 2-12-12 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシート一覧のソート順を、利用者ごとに保存することができること。 |
| 2-12-13 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシート保存時に、25文字までのフリーコメントの入力ができること。 |
| 2-12-14 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | Excelシートを一般経過表と連携できること。またデータの反映もできること。 |
| 2-12-15 | EXCEL連携機能 | EXCELシート | EXCELシート | 別のExcelシートを参照しながら、Excelシートを更新モードで開き作成が行えること。 |
| 2-13 | 利用者間情報伝達 | | | 利用者間情報伝達(お知らせ機能) |
| 2-13-1 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 緊急検査の結果が到着した場合に、依頼した利用者に即時に通知が届くこと。また、緊急通知を一覧で参照できること。 |
| 2-13-2 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 利用者の備忘録として、指定日時に入院や手術などの未来の予定を送信できること。 |
| 2-13-3 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 院内における組織や部門内の通知事項の送信に利用できること。また、ワークフローとして順番を指定して送信できること。 |
| 2-13-4 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 通知内容に対して、コメント入力及び承認/却下の選択入力ができること。 |
| 2-13-5 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 退院サマリーの差し戻し、訂正依頼時に依頼先に通知ができること。 |
| 2-13-6 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 他科への診察依頼など、お知らせ(メール)の送受信ができること。 |
| 2-13-7 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 受信したお知らせ(メール)を一覧で参照できること。 |
| 2-13-8 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 受信したお知らせ(メール)を一覧で日付を指定して印刷できること。 |
| 2-13-9 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 各種オーダの発行に連動してメッセージ通知を設定できること。 |
| 2-13-10 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | 各種部門レポートの受信に連動してメッセージ通知を設定できること。 |
| 2-13-11 | 利用者間情報伝達 | お知らせ機能 | お知らせ機能 | テンプレートを使ったカルテの記載に連動してメッセージ通知を設定できること。また、その機能はチーム医療にも活用できること。 |
| 2-14 | 移行用カルテ | | | 移行用カルテ |
| 2-14-1 | 移行用カルテ | カルテ移行 | 移行カルテ | テキスト形式で記載された移行用サマリー(カルテ)を一括して電子カルテシステムに取り込めること。取り込む内容に、患者ID/利用者/診療科を登録できること。 |
| 2-14-2 | 移行用カルテ | カルテ移行 | 移行カルテ | 取り込んだ移行用サマリー(カルテ)をカルテ履歴に表示できること。 |
| 2-14-3 | 移行用カルテ | カルテ移行 | 移行カルテ | 移行した移行用サマリー(カルテ)を一覧で参照できること。 |
| 2-14-4 | 移行用カルテ | カルテ移行 | 移行カルテ | 移行用サマリー(カルテ)の一覧より、移行用サマリー(カルテ)を削除できること。 |
| 2-15 | カルテ印刷 | | | カルテ印刷 |
| 2-15-1 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | | カルテ印刷機能 |
| 2-15-1-1 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | 電子カルテシステムに保存された診療録やオーダ情報などすべての記録を、PDFまたは紙に印刷できること。 |
| 2-15-1-2 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | 看護支援機能で入力した看護計画や経過表の入力値、看護記録などをPDFまたは紙に印刷できること。 |
| 2-15-1-3 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | 検査結果などの検査結果レポートをPDF、または紙に印刷できること。 |
| 2-15-1-4 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | カルテをPDFや紙に印刷する場合、レポートやカルテに記載されたシェーマや画像データを表示、印刷できること。 |
| 2-15-1-5 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | カルテをPDFや紙に印刷する場合には、患者を指定して印刷できること。 |
| 2-15-1-6 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | 印刷した履歴を一覧にて参照できること。 |
| 2-15-1-7 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | 指定した一人の患者のカルテ出力の条件設定は、期間指定、診療科の選択、保険区分、外来歴/入院歴の指定ができること。 |
| 2-15-1-8 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | 入外を一括して印刷ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------------|-----------------|----------|---|
| 2-15-1-9 | カルテ印刷 | カルテ印刷機能 | カルテ印刷機能 | カルテ出力の際は、修正履歴や削除履歴を表示および印刷できること。 |
| 2-15-2 | カルテ印刷 | 指導歴印刷 | | 指導歴印刷機能 |
| 2-15-2-1 | カルテ印刷 | 指導歴印刷 | 指導歴印刷 | カルテ歴に表示されている指示歴の控えを印刷できること。 |
| 2-15-2-2 | カルテ印刷 | 指導歴印刷 | 指導歴印刷 | 指示歴の控え印刷前に、印刷イメージをプレビュー画面で確認できること。 |
| 2-15-2-3 | カルテ印刷 | 指導歴印刷 | 指導歴印刷 | 印刷イメージのプレビュー画面の拡大及び縮小ができること。 |
| 2-15-2-4 | カルテ印刷 | 指導歴印刷 | 指導歴印刷 | 印刷する際に、用紙の縦横切替えができること |
| 2-15-2-5 | カルテ印刷 | 指導歴印刷 | 指導歴印刷 | 印刷する枚数を指定できること。 |
| 2-15-2-6 | カルテ印刷 | 指導歴印刷 | 指導歴印刷 | 出力先のプリンタを選択できること。 |
| 2-16 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | | 紙文書スキャク取込み |
| 2-16-1 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | スキャクで紙文書を取り込み、電子カルテシステムに保存し、カルテ歴に表示できること。 |
| 2-16-2 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | 取り込む紙文書が複数枚であっても、取込み可能で電子カルテに保存できること。 |
| 2-16-3 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | 業務効率化のために、当該患者のカルテを開かなくてもスキャク取込みができ、カルテに保存できること。 |
| 2-16-4 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | 取り込んだ紙文書の付帯情報として種別(紹介状、同意書など)を入力できること。 |
| 2-16-5 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | 取り込んだ紙文書の種別(紹介状、同意書など)により、カルテ歴で検索できること。 |
| 2-16-6 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | 取り込んだ紙文書にコメントを入力できること。 |
| 2-16-7 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | 紙文書が取り込まれた日時を電子カルテシステム上で管理できること。 |
| 2-16-8 | 紙文書スキャク取込み | スキャク取込 | スキャク取込 | 取り込んだ紙文書の画像の編集(回転・色の反転・コントラスト・輝度・シャープネス・彩度)ができること。 |
| 2-17 | カウンターサイン | カウンターサイン | | カウンターサイン機能 |
| 2-17-1 | カウンターサイン | カウンターサイン | カウンターサイン | 研修医が行った診療行為について、指導医(上級医)が指導した記録(カウンターサイン)をカルテに残すことができること。 |
| 2-17-2 | カウンターサイン | カウンターサイン | カウンターサイン | 電子カルテシステムで研修医が指導医を選択することができること。 |
| 2-17-3 | カウンターサイン | カウンターサイン | カウンターサイン | 指導医が設定された研修医はカルテの記載ができること。 |
| 2-17-4 | カウンターサイン | カウンターサイン | カウンターサイン | 研修医がカルテを記載するとカルテ上に「未承認」と承認状態が表示され、設定された指導医名が指導医として表示できること。 |
| 2-17-5 | カウンターサイン | カウンターサイン | カウンターサイン | 研修医がカルテを記載すると指導医に自動的にToDoとしてその情報が送信できること。 |
| 2-17-6 | カウンターサイン | カウンターサイン | カウンターサイン | 指導医がカウンターサインの承認操作を完了すると研修医に自動的にToDoとしてその情報が送信できること。 |
| 2-17-7 | カウンターサイン | カウンターサイン | カウンターサイン | 伝票種単位に前承認、後承認の設定ができること。 |
| 2-17-8 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 指導医はカウンターサインの承認対象となるカルテの一覧を表示できること。 |
| 2-17-9 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | カウンターサインの承認対象の一覧は、カルテ記載日、患者ID(カナ名称)、診療科、病棟、入外、指導医(学生/研修医)、承認区分、承認状態による絞り込みができること。 |
| 2-17-10 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 指導医は、カウンターサイン未承認一覧から、未承認のカルテの内容を確認できること。 |
| 2-17-11 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 研修医は、カウンターサイン承認済一覧から、承認済みのカルテの内容を確認できること。 |
| 2-17-12 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 指導医は、カウンターサインの内容を確認しながら「承認」もしくは「差し戻し」ができること。 |
| 2-17-13 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 指導医は、カウンターサインの内容を確認しながら、軽微な内容であれば修正後に承認できること。 |
| 2-17-14 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 指導医は、カウンターサインの内容を確認しながら、指導コメントの入力・修正・削除ができること。 |
| 2-17-15 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 研修医は、カウンターサインの内容を確認しながら、コメントの内容を確認できること。 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|---------------|-----------|-----------|--|
| 2-17-16 | カウンターサイン | カルテ承認一覧 | カルテ承認一覧 | 指導医グループを作成でき、グループメンバーであればグループでの指導対象の研修医のカウンターサインの承認操作(承認・差し戻し・修正後承認)ができること。 |
| 2-17-17 | カウンターサイン | カルテ内容確認画面 | カルテ内容確認画面 | 承認/差し戻し操作の負荷軽減を図るため、カルテの内容について一括でカウンターサインの承認操作(承認・差し戻し・修正後承認)ができること。 |
| 2-18 | 肝炎治療促進 | | | 肝炎治療促進 |
| 2-18-1 | 肝炎治療促進 | 受診勧奨 | 受診勧奨 | 肝炎治療促進のため、HBs抗原、HCV抗体が陽性の場合、肝炎ウイルス検査の受診勧奨を促すメッセージを通知し、また患者へ渡す文書の発行ができること。 また、文書の発行については発行日時、発行者が確認ができること。 |
| 2-18-2 | 肝炎治療促進 | 受診勧奨 | 受診勧奨 | 前回肝炎検査受診勧奨を行った患者でも、ある一定期間経過した場合は再度検査を促す場合があるため、設定に合わせて通知がされること。 |
| 2-18-3 | 肝炎治療促進 | 受診勧奨 | 受診勧奨 | 肝炎治療を受けることになった患者について勧奨の通知は不要であるため、治療開始であることを明示して通知を止めることができること。 |
| 2-18-4 | 肝炎治療促進 | 薬剤チェック | 薬剤チェック | レジメン適用時、抗がん剤処方時の肝炎ウイルス検査の結果を判定し、利用者にメッセージを通知できること。 |
| 2-18-5 | 肝炎治療促進 | 薬剤チェック | 薬剤チェック | 肝炎ウイルス検査を組み合わせによって、通知するメッセージ内容を変更できること。 |
| 2-18-6 | 肝炎治療促進 | 薬剤チェック | 薬剤チェック | レジメン適用時、抗がん剤処方時に必要な検査がある場合には、検査オーダの発行を促すために、必要な検査項目を選択した状態で検査オーダを起動し、指示入力できること。 |

3章 オーダリング

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|---------------|------|------|--|
| 3-1 | (業務概要) | | | オーダ入力 は、すべて電子化できるように以下の伝票種別をすべて提案すること。また、オーダ入力の効率化と正確性を確保するために以下の機能要件を満たすこと。さらに業務フローに支障を与えないように関係する部門へシームレスにデータ(オーダ内容)を送信できること。 |
| 3-1-1 | 病名登録 | | | 病名登録 |
| 3-1-1-1 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録時に病名開始日、主病名、守秘病名、疑い病名、慢性病名、診療科、入外区分(共通/外来/入院)、保険名称、有効期限を設定できること。 |
| 3-1-1-2 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 守秘病名の場合は、伏字での表示を設定できること。 |
| 3-1-1-3 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 電子カルテに登録した病名は、医事会計システムに送信され、レセプト発行時にレセプト病名として利用できること。 |
| 3-1-1-4 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名をキーワードで検索し、病名の登録ができること。 |
| 3-1-1-5 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 診療科別の頻用病名から病名の登録ができること。また、他科の頻用病名からも登録できること。 |
| 3-1-1-6 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 医師別の頻用病名から病名の登録ができること。 |
| 3-1-1-7 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録済病名を表示(診療科別、入外別、転帰状態別)、確認しながら、新規病名の検索ができること。 |
| 3-1-1-8 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | ICD10コードから病名の検索ができること。 |
| 3-1-1-9 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名と接頭語、接尾語を組み合わせ、個人病名として登録できること。 |
| 3-1-1-10 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録時には、下記の情報を付加できること。 ・疑い病名 ・主病名 ・守秘病名 ・慢性病名 ・診療科 ・入外区分(共通/外来/入院) ・保険名称 ・病名開始日 |
| 3-1-1-11 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録時に、その病名の有効期限を12ヶ月まで設定できること。 |
| 3-1-1-12 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録済みの病名情報の更新ができること。 |
| 3-1-1-13 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録済みの病名情報の転帰入力(転帰日、転帰理由)ができること。 |
| 3-1-1-14 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 複数病名の転帰入力を一括で行えること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|----------------|---------|---|
| 3-1-1-15 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録済みの病名情報の削除ができること。 |
| 3-1-1-17 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録済病名またはプロブレムをカルテへ貼り付けできること。 その際、病名は、病名開始日、病名名称、ICD10コードが情報として表示できること。同様にプロブレムは、プロブレム番号、プロブレム名称が情報として表示できること。 |
| 3-1-1-18 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | カルテを記述している診療科で、病名が登録されていない場合は、カルテ保存時に警告メッセージを表示できること。また、設定により病名登録がされていない場合は、カルテ保存ができないようにすること。 |
| 3-1-1-19 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名と修飾語を組み合わせて登録した場合、その組み合わせで登録した病名が、病名マスタに登録されているかどうかチェックし、登録されている場合は置換えることができること。 |
| 3-1-1-20 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 診療科別に接頭語/接尾語をマスタにより登録できること。 |
| 3-1-1-21 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | マスタで登録された診療科別の接頭語/接尾語から選択できること。また、他科の接頭語/接尾語も利用できること。 |
| 3-1-1-22 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名一覧より、削除病名の表示及び履歴の参照ができること。 |
| 3-1-1-23 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録された病名に設定された有効期限より、自動的に転記することもできること。自動的に転帰するかどうかは、病院の運用により設定できること。 |
| 3-1-1-24 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録された病名に設定された有効期限より、自動的に転記する場合は、医事会計システムにも転帰情報を送信し、医事会計システムでも転帰済みとすること。 |
| 3-1-1-25 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 接頭語や接尾語などの修飾語を選択した際に、同種の修飾語があれば修飾語として選択できない設定ができること。 |
| 3-1-1-26 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 部位などの詳細が不明な病名を登録する際、詳細病名の候補一覧を起動し、病名の詳細入力を支援できること。 |
| 3-1-1-27 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録時、または更新時に、同一名称で期間が重複する病名があればチェックし、同一の病名が登録できないようできること。 |
| 3-1-1-28 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 目次検索した際、小分類検索結果をICD10コード順に表示できること。 |
| 3-1-1-29 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 登録されている病名の開始日を一括で変更できること。 |
| 3-1-1-30 | 病名登録 | 病名登録 | 病名登録 | 複数の病名をあわせてセット化して登録ができ、患者状態に応じて登録したセットから流用できること。 |
| 3-2 | 再診予約 | | | 再診予約 |
| 3-2-1 | 再診予約 | 再診予約オーダ | | 再診予約オーダ |
| 3-2-1-1 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | 電子カルテに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存されること。 |
| 3-2-1-2 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-2-1-3 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-2-1-4 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | 過去にオーダ発行したオーダをコピーできること。その際に、実施日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-2-1-5 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | オーダ入力の効率化を考慮して、再診予約オーダを他に必要な他のオーダ(検査や処置など)と組み合わせでセット登録ができること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-2-1-6 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | 診療科、医師ごとの予約枠の指定による予約日時と時間の指定ができること。 |
| 3-2-1-7 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | 日付け毎の予約空き状況の色別表示ができること。 |
| 3-2-1-8 | 再診予約 | 再診予約オーダ | 再診予約オーダ | 患者の予約状況の表示ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|-----------------------|---------------|---|
| 3-2-1-9 | 再診予約 | 再診予約オ タ | 再診予約オ タ | 選択した予約枠の空き状況を確認するため、カレンダーで選択した日付から8日分（8枠分）を一覧表示し、予約日の調整が行えること。 |
| 3-2-1-10 | 再診予約 | 再診予約オ タ | 再診予約オ タ | 予約枠ごとに予約患者を日ごとに一覧表示できること。 |
| 3-2-1-11 | 再診予約 | 再診予約オ タ | 再診予約オ タ | 予約カレンダーのジャンプ機能(直近、1週後、2週後、一ヵ月後、半年後、1年後など)を有すること。 |
| 3-2-1-12 | 再診予約 | 再診予約オ タ | 再診予約オ タ | 再診予約に関して、定型コメント・フリーコメントの入力ができること。 |
| 3-2-1-13 | 再診予約 | 再診予約オ タ | 再診予約オ タ | 当月の予約枠パターン(診療予約・検査予約)を指定ヶ月(最大12ヶ月)後まで自動で複写できること。 |
| 3-2-1-14 | 再診予約 | 再診予約オ タ | 再診予約オ タ | 予約コメント入力欄を2以上有すること。 |
| 3-2-1-15 | 再診予約 | 再診予約オ タ | 再診予約オ タ | 次回までの間隔を確認するため、予約日を指定すると日数を自動計算して表示できること。 |
| 3-2-2 | 再診予約 | 予約調整機 能 | | 予約調整機能(予約カレンダー) |
| 3-2-2-1 | 再診予約 | 予約調整機 能 | 予約調整機 能 | 複数の診察予約枠および検査予約枠の空き状況を同時に参照し、予約時間の指定ができること。 |
| 3-2-2-2 | 再診予約 | 予約調整機 能 | 予約調整機 能 | 基準となる予約日時をもとに日付単位、週単位、月単位、曜日単位で連続して複数日の予約が取得できること。 |
| 3-2-2-3 | 再診予約 | 予約調整機 能 | 予約調整機 能 | 他の検査予約枠の空き状況を確認しながら、予約オーダの調整が行なえること。 |
| 3-2-3 | 再診予約 | 他科診察予 約 | | 他科診察予約 |
| 3-2-3-1 | 再診予約 | 他科診察予 約 | 他科診察予 約 | 他科に対して診察の依頼ができること。 |
| 3-2-3-2 | 再診予約 | 他科診察予 約 | 他科診察予 約 | 他科からの診察依頼に対して返信ができること。 |
| 3-2-4 | 再診予約 | コンサルテー ション | | コンサルテーション依頼(他科診療依頼) |
| 3-2-4-1 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | コンサルテーション依頼(他科診療依頼)の依頼指示ができること。具体的には以下の1~4項目の機能を有すること。 |
| 3-2-4-2 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 1.特定の診療科もしくは医師の予定枠を参照しながら診療の日時を指定できること。 |
| 3-2-4-3 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 2.専用画面上で他科診療依頼のオーダ内容を入力できること。 |
| 3-2-4-4 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 3.他科診療依頼内容の入力時にシエーマを挿入できること。 |
| 3-2-4-5 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 4.他科診療依頼の既読状態を、済チェック、既読日付、既読者の入力で管理できること。 |
| 3-2-4-6 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | コンサルテーション依頼(他科診療依頼)の返信記載ができること。具体的には以下の1~3項目の機能を有すること。 |
| 3-2-4-7 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 1.専用画面上で他科診療依頼で実施した診療内容の返信が入力できること。 |
| 3-2-4-8 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 2.他科診療依頼に対する返信内容の入力において、シエーマを挿入できること。 |
| 3-2-4-9 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 3.他科診療依頼に対する返信の状態(回答中、回答済)を入力できること。 |
| 3-2-4-10 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | コンサルテーション依頼(他科診療依頼)の依頼指示及び返信記載の状況を一覧上にて管理ができること。具体的には以下の1~3項目の機能を有すること。 |
| 3-2-4-11 | 再診予約 | コンサルテー ション | コンサルテー ション | 1.他科診療依頼に対して条件を与えて検索を掛けることで、他科診療の状況を一覧で表示できること。 また検索条件は以下の通りとする。 ・期間 ・予約枠 ・依頼科 ・依頼者 ・返信の状態(回答中、回答済) |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-----------|--------------|-----------|---|
| 3-2-4-12 | 再診予約 | コンサルテーション | コンサルテーション | 2.他科診療依頼状況の一覧画面より、「コンサルテーション依頼/返信」ツールを起動させ、返信内容の入力ができること。 |
| 3-2-4-13 | 再診予約 | コンサルテーション | コンサルテーション | 3.他科診療依頼状況の検索条件を利用者単位で保存できること。 |
| 3-2-4-14 | 再診予約 | コンサルテーション | コンサルテーション | 他科診療依頼状況の一覧画面より該当の依頼情報を選択し、依頼内容修正、回答入力ができること。 |
| 3-3 | 処方 | | | 処方オーダ |
| 3-3-1 | 処方 | 処方オーダ | | 処方オーダ |
| 3-3-1-1 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 電子カルテシステムに、版数、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存され参照できること。 |
| 3-3-1-2 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムのカルテ画面から修正や削除ができること。また、修正や削除の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-3-1-3 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残し、参照できること。 |
| 3-3-1-4 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | オーダ入力の効率化を考慮して、処方オーダと他に必要なオーダ(検査や処置など)や文書などを組み合わせでセット登録ができること。 |
| 3-3-1-5 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 配置薬を利用した場合など、実施場所(与薬場所)の指定ができること。 |
| 3-3-1-6 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | セット登録された処方オーダの展開時に発行端末の場所に応じて実施場所が自動的に展開できること。 |
| 3-3-1-7 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 入力した処方オーダを薬剤部門システムに送信できること。 |
| 3-3-1-8 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 外来の処方オーダとして、院外処方、院内処方がオーダできること。 |
| 3-3-1-9 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 薬品選択について、診療科毎に用意された頻用薬ボタンからの選択及び薬品名の頭文字(カナ・アルファベット)3文字以上の入力による検索結果から選択ができること。 |
| 3-3-1-10 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 診療科毎に用意された頻用薬ボタンにおいて、有効期限が切れた薬品の場合には取り消し線を表示すること。 |
| 3-3-1-11 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 特定の患者にしか使用できない薬品を設定できること。 |
| 3-3-1-12 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | キーボードを使わずにマウスのみで薬品検索が行えること。 |
| 3-3-1-13 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 用法選択は、科毎の頻用用法選択及び用法検索ができること。用法は内服、外用、頓服、回数、時間、粉砕、混合などの選択・入力ができること。 |
| 3-3-1-14 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | コメント入力(マスクからの選択及びフリー入力)ができること。 |
| 3-3-1-15 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 処方オーダ画面上に過去の処方歴を表示することができること。また、当処方歴を流用(複写)し、オーダを新規に作成できること。なお、処方歴の検索条件として、診療科および入院/外来が指定できること。 |
| 3-3-1-16 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | オーダが発行されるまで、院内処方・院外処方など、伝票の切り替えができること。 |
| 3-3-1-17 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 院外処方オーダ発行時に、指定されたプリンタに院外処方箋が印刷できること。 |
| 3-3-1-18 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 説明書や同意書が必要な薬品をオーダする場合、オーダ発行時に予め設定された文書が起動されること。 |
| 3-3-1-19 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 院外処方箋には、以下の患者情報が印刷できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者ID ・名前カナ ・名前漢字 ・年齢 ・生年月日 ・性別 ・住所 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|-----|--------|--------|---|
| 3-3-1-20 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 院外処方箋には、以下のオーダー情報が印刷できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・オーダー番号 ・版数 ・実施番号 ・出力日時 ・科名 ・保険医 ・交付年月日 ・使用期間 ・処方内容 ・公費負担者番号 ・公費負担医療の受給者番号 ・麻薬施用者番号 ・調剤済年月日 |
| 3-3-1-21 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 院外処方箋には、以下の保険情報が印刷できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・保険記号番号 ・保険者番号 ・保険種別 ・負担割合 |
| 3-3-1-22 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 院外処方箋にJAHISの院外処方箋 2次元シンボル記録条件規約に沿ったQRコードを印字できること。 |
| 3-3-1-23 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 腎機能によって投与量の調整が必要な薬剤があるため、院外処方箋に印字対象とする検査結果値、身長、体重、体表面積が印字できること。 |
| 3-3-1-24 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 院外処方箋に検査結果値等を印字する場合は、直近からある一定期間内の情報のみ印字対象とできること。 |
| 3-3-1-25 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 院外処方オーダー発行後、修正できない状態にする(オーダーロック)ができること。オーダーロックは、オーダー発行のタイミングや会計終了時にできること。 |
| 3-3-1-26 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 以下のチェックができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・用法と使用量の適合 ・粉碎可否 ・併用禁忌 ・アレルギー ・極量 ・常用量 ・院外・院内の限定 ・重複(他科で発行された処方オーダーを含む) ・劇薬/麻薬警告 |
| 3-3-1-27 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 麻薬を含むオーダーは、麻薬施用者番号を持つ利用者のみ発行できること。 |
| 3-3-1-28 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 1画面で複数Rpの入力ができること。Rpは処方オーダー画面で並べ替えができること。 |
| 3-3-1-29 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 処方オーダー画面から医薬品情報検索システムが起動でき、医薬品情報システムで検索し、選択した薬品をオーダー画面に利用できること。 |
| 3-3-1-30 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 処方オーダー画面で指定した薬品について、医薬品情報検索システムによる医薬品情報(DI)の参照ができること。 |
| 3-3-1-31 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 患者プロフィール(基本情報)に入力された身長・体重情報から、体表面積及び投与量を算出できること。 |
| 3-3-1-32 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 注意が必要な薬品については、種類毎に設定された文字色で表示できること。文字色の指定は、薬品の種類(麻薬・劇薬・毒薬・向精神薬)毎および薬品毎に設定できること。 |
| 3-3-1-33 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 患者のアレルギー・薬品とのチェックができること。 |
| 3-3-1-34 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 後発薬品への変更可否が選択できること。また、初期選択として、「後発薬品変更可」が選択された状態にできること。 |
| 3-3-1-35 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 後発薬品に変更できる薬品の場合、確認画面から後発薬品に切替を行うことができること。 |
| 3-3-1-36 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 科別頻用薬のメンテナンスができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|-----|--------|--------|--|
| 3-3-1-37 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 簡便な操作で、前回処方を複写し、新規にオーダー発行できること。 |
| 3-3-1-38 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 簡便な操作で、頻繁に使用する処方オーダー(Do処方)の登録ができること。 |
| 3-3-1-39 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 処方オーダー画面上で、該当患者に対して過去に指示された処方オーダーの一覧を表示し、選択することで今回の処方オーダーとして登録できること。その際の検索条件として、診療科および入院/外来が選択できること。 |
| 3-3-1-40 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 処方オーダー画面上にて、患者の身長・体重が参照できること。また、変更もでき、変更した際には、患者プロフィール(患者基本情報)にも反映されること。 |
| 3-3-1-41 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 薬品の用法種別(内服・頓服・外用・自己注射)に応じて絞り込んだ頻用用法から選択することにより、用法が入力できること。 |
| 3-3-1-42 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 院外処方、院内処方の切替を処方オーダー画面でできること。 |
| 3-3-1-43 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 不均等投与指示が出せること。 |
| 3-3-1-44 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 保険情報の変更ができること。 |
| 3-3-1-45 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 薬品名称が変更になった過去の処方オーダーを複写する場合、最新の薬品名称に自動的に変更され、オーダー発行ができること。 |
| 3-3-1-46 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | オーダー発行時に、薬品毎に設定された注意メッセージが表示されること。 |
| 3-3-1-47 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 採用期限切れ薬品を選択した場合、予め設定した代替薬品に自動的に切り替えできること。また、切り替え時にメッセージが表示されること。 |
| 3-3-1-48 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 伝票毎にRp単位で服用開始日の変更ができること。 |
| 3-3-1-49 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 科別頻用薬の薬剤設定ができ、簡便な操作で選択・入力できること。 |
| 3-3-1-50 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 上記に加え、外来院外処方や外来院内処方といった伝票種別単位に科別頻用薬を設定できること。 |
| 3-3-1-51 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 科別頻用薬は、自科の頻用薬が初期表示されること。 |
| 3-3-1-52 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 科別頻用薬は、診療科を切り替えることで他科の頻用薬に切り替わり利用できること。 |
| 3-3-1-53 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 伝票種別単位に処方箋コメント項目の設定ができること。 |
| 3-3-1-54 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 薬品の標準投与量および単位を設定することができ、薬品選択時に自動的に展開できること。 |
| 3-3-1-55 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 予め薬品・用法を登録した科別セットが選択・展開できること。また、科別セット展開後、薬品および数量の変更ができること。 |
| 3-3-1-56 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 過去処方歴(カルテ歴)から、入院・外来のオーダーを問わず、過去の処方を今回処方オーダーとして複写できること。 |
| 3-3-1-57 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | フリーコメントは、薬袋用コメントと処方箋用コメントを個々に設定できること。 |
| 3-3-1-58 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 薬品を選択したときに、過去の処方歴を参照し、選択した薬品を含む処方情報を自動抽出し、表示できること。 |
| 3-3-1-59 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | アレルギーの有無が処方オーダー画面上で把握できること。必要に応じて詳細内容が確認できること。 |
| 3-3-1-60 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 治験薬専用の治験処方がオーダーできること。 |
| 3-3-1-61 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 治験処方、治験対象患者のみオーダーできること。 |
| 3-3-1-62 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 治験処方指定できる薬品として、「治験薬のみ」もしくは「全薬品」の設定ができること。 |
| 3-3-1-63 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 治験薬の併用禁止薬チェックができること。 |
| 3-3-1-64 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 治験薬オーダーチェックができること。 |
| 3-3-1-65 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | 処方薬品に対して使用診療科限定チェックができること。 |
| 3-3-1-66 | 処方 | 処方オーダー | 処方オーダー | バーチャルキーボードを使用することにより、マウスによるクリックのみで、オーダー情報が入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|-----|-------|---------|---|
| 3-3-1-67 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 入院処方(退院処方を除く)の場合、オーダ発行日(処方日)と連動し、服用開始日を同一日に自動設定できること。 |
| 3-3-1-68 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 入院の処方オーダとして、入院処方や定期処方、退院時処方がオーダできること。 |
| 3-3-1-69 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 退院時処方において、オーダ発行日と服用開始日に別日を設定できること。 |
| 3-3-1-70 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 処方切れを無くすため、定期処方までの服用日数を自動的に計算したつなぎ処方オーダが発行できること。 |
| 3-3-1-71 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 定数配置薬を使用した場合の処方指示(実施済入力)ができること。 |
| 3-3-1-72 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 定期処方、臨時処方などの切替を処方オーダ画面上でできること。 |
| 3-3-1-73 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 伝票内にある全てのRpに対して用法日数を一括で変更できること。 |
| 3-3-1-74 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 次の診察日までの日数を計算して、用法日数を一括で変更できること。 |
| 3-3-1-75 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 一般名薬品・後発薬を処方した際に、先発薬品名をポップアップ形式等で表示し、容易に確認ができること。 |
| 3-3-1-76 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 一般名処方の薬品や院外専用薬を含む処方を入院の患者に流用した際、院内採用薬に変換ができること。 変換対象薬品は、成分・規格一致、成分・剤形一致、成分一致、薬効一致を判断を行い、候補として表示し、数量や単位を確認させた上で変換が行えること。 |
| 3-3-1-77 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 外来処方において、湿布薬を1処方につき計70枚を超えて投薬する場合にチェックがかり、「湿布薬超過投与理由」のコメントを入力できること。 また、入力された「湿布薬超過投与理由」のコメントが処方箋に印字されること。 |
| 3-3-1-78 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 院外処方において、調剤時に残薬を確認した場合の対応指示が入力できること。 また、入力された指示内容が処方箋の備考欄に印字されること。 |
| 3-3-1-79 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 院外処方において、分割日数及び分割回数が入力できること。 また、分割日数を入力することで分割回数ごとの投与日数および投与回数を計算して表示できること。 |
| 3-3-1-80 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 院外処方において、分割日数および分割回数が入力された場合は、以下の要件を満たす院外処方箋が出力できること。 1)分割指示に係る処方箋(様式第二号の二)が印刷できること。 2)分割回数に応じて処方箋を分割して印刷できること。 3)分割指示に係る処方箋(別紙)が印刷できること。 4)分割指示に係る処方箋の処方欄に総投与日数および総投与回数を印字できること。 |
| 3-3-1-81 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 同一処方オーダ種別が同一日に複数オーダされている場合、複数枚の処方箋が発行されてしまう為まとめる機能を有すること。 条件としては処方オーダ種別、オーダ日付、服用開始日、服用開始区分、保険種別、診療科が同一の場合にまとめる機能を有すること。 |
| 3-3-1-82 | 処方 | 処方オーダ | 処方オーダ | 上記の機能で処方オーダをまとめる際に処方箋コメントをクリアするまたはそれぞれのコメントをまとめる機能を有すること。 |
| 3-3-1-83 | 処方 | 処方オーダ | 服用中止 | 処方オーダに対して服用中止指示された場合、その時点の薬品(内服、外用)の残数を自動的に算出して画面上に表示されること、また残数を計算するための電卓画面を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-1-84 | 処方 | 処方オーダ | 服用中断 | 処方オーダに対して服用中断指示された場合、その時点の薬品(内服、外用)の残数を自動的に算出して画面上に表示されること、また残数を計算するための電卓画面を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-1-85 | 処方 | 処方オーダ | 服用変更 | 処方オーダに対して服用変更指示された場合、その時点の薬品(内服、外用)の残数を自動的に算出して画面上に表示されること、また残数を計算するための電卓画面を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-1-86 | 処方 | 処方オーダ | 服用中止処方箋 | 服用中止処方せん(病棟控)に残数を印字することができること、また残数を自動的に計算されたまたは手動で編集された旨の内容も印字する機能を有すること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-----------|----------------|-----------|--|
| 3-3-1-87 | 処方 | 処方オーダ | 服用中断処方箋 | 服用変更処方せん（病棟控）に残数を印字することができること、また残数を自動的に計算されたまたは手動で編集された旨の内容も印字する機能を有すること。 |
| 3-3-1-88 | 処方 | 処方オーダ | 服用変更処方箋 | 服用変更処方せん（病棟控）に残数を印字することができること、また残数を自動的に計算されたまたは手動で編集された旨の内容も印字する機能を有すること。 |
| 3-3-1-89 | 処方 | 処方オーダ | インチャージシート | 服用中止指示、服用中断指示、服用変更指示の内容には残数を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-1-90 | 処方 | 処方オーダ | 看護ワークシート | 服用中止指示、服用中断指示、服用変更指示の内容には残数を印字する機能を有すること。 |
| 3-3-1-91 | 処方 | 処方オーダ | 患者スケジュール | 服用中止指示、服用中断指示、服用変更指示の内容には残数を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-1-92 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照についてはカルテ歴の薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-93 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照については注射カレンダーの薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-94 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照についてはの薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-95 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照については看護実施画面の薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-96 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照については処方実施画面の薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-97 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照については患者認証画面の薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-98 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照についてはミキシング画面の薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-99 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照についてはインチャージシートの薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-1-100 | 処方 | 処方オーダ | DI参照 | DI参照についてはマルチカルレビューの薬品行を選択した場合参照が可能なこと。 |
| 3-3-2 | 処方 | 処方カレンダー | | 処方カレンダー |
| 3-3-2-1 | 処方 | 処方カレンダー | | 処方カレンダー |
| 3-3-2-1-1 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 処方指示をカレンダー形式で確認できること。 |
| 3-3-2-1-2 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダーは全量・日数指示と回数指示で分けて表示できること。 |
| 3-3-2-1-3 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上の処方指示の状態(未保存・受付済・指示受済・実施済)を表示できること。 |
| 3-3-2-1-4 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上に処方指示をRp単位で表示できること。また同一Rpは同じ行にまとめて表示されること。 |
| 3-3-2-1-5 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上の処方指示を本日服用があるRpのみに絞って表示できること。 |
| 3-3-2-1-6 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上の処方指示を入外区分で絞り込みできること。 |
| 3-3-2-1-7 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上に定期処方締切日が表示できること。 |
| 3-3-2-1-8 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上より新規処方・修正・削除・コピーができること。なお新規処方の際には処方指示時の時刻に応じた服用開始区分が選択されること。 |
| 3-3-2-1-9 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上より続行・中断・中止(Rp単位)・薬品中止(Rpの中の特定の薬剤を中止)・飲切終了指示ができること。またその際に、指示内容を印字した帳票が出力できること。さらに続行・中止については、複数Rpを対象とした一括操作ができること。 |
| 3-3-2-1-10 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 上記指示について患者スケジュール、経過表へ反映できること。 |
| 3-3-2-1-11 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上よりDI(Drug Information)、薬歴が参照できること。 |
| 3-3-2-1-12 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上より実施入力ができること。 |
| 3-3-2-1-13 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | カレンダー上の内容をそのまま印刷できること。 |
| 3-3-2-1-14 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 一般名薬品・後発薬を処方した際に先発薬品名をポップアップ形式等で表示し、容易に確認ができること。 |
| 3-3-2-1-15 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 服用中止指示された場合、その時点の薬品（内服、外用）の残数が処方カレンダー上に表示されること、また残数を計算するための電卓画面を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-2-1-16 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 服用中断指示された場合、その時点の薬品（内服、外用）の残数が処方カレンダー上に表示されること、また残数を計算するための電卓画面を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-2-1-17 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 服用変更指示された場合、その時点の薬品（内服、外用）の残数が処方カレンダー上に表示されること、また残数を計算するための電卓画面を表示する機能を有すること。 |
| 3-3-2-1-18 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 処方カレンダーで服薬中断指示を出す場合、1 オーダ内 n 複数 R P が存在する場合まとめて指示を出すことが可能なこと。 |
| 3-3-2-1-19 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 中止処方せん（病棟控）では今回中止した処方なのか、既に中止済みだったのが判別できるように、中主済みの R P には○を印字、今回中止した R P については●を印字することが可能なこと。 |
| 3-3-2-1-20 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 処方カレンダーで服薬中断指示を行う場合、指定日の全ての処方オーダに対して時間指定で中断、再開を指示できることその際には用法であらかじめ設定されている服用時間を元に中断、再開が設定できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|-----------|----------------|--------------|--|
| 3-3-2-1-21 | 処方 | 処方カレンダー | 処方カレンダー | 処方カレンダーで服薬中止指示を行うことが可能なこと中止予定日より未来の日付で服用中断指示がある場合でも服用中止指示を行うことが可能なこと。 |
| 3-3-3 | 処方 | 持参薬 | | 持参薬 |
| 3-3-3-1 | 処方 | 持参薬 | | 持参薬報告 |
| 3-3-3-1-1 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 電子カルテシステム機能として、持参薬報告入力ができること。 |
| 3-3-3-1-2 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬品の選択は、採用薬・非採用薬を問わず検索・入力ができること。 |
| 3-3-3-1-3 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬報告画面から医薬品情報検索システムが起動でき、医薬品情報システムで検索・選択した薬品が持参薬報告画面に展開できること。 |
| 3-3-3-1-4 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬服用時の用法が選択・入力ができること。 |
| 3-3-3-1-5 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬の持込量が入力できること。 |
| 3-3-3-1-6 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬服用時の単位が選択・入力できること。 |
| 3-3-3-1-7 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | フリーコメントが入力できること。 |
| 3-3-3-1-8 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬報告オーダ発行時に、持参薬鑑定書が印刷されること。 |
| 3-3-3-1-9 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 頭文字(カナ・アルファベット)3文字以上を入力することにより、薬品の検索ができること。 |
| 3-3-3-1-10 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬報告画面上に過去の処方歴(外来処方など)を表示することができること。また、当処方歴を流用し、持参薬報告の入力ができること。 |
| 3-3-3-1-11 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参した薬品に対して、服用不可の指定ができること。 |
| 3-3-3-1-12 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 入力した持参薬と同一成分となる院内採用薬の候補を自動で表示できること。 |
| 3-3-3-1-13 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬報告を行ったタイミングで、病棟向けに持参薬鑑定書を印刷できること。 |
| 3-3-3-1-14 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬鑑定書には、下記情報を印字できること。 持参薬名、数量、単位、持込量など持参薬報告に登録した内容、及び薬剤の詳細情報(医薬品コード、薬効分類、薬剤画像) |
| 3-3-3-1-15 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬区分、持参薬処方区分が入力できること。 |
| 3-3-3-1-16 | 処方 | 持参薬 | 持参薬報告 | 持参薬報告については外来患者でも入力可能なこと。 |
| 3-3-3-2 | 処方 | 持参薬 | | 持参薬指示 |
| 3-3-3-2-1 | 処方 | 持参薬 | 持参薬指示 | 持参薬報告オーダに入力された薬剤毎に、服用の継続可否を入力できること。 |
| 3-3-3-2-2 | 処方 | 持参薬 | 持参薬指示 | 持参薬指示オーダ発行時に、持参薬指示書が印刷されること。 |
| 3-3-3-2-3 | 処方 | 持参薬 | 持参薬指示 | フリーコメントが入力できること。 |
| 3-3-3-2-4 | 処方 | 持参薬 | 持参薬指示 | 一般名薬品・後発薬を登録した際に、先発薬品名をポップアップ形式等で表示し、容易に確認ができること。 |
| 3-3-3-2-5 | 処方 | 持参薬 | 持参薬指示 | 持参薬区分、持参薬処方区分が入力できること。 |
| 3-3-3-2-6 | 処方 | 持参薬 | 持参薬指示 | 持参薬の使用理由が入力できること。 |
| 3-3-3-3 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 持参薬処方 |
| 3-3-3-3-1 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 処方オーダ画面上に、薬剤部が入力した持参薬報告情報を表示することができること。また、当持参薬情報を流用(複写)し、持参薬処方オーダとして新規に作成できること。 |
| 3-3-3-3-2 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 当持参薬情報を流用(複写)する際、服用不可の指定がある薬品は流用(複写)できないこと。 |
| 3-3-3-3-3 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 持参薬処方を院内の処方に複写する際に、複写対象の薬品が院内非採用薬の場合に、同一成分となる院内採用薬の候補を表示し、そこから選択できること。 |
| 3-3-3-3-4 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 持参薬区分、持参薬処方区分が入力できること。 |
| 3-3-3-3-5 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 持参薬の使用理由が入力できること。 |
| 3-3-3-3-6 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 入力された持参薬区分、持参薬処方区分について、医事会計システムへ情報が送信され、EFファイルに持参薬情報を出力することができること。 |
| 3-3-3-3-7 | 処方 | 持参薬 | 持参薬処方 | 院外処方で指示した薬剤を入院の際に持参薬として持ち込むことを想定し、持参薬処方は最大量や極量、同効薬剤の重複などのチェックにおいて二重投与と見なさないよう考慮していること。 |
| 3-3-4 | 処方 | 処方オーダ学習 | | 処方オーダ学習機能 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-----------|---------------|----------|--|
| * | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 自動学習機能を有し、利用者が事前にセット登録などを行わなくても日々の処方指示情報はナレッジデータとして蓄積され、処方オーダー画面上で有効活用でき、入力の効率化及び医療の質の向上に貢献できる機能を実装すること。 具体的に、処方オーダー機能として下記要件を実現すること。 |
| 3-3-4-1-1 | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 処方指示情報(薬品、用法、コメントを含めたRpパターン)が、ナレッジデータとして自動蓄積できること。 |
| 3-3-4-1-2 | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 薬品名称検索にて、候補リスト上で選択中の薬品が含まれている利用者のナレッジデータ(Rpパターン)を表示できること。 |
| 3-3-4-1-3 | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 薬品名称検索でヒットした薬品が一種類しかなかった場合は、続けて表示される数量入力画面において、その薬品が含まれている利用者のナレッジデータ(Rpパターン)を表示できること。 |
| 3-3-4-1-4 | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 頻用薬画面にて、指定した薬品が含まれている利用者のナレッジデータ(Rpパターン)を表示できること。 |
| 3-3-4-1-5 | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 数量入力画面より、当該薬品が含まれている利用者のナレッジデータ(Rpパターン)を表示できること。 |
| 3-3-4-1-6 | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 表示されたナレッジデータ(Rpパターン)を流用(複写)し、処方オーダーを作成できること。 |
| 3-3-4-1-7 | 処方 | 処方オーダー学習 | 処方オーダー学習 | 薬品と用法の組合せが同じパターンのナレッジデータ(Rpパターン)を一つにまとめて表示できること。 |
| 3-4 | 注射 | 注射オーダー | | 注射オーダー |
| 3-4-1 | 注射 | 注射オーダー | | |
| 3-4-1-1 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 電子カルテシステムに、版数、指示者、オーダー発行日、発行時間の情報が、記録として保存され参照できること。 |
| 3-4-1-2 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | オーダーに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムのカルテ画面から修正や削除ができること。また、修正や削除の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-4-1-3 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残し、参照できること。 |
| 3-4-1-4 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | オーダー入力の効率化を考慮して、注射オーダーと他に必要なオーダー(検査や処置など)や文書などを組み合わせてセット登録ができること。 |
| 3-4-1-5 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 外来の注射オーダーとして、予約注射、当日注射、実施済注射がオーダーできること。 |
| 3-4-1-6 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 実施済注射伝票は、オーダー発行と同時に実施済みとなること。また、医事会計システムへ実施情報が送信されること。 |
| 3-4-1-7 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 注射実施場所の指定ができること。 |
| 3-4-1-8 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 薬品選択について、診療科毎に用意された頻用薬ボタンからの選択及び薬品名の頭文字(カナ・アルファベット)3文字以上の入力による検索結果から選択ができること。 |
| 3-4-1-9 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | バーチャルキーボードを使用することにより、マウスによるクリックのみで、オーダー情報が入力できること。 |
| 3-4-1-10 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | コメント入力(マスタからの選択及びフリー入力)ができること。 |
| 3-4-1-11 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 点滴注射やワンショットなどの投与種別が選択でき、投与種別に応じた手技を指定できること。 |
| 3-4-1-12 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 科別頻用薬の薬剤設定ができ、簡便な操作で選択・入力できること。 |
| 3-4-1-13 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 科別の頻用用法が設定でき、簡便な操作で選択・入力できること。 |
| 3-4-1-14 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 科別の頻用コメントが設定でき、簡便な操作で選択・入力できること。 |
| 3-4-1-15 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 科別頻用薬は、自科の頻用薬が初期表示されること。 |
| 3-4-1-16 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 科別頻用薬は、診療科を切り替えることで他科の頻用薬に切り替わり利用できること。 |
| 3-4-1-17 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 注射薬品に対して使用診療科限定チェックができること。 |
| 3-4-1-18 | 注射 | 注射オーダー | 注射オーダー | 薬品・用法などを組み合わせた注射セットが設定でき、当セットを注射オーダー画面上で展開できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-----------|----------------|-------|--|
| 3-4-1-19 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 注射の実施予定日が指定できること。 |
| 3-4-1-20 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 保険情報の変更ができること。 |
| 3-4-1-21 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 注射オーダ画面上にて、患者の身長・体重が参照できること。また、変更もでき、変更した際には、患者プロフィール(患者基本情報)にも反映されること。 |
| 3-4-1-22 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 点滴速度の指定ができること。 |
| 3-4-1-23 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 投与時間（交換サイクル）が指定できること。 |
| 3-4-1-24 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 投与量と点滴速度によって、投与時間（交換サイクル）が自動計算されること。 |
| 3-4-1-25 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 投与量と投与時間（交換サイクル）によって、点滴速度が自動計算されること。 |
| 3-4-1-26 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 施行間隔（所要時間）が指定できること。 |
| 3-4-1-27 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 点滴注射やワンショットなどの投与種別ごとに応じた付帯情報（点滴速度、投与時間、施行間隔、滴下数、所要時間、注射用量、定型コメント）が入力できること。 |
| 3-4-1-28 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | アレルギーの有無が注射オーダ画面上で把握できること。必要に応じて詳細内容が確認できること。 |
| 3-4-1-29 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 各種チェック(併用禁忌、配合禁忌、極量、常用量、劇薬/麻薬警告)ができること。 |
| 3-4-1-30 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 患者のアレルギー薬品とのチェックができること。 |
| 3-4-1-31 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 特定の患者にしか使用できない薬品を設定できること。 |
| 3-4-1-32 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 治験薬専用の治験注射をオーダできること。 |
| 3-4-1-33 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 治験注射は、治験対象患者のみオーダできること。 |
| 3-4-1-34 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 治験注射で指定できる薬品として、「治験薬のみ」もしくは「全薬品」を設定できること。 |
| 3-4-1-35 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 治験薬の併用禁止薬チェックができること。 |
| 3-4-1-36 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 麻薬を含むオーダは、麻薬施用者番号を持つ利用者のみ発行できること。 |
| 3-4-1-37 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 採用期限切れ薬品を選択した場合、予め設定した代替薬品に自動的に切り替えできること。また、切り替え時にメッセージが表示されること。 |
| 3-4-1-38 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 薬品の標準投与量および単位を診療科毎に設定することができ、薬品選択時に自動的に展開できること。 |
| 3-4-1-39 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 薬品名称が変更になった過去の注射オーダを複写する場合、最新の薬品名称に自動変更され、オーダ発行ができること。 |
| 3-4-1-40 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 注射オーダ画面から医薬品情報検索システムが起動でき、医薬品情報システムで検索・選択した薬品がオーダ画面に展開できること。 |
| 3-4-1-41 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 注射オーダ画面で指定した薬品について、医薬品情報検索システムによる医薬品情報(DI)の参照ができること。 |
| 3-4-1-42 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 定期注射処方、臨時注射などの切替を注射オーダ画面上でできること。 |
| 3-4-1-43 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 配置薬を利用した場合など、実施場所(与薬場所)の指定ができること。 |
| 3-4-1-44 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | セット登録された注射オーダの展開時に発行端末の場所に応じて実施場所が自動的に展開できること。 |
| 3-4-1-45 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 注射オーダ画面でルート指定の入力ができること。 |
| 3-4-1-46 | 注射 | 注射オーダ | 注射オーダ | 注射箋については、平日・時間内においては薬剤部のプリンターへ出力が可能なこと、また時間外・土日祝日については薬剤部ではなく別の指定したプリンターへ出力することが可能なこと。 |
| 3-4-2 | 注射 | 注射カレンダー | | 注射カレンダー |
| 3-4-2-1 | 注射 | 注射カレンダー | | 入院注射においては各指示の状況をカレンダー機能にて容易に把握できること。具体的には以下の機能を有すること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|-----------|---------------|---------|---|
| 3-4-2-2 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 任意の指定日を基点に、入院注射の指示内容がカレンダーに表示できること。 |
| 3-4-2-3 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 抗がん剤注射については、参照表示できること。 |
| 3-4-2-4 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射オーダ単位に、開始時間と終了時間の指定ができること。 |
| 3-4-2-5 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 個々の注射オーダの状態(依頼、受付、実施中、実施済など)が表示され識別できること。 |
| 3-4-2-6 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面から、簡便な操作で新規オーダの作成ができること。 |
| 3-4-2-7 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 新規にオーダを作成する際、入院注射の特性を考慮し、投与期間(開始日～終了日)及び投与間隔もしくは曜日を指定し、連続指示が同時にできること。 |
| 3-4-2-8 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、簡便な操作で同一オーダの追加(複写)や削除ができること。 |
| 3-4-2-9 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 締め切り時間によるオーダ発行チェックができること。 |
| 3-4-2-10 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 締め切り時間によって、注射伝票(ex.定期注射→臨時注射)を自動で切り替えることができること。 |
| 3-4-2-11 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、点滴速度の変更指示ができること。 |
| 3-4-2-12 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、投与期間の変更ができること。 |
| 3-4-2-13 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、過去の注射オーダを流用(複写)することができること。 |
| 3-4-2-14 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 新規にオーダを作成する際、注射カレンダー画面上でRp順を変更できること。 |
| 3-4-2-15 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、実施中に点滴の中断や再開することができること。 |
| 3-4-2-16 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面に表示されている内容を印刷できること。 |
| 3-4-2-17 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面に表示されている内容をExcel形式に保存できること。 |
| 3-4-2-18 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 後発薬が処方されていた場合、先発薬品名をポップアップ形式等で表示し、容易に確認ができること。 |
| 3-4-2-19 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面で投与種別を選択して表示する注射指示の絞り込みができること。 |
| 3-4-2-20 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、ルート指定の入力ができること。 |
| 3-4-2-21 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、頓用速度変更指示(指示簿)の入力ができること。 |
| 3-4-2-22 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー画面上で、保存済みの注射オーダと指示簿オーダの関連付け/解除ができること。 |
| 3-4-2-23 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射詳細表示画面で、時間ごとに注射オーダの指示情報(指示内容、指示状態、速度情報、ルート情報、指示簿情報)を把握できること。 |
| 3-4-2-24 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射詳細表示画面で、「1時間表示」「3時間表示」「6時間表示」などの時間レンジ切り替えができること。 |
| 3-4-2-25 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー上で保存済注射オーダのRp表示順を変更できること。 |
| 3-4-2-26 | 注射 | 注射カレンダー | 注射カレンダー | 注射カレンダー上にアレルギー薬剤、アレルギー食物、その他アレルギーの情報をアイコンで表示することが可能なこと。 |
| 3-5 | 処方 | 利用者権限薬 | | 利用者限定薬 |
| 3-5-1 | 処方 | 利用者権限薬 | 利用者権限薬 | 処方できる医師を限定したい薬品については、その薬品に対して処方を許可する利用者情報を登録することで、登録された利用者のみが処方を行えること。 |
| 3-5-2 | 処方 | 利用者権限薬 | 利用者権限薬 | 登録利用者の追加・変更・削除については、当院のメンテナンス担当者が随時メンテナンスができること。 また、限定された薬品の利用に関して急を要する場合でも業務中にメンテナンスが行え、業務に支障なく運用できること。 |
| 3-6 | 処置 | 処置 | | 処置オーダ |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-----|-----|------|--|
| 3-6-1 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-6-2 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 入力した指示は各科処置室および中央処置室に送信され、処置室では一覧で確認できること。 |
| 3-6-3 | 処置 | 処置 | 外来処置 | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や削除の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-6-4 | 処置 | 処置 | 外来処置 | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索の指定により即時に表示できること。 |
| 3-6-5 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 過去に発行した処置オーダをコピーできること。その際に施行日が当日の日付に自動で変更できること。 |
| 3-6-6 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 効率的なオーダ入力を考慮して、外来処置オーダを他のオーダ(検査や処置など)と組み合わせセット登録することができること。セット登録は院内共通セット、科別セット、利用者セット、患者セットの登録ができること。 |
| 3-6-7 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 診察室または病棟で即時に実施する処置については、オーダ発行時に指示と実施が同時に入力できること。 |
| 3-6-8 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 即実施(指示と実施が同時に行える)でオーダ発行した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-6-9 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 即実施でオーダ発行した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 3-6-10 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 処置に関して、外来中央処置・自科処置・実施済処置のオーダができること。 |
| 3-6-11 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 実施場所の指定ができること。 |
| 3-6-12 | 処置 | 処置 | 外来処置 | セット登録された処置オーダの展開時に発行端末の場所に応じて実施場所が自動的に設定できること。 |
| 3-6-13 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 手技の選択(リストからの選択、名称検索)ができること。 |
| 3-6-14 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 手技に付随する薬品、材料、機材などを手技に対するセット情報としてマスタ登録できること。 |
| 3-6-15 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 使用する材料、薬剤、機材の検索ができること。 |
| 3-6-16 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 他科用としてマスタ登録された手技の検索、入力ができること。 |
| 3-6-17 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 酸素入力の際、時間、流量、濃度を指定し、酸素量の計算ができること。 |
| 3-6-18 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 指示者、指示時間、実施者など記載情報の入力ができること。 |
| 3-6-19 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 処置施行日をカレンダーから選択できること。 |
| 3-6-20 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 予約機能を有すること。 |
| 3-6-21 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 保険情報の変更ができること。 |
| 3-6-22 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 同一行為追加時に警告表示できること。 |
| 3-6-23 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 処置施行日をカレンダーから選択できること。 |
| 3-6-24 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 外来処置依頼オーダの発行及び実施入力について、バーコード読み取りによる薬剤・材料入力ができること。 |
| 3-6-25 | 処置 | 処置 | 外来処置 | バーコード読み取りによる薬剤・材料入力時に、すでに入力している薬剤・材料に対して数量の自動加算ができること。 |
| 3-6-26 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 外来処置依頼オーダの発行及び実施入力について、自科検査(設定マスタからの選択、名称検索)についても対応できること。 |
| 3-6-27 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 外来処置依頼オーダの発行及び実施入力について、各診療科別の個別指示セットの展開ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|--------------|----------------|---------|--|
| 3-6-28 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 外来処置依頼オーダーの発行及び実施入力について、ロット管理番号の入力画面の起動ができること。 |
| 3-6-29 | 処置 | 処置 | 外来処置 | 外来処置オーダーで即実施の場合を考慮し、オーダー時にもロット管理番号の入力画面の起動ができること。 |
| 3-6-30 | 処置 | 処置 | 入院処置 | 入院処置においては各処置指示の過去や未来に渡り状況が容易に把握しながら、オーダー追加ができる機能としてカレンダー形式での指示を実現できること。 |
| 3-6-31 | 処置 | 処置 | 入院処置 | カレンダー形式の表示では「過去3日以上」、「本日のみ」、「本日以降」という実施予定日に応じた絞り込み表示ができること。 |
| 3-6-32 | 処置 | 処置 | 入院処置 | 入院処置オーダーの発行にあたり、カレンダー機能により日時を確定することができること。また、バーコードによる薬剤・材料入力ができること。 |
| 3-6-33 | 処置 | 処置 | 入院処置 | 入院処置オーダーで、バーコードにより薬剤・材料入力時には、すでに入力している薬剤・材料に対して数量の自動加算ができること。 |
| 3-6-34 | 処置 | 処置 | 入院処置 | 入院処置オーダーの発行にあたり、自科検査(リストからの選択、名称検索)についても可能であること。 |
| 3-6-35 | 処置 | 処置 | 入院処置 | 入院処置オーダーの発行にあたり、各診療科別の個別指示セットの展開ができること。 |
| 3-6-36 | 処置 | 処置 | 入院処置 | 入院処置オーダーでは実施回数を指定できること。 |
| 3-6-37 | 処置 | 処置 | 共通 | アレルギー-薬剤、アレルギー-食物、その他アレルギーが患者プロフィールに登録されている場合画面にアイコンで表示されること。 |
| 3-6-38 | 処置 | 処置 | 共通 | 処置オーダー画面で中患者プロフィールミニビューアが表示されアレルギー情報の確認が可能なこと。またこの画面は自動的に表示するしないの設定が可能なこと。 |
| 3-6-39 | 処置 | 処置 | 共通 | 処置オーダー発行時にオーダー内容にアレルギー-薬剤が含まれている場合チェックを行うことが可能なこと。 |
| 3-7 | ロット管理 | ロット管理機能 | | ロット管理機能 |
| 3-7-1 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | 特定生物由来製剤などロット番号管理対象の薬剤や材料を含むオーダーについてトレーサビリティを管理できること。 |
| 3-7-2 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | ロット番号が入力済であるオーダーの検索及び条件を指定した絞り込みができること。 |
| 3-7-3 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | ロット番号が未入力であるオーダーについてロット情報の入力ができること。 |
| 3-7-4 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | ロット番号が入力済であるオーダーについてロット情報の修正ができること。 |
| 3-7-5 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | 一覧で選択したロット番号管理対象のオーダーの実施情報を参照できること。 |
| 3-7-6 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | 一覧に表示中のデータのファイル出力及び印刷ができること。 |
| 3-7-7 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | 一覧の検索する条件を利用者ごとに保存できること。 |
| 3-7-8 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | ロット番号が未入力であるオーダーの検索及び条件を指定した絞り込みができること。 |
| 3-7-9 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | ロット番号管理対象のオーダーを実施入力する際に、バーコード読み取りによるロット番号の入力ができること。 |
| 3-7-10 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | ロット番号管理対象のオーダーを実施入力する際に、何らかの理由によりバーコードが読み取り不能の場合、手入力でロット番号を入力できること。 |
| 3-7-11 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | 同一管理対象である剤内に同一のロット番号が手入力されることを防止できること。 |
| 3-7-12 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | 同一オーダー内に同一のロット番号が手入力されることを防止できること。 |
| 3-7-13 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | ロット番号に登録可能な文字を規制できること。 |
| 3-7-14 | ロット管理 | ロット管理機能 | ロット管理機能 | 処方に対して中止処方が発行されている場合、ロット番号入力時に通知のメッセージを表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|------|----------|----------|---|
| 3-9 | 検体検査 | 検体検査オーダー | | 検体検査オーダー |
| 3-9-1 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 電子カルテシステムに、指示者、オーダー発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-9-2 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | オーダーに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-9-3 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに記録させること。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-9-4 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 過去にオーダー発行したオーダーをコピーできること。その際に基準日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-9-5 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 効率的なオーダー入力を考慮して、検体検査オーダーを他のオーダー(処方や処置など)と組み合わせてセット登録できること。セット登録は院内共通、科別設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-9-6 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 検体検査オーダーを検査部門へ送信できること。 |
| 3-9-7 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 検査種別検査項目(一般、生化学、血液、血清など)が入力できること。 |
| 3-9-8 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 検査日時の指定ができること。 |
| 3-9-9 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 採取日を選択する際に、次回診察日付を簡単に選択できること。 |
| 3-9-10 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 採取日の入力を省略した場合、当日に自動設定できること。 |
| 3-9-11 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 採取日の日未定指定ができること。 |
| 3-9-12 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 検体材料が入力できること。 |
| 3-9-13 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 保険情報の変更ができること。 |
| 3-9-14 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 院内共通セット及び診療科別のセットが作成できること。 |
| 3-9-15 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 負荷試験に関して、検査時間及び薬剤が入力できること。 |
| 3-9-16 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 定型コメント/フリーコメントが入力できること。 |
| 3-9-17 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 分野別項目表示からの検査項目指定ができること。 |
| 3-9-18 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 検査項目名検索ができること。 |
| 3-9-19 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 選択した検査項目を一覧で表示できること。 |
| 3-9-20 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 選択した検査項目一覧から、検査項目を削除できること。また、削除する際は一括削除と項目を選択して削除する機能を有すること。 |
| 3-9-21 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 重複チェックの対象の項目を、一括で取消することができること。 |
| 3-9-22 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 検査項目ごとに至急の検査指定ができること。また至急の検査指定できる項目をマスタで制限できること。 |
| 3-9-23 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 至急の検査指定を行った項目がオーダー画面上で容易に識別できること。 |
| 3-9-24 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | オーダー発行時に特定検査について、関連する説明書や同意書を連動して作成できること。 |
| 3-9-25 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 検査項目に対して付帯情報の入力ができること。 |
| 3-9-26 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 使用期限が切れている検査項目が存在する場合は、オーダー画面上で使用期限が切れている事を認識できること。 |
| 3-9-27 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 同一項目が選択済みである場合、選択できない状態で表示できること。 |
| 3-9-28 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 同一日・同一検査項目の重複チェックが、自科・他科を問わずできること。 |
| 3-9-29 | 検体検査 | 検体検査オーダー | 検体検査オーダー | 基本セット、科別セットをマスタ設定することにより複数検査項目がまとめて指定できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|--------------------|------------|--|
| 3-9-30 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 電子カルテシステムに、指示者、オダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-9-31 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | オダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-9-32 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 検査指示オダの発行にあたり、採血場所を一覧より選択できること。 |
| 3-9-33 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 検査指示オダの発行にあたり、検査材料を一覧より選択できること。 |
| 3-9-34 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 検査指示オダの発行にあたり、負荷試験薬剤を一覧より選択できること。 |
| 3-9-35 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 検査指示オダの発行にあたり、検査項目毎に表示メッセージの選択ができること。 |
| 3-9-36 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 採血場所に中央採血室が選択され、採取日が中央採血室の休日にあたった場合、エラーメッセージの表示ができること。 |
| 3-9-37 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 特定の検査項目を選択時に、その項目に応じた注意メッセージを表示できること。 |
| 3-9-38 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 検査項目を一定項目数以上発行する際に、ワーニングを表示できること。 |
| 3-9-39 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 同一日に発行済みの検査項目をオダ画面上で判別できること。 |
| 3-9-40 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 選択中の検査項目の中から、同一日に発行済みの検査項目を一括で削除できること。 |
| 3-9-41 | 検体検査 | 検体検査オ ダ | 検体検査オ ダ | 採取予定日を次回の診察日に簡単に設定できること。 |
| 3-10 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | | 細菌検査オダ |
| 3-10-1 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 電子カルテシステムに、指示者、オダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-10-2 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | オダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-10-3 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | オダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-10-4 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 過去にオダ発行したオダをコピーできること。その際に基準日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-10-5 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 効率的なオダ入力を考慮して、細菌検査オダを他のオダ(検査や処置など)と組み合わせてセット登録できること。セット登録は院内共通、科別設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-10-6 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オダを部門へ送信できること。 |
| 3-10-7 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 一般細菌検査の材料、採取部位、検査項目指定ができること。 |
| 3-10-8 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 検査項目は選択された材料により絞込み表示ができること。 |
| 3-10-9 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 入力項目は、検査に必要な情報を入力できること。任意の項目について、入力時に省略可能とする設定ができること。 |
| 3-10-10 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 一般細菌検査について、フリーコメントを入力できること。 |
| 3-10-11 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 一般細菌検査時に、薬剤感受性の追加試験分を指定できること。 |
| 3-10-12 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 一般細菌検査の目的菌、使用中薬剤、感受性希望薬剤の指定ができること。 |
| 3-10-13 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 一般細菌検査の日時指定ができること。 |
| 3-10-14 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 採取日に次回診察日付を簡単に選択できること。 |
| 3-10-15 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 採取日の入力を省略した場合、当日に自動設定できること。 |
| 3-10-16 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 採取日の日未定指定ができること。 |
| 3-10-17 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 一般細菌検査について、オダ発行にあたり、プロフィール情報を最大10項目まで表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|--------------------|------------|---|
| 3-10-18 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 検出菌に応じた薬剤感受性検査説明の参照ができること。 |
| 3-10-19 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌染色・培養検査の目的菌、使用中薬剤、感受性希望薬剤の指定ができること。 |
| 3-10-20 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌染色・培養検査について、フリーコメントを入力できること。 |
| 3-10-21 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌染色・培養検査の目的菌、使用中薬剤、感受性希望薬剤の指定ができること。 |
| 3-10-22 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌染色・培養検査の日時指定ができること。 |
| 3-10-23 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 採取日の入力を省略した場合、当日に自動設定できること。 |
| 3-10-24 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 採取日の日未定指定ができること。 |
| 3-10-25 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌同定・培養検査について、オーダ発行にあたり、プロフィール情報を最大10項目まで表示できること。 |
| 3-10-26 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌同定・感受性検査の材料、採取部位、検査項目指定ができること。 |
| 3-10-27 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 検査項目は選択された材料により絞込み表示ができること。 |
| 3-10-28 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌同定・感受性検査について、フリーコメントを入力できること。 |
| 3-10-29 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌同定・感受性検査について、検体受付番号を入力できること。 |
| 3-10-30 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌同定・感受性検査の日時指定ができること。 |
| 3-10-31 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 採取日の日未定指定ができること。 |
| 3-10-32 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 抗酸菌同定・感受性検査について、オーダ発行にあたり、プロフィール情報を最大10項目まで表示できること。 |
| 3-10-33 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | その他細菌検査について、オーダ発行にあたり、プロフィール情報を最大10項目まで表示できること。 |
| 3-10-34 | 細菌検査 | 細菌検査オ ダ | 細菌検査オ ダ | 材料選択時に、関連付けられた検査項目を自動で選択できること。 |
| 3-11 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | | 病理検査オーダ |
| 3-11-1 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-11-2 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-11-3 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-11-4 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | 過去にオーダ発行したオーダをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わるこ と。 |
| 3-11-5 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | オーダ入力の効率化を考慮して、病理検査オーダを他に必要な他のオーダ(検査や処置など)と組み合わせてセット登録できること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-11-6 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | 解剖検査に関して解剖部位、病理細胞診に関して検査材料の採取部位、組織診における検査臓器の切除部位を指定できること。 |
| 3-11-7 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | 入力項目は、検査に必要な情報を入力できること。任意の項目の入力省略可能な設定ができること。 |
| 3-11-8 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | 必要な場合に、臨床診断・病名を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、病理検査オーダの画面から病名登録ができること。当然、登録した病名は患者の病名一覧にも記載されること。 |
| 3-11-9 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | 病理検査オーダを部門に送信できること。 |
| 3-11-10 | 病理検査 | 病理検査オ ダ | 病理検査オ ダ | 病理検査について、オーダ発行にあたり、関連内視鏡ボタンを押下により、内視鏡レポート(診療レポート)が参照できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|-----------------|----------|--|
| 3-11-11 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 組織診の術中迅速検査の場合、予約枠を指定して依頼ができること。 |
| 3-11-12 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、死亡日時の指定ができること。 |
| 3-11-13 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、死亡日時は患者プロフィールからの自動取得ができること。 |
| 3-11-14 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、「剖検承諾書」の確認チェックできること。 |
| 3-11-15 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、治療情報の指定ができること。 |
| 3-11-16 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、周産期死亡の指定ができること。 |
| 3-11-17 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、職業の指定ができること。 |
| 3-11-18 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、部位詳細をフリー入力により指定できること。 |
| 3-11-19 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、臨床経過をフリー入力により指定できること。 |
| 3-11-20 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 解剖検査に関して、検査の目的をフリー入力により指定できること。 |
| 3-11-21 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して、採取日時の指定ができること。 |
| 3-11-22 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して、採取日時を指定せず、日未定でオーダー発行できること。 |
| 3-11-23 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して、最終月経日付の指定ができること。 |
| 3-11-24 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して、臨床所見をフリー入力または定型コメントからの選択により指定できること。 |
| 3-11-25 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して検査の目的をフリー入力により指定できること。 |
| 3-11-26 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診断/組織診依頼時に、採取情報に関するシエマ図の指定ができること。 |
| 3-11-27 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して、治療情報の指定ができること。 |
| 3-11-28 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して、主治医の指定ができること。 |
| 3-11-29 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 細胞診/組織診に関して、入院患者のオーダー発行時に主治医を自動取得できること。 |
| 3-11-30 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 材料毎に出力するラベル枚数を指定できること。 |
| 3-11-31 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 電子カルテシステムに登録されている患者プロフィール情報(婦人科情報)を自動表示できること。 |
| 3-11-32 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | 組織診に関して、複数材料に対してそれぞれに関連付いたリンパ情報を入力できること。 |
| 3-11-33 | 病理検査 | 病理検査オーダー | 病理検査オーダー | オーダー発行時に検査依頼書を自動で印刷できること。 |
| 3-12 | 生理検査 | 生理検査オーダー | | 生理検査オーダー |
| 3-12-1 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 電子カルテシステムに、指示者、オーダー発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-12-2 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | オーダーに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-12-3 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-12-4 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 過去にオーダー発行したオーダーをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-12-5 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | オーダー入力の効率化を考慮して、生理検査オーダーを他に必要な他のオーダー(検査や処置など)と組み合わせてセット登録ができること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-12-6 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 生理検査オーダーを部門へ送信できること。 |
| 3-12-7 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 生理検査に関して、検査内容、コメント、検査目的の入力ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|------------|----------------|------------------|--|
| 3-12-8 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 検査の目的となる病名の登録ができること。この病名は、患者に登録されたものから選択して登録できること。選択時に該当する病名がなければ、生理検査オーダーの画面から病名登録ができること。当然、登録した病名は患者の病名一覧にも記載されること。 |
| 3-12-9 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 電子カルテシステムに登録されている感染症情報を自動表示できること。 |
| 3-12-10 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 生理検査の予約を取得する機能を有すること。 |
| 3-12-11 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 生理検査オーダーにシエーマ図(人体図)を添付できること。 |
| 3-12-12 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 同意書や検査説明書などを生理検査オーダーと同時に発行できること。 |
| 3-12-13 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 発行する同意書や検査説明書などは、患者ID、氏名、病名等のカルテ情報を表示できること。 |
| 3-12-14 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 患者単位の当日検査一覧を参照できること。 |
| 3-12-15 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 緊急オーダーを発行時、当日以降(未来日)の検査日を指定できること。 |
| 3-12-16 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 過去日の検査日を指定できること。 |
| 3-12-17 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 追検査項目選択時、確定ボタン押下時に、予約枠日時が日保留であれば予約枠選択部品を自動起動することができること。 |
| 3-12-18 | 生理検査 | 生理検査オーダー | 生理検査オーダー | 検査日を次回の診察日に簡単に設定できること。 |
| 3-13 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡検査オーダー | 内視鏡検査オーダー |
| 3-13-1 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 電子カルテシステムに、指示者、オーダー発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-13-2 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | オーダーに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-13-3 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-13-4 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 過去にオーダー発行したオーダーをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わることを。 |
| 3-13-5 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | オーダー入力の効率化を考慮して、内視鏡検査オーダーを他に必要な他のオーダー(検査や処置など)と組み合わせてセット登録ができること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-13-6 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダーを部門に送信できること。 |
| 3-13-7 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 内視鏡検査に関して、検査内容、検査目的の入力ができること。 |
| 3-13-8 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 必要な場合に、臨床診断・病名を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、内視鏡検査オーダーの画面から病名登録ができる機能を有すること。当然、登録した病名は患者の病名一覧にも記載されること。 |
| 3-13-9 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 電子カルテシステムに登録されている感染症情報を自動表示できること。 |
| 3-13-10 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 内視鏡検査の予約を取得できること。 |
| 3-13-11 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 緊急検査の指定ができること。 |
| 3-13-12 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 内視鏡検査オーダーにシエーマ図(人体図)を添付できること。 |
| 3-13-13 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 同意書や検査説明書などを内視鏡検査オーダーと同時に発行できること。 |
| 3-13-14 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 発行する同意書や検査説明書などは、患者ID、氏名、病名等のカルテ情報を表示できること。 |
| 3-13-15 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | オーダー入力の効率化を考慮して、内視鏡オーダーと他に予約が必要な検査もしくは再診予約を組み合わせて、複数の予約をまとめて取得できること。 |
| 3-13-16 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 緊急オーダーを発行時、当日以降(未来日)の検査日を指定できること。 |
| 3-13-17 | 内視鏡 | 内視鏡オーダー | 内視鏡オーダー | 過去日の検査日を指定できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|------------|---------------|--------|---|
| 3-13-18 | 内視鏡 | 内視鏡オーダ | 内視鏡オーダ | 追検査項目選択時、確定ボタン押下時に、予約枠日時が日保留であれば予約枠選択部品を自動起動できること。 |
| 3-14 | 放射線 | 放射線オーダ | | 放射線検査オーダ |
| 3-14-1 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-14-2 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-14-3 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-14-4 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 過去にオーダ発行したオーダをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-14-5 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | オーダ入力の効率化を考慮して、一般放射線オーダを他に必要な他のオーダ(検査や処置など)と組み合わせてセット登録ができること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-14-6 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 一般放射線オーダを部門へ送信できること。 |
| 3-14-7 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 一般放射線検査に関して、撮影区分、部位、体位/方向、撮影コメントの入力ができること。 |
| 3-14-8 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 撮影内容を複数設定できること。 |
| 3-14-9 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 必要な場合に、臨床診断・病名を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、一般撮影検査オーダの画面から病名登録ができること。当然、登録した病名は患者の病名一覧にも記載されること。 |
| 3-14-10 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 電子カルテシステムに登録されている感染症情報を自動表示できること。 |
| 3-14-11 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 一般放射線検査の予約を取得できること。 |
| 3-14-12 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 緊急検査の指定ができること。 |
| 3-14-13 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 一般放射線検査オーダにシエマ図(人体図)を添付できること。 |
| 3-14-14 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 同意書や検査説明書などを一般放射線検査オーダと同時に発行できること。 |
| 3-14-15 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 発行する同意書や検査説明書などは、患者ID、氏名、病名等のカルテ情報を表示できること。 |
| 3-14-16 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 電子カルテシステムに登録されている患者プロフィールの妊娠情報を自動表示できること。 |
| 3-14-17 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 緊急オーダを発行時、当日以降(未来日)の検査日を指定できること。 |
| 3-14-18 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 過去日の検査日を指定できること。 |
| 3-14-19 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 電子カルテシステムに登録されている患者プロフィールのインプラント情報を自動表示できること。 |
| 3-14-20 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 撮影方向ごとに撮影条件の初期値設定ができること。 |
| 3-14-21 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 過去のオーダ実績から選択して入力できること。また、利用者のオーダ実績より、よく使うパターンを「利用者自身」や「自科」の定形オーダとして登録することができること。 |
| 3-14-22 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 検査日を次回の診察日に簡単に設定できること。 |
| 3-14-23 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 放射線オーダを複写した際に、妊娠有無などの付帯項目を複写しないようにできること。 |
| 3-14-24 | 放射線 | 放射線オーダ | 放射線オーダ | 単純撮影、MRIなどの検査ごとにコメントや身長・体重などの必須入力設定ができること。 |
| 3-15 | 輸血 | 輸血オーダ | | 輸血オーダ |
| 3-15-1 | 輸血 | 輸血オーダ | | 輸血オーダ |
| 3-15-1-1 | 輸血 | 輸血オーダ | 輸血 | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-15-1-2 | 輸血 | 輸血オーダ | 輸血 | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-----------|---------------|----------|--|
| 3-15-1-3 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血 | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-15-1-4 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血 | 過去にオーダー発行したオーダーをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-15-1-5 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血 | オーダー入力の効率化を考慮して、輸血オーダーを他に必要な他のオーダー(検査や処置など)と組み合わせさせてセット登録することができること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-15-1-6 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血 | 厚労省より通達されている「輸血療法の実施に関する指針」にそって、輸血を行った患者に対して、ある一定期間内に感染症検査が未実施の場合は検査を行うよう促すメッセージが表示されること。 |
| 3-15-1-7 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血 | 輸血後、ある一定期間内に検査をすべき感染症検査の項目がセット化でき、メッセージを確認後簡便に対象検査が指示できること。 |
| 3-15-1-8 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血 | 輸血実施者の感染症検査の実施状況を一覧でモニタリングできること。 一覧には患者情報、輸血実施日、輸血製剤名、使用場所、ロット番号、及び検査実施日が表示され状況が確認ができること。 |
| 3-15-2 | 輸血 | 輸血オーダー | | 血液製剤オーダー |
| 3-15-2-1 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 血液製剤依頼を部門へ送信できること。 |
| 3-15-2-2 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 依頼血液型を選択できること。依頼した血液型と電子カルテシステムに登録されている血液型と一致しているかチェックができること。 |
| 3-15-2-3 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 使用日時、場所を指定できること。 |
| 3-15-2-4 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 術式の選択入力ができること。 |
| 3-15-2-5 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | クロス用検体採取予定日の入力ができること。 |
| 3-15-2-6 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | クロス採血予定日を指定した場合に、クロス採血オーダーの自動発行、またはクロス採血オーダー画面の起動ができること。 |
| 3-15-2-7 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 依頼血液製剤種ごとにクロス採血予定日を必須入力とするかどうか設定できること。 |
| 3-15-2-8 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 依頼血液製剤種ごとにクロス採血予定日を自動入力するかどうか設定できること。また、自動入力される日付は輸血予定日を基準として算出され、その日付は輸血予定日の何日前とするか設定ができること。 |
| 3-15-2-9 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 必要な場合に、臨床診断を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、輸血オーダーの画面から病名登録ができること。当然、登録した病名は患者の病名一覧にも記載されること。 |
| 3-15-2-10 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 製剤種、単位、依頼コメントを入力できること。 |
| 3-15-2-11 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 製剤種ごとに付帯情報を選択できること。 |
| 3-15-2-12 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 同一製剤を複数日に使用、または同一日に複数製剤を使用するオーダーの発行が容易にできること。 |
| 3-15-2-13 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 緊急オーダーの指定ができること。緊急を指定した場合、入力項目を限定できること。 |
| 3-15-2-14 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | T&Sの指定ができること。また、T&Sを指定した場合に製剤種と単位数を選択可能とするかどうか設定できること。 |
| 3-15-2-15 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 臨床状態、使用目的、予想出血量の入力ができること。 |
| 3-15-2-16 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 電子カルテシステムに入力されている検査結果を表示できること。 |
| 3-15-2-17 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 血液製剤依頼と同時に同意書を発行できること。 |
| 3-15-2-18 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 輸血同意書の取得有無を入力できること。 |
| 3-15-2-19 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 輸血同意書の取得有無の選択状態に応じて、オーダー発行時に同意書を自動で起動するかどうかの設定ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|-----------------|----------|--|
| 3-15-2-20 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 入力漏れを防ぐために、依頼血液型・使用予定日・使用場所・製剤種・単位数・同意書取得有無を必須入力とすること。 |
| 3-15-2-21 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 製剤の血型と患者の血型が異なる場合、理由入力なしにオーダーが発行できないこと。 |
| 3-15-2-22 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(血液製剤) | 不規則抗体がプラスの患者の場合、オーダー編集画面でメッセージを表示できること。また、メッセージはエラーか警告の設定ができること。 |
| 3-15-3 | 輸血 | 輸血オーダー | | 自己血採血 |
| 3-15-3-1 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 自己血採血依頼を部門へ送信できること。 |
| 3-15-3-2 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 使用予定日、採血日時、採血場所を指定できること。 |
| 3-15-3-3 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 採血日時は予約枠管理できること。また、予約枠は採血場所ごとに管理できること。 |
| 3-15-3-4 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 使用予定日と採血日の間隔が一定期間以上離れている場合にオーダー発行ができないようチェックができること。また、オーダー発行可能な間隔は製剤種ごとに設定できること。 |
| 3-15-3-5 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 使用予定日と採血日の間隔が一定期間以内の場合に注意メッセージを表示するようチェックができること。また、メッセージを表示する間隔は製剤種ごとに設定できること。 |
| 3-15-3-6 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 複数の採血予定日を指定する場合、各採血予定日の間隔が一定期間以上離れていないとオーダー発行できないようチェックができること。また、複数採血日指定時にオーダー発行可能な間隔を設定できること。 |
| 3-15-3-7 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 製剤種を選択入力できること。 |
| 3-15-3-8 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 採血量を入力できること。 |
| 3-15-3-9 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 術式の選択入力ができること。 |
| 3-15-3-10 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 予想出血量の入力ができること。 |
| 3-15-3-11 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | コメントのフリー入力ができること。 |
| 3-15-3-12 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 電子カルテシステムに入力されている検査結果を表示できること。 |
| 3-15-3-13 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 自己血採血依頼と同時に同意書を発行できること。 |
| 3-15-3-14 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 輸血同意書の取得有無を入力できること。 |
| 3-15-3-15 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 入力漏れを防ぐために、使用予定日・採血場所・採血日・採血予定量・製剤種を必須入力とすること。 |
| 3-15-3-16 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | 電子カルテに、指示者、オーダー発行日、発行時間の情報が自動転記され、記録として保存できること。 |
| 3-15-3-17 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | パッケージ標準の項目の他に、独自に選択項目を追加できること。 |
| 3-15-3-18 | 輸血 | 輸血オーダー | 輸血(自己血) | オーダー発行時に自己血採血依頼書を自動で印刷できること。また、院内のどの端末から印刷しても輸血管理室のプリンタに依頼書を出力できること。 |
| 3-16 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダー | | 手術・麻酔オーダー |
| 3-16-1 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダー | 手術麻酔オーダー | 電子カルテシステムに、指示者、オーダー発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-16-2 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダー | 手術麻酔オーダー | オーダーに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-16-3 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダー | 手術麻酔オーダー | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-16-4 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダー | 手術麻酔オーダー | 過去にオーダー発行したオーダーをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-16-5 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダー | 手術麻酔オーダー | オーダー入力の効率化を考慮して、手術・麻酔オーダーを他に必要な他のオーダー(検査や処置など)と組み合わせてセット登録ができること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|----------------|----------------|--|
| 3-16-6 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 入力した指示内容を手術部門へ送信され、手術部門では一覧で確認できること。 |
| 3-16-7 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 担当医、主治医等が手術の計画をたて、手術部門に手術予約申込ができること。 |
| 3-16-8 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術申込に必要な患者情報を入力できること。 |
| 3-16-9 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術予定日、手術室予約時間を入力できること。 |
| 3-16-10 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術室の予約状況を参照できること。 |
| 3-16-11 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 病名を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、手術オーダの画面から病名登録ができること。当然、登録した病名は患者の病名一覧にも記載されること。 |
| 3-16-12 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 術式が選択ができ、部位、左右、体位が入力できること。 |
| 3-16-13 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 術式に付随する材料、器材、薬剤などをセット化ができること。 |
| 3-16-14 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 科ごとに材料、器材、薬剤に登録ができること。 |
| 3-16-15 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 材料、器材、薬剤の検索選択ができること。 |
| 3-16-16 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 電子カルテに登録されている感染症情報を自動表示できること。 |
| 3-16-17 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術予約申込時、麻酔科依頼の選択ができること。 また、同時に麻酔医への麻酔申込依頼ができること。 |
| 3-16-18 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 入力漏れを防ぐために、入力必須項目を指定できること。 |
| 3-16-19 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 申し込み区分(予定、締め切り後、緊急、等)ごとに締め切り日の設定ができること。 |
| 3-16-20 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術申込オーダについて、術後管理(日帰り手術、リハビリ室、ICU等)まで実施できること。 |
| 3-16-21 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 電子カルテに登録されている年齢、性別、身長、体重を表示すること。 |
| 3-16-22 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | クリーンルーム指定の選択ができること。 |
| 3-16-23 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 希望手術室が指定できること。 また、手術室ごとに各科の予約時間を管理でき、チェックができること。 |
| 3-16-24 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 申込時にカレンダーのイメージで空き枠を確認でき、予約取得ができること。 |
| 3-16-25 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 申込区分に予定・締め切り後、緊急、オンコールなどの区分を設定できること。 また、オンコール時は日指定のみで予約できること。 |
| 3-16-26 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術申込区分ごとに締め切り時間を設定できること。 |
| 3-16-27 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術実施情報を患者基本情報へ反映できること。 |
| 3-16-28 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術申込の時の術式を実施時に連携できること。 |
| 3-16-29 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 手術申込内容を自動で取り込んで表示すること。 |
| 3-16-30 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 麻酔科医が術前診察内容を入力できること。 |
| 3-16-31 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 麻酔科医が手術室への指示内容を入力できること。 |
| 3-16-32 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 麻酔科医が病棟への指示内容を入力できること。 |
| 3-16-33 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 輸血オーダが参照できること。 |
| 3-16-34 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 感染症が確認できること。 |
| 3-16-35 | 手術麻酔 | 手術麻酔オーダ | 手術麻酔オーダ | 既往歴、手術歴、アレルギー、飲酒・喫煙歴が確認できること。 |
| 3-17 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリオーダ | リハビリテーションオーダ |
| 3-17-1 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリオーダ | リハビリテーションオーダ |
| 3-17-1-1 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリオーダ | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|-----------------|----------|--|
| 3-17-1-2 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | オーダーに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-17-1-3 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-17-1-4 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 過去にオーダー発行したオーダーをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わることを。 |
| 3-17-1-5 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | オーダー入力の効率化を考慮して、リハビリオーダーと他に必要な他のオーダー(検査や処置など)と組み合わせでセット登録ができること。セット登録は、院内共通セット、科別セット、利用者セット、患者セットの登録ができること。 |
| 3-17-1-6 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 入力した指示内容がリハビリ部門へ送信され、リハビリ部門では一覧で確認できること。 |
| 3-17-1-7 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | リハビリ医に対してリハビリ依頼が行えること。また、依頼を受けたリハビリ医が処方指示の入力ができること。 |
| 3-17-1-8 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 入力項目は、リハビリに必要な情報を入力できること。任意の項目について入力省略可能な設定ができること。 |
| 3-17-1-9 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 依頼情報として依頼日、依頼科、依頼医の入力ができること。 |
| 3-17-1-10 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 実施希望日の入力ができること。 |
| 3-17-1-11 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | リハビリ対象の疾患名、発症日、病名登録日を個人病名より選択し入力ができること。疾患名が複数ある場合は複数選択もできること。 |
| 3-17-1-12 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | リハビリ対象疾患名を入力時、新たに病名を登録する場合は、リハビリオーダーの画面から病名登録ができる機能を有すること。当然、登録した病名は患者の個人病名にも登録されること。 |
| 3-17-1-13 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 電子カルテに保存されている入院日、手術日、手術名を表示できること。 |
| 3-17-1-14 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 障害名について入力できること。 |
| 3-17-1-15 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 能力的ゴール、社会的ゴールが入力できること。 |
| 3-17-1-16 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 電子カルテに登録されている感染症情報を自動表示できること。 |
| 3-17-1-17 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | リハビリ開始場所を指定できること。 |
| 3-17-1-18 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 理学療法、作業療法、言語聴覚療法それぞれについて、依頼療法内容を入力できること。 |
| 3-17-1-19 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 理学療法、作業療法、言語聴覚療法以外にも選択可能な療法の追加が設定によりできること。 |
| 3-17-1-20 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 経過、RISK、合併症などを入力できること。 |
| 3-17-1-21 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 入力漏れを防ぐために、入力必須項目を指定できること。 |
| 3-17-1-22 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 処方区分は「開始」「変更」「中止」「終了」から単一選択できること。 |
| 3-17-1-23 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリオーダー | 電子カルテに入力されている手術日、手術名を「手術一覧(予定手術含む)」から選択することができること。 |
| 3-17-2 | リハビリ | リハビリオーダー | | リハビリテーション処方 |
| 3-17-2-1 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリ処方 | 各入力項目についてリハビリ依頼情報を元に確認しながら処方内容の入力ができること。 |
| 3-17-2-2 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリ処方 | リハビリ依頼に対して、処方日、処方医の入力ができること。 |
| 3-17-2-3 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリ処方 | 実施希望日、起算日の入力ができること。 |
| 3-17-2-4 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリ処方 | リハビリ対象の疾患名、発症日、病名登録日を個人病名より選択し入力ができること。疾患名が複数ある場合は複数選択もできること。 |
| 3-17-2-5 | リハビリ | リハビリオーダー | リハビリ処方 | 処方入力時にリハビリ対象疾患名を新たに病名として登録する場合は、リハビリオーダーの画面から病名登録ができること。当然、登録した病名は患者の病名一覧にも記載されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|----------------|---------|---|
| 3-17-2-6 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 電子カルテに保存されている入院日、手術日、手術名を表示できること。 |
| 3-17-2-7 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 障害名について入力できること。 |
| 3-17-2-8 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 能力的ゴール、社会的ゴールが入力できること。 |
| 3-17-2-9 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 電子カルテに登録されている感染症情報を自動表示できること。 |
| 3-17-2-10 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | リハビリ開始場所を指定できること。 |
| 3-17-2-11 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 理学療法、作業療法、言語聴覚療法それぞれについて、依頼療法内容を入力できること。 |
| 3-17-2-12 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 経過、RISK、合併症などを入力できること。 |
| 3-17-2-13 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 入力漏れを防ぐために、入力必須項目を指定できること。 |
| 3-17-2-14 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | リハビリ処方箋を印刷できること。 |
| 3-17-2-15 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 算定区分を指定できること。 |
| 3-17-2-16 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | リハビリテーション実施計画書の作成ができること。 |
| 3-17-2-17 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 処方区分は「開始」「変更」「中止」「終了」から単一選択できること。 |
| 3-17-2-18 | リハビリ | リハビリオーダ | リハビリ処方 | 電子カルテに入力されている手術日、手術名を「手術一覧(予定手術含む)」から選択することができること。 |
| 3-18 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | | 血液浄化オーダ |
| 3-18-1 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-18-2 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-18-3 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-18-4 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 過去にオーダ発行したオーダをコピーできること。その際に実施日が当日の日付に自動で変わること。 |
| 3-18-5 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | オーダ入力の効率化を考慮して、血液浄化オーダを他に必要な他のオーダ(検査や処置など)と組み合わせセット登録ができること。セット登録はマスタ設定、利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-18-6 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 入力した指示内容を血液浄化(人工透析)部門へ送信され、透析室では一覧で確認できること。 |
| 3-18-7 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 電子カルテに登録されている患者ID、患者氏名、性別、年齢を血液浄化ツールに表示できること。 |
| 3-18-8 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 緊急または毎週の申込区分の指定ができること。 |
| 3-18-9 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 希望曜日を選択できること。 |
| 3-18-10 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 希望開始時刻、所要時間の入力ができること。 |
| 3-18-11 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 血液浄化方法を入力できること。 |
| 3-18-12 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 電子カルテに登録されている病名から基疾患を選択できること。 |
| 3-18-13 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 血液浄化(人工透析)部門への依頼事項が入力できること。 |
| 3-18-14 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 入力漏れを防ぐために、入力必須項目を指定できること。 |
| 3-18-15 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 入力した指示内容が血液浄化(人工透析)部門側のシステムで容易に参照できること。 |
| 3-18-16 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 搬送方法を指定できること。 |
| 3-18-17 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-18-18 | 血液浄化 | 血液浄化オーダ | 血液浄化オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|--------------------|------------|--|
| 3-18-19 | 血液浄化 | 血液浄化オ ダ | 血液浄化オ ダ | 血液浄化実施場所を指定できること。 |
| 3-18-20 | 血液浄化 | 血液浄化オ ダ | 血液浄化オ ダ | 障害者加算項目を指定できること。 |
| 3-19 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | | 入院予約オダ |
| 3-19-1 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院が決まった際に入院の予約(申し込み)を行えること。 |
| 3-19-2 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | オダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-19-3 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | オダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-19-4 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | オダ入力効率化を考慮して、入院申込オダを入院前に行う他のオダ(検査や処置など)と組み合わせでセット登録ができること。セット登録は利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-19-5 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入力項目は、入院時情報及びベッドコントロールに必要な情報を入力できること。移動日時、診療科、病棟、食事情報の最低限必要な項目を除く任意の項目のを省略可能な設定ができること。 |
| 3-19-6 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院に必要な担当情報、食事情報、希望入院日、入院予定の診療科/病棟などの指定ができること。 |
| 3-19-7 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 必要な場合に、入院病名、入院目的を登録できること。入院病名は患者病名として登録された病名の一覧から選択できる事。また、入院オダの画面から病名登録画面を呼び出し、新たに病名が登録できること。 |
| 3-19-8 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 手術、検査、治療の予定日を入力できること。 |
| 3-19-9 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院目的に応じて、手術、検査、治療の予定日が入力されているかチェックできること。 |
| 3-19-10 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申し込みオダを受けて入院決定操作により、入院診療科、病棟、食事情報の確定ができること。 入院申し込みで入力した情報は入院決定時の情報で変更できること。 入院決定により、各部門システムや医事システムに情報を連携できること。 |
| 3-19-11 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 緊急入院に対応するため、入院申し込みではなく、入院診療科、病棟、ベッド、食事情報を確定した状態で入院決定の指示もできること。 |
| 3-19-12 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院決定後、直ちに各種オダ発行ができること。 |
| 3-19-13 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 事前に入院時の診療指示を入力できること。 |
| 3-19-14 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申し込みオダの発行時に入院診療計画書の記載ができること。 |
| 3-19-15 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申し込み時に主担当医の他、指導医、担当医を指定できる事。担当医は5名以上登録できること。 |
| 3-19-16 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 事前の検査で判明している感染症がある場合、入院申し込み画面に表示できること。 |
| 3-19-17 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申込時に食事コメントの入力ができること。 |
| 3-19-18 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申込時の食事コメントはマスタにて定型化でき、フリーによるコメントの入力もできること。 |
| 3-19-19 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申込時に選択する食種、食事コメントについては、職種別に選択できる項目を設定できること。 |
| 3-19-20 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申込時の年齢に応じたデフォルトの食事内容を設定できること。 |
| 3-19-21 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 上記に加え、年齢に応じたデフォルトの食事内容を診療科別に設定できること。 |
| 3-19-22 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申込時に前回入院時の食事情報をデフォルトの食事内容としてセットできること。 |
| 3-19-23 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申込時の食事情報として朝・昼・夕の間に間食項目(おやつなど)を登録できること。 |
| 3-19-24 | 入院予約 | 入院予約オ ダ | 入院予約オ ダ | 入院申込時の食事情報に入力された食物アレルギー情報が患者プロフィールに登録されている食物アレルギー情報と相違ないかチェックできること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|---------------|--------|---|
| 3-19-25 | 入院予約 | 入院予約オダ | 入院予約オダ | 入院申込時の食事情報として栄養指導が必要な食種が選択された場合に、栄養指導依頼を促すメッセージを表示できること。 |
| 3-19-26 | 入院予約 | 入院予約オダ | 入院予約オダ | 上記に加え、栄養指導の要/不要はマスタメンテナンスにて食種毎に設定できること。 |
| 3-19-27 | 入院予約 | 入院予約オダ | 入院予約オダ | 外来診察時に入院を申し込む際、手術日やベッドの空き状況などを確認しなければならないため、一旦、入院日を未定日として指示ができること。 また、未定日で指示された申込は申込一覧にて検索・抽出ができ、その一覧から実際の入院予定日に日付が変更ができること。 |
| 3-19-28 | 入院予約 | 入院予約オダ | 入院予約オダ | 入院診療計画書作成時には、記載に関わったすべての職員の職種・氏名を記載できるよう最低8名以上は担当者を登録できること。 |
| 3-19-29 | 入院予約 | 入院予約オダ | 入院予約オダ | 入院診療計画書を作成するにあたり、記載項目の未記入チェックが行え、記載漏れを防ぐことができること。 また、計画が不要な項目については簡便的に該当しない旨を記載できること。 |
| 3-19-30 | 入院予約 | 入院予約オダ | 入院予約オダ | 入院診療計画書は計画が変更になる度に記載するため、転科時、もしくは任意のタイミングで新たに入院診療計画書が作成できること。 その際には、患者に既に手渡した入院診療計画書の上書きではなく、別の文書として作成され、記載状況が管理できること。 |
| 3-20 | 移動食事 | 移動食事オダ | | 移動・食事オダ |
| 3-20-1 | 移動食事 | 移動食事オダ | | 移動・食事オダ |
| 3-20-1-1 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 移動・食事の指示が発行できること。発行されたオダの内容は指示者、発行日、発行時間の情報とともに記録として電子カルテに保存されること。 |
| 3-20-1-2 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | オダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-20-1-3 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | オダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-20-1-4 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 移動・食事指示においては、各指示の過去や未来にわたり状況が容易に把握でき、オダ追加ができること。 |
| 3-20-1-5 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 医師、看護師又はコメディカルが、患者の移動情報及び食事情報を確認する事を目的として、10日から2週間程度の期間を一度に表示するカレンダー形式で表示を行い、内容を確認後、各移動オダおよび食事オダの発行ができること。 |
| 3-20-1-6 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 食事変更オダ画面で身長・体重の入力ができること。 |
| 3-20-1-7 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 食種(一般食、特別食、濃厚流動食、ミルク食)を選択できること。 |
| 3-20-1-8 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 食種の選択においては3階層以上のリストから選択できること。 |
| 3-20-1-9 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 食種の選択を簡便にするため、代表的な食種をワンクリック選択できるようにボタンを5つまで配置できること。 |
| 3-20-1-10 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | ミルク食を選択した場合、一回量、調乳量、回数が入力できること。 |
| 3-20-1-11 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 濃厚流動食を選択した場合、摂取方法、濃度、一回量、配膳量、回数が入力できること。 |
| 3-20-1-12 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 朝、昼、夕の配膳区分および食種に応じた締切りチェックが設定でき、土日祝日も考慮できること。 |
| 3-20-1-13 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 食事配膳の締切時間を2段階に設定できること。 |
| 3-20-1-14 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 食種ごとの食事病名を選択できること。 |
| 3-20-1-15 | 移動食事 | 移動食事オダ | 移動・食事 | 患者の基本情報に食事アレルギーの登録がある場合、食事コメントを自動表示する設定ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|--------------------|-------|--|
| 3-20-1-16 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | アレルギーなどの重要なコメントが入力された場合、発行済みの未来の食事オダの内容をチェックしメッセージを表示できること。何が重要なコメントかはマスタで指定できること。 |
| 3-20-1-17 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 配膳区分ごとに食事内容(飲み物)を指定できること。 |
| 3-20-1-18 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 食種、主食、飲み物、濃厚流動食、ミルク食より栄養量の計算ができること。 |
| 3-20-1-19 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 10日から2週間程度の期間を一度に表示するカレンダー形式の画面に食事情報として朝・昼・夕の間に間食項目(おやつなど)が表示できること。 |
| 3-20-1-20 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 10日から2週間程度の期間を一度に表示するカレンダー形式の画面より、任意の食事オダの内容をカレンダー上でコピー&ペーストができること。 |
| 3-20-1-21 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 修正・削除については権限に応じた操作を可能とする設定ができること。また特権が付与された利用者のみ操作の継続が可能とする設定ができること。 |
| 3-20-1-22 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 朝・昼・夕のパターンについて一括で入力でき、これにより昼のみ欠食などの指示が容易にできること。 |
| 3-20-1-23 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 食種は職種別を選択できる項目を設定できること。 |
| 3-20-1-24 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 入力された食物アレルギー情報が患者プロフィールに登録されている食物アレルギー情報と相違ないかチェックできること。 |
| 3-20-1-25 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 栄養指導が必要な食種が選択された場合に、栄養指導依頼を促すメッセージを表示できること。 |
| 3-20-1-26 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 移動・食事 | 上記に加え、栄養指導の要/不要はマスタメンテナンスにて食種毎に設定できること。 |
| 3-20-2 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | | 転棟申込み |
| 3-20-2-1 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 転棟申込オダを発行した場合は、転入先が実施入力できるようにその情報がベッドコントロール画面に即時に表示され、受け入れ先病棟などから転棟の受け入れの決定処理ができること。 |
| 3-20-2-2 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 受け入れ先病棟などからの転棟の受け入れの決定の際に転棟申し込みで入力した情報を変更して決定できること。 |
| 3-20-2-3 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 受け入れ先病棟などからの転棟の受け入れの決定の際に食事開始区分の入力ができること。 |
| 3-20-2-4 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 入力項目は、転棟時情報及びベッドコントロールに必要な情報を入力できること。任意の項目の入力を省略可能な設定ができること。 |
| 3-20-2-5 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 転棟申込オダから診療科の変更もできること。 |
| 3-20-2-6 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 主担当医、副担当医の指定ができること。副担当医は5名以上登録できること。 |
| 3-20-2-7 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 主担当看護師、副担当看護師の指定ができること。副担当看護師は3名以上登録できること。 |
| 3-20-2-8 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 必要な場合に、転棟病名、転棟目的を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、画面展開やクリック数を減らすために転棟申込みオダの画面から病名登録ができること。 |
| 3-20-2-9 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 転棟申入入力の際に、現在の移動情報(現時点での診療科、病棟、担当医など)がデフォルトで表示されること。 |
| 3-20-2-10 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 転棟申込み | 転棟申込指示を行う際に指導医の指定ができること。 |
| 3-20-3 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | | 即転棟 |
| 3-20-3-1 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 即転棟 | 患者容態の急変など即時に転棟の必要性があった場合に、「転棟申し込み」とは別の「即転棟」オダ機能を有し、発行即時に実施とされること。 |
| 3-20-3-2 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 即転棟 | 即転棟オダを発行した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-20-3-3 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 即転棟 | 即転棟オダを発行した場合は、その情報が即時に栄養管理システムへ送信されること。 |
| 3-20-3-4 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 即転棟 | 即転棟オダを発行した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 3-20-3-5 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 即転棟 | 入力項目は、任意の項目の入力を省略可能な設定ができること。 |
| 3-20-3-6 | 移動食事 | 移動食事オ ダ | 即転棟 | 主担当医、副担当医の指定ができること。副担当医は5名以上登録できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|-----------------|--------|--|
| 3-20-3-7 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 即転棟 | 主担当看護師、副担当看護師の指定ができること。副担当看護師は3名以上登録できること。 |
| 3-20-3-8 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 即転棟 | 感染症情報を自動で表示できること。 |
| 3-20-3-9 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 即転棟 | 即転棟オーダーから診療科の変更ができること。 |
| 3-20-3-10 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 即転棟 | 必要な場合に、転棟病名、転棟目的を登録できること。また、新たに病名を登録する場合は、画面展開やクリック数を減らすために即転棟オーダーの画面から病名登録ができること。 |
| 3-20-3-11 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 即転棟 | 転棟オーダー入力時には、転棟先の転室・転床先の空床状況が参照できること。 |
| 3-20-3-12 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 即転棟 | 転棟オーダー入力の際に、現在の移動情報(現時点での診療科、病棟、担当医など)がデフォルトで表示されること。 |
| 3-20-4 | 移動食事 | 移動食事オーダー | | 転科 |
| 3-20-4-1 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 転科オーダーを発行した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-20-4-2 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 転科オーダーを発行した場合は、その情報が即時に栄養管理システムへ送信されること。 |
| 3-20-4-3 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 転科オーダーを発行した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 3-20-4-4 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 入力項目は、転科に必要な情報を入力できること。任意の項目の入力を省略可能な設定ができること。 |
| 3-20-4-5 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 転科オーダー入力の際に、現在の移動情報(現時点での診療科、担当医など)がデフォルトで表示されること。 |
| 3-20-4-6 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 主担当医、副担当医の指定ができること。副担当医は5名以上登録できること。 |
| 3-20-4-7 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 主担当看護師、副担当看護師の指定ができること。副担当看護師は3名以上登録できること。 |
| 3-20-4-8 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転科 | 転科の指示を行う際に指導医の指定ができること。 |
| 3-20-5 | 移動食事 | 移動食事オーダー | | 転室・転床 |
| 3-20-5-1 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 転室・転床オーダーを実施した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-20-5-2 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 転室・転床オーダーを発行した場合は、その情報が即時に栄養管理システムへ送信されること。 |
| 3-20-5-3 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 入力項目は、転室・転床に必要な情報を入力できること。 |
| 3-20-5-4 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 転室・転床オーダー入力時には、自病棟の空床状況が参照できること。 |
| 3-20-5-5 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 転室オーダー入力の際に、現在の移動情報(現時点での診療科、病棟、担当医など)がデフォルトで表示されること。 |
| 3-20-5-6 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 主担当医、副担当医の指定ができること。副担当医は5名以上登録できること。 |
| 3-20-5-7 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 主担当看護師、副担当看護師の指定ができること。副担当看護師は3名以上登録できること。 |
| 3-20-5-8 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 転室・転床の指示を行う際に指導医の指定ができること。 |
| 3-20-5-9 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 転室・転床の指示を行う際に配膳開始日・食事区分の選択ができること。 |
| 3-20-5-10 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 転室・転床 | 転室・転床指示は病棟イメージ図上で患者をドラッグ&ドロップすることでもできること。 |
| 3-20-6 | 移動食事 | 移動食事オーダー | | 外出泊・帰院 |
| 3-20-6-1 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 外出泊・帰院 | 外出泊・帰院オーダーを実施した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-20-6-2 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 外出泊・帰院 | 外出泊・帰院オーダーを発行した場合は、その情報が即時に栄養管理システムへ送信されること。 |
| 3-20-6-3 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 外出泊・帰院 | 外出泊・帰院オーダーを発行・実施した場合は、その情報が電子カルテに即時に記録されること。 |
| 3-20-6-4 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 外出泊・帰院 | 入力項目は、外出泊・帰院に必要な情報を入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|------|----------|--------|--|
| 3-20-6-5 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 外出泊・帰院 | 外泊・帰院の指示を行う際に配膳停止・開始の食事区分の選択ができること。 |
| 3-20-7 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 担当変更 |
| 3-20-7-1 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 担当変更オーダーを発行した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-20-7-2 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 担当変更オーダーを発行した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 3-20-7-3 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 入力項目は、担当変更に必要な情報を入力できること。任意の項目の入力を省略可能な設定ができること。 |
| 3-20-7-4 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 担当変更オーダー入力の際に、現在の主担当医がデフォルトで表示されること。 |
| 3-20-7-5 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 主担当医、副担当医の指定ができること。副担当医は5名以上登録できること。 |
| 3-20-7-6 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 主担当看護師、副担当看護師の指定ができること。副担当看護師は3名以上登録できること。 |
| 3-20-7-7 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 担当変更 | 担当変更の指示を行う際に指導医の指定ができること。 |
| 3-20-8 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食事変更 |
| 3-20-8-1 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食事変更オーダーを発行した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-20-8-2 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食事変更オーダーを発行した場合は、その情報が即時に栄養管理システムへ送信されること。 |
| 3-20-8-3 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食事変更オーダーを発行した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 3-20-8-4 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 入力項目は、食事変更に必要な情報を入力できること。任意の項目の入力を省略可能な設定ができること。 |
| 3-20-8-5 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 現在の食事情報を引き継ぐ機能を有すること。 |
| 3-20-8-6 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食事回数による指示ができること。 |
| 3-20-8-7 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食種(一般食、特別食、濃厚流動食、ミルク食)を選択できること。 |
| 3-20-8-8 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食種の選択においては3階層以上のリストから選択できること。 |
| 3-20-8-9 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食種の選択を簡便にするため、代表的な食種をワンクリック選択できるようにボタンを5つまで配置できること。 |
| 3-20-8-10 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | ミルク食を選択した場合、一回量、調乳量、回数が入力できること。 |
| 3-20-8-11 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 濃厚流動食を選択した場合、摂取方法、濃度、一回量、配膳量、回数を入力できること。 |
| 3-20-8-12 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 朝、昼、夕の配膳区分および食種に応じた締切りチェックが設定でき、土日祝日も考慮できること。 |
| 3-20-8-13 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食種毎に主食、病名の初期値設定ができること。 |
| 3-20-8-14 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 経管栄養食、ミルクは他食種と併用でオーダーできること。 |
| 3-20-8-15 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食事情報として朝・昼・夕の間に間食項目(おやつなど)を登録できること。 |
| 3-20-8-16 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 食種に関係する検査結果の情報を食事指示画面上にて閲覧ができること |
| 3-20-8-17 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 特別食の入力時に食事病名入力の入力チェックができること。 |
| 3-20-8-18 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 身長・体重の情報を患者基本情報から自動で取り込み、変更がある場合は入力できること。また、食事オーダーで変更した身長、体重は患者基本情報へ自動的に反映すること。 |
| 3-20-8-19 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | 患者の基本情報に食事アレルギーの登録がある場合、食事コメントを自動表示する設定ができること。 |
| 3-20-8-20 | 移動食事 | 移動食事オーダー | 食事変更 | アレルギーなどの重要なコメントが入力された場合、発行済みの未来の食事オーダーの内容をチェックしメッセージを表示できること。何が重要なコメントかはマスタで指定できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|------------|---------------|--------|---|
| 3-20-8-21 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 食事コメントをマスタにて定型化でき、フリーによるコメントも入力もできること。 |
| 3-20-8-22 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 配膳区分ごとに食事内容(飲み物)を指定できること。 |
| 3-20-8-23 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 食事コメントは職種別を選択できる項目を設定できること。 |
| 3-20-8-24 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 朝・昼・夕のパターンについて一括で入力でき、これにより昼のみ欠食などの指示が容易にできること。 |
| 3-20-8-25 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 締切チェック(二段階チェック、休日の考慮)ができること。 |
| 3-20-8-26 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 移動・食事 | 食種は職種別を選択できる項目を設定できること。 |
| 3-20-8-27 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 入力された食物アレルギー情報が患者プロフィールに登録されている食物アレルギー情報と相違ないかチェックできること。 |
| 3-20-8-28 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 栄養指導が必要な食種が選択された場合に、栄養指導依頼を促すメッセージを表示できること。 |
| 3-20-8-29 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 上記に加え、栄養指導の要/不要はマスタメンテナンスにて食種毎に設定できること。 |
| 3-20-8-30 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 栄養指導依頼を促すメッセージには、本日を起点として指定期間内に栄養指導オーダが存在した場合、その指導日と食種を表示すること。 |
| 3-20-8-31 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 栄養指導が必要な食種が選択された際に、入力者に栄養指導オーダを発行する権限が無い場合は、栄養指導依頼を促すメッセージを表示しないこと。 |
| 3-20-8-32 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 栄養指導依頼を促すメッセージにはボタンを表示し、ボタンをクリックすると栄養指導オーダ画面が自動起動すること。 |
| 3-20-8-33 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 自動起動した栄養指導オーダに食事変更オーダから食種を引き継ぐことができること。 |
| 3-20-8-34 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 食事変更オーダは、開始日と開始配膳区分(朝・昼・夕)を指定できること。また、次の食事変更オーダ(欠食含む)または退院まで指定した食事が継続することとし、食事変更オーダ時に終了日と終了配膳区分の入力を不要とすること。 |
| 3-20-8-35 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 患者プロフィールに禁止食事コメントが登録されている場合、食事内容に禁止食事コメントで登録されている食品が含まれているかどうかをチェックすることが可能なこと。 |
| 3-20-8-36 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 特定期間の食事内容の変更を一括で行う機能があること。対象期間を選ぶ場合には開始日と終了日又は開始日からの日数を設定して期間設定が可能なこと。 |
| 3-20-8-37 | 移動食事 | 移動食事オーダ | 食事変更 | 主食、間食、飲み物についてマスタメンテナンス機能にて使用期限を設定している場合、食事オーダを発行するタイミングで使用期間についてチェックを行うことが可能なこと。 |
| 3-21 | 指導料 | 指導料オーダ | | 指導料オーダ |
| 3-21-1 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 診察加算指導料指示を選択して、指導料項目を指導記録オーダとして電子カルテに記載できること。 指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が自動的に記載されること。 |
| 3-21-2 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-21-3 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 指示の変更や中止を行った場合は履歴管理できること。変更履歴については版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのかすべての履歴を電子カルテに残すこと。変更履歴の表示有無は利用者が指定できること。 |
| 3-21-4 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 過去に指導料オーダ発行したオーダをコピーできること。その際にオーダ日が当日の日付に自動で変わる。 |
| 3-21-5 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | オーダ入力の効率化と取り漏れ防止を考慮して、指導料オーダを他のオーダ(検査や処置など)と組み合わせてセット登録ができること。セット登録は院内共通セット、科別セット、利用者セット、患者セットが登録できること。 |
| 3-21-6 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | マスタ設定により指導分類毎の指導項目が設定でき、オーダ入力時には登録されたリストから選択できること。 |
| 3-21-7 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 指導料に応じたカルテ記載内容をマスタ設定し、指導記録オーダと合わせて選択入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|----------------|----------------|---|
| 3-21-8 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 指導料に応じた注意事項をマスク設定し、指導記録オーダと合わせて選択入力できること。 |
| 3-21-9 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 指導料に応じた加算項目をマスク設定し、指導記録オーダ発行時に選択入力できること。 |
| 3-21-10 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | フリーコメント入力ができること。フリーコメントの文字数は文字数制限は特に行わずに入力できること。 |
| 3-21-11 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 過去の指導情報が参照でき、今回の指導情報として流用できること。 |
| 3-21-12 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | マスク設定により、よく使用する指導料を科別に分類できること。 |
| 3-21-13 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 入力された情報を元に、医事会計システムに指導料情報を送信すること。 |
| 3-21-14 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 指導料オーダ画面で検索キーワードを指定して指導料などの検索が可能なこと、その際には指導料名以外にも指導料に含まれる内容も含めて検索することが可能なこと。 |
| 3-21-15 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導歴一覧 | 指導歴一覧画面から過去の指導内容を検索することが可能なこと、その際には期間指定、キーワードを指定して検索することが可能なこと。 |
| 3-21-16 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 指導料を選択する際にそれぞれの指導用に関する算定ガイド画面を表示することが可能なこと。 |
| 3-21-17 | 指導料 | 指導料オーダ | 指導料オーダ | 指導料オーダ確定後にあらかじめ指定したテンプレート画面を自動的に起動することが可能なこと。 |
| 3-22 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | | 栄養指導オーダ |
| 3-22-1 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-22-2 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-22-3 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-22-4 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 過去にオーダ発行したオーダをコピーできること。その際に、栄養指導実施日が過去の日付のままでないこと。 |
| 3-22-5 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 予約機能として、個人での栄養指導や集団栄養指導など予約枠を複数設定できること。 |
| 3-22-6 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | オーダ入力の効率化を考慮して、栄養指導オーダを他に必要な他のオーダ(検査や処置など)と組み合わせてセット登録ができること。セット登録は利用者設定、患者設定ができること。 |
| 3-22-7 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 栄養指導を行う患者の患者情報(身長、体重、BMI)を表示できること。 |
| 3-22-8 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 患者の栄養指導病名の選択ができること。 |
| 3-22-9 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 患者への指示食種情報の選択入力ができること。 |
| 3-22-10 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 指示食種情報に間食も含めることができること。 |
| 3-22-11 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 患者の直近の検査結果情報が画面上で参照できること。 |
| 3-22-12 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 栄養指導の指示内容をマスクより選択できること。 |
| 3-22-13 | 栄養指導 | 栄養指導オーダ | 栄養指導オーダ | 栄養指導依頼オーダについて、病名の最大数を任意に設定できること。 |
| 3-23 | 服薬指導 | 服薬指導オーダ | 服薬指導オーダ | 服薬指導オーダ |
| 3-23-1 | 服薬指導 | 服薬指導オーダ | 服薬指導オーダ | 電子カルテシステムより服薬指導の依頼オーダができること。 |
| 3-23-2 | 服薬指導 | 服薬指導オーダ | 服薬指導オーダ | 入院に伴い服薬指導を行う場合、入院オーダを入力・確定した際に服薬指導のオーダ画面を自動で起動ができること。 |
| 3-23-3 | 服薬指導 | 服薬指導オーダ | 服薬指導オーダ | 服薬指導の依頼の際、指導依頼の内容を選択肢から選んでオーダできること。また、フリー入力にも対応できること。 |
| 3-23-4 | 服薬指導 | 服薬指導オーダ | 服薬指導オーダ | 麻薬指導あり、なしの指定ができること。 |
| 3-23-5 | 服薬指導 | 服薬指導オーダ | 服薬指導オーダ | 病名などを告知している、していないの指定ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|--------------|--------------|-----------|---|
| 3-23-6 | 服薬指導 | 服薬指導オーダー | 服薬指導オーダー | 服薬指導不可の場合に、不可理由を入力できること。 |
| 3-23-7 | 服薬指導 | 服薬指導オーダー | 服薬指導オーダー | 服薬指導オーダー画面で、入院中の服薬指導同意実績を参照できること。 |
| 3-24 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | | 指示簿指示オーダー |
| 3-24-1 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | | 一般指示/継続指示 |
| 3-24-1-1 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 医師が入院患者に対して、疼痛時・発熱時など対処が必要な場合や尿量確認・検温などの毎日定期的に行う行為を、指示簿指示オーダーとして発行できること。 発行した指示簿指示オーダーは指示者、発行日、発行時間の情報と共に電子カルテに記録として保存できること。 |
| 3-24-1-2 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | オーダー変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-24-1-3 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-24-1-4 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 過去に発行した指示をコピーできること。 |
| 3-24-1-5 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | オーダー入力の効率化を考慮して、指示簿指示オーダーと他に必要なオーダー(検査や処置など)と組み合わせでセット登録ができること。セット登録は院内共通セット、科別セット、利用者セット、患者セットが登録できること。 |
| 3-24-1-6 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 指示簿指示内容はマスタで定型化でき、院内の用語統一化もできること。 |
| 3-24-1-7 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 指示内容がマスタに登録されていない場合でも、フリー入力により指示簿指示オーダーとして発行できること。 |
| 3-24-1-8 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 指示簿内容は一日限りでなく、継続的かつ終了日を設定した指示ができること。 |
| 3-24-1-9 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 継続した指示はマスタ設定により終了までの期間の設定ができること。 |
| 3-24-1-10 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 指示簿オーダー画面で選択した指示の開始日時、終了日を一括で変更できること。 |
| 3-24-1-11 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 電子カルテの指示簿指示で入力した指示は即時に患者実施予定指示として更新され、看護師は患者への指示として指示受け、指示実施ができること。 |
| 3-24-1-12 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 同一の指示分類の指示が入力された場合は、重複チェックを行いアラームを表示すること。 |
| 3-24-1-13 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 一定時間が経過すると指示の編集(修正、削除)をロックできること。 |
| 3-24-1-14 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | マスタで指示簿内容とコスト伝票の紐付けを行い、指示簿指示実施時に紐付いたコスト伝票の入力を同時にできること。 |
| 3-24-1-15 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 指示入力時に患者状態等に応じて変更したい部分(数量、時間、回数)は、予め可変部分をマスタ設定で定義できること。 |
| 3-24-1-16 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 変更したい部分がある指示を行う際には、可変部分を編集して指示内容を完成できること。 |
| 3-24-1-17 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | アレルギー薬剤、アレルギー食物、その他アレルギーが患者プロフィールに登録されている場合画面にアイコンで表示されること。 |
| 3-24-1-18 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 指示簿指示画面で中分類選択時に自動で患者プロフィールミニビューが表示されアレルギー情報の確認が可能なこと。 |
| 3-24-1-19 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 一般指示/継続指示 | 指示簿オーダー発行時にオーダー内容にアレルギー薬剤が含まれている場合チェックを行うことが可能なこと。 |
| 3-24-2 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | | 継続指示一覧 |
| 3-24-2-1 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 継続指示一覧 | 継続した指示の確認を容易にするため、カレンダー形式で指示簿指示内容を表示できること。 |
| 3-24-2-2 | 指示簿指示 | 指示簿指示 | 継続指示一覧 | カレンダー表示は、実施時間・実施状況が確認可能な詳細表示ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|-----------------------|---------------|---|
| 3-24-2-3 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | カレンダーでは同じ分類の指示(発熱時など)をまとめて表示できること。 |
| 3-24-2-4 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 医師の継続指示内容をカレンダーで表示した際に指示内容の他に依頼医師、指示日、指示の終了日など継続指示の詳細が表示ができること。 |
| 3-24-2-5 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)では日付、継続指示の種類、継続している指示、終了している指示による検索表示ができること。 |
| 3-24-2-6 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)の印刷ができること。 |
| 3-24-2-7 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)上で継続指示の指示終了日の変更ができること。 |
| 3-24-2-8 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)上で継続指示を変更操作した場合に、変更する日時以降の指示は必ず変更前指示の下段に指示が表示され、変更前後の関連性が明白であること。 |
| 3-24-2-9 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 上記についてフローシートとクリニカルパスでも同様の表示ができること。 |
| 3-24-2-10 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)上では、指示受け前と後で表示色を変えるなど視覚的に区別できること。 |
| 3-24-2-11 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)上で、指示の実施入力ができること。 |
| 3-24-2-12 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)上では、指示の実施前と後で表示色を変えるなど視覚的に区別できること。 |
| 3-24-2-13 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 退院や死亡の際に継続指示の一括終了ができること。 |
| 3-24-2-14 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)から指示簿指示の新規作成・変更・修正・削除・複写・中止ができること。 |
| 3-24-2-15 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)で指示簿指示の履歴表示ができること。 |
| 3-24-2-16 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)で指示簿指示の版数表示ができること。 |
| 3-24-2-17 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)の表示は、現在時刻で有効な指示のみを表示できること。 |
| 3-24-2-18 | 指示簿指示 | 指示簿指示 オーダー | 継続指示一 覧 | 継続指示カレンダー(指示簿カレンダー)の表示は、指示分類で絞り込んで表示できること。 |
| 3-25 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | | 処置伝票(コスト) |
| 3-25-1 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票とは、処置オーダーとは違い、「医師の指示なしで行うことが可能な指示」や「指示簿指示として指示されたし診療行為」に対して実施記録を行うとともに、請求可能な行為については会計情報を医事会計システムに送信できること。 |
| 3-25-2 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | 電子カルテシステムに、指示者、オーダー発行日、発行時間の情報を、記録として保存できること。 |
| 3-25-3 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | オーダーに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載されること。 |
| 3-25-4 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | オーダーの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また変更履歴はカルテの条件検索で即時に表示できること。 |
| 3-25-5 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | 過去にオーダー発行した情報をコピーできること。 |
| 3-25-6 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | 処置実施記録ツール(コスト情報入力含む)を他のオーダーと組み合わせてセット登録ができること。セット登録は院内共通セット、科別セット、利用者セット、患者セットが登録できること。 |
| 3-25-7 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | 処置実施記録ツール(コスト情報入力含む)としてオーダー発行した場合は、実施入力を行うことなくその情報が即時に電子カルテシステムに実施記録として記録されるとともに、請求可能な手技、薬品、器材などを医事会計システムへ送信されること。 |
| 3-25-8 | 処置伝票 | 処置伝票(コ スト) | 処置伝票(コ スト) | 処置実施記録ツール(コスト情報入力含む)としてオーダー発行した場合は、実施入力を行うことなくその情報が即時に電子カルテシステムに実施記録として記録されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|---------------|----------|---|
| 3-25-9 | 処置伝票 | 処置伝票(コト) | 処置伝票(コト) | 日々の診療業務において、医師の継続指示を実際に実施した際の請求に関わる手技を入力、保存でき、入力された情報を医事会計システムへ送信できること。 |
| 3-25-10 | 処置伝票 | 処置伝票(コト) | 処置伝票(コト) | 処置実施記録ツール(コスト情報入力含む)で実施(請求)する内容はマスタで定型化してマスタ登録できること。 |
| 3-25-11 | 処置伝票 | 処置伝票(コト) | 処置伝票(コト) | 処置実施記録ツール(コスト情報入力含む)でコスト請求を行う場合、診療行為に付随する薬品、材料、機材などをセット化できること。 |
| 3-25-12 | 処置伝票 | 処置伝票(コト) | 処置伝票(コト) | 材料、薬剤などの実施情報を個別で入力する場合は、文字列による検索を行い項目を選択することができること。検索方法としては、「先頭一致」と「部分一致」を選択できること。 |
| 3-25-13 | 処置伝票 | 処置伝票(コト) | 処置伝票(コト) | 診療科毎で選択可能な行為が表示され、効率よく入力できること。また、他科用にマスタ登録された行為も容易に検索でき、入力できること。 |
| 3-25-14 | 処置伝票 | 処置伝票(コト) | 処置伝票(コト) | 酸素吸入を入力する際、時間、流量、濃度を指定し、酸素量の計算ができること。 |
| 3-25-15 | 処置伝票 | 処置伝票(コト) | 処置伝票(コト) | 検査・処置等の入力時には、バーコードによる薬剤・材料入力ができること。 |
| 3-26 | 抗がん剤 | | | 抗がん剤オーダ |
| 3-26-1 | 抗がん剤 | レジメン作成 | | レジメン作成 |
| 3-26-1-1 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | レジメンを作成し管理できること。 |
| 3-26-1-2 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | 体重、および体表面積から抗がん剤の投与量を算出できること。 |
| 3-26-1-3 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | Rp毎に、プロトコールで規定された滴下順を設定できること。 |
| 3-26-1-4 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | 薬品毎に、投与量の計算方式として、絶対量・体重換算・体表面積換算・AUC換算・CCr換算を設定できること。 |
| 3-26-1-5 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | 薬品毎に、最大投与量を設定できること。 |
| 3-26-1-6 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | 休薬期間を設定できること。 |
| 3-26-1-7 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | 検体検査も合わせて登録できること。 |
| 3-26-1-8 | 抗がん剤 | レジメン作成 | レジメン作成 | レジメンごとにベッド予約と所要時間を登録できること。 |
| 3-26-2 | 抗がん剤 | レジメン適用 | | レジメン適用 |
| 3-26-2-1 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 同じレジメンを適用する際に、前回適用した時の薬剤投与量を引き継ぐことができること。 |
| 3-26-2-2 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 抗がん剤注射オーダの施行予定日の前倒しや休薬期間の短縮は、特権利用者だけに制限できること。 |
| 3-26-2-3 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 設定された抗がん剤投与量の最大値を超えてオーダできないこと。 |
| 3-26-2-4 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 抗がん剤注射伝票以外の注射伝票種において、抗がん剤を含むオーダを発行できないよう制限できること。 |
| 3-26-2-5 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | レジメンマスタ上で予定されている期間のうち、途中日からの適用ができること。 |
| 3-26-2-6 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | レジメンカレンダーにて、実施予定のオーダがない日付については、列幅を狭くした縮小表示、もしくは非表示にすることができること。 |
| 3-26-2-7 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 長期間にわたるカルテ検索を支援するツール(電子カルテ仕様におけるカルテ検索支援)にレジメンの適用期間が表示されること。 |
| 3-26-2-8 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 長期間にわたるカルテ検索を支援するツール(電子カルテ仕様におけるカルテ検索支援)に表示されたレジメンをクリックすることにより、レジメンカレンダーの表示期間を、該当レジメンの適用期間に切り替えできること。 |
| 3-26-2-9 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | レジメンカレンダー上に、レジメンマスタに設定した検査項目の検査結果が表示できること。 |
| 3-26-2-10 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 休薬期間をチェックし、重複した期間に複数のレジメンができようできないよう制限できること。 |
| 3-26-2-11 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | 科別、病名別等の分類から階層方式で対象のレジメンを選択できること。 |
| 3-26-2-12 | 抗がん剤 | レジメン適用 | レジメン適用 | レジメンシートの印刷ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|------------------|-----------------|--|
| 3-26-2-13 | 抗がん剤 | レジメ適用 | レジメ適用 | レジメンの内容を把握するために、レジメンの情報（名称、コメント、バージョン、有効期間、管理情報）、およびレジメンに登録されている抗がん剤注射の情報のみを早見表として、適用時に参照できること。 |
| 3-26-2-14 | 抗がん剤 | レジメ適用 | レジメ適用 | あらかじめレジメン作成で登録した所要時間にあわせて、予約開始時間を指定することで必要な取得単位数分が自動で選択され、ベッド予約を発行できること。 |
| 3-26-2-15 | 抗がん剤 | レジメ適用 | レジメ適用 | 関連するパスが登録されているレジメンの場合、レジメン適用時に関連するパスの適用ができること。 |
| 3-26-2-16 | 抗がん剤 | レジメ適用 | レジメ適用 | 抗がん剤注射オーダー時に数量変更画面では薬品、数量のみでなく、オーダー内容を確認しながら数量確定ができること。また、その際抗がん剤注射のオーダーの数だけ数量変更画面が起動せずひとつの画面上で「次へ」ボタンを押すように確定処理が連続で処理できること。 |
| 3-26-2-17 | 抗がん剤 | レジメ適用 | レジメ適用 | レジメン早見表については画面表示およびEXCELファイルへの出力が可能なこと。 |
| 3-26-3 | 抗がん剤 | 化学療法患者一覧 | | 化学療法患者一覧 |
| 3-26-3-1 | 抗がん剤 | 化学療法患者一覧 | 化学療法患者一覧 | 化学療法を施行予定の患者の一覧を表示できること。 |
| 3-26-3-2 | 抗がん剤 | 化学療法患者一覧 | 化学療法患者一覧 | 薬剤のミキシングが完了したタイミングで「調製済み」入力を行うことにより、実施部門へ情報が送信できること。 |
| 3-26-3-3 | 抗がん剤 | 化学療法患者一覧 | 化学療法患者一覧 | 化学療法を施行予定の患者の一覧を表示できること。 |
| 3-26-4 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 外来治療センター |
| 3-26-4-1 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 外来治療室での患者到着管理、ベッド調整および患者状態などの確認、実施入力が1画面で操作できること。 |
| 3-26-4-2 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧とベッド調整エリアを分けて表示し、レイアウトを利用者毎に自由に調節できること。 |
| 3-26-4-3 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧には患者の現在の状態（未来院、来院済、到着済、入床済、出床済）が表示され、患者の現在の状態での絞り込みができること。 |
| 3-26-4-4 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧には患者の来院、到着、入床、出床した時間が表示されること。 |
| 3-26-4-5 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧には注射の実施確認状態や実施確認コメント、実施状態が表示され、実施状態での絞り込みができること。 |
| 3-26-4-6 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧にはベッド予約で登録したベッド枠名、希望時間、所要時間、コメントが表示され、ベッド枠名での絞り込みができること。 |
| 3-26-4-7 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧には診察予約（予約枠、時間）や受付情報（検査結果の進捗など）を表示できること。 |
| 3-26-4-8 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧から患者カルテ、掲示板、指示実施一覧を起動できること。 |
| 3-26-4-9 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | 調整患者一覧から簡単な操作でベッド調整入力ができること。 |
| 3-26-4-10 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | ベッド調整エリアのラベルの色で、使用前、入床中、出床済、実施確認不可かどうかを判断できること。 |
| 3-26-4-11 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | ベッド調整エリアは表示する時間間隔を操作変更できること。 |
| 3-26-4-12 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | ベッド調整可能な患者を一括でベッド調整できること。 |
| 3-26-4-13 | 抗がん剤 | 外来治療センター | 外来治療センター | レジメン、注射が登録されていてベッド予約がとられていない患者を探すことができること。 |
| 3-26-5 | 抗がん剤 | 外来治療ベッド予約 | | 外来治療ベッド予約 |
| 3-26-5-1 | 抗がん剤 | 外来治療ベッド予約 | 外来治療ベッド予約 | 外来化学療法室のベッドを予約できること。また、所要時間を指定する場合は、予約開始時間を指定することで必要な取得単位数分が自動で選択され、ベッド予約を発行できること。 |
| 3-26-5-2 | 抗がん剤 | 外来治療ベッド予約 | 外来治療ベッド予約 | 外来治療ベッド予約オーダー画面で、適用済みレジメン一覧（名称、コース数、レジメン作成時のコメント、開始日）が表示され、確認できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-------------|---------------------|--------------|--|
| 3-26-5-3 | 抗がん剤 | 外来治療ベッド予約 | 外来治療ベッド予約 | 外来治療ベッド予約オーダ画面で選択した予約日をもとに、外来治療センターの画面を起動でき、ベッド予約状況を確認できること。 |
| 3-26-6 | 抗がん剤 | 実施確認 | | 実施確認 |
| 3-26-6-1 | 抗がん剤 | 実施確認 | 実施確認 | 化学療法の施行予定日に、医師による施行可能判断結果を入力できること。また、判断結果は、薬剤部・外来化学療法室にて参照できること。 |
| 3-26-6-2 | 抗がん剤 | 実施確認 | 実施確認 | 医師により実施確認されたタイミングで、施行予定のオーダの修正・削除を制限(オーダロック)できること。 |
| 3-26-6-3 | 抗がん剤 | 実施確認 | 実施確認 | 実施確認を取り消すことにより、オーダのロック状態を解除できること。 |
| 3-26-6-4 | 抗がん剤 | 実施確認 | 実施確認 | 実施確認画面から抗がん剤注射オーダを起動し、修正ができること。 |
| 3-26-6-5 | 抗がん剤 | 実施確認 | 実施確認 | 実施確認画面を開いたまま、検査結果の参照やカルテ記載など他の電子カルテ機能が使用できること。 |
| 3-26-7 | 抗がん剤 | レジメン適用(実施入力) | | レジメン適用(実施入力) |
| 3-26-7-1 | 抗がん剤 | レジメン適用(実施入力) | レジメン適用(実施入力) | 実施入力時に、滴下順をチェックできること。 |
| 3-27 | DPC | | | DPCオーダ |
| 3-27-1 | DPC | DPC指示 | | DPC指示 |
| 3-27-1-1 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 電子カルテシステムに、指示者、オーダ発行日、発行時間の情報が、記録として保存できること。 |
| 3-27-1-2 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | オーダに変更や中止があった場合には、電子カルテシステムから修正や中止ができること。また、修正や中止の情報は即時に電子カルテに記載できること。 |
| 3-27-1-3 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | オーダの変更や中止を行った場合は、変更履歴や削除履歴を持たせること。特に変更履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。また、変更履歴はカルテの条件検索の指定により即時に表示できること。 |
| 3-27-1-4 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | DPCツールで入力した情報は医事会計システムへ送信され、包括請求レセプトを発行できること。 |
| 3-27-1-5 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 電子カルテの入退院情報からDPC対象期間を取得できること。 |
| 3-27-1-6 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 入院中にDPCの見直し、変更ができること。 |
| 3-27-1-7 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 退院前に最も医療資源を投入した傷病名を登録できること。 |
| 3-27-1-8 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 必須入力項目、請求時に必要な情報、調査時に必要な情報を画面上で一目でわかるように表示すること。 |
| 3-27-1-9 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 医師と事務員の意思疎通を円滑にするために、請求項目の確認を医師、事務でそれぞれできること。必要に応じて、確認済のロックをかけられること。 |
| 3-27-1-10 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 請求項目の確認状況をDPC適用の患者一覧画面に表示できること。 |
| 3-27-1-11 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 電子カルテに入力されている病名一覧から、主病名、医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名、入院の契機となった傷病名を入力できること。該当する傷病名がない場合は、病名登録画面を起動して病名登録ができること。 |
| 3-27-1-12 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 登録する傷病名は、ICD10コードと紐づいていること。 |
| 3-27-1-13 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | ICD10コードを複数持つ病名を、登録する際に確認画面を表示し、選択できること。 |
| 3-27-1-14 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 個人病名は全科、自科の表示切替ができること。 |
| 3-27-1-15 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 主要診断群から傷病名を検索し、主病名、医療資源を最も投入した傷病名、医療資源を2番目に投入した傷病名、入院の契機となった傷病名を登録できること。 |
| 3-27-1-16 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 主要診断群から傷病名検索時に"\$"(ワイルドカード)付きコードの病名も表示するか選択できること。 |
| 3-27-1-17 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 死因となった病名がある場合、死因病名であることを選択・表示できること。 |
| 3-27-1-18 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 疑い病名がある場合は、疑い病名であることを選択・表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-----------|-----|-------|-------|---|
| 3-27-1-19 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 医療資源を最も投入した傷病名登録時に、病名付加コードが必要な場合は、病名付加コードが入力できること。 |
| 3-27-1-20 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | DPC決定要因として手術/処置情報の登録ができること。 |
| 3-27-1-21 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 手術/処置の情報を電子カルテの実施情報からDPC関連手術として登録できること。 |
| 3-27-1-22 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | K、Jコードで分類された手術/処置から手術/処置名称またはK、Jコードを検索し、登録できること。 |
| 3-27-1-23 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 入院目的、入院時JCS等のDPC分岐に使用する重傷度を入力できること。 |
| 3-27-1-24 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | DPC対象外の場合、対象外の原因を選択できること。 |
| 3-27-1-25 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | DPC算定情報とは別に、様式1に必要な情報もあわせて入力できること。 |
| 3-27-1-26 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | DPCコード、診断群分類などの決定している情報を常に画面に表示すること。 |
| 3-27-1-27 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 登録DPC歴情報の一覧表示ができること。 |
| 3-27-1-28 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 登録DPC歴一覧には更新日、入院日、退院日、入院（転入）日、退院（転出）日が表示されること。 |
| 3-27-1-29 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 様式1の調査項目の内容は、医師・看護師・事務職で入力する必須入力とする設定ができること。また、医師・看護師・事務職別に入力の確認を行った旨のサインを残せること。 |
| 3-27-1-30 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 精神科病棟に入院中の患者に関する情報を入力できること。 |
| 3-27-1-31 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 癌のステージ分類が入力できること。 |
| 3-27-1-32 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 心疾患に関する情報を入力できること。 |
| 3-27-1-33 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 特定の疾患を持つ患者に関する情報を入力できること。 |
| 3-27-1-34 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 退院時の意識障害(JCS)情報を入力できること。 |
| 3-27-1-35 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 入院時と退院時のADL情報を入力できること。 |
| 3-27-1-36 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 化学療法など補助的な療法について入力できること。 |
| 3-27-1-37 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 医師と看護師、事務員の意思疎通を円滑にするために、調査項目の確認を医師、看護師、事務でそれぞれできること。必要に応じて、確定時のロックをかける機能を有すること。 |
| 3-27-1-38 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 調査項目の確認状況を、DPC適用の患者一覧画面に表示できること。 |
| 3-27-1-39 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | オーダ確定時や医療資源を最も投入した傷病名入力時などに入力漏れ、入力内容に矛盾がないか等をチェックし、エラーメッセージを表示すること。 |
| 3-27-1-40 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | エラー項目を画面上で一目でわかるように表示できること。 |
| 3-27-1-41 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | マスクの設定により、運用に合わせてチェック内容を変更できること。 |
| 3-27-1-42 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 入院時、退院時に記録した褥瘡の情報をもとに、DPC項目である入院時の褥瘡、退院時の褥瘡に反映できること。 |
| 3-27-1-43 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 「入院の契機となった傷病名」において、入院診療計画書の病名が参考情報として表示され、入院診療計画書の病名情報を取込みできること。 |
| 3-27-1-44 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 要介護度、要介護情報を入力できること。 |
| 3-27-1-45 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | FIM情報を入力できること。 |
| 3-27-1-46 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | SOFAスコア（特定集中治療室／敗血症）、pSOFAスコア（特定集中治療室／敗血症）を入力できること。 |
| 3-27-1-47 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | SOFAスコア（特定集中治療室／敗血症）、pSOFAスコア（特定集中治療室／敗血症）の入力においては、特定集中治療室管理料算定における入退室時の生理学的スコアの測定記録を参照して入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|----------------|--------------------|-------------|--|
| 3-27-1-48 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | 手術術式に対するSTEM7コードを入力できること。 |
| 3-27-1-49 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | STEM7コードの入力においては、選択した手術術式のKコードに対応するSTEM7の候補を表示し、簡単な入力操作でSTEM7コードの入力ができること。 |
| 3-27-1-50 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | DPC登録画面で登録する要介護度情報は患者プロフィールから取り込むことが可能なこと。 |
| 3-27-1-51 | DPC | DPC指示 | DPC指示 | DPC患者一覧画面では患者ID、カナ氏名を指定して検索することが可能なこと。 |
| 3-27-2 | DPC | DPCシミュレーション | | DPCシミュレーション |
| 3-27-2-1 | DPC | DPCシミュレーション | DPCシミュレーション | DPCシミュレーションができること。 |
| 3-27-2-2 | DPC | DPCシミュレーション | DPCシミュレーション | 分岐可能なDPC一覧を表示し、一覧からDPC指示として登録できること。 |
| 3-27-2-3 | DPC | DPCシミュレーション | DPCシミュレーション | シミュレーションツールにて決定しているDPC情報を、DPC指示ツールへ反映できること。 |
| 3-27-2-4 | DPC | DPCシミュレーション | DPCシミュレーション | 適用中DPCの平均在院日数、DPC期間から算出される期間中のおよその合計点数、本日時点のDPC期間の状態、本日時点2SDまでの日数、本日時点の1日あたりの点数が表示できること。 |
| 3-27-2-5 | DPC | DPCシミュレーション | DPCシミュレーション | シミュレーション中DPCの平均在院日数、DPC期間から算出される期間中のおよその合計点数、本日時点のDPC期間の状態、本日時点2SDまでの日数、本日時点の1日あたりの点数が表示できること。 |
| 3-27-3 | DPC | DPC患者一覧 | | DPC患者一覧 |
| 3-27-3-1 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 患者一覧の印刷ができること。 |
| 3-27-3-2 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | DPC患者情報の出力項目を選択してCSVファイル出力できること。 |
| 3-27-3-3 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 病棟、診療科、主治医、担当医を指定して表示内容の絞込みが行えること。 |
| 3-27-3-4 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 医師、事務員がレセプト請求時にDPC登録状況を把握するために、表示内容の絞り込みができること。 |
| 3-27-3-5 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 医師、看護師、事務員が様式1調査項目の登録状況を把握するために、表示内容の絞り込みができること。 |
| 3-27-3-6 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 患者一覧からDPCオーダツールを起動できること。 |
| 3-27-3-7 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 患者一覧からDPCオーダ内容を印刷できること。 |
| 3-27-3-8 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 患者のDPC登録に関する情報を一覧で表示できること。 |
| 3-27-3-9 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | レセプト請求、調査項目確認状況を一覧で表示できること。 |
| 3-27-3-10 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 入院日数の把握のために、表示している日付からあと何日で入院期間Ⅰ、Ⅱ、Ⅲが終了するかを表示できること。 |
| 3-27-3-11 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 患者ごとの承認状態が一覧画面に表示できること。 |
| 3-27-3-12 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | DPC登録の督促を行なうために未登録の患者を一目でわかるように表示できること。 |
| 3-27-3-13 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 出来高請求の対象患者を一目でわかるように表示できること。 |
| 3-27-3-14 | DPC | DPC患者一覧 | DPC患者一覧 | 入院日から一定の期間経過してDPC未入力患者や、退院日から一定の期間経過して調査項目が未入力患者を一目でわかるように表示できること。 |
| 3-28 | スキャンオーダ | | | スキャンオーダ |
| 3-28-1 | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャン依頼オーダを発行できること。オーダのカルテ保存時に、スキャン仕切紙を印刷できること。 |
| 3-28-2 | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャン仕切紙には、一意となるキーをバーコードで印刷できること。なお、バーコードについては二次元にも対応していること。 |
| 3-28-3 | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャン依頼ツールにて発行されたオーダをスキャン管理一覧で表示できること。 |
| 3-28-4 | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャン管理一覧からオーダの修正・削除、スキャン結果を参照できること。 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------------|-------------|-----------------|----------|--|
| 3-28-5 | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャンオーダ | スキャン管理一覧については、ファイル(CSV)出力・一覧印刷ができること。 |
| 4章 看護支援ライブラリ | | | | |
| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
| * | 看護過程全般 | (機能概要) | | 看護過程全般を補うような機能構成であり、以下業務毎の機能要件を満たすこと。 また、医師や他部門のスタッフとの記録と一元管理できるようにすること。特に医師の指示変更や中止をリアルタイムに把握することができ、安全性の高いシステムであること。 ナースステーションでのデスクトップパソコンとノート型パソコンを無線LANで運用可能とし、ベッドサイドでのリアルタイムなデータ連携を実現すること。 また、当院に提案する看護支援システムは貴社の電子カルテシステムで実現可能な範囲で提案すること。 |
| 4-1 | アナムネ | | | アナムネ |
| 4-1-1 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 入院時や入院中の情報収集の登録(アナムネ)は入力項目を病院独自の看護領域で登録できること。 |
| 4-1-2 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 入院時や入院中の情報収集の登録(アナムネ)は当院指定のものを使用し、それに沿った登録画面を持つこと。 |
| 4-1-3 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 入院時や入院中の情報収集の登録(アナムネ)はNANDA・ゴードン・ヘンダーソン・母性・小児の標準シートを提供できること。 |
| 4-1-4 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 医事会計システムから患者基本情報(患者氏名・生年月日・性別・住所・連絡先等)を自動で取り込めること。 |
| 4-1-5 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 外来で問診入力した情報を再度入力することが無いように自動で取り込めること。 |
| 4-1-6 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 入院時や入院中の情報収集の登録(アナムネ)で入力した情報は、再度入力することが無いように電子カルテの患者基本情報や問診情報と連動すること。 |
| 4-1-7 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 入院時や入院中の情報収集の登録(アナムネ)は履歴管理機能を有し、過去の入院時や入院中の情報(アナムネ)を参照できること。 |
| 4-1-8 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 再入院の際に前回入院時の情報(アナムネ)として入力された項目を一括でクリアできること。 |
| 4-1-9 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 入院時や入院中の情報収集の登録(アナムネ)は帳票出力ができること。 |
| 4-1-10 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | チェックボックス形式でアナムネ内容を入力できること。 |
| 4-1-11 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 入力された患者状態(ADLなど)を2重入力することなく、他画面へ反映させることができること。 |
| 4-1-12 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | アナムネ登録画面とアナムネ参照画面を保有し参照画面では、登録されたアナムネ情報を集約して参照できること。 |
| 4-1-13 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | アナムネ登録後カルテ情報として保存しカルテ履歴画面から登録内容を参照できること。 |
| 4-1-14 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | ラジオボタン機能を保有し無・有の選択後、有りの場合には入力領域を表示し内容入力ができること。 |
| 4-1-15 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | 画面上部に各領域にジャンプ可能なボタンを配置し、任意の領域にワンクリックで遷移ができること。 |
| 4-1-16 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | データベース情報と情報を共有し医師・コメディカルが入力した情報を反映しアナムネ登録画面から登録された情報についても連携し二重入力の必要が無いこと。 |
| 4-1-17 | アナムネ | アナムネ | アナムネ | アナムネ登録画面はユーザーにおいて登録可能なようにマスタメンテナンスツールを用意し登録・作成ができること。 |
| 4-2 | 看護診断 | | | 看護診断 |
| 4-2-1 | 看護診断 | 看護診断(一般) | | 看護診断(一般) |
| 4-2-1-1 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 当院では情報収集から仮診断し、看護診断へと導く過程をとっている。アナムネ入力後、仮看護診断から診断の確定、看護計画へと連携して入力できること。 |
| 4-2-1-2 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 情報収集した情報を登録しながら、看護問題の候補となりうる問題を仮診断として登録できること。 |
| 4-2-1-3 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 仮看護診断名(診断ラベル)は一覧表示し、仮診断名を容易に選択できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|-------------|----------|----------|--|
| 4-2-1-4 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 一覧表示されている診断ラベルで仮診断として選択した看護問題を絞り込んで表示できること。 |
| 4-2-1-5 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 表示している今回入院時の情報(アナムネ)の分類にあわせて、診断ラベルの絞込み表示が行えること。 |
| 4-2-1-6 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 仮診断として選択した看護問題から更に本診断とする診断ラベルを選択することで、看護診断を記載ができること。また、その際にナンバリングの順番を変更できること。 |
| 4-2-1-7 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 病院指定の看護分類(例えば、看護診断/共同問題/標準看護計画)にあわせて一覧による看護問題の検索ができること。できるだけ、目的の看護問題がすばやく検索できるように一覧表示は階層構造とすること。また、問題点検索に関しては、階層からの検索の他にキーワード検索、アナムネに基づいた検索ができること。 |
| 4-2-1-8 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 選択された看護問題に対し、関連因子などを表示し、選択することによって看護計画が立案できること。 |
| 4-2-1-9 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 診断指標、関連因子、患者目標は一覧からの選択ができること。また、個別性を持たせるためにフリー入力にも対応していること。 |
| 4-2-1-10 | 看護診断 | 看護診断(一般) | 看護診断(一般) | 患者の看護診断は診断名、診断指標、患者目標、関連因子が一覧で表示されること。その際、ナンバリングした順番で表示されること。 |
| 4-3 | 看護計画 | | | 看護計画 |
| 4-3-1 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 看護問題に対する看護計画はTP.OP.EPの分類で計画立案できること。また、分類は一覧表示され、マスタで管理されること。 |
| 4-3-2 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 個別性を持たせるために、マスタ選択だけでなく看護計画のフリー入力ができること。 |
| 4-3-3 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 一覧表示された患者の看護問題一覧から診断名を選択することで、看護計画の内容が表示され、計画内容の参照・追加・評価ができること。また、入力後の修正ができること。 |
| 4-3-4 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画の入力後の修正は、操作性向上のために電子カルテシステムから行うこととし、修正履歴を残すこと。 |
| 4-3-5 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画を立案する際に、診断本のイメージで看護問題毎のガイダンス表示ができること。 |
| 4-3-6 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画は、「看護問題一覧」や「計画リスト」など選択した範囲で帳票を作成し、印刷できること。 |
| 4-3-7 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 標準看護計画マスタを採用した際は、看護問題に対する診断指標、関連因子、患者目標、看護計画を構成要素とし、効率よく看護計画が立案できる機能を提案すること。また、個々の構成要素(診断指標、関連因子、患者目標、看護計画)の内容は自由に追加できること。 |
| 4-3-8 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 立案された看護計画で日々の看護ケアとして実践していく項目は看護指示としてオーダ発行できること。 |
| 4-3-9 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 問題点リスト(患者氏名、立案者、看護問題名、立案月日、評価日時、評価内容)が画面上で参照、印刷できること。 |
| 4-3-10 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 看護問題やひとつひとつの看護計画の項目に対する評価、評価日、評価者、次回評価日の設定、修正ができること。 |
| 4-3-11 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 看護問題を「解決」と評価した場合、看護問題一覧上非表示にすることができ、アクティブな看護問題のみ表示することができること。 また、インアクティブとなった看護問題も、ワンクリックであわせて表示ができること。 |
| 4-3-12 | 看護計画 | 看護計画 | 看護計画 | 看護問題の評価の際に、評価記録の記載ができること。 |
| 4-4 | 看護指示 | | | 看護指示 |
| 4-4-1 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護計画毎に関連する看護指示項目を一覧表示し、計画立案のタイミングで日々の詳細な看護ケア指示をオーダ発行できること。 |
| 4-4-2 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護計画ごとに看護ケア指示をオーダ発行した場合、そのケア指示は看護問題と関連付けあるものと識別できること。また、看護ケア指示を中止する際には関連した看護問題の有無を通知できること。 |
| 4-4-3 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護計画と紐付いていない場合でも、患者に対してケア指示を発行できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|-----------------------|---------------|---------------|--|
| 4-4-4 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護ケア指示をカレンダー形式で表示し、いつからいつまでケアが指示されているか把握できること。また、カレンダー上で修正、削除ができること。この際に修正履歴を残すこと。 |
| 4-4-5 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護ケア指示の入力後の修正は、操作性向上のために電子カルテシステムから行うこととし、修正履歴を残すこと。 |
| 4-4-6 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護ケア指示に対して、毎日、1日毎、曜日の指定、ケアの回数や時間の指定など詳細な指定ができること。 |
| 4-4-7 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護ケア指示は、開始日、終了日など期間指定ができること。 |
| 4-4-8 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 利用者ごとに看護ケア指示のセット登録ができること。 |
| 4-4-9 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 前回退院時に看護指示が指示止めされていない場合、その指示を強調表示できること。 |
| 4-4-10 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 発行した看護ケア指示は自動的に取り込まれ、ワークシートとして画面への表示、紙での出力ができること。 |
| 4-4-11 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示マスタ上で削除状態の設定をできること。また、削除状態の看護指示は、指示追加画面に非表示とすること。 |
| 4-4-12 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示マスタと経過表観察マスタの連携を行い看護指示を実施入力時に観察記録画面を起動し登録できること。 |
| 4-4-13 | 看護指示 | 看護指示 | 看護指示 | 複数の看護指示に対して、指示期間や用法などの情報をまとめて入力できること。 |
| 4-5 | 経過記録/ 看護記録 | | | 経過記録/看護記録 |
| 4-5-1 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護記録は、SOAP形式、フォーカス形式、経時記録の形式に対応し、記載できること。 |
| 4-5-2 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護問題に対して看護記録の記載を行う場合、患者への看護計画により、登録されている問題点一覧からの問題選択ができること。 |
| 4-5-3 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | フォーカス形式で看護記録を記載する場合、フォーカス項目をマスタ(大分類・中分類・小分類)により選択できること。 |
| 4-5-4 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 過去の看護記録からコピー&ペーストができること。 |
| 4-5-5 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | シエマ(スケッチ図)を使用しての看護記録が記載できること。 |
| 4-5-6 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護記録を作成/更新をした際には、システムを使用するときに入力された利用者IDの利用者氏名が自動的に表示されること。 |
| 4-5-7 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 記載の日時に関しては、記載開始の時間が自動的に記載されること。ただし、業務上、実際のケアした時間と記録した時間が異なる場合があるため、日時を変更できること。また、その際には、ケアした時間と、記録した時間の両方を記録できること。 |
| 4-5-8 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 過去のフォーカス、SOAP記録をキーワードなどで検索、絞り込み機能を有すること。また、検索は、看護問題(S・O・A・P)、フォーカス(D・Act・R)、経時記録の検索や作成者の検索、記録の中からフリーキーワードで検索できること。 |
| 4-5-9 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 電子カルテから看護記録を修正・削除できること。また、その際は即時に、看護記録に反映できること。 |
| 4-5-10 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護記録を修正・削除した場合、電子カルテにていつ・だれが修正したのか履歴管理ができること。 |
| 4-5-11 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | コピー&ペースト機能による、サマリーへの貼り付けができること。 |
| 4-5-12 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護問題の優先度順に取り込むことができること。 |
| 4-5-13 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護記録作成時の看護計画を参照しながらSOAP(診療計画)の記入ができること。 |
| 4-5-14 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護記録から看護計画を起動する際に、看護計画を更新可能な状態で同時起動できること。 |
| 4-5-15 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護計画記録時に文字色の変更機能を有し登録された文字色に変更できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|--------------------|---------------|---------------|--|
| 4-5-16 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護記録入力時に経過表、看護アナムネ情報、プロフィール情報を参照することができること。 また、参照した項目を記事欄に貼り付けできること。 |
| 4-5-17 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 経過記録/ 看護記録 | 看護記録入力時にあらかじめ登録した定型文から選択して、記事欄に貼り付けできること。 |
| 4-6 | 手術看護記 録 | | | 手術看護記録 |
| 4-6-1 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術申込/受付/実施一覧から、直接入力画面が開けること。 |
| 4-6-2 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 術前看護記録の入力・看護問題の洗い出しができること。 |
| 4-6-3 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 確認事項・送りへの記入・チェックができること。 |
| 4-6-4 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | ガーゼカウント、器材などのカウントチェックができること。 |
| 4-6-5 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | シエマ機能が利用できること。 |
| 4-6-6 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 局所麻酔用経過表を保有し手術看護記録画面から起動する事によりバイタルサイン・観察記録 等の登録ができること。 |
| 4-6-7 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記録画面から看護計画画面を起動し手術時の看護問題・計画の登録ができること。ま た病棟看護計画画面と連動しており一元管理及び手術看護問題の絞り込みができること。 |
| 4-6-8 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記録画面から経過記録/看護記録機能を起動し手術時の看護記録の登録ができるこ と。また病棟と経過記録/看護記録機能は連動しており一元管理及び手術時の経時記録の絞り 込みができること。 |
| 4-6-9 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記 録 | 手術看護記録画面から患者データベース情報の参照画面を起動し手術時に必要な患者基本情 報を参照しながら手術看護記録の入力ができること。患者データベース情報は以下の通りとする。 ■身体的情報 身長・体重・血液型 ■アレルギー 薬剤・食物・その他アレルギー ■感染症 ■既往歴 |
| 4-7 | 経過表 | 経過表 | | 経過表 |
| 4-7-1 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 成人(一般・重症)、新生児(一般・未熟児)、パルトグラム、血液浄化、検査の経過表をサポート できること。 |
| 4-7-2 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 各経過表は帳票出力ができること。 |
| 4-7-3 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 食事情報(食種)、入院日、移動情報、手術情報など他職種や他部門で入力された情報を自動 で経過表に取り込めること。 また、取得した入院日や手術実施日当日からの経過日数を自動計算し、表示できること。 |
| 4-7-4 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表の水分バランスなどの表示する時間設定ができること。(例:0時～23時59分→6時～5時 59分など) |
| 4-7-5 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表の表示時間はレンジ変更機能を有しており、1日単位、3時間単位、1時間単位などに時 間レンジが変更できること。 |
| 4-7-6 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 血圧、体温、脈拍、呼吸数のバイタルデータをグラフ表示できること。またバイタルデータ入力の際に は入力時間が自動で表示されること。 |
| 4-7-7 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | バイタルレンジは切り替えて参照できること。 |
| 4-7-8 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | バイタル表示エリアに付箋をはりつけるイメージでコメント入力できること。 |
| 4-7-9 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | PDAなどで入力したバイタルデータを自動でリアルタイムにグラフ表示できること。 |
| 4-7-10 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | バイタルデータをリアルタイムに入力できない場合に、測定時間の遡り入力できること。 |
| 4-7-11 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 輸液/排液等のIntake/Output項目の自動集計、バランス計算が自動で行え、表示ができるこ と。 |
| 4-7-12 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 点滴指示を実施入力した際の開始時間と終了時間をグラフィカルにできること。 |
| 4-7-13 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 患者の疾患・状態に合わせて、観察項目は患者毎に設定できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-----|-----|-----|---|
| 4-7-14 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 観察項目の設定を効率よく行えるようにマスタ選択できること。 |
| 4-7-15 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 縦軸に展開した観察項目の並びかえを任意で行えること。 |
| 4-7-16 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 測定結果・観察結果情報の入力には、専用の入力画面からマウスやキーボード操作で簡単に結果入力が行えること。 |
| 4-7-17 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | パターンの限られた測定結果や観察結果に対しては、マスタ選択でき、入力作業を軽減すること。 |
| 4-7-18 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 結果入力は、ガイドを参照しながら入力できること。 |
| 4-7-19 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 観察結果を入力した詳細な情報(数量、回数、時間、コメントなど)は右クリックで表示すること。 |
| 4-7-20 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 注射や処置、検査部門での実施情報の自動取り込みができること。 |
| 4-7-21 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 複数の受持ち患者の経過表を続けて参照、入力できること。 |
| 4-7-22 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 過去の入力情報は履歴として確認できること。 |
| 4-7-23 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表に記載される情報は多いため、利用者ごとに表示レイアウトを複数保存できること。 |
| 4-7-24 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表に記載される情報は多いため、観察項目や実施情報の項目を折りたたむようなイメージで表示できること。 |
| 4-7-25 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表の食事欄に食種名/主食名をすべて表示できること。 |
| 4-7-26 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 煩雑な操作を避けるため、経過表から日々の経過記録(看護記録)を呼び出し入力することができること。また、過去の経過記録を参照できること。 |
| 4-7-27 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表に電子カルテの薬歴情報、検査結果情報を取り込み、経過表から確認できること。 |
| 4-7-28 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 後発薬が処方されていた場合、先発薬品名をポップアップ形式等で表示し、容易に確認ができること。 |
| 4-7-29 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 複数患者のバイタル情報一括入力できること。 |
| 4-7-30 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表の種類毎に標準フォーマットを用意し、患者の状態にあわせて自由にフォーマットを選択できること。測定項目、観察項目についても同様に自由に選択できること。 |
| 4-7-31 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 患者基本情報はカルテの患者属性から、食事情報は食事の依頼オーダーから、移動情報は移動オーダーからそれぞれ自動表示できること。 |
| 4-7-32 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表の表示画面で入力したい項目を選択することにより専用の入力画面を表示し、マウス/キーボードからの簡単な結果入力・修正・削除ができること。 |
| 4-7-33 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 血圧、体温、脈拍、呼吸数のバイタルデータをグラフ表示できること。また、バイタルデータ入力の際には入力時間が自動で表示される。 |
| 4-7-34 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 表示期間に実施予定の医師指示情報と看護指示情報を時系列形式で一覧表示できること。また、注射の施行、処置の施行、処方と薬、看護指示などに対し、看護師作業終了を表す実施入力ができること。 |
| 4-7-35 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 記録が長文になる場合、最大250文字/500バイトまで入力できること。 |
| 4-7-36 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 観察項目の設定を効率よく行えるように症例毎や診療科でセット化でき、患者の観察項目として経過表の縦軸に展開できること。 なお、セット内容については展開時不要項目に関して展開対象外のチェックができること。 |
| 4-7-37 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表を印刷できること。その場合、表示中の経過表画面イメージで印刷できること。 |
| 4-7-38 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表の縦軸に登録されているタイトルについて、表示させる有効期間を設定できること。 |
| 4-7-39 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 注射実施時に入力された情報をその時の手技またはルートに応じて、経過表のIN情報として自動的に連携して表示できること。 |
| 4-7-40 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 現在カーソルが当たっている行が分かるように、選択行を強調表示できること。 |
| 4-7-41 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 同一セルに複数の入力データが存在する場合には、区切り記号(/等)が入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|---------------|--------|--------|--|
| 4-7-42 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表から、すでに保存されているシエマを表示できること。 |
| 4-7-43 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 検査システムより返ってきた検査結果の分野名称を時系列に自動表示できること。 |
| 4-7-44 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 詳細な項目を選択することにより経過表のタイトル・結果データとして貼り付けを行い貼り付け後検査結果データを自動的に経過表上に表示できること。 |
| 4-7-45 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表画面からExcel文書を起動することができ、編集、保存できること。 |
| 4-7-46 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表画面から看護指示や看護処置を入力する画面が呼び出せ、入力ができること。 |
| 4-7-47 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 尿量測定など前回からの差分を入力することで、合計量を計算できること。 |
| 4-7-48 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 起点日を設定し、その開始日からの経過日数を自動的に計算できること。 |
| 4-7-49 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | マスタ登録されている観察項目、測定項目の内容を検索できること。 |
| 4-7-50 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表から直接医師記録、看護記録が入力、参照できること。 |
| 4-7-51 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 有効期間を設定した経過表タイトルが有効期間外となったときに、自動で非表示とするかを設定できること。 |
| 4-7-52 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表から直接シエマ入力ができること。 |
| 4-7-53 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 患者に関する各種測定結果・観察結果・オーダ情報(依頼・実施含む)・カルテ情報を一覧表示できること。 |
| 4-7-54 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 複数患者の経過表を連続で表示/登録する際に、指示受け・看護計画・患者掲示板ツール・看護ワークシートの同時起動ができること。 |
| 4-7-55 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表上で入力された身長・体重は患者データベースと連携し更新ができること。また、新生児・未熟児等のg入力の際は自動計算を行い連携できること。 |
| 4-7-56 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 実施の際に測定した血糖値や、施行したインスリン単位は自動的に経過表と連動して記録されること。 |
| 4-7-57 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表上にバス適用情報と、アウトカム評価情報を表示できること。 また、経過表から直接アウトカム評価が行えること。 |
| 4-7-58 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表上で、投与種別ごとに注射オーダの指示内容が表示され、指示の確認がしやすい工夫がされていること。 |
| 4-7-59 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 経過表上に各種オーダ内容を表示し、経過表上から選択した依頼オーダに対して実施入力を行えること。 |
| 4-7-60 | 経過表 | 経過表 | 経過表 | 患者プロフィール画面、看護プロフィール画面、看護アセスメントシート画面にある身長、体重のデータを経過表に反映することが可能なこと。 |
| 4-8 | 看護サマリー | | | 看護サマリー |
| 4-8-1 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | サマリーに関して病院独自のレイアウトに自由に変更できること。また、画面作成ツールの提供により、病院独自の画面を自由に作成できること。 |
| 4-8-2 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 病名、感染症、アレルギー、看護問題などの自動取り込みができること。 |
| 4-8-3 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 患者プロフィールで入力した項目(例:既往歴など)を自動取り込みができること。 |
| 4-8-4 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリーに日々の経過記録からコピー&ペーストの機能で記録の貼り付けができること。 |
| 4-8-5 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 電子カルテで医師が入力した情報を元に、退院処方・入院時病名の自動取り込みができること。 |
| 4-8-6 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー入力時に既往歴の取り込みができること。 |
| 4-8-7 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリーにシエマや画像(写真)の取り込みができること。 |
| 4-8-8 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | システム上で師長等による承認ができること。 |
| 4-8-9 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 一度確定保存した看護サマリーを修正した場合、その履歴がカルテに残ること。また、修正した履歴はいつ・だれが修正したかの情報を持ち、すべてカルテに残ること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|------------------|----------------|-----------|---|
| 4-8-10 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 入力した看護サマリーの印刷ができること。 |
| 4-8-11 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | サマリーを種別(退院・転院・転棟等)に応じて一覧表示できること。 |
| 4-8-12 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 助産記録において、I期、II期、III期の分娩所要時間や1h後、2h後の時間が、分娩開始～胎盤娩出の各時間をもとに自動展開が行えること。 |
| 4-8-13 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 助産記録において、アプガースコアの入力値に従って点数の自動採点が行えること。 |
| 4-8-14 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 助産記録において、分娩所要時間・出血量などの自動計算ができること。 |
| 4-8-15 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | 妊娠・出産履歴を患者プロフィールから取り込みできること。また、助産録から患者プロフィール情報を更新できること。 |
| 4-8-16 | 看護サマリー | 看護サマリー | 看護サマリー | パルトグラムより項目(しるし/陣発時間/破水時間/子宮口全開/排臨/発露/児娩出/胎盤娩出)を取り込みできること。 |
| 4-9 | 指示受け/指示確認 | | | 指示受け/指示確認 |
| 4-9-1 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 医師からの指示に対して指示受け、指示確認できること。 |
| 4-9-2 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受けや指示の確認をした場合、受け者や確認者のサイン、日時が自動で記載されること。 |
| 4-9-3 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 業務の効率化を考慮し、医師からの指示を一括で指示受け、指示確認することができること。その際の指示受け者、確認者、日時は自動で記載されること。 |
| 4-9-4 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 受持ちやチーム単位で複数患者の医師からの指示を指示受け、指示確認ができること。 |
| 4-9-5 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受けや指示確認するオーダは、緊急の度合や指示の変更が識別できるように表示色や背景色などで他のオーダと区別できること。 |
| 4-9-6 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受けや指示確認の機能は、指示の詳細まで印刷できること。 |
| 4-9-7 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け画面から、経過表、指示歴、スケジュール、パス画面に遷移できること。 |
| 4-9-8 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示確認画面では、処方指示は一伝票内に複数Rp存在する場合はそのRpごとに指示確認が行えること。 |
| 4-9-9 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | マスク設定で、オーダの明細内容を表示/非表示切り替えができること。 |
| 4-9-10 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 操作中に、選択した患者に対してオーダの発行・修正・削除などで伝票に対しての更新が行われた場合は、画面上で伝票が更新されたことを通知できること。 |
| 4-9-11 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | オーダ修正により版数が上がっているものは、変更前/後のオーダ内容を1画面で確認できること。 |
| 4-9-12 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示発行済のオーダに対して指示終了日が入力された場合、指示止めの表示が行えること。さらに指示変更の場合は、「指示止め」+「変更後指示」で表現し連続してできること。 |
| 4-9-13 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け後、医師による指示削除が行われた場合は、詳細内容欄に削除日時・削除者の表示ができること。 |
| 4-9-14 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け業務中に、他端末にて指示の発行や変更等が発生した場合は指示受け画面上に通知メッセージが表示され、利用者が把握できること。 また、最新表示を行うことにより画面を閉じること無く、最新の指示が画面に表示され、指示受け業務が行えること。 |
| 4-9-15 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示簿指示に対して、指示が変更された場合、変更前・変更後の指示の内容が把握できること。 |
| 4-9-16 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け/指示確認 | 指示受け・指示確認時に、注射オーダに関連付けされた指示(点滴速度変更、ルート指定、頓用速度変更指示)をまとめて確認できること。 |
| 4-10 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | | ミキシング認証 |
| 4-10-1 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング時に注射バーコードを読み込むことにより、オーダ変更の有無についてチェックができること。 |
| 4-10-2 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | チェック画面では、対象患者氏名、血液型、Rpの詳細が表示され、ミキシング時にオーダの詳細内容が確認できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|--|
| 4-10-3 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | 認証に成功したオーダーに対してミキシング実施入力ができること。 |
| 4-10-4 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング業務は連続処理ができること。 |
| 4-10-5 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | 後発薬が処方されていた場合、先発薬品名をポップアップ形式等で表示し、容易に確認ができること。 |
| 4-10-6 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング認証 | ミキシング時に、注射オーダーに関連付けされた指示(点滴速度変更、ルート指定、頓用速度変更指示)をまとめて確認できること。 |
| 4-11 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 |
| 4-11-1 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 医師からの指示や看護ケア指示のすべての患者に対する指示は、横軸を時間、縦軸を患者ごとのカレンダー形式で表示できること。 |
| 4-11-2 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 患者毎のスケジュールは日勤・準夜・深夜ごとに時系列で表示できること。 |
| 4-11-3 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 時間指定のないオーダーはまとめて表示され、時間指定のあるオーダーは横軸の時間に合わせて表示されること。 |
| 4-11-4 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 患者毎のスケジュールは日勤・準夜・深夜ごとに時系列表示だけでなく、各種業務別(処方・注射・検査など)に表示できること。 |
| 4-11-5 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 患者のスケジュール(医師からの指示や看護ケア指示のすべての患者に対する指示)は「未実施」、「指示確認済」、「実施済」、「外来での指示」、「3時間以内に指示されたもの」が識別できるように色で区別し表示できること。 |
| 4-11-6 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 指示受けや指示確認をした場合、実施入力をした場合に「確認済」や「実施済」の色は自動で変更されること。 |
| 4-11-7 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射オーダーの実施は開始時間と終了時間の「2回実施入力」の運用に対応できること。また、終了時間を入力する際にIN量を入力し、経過表へ自動転記されること。実施入力をした際に、実施した日時、実施者が自動的に記載されること。 |
| 4-11-8 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | ワンショットのような注射オーダーの実施は「1回の実施入力」で対応すること。その際、実施入力のタイミングでIN量を入力し、経過表へ自動転記されること。実施入力をした際に、実施した日時、実施者が自動的に記載されること。 |
| 4-11-9 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 水分量や尿量測定を観察指示を実施入力した際に、IN量やOUT量を入力することができること。転記や2重入力がないよう、それらの情報が経過表にリアルタイムで自動転記されること。また、実施入力をした際に、実施した日時、実施者が自動的に記載されること。 |
| 4-11-10 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 患者のスケジュールから実施入力した情報は、電子カルテや経過表に実施記録として自動転記されること。 |
| 4-11-11 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 与薬、採血、看護指示などに対し、看護師の医療行為を実施したことを表す実施入力ができること。また、実施入力をした際に、実施した日時、実施者が自動的に記載されること。 |
| 4-11-12 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力時に現在の実施日時や予定の実施日時が自動展開されること。 |
| 4-11-13 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 実施日時は、業務上、遅れて記載されることを考慮し、実施時間を変更できること。その際、実施時間と記載時間の両方を管理できること。 |
| 4-11-14 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射・処置オーダーの実施入力は、医事会計と連動し、実施入力によって会計送信できること。注射に関しては「1回実施」の運用は即時に会計送信でき、「2回実施」の運用の場合は開始1回目の実施で会計送信されること。 |
| 4-11-15 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 処置オーダーの実施入力は、薬剤や使用器材の変更、追加、数量などの変更を実施入力時にできること。 |
| 4-11-16 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 受持ちやチーム単位で複数患者の実施入力を一画面でまとめてできること。 |
| 4-11-17 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 継続指示(発熱や疼痛時の指示など)の内容を確認できること。また、実施入力ができること。 |
| 4-11-18 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 各勤務帯の受持ち看護師への連絡などに使用することを想定して、オーダーごとに実施時のコメント入力や当該日付で伝えたいコメントの入力、患者に対してのコメントの登録ができること。 |
| 4-11-19 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 患者のスケジュールおよび実施画面にレジメン作成時に指定した滴下順を表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|---|
| 4-11-20 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 何らかの理由で指示を実施しない場合には、「未実施確認」の実施入力を行えること。 |
| 4-11-21 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 患者リストバンドを使用し、患者の認証ができること。 |
| 4-11-22 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 運用上処方の実施入力を行わない際、処方オーダーに対して、指定日時以降(時間指定の無い場合は翌日)の指示を非表示にできること。 |
| 4-11-23 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射のバーコードより、対象患者に有効なオーダーかの認証ができること。その際に医師からの変更や中止をリアルタイムに取込み、認証できること。 |
| 4-11-24 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 血液製剤のバーコードより、対象患者に有効なオーダーかの認証ができること。その際に医師からの変更や中止をリアルタイムに取込み、認証できること。 |
| 4-11-25 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射や輸血の実施入力は「開始」と「終了」の2回の実施入力に対応できること。 |
| 4-11-26 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 確認者1と2が同一利用者の場合チェックがかかること。 |
| 4-11-27 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 確認者の職種はあらかじめ設定されている職種のみとし設定されていない職種の場合確認者として登録することができないこと。 |
| 4-11-28 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射や血液製剤オーダーと患者の認証に成功した場合、そのオーダーの指示詳細が画面に表示されること。 |
| 4-11-29 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | バーコードによる注射や輸血の認証をした場合、看護師の実施入力ができること。 |
| 4-11-30 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射オーダーの認証は、看護師の実施入力とコスト送信が連動していること。 |
| 4-11-31 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射オーダーの認証をし、実施入力した際に、経過表と連携し、実施記録を経過表に自動的に転記すること。 |
| 4-11-32 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 輸血オーダー認証時に自動で輸血部門との連携ができること。 |
| 4-11-33 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 輸血オーダー開始実施時にフィルター項目が選択でき、輸血部門へ連携できること。 |
| 4-11-34 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 輸血オーダー終了実施時に副作用項目が選択でき、輸血部門へ連携できること。 |
| 4-11-35 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 輸血オーダー終了実施時に副作用項目を入力することにより経過表への連携ができること。 |
| 4-11-36 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 患者情報の読み込みはリストバンドだけでなく、カードリーダーからも読み込みが行えるインタフェースを用意できること。 |
| 4-11-37 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 特定生物由来製剤管理対象オーダーを実施する場合に、ロット番号をバーコード、キーボードから入力できること。また、入力されたロット番号は実施内容とともに確認できること。 |
| 4-11-38 | 実施入力 | 実施入力 | 実施入力 | 注射オーダーの認証時に、注射オーダーに関連付けされた指示(点滴速度変更、ルート指定、頓用速度変更指示)をまとめて確認できること。また、注射オーダーの実施入力にあわせて、関連付けされた指示の実施入力ができること。 |
| 4-12 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施 |
| 4-12-1 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施 | 処方指示を病棟単位で一覧にした実施入力可能な機能を有すること。但し安全面を考慮して、処方指示がある患者をリスト化して、実施入力の際には患者単位で画面切り替えを要するユーザインタフェースとする。 |
| 4-12-2 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施 | 病棟マップ若しくは病棟一覧から受け持ち患者単位で利用するシーンに対応していること。 |
| 4-12-3 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施 | 勤務帯、用法、麻薬で一覧の絞りこみができること。 |
| 4-12-4 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施 | 後発薬が処方されていた場合、先発薬品名をポップアップ形式等で表示し、容易に確認ができること。 |
| 4-12-5 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施 | 処方実施を行った際にオーダー内に複数のR Pが含まれる場合実施を行ったR P番号が実施記録に記載されること。 |
| 4-13 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 |
| 4-13-1 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 重症区分、看護度、救護区分、転倒・転落、移動手段、面会区分、家族付添、感染経路などの管理項目を病棟の全患者を一覧表示した画面から患者単位で参照、入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|---------------|---------------|---------------|--|
| 4-13-2 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 上記の管理項目は勤務帯毎に入力、集計できること。また、印刷できること。 |
| 4-13-3 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 入力補助機能として、重症区分や看護度、救護区分の判断基準をガイダンス表示できること。 |
| 4-13-4 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 各管理項目を入力している際に、該当病棟内での管理項目の合計数(看護度A1が3、C1が3など)が即時に確認できること。 |
| 4-13-5 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 入力方法としてマスタからの選択以外にフリー入力ができること。 |
| 4-13-6 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 入力された看護度は管理日誌に自動で取り込まれること。 |
| 4-13-7 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | アナムネで入力された内容を患者状態として反映されること。また逆に患者状態を登録した場合に看護プロファイルに反映されること。 |
| 4-13-8 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 病棟マップより、任意の複数の患者を選択して起動させることができること。 |
| 4-13-9 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 前回入院時の看護状態が未変更のまま継続表示されている場合、文字色を変更して表示し、情報更新を注意喚起できること。 |
| 4-13-10 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 状態一括登録 | 退院実施を行った時に、退院日時の患者の状態を止めるメッセージを表示し、止め操作が行えること。 |
| 4-14 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | ワークシート |
| 4-14-1 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 医師オーダーや看護ケア指示、看護管理項目など電子カルテやオーダ情報をワークシートに自動的に取込み、画面表示および印刷できること。また、標準機能として以下のワークシートを提供すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・食事一覧 ・食事一覧(朝) ・食事一覧(昼) ・食事一覧(夕) ・検査一覧 ・清潔・測定一覧 ・処方指示一覧 ・処置指示一覧 ・注射準備一覧 ・グループワークシート ・看護問題リスト ・血糖測定一覧 ・フリーシート(10名) ・フリーシート(25名) ・フリーシート(50名) |
| 4-14-2 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 患者単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。 |
| 4-14-3 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 受持ち単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。 |
| 4-14-4 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | チーム単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。 |
| 4-14-5 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 病棟単位で各種ワークシートの画面表示および印刷ができること。 |
| 4-14-6 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 受持ち単位、チーム単位、病棟単位で複数患者のワークシートを画面表示した際に、ページをめくるイメージで表示切替ができること。 |
| 4-14-7 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 各種ワークシートを印刷した際には、印刷した日時が印字されること。 |
| 4-14-8 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 個人看護ワークシートには、患者の重症度、看護度、救護区分、看護ケアオーダ、移動オーダ、医師からの検査、処方、注射指示を自動取込みし、表示および印刷ができること。 |
| 4-14-9 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 看護指示フローシートには、1週間分の患者への看護ケア指示を自動取込みし、表示および印刷ができること。 |
| 4-14-10 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 実施予定日時順に表示できること。また、指示が変更された場合も正しく変更されること。 |
| 4-14-11 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 投薬チェック切れリストは当該日付以降3日以内に定期処方終了するリストを表示すること。その場合、患者毎にリストを出し、主治医名を自動取込みできること。 |
| 4-14-12 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 汎用的なワークシートを独自に複数種類作成できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|-------------|-------------|-------------|---|
| 4-14-13 | ワークシート | ワークシート | ワークシート | 帳票のレイアウト変更ができること。 |
| 4-15 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 |
| 4-15-1 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 病棟師長が、看護師勤務管理システムに登録された対象日の勤務者に患者の業務を割り振りを行えること。 |
| 4-15-1-1 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 勤務割システムとの連動により、翌日の看護師情報を自動で取り込めること。 |
| 4-15-1-2 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 勤務帯毎に担当患者若しくは担当部屋を割振れること。 |
| 4-15-1-3 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 対象日に担当看護師(プライマリナース)が勤務していれば、受持ちの自動割付を行えること。 |
| 4-15-1-4 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 勤務者及び受持ち患者の一覧表が印刷できること。 |
| 4-15-1-5 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 勤務予定外のリリーフ者を追加できること。 |
| 4-15-1-6 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 患者状態情報の表示ができること。 |
| 4-15-1-7 | 業務分担 | 業務分担 | 業務分担 | 看護師業務分担ツールを起動中、同病棟の看護師業務分担を他の利用者から変更されないようにすることができること。 |
| 4-16 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 |
| 4-16-1 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 各管理日誌は、転記作業を削減するため、電子カルテやオーダリング、看護勤務割システムで入力された情報を自動取込みし、容易に作成できること。 |
| 4-16-2 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌は下記のことを標準で提供すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・病棟管理日誌 ・看護部管理日誌 ・外来管理日誌 ・救急患者管理日誌 ・手術室管理日誌 ・放射線部管理日誌 ・透析管理日誌 ・宿日直管理日誌 ・ラウンドメモ |
| 4-16-3 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌は病院指定のフォーマットにも対応すること。 |
| 4-16-4 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 申し送りに利用する日誌類は、最新の情報が必要な場合、任意のタイミングで情報の取込み、集計ができること。 |
| 4-16-5 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 病棟管理日誌は入院・退院患者情報のほか、重症者の一覧、看護度分類別集計、勤務者情報などの情報が網羅され、勤務交代時の引継ぎに利用できること。 |
| 4-16-6 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 病棟管理日誌は看護部へ作成状況を提示できること。 |
| 4-16-7 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 外来管理日誌は、新患、再来などの区分で患者数集計が自動でできること。 |
| 4-16-8 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 手術管理日誌は手術件数の集計、患者毎の術式や手術開始時間や終了時間を一覧表示できること。 |
| 4-16-9 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 救急患者管理日誌は患者数、救急車来院、入院患者数等の集計ができること。 |
| 4-16-10 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 看護管理日誌では、各部署での作成状況の確認ができること。 |
| 4-16-11 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 看護部管理日誌には、入院患者数や診療科毎の患者数、担送・護送区分の数、手術数、分娩数など各病棟で入力された情報を自動集計できること。 |
| 4-16-12 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 各管理日誌に看護師の勤務状況を記載する場合、看護勤務割システムとの連携すること。看護師の勤務帯毎の看護師数、年休数、看護師数の合計などが自動計算できること。 |
| 4-16-13 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 各管理日誌で特記事項をフリー入力できること。 |
| 4-16-14 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌内の項目を月単位・年単位で集計・抽出し、利用者が加工できるよう統計データをExcel形式で出力できること。 |
| 4-16-15 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 各管理日誌は印刷ができること。その場合、紙での帳票レイアウトを考慮すること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-------------|--------------|--------|--------|--|
| 4-16-16 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 各管理日誌には勤務者、師長、看護部長のサインが入力できること。 |
| 4-16-17 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌 | 管理日誌メニューに画面を戻さなくても、病棟・日付の変更が行えること。 |
| 4-16-18 | 管理日誌 | 管理日誌統計 | 管理日誌統計 | 各管理日誌ごとに任意の項目を集計し、項目単位に合計値や平均値を表示できること。 |
| 4-16-19 | 管理日誌 | 管理日誌統計 | 管理日誌統計 | 管理日誌統計において、月別集計、指定期間集計ができること。 |
| 4-16-20 | 管理日誌 | 管理日誌統計 | 管理日誌統計 | 管理日誌統計において、集計した結果を印刷できること。 |
| 4-16-21 | 管理日誌 | 管理日誌統計 | 管理日誌統計 | 管理日誌統計において、集計した結果をCSV出力できること。 |
| 4-17 | 看護必要度 | | | 看護必要度 |
| 4-17-1 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度の入力・表示ができること。 |
| 4-17-2 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 病棟毎の看護必要度が集計・表示できること。 |
| 4-17-3 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 集計した看護必要度のファイル出力できること。 |
| 4-17-4 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者入院時、転棟時に評価票をマスタで定義した条件で変更できること。 |
| 4-17-5 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 入院時から現在までの改善点数が把握できること。 |
| 4-17-6 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者属性は患者基本情報から、移動情報は移動オーダからそれぞれ反映されること。 |
| 4-17-7 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者の入院日・転棟日が確認できること。 |
| 4-17-8 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度及び各種評価票の判定に必要な項目を複数患者まとめて入力できること。 |
| 4-17-9 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者個別に看護必要度及び各種評価票の判定に必要な項目を入力できること。患者切り替えは前患者、次患者で切り替えができること。 |
| 4-17-10 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者カルテを開いた状態で、経過表などの情報を参照しながら看護必要度の入力ができること。 |
| 4-17-11 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 各項目の入力は日勤、準夜勤、夜勤の各勤務帯ごとで入力できること。 |
| 4-17-12 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 評価の根拠となる記録があるかどうかの確認状態を日別勤務帯別に残せること。 |
| 4-17-13 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 入力時に厚生労働省提供の項目別評価基準が表示できること。 |
| 4-17-14 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 各種評価票の算定基準到達人数と必要度レベル別の人数を表示できること。 |
| 4-17-15 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者個別入力画面で、A得点、B得点、C得点それぞれで合計した点数を表示できること。 |
| 4-17-16 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者個別入力画面から、経過表画面、指示歴画面などを表示させ、記録を確認しながら入力を行えること。 |
| 4-17-17 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 病棟別、勤務帯別に看護必要度の集計を行えること。項目は定床数、入院患者数、病床稼働率、患者分類(レベル1～5)、基準超患者数、評価票対象患者数、基準超対象患者数、未確認者数、勤務者数。 |
| 4-17-18 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 病床稼働率統計(日別全病棟比較/月別病棟別比較)、必要配置数統計(日別全病棟比較/月別病棟別比較)、必要度レベル統計(日別全病棟比較/月別病棟別比較)、ABC点数統計(日別全病棟比較/月別病棟別比較)、必要度統計表示(基準越え患者数割合集計/日別データ表示)の各統計を作成できること。 |
| 4-17-19 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 各評価項目入力時には電子カルテデータからA、B、C項目の記録を参照できること。 |
| 4-17-20 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 短期滞手術等基本料の場合、過去に遡って評価票の変更が行えること。 |
| 4-17-21 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | C項目、A項目(救急搬送後の入院)については、評価の有効期限が登録できること。 |
| 4-17-22 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 患者レベル、対象評価票の推移を時系列に参照できること。 |
| 4-17-23 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 評価項目登録時の未入力チェックが行えるとともに、患者レベル判定は全項目入力が行われていない場合は行なわないこと。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-----------------|----------------|--------------------------|-------------------|---|
| 4-17-24 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 対象評価票を変更する場合は、前回データを継続するか/新たに登録するかの選択ができること。 |
| 4-17-25 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 各種オーダの実施情報・経過表データ・救急受付と看護必要度項目を連携し、対象項目についてはマスタで定義した条件をもとに判定できること。また、最終確認者のチェックを行うことによって、看護必要度の評価として登録できること。 |
| 4-17-26 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度で入力した評価内容を1日ごとに出力し（H準備ファイル）、1ヶ月分のHファイルを作成できること。 |
| 4-17-27 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度明細ファイル、H準備ファイル出力、看護必要度報告管理日誌の集計が定期的に出力できること。 |
| 4-17-28 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 回復期リハビリテーション病棟入院料の施設基準に対する集計が行えること。 |
| 4-17-29 | 看護必要度 | 看護必要度 | 看護必要度 | 一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅰに係る評価票、一般病棟用の重症度、医療・看護必要度Ⅱに係る評価票、特定集中治療室用の重症度、医療・看護必要度に係る評価票、ハイケアユニット用の重症度、医療・看護必要度に係る評価票の直近3月の実績を日別・月別・期間別に集計できること。 |
| 4-18 | 処方切れリスト | | | 処方切れリスト |
| 4-18-1 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（病棟指定モード） | | 処方切れリスト（病棟指定モード） |
| 4-18-1-1 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（病棟指定モード） | 処方切れリスト（病棟指定モード） | いつ、誰の投薬指示が切れるのかを確認するために、病棟単位で処方切れリストが表示できること。 |
| 4-18-1-2 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（病棟指定モード） | 処方切れリスト（病棟指定モード） | 処方切れリストは、患者ごとに対象期間内に切れる薬剤をリスト形式、カレンダー（1週間表示）形式で表示できること。 これらのモードは利用者が切換えながら表示できること。 |
| 4-18-1-3 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（病棟指定モード） | 処方切れリスト（病棟指定モード） | 処方切れリストは、患者ごとに対象期間内に切れる薬剤をリスト形式、カレンダー（1週間表示）形式で印刷できること。 |
| 4-18-1-4 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（病棟指定モード） | 処方切れリスト（病棟指定モード） | 処方切れリストは、病棟単位でかつ主治医別に印刷ができること。 主治医別の場合は、主治医単位で改ページできること。 |
| 4-18-2 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（診療科指定モード） | | 処方切れリスト（診療科指定モード） |
| 4-18-2-1 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリスト（診療科指定モード） | いつ、誰の投薬指示が切れるのかを確認するために、診療科単位で処方切れリストが表示できること。 |
| 4-18-2-2 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリストは、患者ごとに対象期間内に切れる薬剤をリスト形式、カレンダー（1週間表示）形式で表示できること。 これらのモードは利用者が切換えながら表示できること。 |
| 4-18-2-3 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリストは、主治医での絞り込み、入力者での絞り込みができること。 |
| 4-18-2-4 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリストは、患者ごとに対象期間内に切れる薬剤をリスト形式、カレンダー（1週間表示）形式で印刷できること。 |
| 4-18-2-5 | 処方切れリスト | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリスト（診療科指定モード） | 処方切れリストは、診療科単位でかつ主治医別に印刷ができること。 主治医別の場合は、主治医単位で改ページできること。 |
| 5章 チーム医療 | | | | |
| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
| 5-1 | 共通機能 | 共通機能 | | チーム医療(共通機能) |
| 5-1-1 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療の関係者がチーム医療の対象患者に対して介入依頼オーダの発行ができること。 |
| 5-1-2 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 各チームの介入依頼オーダに含まれる項目は自由に設定できること。 |
| 5-1-3 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 各チームの介入依頼オーダは、患者プロフィール、病名などの患者基本情報を引き継いで表示できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|------|------|------|--|
| 5-1-4 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チームについてはマスタメンテナンス機能によりNST、ICT、褥瘡管理、緩和ケア、嚥下ケア、PEG、糖尿管理等追加、修正、削除の管理ができること。 |
| 5-1-5 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チームについては各チームの配下にグループを登録できること。 |
| 5-1-6 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 介入依頼オーダーの発行時にそのチームメンバに対して、ToDo機能によって依頼が来たことを通知できること。 |
| 5-1-7 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チームへの介入状況として、新規依頼、再依頼、介入中、却下、介入終了のステータスを管理できること。 |
| 5-1-8 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 介入状況が新規依頼、再依頼、介入中の状態の患者に対し、同一チームの介入依頼オーダーを発行しようとした場合は重複チェックが実施できること。 |
| 5-1-9 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム介入依頼オーダーを発行した時点で、チーム医療患者一覧上に該当患者の情報が表示できること。 |
| 5-1-10 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧から、各チームの介入依頼状況が確認でき、介入依頼オーダーに対して受付・却下ができること。 |
| 5-1-11 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 介入依頼オーダーを却下する場合は、その理由を入力できること。 |
| 5-1-12 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧で参照したいチームを選択することにより、以下の情報が表示できること。 ・病棟、病室、診療科、患者ID、患者名、カナ氏名、性別、年齢、介入チーム名、介入状況、次回回診予定日、入院日、退院日、依頼日、受付日、介入終了日、入院目的、入院病名、担当医、担当看護師、入外区分 |
| 5-1-13 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧は下記条件を検索条件として指定できること。 ・チーム ・受付日 ・介入状況 ・入外区分 ・病棟 ・診療科 ・患者ID |
| 5-1-14 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 各チームの介入依頼オーダーの依頼コメント(全角25文字以内)を、チーム医療患者一覧に表示できること。 |
| 5-1-15 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧の検索条件を利用者別に保存できること。 |
| 5-1-16 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧の検索結果の件数を表示できること。 |
| 5-1-17 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 検索結果表示部分の列名をクリックすることでソートができること。 |
| 5-1-18 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧で表示できる項目についてはマスタ管理により表示、非表示の切り替えと並び替えができること。 |
| 5-1-19 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧で30チームまで複数指定による参照ができること。 |
| 5-1-20 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧の内容を印刷できること。 |
| 5-1-21 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧の内容をファイル出力できること。 |
| 5-1-22 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧からチームごとの記録文書を起動し、過去の記録文書の参照と新規入力ができること。 |
| 5-1-23 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 各チームの管理対象文書は、各チーム毎にグルーピングでき、マスタメンテナンス画面から追加・削除できること。 |
| 5-1-24 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧から介入依頼オーダーの参照ができること。 |
| 5-1-25 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧からカルテの起動ができること。 |
| 5-1-26 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧から経過表の起動ができること。 |
| 5-1-27 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧から検歴一覧の起動ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|------------|-------------|------|--|
| 5-1-28 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧からエクセルチャートの起動ができること。 |
| 5-1-29 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧から摂取栄養量画面が起動できること。 |
| 5-1-30 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧からテンプレートビューアが起動できること。 |
| 5-1-31 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧から再診予約オーダ画面を起動でき、次回回診予定が入力できること。また、選択可能な予約枠は対象のチームに設定された予約枠のみに絞り込みができること。 |
| 5-1-32 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 回診予約情報は看護ワークシートに反映できること。 |
| 5-1-33 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | 各チームの回診記録作成時に、前回記載内容を流用して新規作成ができること。 |
| 5-1-34 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧の検索条件として受付日、入院日、退院日、依頼日を日付期間条件として指定することが可能なこと。 |
| 5-1-35 | 共通機能 | 共通機能 | 共通機能 | チーム医療患者一覧から状態一括登録画面を起動することが可能なこと、起動の際にはチーム医療患者一覧で表示されている患者全員が状態一括登録画面でも表示されていること。 |
| 5-2 | NST | | | NST |
| 5-2-1 | NST | SGA | | SGA |
| 5-2-1-1 | NST | SGA | SGA | 入院時の栄養状態問診のため、SGAシートを記載できること。 |
| 5-2-1-2 | NST | SGA | SGA | SGAシートは、患者プロフィール情報(身長、体重など)を取得し、SGAシートの項目として初期表示できること。 |
| 5-2-1-3 | NST | SGA | SGA | SGAシートは、BMIや活動係数、障害係数などの栄養評価に必要な項目を入力できること。 |
| 5-2-1-4 | NST | SGA | SGA | SGAシートの問診内容を追加、修正可能とし、設定により栄養管理計画書及びスクリーニング表連携ができること。 |
| 5-2-1-5 | NST | SGA | SGA | SGAシートで入力した栄養判定は栄養管理患者一覧と連携し、栄養管理患者一覧に表示できること。 |
| 5-2-1-6 | NST | SGA | SGA | SGAシートの入力項目をマスタメンテナンス画面から追加・修正・削除できること。 |
| 5-2-2 | NST | 栄養管理 | | 栄養管理 |
| 5-2-2-1 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書記載対象の患者を栄養管理患者一覧により把握できること。 |
| 5-2-2-2 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧は下記条件にて検索できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・作成対象患者 -入院日から1～3日以上経過 -退院済み -再評価 ・患者ID ・保留患者 ・入院日・退院日・作成日について期間選択、または現在入院中 -未作成、作成済、対象外 ・担当栄養士 ・担当医師 ・担当看護師 ・現在病棟 |
| 5-2-2-3 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧にて、栄養管理計画書の下記状態ごとの検索結果件数が表示できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・未作成 ・作成済 ・保留 ・対象外 |
| 5-2-2-4 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧から、スクリーニング表の一括印刷ができること。 |
| 5-2-2-5 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧の一覧印刷およびファイル出力ができること。 |
| 5-2-2-6 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧の検索条件を利用者ごとに保存できること。 |
| 5-2-2-7 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧で抽出した患者に対して、右クリックメニューにより栄養管理計画書を記載できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|------------|------------------------|----------------|--|
| 5-2-2-8 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧で抽出した患者に対して、右クリックメニューによりNST介入依頼ができること。 |
| 5-2-2-9 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧から、摂取栄養量画面を起動できること。 |
| 5-2-2-10 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧上のすべてのレコードを一括で選択、もしくは非選択ができること。 |
| 5-2-2-11 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理患者一覧にて、下記内容が確認できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者ID、氏名 ・性別、年齢 ・入院日 ・SGAシートにて入力した栄養状態評価 ・栄養管理計画書にて入力した栄養状態評価 ・退院日 ・作成日 ・栄養管理計画書記載回数 ・栄養管理計画書記載状況 ・NSTチーム介入状況 ・診療科、病棟、病室 |
| 5-2-2-12 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、患者プロフィール情報(身長、体重など)を取得し、栄養管理計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-2-2-13 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、移動オーダー担当医、担当看護師を取得し、栄養管理計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-2-2-14 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、現在の食事情報を初期表示できること。 |
| 5-2-2-15 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書から検査結果の参照できること。 |
| 5-2-2-16 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、あらかじめ定型文をマスタ登録しておくことで入力項目を定型文から選択できること。 |
| 5-2-2-17 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、栄養指導の必要性和と予定時期の入力ができること。 |
| 5-2-2-18 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、次回の栄養管理計画立案日を設定できること。設定した次回評価日は、栄養管理計画一覧と連動し、記載しなければならない計画書の検索ができること。 また、栄養状態の評価と連動して、次回立案日を自動設定もできること。 |
| 5-2-2-19 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、「確定」保存と、「保留」保存の2種類の保存ステータスを選択して計画書を保存できること。ステータスは栄養管理計画一覧と連動し、検索条件として指定できること。 |
| 5-2-2-20 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、病院固有の情報について栄養管理計画書画面上に任意に追加できること。また、印刷帳票(栄養管理計画書)についても追加項目が印字できること。 |
| 5-2-2-21 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書の「確定」ボタン押下時に、必須チェックを行うことができること。チェック項目はマスタ設定可能とし、職種ごとに必須項目を設定できること。 |
| 5-2-2-22 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書は、退院時及び終了時の総合評価の入力ができ、退院決定オーダーの栄養評価を取得できること。 |
| 5-2-2-23 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書及びスクリーニング表は、設定により間食の栄養量についても表示できること。 |
| 5-2-2-24 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養管理計画書では、画面上に表示、もしくは入力された項目を利用して四則演算ができること。 |
| 5-2-2-25 | NST | 栄養管理 | 栄養管理 | 栄養状態スクリーニング表には、過去1週間の食事による栄養量、処方/注射薬による栄養量、及び両者の合算が表示できること。また、食事による栄養量は、経過表にて入力した喫食量を反映できること。 |
| 5-2-3 | NST | アセスメント 回診記録 | | アセスメント回診記録 |
| 5-2-3-1 | NST | アセスメント 回診記録 | アセスメント 回診記録 | アセスメント回診記録は各職種ごとにSOAP形式での記録が登録できること。 |
| 5-2-4 | NST | 摂取栄養量 | | 摂取栄養量 |
| 5-2-4-1 | NST | 摂取栄養量 | 摂取栄養量 | 患者の喫食情報として、摂取栄養量画面による栄養量ごとの摂取情報を表示できること。 |
| 5-2-4-2 | NST | 摂取栄養量 | 摂取栄養量 | 摂取栄養量画面は、エネルギー、水分、タンパク質などの栄養成分ごとの摂取量を表示できること。この栄養成分は、栄養成分マスタにて追加、変更ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|-----------------|----------|---|
| 5-2-4-3 | NST | 摂取栄養量 | 摂取栄養量 | 摂取栄養量画面は、給食部門システムと連携を行うことにより献立ごとの栄養量を表示できること。 |
| 5-2-4-4 | NST | 摂取栄養量 | 摂取栄養量 | 摂取栄養量画面は、経過表の食事量と連携し、栄養量を表示できること。 |
| 5-2-4-5 | NST | 摂取栄養量 | 摂取栄養量 | 摂取栄養量画面は、食事以外の摂取栄養情報として、注射オーダによる輸液や処方オーダによる経管栄養剤等の情報も表示できること。また、輸液や栄養剤の内容はマスタ登録したものを絞り込み表示できること。 |
| 5-2-4-6 | NST | 摂取栄養量 | 摂取栄養量 | 摂取栄養量画面は、各栄養成分ごとの1日量の合計、期間平均を表示できること。 |
| 5-2-4-7 | NST | 摂取栄養量 | 摂取栄養量 | 摂取栄養量画面は、必要な患者情報を表示できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・身長 ・体重 ・標準体重 ・BMI ・基礎代謝量（自動計算で表示 ※ Harris-Benedict 式） ・検査結果 |
| 5-2-5 | NST | NST回診履歴 | | NST回診履歴 |
| 5-2-5-1 | NST | NST回診履歴 | NST回診履歴 | NST回診時の記録を時系列で表示できること。 |
| 5-2-5-2 | NST | NST回診履歴 | NST回診履歴 | 回診履歴画面では、患者の年齢によりパターンを自動選択し、画面を展開することができること。 |
| 5-2-5-3 | NST | NST回診履歴 | NST回診履歴 | 回診履歴画面では、回診記録テンプレートに記載した内容を過去4回分1画面に表示でき、日付スクロールボタンにより、表示する過去回診日を前後することができること。 |
| 5-2-5-4 | NST | NST回診履歴 | NST回診履歴 | 回診履歴画面は、印刷できること。 |
| 5-2-5-5 | NST | NST回診履歴 | NST回診履歴 | 回診履歴画面では、アミノ酸量など検査値や栄養量以外のデータ入力ができること。また、データ間での四則演算ができること。 |
| 5-3 | 褥瘡管理 | | | 褥瘡管理 |
| 5-3-1 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | | 褥瘡管理患者一覧 |
| 5-3-1-1 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理対象の患者を褥瘡管理患者一覧により把握できること。 |
| 5-3-1-2 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧は下記条件にて検索できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者ID ・検索期間 <ul style="list-style-type: none"> -現在入院中 -入院中、入院日、退院日、入退院日における期間指定 ・病棟、診療科 ・下記項目のAND/OR指定 <ul style="list-style-type: none"> -自立度 -褥瘡リスク -介入状況 -褥瘡有無 -褥瘡発生場所 -ハイリスク項目 -重点的なケア ・下記文書の作成状態 <ul style="list-style-type: none"> -危険因子評価票 -褥瘡対策計画書 |
| 5-3-1-3 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 任意の検索条件の組み合わせを最大3パターンまでマスタ設定ができ、利用者によらず検索条件の展開ができること。 |
| 5-3-1-4 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧に表示する患者レコードは、入院期間中の最新レコード/全レコード表示の切り替えができること。 |
| 5-3-1-5 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧にて、検索結果件数を表示できること。 |
| 5-3-1-6 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧の一覧印刷およびファイル出力ができること。 |
| 5-3-1-7 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧の検索条件を利用者ごとに保存できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|----------------|----------|--|
| 5-3-1-8 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧で抽出した患者に対して、右クリックメニューにより危険因子評価票を記載できること。 |
| 5-3-1-9 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧で抽出した患者に対して、右クリックメニューにより褥瘡対策計画書を記載できること。 |
| 5-3-1-10 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧で抽出した患者に対して、右クリックメニューにより褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書を記載できること。 |
| 5-3-1-11 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧で抽出した患者に対して、右クリックメニューにより褥瘡経過記録を記載できること。 |
| 5-3-1-12 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧から、テンプレート記載情報の時系列表示画面を起動できること。 |
| 5-3-1-13 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧から、摂取栄養量画面を起動できること。 |
| 5-3-1-14 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧から、項番2-12Excel連携機能を起動できること。 |
| 5-3-1-15 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧から、カルテを起動できること。 |
| 5-3-1-16 | 褥瘡管理 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧 | 褥瘡管理患者一覧にて、下記内容を確認できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者ID、患者氏名 ・性別 ・年齢 ・診療科、病棟、病室 ・入院日 ・退院日 ・自立度 ・褥瘡リスク ・褥瘡有無 ・褥瘡発生 ・回数 ・ハイリスク項目 ・重点的なケア ・褥瘡介入状況 ・NST介入状況 ・褥瘡管理加算 ・ハイリスク加算 ・危険因子評価票 作成状態、作成日、作成者、更新日、更新者 ・褥瘡対策計画書 作成状態、作成日、作成者、更新日、更新者 ・褥瘡リスクアセスメント票 作成状態、作成日、作成者、更新日、更新者、評価日、評価者 ・入院主病名 ・その他病名 ・入院目的 ・主担当医 |
| 5-3-2 | 褥瘡管理 | 危険因子評価票 | | 危険因子評価票 |
| 5-3-2-1 | 褥瘡管理 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票は、患者プロフィール情報(褥瘡有無など)を取得し、危険因子評価票の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-2-2 | 褥瘡管理 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票は、担当医、担当看護師の情報を取得し、危険因子評価票の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-2-3 | 褥瘡管理 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票は、褥瘡対策計画書及び褥瘡リスクアセスメント票との共通項目の入力内容を取得し、危険因子評価票の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-2-4 | 褥瘡管理 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票 | 危険因子評価は、厚生労働省危険因子評価、K式スケール、OH式スケール、ブレードスケールのいずれかでできること。 |
| 5-3-2-5 | 褥瘡管理 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票は、画面上の項目を任意に追加・変更できること。 |
| 5-3-2-6 | 褥瘡管理 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票 | 危険因子評価票は、印刷できること。 |
| 5-3-3 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | | 褥瘡対策計画書 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|-------------------------------|------------------------|--|
| 5-3-3-1 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、患者プロフィール情報(褥瘡有無など)を取得し、褥瘡対策計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-3-2 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、担当医、担当看護師の情報を取得し、褥瘡対策計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-3-3 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、危険因子評価票及び褥瘡リスクアセスメント票との共通項目の入力内容を取得し、褥瘡対策計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-3-4 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 危険因子評価は、厚生労働省危険因子評価、K式スケール、OH式スケール、ブレードスケールのいずれかで評価できること。 |
| 5-3-3-5 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、看護計画連携を行い、立案された看護計画を引用できること。 |
| 5-3-3-6 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、褥瘡ハイリスク項目、その他危険因子を入力できること。 |
| 5-3-3-7 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、退院時及び終了時の総合評価を入力できること。 |
| 5-3-3-8 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、画面上の項目を任意に追加・変更できること。 |
| 5-3-3-9 | 褥瘡管理 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書 | 褥瘡対策計画書は、印刷できること。 |
| 5-3-4 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 |
| 5-3-4-1 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、患者プロフィール情報(褥瘡有無など)を取得し、褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-4-2 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、担当医、担当看護師の情報を取得し、褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-4-3 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、危険因子評価票及び褥瘡対策計画書との共通項目の入力内容を取得し、褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-4-4 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、褥瘡の発生が予測される部位及び褥瘡の発生部位を、シェーマを用いて入力できること。 |
| 5-3-4-5 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、重点的な褥瘡ケアの必要性を入力できること。 |
| 5-3-4-6 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書について、褥瘡ハイリスク患者ケア加算にチェック後、確定保存したタイミングで、医事連携を行い、褥瘡ハイリスク患者ケア加算を算定できること。 |
| 5-3-4-7 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、褥瘡ハイリスク項目、その他危険因子を入力できること。 |
| 5-3-4-8 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、褥瘡予防治療計画の立案ができること。 |
| 5-3-4-9 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、褥瘡ケア結果の評価ができること。 |
| 5-3-4-10 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書 | 褥瘡リスクアセスメント票・褥瘡予防治療計画書は、退院時及び終了時の総合評価を入力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|----------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|---|
| 5-3-4-11 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスク セサメント票・ 褥瘡予防治 療計画書 | 褥瘡リスク セサメント票・ 褥瘡予防治 療計画書 | 褥瘡リスクセサメント票・褥瘡予防治療計画書は、画面上の項目を任意に追加・変更できること。 |
| 5-3-4-12 | 褥瘡管理 | 褥瘡リスク セサメント票・ 褥瘡予防治 療計画書 | 褥瘡リスク セサメント票・ 褥瘡予防治 療計画書 | 褥瘡リスクセサメント票・褥瘡予防治療計画書は、印刷できること。 |
| 5-3-5 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | | 褥瘡経過記録 |
| 5-3-5-1 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、患者プロフィール情報(褥瘡有無など)を取得し、褥瘡経過記録の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-5-2 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、DESIGNスコアにより、褥瘡の所見のスコア化ができること。 |
| 5-3-5-3 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、シエマと連携を行うことにより、褥瘡部位のイメージの掲載ができること。 |
| 5-3-5-4 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、ファイル取込ツールと連携を行うことにより、褥瘡画像の掲載ができること。 |
| 5-3-5-5 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、使用するドレッシング材等、治療計画の立案ができること。 |
| 5-3-5-6 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、回診時のコメントの入力ができること。 |
| 5-3-5-7 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、画面上の項目を任意に追加・変更できること。 |
| 5-3-5-8 | 褥瘡管理 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記 録 | 褥瘡経過記録は、印刷できること。 |
| 5-3-6 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生報 告書 | | 褥瘡発生報告書 |
| 5-3-6-1 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報告書は、患者プロフィール情報(褥瘡有無など)を取得し、褥瘡発生報告書の項目として初期表示できること。 |
| 5-3-6-2 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報告書は、体圧分散マットレスの使用状況等、褥瘡発生の報告に必要な情報を入力できること。 |
| 5-3-6-3 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報告書は、画面上の項目を任意に追加・変更できること。 |
| 5-3-6-4 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報 告書 | 褥瘡発生報告書は、印刷できること。 |
| 5-3-7 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | | 褥瘡発生率統計 |
| 5-3-7-1 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率統計において、日本褥瘡学会の基準に則した統計がとれること。 |
| 5-3-7-2 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率統計において、発生率および有病率の統計期間を分けて統計がとれること。 |
| 5-3-7-3 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 発生率の統計では、月単位での期間指定および日単位での調査日指定の切り替えができること。 |
| 5-3-7-4 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 発生率の統計では、指定した期間内における病棟毎/全病棟の入院患者実数、褥瘡院内発生患者数、褥瘡院外発生患者数、褥瘡発生率の統計をとれること。 |
| 5-3-7-5 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 有病率の統計では、日単位での調査日指定の統計がとれること。 |
| 5-3-7-6 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 有病率の統計では、調査日指定における病棟毎/全病棟の入院患者数、褥瘡有病患者数、褥瘡有病率の統計をとれること。 |
| 5-3-7-7 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率統計は、指定した期間内で同患者の褥瘡治療が複数回行われた場合、褥瘡発生を1と計数するか、複数回全て計数するか選択できること。 |
| 5-3-7-8 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率統計は、統計結果のExcel出力ができること。 |
| 5-3-7-9 | 褥瘡管理 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率 統計 | 褥瘡発生率統計は、統計結果を出力したExcelファイルの保存先パスの初期値のマスク設定ができること。 |
| 5-4 | スクリーニ ング一 覧 | スクリーニ ング一 覧 | | スクリーニング一 覧 |
| 5-4-1 | スクリーニ ング一 覧 | スクリーニ ング一 覧 | スクリーニ ング一 覧 | 診療科、病棟、性別、年齢、患者プロフィール情報、検査結果情報を指定し、注意が必要な患者のスクリーニングができること(例: Alb値による栄養状態の評価など)。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|-------------------------|-------------------------|------------|---|
| 5-4-2 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング条件はNSTなどの医療チームごとに設定できること。また、利用者条件としても5つまで保存できること。 |
| 5-4-3 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | 検査結果については、任意の検査項目を5個までスクリーニング条件として指定できること。ただし、対象の検査項目は定性および定量検査を対象とすること。 |
| 5-4-4 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | 検査結果については、〇〇以上、〇〇以下の範囲指定ができること。また、過去何日間の検査かを条件として指定できること。 |
| 5-4-5 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | プロフィール情報については、数値タイプ、チェックボックスタイプのプロフィール情報を5個までスクリーニング条件として指定できること。 |
| 5-4-6 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | プロフィール情報については、数値データの場合は、以上、以下の範囲指定ができること。チェックボックスタイプの場合は、チェックの有り、無しを指定できること。また、値が無い場合も条件として指定できること。 |
| 5-4-7 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | プロフィール情報については、上記の条件に加え、更新日付範囲も条件として指定できること。 |
| 5-4-8 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧は、結果表示時、氏名などの基本情報に加えて、スクリーニング条件およびその値を表示できること。 |
| 5-4-9 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧の一覧印刷およびファイル出力ができること。 |
| 5-4-10 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧は、右クリックメニューより、注意が必要な患者のピックアップができること。また、ピックアップは、医療チームもしくは利用者単位でできること。 |
| 5-4-11 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | ピックアップ時、ピックアップコメントを入力できること。 |
| 5-4-12 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧は、右クリックメニューより、選択した患者のカルテを起動できること。 |
| 5-4-13 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧は、右クリックメニューより、検査歴一覧の起動を可能とし、患者の検査歴を参照できること。 |
| 5-4-14 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧は、右クリックメニューより、経過表メニューを起動できること。経過表未作成状態の患者の場合は、経過表フォーマット選択画面が表示され、作成中患者の場合は直接経過表が起動すること。 |
| 5-4-15 | スクリーニング一覧 | スクリーニング一覧 | フィルタ機能 | スクリーニング一覧は、右クリックメニューより、レコード項目を対象としたフィルタができること。フィルタ機能は、選択フィルタ、非選択フィルタ、テキストフィルタを備えており、フィルタ解除も同メニューからできること。 |
| 5-5 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | | ピックアップ患者一覧 |
| 5-5-1 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、スクリーニング一覧にてピックアップした患者の一覧表示ができること。この際、指定するチームは、単一チーム指定、複数チーム指定のいずれもできること。 |
| 5-5-2 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、患者を一覧表示する際、Myピックアップを含めるかどうか指定できること。 |
| 5-5-3 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧の一覧印刷およびファイル出力ができること。 |
| 5-5-4 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、右クリックメニューより、ピックアップしたチームへの介入依頼ができること。 |
| 5-5-5 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、右クリックメニューより、選択した患者のピックアップ解除ができること。 |
| 5-5-6 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、右クリックメニューより、ピックアップ時コメントを修正できること。 |
| 5-5-7 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、右クリックメニューより、選択した患者のカルテを起動できること。 |
| 5-5-8 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、右クリックメニューより、検査歴一覧を起動でき、患者の検査歴を参照できること。 |
| 5-5-9 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧は、右クリックメニューより、経過表メニューを起動できること。経過表未作成状態の患者の場合は、経過表フォーマット選択画面が表示され、作成中患者の場合は直接経過表が起動すること。 |
| 5-5-10 | ピックアップ患者一覧 | ピックアップ患者一覧 | フィルタ機能 | ピックアップ患者一覧は、右クリックメニューより、レコード項目を対象としたフィルタができること。フィルタ機能は、選択フィルタ、非選択フィルタ、テキストフィルタを備えており、フィルタ解除も同メニューからできること。 |
| 5-6 | テンプレート記載情報の時系列表示 | テンプレート記載情報の時系列表示 | | テンプレート記載情報の時系列表示 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|---|
| 5-6-1 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | 任意のテンプレートで記載された任意のデータ(画像含む)について、時系列表示できること(以下、フォーマットと呼ぶ)。また、ひとつのフォーマットに表示するテンプレートを複数指定できること。 |
| 5-6-2 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | 時系列表示するフォーマットはマスタ設定可能とし、複数のフォーマットを設定できること。また、テンプレートビューア画面上で、表示するフォーマットを変更できること。 |
| 5-6-3 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | フォーマットの表示縦軸について、表示行タイトル、表示項目、背景色、縦幅を設定できること。 |
| 5-6-4 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | 数値データを表示対象としている場合は、上限値、下限値をそれぞれ設定でき、その値を超えた場合は文字色を変更できること。 |
| 5-6-5 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | 時系列表示されている画像データ部をクリックすることで、拡大画像が表示されること。 |
| 5-6-6 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | 同一日に複数回の記載があった場合は、 ・区切り文字による区切り表示(数値タイプのデータなど) ・表示データの前に記載時間を表示(所見などの記録データなど) ・常に最新のデータのみを表示(体重、身長などのデータ) の3つのパターンを行ごとに設定できること。 |
| 5-6-7 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | 表示中のフォーマットに登録されているテンプレートについて、当該画面から新規作成できること。 |
| 5-6-8 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | データ表示領域を右クリックすることで、該当データを記載したテンプレート名、作成時間、作成者が表示されること。さらに当メニューから、テンプレートを修正起動および削除できること。 |
| 5-6-9 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | テンプレート 記載情報の 時系列表示 | 表示データをファイル出力できること。画像データを表示している場合は、画像データもファイル出力できること。 |
| 6章 パス機能 | | | | |
| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
| 6 | | | | クリニカルパスシステム |
| 6-1 | クリニカルパス | | | クリニカルパス基本機能 |
| 6-1-1 | クリニカルパス | 画面表現 | | 画面表現 |
| 6-1-1-1 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | オーバービューは、縦軸をオーダの種類や経過表項目、横軸を日付としたカレンダー形式で表現できること。 |
| 6-1-1-2 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | オーバービュー表示時に、表示レンジを3日/1週間/2週間/4週間に切り替えられること。 |
| 6-1-1-3 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 限られた画面内に膨大な情報を有するパスカレンダーのスクロールによる煩雑さを無くするため、ワンクリックで縦方向の項目へ移動(ジャンプ)ができること。 また、カレンダー上の日付選択によって横方向への移動(ジャンプ)、およびワンクリックで横方向のスクロールができること。 |
| 6-1-1-4 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | パス上に「在院日数」、「術後日数」、「妊娠週数/産褥日数」、「生後日数」、「DPC経過日数」などの経過日数を自動計算し、表示ができること。 |
| 6-1-1-5 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 手術や検査などのイベント日について、1日を複数の区分に分割できること。 (手術日であれば、術前・術後の2区分など) |
| 6-1-1-6 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | パスカレンダー上で、1日の分割数を直接変更できること。 |
| 6-1-1-7 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 分割区分は、1日あたり9個まで設定できること。 |
| 6-1-1-8 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 分割区分の名称は、分割区分毎に設定できること。 |
| 6-1-1-9 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 分割区分の名称は、パスカレンダー上で、直接変更できること。 |
| 6-1-1-10 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 分割区分毎に、開始時間の割り当てができること。 |
| 6-1-1-11 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 分割区分に開始時間を割り当てるときは、個別に設定するだけでなく、マスタで設定した差分時間に応じて、自動的に割り当てができること。 |
| 6-1-1-12 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 表示する情報がない列は、表示/非表示が切り替えられること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|----------------|-------------|------|---|
| 6-1-1-13 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 大分類・中分類の背景色は、任意の色を設定できること。 |
| 6-1-1-14 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | パスで事前に計画されたオーダーと、追加で指示を行ったオーダーは背景色により区別できること。 |
| 6-1-1-15 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 以下のオーダーのステータスを、文字色により区別できること。 ・未発行 ・発行済み(未実施) ・指示受け ・指示確認済み ・一部実施 ・実施済み |
| 6-1-1-16 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | オーダー保存時に、薬品禁忌や締切り時間チェックでエラー等になったオーダーは、文字色により区別できること。 |
| 6-1-1-17 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 予約未取得のオーダーは、アイコンにより区別できること。 |
| 6-1-1-18 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | レポート・検査結果が返ってきたオーダーは、アイコンにより区別できること。 |
| 6-1-1-19 | クリニカルパス | 画面表現 | 画面表現 | 3時間以内に発行されたオーダー、および当日発行されたオーダーに関してはアイコンにより識別できること。 |
| 6-1-2 | クリニカルパス | 基本機能 | | 基本機能 |
| 6-1-2-1 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 適用開始日を選択して、患者にパスを適用できること。 |
| 6-1-2-2 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスを適用する際、パス適用除外日(土日など)を容易に設定できること。 |
| 6-1-2-3 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスの基本情報(名称・コード・バージョン・コメント)を設定・参照できること。 |
| 6-1-2-4 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 患者へパスを適用する時に、パスに含まれるオーダーをまとめて発行できること。 |
| 6-1-2-5 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 患者へパスを適用する時に、DPCオーダーを連携して発行できること。 |
| 6-1-2-6 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | ヒストリカルビュー上に、過去に適用したパス情報を表示できること。 |
| 6-1-2-7 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 患者へのパス適用後、パスカレンダー上で新規にオーダーが追加できること。 |
| 6-1-2-8 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 患者へのパス適用後、パスカレンダー上で既に指示されているオーダーの変更・削除ができること。 |
| 6-1-2-9 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 患者へのパス適用後、パスカレンダー上でドラック&ドロップの操作により、オーダーの実施予定日を変更できること。 |
| 6-1-2-10 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 患者へのパス適用後、パスカレンダー上でコピー&ペーストの操作により、新規にオーダーが作成できること。 |
| 6-1-2-11 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | オーダーを複数選択し、一括で削除できること。 |
| 6-1-2-12 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 指定した日付以降のオーダーの実施予定日を、一括して1日分未来に変更できること。 |
| 6-1-2-13 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 指定した日付に実施する予定で削除可能なオーダーを、一括して削除できること。 |
| 6-1-2-14 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 指定した日付以降のオーダーの実施予定日を、一括して1日分過去に変更できること。 |
| 6-1-2-15 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パス上からテンプレート文書を起動し、入力できること。 |
| 6-1-2-16 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パス上から職種に対応した記録を記載できること。 |
| 6-1-2-17 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | バイタル情報を数値で表示できること。 |
| 6-1-2-18 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | バイタル情報をグラフで表示できること。 |
| 6-1-2-19 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスカレンダー上に検査結果を表示できること。 |
| 6-1-2-20 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスカレンダー上から指示受けができること。 |
| 6-1-2-21 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスカレンダー上から指示確認ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|----------------|-------------|------|---|
| 6-1-2-22 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスカレンダー上から実施入力ができること。 |
| 6-1-2-23 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスカレンダー上から、観察項目・測定結果・バイタル情報の入力ができること。 入力した情報は経過表と共有し、相互に参照・入力できること。 |
| 6-1-2-24 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パス・レジメン作成時に、観察・測定項目の有効期間を設定できること。 |
| 6-1-2-25 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 観察項目・測定項目と連携している看護指示・指示簿指示オーダを発行すると、連携する観察項目・測定項目が、自動的にパスカレンダー上に追加されること。 |
| 6-1-2-26 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 観察項目・測定項目と連携している看護指示・指示簿指示オーダを発行すると、看護指示・指示簿指示オーダの用法に応じて、連携する観察項目・測定項目行にオーダ内容が表示されること。 |
| 6-1-2-27 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 中分類単位に備忘録としてメモを登録し、表示できること。 |
| 6-1-2-28 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 削除済みオーダを参照できること。 |
| 6-1-2-29 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 複数のパスを同時に適用できること。 |
| 6-1-2-30 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 1日単位でオーダ情報を表示できること。 また、その内容を印刷できること。 |
| 6-1-2-31 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パス適用している患者が病棟マップにて識別できること。 |
| 6-1-2-32 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パス適用している患者はカルテを開くと識別できること。 また、パスの状況（適用中、終了前、終了日当日、適用期間超過）が把握できること。 |
| 6-1-2-33 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | 経過表と連携し、パスで管理している観察項目以外に患者個別に必要な観察項目を取り込めること。 また、取り込んだ観察項目はパスの項目と識別できること。 |
| 6-1-2-34 | クリニカルパス | 基本機能 | 基本機能 | パスカレンダー上に食事摂取量を表示できること。 また、パスカレンダー上で直接入力ができ、入力した情報は経過表と共有し相互に参照・入力できること。 |
| 6-1-3 | クリニカルパス | パス管理 | | パス管理 |
| 6-1-3-1 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 適用除外基準が設定されている場合、評価するまでパスの適用ができないよう制御できること。 |
| 6-1-3-2 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカムの管理機能があること。 |
| 6-1-3-3 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカムマスタについては、日本クリニカルパス学会が提供しているBOM(Basic Outcome Master)に対応できること。 |
| 6-1-3-4 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 達成目標としてのアウトカムおよび、アウトカムの客観的達成基準としてのアセスメントが登録・管理できること。 |
| 6-1-3-5 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカムは毎日設定できること。 |
| 6-1-3-6 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | ある期間中に達成すればよいアウトカムは、複数日に跨って設定ができること。 |
| 6-1-3-7 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカムは、1日の中で、分割区分毎、または複数分割区分をまたいで設定できること。 |
| 6-1-3-8 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 適応除外基準、アウトカム、終了基準を一画面で表示し、一連の評価過程を確認できること。 |
| 6-1-3-9 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アセスメントの達成/未達成を評価できること。 |
| 6-1-3-10 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカム評価時には、アセスメントの達成状況を確認しながら、達成/未達成を判定できること。 |
| 6-1-3-11 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アセスメントの評価基準として、観察・測定結果・検査結果の項目および判定式を設定できること。 |
| 6-1-3-12 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アセスメントの評価基準として、観察・測定結果・検査結果が設定されている場合、結果値が入力されていれば、アセスメント評価画面に表示されること。 また、判定式によって異常値と判定された結果値は、赤字で表示されること。 |
| 6-1-3-13 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 判定式によって異常値と判定された結果を参考に、「達成」できたアウトカムを一括で評価できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|--------------------|--------------------|-------------|---|
| 6-1-3-14 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカムに対して、バリエーションを登録できること。 |
| 6-1-3-15 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカム評価時に、未達成と判定すると、バリエーション入力に関する確認メッセージが表示され、バリエーション登録画面を自動で起動し、入力を誘導できること。 |
| 6-1-3-16 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | クリティカルインディケータとなるアウトカム評価時に、未達成と判定すると、バリエーション登録画面を自動で起動し、入力必須とする設定ができること。 |
| 6-1-3-17 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | オーダに対してバリエーションを登録できること。 |
| 6-1-3-18 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | バリエーションの登録が必要なオーダをチェックできること。 |
| 6-1-3-19 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | オーダに対してバリエーションを登録する場合は、正/負のバリエーション区分を登録できること。 |
| 6-1-3-20 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | オーダに対してバリエーションを登録する場合は、バリエーション内容を登録できること。 |
| 6-1-3-21 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 入力済みのバリエーション内容を、複写・貼付できること。 |
| 6-1-3-22 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | オーダおよびアウトカムに対してバリエーションを登録する際に、バリエーション理由を登録できること。 |
| 6-1-3-23 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | バリエーション内容およびバリエーション理由を登録するとき、マスタ登録された項目から選択ができること。また、項目は複数キーワードによる検索ができること。 |
| 6-1-3-24 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | アウトカム・アセスメント・バリエーション内容・バリエーション理由はコードを付与して管理を行うことができ、また統計として活用できること。 |
| 6-1-3-25 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 登録されたアウトカムやバリエーションの内容を参照しながら、パスの評価ができること。 |
| 6-1-3-26 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 終了基準を評価すると、パスの適用を終了できること。 |
| 6-1-3-27 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 終了基準の評価とは別に、標準日数と適用日数との差などを含めたパスの評価ができること。 |
| 6-1-3-28 | クリニカルパス | パス管理 | パス管理 | 評価の際、評価日をカレンダーから選択して入力できること。 |
| 6-1-4 | クリニカルパス | パスシート | | パスシート |
| 6-1-4-1 | クリニカルパス | パスシート | パスシート | パスカレンダーの内容を反映させて、パスシートを作成できること。また、パスシートはEXCEL形式で作成でき、利用者による加工ができること。 |
| 6-1-4-2 | クリニカルパス | パスシート | パスシート | パスシートは、医療者用向け/患者用向けの2種類が作成できること。 |
| 6-1-4-3 | クリニカルパス | パスシート | パスシート | 患者用のパスシートは、患者にわかりやすい文言に自動で変換して作成できること。 |
| 6-1-4-4 | クリニカルパス | パスシート | パスシート | 患者用のパスシートは、実際に適用するパスの内容を反映して作成できること。 |
| 6-1-4-5 | クリニカルパス | パスシート | パスシート | パスシートを入院診療計画書として使用できること。 |
| 6-2 | 日めくりパス | 日めくりパス | | 日めくりパス機能 |
| 6-2-1 | 日めくりパス | 日めくりパス | 日めくりパス | パスの内容を日単位で表示できること。(以下、「日めくりパス」とする) 日めくりパスとオーバービューは、容易な操作で相互に表示の切り替えができること。 |
| 6-2-2 | 日めくりパス | 日めくりパス | 日めくりパス | 日めくりパス表示時に、表示レンジを1時間または3時間を切り替えられること。 |
| 6-2-3 | 日めくりパス | 日めくりパス | 日めくりパス | 表示日のアウトカムおよびアセスメントが表示されること。 |
| 6-2-4 | 日めくりパス | 日めくりパス | 日めくりパス | 指示簿指示および外用用法・頓用用法の処方オーダは、カレンダーとは別の独立した表示エリアに表示されること。 |
| 6-3 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | | パスマスタ作成・メンテナンス機能 |
| 6-3-1 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パスごとに、適用基準・除外基準を設定できること。 また、適用基準・除外基準はマスタから選択、もしくはフリー入力による登録にも対応できること。 |
| 6-3-2 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パスごとに、終了基準を登録できること。 また、終了基準はマスタから選択、もしくはフリー入力による登録にも対応できること。 |
| 6-3-3 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 新規にパスマスタを作成する時に、他のパスを複写して作成できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|---------------|-----------------|-----------------|---|
| 6-3-4 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パスとして作成された内容は、アウトカムやバリアンスの管理をしないオーダセットとしても使用できること。 |
| 6-3-5 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス毎に、適応病名が設定できること。 また、パス適用時、適応病名が患者の病名に一致した場合はパス適用候補として表示されること。 |
| 6-3-6 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 縦軸(登録できる情報の種別)は、パスマスタの編集画面で編集できること。 |
| 6-3-7 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 標準で提供している在院日数などの横軸項目に加え、任意に経過日数を表示するための横軸項目を追加できること。 |
| 6-3-8 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | アウトカムおよびアセスメントは、事前に登録されたマスタから選択することにより、登録できること。 |
| 6-3-9 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パスに登録しようとしているアウトカムおよびアセスメントがマスタに無い場合、その都度アウトカムマスタへ追加した上でパスに登録できること。 ただし、マスタ登録を行える利用者は、マスタ更新権限を付与した利用者のみに行えること。 |
| 6-3-10 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パスを「共通」、「科別」にフォルダ分けして管理できること。 |
| 6-3-11 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 作成中のパスを「作成中」、「作成済」、「承認申請中」、「差し戻し」、「承認済」の5段階で管理できること。 |
| 6-3-12 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 「作成中」、「作成済」、「承認申請中」、「差し戻し」、「承認済」の状態で保存する際に、作成理由や変更理由などコメントを入力できること。 また、コメント入力においては定型文から選択でき、簡単な操作でコメント入力できること。 |
| 6-3-13 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パスの作成・承認権限は、職種毎に設定できること。 また、運用に応じて利用者単位でも設定ができること。 |
| 6-3-14 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 作成されたパスを一覧表示でき、一覧のCSV出力ができること。 |
| 6-3-15 | パス作成・メンテナンス | セット・パス内コード検索・更新 | セット・パス内コード検索・更新 | 指定した薬剤・材料を含むパスの一覧を作成できること。 |
| 6-3-16 | パス作成・メンテナンス | セット・パス内コード検索・更新 | セット・パス内コード検索・更新 | パス内に含まれる指定した薬剤・材料を、一括で置換できること。 |
| 6-3-17 | パス作成・メンテナンス | セット・パス内コード検索・更新 | セット・パス内コード検索・更新 | 薬剤・材料を一括更新した際の操作ログはCSVファイルに出力され、参照・管理ができること。 |
| 6-3-18 | パス作成・メンテナンス | セット・パス内コード検索・更新 | セット・パス内コード検索・更新 | パス、レジメン、セットに含まれるマスタ項目が含まれるものの検索をする機能が可能なこと、また結果については該当のパス、レジメン、セット画面を表示し内容を確認することが可能なこと。 |
| 6-3-19 | パス作成・メンテナンス | セット・パス内コード検索・更新 | セット・パス内コード検索・更新 | 上記の検索条件を設定する場合、薬剤、材料以外の属性についても条件設定することを可能とすること。 |
| 6-3-20 | パス作成・メンテナンス | セット・パス内コード検索・更新 | セット・パス内コード検索・更新 | パスに含まれるアウトカムについても検索条件として設定することが可能な機能を有すること。 |
| 6-3-21 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 電子カルテ上で利用するセットの情報を流用してパス作成ができること。 |
| 6-3-22 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成時に、パスに関連するレジメンを登録できること。 |
| 6-3-23 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | 関連付けたレジメンとパスを確認できる一覧をCSVファイルで出力できること。 |
| 6-3-24 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス・レジメン作成後、承認申請や差し戻しを行った場合担当者へその旨の内容をToDo機能で送信することが可能なこと。 |
| 6-3-25 | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | パス作成・メンテナンス | レジメン早見表については画面表示およびEXCELファイルへの出力が可能なこと。 |
| 6-4 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス機能 |
| 6-4-1 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | 患者の状態や診療イベントなどの単位で作成したプロセスを組み合わせ、1つのパスを構成できること。 |
| 6-4-2 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | 条件に応じてプロセスを分岐させるパスが作成できること。 |
| 6-4-3 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | パス作成時にプロセス情報が表示され、分岐図が確認ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|-----------------|-----------------|--------------|---|
| 6-4-4 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | パス作成時に、関連するプロセス情報の追加・編集ができること。 |
| 6-4-5 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | パス作成時に、他のパスに含まれるプロセスを複写して、新規にプロセスが登録できること。 |
| 6-4-6 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | パス適用時にプロセス情報が表示され、分岐図が確認ができること。 |
| 6-4-7 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | プロセス毎に、適用タイミングを選択できること。 |
| 6-4-8 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | 予定よりも早くプロセスを開始する場合、直前のプロセスと重複した期間に発行された、あるいはこれから発行される不要なオーダーは削除できること。 |
| 6-4-8 | プロセスパス | プロセスパス | プロセスパス | 次のプロセス開始時点で、直前のプロセスの継続指示（指示簿指示・看護指示）を自動的に指示止めできること。 |
| 6-5 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | | 患者パス適用一覧機能 |
| 6-5-1 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | パスの適用症例を一覧で表示できること。 |
| 6-5-2 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 表示対象を、診療科・病棟・パス名称・期間(入院中/入院日/退院日/適用期間)・対象種別(パスまたはレジメン・入外)・適用医師で絞り込めること。 |
| 6-5-3 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 上記絞り込み条件は、利用者毎に保存できること。 |
| 6-5-4 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 一覧には、以下の項目を表示すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者ID ・患者氏名 ・性別 ・年齢 ・パス管理コード ・パス名称 ・パスバージョン ・適用開始日 ・適用終了予定日 ・適用終了日 ・パス評価区分 ・アウトカム評価状態(未評価あり/評価済み) ・予定プロセス ・診療科 |
| 6-5-5 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 選択したパス適用症例について、パスカレンダーを表示できること。 |
| 6-5-6 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 選択したパス適用症例について、パス評価画面を表示できること。 |
| 6-5-7 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 選択したパス適用症例について、カルテ画面を表示できること。 |
| 6-5-8 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 患者パス適用一覧 | 選択したパス適用症例について、パス作成画面を表示できること。 |
| 6-6 | パス統計機能 | パス統計機能 | | パス統計機能 |
| 6-6-1 | パス統計機能 | パス統計機能 | パス統計機能 | 電子カルテシステム上で下記の統計データが表示できること。 <ul style="list-style-type: none"> ・診療科・病棟別のパス適用率 ・パスごとの適用件数、利用率、平均在院日数 ・バリエーション発生件数・発生率 ・オールバリエーション統計 |
| 6-6-2 | パス統計機能 | パス統計機能 | パス統計機能 | 複数のプロセスで構成されるパスについて、プロセス毎の適用率を集計できること。 |
| 6-6-3 | パス統計機能 | パス統計機能 | パス統計機能 | 統計画面からパスを選択し、そのパスが適用されている患者の一覧が参照できること。 |
| 6-6-4 | パス統計機能 | パス統計機能 | パス統計機能 | 統計画面からパス名をダブルクリックすることでパスカレンダーを表示できること。 |
| 6-6-5 | パス統計機能 | パス統計機能 | パス統計機能 | パス毎、プロセス毎にバリエーション理由の集計ができること。 |
| 6-6-6 | パス統計機能 | オールバリエーション統計 | オールバリエーション統計 | 統計対象にするパスは複数選択できること。 |
| 6-6-7 | パス統計機能 | オールバリエーション統計 | オールバリエーション統計 | 統計対象のパスの適用症例毎に、統計対象とするか選択できること。 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|------------|--------------------|--------------------|-------------|---|
| 6-6-8 | パス統計機能 | オールバリアンス統計 | オールバリアンス統計 | バリアンス理由毎に、設定されたバリアンス内容が一覧表示できること。 |
| 6-6-9 | パス統計機能 | オールバリアンス統計 | オールバリアンス統計 | バリアンス理由毎・バリアンス内容毎に、バリアンスが発生した相対日と登録件数が集計できること。 |
| 6-6-10 | パス統計機能 | オールバリアンス統計 | オールバリアンス統計 | バリアンス理由毎・バリアンス内容毎・バリアンス発生日毎に、適用症例の一覧が表示できること。 |
| 6-6-11 | パス統計機能 | オールバリアンス統計 | オールバリアンス統計 | バリアンス登録された内容は、CSV形式で出力できること。 |
| 6-7 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | | 患者説明用資料印刷機能 |
| 6-7-1 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | パス適用患者に対して、患者説明用資料としてパスシートを作成できること。また、入院診療計画書に活用でき、パス未適用患者と同一の入院診療計画書管理画面で一元管理ができること。 |
| 6-7-2 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | パス作成時に患者説明用資料と入院診療計画書の雛形を作成できること。 |
| 6-7-3 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | パス作成時にパスに関連する説明書などの文書類を登録することができること。 |
| 6-7-4 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | 患者説明用資料印刷機能 | パス適用時に患者向け説明資料に印字される文言は事前に設定できること。 |

7章 統合部門ライブラリ

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|---------------------|--------------|---|
| 7-1 | 手術部門 | | | 手術部門システム |
| * | 手術部門 | (機能概要) | | 手術部門での手術予約調整、受付業務、実施入力を一連でサポートする部門機能を電子カルテシステムの機能として提案すること。 各業務の詳細については、以下の項目について回答すること。 |
| 7-1-1 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | | 手術申込み一覧/予約調整 |
| 7-1-1-1 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術部門で医師より申し込まれた手術予約のスケジュール調整、確定を行える機能を有すること。 予約調整を行う指示は一覧で表示され、指示の詳細(診療科、病名、術式、希望の手術室など)が確認できること。また、この機能は電子カルテシステム内の機能として提案すること。 |
| 7-1-1-2 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 予約状況は、手術室毎で日付/時間が表示されるカレンダー形式とし、既に予約決定している情報を表示して予約状況の把握ができること。 |
| 7-1-1-3 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 予約状況を表示したカレンダーは、表示開始日を指定でき、過去、未来へ切り替えができること。 |
| 7-1-1-4 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 予約状況を表示したカレンダーに表示する日数(例:1日表示、3日表示、5日表示など)と時間帯(例:09:00~18:00)は任意で指定できること。 |
| 7-1-1-5 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 既に予約が決定している指示は、カレンダー上に当該日付けの○時~○時まで予約が決定していることが表現できるように工夫すること。 |
| 7-1-1-6 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 上記の予約決定済み指示は、カレンダーから詳細な指示内容を容易な操作で表示できること。 |
| 7-1-1-7 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 予約決定済みの指示は、カレンダー上で変更、削除、スタッフ登録、参照が容易にできること。 |
| 7-1-1-8 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 表示する帯データを選択することで当該手術オーダのスタッフ(執刀医、助手、主治医、直接看護師、間接看護師、麻酔医、麻酔指導医)の登録ができること。 |
| 7-1-1-9 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 予約状況を表示したカレンダーとこれから予約調整を行うオーダ(手術申込み一覧)は同じ画面に一覧で表示できること。 |
| 7-1-1-10 | 手術部門 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧/予約調整 | 手術申込み一覧の日付検索は検索基準日の設定ができること。 手術申込み一覧の日付検索は単日、期間指定による検索表示ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|------------------|------------------|--|
| 7-1-1-11 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧では、患者IDの入力により手術申込みオーダの検索ができること。 |
| 7-1-1-12 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧(手術日、患者氏名、術式等)が基準日単位やオーダ番号順で表示できること。 |
| 7-1-1-13 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術予定週間一覧画面上で一覧の印刷ができること。 |
| 7-1-1-14 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術予約調整画面では一覧最新表示は自動更新ができること。また自動更新のタイミングは病院で任意に設定が変更できること。 |
| 7-1-1-15 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧より患者のカルテを表示できること。 |
| 7-1-1-16 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込オーダにて、術後管理(日帰り手術、リハビリ室、ICU等)の入力ができること。 |
| 7-1-1-17 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術予約調整画面起動時、最新の内外区分・診療科・病棟・保険が表示されること。 |
| 7-1-1-18 | 手術部門 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 手術申込み一覧/ 予約調整 | 中止や申し込みが削除された手術申込の情報も一覧で確認ができること。 また、削除や中止の情報の表示・非表示が選択できること。 |
| 7-1-2 | 手術部門 | 手術予約確定 | | 手術予約確定 |
| 7-1-2-1 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約調整一覧より予約調整の確定を行いたい患者を選択することで、予約確定時に必要な情報を入力できること。 |
| 7-1-2-2 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約調整確定を行う画面には、患者の感染情報を表示できること。 |
| 7-1-2-3 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約確定を行う際に、手術申込みオーダ時の情報はすべて自動取込みされ表示できること。また確定入力時に各項目の変更ができること。 |
| 7-1-2-4 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約確定情報として以下の項目を入力できること。 ・搬入時間 ・所要時間 ・手術前時間、手術後時間(麻酔) ・手術所用時間 ・手術室 ・感染症有無 ・術式 ・手術機材 |
| 7-1-2-5 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 術式の変更、追加、削除が選択形式で入力できること。またフリー入力での術式入力もできること。 |
| 7-1-2-6 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 手術時に使用する各種機器など(診療材料、鋼製小物、借用器材、準備器材、準備輸液)を入力できること。また予めマスタ設定することで画面上より容易に選択入力できること。 |
| 7-1-2-7 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 手術時に使用する各種機器など(診療材料、鋼製小物、借用器材、準備器材、準備輸液)の入力を軽減するために術式ごとにセット登録ができること。 |
| 7-1-2-8 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約調整入力を行った場合は、電子カルテに実施者、実施日、実施時間の情報が自動転記され、記録として保存できること。 |
| 7-1-2-9 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約調整入力の取消しを行った場合は、履歴を持たせること。特に取消し履歴は、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。 |
| 7-1-2-10 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約調整確定を行う画面から、電子カルテを表示できること。 |
| 7-1-2-11 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 手術時間未定の状態で他の予約項目を入力し、仮予約ができること。 |
| 7-1-2-12 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 手術室(予約枠)未定の状態で他の予約項目を入力し、仮予約ができること。 |
| 7-1-2-13 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約確定情報として以下の項目を入力できること。 ・スタッフ |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|---------------|-------------|---|
| 7-1-2-14 | 手術部門 | 手術予約確定 | 手術予約確定 | 予約確定情報として以下の項目を修正できること。 申込区分の修正が可能 |
| 7-1-2-15 | 手術部門 | 手術月間カレンダー | 手術月間カレンダー | 手術の予約状況をカレンダー形式で表示することが可能なこと。表示する内容は入外区分、診療科、手術室、医師名を検索条件として指定することが可能なこと。また条件については保存することが可能なこと。 |
| 7-1-2-16 | 手術部門 | 手術月間カレンダー | 手術月間カレンダー | 手術月間カレンダー画面で表示されている内容をエクセル形式のファイルで出力可能なこと。 |
| 7-1-3 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付 |
| 7-1-3-1 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術部門の受付では、医師より指示されたオーダ内容の確認と患者の受付処理ができること。 |
| 7-1-3-2 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術が指示され、予約が確定している患者を一覧表示できること。一覧には入外、患者氏名、依頼診療科、術式の指示の内容が表示されること。 |
| 7-1-3-3 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 患者の受付ステータスを把握し、効率的な受付業務ができるように、「未受付、受付済、実施済」などの現在の受付ステータスを自動的に更新し、表示できること。 |
| 7-1-3-4 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧の日付検索は単日の日付け指定、期間指定ができること。 |
| 7-1-3-5 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧では患者IDの入力により予約確定したオーダの検索ができること。また受付当日より以前のオーダ、受付当日より以降のオーダを検索できること。 |
| 7-1-3-6 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧の検索は受付ステータス(未受付・受付済・実施済・全て)によるデータ絞りこみができること。 |
| 7-1-3-7 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧の検索では、診療科、病棟、入外区分によりデータ絞りこみができること。 |
| 7-1-3-8 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧で設定した検索条件を利用者毎に保存ができること。 |
| 7-1-3-9 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧のソート順の変更と利用者毎にソート順の条件保存ができること。 |
| 7-1-3-10 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧の一覧最新表示は、自動更新ができること。また自動更新のタイミングは任意に設定が変更できること。 |
| 7-1-3-11 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 指示内容を確認しながら受付処理ができること。 |
| 7-1-3-12 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 患者の受付時に手術室の受付担当者、病棟から患者を搬送した引渡担当者の入力ができること。 |
| 7-1-3-13 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 受付を行う際に、受付済みの患者・実施済みの患者・他端末にてカルテ記載中の患者に対して警告メッセージを表示できること。 |
| 7-1-3-14 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 指示内容を確認しながら受付票印刷ができること。 |
| 7-1-3-15 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧より受付票印刷を行う患者を複数選択し、一括で受付票印刷ができること。 |
| 7-1-3-16 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧より一覧データを選択することなく、一括で全データの受付票印刷ができること。 |
| 7-1-3-17 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧の印刷ができること。 |
| 7-1-3-18 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 受付一覧や受付票は印刷部数の指定ができること。 |
| 7-1-3-19 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧の情報をファイル出力できること。 |
| 7-1-3-20 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧より患者のカルテを表示ができること。 |
| 7-1-3-21 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧より患者の手術看護記録の表示ができること。 |
| 7-1-3-22 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧での受付機能について利用者毎に操作権限を付与できること。 |
| 7-1-3-23 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 手術受付一覧で外来予約患者の来院状態が確認できること。 |
| 7-1-3-24 | 手術部門 | 手術受付 | 手術受付 | 患者単位の当日検査一覧を参照できること。 |
| 7-1-4 | 手術部門 | 手術実施入力 | | 手術実施入力 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|------|--------|--------|---|
| 7-1-4-1 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術部門で受付した患者を一覧表示し、手術実施後に実施入力できること。また、この機能は電子カルテシステム内の機能として提案すること。 |
| 7-1-4-2 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術が実施される患者を一覧表示できること。一覧には入外、患者氏名、依頼診療科、手術申込み時の術式名が表示されること。 |
| 7-1-4-3 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 患者の実施ステータスを把握し、効率的な実施ができるように、「未受付、受付済、実施済」などの現在の実施ステータスを自動的に更新し、表示できること。 |
| 7-1-4-4 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧の日付検索は単日の日付け指定、期間指定ができること。 |
| 7-1-4-5 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧では患者IDの入力により手術受付したオーダの検索ができること。また当日より以前のオーダ、受付当日より以降のオーダを検索できること。 |
| 7-1-4-6 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧の検索は受付ステータス(未受付・受付済・実施済み・すべて)によるデータ絞りこみができること。 |
| 7-1-4-7 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧の検索は診療科、病棟、入外区分によりデータ絞りこみができること。 |
| 7-1-4-8 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧で設定した検索条件を利用者毎に保存ができること。 |
| 7-1-4-9 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧のソート順の変更と利用者毎にソート順の条件保存ができること。 |
| 7-1-4-10 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術受付一覧の一覧最新表示は自動更新ができること。また自動更新のタイミングは任意に設定が変更できること。 |
| 7-1-4-11 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施を行う際に、他端末にてカルテ記載中の患者を選択した場合には、警告メッセージが表示できること。 |
| 7-1-4-12 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧より実施箋印刷を行う患者を複数選択し、一括で実施箋印刷ができること。 |
| 7-1-4-13 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧より全データの実施箋印刷ができること。 |
| 7-1-4-14 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術の実施入力画面には、患者基本情報(氏名、ID番号、年齢、感染症情報など)や医師からの手術申込み内容、予約調整時の追加術式や追加材料などを取り込み、表示できること。また実施入力時に内容の変更・追加・削除ができること。 |
| 7-1-4-15 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術を実施した手術室、手術室入退出時間、麻酔時間、手術時間の実施入力ができること。 |
| 7-1-4-16 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施した手術の緊急度を選択できること。 |
| 7-1-4-17 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術を実施したスタッフ(執刀医、助手、主治医、直接看護師、間接看護師、麻酔医、麻酔指導医)の登録ができること。 |
| 7-1-4-18 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術の実施入力として以下の項目を選択入力形式で入力ができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・術式 ・手術加算 ・使用薬品、注射 ・手術材料 ・手術検査 ・手術処置 ・麻酔種別、閉鎖循環式全身麻酔、麻酔加算、麻酔使用薬剤 また入力負荷軽減の為、以下の項目はバーコードによる入力ができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・手術材料 ・手術機材 |
| 7-1-4-19 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施入力では執刀医、麻酔医、看護師など複数者による実施入力が必要であるため、一部実施ができること。 |
| 7-1-4-20 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施入力では最終確定時は最終確認者を入力し、承認記録を残せること。 |
| 7-1-4-21 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施入力を完了した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 7-1-4-22 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施入力を完了した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|--------------------|-------------|--|
| 7-1-4-23 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施入力の取消しを行った場合は、履歴を持たせること。特に取消し履歴は、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。 |
| 7-1-4-24 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 緊急手術などの場合、後日のオーダ入力できること。 |
| 7-1-4-25 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧の印刷ができること。 |
| 7-1-4-26 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧や実施箋は印刷部数の指定ができること。 |
| 7-1-4-27 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧の情報をファイル出力できること。 |
| 7-1-4-28 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧より患者のカルテを表示できること。 |
| 7-1-4-29 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧より患者の手術看護記録を表示できること。 |
| 7-1-4-30 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧より患者の手術レポートを表示できること。 |
| 7-1-4-31 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施一覧での実施機能について利用者毎に操作権限を付与できること。 |
| 7-1-4-32 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 術後管理(日帰り手術、リカバリ室、ICU等)が選択できること。 |
| 7-1-4-33 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施確定時にロット管理対象の薬品器材を選択している場合、ロット番号入力画面に遷移し、ロット番号入力ができること。 |
| 7-1-4-34 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施入力の修正を行った場合は、履歴を持たせること。特に修正履歴は、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。 |
| 7-1-4-35 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施入力の修正を行った場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 7-1-4-36 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 実施した手術術式の登録ができること。(術式毎に「部位」「左右」「体位」が登録できること。) |
| 7-1-4-37 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術の実施情報は、患者基本情報の手術歴情報を自動的に更新できること。 |
| 7-1-4-38 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施時のコメントを入力できること。またフリー入力もできること。 |
| 7-1-4-39 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施時に患者プロフィールの手術歴情報を更新することができること。 |
| 7-1-4-40 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施時に患者プロフィールの手術歴情報を更新することができること。 |
| 7-1-4-41 | 手術部門 | 手術実施入力 | 手術実施入力 | 手術実施画面起動時、最新の入外区分・診療科・病棟・保険が表示されること。 |
| 7-2 | 生理部門 | | | 生理検査部門システム |
| * | 生理部門 | (機能概要) | | 生理検査部門での受付業務、実施入力を一連でサポートする部門機能を電子カルテシステムの機能として提案すること。 各業務の詳細については、以下の項目について回答すること。 |
| 7-2-1 | 生理部門 | 生理検査受付/受付一覧 | | 生理検査受付/受付一覧 |
| 7-2-1-1 | 生理部門 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理部門受付業務にて医師より指示されたオーダ内容の確認と、患患者の受付処理ができる機能を有すること。また、この機能は電子カルテシステム内の機能として提案すること。 |
| 7-2-1-2 | 生理部門 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理オーダが指示されている患者を一覧表示できること。一覧には実施日、開始時間、緊急区分、患者ID、患者氏名、年齢、性別、検査種別、依頼科、依頼医の内容が表示されること。 |
| 7-2-1-3 | 生理部門 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理受付一覧では、指示のステータスを把握し、効率的な誘導ができるように、「未受付、受付済、実施済」などの現在の検査ステータスを自動的に更新し、表示できること。 |
| 7-2-1-4 | 生理部門 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理受付一覧の最新表示は自動更新し、自動で指示を取り込めること。また、自動更新のタイミングは病院で任意に設定変更できること。 |
| 7-2-1-5 | 生理部門 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理検査受付一覧の日付、期間入力によるオーダの検索ができること。 |
| 7-2-1-6 | 生理部門 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理検査受付/受付一覧 | 生理受付一覧では患者IDの入力により予約確定したオーダの検索ができること。また、受付当日より以前のオーダ、受付当日より以降のオーダを検索できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|------|---------------------|---------------------|--|
| 7-2-1-7 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧では、受付ステータスによるデータ絞りこみができること。 |
| 7-2-1-8 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧では、生理検査オーダ種別の絞りこみができること。 |
| 7-2-1-9 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧で、各種検索条件を利用者毎に条件保存ができること。 |
| 7-2-1-10 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧のソート順の変更と利用者毎にソート順の条件保存ができること。 |
| 7-2-1-11 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 患者の指示内容を確認しながら受付ができること。 |
| 7-2-1-12 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 受付業務画面に患者の感染症情報が表示できること。 |
| 7-2-1-13 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 受付を行う患者を複数選択し一括で受付できること。 |
| 7-2-1-14 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧に表示されている患者を全選択し、一括で受付票の印刷ができること。 |
| 7-2-1-15 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査受付一覧にて受付の取消を行えること。 |
| 7-2-1-16 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧に表示されている患者を全選択し、一括取消ができること。 |
| 7-2-1-17 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 受付済み・実施済み・他端末にてオーダ情報を更新中の場合は、警告区メッセージを表示し、受付更新を行わないこと。 |
| 7-2-1-18 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 患者のカルテを開くことなく一覧表示されている当該オーダを修正できること。 |
| 7-2-1-19 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧にて受付の取消ができること。 |
| 7-2-1-20 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 受付の取消しを行った場合は、履歴を持たせること。特に取消し履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。 |
| 7-2-1-21 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧での受付は利用者毎に操作権限を付与できること。 |
| 7-2-1-22 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 患者の指示内容を確認しながら受付票を印刷できること。 |
| 7-2-1-23 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧にて複数の患者を選択し、一括で受付票印刷ができること。 |
| 7-2-1-24 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧に表示されている患者を全選択し、一括で受付票の印刷ができること。 |
| 7-2-1-25 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧にて複数の患者を選択し、一括で受付票印刷ができること。 |
| 7-2-1-26 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧に表示されている患者を全選択し、一括で受付票の印刷ができること。 |
| 7-2-1-27 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧の印刷ができること。 |
| 7-2-1-28 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 受付票の印刷は印刷部数の指定ができること。 |
| 7-2-1-29 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧の情報をファイル出力できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------------|-------------|------------------------------|---------------------|--|
| 7-2-1-30 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧より患者のカルテを表示できること。 |
| 7-2-1-31 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 患者単位の当日検査一覧を参照できること。 |
| 7-2-1-32 | 生理部門 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理検査 受付/受付 一覧 | 生理受付一覧で外来予約患者の来院状態を確認できること。 |
| 7-2-2 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | | 生理検査実施/実施一覧 |
| 7-2-2-1 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理受付業務にて受付された患者を一覧で確認でき、実施入力ができること。 |
| 7-2-2-2 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査受付をしている患者を一覧表示できること。一覧には実施日、開始時間、緊急区分、患者ID、患者氏名、年齢、性別、検査種別、依頼科、依頼医の内容が表示されること。 |
| 7-2-2-3 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧では指示の実施ステータスを把握し、効率的な誘導ができるように、「未受付、受付済、実施済」などの現在の検査ステータスを自動的に更新し、表示できること。 |
| 7-2-2-4 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧では、日付、期間によるオーダの検索ができること。 |
| 7-2-2-5 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧では、患者ID患者IDの入力により予約確定したオーダの検索ができること。また、実施当日より以前のオーダ、実施当日より以降のオーダを検索できること。 |
| 7-2-2-6 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧では検索期間との組み合わせで伝票種別、依頼診療科、依頼病棟での絞り込みができること。 |
| 7-2-2-7 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧では実施ステータスによるデータ絞りこみができること。 |
| 7-2-2-8 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 他端末にてオーダ情報を参照中の場合は、実施画面起動時に警告メッセージを表示すること。 |
| 7-2-2-9 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧のソート順の変更と、利用者毎にソート順の条件保存ができること。 |
| 7-2-2-10 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧で各種検索条件を利用者毎に条件保存ができること。 |
| 7-2-2-11 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧の最新表示は自動更新ができること。また、自動更新のタイミングは病院で任意に設定が変更できること。 |
| 7-2-2-12 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 患者の指示内容を確認しながら実施ができること。 |
| 7-2-2-13 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 患者のカルテを開くことなく、一覧表示されている当該オーダを修正できること。 |
| 7-2-2-14 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力の画面には、患者基本情報(実施日、オーダ番号、患者ID、氏名など)が表示できること。 |
| 7-2-2-15 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力の画面には、医師からの指示内容、シエマ図を表示できること。また、実施入力時に指示内容の変更、追加、削除ができること。 |
| 7-2-2-16 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力の画面に、身長/体重、感染症情報などの患者基本情報を表示できること。 |
| 7-2-2-17 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施時に入外区分・診療科・病棟・保険の変更ができること。 |
| 7-2-2-18 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力の画面に緊急指示が識別できるように表示できること。 |
| 7-2-2-19 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施日当日の他の検査の一覧表示と内容の確認ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------|------|---------------------|---------------------|--|
| 7-2-2-20 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施では実施者、実施検査室を記録として電子カルテに保存できること。 |
| 7-2-2-21 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 検査の際に使用した薬品、器材を選択入力できること。 |
| 7-2-2-22 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 検査時の薬品と器材についてはセット化できること。 |
| 7-2-2-23 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 検査方法によって検査器材(薬品、器材)のデフォルト設定を行えること。 |
| 7-2-2-24 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 撮影時のコメントを定型コメントより選択入力できること。また、フリー入力もできること。 |
| 7-2-2-25 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施時に検査方法(手技)が変更になった場合、検査変更(手技)の変更、追加、削除ができること。 |
| 7-2-2-26 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力内容を反映した実施箋を印刷できること。 |
| 7-2-2-27 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力を完了した場合は、その情報が即時に医事会計システムへ送信されること。 |
| 7-2-2-28 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力を完了した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 7-2-2-29 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力後に実施内容の取消ができること。 |
| 7-2-2-30 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力を完了した場合は、その情報が実施記録として電子カルテに即時に記録されること。 |
| 7-2-2-31 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力後に実施内容の取消ができること。 |
| 7-2-2-32 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施入力の取消しを行った場合は、履歴を持たせること。特に取消し履歴は、版数管理を行い、いつ・だれが・どのような変更を行ったのか、すべての履歴を電子カルテに残すこと。 |
| 7-2-2-33 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 実施が終了した指示は、事後修正、事後削除によるデータ修正ができること。 |
| 7-2-2-34 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧にて患者を複数選択し、一括で受付票印刷ができること。 |
| 7-2-2-35 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧に表示されている患者を全選択し、一括で受付票の印刷ができること。 |
| 7-2-2-36 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧にて複数の患者を選択し、一括で生理実施箋印刷ができること。 |
| 7-2-2-37 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧に表示されている患者を全選択し、一括で生理実施箋の印刷ができること。 |
| 7-2-2-38 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧の印刷ができること。 |
| 7-2-2-39 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 受付票、実施箋などの印刷は、印刷部数の指定ができること。 |
| 7-2-2-40 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧の情報をファイル出力できること。 |
| 7-2-2-41 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧より患者のカルテを表示できること。 |
| 7-2-2-42 | 生理部門 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理検査 実施/実施 一覧 | 生理実施一覧より、当該オーダの生理レポートツールの起動とレポート記載ができること。 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-----------------|--------------|------------------|-------------|--|
| 7-2-2-43 | 生理部門 | 生理検査実施/実施一覧 | 生理検査実施/実施一覧 | 実施入力後に生理実施一覧より、実施内容の削除ができること。 |
| 7-2-2-44 | 生理部門 | 生理検査実施/実施一覧 | 生理検査実施/実施一覧 | 過去に実施入力した撮影技師を検索し、リスト表示できること。 |
| 7-2-3 | 生理部門 | 統計機能 | 歴一覧 | 統計機能 |
| 7-2-3-1 | 生理部門 | 統計機能 | 歴一覧 | 患者IDと期間の指定を行って、生理検査の履歴を表示できること。 |
| 7-2-3-2 | 生理部門 | 統計機能 | 歴一覧 | 生理歴を印刷できること。 |
| 7-2-3-3 | 生理部門 | 統計機能 | 歴一覧 | 生理歴をファイル出力できること。 |
| 7-2-3-4 | 生理部門 | 統計機能 | 検査予約状況一覧 | 期間指定を行って、検査の予約状況を一覧表示できること。複数枠が一覧で確認できること。また、一覧表は印刷、ファイル出力ができること。 |
| 7-2-3-5 | 生理部門 | 統計機能 | 検査予約状況一覧 | 期間、生理検査種別、予約枠、依頼科、病棟を指定し、生理検査の予定一覧を表示できること。また、一覧は印刷、ファイル出力ができること。 |
| 7-2-3-6 | 生理部門 | 統計機能 | 検査予定一覧 | 期間、生理検査種別、依頼科を指定して統計を一覧表示できること。 |
| 7-2-3-7 | 生理部門 | 統計機能 | 生理検査統計 | 生理検査統計を印刷できること。 |
| 7-2-3-8 | 生理部門 | 統計機能 | 生理検査統計 | 生理検査統計をファイル出力できること。 |
| 8章 データ移行 | | | | |
| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
| 8-1 | データ移行 | 基本事項 | | 基本事項 |
| * | | | | 電子カルテシステムからのデータ移行に関しては、以下の要件を満たすこと。 |
| 8-1-1 | データ移行 | 基本事項 | 基本事項 | 既存電子カルテシステムの全てのデータ、マスタ等を今回導入する電子カルテシステムに移行できること。（詳細な移行対象は12-2で示す） 移行作業は当院職員に大きな負担をかけることなく、安全かつ確実に移行して、病院業務に支障を来さないこと。 なお、既存データの移行作業費用は、応札ベンダーの負担と責任において行うこと。 |
| 8-1-2 | データ移行 | 基本事項 | 基本事項 | 移行スケジュール、移行方法及び確認方法等は、当院と十分協議のうえ移行計画（ハードウェア・ソフトウェアを含む）を決定すること。 |
| 8-2 | データ移行 | 電子カルテシステム | | 電子カルテシステム |
| 8-2-1 | データ移行 | 全般 | 全般 | 既存電子カルテシステムの全てのデータ、マスタ等を今回導入する電子カルテシステムに移行できること。移行対象データを下記に示す。 なお、今回導入する電子カルテシステムへ移行されたデータについては、電子保存の三原則を技術的に担保することが望ましいが、それが技術的に困難である場合、電子保存の三原則を担保する形で継続的に利用する方法をシステム導入ベンダーは提案すること。 |
| 8-2-2 | データ移行 | 全般 | 全般 | 過去のカルテ情報が今回導入する電子カルテシステムで参照できること。今回導入する電子カルテシステムで参照する形式については、今回導入する電子カルテシステム側の形式で良いこととするが、移行したデータは診療録として取り扱うこととなるため、厚生労働省の定めるところの、電子カルテの三原則について応札ベンダーが責任を持って満たすこと。 |
| 8-2-3 | データ移行 | 全般 | 全般 | 既存電子カルテシステムで作成されたカルテ記事、オーダ、文書について、作成者、作成日時、版数の情報を漏れなく全件移行すること。 |
| 8-2-4 | データ移行 | 全般 | 全般 | 既存電子カルテシステムで更新されたカルテ記事、オーダ、文書について、更新者、更新日時、版数の情報を漏れなく全件移行すること。 |
| 8-2-5 | データ移行 | 全般 | 全般 | 既存電子カルテシステムで削除されたカルテ記事、オーダ、文書について、削除者、削除日時、版数の情報を漏れなく全件移行すること。 |
| 8-2-6 | データ移行 | 全般 | 権限移譲 | 権限委譲された利用者が記載したカルテ記事、オーダについて、代行人力者、承認者、承認状況が全件移行されること。また、未承認のものは今回導入する電子カルテシステム上で承認処理ができること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-------|------|------------------|---|
| 8-2-7 | データ移行 | 患者情報 | 患者情報 | 既存電子カルテシステムに保存されている患者情報について下記項目について漏れなく全件移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照及び更新できること。なお、履歴を持っているものについてはその履歴についても移行すること。 ・基本情報 ・保険情報 ・受診歴 ・入院歴 ・制限患者情報 ・患者プロフィール情報 ・アナムネ情報（看護プロフィール情報） |
| 8-2-8 | データ移行 | 患者情報 | 移動情報 | 既存電子カルテシステムに保存されている移動情報について下記項目について漏れなく全件移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照及び更新できること。また、履歴についても移行すること。 ・移動歴 ・入院中患者情報 ・ベッドコントロール ・ベッドキーブ ・入院連絡情報 |
| 8-2-9 | データ移行 | 診療支援 | 患者掲示板 | 患者掲示板に記載された内容について全件移行すること。 |
| 8-2-10 | データ移行 | 診療支援 | 受付情報 | 既存電子カルテシステムに保存されている受付情報について全件移行すること。 |
| 8-2-11 | データ移行 | 診療支援 | 付箋 | 既存電子カルテシステムに保存されているカルテ記事、オーダ伝票に貼付された付箋情報を全件移行すること。 |
| 8-2-12 | データ移行 | 診療支援 | セット | 既存電子カルテシステムに登録されているセット情報（患者別、利用者別、診療科別、病院共通）について、全件移行し、今回導入する電子カルテシステムで利用できること。システムが更新されるためにプログラムなどによるシステムの移行が困難な場合は応札ベンダー作業による手入力を行い、当院職員の負荷軽減を図ること。 |
| 8-2-13 | データ移行 | 診療支援 | レジメン | 既存電子カルテシステムに保存されているレジメン情報（レジメン名称、有効期間）、作成状態（作成中、承認待ち、承認済）、管理情報（作成者名、作成日時、作成者職種、更新者名、更新日時、更新者職種、承認者名、承認日時、承認者職種）、オーダについて、全件移行すること。また既存電子カルテシステムでレジメン適用中患者に対して、今回導入する電子カルテシステムでもレジメンの再登録なく当日実施確認、調製、施行ができること。システムが更新されるためにプログラムなどによるシステムの移行が困難な場合は応札ベンダー作業による手入力を行い、当院職員の負荷軽減を図ること。 |
| 8-2-14 | データ移行 | 診療支援 | パス | 既存電子カルテシステムに保存されているパス情報（パス名称、有効期間、標準適用日数）、作成状態（作成中、承認待ち、承認済）、管理情報（作成者名、作成日時、作成者職種、更新者名、更新日時、更新者職種、承認者名、承認日時、承認者職種）、アウトカム、オーダについて、全件移行すること。また、既存電子カルテシステムで患者に適用されているパス情報を今回導入する電子カルテシステムで更新、評価の入力が継続してできること。システムが更新されるためにプログラムなどによるシステムの移行が困難な場合は応札ベンダー作業による手入力を行い、当院職員の負荷軽減を図ること。 |
| 8-2-15 | データ移行 | 診療支援 | パス統計 | 既存電子カルテシステム上で集計されている下記統計データを今回導入する電子カルテシステムでも継続して参照できること。 ・診療科・病棟別のパス適用率 ・パスごとの適用件数、利用率、平均在院日数 ・バリエーション発生件数・発生率 |
| 8-2-16 | データ移行 | 診療支援 | 利用者間情報伝達（お知らせ情報） | 既存電子カルテシステムに保存されているお知らせ情報について全件移行すること。 ・作成者、作成日時 ・送信者、お知らせ内容、お知らせ先、未読既読情報 |
| 8-2-17 | データ移行 | 診療記録 | 診療記録 | 既存電子カルテシステムに保存された全てのデータ（テキスト、画像）が今回導入する電子カルテシステムにおいても三原則に基づき、既存システムと同様の履歴表示、表示形式、記述形式、検索表示形式を継承できること。また、代行入力・承認情報およびカウンタサインの入力・承認情報も表示できること。 |
| 8-2-18 | データ移行 | 診療記録 | 症状詳記 | 既存電子カルテシステムに保存されている症状詳記について漏れなく全件移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照及び更新できること。また、履歴についても移行すること。 |
| 8-2-19 | データ移行 | 診療記録 | コンテンツ | 既存電子カルテシステムに登録されたMS-Word、MS-Excelで作成した文書、シエマ、テンプレートについて、全件移行し、今回導入する電子カルテシステムで利用できること。また、文書、テンプレート内の予約語もあわせて移行できること。 |
| 8-2-20 | データ移行 | 診療記録 | Excelチャート | 既存電子カルテシステムに保存されたExcelチャートについて、Excelデータ、作成者、作成日時、更新者、更新日時が全件移行できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-------|------|----------|--|
| 8-2-21 | データ移行 | 診療記録 | 退院サマリ | 既存電子カルテシステムで入力された退院サマリについて、入力内容、作成者、承認者、承認状況を全件移行すること。 また、既存電子カルテシステムで作成途中の退院サマリについて、今回導入するシステム移行後にサマリの作成が継続でき、承認処理まで行えること。 |
| 8-2-22 | データ移行 | 診療記録 | カルテ印刷 | 既存電子カルテシステムに保存されたカルテ印刷について、印刷履歴を全件移行できること。 |
| 8-2-23 | データ移行 | 診療記録 | カウンターサイン | 研修医が入力したカルテ記事、オーダにおいて、研修医、指導医、承認状況、コメントが全件移行できること。未承認のものは今回導入する電子カルテシステム上で承認や差し戻し、コメントの入力ができること。 |
| 8-2-24 | データ移行 | オーダ | 共通 | 既存電子カルテシステムに保存されている下記（13-2-25～13-2-58）のオーダ情報について過去分、今回導入する電子カルテシステム稼働日以降の未来分を含む全てのデータを移行し、今回導入するシステムで参照及び更新ができること。 |
| 8-2-25 | データ移行 | オーダ | 共通 | 既存電子カルテで修正・削除・複写が可能なオーダは今回提案する電子カルテシステムでも修正・削除・複写が可能な状態で移行すること。 |
| 8-2-27 | データ移行 | オーダ | 再診予約 | 既存電子カルテシステムに保存されている診察予約オーダ情報について、全件移行すること。 （オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること） ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受け日時、指示確認者、指示確認日時 ・予約枠情報、予約日時、コメント |
| 8-2-28 | データ移行 | オーダ | 他科診察予約 | 既存電子カルテシステムに保存されている他科診察予約情報について、全件移行すること。 （オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること。） ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） ・予約枠情報、予約日時、シエマを含む依頼内容、シエマを含む回答内容 |
| 8-2-29 | データ移行 | オーダ | 処方 | 既存電子カルテシステムに保存されている処方オーダ情報について、全件移行すること。 （オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること） ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-30 | データ移行 | オーダ | 持参薬報告 | 既存電子カルテシステムに保存されている持参薬報告情報について、全件移行すること。 （オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること） ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-31 | データ移行 | オーダ | 注射 | 既存電子カルテシステムに保存されている注射オーダ情報について、全件移行すること。 （オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること） ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-32 | データ移行 | オーダ | 抗がん剤注射 | 既存電子カルテシステムに保存されている抗がん剤注射オーダ情報について、全件移行すること。 （オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること） ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-------|-----|-------|---|
| 8-2-33 | データ移行 | オーダ | 処置 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている処置オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 ・処置行為、使用薬品、使用材料、数量、単位、コメント |
| 8-2-34 | データ移行 | オーダ | 検体検査 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている検体検査オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 ・検査項目、検査材料、コメント |
| 8-2-35 | データ移行 | オーダ | 細菌検査 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている細菌検査オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-36 | データ移行 | オーダ | 輸血検査 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている輸血検査オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 ・検査項目、検査材料、コメント |
| 8-2-37 | データ移行 | オーダ | 病理 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている病理検査オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-38 | データ移行 | オーダ | 生理検査 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている生理検査オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 ・検査項目、コメント |
| 8-2-39 | データ移行 | オーダ | 内視鏡検査 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている内視鏡検査オーダ情報 (検査、コメント等) について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-40 | データ移行 | オーダ | 放射線検査 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている放射線検査オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-------|-----|-------|--|
| 8-2-41 | データ移行 | オーダ | 輸血 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている輸血オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 ・依頼血液型、使用予定日、使用場所、製剤種、同意書取得 |
| 8-2-42 | データ移行 | オーダ | 手術 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている手術オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-43 | データ移行 | オーダ | リハビリ | <p>既存電子カルテシステムに保存されているリハビリオーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-44 | データ移行 | オーダ | 血液浄化 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている血液浄化オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-45 | データ移行 | オーダ | 入院 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている入院オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・入院病名、入院目的、推定入院期間、入院日時、入院診療科、入院病棟/病室/病床、 |
| 8-2-46 | データ移行 | オーダ | 退院 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている退院オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 |
| 8-2-47 | データ移行 | オーダ | 転棟 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている転棟オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 |
| 8-2-48 | データ移行 | オーダ | 転科 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている転科オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) |
| 8-2-49 | データ移行 | オーダ | 外泊・帰院 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている外泊・帰院オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 |
| 8-2-50 | データ移行 | オーダ | 担当変更 | <p>既存電子カルテシステムに保存されている担当変更オーダ情報について、全件移行すること。 (オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-------|---------|------------|--|
| 8-2-51 | データ移行 | オーダー | 食事 | 既存電子カルテシステムに保存されている食事オーダー情報について、全件移行すること。 (オーダーは複写して再利用可能な状態で移行すること) ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) |
| 8-2-52 | データ移行 | オーダー | 指導料 | 既存電子カルテシステムに保存されている指導料オーダー情報について、全件移行すること。 (オーダーは複写して再利用可能な状態で移行すること) ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施日、指導項目、カルテ記述内容 |
| 8-2-53 | データ移行 | オーダー | 栄養指導 | 既存電子カルテシステムに保存されている栄養指導オーダー情報について、全件移行すること。 (オーダーは複写して再利用可能な状態で移行すること) ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 ・予約枠情報、予約日時、病名、指示食種、指示栄養量 |
| 8-2-54 | データ移行 | オーダー | 服薬指導 | 既存電子カルテシステムに保存されている服薬指導オーダー情報について、全件移行すること。 (オーダーは複写して再利用可能な状態で移行すること) ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・同意日、服薬指導可否、服薬指導開始日、指導依頼内容 |
| 8-2-55 | データ移行 | オーダー | 指示簿 | 既存電子カルテシステムに保存されている指示簿オーダー情報について、全件移行すること。 (オーダーは複写して再利用可能な状態で移行すること) ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 ・指示分類、指示内容、指示開始日時、指示終了日時 |
| 8-2-56 | データ移行 | オーダー | コスト伝票 | 既存電子カルテシステムに保存されているコスト伝票オーダー情報について、全件移行すること。 (オーダーは複写して再利用可能な状態で移行すること) ・作成者、作成日時 ・更新者、更新日時、版数情報 (変更前情報) ・実施された指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 ・処置行為、使用薬品、使用材料、数量、単位、コメント |
| 8-2-57 | データ移行 | オーダー | DPCオーダー | 既存電子カルテシステムに保存されているDPC情報について漏れなく全件移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照及び更新できること。また、履歴についても移行すること。 |
| 8-2-58 | データ移行 | 結果・レポート | 検査歴 (検体検査) | 既存電子カルテシステムに保存されている検体検査結果や結果に関わるレポート情報および画像情報について、全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。 |
| 8-2-59 | データ移行 | 結果・レポート | 検査歴 (細菌検査) | 既存電子カルテシステムに保存されている細菌検査結果や結果に関わるレポート情報について、全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。 |
| 8-2-60 | データ移行 | 結果・レポート | 病理レポート | 既存電子カルテシステムに保存されている病理検査に関わるレポート情報および画像情報について、全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。部門システム側よりWeb参照で閲覧しているレポート情報および画像情報については、リンク情報を保持したままで全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。 |
| 8-2-61 | データ移行 | 結果・レポート | 生理レポート・画像 | 既存電子カルテシステムに保存されている生理検査に関わるレポート情報および画像情報について、全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。部門システム側よりWeb参照で閲覧しているレポート情報および画像情報については、リンク情報を保持したままで全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。 |
| 8-2-62 | データ移行 | 結果・レポート | 手術レポート | 既存電子カルテシステムに保存されている手術レポート情報および画像情報について、全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。部門システム側よりWeb参照で閲覧しているレポート情報および画像情報については、リンク情報を保持したままで全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムで参照できること。 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|-------|-------|-----------|---|
| 8-2-63 | データ移行 | 看護 | 看護プロフィール | 既存電子カルテシステムに保存されている看護プロフィール情報（身長、体重、アレルギー情報をはじめとするアナムネ情報）を全件移行し、今回導入する電子カルテシステムにて参照および更新ができること。また、既存電子カルテシステムで更新した項目は更新者、更新日時を含めて全件移行し、今回導入する電子カルテシステム画面で参照ができること。 |
| 8-2-64 | データ移行 | 看護 | 看護計画 | 既存電子カルテシステムに保存されている看護問題及び看護計画情報の全件を移行し、今回導入する電子カルテシステムにて参照および更新ができること。 |
| 8-2-65 | データ移行 | 看護 | 看護指示 | 既存電子カルテシステムに保存されている看護指示情報を以下の情報を含めて全件移行し、今回導入する電子カルテシステムにて参照および更新ができること。 <ul style="list-style-type: none"> 更新者、更新日時、更新履歴情報（変更前情報）、版数 看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 実施入力を行っている指示については、実施したことと実施内容を示す実施情報、実施者、実施日時 |
| 8-2-66 | データ移行 | 看護 | 経過表 | 既存電子カルテシステムに保存されている経過表情報を以下の情報を含めて全件移行し、今回導入する電子カルテシステムにて参照および更新ができること。 <ul style="list-style-type: none"> 更新者、更新日時、更新履歴情報（変更前情報） バイタル情報 観察・測定情報 IN／・OUT情報 |
| 8-2-67 | データ移行 | 看護 | 看護サマリ | 既存電子カルテシステムで入力された看護サマリについて、入力内容、作成者、承認者、承認状況を全件移行すること。 また、既存電子カルテシステムで作成途中の看護サマリ情報について、新システム移行後にサマリの作成が継続でき、承認処理まで行えること。 |
| 8-2-68 | データ移行 | 看護 | 管理日誌 | 既存電子カルテシステムで作成された管理日誌について、全件移行すること。また、既存電子カルテシステムで作成途中の管理日誌情報について、新システム移行後に管理日誌の作成が継続できること。 |
| 8-2-69 | データ移行 | チーム医療 | チーム介入オーダ | 既存電子カルテシステムに保存されているチーム介入依頼オーダ情報について、全件移行すること。 （オーダは複写して再利用可能な状態で移行すること） <ul style="list-style-type: none"> 作成者、作成日時 更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） 看護師による指示受け、指示確認を行っている指示については、指示受け者、指示受日時、指示確認者、指示確認日時 |
| 8-2-70 | データ移行 | チーム医療 | チーム医療患者管理 | 既存電子カルテシステムに保存されているチーム医療患者管理で管理されている下記情報について全件移行すること。 <ul style="list-style-type: none"> 患者ID、患者氏名、介入状況、介入開始日時、介入終了日時、入院日、退院日、依頼コメント |
| 8-2-71 | データ移行 | チーム医療 | チーム記録 | 既存電子カルテシステムに保存されている各チームで記載されたチーム記録について全件移行すること。 <ul style="list-style-type: none"> 作成者、作成日時 更新者、更新日時、版数情報（変更前情報） 記録内容 |
| 8-2-72 | データ移行 | チーム医療 | 栄養管理計画管理 | 既存電子カルテシステムに保存されている栄養管理計画管理で管理されている下記情報について全件移行すること。 <ul style="list-style-type: none"> 患者ID、患者氏名、入院日、退院日、診療科、病棟、病室、入院主病名、SGA判定、チーム介入状況、栄養状態評価、計画書作成日、計画書作成状態 |
| 8-2-73 | データ移行 | チーム医療 | 褥瘡患者管理 | 既存電子カルテシステムに保存されている褥瘡患者管理で管理されている下記情報について全件移行すること。 <ul style="list-style-type: none"> 患者ID、患者氏名、入院日、退院日、診療科、病棟、病室、入院主病名、自立度、褥瘡リスク、褥瘡有無、褥瘡発生場所（院内、院外）、ハイリスク項目の有無、重点的なケアの要否、褥瘡関連書作成状況 |
| 8-2-74 | データ移行 | マスタ | マスタ | 既存電子カルテシステムに登録されている下記マスタについて全件移行すること。システムが更新されるためにプログラムなどによるシステムの移行が困難な場合は応札ベンダー作業による手入力を行い、当院職員の負荷軽減を図ること。 <ul style="list-style-type: none"> 診療マスタ 利用者 ・利用者辞書 ・利用者条件 ・予約枠 |

9章 サポートセンター

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----|-----|-----|-----|------|
|----|-----|-----|-----|------|

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|--------|------------------------------|----------|----------|--|
| 9 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | | | リモート保守センター(サポートセンター)に関する役務は、「システム運用管理」・「業務トラブル対応」・「システム監視」・「リモート保守センターに係わる設備、人員・実績」について記述しており、以下の要件を満たすこと。 |
| 9-1 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | システム運用管理 | | システム運用管理 |
| 9-1-1 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | システム運用管理 | システム運用管理 | システム運用管理については以下の要件を満たすこと。 |
| 9-1-2 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | システム運用管理 | システム運用管理 | システムの円滑な運用を推進するために、本調達における基幹システム(電子カルテ[看護支援含む]、及び医事会計システム)については、トラブルや質問に対する受付窓口(リモート保守窓口)を設けること。 |
| 9-1-3 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | システム運用管理 | システム運用管理 | 項1-1の受付窓口は、24時間365日サポートを行なうこと。 |
| 9-1-4 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | システム運用管理 | システム運用管理 | 期間内のインシデント発生、対応情報を定期的に報告書を提出すること。 |
| 9-2 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | | 業務トラブル対応 |
| 9-2-1 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応については以下の要件を満たすこと。 |
| 9-2-2 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | 各種業務トラブルに迅速に対応できるよう、本調達における基幹システム(電子カルテ[看護支援含む]、及び医事会計システム)については、トラブルや質問に対する受付窓口(リモート保守窓口)を設けること。 |
| 9-2-3 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | 本院情報管理部門からの質問またはトラブルを受け付け、インシデントを起票すること。また、過去のインシデントから類似のものがあれば回答し、なければエスカレーションルールに従い、然るべき部隊へのディスパッチを実施すること。 |
| 9-2-4 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | 本院情報管理部門からの改善要望、システム管理者からの仕様変更・機能追加依頼を受け付け、インシデントを起票すること。また、エスカレーションルールに従い対応状況の管理ができること。 |
| 9-2-5 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | 本院情報管理部門からの質問、トラブル、要望等を、分類・整理し、蓄積すること。蓄積した情報は、リモート保守センター内で共有され、ノウハウの活用を図ること。 |
| 9-2-6 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | 業務異常発生時、発生状況を確認し、どの箇所で異常が発生しているかの一次切り分けを行うこと。 |
| 9-2-7 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | 業務異常の対応については、あらかじめ定められた手順や業務アプリケーション担当者の指示に従い、復旧操作を実施もしくは支援すること。 |
| 9-2-8 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | オンラインやバッチ業務の異常(業務ジョブが異常終了等)を検知できること。あらかじめ決められた手順・方法により、異常状態を確認し、事前に決められたルートでの連絡を行うこと。 |
| 9-2-9 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | システム異常発生時、発生状況を確認し、どの箇所で異常が発生しているかの一次切り分けを行うこと。また、影響度、影響範囲等から重要障害かどうかを判断し、障害の重要度に応じてエスカレーションルールに基づき連絡できること。 |
| 9-2-10 | リモート保守センター業務 (サポートセンター業務) | 業務トラブル対応 | 業務トラブル対応 | トラブル対応として、「トラブル発生時の切り分け、状態確認」及び「トラブル調査資料(ダンプファイル、ログファイル等)の採取」を受付窓口(リモート保守窓口)で対応できること。 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------|--------------------------|------------------------|------------------------|--|
| 9-3 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | | システム監視 |
| * | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | システム監視 | システム監視については以下の要件を満たすこと。 |
| 9-3-1 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | システム監視 | サーバハードウェアの監視を行なうこと。エラーなどの通報を受けた場合、ハードウェア保守担当へ自動依頼を行うこと。 |
| 9-3-2 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | システム監視 | 定期的にpingを発行し、サーバの生死状況監視を行なうこと。 |
| 9-3-3 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | システム監視 | 基幹システム(電子カルテ[看護支援含む]、及び医事会計システム)については、業務アプリケーションの監視(具体的に、「サーバプロセス起動・稼働監視」、「定期業務実行監視(日次・月次など)」)を行なうこと。当院職員が監視できるツールを提供すること。 |
| 9-3-4 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | システム監視 | 基幹システム(電子カルテ[看護支援含む]、及び医事会計システム)については、サーバパフォーマンスの監視(具体的に、「DISK容量」、「DB容量」、「メモリ使用量」などの監視)を行なうこと。当院職員が監視できるツールを提供すること。 |
| 9-3-5 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | システム監視 | これら監視は、24時間365日行なうこと。 |
| 9-3-6 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | システム監視 | システム監視 | 各監視状況の報告を行なうこと。 |
| 9-4 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 |
| * | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績について、以下の要件を満たすこと。 |
| 9-4-1 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | | 施設レベル |
| 9-4-1-1 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | 施設レベル | リモート保守センター(サポートセンター)内の施設レベル(セキュリティ、環境、拡張性他)として以下を有すること。 |
| 9-4-1-2 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | 施設レベル | ISMS(ISO/IEC27001)の認証を受けていること。 |
| 9-4-1-3 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | 施設レベル | プライバシーマーク(JIS Q 15001:2006)の認証を受けていること。 |
| 9-4-2 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | | セキュリティ |
| 9-4-2-1 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | セキュリティ | セキュリティ管理として以下を実施していること。 |
| 9-4-2-2 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員・実績 | セキュリティ | 静脈認証など生体認証装置によりサポートセンタールームへの入室、退室制限ができること。 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------|--------------------------|------------------------|--------|---|
| 9-4-2-3 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員、実績 | セキュリティ | 入室記録が無い場合には退室ができないこと。 |
| 9-4-2-4 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員、実績 | セキュリティ | 入退室のログを保存しトレーサビリティが確保できていること。 |
| 9-4-2-5 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員、実績 | セキュリティ | 監視カメラにより入、退室者の記録を行っていること。また、取得した記録は必要に応じて参照できること。 |
| 9-4-3 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員、実績 | | 要員スキル |
| 9-4-3-1 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員、実績 | 要員スキル | 電子加療及び医事会計といったアプリケーション業務スキルを保有した要員を配置すること。 |
| 9-4-4 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員、実績 | | 実績 |
| 9-4-4-1 | リモート保守センター業務(サポートセンター業務) | リモート保守センターに係わる設備、人員、実績 | 実績 | これらリモートにおける基幹システム(電子カルテ・医事)サポートを、既に450以上の医療機関に対し提供している実績を有すること。 |

10章 マスタメンテナンス

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|-----------|-----------|--------------|-----------|---|
| 10 | | | | マスタメンテナンス |
| 10-1 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | | 利用者マスタメンテナンス |
| 10-1-1 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | | 利用者登録 |
| 10-1-1-1 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 電子カルテを使用する利用者の新規登録・修正ができること。 |
| 10-1-1-2 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 電子カルテを使用する利用者から複写して新規登録ができること。 |
| 10-1-1-3 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 電子カルテを使用する利用者の検索が行え、一覧表示ができること。 |
| 10-1-1-4 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者毎に所属の設定ができること。 |
| 10-1-1-5 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者毎に権限の設定ができること。 |
| 10-1-1-6 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者毎にパスワードの設定ができること。 |
| 10-1-1-7 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者毎に麻薬施用者番号の設定ができること。 麻薬施用者番号に有効期間を持たせ、2世代管理ができること。 |
| 10-1-1-8 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者毎に難病指定医番号の設定ができること。 難病指定医番号に有効期間を持たせ、2世代管理ができること。 |
| 10-1-1-9 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者毎に小児慢性特定疾病の指定医番号の設定ができること。 小児慢性特定疾病の指定医番号に有効期間を持たせ、2世代管理ができること。 |
| 10-1-1-10 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者パスワードをマスク表示できること。 |
| 10-1-1-11 | マスタメンテナンス | 利用者マスタメンテナンス | 利用者登録 | 利用者パスワードの禁則文字を指定できること。 禁則文字を入力した場合にはパスワード登録/パスワード変更ができないこと。 |
| 10-2 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | | 予約マスタメンテナンス |
| 10-2-1 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠のメンテナンス機能があること。 |
| 10-2-2 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠の追加・修正・削除ができること。 |

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|----------------|----------------------|------------------|---------------|--|
| 10-2-3 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠の詳細設定ができること。 |
| 10-2-4 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠の曜日ごとに、診察週（第1曜日、第2曜日など）設定、隔週設定ができること。 |
| 10-2-5 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠時間毎の優先設定ができること。 |
| 10-2-6 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠の管理権限、取得権限を、利用者・職種・所属毎に設定できること。 |
| 10-2-7 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠の優先取得権限を、利用者・所属毎に設定できること。 |
| 10-2-8 | マスタメンテナンス | 予約マスタメンテナンス | 予約枠メンテナンス | 予約枠取得画面にて優先科設定されている時間枠を色で識別できること。 |
| 10-2 | 医療機関マスタメンテナンス | | | 医療機関マスタメンテナンス |
| 10-3-1 | 医療機関マスタメンテナンス | 医療機関マスタメンテナンス | 医療機関マスタメンテナンス | 地域連携システムの医療機関マスタを電子カルテシステムでも利用できること。 |
| 10-3-2 | 医療機関マスタメンテナンス | 医療機関マスタメンテナンス | 医療機関マスタメンテナンス | 地域連携システムの医療機関マスタを電子カルテシステムでも利用するにあたっては、地域連携システムのマスタを電子カルテシステムに簡易な操作で取り込むツールを用意すること。 |
| 10-3-3 | 医療機関マスタメンテナンス | 医療機関マスタメンテナンス | 医療機関マスタメンテナンス | 地域連携システムから電子カルテシステムに取り込んだ医療機関マスタは、電子カルテシステムでメンテナンスできること。 |
| 11章 その他 | | | | |
| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
| 11 | | | | ランチャーツール |
| 11-1 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | | 端末環境管理ツール |
| 11-1-1 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | | 共通 |
| 11-1-1-1 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 共通 | 端末に常駐化し、各種ツールの起動やログの収集など端末を利用するユーザがよく利用する機能を一括集中して取り扱うことができること。 |
| 11-1-1-2 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 共通 | 一般ユーザモードと管理者モードにより表示される画面が切り替えられること。 |
| 11-1-1-3 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 共通 | 端末情報として以下のマスタに登録されている基本情報を表示できること。 ・入外区分 ・診療科 ・端末名 ・IPアドレス ・接続先電子カルテサーバ |
| 11-1-1-4 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 共通 | ランチャーツールを閉じた場合にタスクトレイへ格納できること。完全終了はタスクトレイからの終了処理とすること。 |
| 11-1-1-5 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 共通 | マスタの制御により設定した再起動時間を端末指定で処理できること。 |
| 11-1-1-6 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 共通 | マスタの制御により設定したシャットダウン時間を端末指定で処理できること。 |
| 11-1-2 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | | ユーザモード |
| 11-1-2-1 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | ユーザモード | 資源配付(瞬快)のショートカットが登録されており、瞬快をランチャーから起動させることができること。 |
| 11-1-2-2 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | ユーザモード | 電子カルテ起動のショートカットが登録されており、電子カルテをランチャーから起動させることができること。 |
| 11-1-2-3 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | ユーザモード | ログ収集のショートカットが登録されており、ログ収集ツールをランチャーから起動させることができること。 |
| 11-1-2-4 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | ユーザモード | 共通で利用する帳票フォルダへのショートカットを登録し、帳票を起動し帳票が出力できること。 |
| 11-1-2-5 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | ユーザモード | 表示させる帳票はマスタにて登録し、表示、非表示の制御ができること。 |
| 11-1-2-6 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | ユーザモード | 端末を再起動させるショートカットが登録されており、端末の再起動処理を実施できること。 |
| 11-1-2-7 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | ユーザモード | 端末をシャットダウンさせるショートカットが登録されており、端末のシャットダウンを実施できること。 |
| 11-1-3 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | | SEモード |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-----------------|--------------------|-------------|--|
| 11-1-3-1 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | SEモード | SEモード画面へのログインはパスワードを要すること。 |
| 11-1-3-2 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | SEモード | ログ切り替え機能により、電子カルテのログ出力レベル、ログファイル名パターン、ログファイル分離パターン、ログファイル保持期間の設定を変更できること。(オペレートモード、運用モード、デバックモードの変更を可能とするなど) |
| 11-1-3-3 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | SEモード | 接続先切り替え機能により電子カルテの本系、開発系の切り替えができること。 |
| 11-1-3-4 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | SEモード | 端末のコントロールパネルをショートカットボタンから起動できること。コントロールパネルの表示内容はショートカットの登録により階層化できること。 |
| 11-1-3-5 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | SEモード | 管理者が登録したいツールを任意で登録できること。 |
| 11-1-3-6 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | SEモード | 電子カルテモジュールのレジストリの最登録処理が実施できること。(ショートカットより起動) |
| 11-1-4 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | | 資源配付版数管理機能 |
| 11-1-4-1 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 資源配付版数管理機能 | 管理端末から資源版数チェックファイルを各端末へ配信し、版数のチェックができること。 |
| 11-1-4-2 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 資源配付版数管理機能 | 最新版数とクライアントで保持している版数に差がある場合下記のパターンを表示できること。 ・タスクトレイからのポップアップ方式 ・端末の資源取込を促す再起動画面表示 |
| 11-1-4-3 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 資源配付版数管理機能 | 版数チェックはタイマー設定ができること。 |
| 11-1-4-4 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 資源配付版数管理機能 | 資源取込促し画面にて表示されている再起動ボタンを押すことで端末の再起動を実施できること。 |
| 11-1-4-5 | ランチャーツール | 端末環境管理ツール | 資源配付版数管理機能 | 資源取込促し画面にて表示されている延長ボタンを押すことで再度メッセージ表示の延長を実施できること。 |
| 11-2 | 端末キッティング | 端末キッティング | | 端末キッティング |
| 11-2-1 | 端末キッティング | 端末キッティング | | 端末キッティング |
| 11-2-1-1 | 端末キッティング | 端末キッティング | 端末キッティング | 動作に必要なソフトウェア群のクライアント端末(以下、端末)へのインストール作業は、予めベンダー内(工場等)で完了し、本院に搬入すること。 |
| 11-2-1-2 | 端末キッティング | 端末キッティング | 端末キッティング | 端末へのMicrosoft社製品(以下、MS製品)の組み込みの際は、本院からの要請により、本院購入のMS製品ライセンスを使用して、予めシステム動作に必要なインストール作業を行うこと。 |
| 11-2-1-3 | 端末キッティング | 端末キッティング | 端末キッティング | 本院からの要請により、本院購入のMS製品ライセンスを利用したインストール作業を実施した場合、本院へのシステム納品時に、ライセンス違反が無い状態を確認し納品を行うこと。 |
| 11-2-1-4 | 端末キッティング | 端末キッティング | 端末キッティング | 本院からの要請により、本院購入のKingsoft社製品ライセンスを利用したインストール作業を実施した場合、本院へのシステム納品時に、ライセンス違反が無い状態を確認し納品を行うこと。 |
| 11-2-2 | 端末キッティング | インストール作業報告書 | | インストール作業報告書 |
| 11-2-2-1 | 端末キッティング | インストール作業報告書 | インストール作業報告書 | インストール作業におけるライセンスの利用結果(インストール作業結果)は、インストール作業報告書として資料を納品すること。 報告書の内容として下記を包含すること。 ・導入した全端末一覧(コンピュータ名、IPアドレス) ・各端末に導入されているOS、OfficeについてOEM版、VolumeLisence版情報 ・各端末に導入されているOfficeの製品グレード(Standard、Professional、Enterprise)情報 ・各端末に導入されているOfficeのバージョン情報 |
| 11-2-3 | 端末キッティング | ライセンス管理引継ぎ | | ライセンス管理引継ぎ |
| 11-2-3-1 | 端末キッティング | ライセンス管理引継ぎ | ライセンス管理引継ぎ | システム納品時に、インストール作業報告書を使用して本院のシステム管理者に、MS製品ライセンス管理引継ぎを行うこと。 |
| 11-2-4 | 端末キッティング | ライセンス管理ツール | | ライセンス管理ツール |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| 項番 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 要求仕様 |
|---------------|-----------------|---------------|------------|---|
| 11-2-4-1 | 端末キッティング | ライセンス管理ツール | ライセンス管理ツール | <p>MS製品ライセンス管理を容易とするため、システムに接続された全端末から、以下のライセンス情報が自動的にサーバに収集され、ライセンスの利用者件数が集計ができる「ライセンス管理ツール」を提供すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入した全端末一覧(コンピュータ名、IPアドレス) ・各端末に導入されているOS、OfficeについてOEM版、VolumeLisence版情報 ・各端末に導入されているOfficeの製品グレード(Standard、Professional、Enterprise)情報 ・各端末に導入されているOfficeのバージョン情報 |
| 11-2-5 | 端末キッティング | 端末梱包回収 | | 端末梱包回収 |
| 11-2-5-1 | 端末キッティング | 端末梱包回収 | 端末梱包回収 | 本院への端末搬入後、不要となった梱包空箱をベンダーにて全て回収すること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|------------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | | 機能 | 機能要件 |
| 2 | 1 | 1 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 高速操作性を重視したマウスレス操作を基本とすること。 |
| 2 | 1 | 2 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 一般的な処理ではキーボードだけで全ての操作を行うことができること。 |
| 2 | 1 | 3 | 【医事業務】操作性および画面展開 | Tabキーに加え、矢印キー（←、→、↑、↓）でも入力領域の移動ができること。 |
| 2 | 1 | 4 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 一般的な処理では極力ウィンドウを開かずにメイン画面だけで操作できること。またウィンドウを表示する場合は最大3階層までとすること。 |
| 2 | 1 | 5 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 業務切換え専用のウィンドウをワンタッチで表示でき、簡単に業務の移行が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 6 | 【医事業務】操作性および画面展開 | カードリーダーを使用し診察券から患者IDを読み込むことが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 7 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 一端未で同時に起動する異業務の数には制限がないこと。 |
| 2 | 1 | 8 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 画面処理およびプログラム等の処理分散化（サーバ/クライアント）により、安定した快適なレスポンスを保証できること。 |
| 2 | 1 | 9 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 業務を開始する際に、自動でクライアント側のマスタ等資源を最新化できること。 |
| 2 | 1 | 10 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 24時間稼働可能なシステムであること。 |
| 2 | 1 | 11 | 【医事業務】操作性および画面展開 | 医事業務を利用する画面より以下の機能が使用可能であること。 ・タスクスケジュールの設定 ・バッチ処理の実行結果一覧の表示 ・バッチ処理における実行権限の管理 |
| 2 | 1 | 12 | 【医事業務】操作性および画面展開 | バッチ処理等の起動スケジュールを管理及び登録する機能を保持していること。また、定義内容をExcel等で活用できるcsvファイルに出力することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 13 | 【医事業務】利用者権限 | 利用者毎のパスワード設定および有効期限の設定ができること。また利用者毎に使用可能な業務の設定が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 14 | 【医事業務】利用者権限 | 有効期限が切れたパスワードでログインしようとした場合は、その場でパスワードの変更ができる機能を有すること。 なお、パスワード変更権限のない入力者の場合は、マスタ管理者へ変更依頼を促すメッセージを表示すること。 |
| 2 | 1 | 15 | 【医事業務】利用者権限 | 利用者毎に設定したパスワードが有効期限となる前に、再設定を促すメッセージが表示できること。 |
| 2 | 1 | 16 | 【医事業務】利用者権限 | 利用者毎のパスワード設定には、文字・数字・記号の混在を条件とするような複雑性を要求できること。 |
| 2 | 1 | 17 | 【医事業務】利用者権限 | パスワードの入力限度回数設定で入力ミスの原因とするログイン不可が可能なこと。 例）3回間違えると制限がかかりログイン不可とする。 |
| 2 | 1 | 18 | 【医事業務】利用者権限 | オペレータ単位またはグループ単位に、窓口業務でのデータへのアクセス権限を下記の中から選択できること。 ・更新可：データの参照、および更新 ・参照可：データの参照のみ ・選択可：窓口業務における患者選択時に、参照のみにするか更可とするかを選択 |
| 2 | 1 | 19 | 【医事業務】患者排他制御 | 複数の利用者が同時に同じ患者情報を更新しないよう患者単位の排他制御機能を有すること。また使用中の「端末名」、「オペレータ番号」、「使用場所」、「内線番号」が画面に表示されること。なお、各端末毎の使用状況（オペレータ、患者、業務）を一覧で確認できる機能を有し排他解除を行うこともできること。 |
| 2 | 1 | 20 | 【医事業務】患者ID検索処理 | 全ての窓口業務から患者ID検索処理を呼び出すことができること。 |
| 2 | 1 | 21 | 【医事業務】患者ID検索処理 | カナ氏名の指定により、該当患者のID番号、氏名、性別、生年月日等を表示できること。また、保険記号番号での検索が可能であり、他の患者番号で登録されている被保険者や扶養者の検索が可能なこと。検索条件の設定は1画面で可能であること。 |
| 2 | 1 | 22 | 【医事業務】患者ID検索処理 | また、上記項番の検索に加えて次の条件での検索も可能であること。 ・漢字氏名（姓名）または漢字名前（名） ・第2氏名（姓名）または第2名前（名） ・カナ名前 ・電話番号 ・携帯番号 ・入院中の病棟 ・入院中の部屋番号 ・主保険の記号・番号 ・入院中の検索期間（日数） ・生年月日（和暦・西暦どちらも可能） ・モバイルID |
| 2 | 1 | 23 | 【医事業務】患者ID検索処理 | ID検索画面を開いた際に前回検索条件を保持し、繰り返しのID検索が容易に行えること。 |
| 2 | 1 | 24 | 【医事業務】患者ID検索処理 | カナ氏名、漢字氏名、カナ名前等のあいまい検索を行うことが可能なこと。また、あいまい検索を有効にするか否かの設定が可能であること。 あいまい検索とは例えば「セマサセル」と検索すると「セマサセル」を検索対象とすることを指す |
| 2 | 1 | 25 | 【医事業務】患者ID検索処理 | 各端末毎に過去に使用した患者ID（直近20件まで）は、ID検索を伴わずに履歴一覧から選択し処理を開始できること。また、前回使用患者についてはワンタッチでのID呼び出しが可能であること。 |
| 2 | 1 | 26 | 【医事業務】患者ID検索処理 | 患者毎に区分を登録することにより、ID番号検索結果に注意が必要な患者の判断ができるように「記号の表示」及び「条件により背景色を変える」機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 27 | 【医事業務】患者ID検索処理 | 検索結果にはID、カナ氏名、日本語氏名、性別、生年月日、最終受診科、最終来院日、入院中診療科、部屋番号、住所が表示できること。 |
| 2 | 1 | 28 | 【医事業務】患者ID検索処理 | ID検索結果画面から患者を選択し、患者毎の来院カレンダー、来院歴、入退院歴をワンタッチで一画面に表示できること。 また、ワンタッチで検索結果画面に戻れること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 富士通株式会社 | |
|---------|----|----|------------------------|--|
| システム名 | | | 医事会計システム・医事統計システム | |
| パッケージ名 | | | HOPE X-W・医事DWH | |
| 部 | 項番 | 項 | 機能 | 要求仕様 |
| 2 | 1 | 29 | 【医事業務】特定保険の法別番号の設定について | 労災、公害、自賠、老人助成（地方自治体）、治験に関して法別番号を自由に設定できること。 |
| 2 | 1 | 30 | 【医事業務】各種ガイド表示 | 科コードやドクターコード等のガイド表示ができること。 |
| 2 | 1 | 31 | 【医事業務】各種ガイド表示 | 病棟や部屋コード一覧を表示できること。 |
| 2 | 1 | 32 | 【医事業務】各種ガイド表示 | 特定入院料区分一覧が表示できること。 |
| 2 | 1 | 33 | 【医事業務】各種ガイド表示 | 参照または入力中の患者に登録している保険パターンが一覧で表示できること。 |
| 2 | 1 | 34 | 【医事業務】各種ガイド表示 | 全ての窓口業務から、患者毎の来院カレンダー、来院歴、入院歴、DPC情報をワンタッチで一画面に表示できること。 |
| 2 | 1 | 35 | 【医事業務】各種ガイド表示 | 各画面のカレンダー情報では休日設定に従い、「土曜、日曜（祝日）、休診日」における背景色の色分けを行うことができること。 |
| 2 | 1 | 36 | 【医事業務】HELP表示 | 各業務の入力項目について、区分選択などのガイド表示を行えること。 |
| 2 | 1 | 37 | 【医事業務】患者基本情報のガイド表示 | 以下の患者情報が全ての窓口業務にてガイド表示できること。 また、各患者基本情報は表示順の変更が可能で、業務単位で項目表示設定が可能なこと。 患者ID、カナ氏名、漢字氏名、性別、生年月日、年齢（年月日まで）、初診・最終来院日（医科または歯科）、入院日・退院日、オンライン処理日までの入院日数、未収金有無（外来および入院別）、日本語コメント1、日本語コメント2、紹介科、紹介日（医科または歯科）、特定療養費有無、手術予定日、慢性維持透析外来医学管理料の算定科および算定開始年月、オンライン処理日、動作環境コメント（運用系、テスト系など） |
| 2 | 1 | 38 | 【医事業務】患者基本情報のガイド表示 | 同名同名患者のチェックを行い、該当する患者が存在した場合は、各窓口業務欄の日本語氏名欄横に「同名同名有」の表示が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 39 | 【医事業務】日付入力機能 | 日付は全て和暦で入力が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 40 | 【医事業務】日付入力機能 | 日付の省略入力が可能であること。 （例）当日日付が平成26年8月4日の場合 ①入力値「1」の場合：「260801」が自動でセットされること ②入力値「0310」の場合：「260710」が自動でセットされること |
| 2 | 1 | 41 | 【医事業務】診療科について | 診療科を最大500科以上管理することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 42 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 患者単位で連絡用のコメントとタイトルが登録できる機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 43 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | タイトルは全角30文字まで、コメントは全角100文字まで登録できること。 |
| 2 | 1 | 44 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 患者連絡用のコメントは一患者につき40件まで登録が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 45 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 各コメント毎に重要度が設定でき、重要度でサブウィンドウの背景色を変える等して、容易に重要度の識別ができること。 |
| 2 | 1 | 46 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 各コメントの有効期限を設定できること。 |
| 2 | 1 | 47 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | コメント毎にポップアップ設定が可能で、設定するとポップアップ対象の業務画面を展開し、コメントを自動展開できること。 |
| 2 | 1 | 48 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 各コメントの登録日、登録者、更新日、更新者、有効期間が参照できること。 |
| 2 | 1 | 49 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 各コメントについて完了/未完了の管理ができること。 |
| 2 | 1 | 50 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 新規登録の際は複写機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 51 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | コメントはポップアップ表示の他に任意でも展開できること。 |
| 2 | 1 | 52 | 【医事業務】患者コメント管理機能 | 各業務画面上で未完了コメントの有無が判別できること。 |
| 2 | 1 | 53 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | オペレータ単位で連絡用のコメントとタイトルが登録できる機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 54 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | タイトルは全角30文字まで、メモは全角500文字まで登録できること。 |
| 2 | 1 | 55 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | オペレータ用のメモはオペレータ毎に自身で作成したものと他のオペレータから共有されたものを含めて50件まで登録が可能なこと。 50件を超えた場合はメッセージが表示されること。 |
| 2 | 1 | 56 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | 各メモ毎に重要度が設定でき、重要度でサブウィンドウの背景色を変える等して、容易に重要度の識別ができること。 |
| 2 | 1 | 57 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | 各メモの登録日、登録者、更新日、更新者、有効期間が参照できること。 |
| 2 | 1 | 58 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | 新規登録の際は複写機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 59 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | 他のオペレータにメモの共有を行う際には、共有対象者のオペレータ番号が検索できること。 また、検索結果から共有対象者を選択できること。 |
| 2 | 1 | 60 | 【医事業務】オペレータメモ機能 | 各窓口業務よりオペレータメモが参照できること。 |
| 2 | 1 | 61 | 【医事業務】患者参照機能 | 特定のオペレータによる患者データの不必要な更新を防ぐために、患者データを更新せずに参照のみ可能なモードの対応ができること。 |
| 2 | 1 | 62 | 【医事業務】患者参照機能 | 同時に9画面以上、同一業務を起動できること。 また、同一画面展開するか否かはオペレータ毎に権限設定ができること。 |
| 2 | 1 | 63 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者の個人情報・保険情報の登録および変更ができること。 |
| 2 | 1 | 64 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険種別は、主保険32個、従保険32個、自費の登録ができること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|----------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 65 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 通常氏名のほかに第2氏名の登録ができること。 |
| 2 | 1 | 66 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 新患者登録を行った際に、既に登録済の患者でカナ氏名、性別、生年月日が一致する患者がある場合は、同一患者の可能性のある患者の情報を一覧表示できること。 |
| 2 | 1 | 67 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 二重登録疑い画面から患者登録の画面へID番号をセットができること。 |
| 2 | 1 | 68 | 【医事業務】患者登録変更処理 | カナ氏名の入力欄には、英数字の入力も可能であること。 |
| 2 | 1 | 69 | 【医事業務】患者登録変更処理 | カナ氏名の入力欄には、半角40文字まで登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 70 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 漢字氏名の入力欄には、全角20文字まで登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 71 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 漢字氏名が変更された場合は変更したことが認識でき、入力者への確認を促す機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 72 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 氏名の入力は、氏名選択画面より氏名辞書による日本語氏名の選択入力、またはワープロ入力ができること。 |
| 2 | 1 | 73 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 氏名選択画面でワープロ入力した場合は、氏名辞書に書き込みができること。その際、学習機能として氏名選択画面に自動登録できること。 |
| 2 | 1 | 74 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者の受診情報の表示ができること。 |
| 2 | 1 | 75 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者の住所、電話番号、コメント等の入力ができること。 住所については、カナ検索が可能で町名までコード管理可能な住所マスタを有しており、詳細住所はワープロ入力が可能であること。 また、日本郵便が提供している郵便番号データについても使用可能であること。 |
| 2 | 1 | 76 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 住所のカナ検索または日本語検索を行う際には、検索対象の都道府県を限定（複数指定可）し、より迅速に目的の住所を検索可能であること。検索対象の都道府県を指定した都道府県名も表示できること。また、その際に都道府県コードもガイド表示できること。 |
| 2 | 1 | 77 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 郵便番号からの住所検索入力、またその逆で住所からの郵便番号検索入力が可能であること。 |
| 2 | 1 | 78 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 入力された保険者番号・適用期間・本人・家族区分などをもとに使用可能保険の組み合わせ（以下保険パターンと記載）を自動作成できること。現実的にありえない保険パターンは作成しないこと。 |
| 2 | 1 | 79 | 【医事業務】患者登録変更処理 | システムで自動的に作成した保険パターンの内容を表示し、必要に応じて追加変更ができること。 |
| 2 | 1 | 80 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 作成した保険パターンは、処理日に有効なものから優先的に表示すること。また、使用できない組み合わせについては、背景色を変えるなどして容易に判断できること。 |
| 2 | 1 | 81 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険の確認日管理（確認日の年月日保持）ができること。 |
| 2 | 1 | 82 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険毎に限定料を30科以上指定できること。 |
| 2 | 1 | 83 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険毎に医科・歯科による限定を設定することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 84 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 排他区分を設定することで、限定料に設定された科での使用を抑止することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 85 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険パターンに限定料情報が設定されている場合、保険パターン番号の色を変更できること。限定料情報が設定されていることを容易に判別することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 86 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 社保国保本人、後期高齢者制度等、各種保険の年齢チェックができること。 |
| 2 | 1 | 87 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 労災患者の情報を登録・変更できること。 |
| 2 | 1 | 88 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 労災患者の情報は、事業所番号・労働者保険番号・住所・療養情報（傷病年月日療養開始日・療養終了日・新規継続区分・転帰区分）・傷病の経過（4行）を登録・変更できること。 |
| 2 | 1 | 89 | 【医事業務】患者登録変更処理 | カルテ情報の登録・変更ができること。また、カルテ1号紙の発行ができ、端末毎に発行区分（発行する、しない）の初期値設定ができること。 |
| 2 | 1 | 90 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者登録業務から入院カルテを出力することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 91 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 3科まで同時にカルテを発行できること。 |
| 2 | 1 | 92 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者番号は、1患者1番号制に対応できること。 |
| 2 | 1 | 93 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者番号については、自動的に付番できる機能を有すること。 自動付番機能については、チェックデジット方式等ある程度の汎用性を持たせること。また、患者番号の手入力にも対応できること。 |
| 2 | 1 | 94 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者番号は、9桁連番 + チェックデジット1桁の数字10桁とすること。 |
| 2 | 1 | 95 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 医事システムの患者登録業務にて登録・変更した患者基本情報は、更新すると連携している他システムに即時反映されること。 |
| 2 | 1 | 96 | 【医事業務】患者登録変更処理 | IDカード発行機と連携が可能で、患者登録業務からIDカードの発行指示が行えること。 |
| 2 | 1 | 97 | 【医事業務】患者登録変更処理 | IDカードの出力枚数を画面にて1枚～9枚まで指定が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 98 | 【医事業務】患者登録変更処理 | IDカード発行機が複数台（最大9台まで）存在する場合に出力場所を選択することが可能なこと。端末毎に発行場所の初期値を設定することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 99 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 医科歯科別に患者の紹介情報が登録でき、診療会計時に「紹介状あり」コメントの自動発生ができること。 また、紹介情報がない場合は初診料算定時に保険外併用療養費（選定療養）の自動算定が可能であること。紹介情報は未来日付も扱えること。 |
| 2 | 1 | 100 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 紹介状を持参していない患者であっても、救急来院の場合は保険外併用療養費（選定療養）を誤って徴収しない機能を有すること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 101 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険や公費の種類により、保険外併用療養費（選定療養）の算定の可否を自動判定できること。 |
| 2 | 1 | 102 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 紹介状を持参しておらず、救急来院でもない患者であっても、保険外併用療養費（選定療養）の算定可否を登録でき、誤って徴収しない機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 103 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 食事負担区分の2世代管理ができること。 |
| 2 | 1 | 104 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 高額委任払いや高額療養費現物給付化制度に対応できること。 |
| 2 | 1 | 105 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険登録では、5者併用に対応できること。また、高齢受給者、3歳未満、医療費助成制度（高齢者、乳幼児、障害者等）への対応が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 106 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 後期高齢者、高齢受給者の負担割合や低所得者区分が保険パターンの色分けにより確認できること。 |
| 2 | 1 | 107 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者コメントは漢字20文字×2個を登録・表示できること。また、フリーコメントではなく、区分として個人情報（VIP、面会謝絶、法人区分等）の登録・管理が5個まで登録・変更可能としガイド機能により容易に入力可能なこと。 |
| 2 | 1 | 108 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険パターン一覧の表示順を処理日に有効な保険から優先的に表示できること。また、有効期間切れの保険については、期限日などの背景が色分け表示されていること。 |
| 2 | 1 | 109 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 各保険毎に保険確認日の設定ができること。 |
| 2 | 1 | 110 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 職業コード選択シートによってマスタに登録している職業コードが容易に検索・登録が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 111 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者の携帯電話番号を登録することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 112 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者のメールアドレスを2つまで登録することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 113 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 世帯主コード選択シートによってマスタに登録している世帯主コードが容易に検索・登録が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 114 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 現住所とは別に住所・電話番号等の連絡先情報（会社情報等を含む）を3つまで登録することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 115 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険情報の全ての項目の更新・変更履歴を最大200件まで管理し、一覧表示することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 116 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 会計条件として、「優待」、「食事負担区分」、「ビタミン区分」、「確定区分」、「障害者区分」、「手術予定日」、「老人慢性疾患外総算定科」、「再診科特別患者」、「慢性維持透析算定科」、「慢性維持透析算定開始日」、「要介護開始日」が設定可能なこと。 |
| 2 | 1 | 117 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 高齢者および高額委任、高額療養費現物給付で1年を遡って限度額越え4回以上の場合は、自動的に多数該当扱いとし、限度額を引き下げることが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 118 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者登録および変更画面において、患者基本情報の登録・変更が画面を切り替えることなくできること。 |
| 2 | 1 | 119 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者登録および変更画面において、登録されている受診科歴がサブ画面への切り替えを必要なく表示できること。 |
| 2 | 1 | 120 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 1画面上で主保険・従保険・保険パターン・受診歴情報の確認変更ができること。また、画面には各情報の必要最小限の項目のみを常時表示し、必要に応じてワンタッチで詳細項目を同一画面上に展開できること。 |
| 2 | 1 | 121 | 【医事業務】患者登録変更処理 | カルテ1号紙と外来総括票は、端末毎に出力先（プリンタ）の指定ができること。 |
| 2 | 1 | 122 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者基本情報が更新・変更された場合、履歴を管理し参照することが可能なこと。また、変更があった場合、変更箇所の色などを変更して表示し、オペレータに確認を促すことができること。 |
| 2 | 1 | 123 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 生年月日は、入力の日度、和暦・西暦を切り替えることが可能なこと。また、患者ID検索時においても、生年月日を和暦・西暦で指定して検索することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 124 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 入院歴のある患者について、最新の入院日・退院日・入院診療科を表示できること。 |
| 2 | 1 | 125 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 主保険、従保険の入力欄について、左右表示に加えて上下での選択表示が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 126 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 確認が必要な保険が複数ある場合、キーボード操作により一括で保険確認できること。また、キーボード操作については誤操作防止のために複数のキーを組合せることができること。 |
| 2 | 1 | 127 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険入力を行った際に、発生するチェックデジットエラーをワーニング扱いにするかエラー扱いにするかを保険毎に選択できること。 |
| 2 | 1 | 128 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 主保険登録の際、保険者番号入力後に、候補となる記号番号の一覧が表示され、そこからの選択入力が可能であること。 |
| 2 | 1 | 129 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 入力操作軽減を図るため、保険の限度額の初期値を自動でセットすることができること。 |
| 2 | 1 | 130 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 労災保険者番号を入力時に既に登録されている事業所名等の情報を自動表示できること。 |
| 2 | 1 | 131 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 治験患者の情報を登録・変更・できること。 |
| 2 | 1 | 132 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 治験管理番号を入力時に既に登録されている治験情報を複写できること。 |
| 2 | 1 | 133 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 住民基本台帳コードを登録できること。 |
| 2 | 1 | 134 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 新規登録の際は家族等其他の患者情報（住所、連絡先等）、保険情報の項目を選択し複写できること。 |
| 2 | 1 | 135 | 【医事業務】患者登録変更処理 | カルテ1号紙、診察券（IDカード）、退院証明書の発行した履歴（発行日、発行者指示者、発行指示端末）を管理でき、一覧表示できること。 |
| 2 | 1 | 136 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 外来入院別に未収金の有無を確認できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 137 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険登録時に、保険番号一覧のガイド表示を行い、選択して入力する機能ができること。 |
| 2 | 1 | 138 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 高額療養費現物給付化制度の保険の場合、入力された限度額のチェックができること。 |
| 2 | 1 | 139 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 前期高齢者が処理日時時点で70歳を超えていた場合、負担率の表示を所得区分に応じて表示できること。 |
| 2 | 1 | 140 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 保険登録時、保険開始日が省略された場合、空白もしくは処理日を自動でセットできること。 |
| 2 | 1 | 141 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 入力誤りを防ぐ為、主保険の保険者番号と記号番号、あるいは従保険の負担者番号、受給者番号が同一で、かつ有効期間が重複するものが複数入力された場合にはワーニングまたはエラーメッセージを表示できること。 |
| 2 | 1 | 142 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 治療保険登録時に治療情報が未確定でも登録が可能であること。 また、当月治療の診療があり、且つ以下のいずれかの条件を満たした場合にはレセプト処理時にエラー一覧等にメッセージの出力が可能なこと。 ・治療保険の終了日に「999999」が登録されている。 ・治療患者情報の登録が無い。 |
| 2 | 1 | 143 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 入力途中でキャンセルキーを押した場合、確認メッセージを表示しオペレーションミスを防止する機能が有ること。 |
| 2 | 1 | 144 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 「胎児（誕生予定日のみがわかる）等の場合、生年月日が未来日でも入力ができること。 |
| 2 | 1 | 145 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者登録業務において優待区分とその名称をメイン画面に表示できること。 |
| 2 | 1 | 146 | 【医事業務】患者登録変更処理 | オペレーションミスの為、患者受付登録業務および診療会計業務において、キャンセルキーを押下した際、入力データの取消確認メッセージを表示することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 147 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 受診履歴情報に登録済の初回日を患者登録業務にて削除した場合に、オペレータが意図した削除なのか確認を促すワーニングメッセージを表示することができること。 |
| 2 | 1 | 148 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 患者登録業務においてコメントのレベルに応じて、表示している領域のバックカラーを変更する等強調できること。 |
| 2 | 1 | 149 | 【医事業務】患者登録変更処理 | ミドルネームを登録できること。 |
| 2 | 1 | 150 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 特定の患者情報について、閲覧可能なオペレータを制限できること。 また、閲覧不可のオペレータについては、パスワード入力により閲覧を可能にできること。 |
| 2 | 1 | 151 | 【医事業務】患者登録変更処理 | 特定の患者について、全窓口業務で住所等の個人情報の閲覧を制限できること。 |
| 2 | 1 | 152 | 【医事業務】再来登録処理 | 再来登録を行い、外来総括票（病名通知、前回処方、前回指導料算定情報等）が出力できること。 |
| 2 | 1 | 153 | 【医事業務】再来登録処理 | 外来総括票の出力先プリンタは、端末毎に指定できること。 |
| 2 | 1 | 154 | 【医事業務】再来登録処理 | 画面を切り替えることなく再来患者受付処理と同時に患者基本情報および保険情報の確認変更ができること。 |
| 2 | 1 | 155 | 【医事業務】再来登録処理 | 保険の確認日管理ができること。 |
| 2 | 1 | 156 | 【医事業務】再来登録処理 | 当月確認していない保険については、確認日の背景色を変えるなどして保険確認を促す機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 157 | 【医事業務】再来登録処理 | 再来登録中に患者の基本情報保険情報の確認変更ができること。 |
| 2 | 1 | 158 | 【医事業務】再来登録処理 | 受診履歴情報は、診療会計入力後に自動で更新されること。 |
| 2 | 1 | 159 | 【医事業務】再来登録処理 | 再来受付時に、外来入院別に未収金の有無が確認できること。 |
| 2 | 1 | 160 | 【医事業務】再来登録処理 | 再来受付を別システムで行う際には、受付情報の連携を行い、医事システム上の受付情報が自動で更新されること。 |
| 2 | 1 | 161 | 【医事業務】再来登録処理 | 1日の受付回数を6回まで行えること。 |
| 2 | 1 | 162 | 【医事業務】再来登録処理 | 前回の診療で使用した外来総括票の出力対象保険を絞り込むことができること。（出力条件は、最新の保険のみを出力するか、一定の期間内に使用された保険全てを出力するのが選択できること。） |
| 2 | 1 | 163 | 【医事業務】再来登録処理 | 保険確認日および保険情報変更の履歴を一覧表示することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 164 | 【医事業務】受付状況照会処理 | 受診科毎に当日受付した患者の一覧表示が可能なこと。 また、一覧の表示はID順、受付時刻順、会計時刻順、経過時間順に変更ができること。 |
| 2 | 1 | 165 | 【医事業務】受付状況照会処理 | 受付済み件数に予約分を含めるか、含めないかの設定変更が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 166 | 【医事業務】受付状況照会処理 | 患者毎に受付情報の表示・変更が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 167 | 【医事業務】受付状況照会処理 | 外来総括票の再出力が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 168 | 【医事業務】受付状況照会処理 | 受付患者数・会計済患者数・未会計患者数を科別にグラフで表示できること。 |
| 2 | 1 | 169 | 【医事業務】受付状況照会処理 | 患者の受付時間・会計済時間がコンピュータ内に自動的に記録され、画面表示できること。 |
| 2 | 1 | 170 | 【医事業務】入院登録 | 入院日、部屋No、室料差額、入院理由等を入力し、入院料、入院保険、食事情報等のカレンダーをセットできること。 |
| 2 | 1 | 171 | 【医事業務】入院登録 | 入院時の保証金額・受理日の登録が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 172 | 【医事業務】入院登録 | 医事システム稼働時間外に入院した患者をスムーズに登録することができるよう、入院登録と同時に転科転室を入力することができること。 |
| 2 | 1 | 173 | 【医事業務】入院登録 | 未来の入院日での入力ができること。 |
| 2 | 1 | 174 | 【医事業務】入院登録 | 入退院歴は500個、転科、転室情報と合わせて999個の登録が可能なこと。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 175 | 【医事業務】入院登録 | 長期入院患者180日超えの日数計算時に、DPC対象期間・ICU入院期間を除外して自動計算することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 176 | 【医事業務】入院登録 | 患者の状態コメントとして、「現在、入院中です」、「退院済み患者です」等を表示すること。 |
| 2 | 1 | 177 | 【医事業務】入院登録 | 入退院履歴を履歴番号で管理できること。 かつ、入院算定日付の引継ぎが履歴番号を指定して可能なこと。 |
| 2 | 1 | 178 | 【医事業務】入院登録 | 食事一部負担金の減減・減免措置をカレンダー形式で登録できること。 |
| 2 | 1 | 179 | 【医事業務】入院登録 | 差額室料(課税/非課税)や一般病棟/療養病棟/結核病棟/精神病棟/特定機能病院/専門病院/障害者施設等/老人病棟の各種入院基本料 および 各種看護加算・療養環境加算等々、入院基本料加算などの情報を病棟または病室マスタから自動設定できること。また、開始年月日を元に32世代まで管理できること。 |
| 2 | 1 | 180 | 【医事業務】入院登録 | 同開設者/特別な関係にある他病院からの転院引き継ぎ情報を入退院確認画面から登録できること。また介護病棟から転棟にも対応できること。 |
| 2 | 1 | 181 | 【医事業務】入院登録 | 特定入院(入院90日超)のカウントおよびカウント除外(一般病棟/一般病棟以外)に対応できること。また、結核病棟(一般・老人)の入院90日超の減算および減算除外に対応できること。 |
| 2 | 1 | 182 | 【医事業務】入院登録 | 入院期間に応じた入院料算定(加減算)では、180日超え選定療養に対応できること。 |
| 2 | 1 | 183 | 【医事業務】入院登録 | マスタ設定により180日超え選定療養の自費分を患者請求しない設定も可能なこと。 |
| 2 | 1 | 184 | 【医事業務】入院登録 | 180日超え選定療養の自費金額の上限額なども設定できること。 |
| 2 | 1 | 185 | 【医事業務】入院登録 | 電気代、電話代等の自費項目のカレンダーをマスタ設定することにより自由に新設し、電話料等を算定することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 186 | 【医事業務】入院登録 | 保険や患者単位毎に室料差額の優待率を設定することができること。 |
| 2 | 1 | 187 | 【医事業務】入院登録 | 部屋毎の室料差額とは別に、患者の住所によって室料差額の初期値を変更することができること。 |
| 2 | 1 | 188 | 【医事業務】入院登録 | 救急患者として受け入れ、処置室、手術室等において死亡した患者の入院登録ができること。その患者について入院患者数統計ファイルで対象患者(件数)が識別できる状態とすること。 また、入院患者の数に計上しない状態に変更ができること。 |
| 2 | 1 | 189 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 既に登録済の入院情報の変更ができること。 |
| 2 | 1 | 190 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 2日以上連続した期間にわたる入院情報を修正する際には、複数日のカレンダーを選択し、一度に修正変更が可能であること。 |
| 2 | 1 | 191 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 転科転室情報を期間指定で登録し、同一日内の複数の転入転出も管理できること。また優先させる移動履歴の設定ができること。 |
| 2 | 1 | 192 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 入院中の主治医変更もカレンダー形式で登録することができること。 |
| 2 | 1 | 193 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 入院患者の基本情報が常時画面の一部に表示できること。 |
| 2 | 1 | 194 | 【医事業務】入院確認変更処理 | ID入力画面に戻ることなく、表示月の切り替えをワンタッチで行えること。 |
| 2 | 1 | 195 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 部屋や病棟による算定条件が変わった場合、月単位で自動計算できること。 |
| 2 | 1 | 196 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 患者の算定情報(指導料算定日、調剤料算定日、検査判断料算定日など)が参照できること。 |
| 2 | 1 | 197 | 【医事業務】入院確認変更処理 | カレンダーを日本語表示にすることで区分の意味をわかりやすく表示すること。 |
| 2 | 1 | 198 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 入院カレンダーを9ヶ月分表示できること。画面を毎回戻すことなく9ヶ月分のカレンダー表示が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 199 | 【医事業務】入院確認変更処理 | ビタミン剤の算定をカレンダーで指示できること。退院時の会計に反映すること。 |
| 2 | 1 | 200 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 外泊をカレンダーで指定することにより外泊時の入院基本料を自動算定できること。また、選定療養費算定の計算も自動で行うこと。 |
| 2 | 1 | 201 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 薬剤管理指導の算定をカレンダーで指定する際に、1ヶ月4回までのチェックが出来ること。また、1週間につき1回のチェックを行えること。 |
| 2 | 1 | 202 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 薬剤管理指導の算定をカレンダーで指定できること。指定した際には調剤技術基本料の算定抑制を自動で行うこと。 |
| 2 | 1 | 203 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 手術後医学管理の算定を、他業務画面に移動することなく、カレンダーで指示できること。検査等の包括を自動で行うこと。 |
| 2 | 1 | 204 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 入院算定履歴データの登録・修正時には、それぞれの処理に応じた入力項目のウィンドウが表示できること。 |
| 2 | 1 | 205 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 定期請求を月に2回以上行う場合、患者毎に月中で定期請求処理をスキップできるような指定が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 206 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 基本的検体検査実施料の包括対象となる検査を行った場合に、各検査の費用ではなく基本的検体検査実施料を算定する設定を入院カレンダー上で行っていても、当実施料に包括される検査を行っていない場合には、当実施料の算定を抑制できること。また、強制的に算定しない設定も可能であること。 |
| 2 | 1 | 207 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 7日以内・14日以内・1ヶ月以内など入院日数毎の起算日が判断できること。 |
| 2 | 1 | 208 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 選定入院の対象となる初日が判断できること。 |
| 2 | 1 | 209 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 精神病棟入院中の患者に対して外泊が指示(オーダー)された場合、入院基本料の算定割合を自動で変更(15%→30%)できる機能を有すること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|----------------|--|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 210 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 前回退院日から3ヶ月以内の場合に前回からの同一入院かどうかを確認するためのメッセージウィンドウが表示されること。 また、マスタ設定により月数を変更することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 211 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 当月、有効期限が切れる保険があった場合、入院カレンダーの保険情報が色分け表示されること。 また、次月に有効期限が切れる保険があった場合にも入院カレンダーの保険情報が色分け表示されること。 |
| 2 | 1 | 212 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 入院で使用する保険の所得区分と入院カレンダーに登録されている食事料の所得区分が異なる場合には画面上にメッセージが表示されること。 |
| 2 | 1 | 213 | 【医事業務】入院確認変更処理 | 入院カレンダー上で病衣貸与料の算定有無を設定し、労災保険で入院している場合のみ、自動発生が可能であること。 |
| 2 | 1 | 214 | 【医事業務】入院取消処理 | 入院の取消ができること。 |
| 2 | 1 | 215 | 【医事業務】入院取消処理 | 取消処理終了時に誤操作防止の為に確認メッセージを表示すること。 |
| 2 | 1 | 216 | 【医事業務】入院取消処理 | 取消処理終了時に未収状態の退院計算書を書損にするか選択するメッセージウィンドウが表示できること。 |
| 2 | 1 | 217 | 【医事業務】退院処理 | 退院処理ができ、退院請求書が発行できること。 |
| 2 | 1 | 218 | 【医事業務】退院処理 | 移行データによる本稼働以前の不要な計算書作成を抑制できること。 |
| 2 | 1 | 219 | 【医事業務】退院処理 | 前回作成した退院請求書に変更がある場合、その差分請求書を今回の退院処理時に出力することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 220 | 【医事業務】退院処理 | 電子カルテシステムから、退院日と退院理由の受信が可能であること。 |
| 2 | 1 | 221 | 【医事業務】退院処理 | 退院オーダ受信後は、患者が医事システムにおいて入院中の状態であっても外来での会計が可能であること。 また、外来での会計を行うことを可能にするか否かが選択できること。 |
| 2 | 1 | 222 | 【医事業務】退院処理 | 保険別に退院請求書が発行できること。 |
| 2 | 1 | 223 | 【医事業務】退院処理 | 退院会計での請求書イメージ表示については、料金明細内訳項目(欄)を99項目まで設定可能なこと。 |
| 2 | 1 | 224 | 【医事業務】退院処理 | 出産一時金の直接支払い制度に準じて、出産に関わる費用を支給限度額まで差し引いて計算できること。 |
| 2 | 1 | 225 | 【医事業務】退院処理 | 退院日以降に未来データが存在した場合、退院処理時にワーニングメッセージが表示されること。また、処理を続行した場合、投薬については、退院日以降の算定回数がまとめて退院日にセットされること。投薬以外の診療行為については、退院日以降の算定回数がクリアされること。 |
| 2 | 1 | 226 | 【医事業務】退院処理 | 退院処理を実施した際、未取込オーダのチェックができること。未取込オーダが存在している場合は、ワーニング表示ができること。 |
| 2 | 1 | 227 | 【医事業務】入院料問い合わせ | 入院料金の問い合わせができること。また、お知らせ(概算書)が出力できること。 その際、請求額の割引額も入力できること。 |
| 2 | 1 | 228 | 【医事業務】入院料問い合わせ | 概算書に記載する金額はマスタにより初期値が自動で設定できること。また、手動で金額変更もできること。 |
| 2 | 1 | 229 | 【医事業務】入院料問い合わせ | DPC算定患者に対して出来高算定時の試算ができること。 |
| 2 | 1 | 230 | 【医事業務】退院取消 | 退院の取消ができること。 |
| 2 | 1 | 231 | 【医事業務】退院取消 | 退院取消処理と連動して、退院計算書を書損することが可能なこと。また連動しない設定も可能なこと。 |
| 2 | 1 | 232 | 【医事業務】退院準備処理 | オーダリング等から未取込データを取り込めること。 |
| 2 | 1 | 233 | 【医事業務】計算書確認変更 | 請求金額の確認ができること。 |
| 2 | 1 | 234 | 【医事業務】計算書確認変更 | 各部別の点数を1画面で15明細以上一度に確認できること。 |
| 2 | 1 | 235 | 【医事業務】入院カルテ発行 | 入院業務にて入院カルテを発行できること。 |
| 2 | 1 | 236 | 【医事業務】入院カルテ発行 | 科毎または端末毎に異なるプリンタへ入院カルテを出力できること。また、マスタ設定することにより科毎または端末毎に異なる印刷形式の入院カルテを出力できること。 |
| 2 | 1 | 237 | 【医事業務】退院証明書発行 | 入院業務にて退院証明書を発行できること。また、マスタ設定することにより、入院登録時に発行するか、退院登録時に発行するかを選択(発行区分の初期値を発行するに設定)することができること。 |
| 2 | 1 | 238 | 【医事業務】退院証明書発行 | 科毎または端末毎に異なるプリンタへ退院証明書を出力できること。 |
| 2 | 1 | 239 | 【医事業務】定期請求処理 | 定期請求書を科または病棟別に発行できること。 |
| 2 | 1 | 240 | 【医事業務】定期請求処理 | 定期請求書に出力する科または病棟については定期請求処理実行日時時点請求終了日時時点の設定ができること。 |
| 2 | 1 | 241 | 【医事業務】定期請求処理 | 特定入院料算定時は、包括処理を自動的に行えること。 |
| 2 | 1 | 242 | 【医事業務】定期請求処理 | 退院患者で診療データの変更があった場合に、退院請求書の差分計算書も同時に出力することができること。 |
| 2 | 1 | 243 | 【医事業務】定期請求処理 | 月複数回の定期請求にも対応できること。 |
| 2 | 1 | 244 | 【医事業務】定期請求処理 | 定期請求区分で月末1回のみ請求書を出力すると指定した患者については、月中の定期請求処理でスキップされること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|--------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 245 | 【医事業務】定期請求処理 | 請求書の出力順をマスタで選択することにより、下記の順序で出力可能なこと。 ・入院/退院済差分請求書→患者ID→請求開始日順 ・入院/退院済差分請求書→病棟→部屋番号→患者ID→請求開始日順 ・入院/退院済差分請求書→科→患者ID→請求開始日順 |
| 2 | 1 | 246 | 【医事業務】定期請求処理 | 保険別に定期請求書が計算できること。 |
| 2 | 1 | 247 | 【医事業務】定期請求処理 | 患者毎に定期請求の対象外とするか否かの設定が可能であること。 |
| 2 | 1 | 248 | 【医事業務】定期請求処理 | 定期請求処理時、対象患者数、処理患者数、発行枚数等、現在の処理状況を処理中の画面に表示すること。またその際に個人情報保護の観点から患者ID、患者氏名の表示は行わないこと。 |
| 2 | 1 | 249 | 【医事業務】出産一時金 | 出産一時金制度に対応した明細書の出力が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 250 | 【医事業務】診療明細書 | 診療明細書の出力については、退院時の発行と、定期請求時での発行機能を有していること。 |
| 2 | 1 | 251 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来・入院患者の診療データが入力できること。 |
| 2 | 1 | 252 | 【医事業務】診療会計処理 | 電子カルテシステムおよび関連システムからオーダ実施情報を取り込み、点数料金計算が行えること。 |
| 2 | 1 | 253 | 【医事業務】診療会計処理 | オーダ実施情報を取り込み際には、受信した実施情報を自動で会計画面に展開するか、依頼・実施状況を確認した後に取り込み指示を行うかの選択が可能であること。 |
| 2 | 1 | 254 | 【医事業務】診療会計処理 | 取り込んだオーダ実施情報内に、コード誤りや単位誤りがあった場合には文字色を変えて表示し、注意を促すこと。 |
| 2 | 1 | 255 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来患者について、会計入力終了の情報を電子カルテシステムに送信し、電子カルテシステム上の患者受付状態を「会計済」に変更できること。 |
| 2 | 1 | 256 | 【医事業務】診療会計処理 | コード入力や数量・回数入力、伝票・使用保険の区切り入力が全てテンキーで行えること。 |
| 2 | 1 | 257 | 【医事業務】診療会計処理 | 患者番号入力後に、診療日が入院期間でかつ、入外区分が「外来」であれば、入外区分を「入院」へ切り替えるように促すメッセージボックスを表示すること。また、自動で切り替えが可能であること。 |
| 2 | 1 | 258 | 【医事業務】診療会計処理 | 入力行の削除や挿入がワンタッチでできること。 |
| 2 | 1 | 259 | 【医事業務】診療会計処理 | 行削除の際には、伝票毎、もしくは指定行以下全ての一括削除が可能であること。 |
| 2 | 1 | 260 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計処理画面内に算定情報・受診歴情報を表示し、会計入力を行いながら受診歴や算定歴の確認が可能であること。 |
| 2 | 1 | 261 | 【医事業務】診療会計処理 | 算定情報と受診歴情報は、会計入力終了後に自動更新されること。 |
| 2 | 1 | 262 | 【医事業務】診療会計処理 | 現在入力中の診療行為と同時に、入力済の内容を60行並べて表示できること。 |
| 2 | 1 | 263 | 【医事業務】診療会計処理 | オーダからの実施情報について1オーダにつき300明細以上取り込みできること。 |
| 2 | 1 | 264 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療行為の入力明細について、自動発生項目を含めて500明細以上展開できること。 |
| 2 | 1 | 265 | 【医事業務】診療会計処理 | 入力は数字コード・伝票コード・略称コードのどれでも入力可能なこと。また、セット入力・スケルトン入力により容易に複数コードをまとめて入力できること。 |
| 2 | 1 | 266 | 【医事業務】診療会計処理 | 使用量や回数が1の場合、数量必須でないものについては使用量/回数入力を省略できること。 |
| 2 | 1 | 267 | 【医事業務】診療会計処理 | 特定パターンの診療行為を入力する手間を省くため、過去の会計カード内容、または他の患者の会計カード内容が複写できること。 |
| 2 | 1 | 268 | 【医事業務】診療会計処理 | 前回の行為内容を入力部へ自動展開でき、入力作業を大幅に簡略化できること。 |
| 2 | 1 | 269 | 【医事業務】診療会計処理 | 複数の伝票番号で入力された検査項目をマスタ設定で1つの伝票にまとめることが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 270 | 【医事業務】診療会計処理 | 同一伝票コード内で検査項目のまるめ処理を、オペレータが意識することなくランダムな入力方法でも自動的に行えること。 |
| 2 | 1 | 271 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療行為の適用保険が選択できること。また、診療行為毎に保険の振り分けができること。 |
| 2 | 1 | 272 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計業務で保険の確認操作を行うことが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 273 | 【医事業務】診療会計処理 | 会計入力を開始した患者の保険が当月未確認だった場合、会計入力前に保険確認画面を表示する設定が可能で、保険一覧に保険証未確認の印が表示できること。 |
| 2 | 1 | 274 | 【医事業務】診療会計処理 | 確認が必要な保険が複数ある場合、キーボード操作により一括で保険確認できること。また、キーボード操作については誤操作防止のために複数のキーを組合せることができること。 |
| 2 | 1 | 275 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療行為入力中に科の指定や適用保険の選択ができ、複数科・複数保険の入力を連続して入力することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 276 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来患者で1科のみ受診の場合、または未会計の科が1科の場合は、科コードを自動的に設定できること。また、自動設定した科を強制的に変更できること。 |
| 2 | 1 | 277 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来患者で会計入力を行う診療科を選択すると、前回の来院時に使用した保険を自動設定できること。また、自動設定した保険を強制的に変更できること。 |
| 2 | 1 | 278 | 【医事業務】診療会計処理 | 電子カルテシステムからの会計情報を元に科・保険・ドクターを自動設定できること。 |
| 2 | 1 | 279 | 【医事業務】診療会計処理 | 医師/依頼元が選択できること。また医師を選択する際、入力された診療科の担当医を優先的に表示すると同時に、指定した日付で有効な医師のみを表示することができること。 |
| 2 | 1 | 280 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計業務画面に当日受付済みの科を表示し、診療行為入力時の科の間違いを抑止できること。また、受け付けた科の中で会計が終了した科については別の色で表示し、追加入力時のオペレータ判断を容易にすること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|--------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 281 | 【医事業務】診療会計処理 | コードの検索が入力行上でできること。検索方法は、「カナ読み」、「診療区分」、「略称コード」、「数字コード」、「伝票種別」、「解釈番号」を有すること。 |
| 2 | 1 | 282 | 【医事業務】診療会計処理 | コードの検索画面で「単価」での絞りこみができること。 |
| 2 | 1 | 283 | 【医事業務】診療会計処理 | カナ読みによる検索を行う際には、8文字まで入力できること。 |
| 2 | 1 | 284 | 【医事業務】診療会計処理 | 伝票の検索ができること。また、検索した伝票の項目を同一画面で選択できること。 |
| 2 | 1 | 285 | 【医事業務】診療会計処理 | 有効期限を超えた点数マスタは点数マスタ検索結果一覧に表示しないこと。 |
| 2 | 1 | 286 | 【医事業務】診療会計処理 | 当月に有効期限切れになる点数マスタについては背景色を変えて表示すること。 |
| 2 | 1 | 287 | 【医事業務】診療会計処理 | 電子カルテシステムおよび分散入力で作成した診療データを診療行為入力部に展開するか否かを指示できること。 |
| 2 | 1 | 288 | 【医事業務】診療会計処理 | 電子カルテシステムからの依頼情報および実施情報が確認可能なこと。 |
| 2 | 1 | 289 | 【医事業務】診療会計処理 | 基本料および医学管理料等を行為入力欄に自動発生できること。 |
| 2 | 1 | 290 | 【医事業務】診療会計処理 | 基本料や医学管理料等の前回算定日を表示できること。 |
| 2 | 1 | 291 | 【医事業務】診療会計処理 | 基本料の自動発生させるタイミングを、診療行為入力前に行うか入力後に行うかの初期設定ができること。 |
| 2 | 1 | 292 | 【医事業務】診療会計処理 | 計算書の確認・変更・発行ができること。 |
| 2 | 1 | 293 | 【医事業務】診療会計処理 | 特定入院料算定時は、包括項目を自動的に算定しないようにできること。 |
| 2 | 1 | 294 | 【医事業務】診療会計処理 | 基本的検体検査実施料、基本的X線診断料算定時は、包括項目を自動的に算定しないようにできること。 |
| 2 | 1 | 295 | 【医事業務】診療会計処理 | 基本的検体検査実施料算定時は、基本的検体検査判断料を自動的に算定できること。 |
| 2 | 1 | 296 | 【医事業務】診療会計処理 | 個人病名の算定区分と連携して算定可能な医学管理料等を自動展開できること。 |
| 2 | 1 | 297 | 【医事業務】診療会計処理 | 後期高齢者制度の資格がある患者で後期高齢者制度の登録がない場合に診療会計にてチェックできること。 |
| 2 | 1 | 298 | 【医事業務】診療会計処理 | 治験の保険選択時に診療区分との関係をチェックできること。 |
| 2 | 1 | 299 | 【医事業務】診療会計処理 | 検体検査判断料や調剤料など、入力した診療行為から自動発生したデータを行為入力画面で変更できること。 |
| 2 | 1 | 300 | 【医事業務】診療会計処理 | 下記の医学管理料等、診療料算定時は、包括項目を自動的に算定しないこと。 ・外来診療料 ・小児科外来診療料 ・手術前医学管理料 ・手術後医学管理料 ・生活習慣病管理料 ・慢性維持透析患者外来医学管理料 |
| 2 | 1 | 301 | 【医事業務】診療会計処理 | 悪性腫瘍特異物質治療管理料を算定した月内において、腫瘍マーカー検査、生化学的検査Ⅱ判断料、静脈血採取料の自動算定を抑制すること。 |
| 2 | 1 | 302 | 【医事業務】診療会計処理 | がん確定後の腫瘍マーカー検査入力の際、悪性腫瘍特異物質治療管理料への振り替えができること。もしくは指示コード入力時に振り替えができること。 |
| 2 | 1 | 303 | 【医事業務】診療会計処理 | 基本料の自動発生において、転帰が入力されていない病名がある場合、病名毎に設定された期間区分に応じて初診料または再診料を自動算定することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 304 | 【医事業務】診療会計処理 | 小児科の初診料算定月数を運用に合わせて自由に設定変更することができること。 |
| 2 | 1 | 305 | 【医事業務】診療会計処理 | 行為入力画面に医学管理料等の算定情報、受診歴情報、外来入院の未収情報が表示できること。 |
| 2 | 1 | 306 | 【医事業務】診療会計処理 | 算定チェックにおいてエラーになった場合に、自動的に算定可能な診療行為に置き換えられること。 |
| 2 | 1 | 307 | 【医事業務】診療会計処理 | 投薬、注射について薬剤の用途が省略された場合、自動的に手技を追加できること。(内服薬、外用薬、注射) |
| 2 | 1 | 308 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来会計入力時、注射・点滴手技を同一会計内で複数入力した場合、ワーニングメッセージを表示すること。また、会計カードとのチェックも行い、同一日に既に該当の手技を算定している場合にもワーニングメッセージを表示すること。 |
| 2 | 1 | 309 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療行為入力中に入力内容の複写が行えること。 |
| 2 | 1 | 310 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療行為入力中に点数マスタの設定内容を表示できること。 |
| 2 | 1 | 311 | 【医事業務】診療会計処理 | 内服7種類減処理の自動計算ができること。 |
| 2 | 1 | 312 | 【医事業務】診療会計処理 | 長期投与の入力ができること(100日以上)。 |
| 2 | 1 | 313 | 【医事業務】診療会計処理 | 都道府県単独事業における公費一部負担金の計算ができること。 |
| 2 | 1 | 314 | 【医事業務】診療会計処理 | 基本料の自動振り分け(医科、歯科、労災)ができること。 |
| 2 | 1 | 315 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療行為についてフリーコメント(ワープロ入力)の入力ができ、レセプトに印字することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 316 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計入力を終了しようとした際、入力内容にエラーがあった場合は、問題内容に対応したエラー／警告メッセージが表示され、行番号と色分け表示により問題行をわかりやすく表示できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|--------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 317 | 【医事業務】診療会計処理 | 入院患者の注射について一日まとめ機能を有していること。 |
| 2 | 1 | 318 | 【医事業務】診療会計処理 | 入院患者の酸素について一日まとめ機能を有していること。 |
| 2 | 1 | 319 | 【医事業務】診療会計処理 | 入院患者で「喀痰吸引」や「人工呼吸」などを、同一日に複数回実施した場合、優先度の高い手技に振替える機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 320 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来計算書を自動的に入金済とするか、未収とするかを指定できること。 |
| 2 | 1 | 321 | 【医事業務】診療会計処理 | 同月内で調剤技術基本料をすでに算定していた場合、院外処方を入力した場合警告表示を行うことができること。また、すでに同月内で院外処方算定済みで院内処方を算定した場合、調剤技術基本料の算定を抑止することができること。 |
| 2 | 1 | 322 | 【医事業務】診療会計処理 | 薬引換券番号を自動発番できること。また、1請求書で9個まで引換券番号を保有することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 323 | 【医事業務】診療会計処理 | 電子カルテシステムから薬引換券番号を取得できること。 また、取得した薬引換券番号は、医事システムから発行する請求書に印字可能であること。 |
| 2 | 1 | 324 | 【医事業務】診療会計処理 | 単純撮影、造影撮影、特殊撮影等については、分画数入力も可能なこと。 |
| 2 | 1 | 325 | 【医事業務】診療会計処理 | 定型の親コード入力により、子の内容を入力画面上に展開し、自由に追加・修正・削除できること。また展開する前にこの数量などを変更できること。 |
| 2 | 1 | 326 | 【医事業務】診療会計処理 | 請求書に発行したオペレータ番号・端末・日時（何時何分何秒まで）が表示できること。 |
| 2 | 1 | 327 | 【医事業務】診療会計処理 | 入院において同一日に2種類以上の保険で投薬があった場合、調剤料を患者負担の少ない保険で自動発生させることが可能なこと。また、手入力することにより任意の保険で、算定することも可能なこと。 |
| 2 | 1 | 328 | 【医事業務】診療会計処理 | 撮影種別（単純撮影、特殊撮影）毎に画像診断管理加算の自動発生を行うことが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 329 | 【医事業務】診療会計処理 | 会計条件（時間外区分、調剤料区分、処方料区分、分散端末区分、基本料区分）を患者毎にリセットするか否かの制御を行うことが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 330 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計入力中に、業務を切り替えることなくワンタッチで登録個人病名の表示・確認が可能であること。また、表示する個人病名の表示条件（診療科、内外区分、レセプト対象年月、保険）の変更が随時可能であること。 |
| 2 | 1 | 331 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療明細書の出力が可能なこと。 またその際、総ページ数を印字できること。 |
| 2 | 1 | 332 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療明細書の出力については、オンライン処理による計算書単位での発行と、バッチ処理による複数患者発行機能を有していること。 |
| 2 | 1 | 333 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来化学療法加算1および2を入力した際、年齢に応じて同加算の置き換えが可能であること。 |
| 2 | 1 | 334 | 【医事業務】診療会計処理 | 入力途中にキャンセルキーを押した場合、確認メッセージを表示しオペレーションミス防止する機能が有ること。 |
| 2 | 1 | 335 | 【医事業務】診療会計処理 | 入院中他科外来の場合に0点再診料を自動発生し、受診歴についても外来 受診時と同じように更新可能であること。 |
| 2 | 1 | 336 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計の分散情報を展開する際に、マスタの設定に従いオーダ種別順に並び替える機能があること。 |
| 2 | 1 | 337 | 【医事業務】診療会計処理 | オーダ取り込み可能な分散情報を35日まで保存できること。 |
| 2 | 1 | 338 | 【医事業務】診療会計処理 | 院外処方においても薬引換券番号を使用できること。 |
| 2 | 1 | 339 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計における算定情報の表示に関して、以下の条件が選択できること。 ・算定日の最新のものから表示。 ・算定日の最古のものから表示。 ・医科歯科毎に算定日の最新のものから表示。 |
| 2 | 1 | 340 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計入力時に算定なしコードを入力することにより、点数マスタ上単価が設定されていても剤全体の点数を0として計算し患者請求せずに、レセプトに出力しない対応、統計に記録する機能があること。 |
| 2 | 1 | 341 | 【医事業務】診療会計処理 | 電子カルテとの連携で重複算定不可などのエラーがあった場合、診療会計画面で内容を確認できること。 |
| 2 | 1 | 342 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計業務にて、強制的に点数を0点にする機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 343 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療年月を含めた過去12ヶ月分の収納情報をもとに集計した高額療養費情報を確認できること。 |
| 2 | 1 | 344 | 【医事業務】診療会計処理 | 外来の未収請求書、明細書を1か月分まとめて出力することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 345 | 【医事業務】診療会計処理 | 調剤技術基本料を算定している入院患者に同月内に薬剤管理指導料を算定した場合、メッセージ表示、削除指示コードが挿入されること。 |
| 2 | 1 | 346 | 【医事業務】診療会計処理 | 画像診断の会計入力時にフィルム（撮影回数）が入力されていない場合、フィルム（撮影回数）の入力を促すワーニングメッセージを出力すること。 |
| 2 | 1 | 347 | 【医事業務】診療会計処理 | まるめ検査の会計入力時に、まるめ検査算定区分の同じ検査を「当日算定済み」または「同一会計内の別剤にも算定」の場合、まるめ算定とならない為、ワーニングメッセージを出力すること。 |
| 2 | 1 | 348 | 【医事業務】診療会計処理 | 長期療養患者褥瘡等処置の算定対象となる入院中の患者に対して褥瘡処置（創傷処置、皮膚科軟膏処置、重度褥瘡処置）を会計入力した場合、長期療養患者褥瘡等処置へ振替を促すワーニングメッセージを出力すること。 |
| 2 | 1 | 349 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計における算定情報の表示に関して、以下の条件で絞り込み検索が可能であること。 ・算定項目 ・診療区分 ・算定日付 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|---------------------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 350 | 【医事業務】診療会計処理 | 診療会計における算定情報の表示に関して、以下の条件で並び替え表示が可能であること。 ・算定項目 ・診療区分 ・診療科 ・算定日 |
| 2 | 1 | 351 | 【医事業務】診療会計処理 | 治験での処方を行った場合に患者毎に処方料・調剤料・調剤技術基本料を発生抑止することができること。 |
| 2 | 1 | 352 | 【医事業務】診療会計処理 | 受付料と診療会計での入力料のチェックが可能であること。 |
| 2 | 1 | 353 | 【医事業務】診療会計処理 | 会計入力時に、定型コメント（レセプトコメント）の検索が可能であること。 |
| 2 | 1 | 354 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 下記の入力チェックができること。 ・後期高齢者制度によるチェック ・年齢によるチェック ・診療科によるチェック ・算定回数によるチェック（X回/日、X回/月、X回/年） ・入外区分によるチェック ・通算1回チェック（1患者あたり1回） ・日付によるチェック （以下の日付から設定期間内を入力可能または不可能にする） 初診日、入院日、退院日、前回算定日、初回算定日 ・診療行為の排他チェック ・入力数量によるチェック ・感染症37条の2保険によるチェック ・「[医科のみ・歯科のみ]」の診療科による行為チェック機能 ・「[労災のみ・労災以外のみ]」の適用保険による行為チェック機能 |
| 2 | 1 | 355 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 下記の算定チェック、自動算定ができること。 基本料 ・医科初再診の自動振分け算定 ・歯科初再診の自動振分け算定 ・労災初再診の自動振分け算定 ・乳幼児加算の自動算定 ・幼児加算の自動算定 ・乳幼児育児栄養指導料の算定チェック（自動算定するか否かを選択できること） ・時間外加算 ・時間外特例医療機関加算の算定 ・複数診療科における重複算定関連チェック ・初診料と特定疾患療養管理料の相関チェック ・外来診療料の包括算定 |
| 2 | 1 | 356 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 同一日に新たに別の診療科を初診として受診した場合は2つ目の診療科の基本料として「初診（同日複数診療科）」を自動算定すること。 また、再診についても同等の機能を有していること。 |
| 2 | 1 | 357 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 紹介患者の場合は初診時特定療養費算定を自動的に抑止すること。 |
| 2 | 1 | 358 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 入院基本料関連 ・入院基本料の自動算定 ・入退院履歴による入院基本料期間加算の自動算定 ・外泊時の自動算定 ・室料差額の自動算定 ・90日超入院に対応する機能を有すること。 ・180日を超える選定入院に対応する機能を有すること。 ・病棟毎の基本料を自由に設定する機能を有すること。 また、施設基準変更時に対応でき、履歴管理する機能を有すること。 ・次月自動繰り越し機能があること。 ・DPCに対応する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 359 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 入院基本料等加算関連 以下の加算について施設基準に応じて自動算定が可能であること。 ・総合入院体制加算 ・地域医療支援病院入院診療料 ・臨床研修病院入院診療加算 ・診療録管理体制加算 ・医師事務作業補助体制加算 ・急性期看護補助加算 ・乳幼児加算・幼児加算 ・特殊疾患入院施設管理加算 ・看護補助加算、看護配置加算 ・地域加算 ・離島加算 ・療養環境加算 ・重傷者、HIV患者、二類感染症患者、小児など療養環境特別加算 ・療養病棟療養環境加算 ・精神病棟入院時医学管理料 ・栄養管理実施加算 ・医療安全対策加算 ・感染防止対策加算 |
| 2 | 1 | 360 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 療養病棟入院基本料を算定する病棟の場合は、ADLや疾患、病状等について厚生労働大臣が定める区分に従い、当該患者毎にそれぞれの所定点数を算定できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|---------------------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 361 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 療養病棟入院基本料を算定している患者が急性増悪により一般病棟へ転棟した場合は、その日より起算して3日前までの期間は「療養病棟入院基本料E」を自動算定すること。 |
| 2 | 1 | 362 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 療養病棟入院基本料を算定する場合は自動包括を行うが、急性増悪により同一医療機関の一般病棟へ転院、または別の医療機関の一般病棟へ転院する場合には、その日から起算して3日前までの間については療養病棟入院基本料Iを算定し、出来高算定できること。 |
| 2 | 1 | 363 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 食事療養費関連その他 <ul style="list-style-type: none"> ・特別食加算 ・食堂加算 ・電子カルテシステムから食事情報を取得し反映する機能を有すること。 ・療養病床に入院する70歳以上の患者の場合は、生活療養費を算定する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 364 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 特定入院料 以下の特定入院料を算定した際に、包括処理を自動で行えること。 <ul style="list-style-type: none"> ・救命救急入院料 ・特定集中治療室管理料 ・ハイケアユニット入院医療管理料 ・脳卒中ケアユニット入院医療管理料 ・新生児特定集中治療室管理料 ・総合周産期特定集中治療室管理料 ・総合周産期特定集中治療室管理料 ・新生児治療回復室入院医療管理料 ・一類感染症患者入院医療管理料 ・特殊疾患療養病棟入院料 ・小児入院医療管理料 ・回復期リハビリテーション病棟入院料 ・亜急性期入院医療管理料 ・特殊疾患入院医療管理料 ・緩和ケア病棟入院料 ・精神科救急入院料 ・精神科急性期治療病棟入院料 ・精神科救急・合併症入院料 ・精神療養病棟入院料 |
| 2 | 1 | 365 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 医学管理料等 - 1 以下の医学管理料について算定期間や限度回数などのチェック機能を有すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・特定疾患療養管理料の算定チェック ・ウイルス疾患指導料 1の算定チェック ・ウイルス疾患指導料 2の算定チェック ・特定薬剤治療管理料 ・悪性腫瘍特異物質治療管理料（尿中BTA)の自動算定 ・悪性腫瘍特異物質治療管理料（その他のもの)の自動算定 ・腫瘍マーカーの検査名をレポートに出力する機能を有すること。 ・小児特定疾患カウンセリング料の算定チェック ・小児科療養指導料の算定チェック ・てんかん指導料の算定チェック ・難病外来指導管理料の算定チェック ・皮膚科特定疾患指導管理料（Ⅰ)の算定チェック ・皮膚科特定疾患指導管理料（Ⅱ)の算定チェック ・外来栄養食事指導料の算定チェック ・入院栄養食事指導料の算定チェック ・集団栄養食事指導料の算定チェック ・心臓ペースメーカー指導管理料の算定チェック ・在宅療養指導料の算定チェック ・高度難聴指導管理料の算定チェック ・慢性維持透析患者外来医学管理料の算定チェック |
| 2 | 1 | 366 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 医学管理料等 - 2 以下の医学管理料について算定期間や限度回数などのチェック機能を有すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・小児悪性腫瘍患者指導管理料の算定チェック ・糖尿病合併症管理料の算定チェック ・耳鼻咽喉科特定疾患指導管理料の算定チェック ・がん性疼痛緩和指導管理料の算定チェック ・小児科外来診療料の算定チェック（包括処理を含む) ・乳幼児育児栄養指導料の自動算定 ・生活習慣病管理料の算定チェック ・手術前医学管理料の算定チェック ・手術後医学管理料の算定チェック ・開放型病院共同指導料(Ⅰ)(Ⅱ)の算定チェック ・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)(Ⅱ)の算定チェック ・薬剤管理指導料の算定チェック |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|--|------|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 367 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>在宅医療</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅患者訪問診療料の算定チェック 在宅時医学総合管理料の算定チェック 在宅患者訪問看護・指導料の算定チェック 在宅患者訪問リハビリテーション指導管理料の算定チェック 訪問看護指示料の算定チェック 在宅患者訪問薬剤管理指導料の算定チェック 在宅患者訪問栄養食事指導料の算定チェック 在宅自己注射指導管理料の算定チェック 在宅自己腹膜灌流指導管理料の算定チェック 在宅血液透析指導管理料の算定チェック 在宅酸素療法指導管理料の算定チェック 在宅中心静脈栄養法指導管理料の算定チェック 在宅成分栄養経管栄養法指導管理料の算定チェック 在宅自己導尿指導管理料の算定チェック 在宅人工呼吸指導管理料の算定チェック 在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の算定チェック 在宅悪性腫瘍等患者指導管理料の算定チェック 在宅寝たきり患者処置指導管理料の算定チェック 在宅自己疼痛管理指導管理料の算定チェック 在宅肺高血圧症患者指導管理料の算定チェック 在宅気管切開患者指導管理料の算定チェック 特定施設入居時等医学総合管理料の算定チェック 在宅患者連携指導料の算定チェック | |
| 2 | 1 | 368 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>検査料 - 1. 検体検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 出血・凝固検査まるめ算定 血液化学検査（生化学検査Ⅰ）まるめ算定 生化学的検査（Ⅰ）10項目の入院中の初回自動算定 内分泌学的検査まるめ算定 腫瘍マーカーまるめ算定 腫瘍マーカーと悪性腫瘍特異物質治療管理料との相関算定 ウイルス抗体価測定の限度計算 肝炎ウイルス関連検査まるめ算定 グロブリンクラス別ウイルス抗体価測定まるめ算定 自己抗体検査丸めの自動算定 基本的検体検査判断料・実施料 生体検査3才未満の乳幼児加算の自動算定 検体検査管理加算 検体検査判断料の自動算定（尿・糞便等～微生物） 外来迅速検査加算の自動算定（1日につき最大5項目まで） 時間外緊急院内検査加算 静脈採血料の自動算定 乳幼児血液採取加算 | |
| 2 | 1 | 369 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>検査料 - 2. 生体検査</p> <ul style="list-style-type: none"> 生体検査判断料の自動算定 生体検査における遅延の自動算定 小児食物アレルギー・負荷検査の算定チェック（年齢、回数） 実施時間による段階的計算 乳幼児穿刺加算 乳幼児開腹による臓器穿刺・組織採取加算 生体検査判断料の新生児・乳幼児加算 外来管理加算対象のチェック算定 同一検査月2回目以降90/100算定 | |
| 2 | 1 | 370 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>画像診断</p> <ul style="list-style-type: none"> 撮影回数による診断料・撮影料加算 単純撮影、造影撮影の限度回数を自動算定 撮影料の新生児・乳幼児加算の自動算定 胸部単純撮影、腹部単純撮影時のフィルム乳幼児時加算 核医学診断料の自動算定 コンピュータ断層診断料 CTとMRIの当月2回目以降減算 CT、MRIの造影剤加算を自動算定 基本的エックス線診断料の自動算定 時間外緊急院内画像診断加算 画像診断管理加算1(写真診断)の自動算定 画像診断管理加算1(核医学診断)の自動算定 画像診断管理加算1(コンピュータ断層診断)の自動算定 画像診断管理加算1(基本的X線診断)の自動算定（特定機能病院） 画像診断管理加算2(核医学診断)の自動算定 画像診断管理加算2(コンピュータ断層診断)の自動算定 | |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|--|------|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 371 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>投薬料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調剤料の自動算定 ・処方料の自動算定 ・調剤技術基本料の自動算定 ・調剤技術基本料の算定における院外処方とのチェック算定 ・内服薬の多剤投与の通減算定 ・ビタミン剤のチェック ・乳幼児加算 ・麻毒加算(麻薬・向精神薬・覚醒剤・毒薬)の自動算定 ・サンプル医薬品の自動判断 ・特定疾患処方管理加算の自動算定 ・長期投薬処方管理加算の自動算定 ・結核(感染症37条)対象薬剤のチェック ・治験対象薬剤のチェック | |
| 2 | 1 | 372 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>注射料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静脈注射手技料の自動算定 ・その他注射手技料 ・乳幼児加算 ・麻毒加算の自動算定 ・生物学的製剤注射加算 ・中心静脈注射手技料の算定 ・ビタミン剤のチェック算定 ・注射用水(Aq)の自動算定を選択できること ・手術日当日の注射 ・通常点滴注射、精密持続注射、中心静脈注射、埋込型カテーテルによる中心静脈栄養の1日まとめの自動算定 ・結核(感染症37条)対象薬剤のチェック ・治験対象薬剤のチェック | |
| 2 | 1 | 373 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>リハビリテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児・乳幼児加算 ・疾患別リハビリテーション料がそれぞれ算定限度日数まで算定できること。 ・疾患別リハビリテーションの各限度日数超過後は、1月13単位を越えた場合のチェック機能を有すること。 ・発症日、手術日または急性増悪の日から30日を越えた場合は、早期リハビリテーション加算のチェック機能を有すること。 ・早期リハビリテーション加算の内外チェック機能を有すること。 ・回復期リハビリテーション病棟入院料を算定している場合は、1日の限度単位を9単位まで算定できること。 ・急性発症した脳血管疾患患者の場合は発症後60日以内1日9単位まで算定できること。 ・労災特掲点数に対応していること。また、四肢加算が可能なこと。 | |
| 2 | 1 | 374 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>処置料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外加算 ・新生児・乳幼児加算の自動算定 ・乳幼児穿刺加算 ・外来管理加算対象のチェック算定 ・実施時間の段階的加算 ・労災四肢加算 ・長期療養患者褥瘡等処置は入院期間が1年を超える患者であることをチェックする機能を有すること。 | |
| 2 | 1 | 375 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>手術料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新生児・乳幼児加算の自動算定 ・時間外加算 ・乳幼児穿頭術後脳室ドレーン加算 ・労災の四肢加算 ・従たる手術の50/100加算の算定 ・施設基準達成5/100加算の算定 ・施設基準未達成70/100の算定 ・実施時間の段階的加算 ・難治性電磁波電気療法(一連につき)の患者1回限り算定 ・施設基準未適合手術を行った場合に、手術手技料を0点とする機能を有すること。 | |
| 2 | 1 | 376 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>輸血</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血液の種類および使用量による輸血手技料の自動算定 ・新生児・乳幼児加算の自動算定 ・時間外加算 ・自己血輸血・自己血貯血の手技料は200ml毎に段階的な加算ができること。 ・6才未満の自己血貯血・自己血輸血については、入院時の体重を元に加算を自動計算できること。 | |
| 2 | 1 | 377 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>麻酔</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖循環式全身麻酔の麻酔時間による種類別自動算定 ・新生児・乳幼児加算の自動算定 ・時間外加算 ・実施時間の段階的加算 ・各種麻酔・神経ブロックの手技料の自動算定 | |
| 2 | 1 | 378 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>病理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病理検体検査判断料の自動算定 ・組織診断料、細胞診断料の自動算定 | |
| 2 | 1 | 379 | <p>【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・傷病手当金意見書交付日のレセプト表示 ・労災文書(休業補償、年金通知様式)の交付日のレセ表示機能を有すること。 ・エックス線写真診断報告加算のチェック算定 ・核医学診断文書報告加算のチェック算定 ・コンピュータ断層診断文書報告加算のチェック算定 ・酸素の算定 ・院外処方箋料 | |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|---------------------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 380 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 窓口負担金 ・前期高齢者および後期高齢者外来一部負担金 ・食事標準負担額（減額認定） |
| 2 | 1 | 381 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 人工腎臓（慢性維持透析）を実施時に使用した透析液、血液凝固防止剤、生理食塩水および別に厚生労働大臣が定める注射薬（特定薬剤）の費用を包括算定できること。 |
| 2 | 1 | 382 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 次の特定入院料を算定し、かつ、人工呼吸器を使用しない（人工呼吸器加算を算定しない）場合、酸素および窒素の費用を算定しないこと。 ・特殊疾患入院医療管理料 ・小児入院医療管理料 ・特殊疾患病棟入院料 |
| 2 | 1 | 383 | 【医事業務】入力チェック及び算定チェック、自動算定 | 脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術は主たる手術にまとめて算定できること。 |
| 2 | 1 | 384 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードカレンダー部分の表示を、全て日付で表示するか5日毎に日付を表示するのを選択できる機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 385 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 誤って会計カードを削除するのを防ぐために、削除指示の項目を変更不可にできること。 |
| 2 | 1 | 386 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 同じ診療行為でも、ドクターやオダ依頼元が異なった場合、分けて表示できること。また、合わせて表示することもできること。 |
| 2 | 1 | 387 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計処理で入力された診療行為に対し、回数の変更、明細の追加・変更、適用保険の変更ができること。 |
| 2 | 1 | 388 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードの参照・更新・削除ができること。 |
| 2 | 1 | 389 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 診療会計処理で入力した医学管理料や判断料等の算定情報を表示し、変更できること。 |
| 2 | 1 | 390 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードの科、適用保険、ドクター等を一括して変更できること。 |
| 2 | 1 | 391 | 【医事業務】会計カード検索処理 | カレンダーの回数を直接変更できること。 |
| 2 | 1 | 392 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 回数変更の際は、「何日から何日まで何回」の指定による入力も可能であること。 また、その指定が複数できること。 |
| 2 | 1 | 393 | 【医事業務】会計カード検索処理 | カレンダーの連続表示を「1---」が「1111」を選択できること。 |
| 2 | 1 | 394 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計修正におけるドクターコード入力チェックができること。 |
| 2 | 1 | 395 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 検索時、ID入力した際に患者が入院中であれば対象とする会計カードの区分を自動的に「入院」にできること。 |
| 2 | 1 | 396 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 患者の入院状況にかかわらず、端末毎の設定値に従って入外区分をセットできること。 |
| 2 | 1 | 397 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 入院会計カードの場合、入院料・特定入院料カレンダー・食事の有無・特別食・外泊情報・D P C 包括期間名称がカレンダー上に表示できること。 |
| 2 | 1 | 398 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 保険パターンをワンタッチで表示し、保険情報を容易に確認できること。 |
| 2 | 1 | 399 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 診療会計業務と同等にコードの検索が入力行上でできること。検索方法は、「カナ読み」、「診療区分」、「略称コード」、「数字コード」、「伝票種別」、「解釈番号」を有すること。 |
| 2 | 1 | 400 | 【医事業務】会計カード検索処理 | コードの検索画面で「単価」での絞りこみができること。 |
| 2 | 1 | 401 | 【医事業務】会計カード検索処理 | カレンダー表示では、スクロール機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 402 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カード情報として、「適用保険」、「診療区分」、「診療科」、「ドクターコード」、「依頼元コード」、「明細」、「点数*回数」、「カレンダー情報」を表示できること。 |
| 2 | 1 | 403 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードは99ヶ月分を保持できること。その間、レセプトおよび計算書の変更出力ができること。 |
| 2 | 1 | 404 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 入力した条件（診療区分範囲、保険パターン番号、ドクターコード、依頼元コード、伝票番号、表示条件区分、診療期間、数字コード等）にて診療行為の絞り込み検索および表示ができること。また、表示条件と合致した内容を一括で削除できること。 |
| 2 | 1 | 405 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 選択した明細毎に、以下のような詳細情報がワンタッチで確認できること。科保険行を選択した際にはドクターコード、オダ依頼元コードを表示し、明細行を選択した際にはマスタの詳細情報（診療区分、リストコード、単価、単位、注射量、正式名称、区分情報、包括情報）を表示できること。 |
| 2 | 1 | 406 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードを科、保険単位で一括変更することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 407 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 時間外加算を算定している剤(明細)については背景色を変えるなどして、目視での時間外加算の有無確認が容易に行えること。 |
| 2 | 1 | 408 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 院内処方、院外処方、退院時処方方を識別表示できること。 |
| 2 | 1 | 409 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードの表示順を保険・診療区分順または診療区分・保険順の設定ができること。 |
| 2 | 1 | 410 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 当月の診療行為を全科で表示できること。 |
| 2 | 1 | 411 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 月・科毎の患者の会計点数の表示できること。 |
| 2 | 1 | 412 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードから業務を切り替えずにワンタッチで個人病名の参照ができること。 |
| 2 | 1 | 413 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 乳幼児加算を算定している場合、（乳）や（幼）など診療行為の先頭に付加して表示できること。 |
| 2 | 1 | 414 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 保険の期間外チェックができること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|-----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 415 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 保険の内外限定チェックができること。 |
| 2 | 1 | 416 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 保険の診療科限定チェックができること。 |
| 2 | 1 | 417 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 診療行為の当月限度回数チェックができること。 |
| 2 | 1 | 418 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 外来診療料等の包括チェックができること。 |
| 2 | 1 | 419 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 検査の判断料のみが存在するかのチェックができること。 |
| 2 | 1 | 420 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カードの修正を行う際に、複数割りまとめて修正画面を展開し、修正ができること。 |
| 2 | 1 | 421 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カード表示の際、診療科別表示、レセ科別表示、本レセプト別表示（医科・歯科別）のいずれかを選択できること。 |
| 2 | 1 | 422 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カレンダー上に使用している法別番号が表示できること。 |
| 2 | 1 | 423 | 【医事業務】会計カード検索処理 | 会計カレンダー上に入院料項目（入院基本料、注加算、入院基本料等加算、特定入院料など）の明細表示・確認が行えること。 また、上記入院料項目については修正できないこと。 |
| 2 | 1 | 424 | 【医事業務】収納処理 | 計算書の確認・変更・再発行ができること。 |
| 2 | 1 | 425 | 【医事業務】収納処理 | 計算書一覧の表示条件（請求日の期間指定、内外区分、昇順/降順、診療科、作成契機、法別番号、入金状態）を指定できること。 |
| 2 | 1 | 426 | 【医事業務】収納処理 | 未収登録・入金処理ができること。 |
| 2 | 1 | 427 | 【医事業務】収納処理 | 計算書を手書きイメージで自由に作成できること。 |
| 2 | 1 | 428 | 【医事業務】収納処理 | 手書きイメージの計算書を作成する際に、他の計算書をコピーする事ができること。 |
| 2 | 1 | 429 | 【医事業務】収納処理 | 計算書一覧画面で計算書を新しいものから表示するか古いものから表示するかを指定できること。 |
| 2 | 1 | 430 | 【医事業務】収納処理 | 変更画面から計算書一覧画面に戻れること。 |
| 2 | 1 | 431 | 【医事業務】収納処理 | 受取金額の入力により、釣銭の自動計算ができること。 |
| 2 | 1 | 432 | 【医事業務】収納処理 | 端末毎に入金した額を内外別・科別に集計できること。 |
| 2 | 1 | 433 | 【医事業務】収納処理 | 領収書や請求書の出力先を端末毎に指定できること。 |
| 2 | 1 | 434 | 【医事業務】収納処理 | 収納処理操作履歴を検索表示できること。 |
| 2 | 1 | 435 | 【医事業務】収納処理 | 入金処理の途中で計算書の内容を確認表示できること。 |
| 2 | 1 | 436 | 【医事業務】収納処理 | 入金履歴管理は1計算書につき100件まで登録可能であること。 |
| 2 | 1 | 437 | 【医事業務】収納処理 | 入金履歴毎に入金処理日を登録することができること。 （入金日とは別に日付を保持することができること） |
| 2 | 1 | 438 | 【医事業務】収納処理 | 入金履歴毎に入金理由を登録することができること。 |
| 2 | 1 | 439 | 【医事業務】収納処理 | 計算書の状態（入金、未収、告知、委管、書損）毎にその理由区分を設定できること。 |
| 2 | 1 | 440 | 【医事業務】収納処理 | 計算書毎に使用保険の表示を行い、一覧画面で確認できること。 |
| 2 | 1 | 441 | 【医事業務】収納処理 | 計算書毎にコメント（注釈）の登録ができ、一覧画面で表示できること。 |
| 2 | 1 | 442 | 【医事業務】収納処理 | 計算書一覧画面では、未収計算書のみを表示対象とすることが可能であること。 |
| 2 | 1 | 443 | 【医事業務】収納処理 | 計算書確認変更画面において診療点数および患者請求金額、一部負担金の表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 444 | 【医事業務】収納処理 | 計算書確認変更画面において計算書の作成時間の表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 445 | 【医事業務】収納処理 | 計算書確認変更画面において計算書の更新時間の表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 446 | 【医事業務】収納処理 | 計算書確認変更画面において計算書を更新した端末名の表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 447 | 【医事業務】収納処理 | 計算書確認変更画面において計算書の更新者（オペレーターコード）の表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 448 | 【医事業務】収納処理 | 計算書確認変更画面において計算書の状態を変更した日時（何時何分何秒まで）と変更を行った更新者（オペレーターコード）の表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 449 | 【医事業務】収納処理 | 計算書確認変更画面においては患者IDと患者氏名の表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 450 | 【医事業務】収納処理 | 1会計で計算書が複数枚になる場合を考慮し、画面への枚数表示（1/2など）ができること。 |
| 2 | 1 | 451 | 【医事業務】収納処理 | 領収書を出力することが可能であること。（計算書とは別の様式で出力することが可能であること） |
| 2 | 1 | 452 | 【医事業務】収納処理 | 発行日、内外区分、発行番号を指定することで計算書の検索を行うことが可能であること。 |
| 2 | 1 | 453 | 【医事業務】収納処理 | オペレータ毎に各種操作（書損、変更、未収、再発行、入金、入金履歴）の制限を行うことが可能であること。 |
| 2 | 1 | 454 | 【医事業務】収納処理 | 請求書の集計項目を、保険項目（基本料、投薬料等）と自費項目（文書料、容器代等）で99項目（固定項目を含む）まで設定できること。 |
| 2 | 1 | 455 | 【医事業務】収納処理 | 請求書の集計項目の合計行を、上部または下部に固定表示できること。 |
| 2 | 1 | 456 | 【医事業務】収納処理 | 集計されていない請求書の集計項目は非表示にできること。 |
| 2 | 1 | 457 | 【医事業務】収納処理 | 前項の集計項目毎に入金処理が行えること。 |
| 2 | 1 | 458 | 【医事業務】収納処理 | 前項の集計項目（文書料、容器代等）毎に消費税計算が行えること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|--------------|--|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 459 | 【医事業務】収納処理 | 計算書毎に菓引換券番号を9個まで管理でき、計算書に印字できること。また、10個以上ある場合は、計算書にその旨がわかるような印字が行えること。 |
| 2 | 1 | 460 | 【医事業務】収納処理 | 計算書は一意的な管理番号を自動で付番できること。 |
| 2 | 1 | 461 | 【医事業務】収納処理 | 保険情報、会計情報の追加・修正等で患者請求額が変動する場合、再計算を行うことで差額計算書の発行できること。 |
| 2 | 1 | 462 | 【医事業務】収納処理 | 保険情報、会計情報の追加・修正などで患者請求額が変動する際に差額計算書を発行しない場合は、元の計算書を書損登録することで、新規に正しい計算書を作成することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 463 | 【医事業務】収納処理 | 自立支援患者が当月他の医療機関にて一部負担金を支払済みの場合は、その金額を考慮して月限度額までの請求が可能であること。 |
| 2 | 1 | 464 | 【医事業務】収納処理 | 1画面に20件以上請求書情報を1度に表示し確認できること。 |
| 2 | 1 | 465 | 【医事業務】収納処理 | 再計算時の条件として、内外区分、請求期間の開始日、終了日を自動で設定できること。 |
| 2 | 1 | 466 | 【医事業務】収納処理 | 0円の未収計算書を作成することができること。また、その計算書に対して入金処理を行うことが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 467 | 【医事業務】収納処理 | 計算書一覧項目の並び順をあらかじめ決められた表示パターンから選択することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 468 | 【医事業務】収納処理 | 入金処理時、指定した患者に複数の未収計算書がある場合、まとめて入金処理が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 469 | 【医事業務】収納処理 | 入金処理時、複数の計算書をマウスで選択することにより、未収金額を合算し、入金処理が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 470 | 【医事業務】収納処理 | 収納情報として納付番号、納付日、納付期限、調定日、状態変更調定日を管理することが可能なこと。また、入金毎に入金調定日、領収番号を管理することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 471 | 【医事業務】収納処理 | 計算書（領収書）は契機毎の形式で出力できること。 例）外來計算書、退院計算書等 |
| 2 | 1 | 472 | 【医事業務】収納処理 | 収納業務にてその日の集計結果（日計表）を画面表示でき、端末名や集計者（集計グループ）、期間、時間範囲指定も可能であること。 |
| 2 | 1 | 473 | 【医事業務】収納処理 | 入金、書損などの履歴の検索表示を行えること。 |
| 2 | 1 | 474 | 【医事業務】収納処理 | 発行済計算書の検索表示を行えること。 |
| 2 | 1 | 475 | 【医事業務】収納処理 | 収納業務のレジ処理で未収計算書の表示件数を200件まで表示できること。 |
| 2 | 1 | 476 | 【医事業務】収納処理 | 収納業務から窓口にて一時的に請求金額を変更できること。 |
| 2 | 1 | 477 | 【医事業務】収納処理 | 診療会計または収納から計算書画面表示後、入金日を登録・変更した場合に発行日と入金日をチェックできること。 |
| 2 | 1 | 478 | 【医事業務】収納処理 | 収納業務レジ処理において入金日付が変更された場合に、最終発行日と入金日をチェックできること。 |
| 2 | 1 | 479 | 【医事業務】収納処理 | 計算書一覧画面に合計点数が表示できること。 |
| 2 | 1 | 480 | 【医事業務】収納処理 | 書損状態の計算書、および明細書について、発行を不可とするかどうかを選択できること。 |
| 2 | 1 | 481 | 【医事業務】収納処理 | 収納業務で出力した集計結果（日計表）、入金・書損などの履歴の検索表示の結果、発行済計算書の検索結果をエクセルに表示することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 482 | 【医事業務】病名登録業務 | 医科病名の登録・変更・削除ができること。歯科についても同様の処理ができること。 |
| 2 | 1 | 483 | 【医事業務】病名登録業務 | 医科歯科ともコード入力の際に、カナおよび漢字での病名検索ができること。 |
| 2 | 1 | 484 | 【医事業務】病名登録業務 | 医科歯科ともコード入力の他にワープ入力できること。また、ワープ入力病名は色等を変えて、コード入力されたものと区別できること。 |
| 2 | 1 | 485 | 【医事業務】病名登録業務 | コード入力の際には、病名と修飾語（接頭語・接尾語等）を自由に組み合わせる日本語病名の合成が可能であること。 |
| 2 | 1 | 486 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名一覧画面について、全科の病名を表示するか特定の科のみ表示するかを端末毎に設定できること。また、その設定を業務処理中に変更できること。 |
| 2 | 1 | 487 | 【医事業務】病名登録業務 | 年月指定により、参照したレセプトに表示する病名のみを抽出して病名一覧画面に表示できること。 |
| 2 | 1 | 488 | 【医事業務】病名登録業務 | 登録済病名を複写できること。 |
| 2 | 1 | 489 | 【医事業務】病名登録業務 | 端末毎に正式病名を表示するか代替病名（患者を配慮した病名表示）を表示するかを設定できること。業務単位で設定が可能。患者単位や病名マスタ単位で設定する必要がないこと。また、その設定を業務処理中に変更できること。 |
| 2 | 1 | 490 | 【医事業務】病名登録業務 | 未来日付の転帰日を入力できること。 |
| 2 | 1 | 491 | 【医事業務】病名登録業務 | 転帰区分は治癒、死亡、中止、転医、軽快などの登録ができること。 |
| 2 | 1 | 492 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名は主病名登録ができること。 |
| 2 | 1 | 493 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名コードは厚生省マスタコードを使用し内部にICD-10が付与できること。 |
| 2 | 1 | 494 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名毎に保険指定できる機能があること。また、有効保険を検索する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 495 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名に対して保険指定をしている場合は、保険により病名を抽出して病名一覧画面に表示できること。 |
| 2 | 1 | 496 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名はレセプト科単位で抽出して病名一覧画面に表示できること。 |
| 2 | 1 | 497 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名オーダ連携時、病名一覧画面表示にて電子カルテシステムから取り込んだ病名と医事システムで登録した病名を識別できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|-----------------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 498 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名単位に科の限定 および 外来/入院/入外共通の限定が可能なこと。また、全科適用病名としての登録も可能なこと。 |
| 2 | 1 | 499 | 【医事業務】病名登録業務 | 主病名区分（レセプト出力時、同一開始日の病名の先頭へ出力）および 優先順位の入力により、レセプトへの病名出力順を制御できること。 |
| 2 | 1 | 500 | 【医事業務】病名登録業務 | 各種慢性・特定疾患等区分をマスタ設定することで、会計入力時に指導管理料の自動発生が行えること。 |
| 2 | 1 | 501 | 【医事業務】病名登録業務 | レセプト表示用名称と外来総括票表示用名称と分けることができること。（正式病名・代替病名など） |
| 2 | 1 | 502 | 【医事業務】病名登録業務 | 病名一覧画面について、全科の病名を表示するか特定の科のみ表示するかを端末毎に設定できること。また、業務処理中に任意に変更できること。 |
| 2 | 1 | 503 | 【医事業務】病名登録業務 | 歯科の歯式、ブリッジ、乳歯を登録する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 504 | 【医事業務】病名登録業務 | 歯科病名の部位は、入力欄が4分割された歯式形式での登録・表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 505 | 【医事業務】病名登録業務 | 診療開始日とレセプト表示開始日を分けて登録する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 506 | 【医事業務】病名登録業務 | 廃止病名は文字色を変えるなどで判別が容易に行えること。また、廃止病名を登録しようとした際にはアラート表示を行うこと。 |
| 2 | 1 | 507 | 【医事業務】病名登録業務 | 傷病名のレセプト表示期限の年月を設定する機能を有しており、疑い病名などの転帰登録がない場合でも、設定した年月以降はレセプトに表示させないことが可能であること。 |
| 2 | 1 | 508 | 【医事業務】病名登録業務 | 開始日の異なる同一傷病名が存在する場合に、開始日の古い方をレセプトに印字するのか、それぞれの病名を印字するかが設定できること。 |
| 2 | 1 | 509 | 【医事業務】病名登録業務 | 医科病名については、1画面にて25個以上病名を1度に表示し確認できること。 |
| 2 | 1 | 510 | 【医事業務】病名登録業務 | 個人病名を1科で最大200件まで登録することが可能なこと。また、レセプトにおいては病名を900件まで表記することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 511 | 【医事業務】病名登録業務 | 1つの業務画面で傷病名の参照や登録ができること。 |
| 2 | 1 | 512 | 【医事業務】病名登録業務 | オペレータ権限によりデータの変更、新規登録・削除を制限できること。 |
| 2 | 1 | 513 | 【医事業務】病名登録業務 | 個人病名の登録日、変更日を表示できること。 |
| 2 | 1 | 514 | 【医事業務】病名登録業務 | 個人病名業務の抽出条件にて「転帰区分」が選択でき、「全て／転帰病名のみ／転帰病名以外」の条件で病名情報を表示できること。 |
| 2 | 1 | 515 | 【医事業務】病名登録業務 | 廃止予定病名で移行先病名がある場合は移行先病名へ振り替えるか否かメッセージを表示し、振り替え選択を可能とすること。 廃止予定病名で移行先病名がない場合は、病名確認を促すメッセージを表示することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 516 | 【医事業務】個別予約 | 電子カルテシステムおよびその他部門システムから、予約の登録・変更情報を取得可能であること。 |
| 2 | 1 | 517 | 【医事業務】個別予約 | 患者毎に予約登録・予約確認・予約削除を行うことができること。 |
| 2 | 1 | 518 | 【医事業務】個別予約 | 予約情報として予約科・予約日・予約コメント（50文字2行まで）・保険パターン番号を登録できること。 |
| 2 | 1 | 519 | 【医事業務】個別予約 | 休日・予約時間外および過去日などの予約登録不可能枠については、背景色を色分け表示できること。 |
| 2 | 1 | 520 | 【医事業務】個別予約 | 外来総括票の一括発行およびカルテ管理システムなどへ予約情報を一括送信できること。 |
| 2 | 1 | 521 | 【医事業務】個別予約 | 予約登録業務において、総括表の発行状況を確認できること。 |
| 2 | 1 | 522 | 【医事業務】外来一括予約登録 | 科別・医師別もしくは科別・診療内容別に患者予約を一括予約登録ができること。 |
| 2 | 1 | 523 | 【医事業務】外来一括予約登録 | 予約情報として予約科・予約日・予約コメント（50文字2行まで）・保険パターン番号を登録できること。 |
| 2 | 1 | 524 | 【医事業務】外来一括予約登録 | 外来総括票の一括発行およびカルテ管理システムなどへ予約情報を一括送信できること。 |
| 2 | 1 | 525 | 【医事業務】外来一括予約登録 | 予約登録業務において、総括表の発行状況を確認できること。 |
| 2 | 1 | 526 | 【医事業務】症状詳細登録変更 | 患者毎にレセプト電算提出ファイルに記録する症状詳細データの登録、変更および印刷することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 527 | 【医事業務】臓器提供者レセプト情報登録変更 | 患者毎にレセプト電算提出ファイルに記録する臓器提供者のレセプト情報を登録・変更することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 528 | 【医事業務】返戻レセプト業務 | オンラインから返戻された返戻データを医事システムに取り込み、画面上で修正できる機能を有すること。 また、再請求可能となった返戻レセプトデータは、再請求ファイルに記録し、審査支払機関へ提出できること。 |
| 2 | 1 | 529 | 【医事業務】返戻レセプト業務 | 画面を切り替えることなく返戻された患者データを一画面で参照できること。 |
| 2 | 1 | 530 | 【医事業務】生保管理機能 | 生活保護受給者の医療券情報や医療要否意見書有無、福祉事務所コード、ケース番号等を管理する画面を有すること。 |
| 2 | 1 | 531 | 【医事業務】生保管理機能 | 生活保護費支給票、医療要否意見書、医療依頼書生活保護受給者等の文書を管理することが可能であること。 また、設定により病院毎に文書の種類の登録をすることが可能であること。 |
| 2 | 1 | 532 | 【医事業務】生保管理機能 | 一手続きに対し、依頼日や送付日や受領日、中止日等文書の日付管理が行えること。 |
| 2 | 1 | 533 | 【医事業務】生保管理機能 | 各文書種別に対し、取扱日時ごとに相談などの記録を400文字まで登録し、管理が行えること。 |
| 2 | 1 | 534 | 【医事業務】生保管理機能 | 更新権限の有無を設定できること。 |
| 2 | 1 | 535 | 【医事業務】生保管理機能 | 患者毎に最大800文字のコメント登録が可能であること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|-----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 536 | 【医事業務】生保管理機能 | 生保情報を福祉事務所を指定してCSVまたは帳票に出力することが可能であること。 また、その際に診療開始日の範囲を指定できること。 |
| 2 | 1 | 537 | 【医事業務】外来ステータス機能 | 患者がどのようなステータスにあるのか（未来院、受付済、会計済、入金済等）を医事会計画面にて管理できること。 |
| 2 | 1 | 538 | 【医事業務】外来ステータス機能 | 予約時刻、受付時刻、会計時刻、入金時刻を医事会計画面で管理できること。 |
| 2 | 1 | 539 | 【医事業務】外来ステータス機能 | ステータス画面にコメントを登録することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 540 | 【医事業務】保険請求処理 | 会計カード（カレンダー）形式のレセプトが出力できること。 |
| 2 | 1 | 541 | 【医事業務】保険請求処理 | レセプト編集ファイルをイメージ形式で保存できること。また、保存したデータから患者IDを指定してレセプトを印刷できること。 |
| 2 | 1 | 542 | 【医事業務】保険請求処理 | テスト患者を除いて各処理を行うことができること。また、テスト患者の範囲は任意に指定できること。 |
| 2 | 1 | 543 | 【医事業務】保険請求処理 | 医科、歯科、労災（アフターケア含む）、自賠、公害レセプトに対応できること。 |
| 2 | 1 | 544 | 【医事業務】保険請求処理 | 治験レセプトの処理ができること。また治験概要書が作成できること。 |
| 2 | 1 | 545 | 【医事業務】保険請求処理 | 治験概要書の内容をレセプト電算に記録することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 546 | 【医事業務】保険請求処理 | 治験内訳書と治験請求控え票を出力できること。 |
| 2 | 1 | 547 | 【医事業務】保険請求処理 | 出産育児一時金の直接支払制度に対応し、専用請求書の作成ができること。 |
| 2 | 1 | 548 | 【医事業務】保険請求処理 | 診断群分類包括評価（DPC）対応レセプトに対応できること。 |
| 2 | 1 | 549 | 【医事業務】保険請求処理 | 保険にて判断が可能な特記事項については、レセプト毎に自動出力に対応していること。 |
| 2 | 1 | 550 | 【医事業務】保険請求処理 | 歯科のレセプト・会計カードについては、歯科病名・歯式を出力できること。 |
| 2 | 1 | 551 | 【医事業務】保険請求処理 | 前回発行したレセプトと今回発行するレセプトを比較し変更があるものだけを出力することが可能なこと。（差分レセプト出力） |
| 2 | 1 | 552 | 【医事業務】保険請求処理 | レセプト控え表が作成できること。 |
| 2 | 1 | 553 | 【医事業務】保険請求処理 | 主病名と副病名の区別ができること。 |
| 2 | 1 | 554 | 【医事業務】保険請求処理 | 点数マスタに設定した材料の単価を、マスタ表示名称の一部として自動変換し、出力できること。 |
| 2 | 1 | 555 | 【医事業務】保険請求処理 | 保険の有効チェックが行え、エラーリスト出力できること。 |
| 2 | 1 | 556 | 【医事業務】保険請求処理 | 病名未登録チェックが行え、エラーリスト出力できること。 |
| 2 | 1 | 557 | 【医事業務】保険請求処理 | 診療行為や品名に対する病名未登録チェックが行え、エラーリスト出力できること。 |
| 2 | 1 | 558 | 【医事業務】保険請求処理 | 診療行為や品名に対する必須／禁忌チェックが行え、エラーリスト出力できること。 |
| 2 | 1 | 559 | 【医事業務】保険請求処理 | 出力順を複数のパターンから選択できること。（用紙種別毎に診療科、患者IDなど） |
| 2 | 1 | 560 | 【医事業務】保険請求処理 | 欄外に病院固有情報が出力できること。（患者番号・ドクター・病棟・発行時間・ページなど） |
| 2 | 1 | 561 | 【医事業務】保険請求処理 | 高額レセプト用の薬剤日計表の出力が可能なこと。また、出力対象の点数は自由に設定できること。医科・歯科・労災別に設定できること。 |
| 2 | 1 | 562 | 【医事業務】保険請求処理 | 患者コメント業務にて入力したコメント内容を任意の場所に出力できること。 |
| 2 | 1 | 563 | 【医事業務】保険請求処理 | 特定の指導料などは算定歴より初回、もしくは前回算定日の印字が自動でできること。 |
| 2 | 1 | 564 | 【医事業務】保険請求処理 | 特定の薬剤などは算定歴より初回算定日の印字が自動でできること。 |
| 2 | 1 | 565 | 【医事業務】保険請求処理 | オーバーレイを使用し、白紙への出力が可能であること。 |
| 2 | 1 | 566 | 【医事業務】保険請求処理 | 同一患者レセプトの1号用紙、2号用紙（続紙）は連続して印刷されること。また、ホッパーの指定ができること。 |
| 2 | 1 | 567 | 【医事業務】保険請求処理 | 地方公費のレセプトへの表示・非表示に対応できること。 |
| 2 | 1 | 568 | 【医事業務】保険請求処理 | 患者指定レセプト処理において、日計表、第三者請求分レセプトを出力することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 569 | 【医事業務】保険請求処理 | 退院処方の場合、レセプト摘要欄に処方日数を自動表記できること。 |
| 2 | 1 | 570 | 【医事業務】保険請求処理 | 処方箋料や処方料の算定科名をレセプト摘要欄に自動表記できること。 |
| 2 | 1 | 571 | 【医事業務】保険請求処理 | 会計カードから専用のコードを使用し、生保医療券交付番号を入力した場合に、レセプトの公費受給者番号に交付番号を出力できること。 |
| 2 | 1 | 572 | 【医事業務】保険請求処理 | 労災レセプトに請求回数を出力できること。 |
| 2 | 1 | 573 | 【医事業務】保険請求処理 | 労災レセプトについて、傷病の経過を4行目まで出力すること。 |
| 2 | 1 | 574 | 【医事業務】保険請求処理 | 公害レセプトには記号番号欄に、記号・番号を出力できること。 |
| 2 | 1 | 575 | 【医事業務】保険請求処理 | 公費によっては負担金額に空白ではなく「0」で出力できること。地方公費でも同様に対応できること。 |
| 2 | 1 | 576 | 【医事業務】保険請求処理 | 公費併用時や第三者請求時の分点に対応できること。また摘要欄には区切り線で適用保険が判別可能な出力ができること。 |
| 2 | 1 | 577 | 【医事業務】保険請求処理 | レセプトデータ作成時、医科歯科・入外別を一括で処理できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|------------------|--|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 578 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | 患者用フリーコメントを100文字までで100件登録できること。 |
| 2 | 1 | 579 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | 登録したコメントをレセプトの摘要欄に出力できること。 |
| 2 | 1 | 580 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | レセプトの摘要欄に表示する場合、以下の限定条件の設定がコメント毎に可能であること。 ・指定入外区分のレセプト ・指定保険のレセプト ・指定診療科のレセプト ・指定診療期間（年月）のレセプト |
| 2 | 1 | 581 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | レセプトの摘要欄に表示する場合、指定した診療区分に編集が可能であること。また、表示位置（摘要欄の先頭や診療区分の先頭など）を指定できること。 |
| 2 | 1 | 582 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | レセプトの摘要欄に表示する場合で、同一条件の場合は編集の順番を指定できること。 |
| 2 | 1 | 583 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | レセプトの特記事項に表示する文字を「01：公」、「02：長」などから選択することが可能であること。なお、表示する区分はマスタによって設定が可能であること。 |
| 2 | 1 | 584 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | 登録したコメントや特記事項を包括レセプト、出来高レセプトの両方もしくはどちらかに出力させるか指定できること。また、総括表レセプトへの表示も可能であること。 |
| 2 | 1 | 585 | 【医事業務】患者コメント出力機能 | レセプトの摘要欄に表示する場合、医科のみもしくは歯科のみでの編集が可能であること。 |
| 2 | 1 | 586 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | レセプト作成処理を行わずにレセプトイメージの画面表示・印刷が行えること。 |
| 2 | 1 | 587 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | 歯科レセプトイメージの画面表示が、DPC/出来高を問わず行えること。 |
| 2 | 1 | 588 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | 歯科・労災・公害・自賠・第三者のレセプトイメージも画面表示が行えること。 |
| 2 | 1 | 589 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | 同一患者で医科/歯科/労災/自賠/第三者/公害のうち複数種のレセプトがある場合は、同一画面で簡単に切り替えて表示できること。 |
| 2 | 1 | 590 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | レセプトの汎用表示モード、会計リストモード、プレビューモード（レセプトイメージ）の切り替えが可能であること。 |
| 2 | 1 | 591 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | データ修正の為、レセプトの汎用表示モード、会計カードリストモード画面より、患者登録業務、個人病名登録業務、会計カード業務・DPC業務の起動が行えること。レセプトの汎用表示モード画面では、摘要欄のみスクロール表示することで、基本情報や病名等を常時確認できること。 |
| 2 | 1 | 592 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | 提出形式の1患者1枚レセプト以外に、点検用としてレセプト科別（旧総合病院のレセプト提出科別）にも表示できること。また、院外処方内容についても表示ができ、病名と処方内容を同時に参照ができること。 |
| 2 | 1 | 593 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | DPCの場合、レセプトイメージの画面表示にて強制的に出来高表示できること。 |
| 2 | 1 | 594 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | 治療前後期（観察期）の診療内容（特定の保険を使用）があった場合、保険請求用レセプトの摘要欄に“＝以下 観察期 適用分＝”を出力し、保険分と治療前後期（観察期）分の診療内容を分けて出力することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 595 | 【医事業務】レセプト画面表示機能 | 同一月に保険単独分と公費併用が混在した場合、保険単独分と公費併用の境目の区切り線と文字の行の背景色が表示されること。 |
| 2 | 1 | 596 | 【医事業務】レセプト電算機能 | レセプト電算用の厚生労働省の基本マスタ（点数マスタ、病名マスタなど）を使用して磁気媒体に厚生労働省の「記録条件仕様」にしたがって記録することができること。また、オンライン請求にも対応できること。 |
| 2 | 1 | 597 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 社保、国保、公費などの、支払基金および国保連合会が扱うレセプトの電算ファイルが作成できること。診療報酬請求書（総括表）、高額レセプト日計表については、紙による出力が行えること。 |
| 2 | 1 | 598 | 【医事業務】レセプト電算機能 | レセプト電算に使用されるコメントについては、厚生労働省のフリーコメント、固定コメント、フリーコメントと固定コメントの混在パターンを使用できること。 |
| 2 | 1 | 599 | 【医事業務】レセプト電算機能 | レセプト電算データの保管が行えること。また、保管したデータから再度提出媒体の作成ができること。 |
| 2 | 1 | 600 | 【医事業務】レセプト電算機能 | レセプト電算データからレセプト印刷イメージの参照が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 601 | 【医事業務】レセプト電算機能 | レセプト電算データに含まれる分の簡易集計表の作成ができること。 |
| 2 | 1 | 602 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 診断群分類包括評価（DPC）対応の記録条件仕様にしたがって記録する対応ができること。 |
| 2 | 1 | 603 | 【医事業務】レセプト電算機能 | ドナー情報とレシピエント情報からレセプト電算を作成することができること。 |
| 2 | 1 | 604 | 【医事業務】レセプト電算機能 | レセプト電算ファイルに記録された負担金等に変更が発生した場合、レセプト電算ファイルの内容を直接修正する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 605 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 医科、DPC、歯科のレセプト電算ファイルに対して、前回処理との差分ファイルの作成できること。 |
| 2 | 1 | 606 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 歯科レセプト電算に対応していること。 |
| 2 | 1 | 607 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 歯科レセプトでは加算コードは、手技コードの付帯コードとして1レコードで出力することができること。 |
| 2 | 1 | 608 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 医科歯科共通の診療行為は、歯科レセ電コードへの自動振替ができること。 |
| 2 | 1 | 609 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 歯科レセプトでも算定日・実施日のコメントコードが出力できること。 |
| 2 | 1 | 610 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 歯科レセプトでは歯式をコード化して出力できること。診療会計でフリーコメントとして入力した歯式もコード化できること。 |
| 2 | 1 | 611 | 【医事業務】レセプト電算機能 | レセプト電算提出用データ作成時、医科歯科・入外別を一括で処理できること。その際に債権管理業務で登録された月遅れ請求分のレセプトデータも同時作成が可能であること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|-------------------------|---|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 612 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 債権管理業務で登録された月遅れ請求レセプトデータの作成がレセプト請求と併せて、一括で作成することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 613 | 【医事業務】レセプト電算機能 | 医科レセプト電算ファイルとD P Cレセプト電算ファイルを画面から直接修正することのできる仕組みを提供できること。 |
| 2 | 1 | 614 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 様式1入力項目を登録・変更・処理できること。 |
| 2 | 1 | 615 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPCコードによる包括・診療計算（定期請求を含む）ができること。 |
| 2 | 1 | 616 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPCLレセプト（総括表を含む）の出力ができること。 |
| 2 | 1 | 617 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPCLレセプト電算に対応していること。 |
| 2 | 1 | 618 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 様式1ファイルが作成できること。 |
| 2 | 1 | 619 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | E/Fファイルが作成できること。 |
| 2 | 1 | 620 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 様式4ファイルが作成できること。 |
| 2 | 1 | 621 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | Dファイルが作成できること。 |
| 2 | 1 | 622 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 様式1ファイル、統合E Fファイル、Dファイル、E Fファイルについて、全患者で作成された各調査ファイルの内容を患者指定で作成したファイルの内容で差し替えることができる仕組みを提供できること。 |
| 2 | 1 | 623 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPC請求履歴を保持し、保険請求後の診断群分類変更に伴う差額請求処理（退院月に含める）ができること。 |
| 2 | 1 | 624 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 請求・領収書に包括点数を表示できること。 |
| 2 | 1 | 625 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 計算書確認・変更画面において、包括評価点数および診断群分類コードが表示できること。 |
| 2 | 1 | 626 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 様式1入力項目については、電子カルテシステムとの連携インターフェイスを備えていること。また、分散DPCエラーリストにて、診断群分類コードや入退院日の不整合などがチェックできること。さらにエラーリストでは変更された項目が判別できること。 |
| 2 | 1 | 627 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPCチェックリストにて、DPC情報の未登録や入退院日の整合性などがチェックできること。 |
| 2 | 1 | 628 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 入退院業務で入院料金を試算する際に、DPC計算か出来高計算かの指定が可能であること。また、同様の処理を収納業務の再計算処理でも実行可能であること。 |
| 2 | 1 | 629 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 特定入院料を算定する部屋・病棟に移動した場合は、自動的に出来高計算ができること。 |
| 2 | 1 | 630 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPC診断情報に補足コメントを入力することができること。また、レセプト電算にそのコメントを記録することができること。 |
| 2 | 1 | 631 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 患者指定でEFDファイルを作成する機能を有すること。その際、一度の処理を一括して全てのファイルの作成ができること。 |
| 2 | 1 | 632 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 指定した年月の前月に入院期間IIIを越えた患者のチェックリストを作成できること。 |
| 2 | 1 | 633 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 退院後の患者に対して、電子カルテシステムからDPC情報の変更があった場合、変更情報を医事システムに反映させるかどうかを選択できること。 |
| 2 | 1 | 634 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPCにおけるコーディングデータの作成ができること。 |
| 2 | 1 | 635 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 患者指定で様式1ファイルを作成する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 636 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | D P C入院カレンダーと様式1ファイルの突合せを行い、処理当月に必要な様式1対象期間に対するD P C情報が登録されているかをチェックできること。 |
| 2 | 1 | 637 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | DPC情報を一覧表示した際、同一入退院のD P C情報かどうか識別する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 638 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 請求済（締め後）の場合でも以下の条件の場合はD P C情報に関してワーニングメッセージの表示及び更新ができること。 <ul style="list-style-type: none"> ・包括対象から包括対象外になった場合 ・包括対象外から包括対象になった場合 ・D P C退院日（年月）がD P C締め年月以前の場合 ・D P C入院日が変更された場合 ・D P C入院起算日が変更された場合 ・D P C退院日が締め年月以前の日付に変更された場合 ・24時間以内の死亡等のフラグにより、包括評価または出来高評価への変更があった場合 |
| 2 | 1 | 639 | 【医事業務】DPC（診断群分類別包括評価）機能 | 廃止予定病名で移行先病名がある場合は移行先病名へ振り替えるか否かメッセージを表示し、振り替え選択を可能とすること。 廃止予定病名で移行先病名がない場合は、病名確認を促すメッセージを表示することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 640 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 点数マスタの登録・変更・削除・複写ができること。 |
| 2 | 1 | 641 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 参考点数マスタが提供されること。また診療報酬改定時には自動更新を行うことが可能であること。また、管理番号とのマッチングにより、診療報酬に準拠した病院個別コードについても自動置換えが可能であること。 |
| 2 | 1 | 642 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 医療費改定を考慮し、点数マスタの最大9世代管理が可能であること。 |
| 2 | 1 | 643 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 特定保険医療材料の価格改定等を考慮し、1世代あたり5つまで単価を管理できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 富士通株式会社 | |
|---------|----|-----|-----------------------|---|
| システム名 | | | 医事会計システム・医事統計システム | |
| パッケージ名 | | | HOPE X-W・医事DWH | |
| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 644 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | セットマスタの登録・変更・削除・複写ができること。 |
| 2 | 1 | 645 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 単位など予め入力する値が限られているものなどの設定ガイドを表示し、選択ができること。 |
| 2 | 1 | 646 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 単価での検索ができること。 |
| 2 | 1 | 647 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 一つの点数マスタを複数の別コードで管理できること。またそれぞれに対し別名称で管理できること。レセプト記載用の名称も管理できること。 |
| 2 | 1 | 648 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 点数マスタを更新した情報（更新者、更新時間等）をログファイルに出力し、後でも更新した情報の確認が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 649 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 新薬告示情報などを参考点数マスタから病院点数マスタへ複数件一括で複写することができること。複写を行う際、既に同一マスタが存在するか否かのチェックが事前に可能であること。同一マスタがあった場合は、複数件一括の対象外とすることが可能であること。 |
| 2 | 1 | 650 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 複数件を一括で複写する際に、空きのコード検索が可能であること。 |
| 2 | 1 | 651 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 点数マスタ検索では、以下の検索が可能であること。 ・読み ・読み部分一致 ・内部コード ・空き番号 ・加算コード ・解釈番号 ・レセプト電算コード また、診療区分による絞り込みや、診療区分一覧での検索も可能であること。 |
| 2 | 1 | 652 | 【医事業務】点数マスタ登録変更 | 点数マスタの登録・変更時、点数マスタ登録画面以外にも、CSVから点数マスタを登録・変更することが可能であること。 |
| 2 | 1 | 653 | 【医事業務】病名マスタ登録変更 | MEDISに準拠した病名マスタを有していること。 |
| 2 | 1 | 654 | 【医事業務】病名マスタ登録変更 | 病名マスタの登録・変更・削除・複写ができること。 |
| 2 | 1 | 655 | 【医事業務】システム管理ファイル登録変更 | 計算書の管理番号、外来発行番号、入院発行番号を表示変更できること。 |
| 2 | 1 | 656 | 【医事業務】オペレータマスタ登録変更 | オペレータ番号、氏名、パスワード等の登録・変更・削除ができること。 |
| 2 | 1 | 657 | 【医事業務】オペレータマスタ登録変更 | オペレータ毎に使用できる窓口業務の選択ができること。 |
| 2 | 1 | 658 | 【医事業務】オペレータマスタ登録変更 | オペレータ毎に更新・参照等の権限の設定ができること。 |
| 2 | 1 | 659 | 【医事業務】オペレータマスタ登録変更 | オペレータ毎にパスワードの有効期限が設定できること。 |
| 2 | 1 | 660 | 【医事業務】ドクター登録変更 | 医師コードに有効期限を設定できること。 |
| 2 | 1 | 661 | 【医事業務】部屋マスタ登録変更 | 部屋番号、所属病棟、室料差額等の登録・変更・削除ができること。 |
| 2 | 1 | 662 | 【医事業務】部屋マスタ登録変更 | 室料差額の世代管理が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 663 | 【医事業務】入院料病棟別加算マスタ登録変更 | 病棟毎や部屋毎に入院基本料関連の設定変更が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 664 | 【医事業務】入院料病棟別加算マスタ登録変更 | 入院基本料関連について、32世代まで管理が可能であること。 |
| 2 | 1 | 665 | 【医事業務】算定区分マスタ登録変更 | 診療行為算定条件（初診日、前回算定日等の日付条件）の登録・変更・削除ができること。 |
| 2 | 1 | 666 | 【医事業務】指導料マスタ登録変更 | 診療行為算定条件（他の診療行為との排他条件）の登録・変更・削除ができること。 |
| 2 | 1 | 667 | 【医事業務】置き換えマスタ登録変更 | 診療行為算定条件（算定不可時の置き換え条件等）の登録・変更・削除ができること。 |
| 2 | 1 | 668 | 【医事業務】共通マスタ作成機能 | 共通マスタ作成ツールを提供すること。 |
| 2 | 1 | 669 | 【医事業務】共通マスタ作成機能 | 導入時分類や機能別分類による検索機能、データ項目に関する選択肢制限などの表示機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 670 | 【医事業務】共通マスタ作成機能 | 共通マスタを更新した情報（更新者、更新時間等）をログファイルに出力し、後でも更新した情報の確認が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 671 | 【医事業務】端末マスタ作成機能 | 端末を追加した際や端末名を変更した際に、ユーザにて端末マスタを容易にメンテナンスしたり他端末からマスタ設定をコピーできる画面を提供すること。 |
| 2 | 1 | 672 | 【医事業務】施設基準マスタメンテナンス機能 | ユーザにて共通マスタを登録することなく、施設基準マスタメンテナンス画面にてマスタ変更が行えること。 |
| 2 | 1 | 673 | 【医事業務】施設基準マスタメンテナンス機能 | マスタ変更については変更頻度の高い以下の変更を行えること。 ・A207-2 医師事務作業補助体制加算（医科／歯科／精神病棟／療養病棟・医科） ・A207-3 急性期看護補助体制加算 ・A207-4 職員夜間配置加算 |
| 2 | 1 | 674 | 【医事業務】施設基準マスタメンテナンス機能 | また、マスタ変更前にシミュレーションを行う環境を提供すること。 シミュレーションについては、以下の画面にて可能であること。 ・レセプト表示業務 ・入院業務 |
| 2 | 1 | 675 | 【医事業務】マスタ登録変更業務 | 全てのマスタ登録変更業務について、参照モードで表示するか、更新モードで表示するかの選択が部署毎に設定が可能であること。 |
| 2 | 1 | 676 | 【医事業務】マスタ登録変更業務 | 全てのマスタ業務を参照モードで展開した場合は、参照モードであることをわかりやすく表示することが可能なこと。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|--------------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 677 | 【医事業務】マスタ登録変更業務 | 全てのマスタ業務を参照モードで展開した場合は、更新ボタンが押せないような仕組みが提供できること。 |
| 2 | 1 | 678 | 【医事業務】後発医薬品使用割合産出 | 後発医薬品使用割合を算出するための仕組みを提供できること。 |
| 2 | 1 | 679 | 【医事業務】後発医薬品使用割合産出 | 出力されたファイルから後発医薬品使用体制加算の施設基準に係る届出添付書類(別添7 様式40の3) (3. 医薬品の使用状況) に使用可能な後発医薬品使用割合を求めたテキストファイルを作成できること。 |
| 2 | 1 | 680 | 【医事業務】未コード化傷病名割合産出 | 医科レセプト電算ファイル、様式1ファイル、外来Eファイル、外来E F 統合ファイルにおける未コード化傷病名コード「0000999」の割合を算出するための仕組みを提供できること。 |
| 2 | 1 | 681 | 【医事業務】未コード化傷病名割合産出 | 未コード化傷病名コードの割合チェックの結果は、テキストファイル形式で保存することができること。 |
| 2 | 1 | 682 | 【医事業務】未コード化傷病名割合産出 | テキストファイルの出力結果については、医科レセプト電算ファイル、様式1ファイル、外来Eファイル、外来E F 統合ファイル毎に「未コード化傷病名数」「傷病名総数」「割合(%)」を出力することが可能なこと。 |
| 2 | 1 | 683 | 【医事統計業務】 | 医事会計システムのデータを二次活用するため、以下の機能を有するDWHを提供すること。 |
| 2 | 1 | 684 | 【医事統計業務】取込 | DWHへのデータの取込は日々自動で実行できること。 |
| 2 | 1 | 685 | 【医事統計業務】取込 | 月次の患者数データや稼働額データは、レセプトが確定した時点で処理を行い、以降データ更新が行われないように取込処理をロックできること。 |
| 2 | 1 | 686 | 【医事統計業務】取込 | ・200か月分のデータを保持できること。 |
| 2 | 1 | 687 | 【医事統計業務】取込 | 医事会計システムのトランザクションデータは一括取込だけでなく必要に応じて、差分取込もできること。 |
| 2 | 1 | 688 | 【医事統計業務】取込 | 差分取込処理においては、医事会計データのレコード単位での作成、削除、更新情報を参照し、データ取り込みができること。 |
| 2 | 1 | 689 | 【医事統計業務】基本機能 | データ分析ツール、帳票作成、ダッシュボードの機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 690 | 【医事統計業務】データ分析ツール | SQLの知識が無くてもデータベースに対する問い合わせや集計ができるように、以下の機能を有するデータ分析ツールを提供すること。 |
| 2 | 1 | 691 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 任意の項目を指定し、明細データの抽出ができること。 |
| 2 | 1 | 692 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 任意の項目を指定し、クロス集計ができること。 |
| 2 | 1 | 693 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 抽出・集計の際に、項目の名称を任意に変更することができること。 |
| 2 | 1 | 694 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 集計のキーには、利用者がデータ値(値の範囲、文字列の一部の桁など)により分類定義した項目を使用できること。 |
| 2 | 1 | 695 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 抽出・集計の定義をファイルに保存して、いつでも再実行できること。 |
| 2 | 1 | 696 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 抽出結果や集計結果はEXCEL、WORD、CSV、HTML、テキストの各形式で保存可能なこと。 |
| 2 | 1 | 697 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 集計結果から掘り下げ分析ができること。 |
| 2 | 1 | 698 | 【医事統計業務】データ分析ツール | 集計結果に対してアラームを設定し、任意の色、アイコンを付加することができること。 |
| 2 | 1 | 699 | 【医事統計業務】データ分析ツール | テーブルや項目に対して、見出しや公開/非公開の設定ができること。 |
| 2 | 1 | 700 | 【医事統計業務】データ分析ツール | テーブルの結合関係を定義できること。 |
| 2 | 1 | 701 | 【医事統計業務】データ分析ツール | テーブルの任意の項目の演算結果を新たに項目として追加できること。 |
| 2 | 1 | 702 | 【医事統計業務】データ分析ツール | テーブルの任意の項目に対して、値の範囲、文字列の一部分などの仮想項目を定義し、辞書として保存・利用できること。 |
| 2 | 1 | 703 | 【医事統計業務】帳票作成 | EXCELを使用して帳票(一覧表、集計表、グラフ)を作成・編集できること。 |
| 2 | 1 | 704 | 【医事統計業務】帳票作成 | 作成した帳票の定義をファイルに保存して、定型帳票として繰り返し実行できること。 |
| 2 | 1 | 705 | 【医事統計業務】帳票作成 | 帳票上に押印欄や日付欄などを容易に追加することができること。 |
| 2 | 1 | 706 | 【医事統計業務】帳票作成 | 帳票の編集集中に帳票の実行結果をレビューできること。 |
| 2 | 1 | 707 | 【医事統計業務】帳票作成 | 帳票の実行結果はEXCEL形式で保存可能なこと。 |
| 2 | 1 | 708 | 【医事統計業務】ダッシュボード | Webブラウザを使用して統計指標の可視化ができること。 |
| 2 | 1 | 709 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 帳票作成機能からグラフを登録することで、常に最新の指標値を把握できること。(日次指標であれば前日の値、月次指標であれば前月の値) |
| 2 | 1 | 710 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 複数の指標を関連付けながら確認できるよう、ダッシュボードには複数のグラフを登録できること。 |
| 2 | 1 | 711 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 指標のカテゴリ毎にダッシュボードのページを変えて登録できること。 |
| 2 | 1 | 712 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 指標値を時系列的に確認できるよう、同じグラフを対象日付を変えて複数登録できること。 |
| 2 | 1 | 713 | 【医事統計業務】ダッシュボード | グラフのスケールに応じて、1ページに表示する数を調整できること。 |
| 2 | 1 | 714 | 【医事統計業務】ダッシュボード | グラフは拡大表示が可能であること。 |
| 2 | 1 | 715 | 【医事統計業務】ダッシュボード | グラフの一部を拡大表示できること。 |
| 2 | 1 | 716 | 【医事統計業務】ダッシュボード | グラフの値について、表示・非表示の切り替えができること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|-----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 717 | 【医事統計業務】ダッシュボード | グラフの凡例について、表示・非表示の切り替えができること。 |
| 2 | 1 | 718 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 利用者毎に表示するページやグラフを自由に追加・削除できること。 |
| 2 | 1 | 719 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 利用者毎に変更した表示内容を保存できること。 |
| 2 | 1 | 720 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 利用者が作成したEXCELのグラフ（指定の規約に則って作成したXLSX形式のグラフ）も登録して可視化できること。 |
| 2 | 1 | 721 | 【医事統計業務】ダッシュボード | 表示されているグラフの元データ（EXCELファイル）をダウンロードできること。 |
| 2 | 1 | 722 | 【医事統計業務】標準提供 | すぐ使えるコンテンツを標準提供すること。 |
| 2 | 1 | 723 | 【医事統計業務】標準提供 | 約150種類の定型帳票（日報、月報、年報、DPC関連）を提供すること。 |
| 2 | 1 | 724 | 【医事統計業務】標準提供 | 標準帳票（日次、月次、随時）として下記帳票が出力可能なこと。 |
| 2 | 1 | 725 | 【医事統計業務】標準提供 | 月次帳票 ・外来患者数日報（科別・医師別・年齢別・地域別・保険別） ・入院患者数日報（科別・病棟別） ・入金日計表 ・入院患者一覧 ・退院患者一覧 ・診療データ未取込一覧 ・分散データエラー一覧 ・移動分散データエラー一覧 ・分散DPCエラー一覧 |
| 2 | 1 | 726 | 【医事統計業務】標準提供 | 月次帳票 ・外来患者数月報（科別・医師別・年齢別・地域別・保険別） ・入院患者数月報（科別・病棟別・医師別・年齢別・地域別・保険別） ・外来稼動額月報（科別・医師別・保険別） ・入院稼動額月報（科別・病棟別・医師別・保険別） ・入院稼働額集計表（科別、病棟別） ・稼働額出来高按分比較表（科別、病棟別、DPC別、MDO別） ・稼働額明細表（DPCコード別患者別、DPCコード別科別） ・退院患者数集計表（DPCコード別・科別・科別DPCコード別） |
| 2 | 1 | 727 | 【医事統計業務】標準提供 | 随時帳票 ・入院患者一覧 ・退院患者一覧 ・患者台帳 ・入院台帳 ・収納台帳（外来計算書・退院計算書・再計算書・返金計算書・自由計算書・定期請求計算書・移行データ） ・消費税請求一覧表 ・指定病名登録者一覧表 ・薬品使用量一覧 ・指定保険使用者一覧 ・指定保険使用者一覧（通常・本人／家族） ・指定保険使用者一覧（継続・本人／家族） ・指定コード使用者一覧 ・長期入院患者チェックリスト ・選定入院患者チェックリスト ・未会計患者一覧表 ・外来予約患者一覧 ・DPCチェックリスト ・DPC未入力チェックリスト ・DPCコード・患者別入院状況、稼働額明細表 ・DPCコード・科別入院状況、稼働額明細表 ・DPCコード別入院日数・退院患者数集計表 ・科別・DPCコード別入院日数・退院患者数集計表 |
| 2 | 1 | 728 | 【医事統計業務】標準提供 | マスタリスト ・点数マスタリスト ・セットマスタリスト ・点数マスタコードブック ・病名マスタリスト ・変換コードマスタリスト |
| 2 | 1 | 729 | 【医事統計業務】標準提供 | レセプト電算マスタリスト ・レセプト電算分解マスタリスト ・レセプト電算置換マスタリスト ・レセプト電算厚生省マスタリスト ・レセプト電算遷移リスト ・レセプト電算エラーリスト |
| 2 | 1 | 730 | 【医事統計業務】標準提供 | 予約関連 ・外来総括票（予約） ・外来予約患者一覧 ・時間枠スケジュールリスト ・勤務スケジュールリスト ・休日スケジュールリスト ・週間スケジュールリスト ・月間スケジュールリスト |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|--------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 731 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・一日平均外来患者数推移（月別・年度別・月別年度別） ・外来延患者数推移（月別年度別） ・外来新患者数推移（月別・年度別・月別年度別） ・外来実患者数推移（月別年度別） ・外来患者院内滞留時間推移（日別・月別・年度別・月別年度別） ・外来患者院内滞留時間推移【新患のみ】（日別・月別・年度別・月別年度別） |
| 2 | 1 | 732 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・新入院患者数推移（月別・年度別・月別年度別） ・入院延患者数推移（月別年度別） ・退院患者数推移（月別・年度別・月別年度別） ・平均在院日数推移（月別・年度別・月別年度別） ・一日平均入院患者数推移（月別・年度別・月別年度別） ・退院患者死亡率推移（月別・年度別・月別年度別） ・死亡患者数推移（月別年度別） |
| 2 | 1 | 733 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・外来診療稼働額推移（月別・年度別・月別年度別） ・外来診療単価推移（月別・年度別・月別年度別） ・入院診療稼働額推移（月別・年度別・月別年度別） ・入院診療単価推移（月別・年度別・月別年度別） ・診療稼働額推移（月別・年度別・月別年度別） |
| 2 | 1 | 734 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・手術件数推移（月別・年度別） ・手術件数推移【入外合計】（月別年度別） ・手術件数推移【外来】（月別年度別） ・手術件数推移【入院】（月別年度別） |
| 2 | 1 | 735 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・科別外来患者数（日報・月報） ・科別入院患者数（日報・月報） ・科別診療稼働額（月報） ・科別手術件数（月報） ・科別入金額（日報） ・科別未収金額（日報） |
| 2 | 1 | 736 | 【医事統計業務】標準提供 | 標準帳票として下記帳票が出力可能なこと。 |
| 2 | 1 | 737 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・科別患者数調べ（日報・月報） ・外来実患者数調べ【年齢別・男女別】（月別・当年度累計） ・入院実患者数調べ【年齢別・男女別】（月別・当年度累計） ・診療行為別集計表【外来】（月別） ・診療行為別集計表【入院】（月別） ・診療行為別集計表【病棟別】（月別） ・診療行為別集計表【合計】（月別） |
| 2 | 1 | 738 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・一日平均外来患者数推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別） ・外来延患者数推移（科別月別年度別） ・外来新患者数推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別） ・外来実患者数推移（科別月別年度別） |
| 2 | 1 | 739 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・外来患者院内滞留時間推移（科別日別・科別月別・科別年度別・科別月別年度別） ・外来患者院内滞留時間推移【新患のみ】（科別日別・科別月別・科別年度別・科別月別年度別） ・新入院患者数推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別・病棟別月別・病棟別年度別・病棟別月別年度別） ・入院延患者数推移（科別月別年度別・病棟別月別年度別） ・退院患者数推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別・病棟別月別・病棟別年度別・病棟別月別年度別） |
| 2 | 1 | 740 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・平均在院日数推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別・病棟別月別・病棟別年度別・病棟別月別年度別） ・一日平均入院患者数推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別・病棟別月別・病棟別年度別・病棟別月別年度別） ・退院患者死亡率推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別・病棟別月別・病棟別年度別・病棟別月別年度別） ・死亡患者数推移（科別月別年度別・病棟別月別年度別） |
| 2 | 1 | 741 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・外来診療稼働額推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別・病棟別月別・病棟別年度別・病棟別月別年度別） ・外来診療単価推移（科別月別年度別） ・入院診療稼働額推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別・病棟別月別・病棟別年度別・病棟別月別年度別） ・入院診療単価推移（科別月別年度別・病棟別月別年度別） ・診療稼働額推移（科別月別・科別年度別・科別月別年度別） ・手術件数推移（科別月別・科別年度別） ・手術件数推移【入外合計】（科別月別年度別） ・手術件数推移【外来】（科別月別年度別） ・手術件数推移【入院】（科別月別年度別） |
| 2 | 1 | 742 | 【医事統計業務】標準提供 | データ分析のひな型となる約100種類の抽出・集計の定義ファイルを提供すること。 |
| 2 | 1 | 743 | 【医事統計業務】標準提供 | データ分析のひな型となる定義ファイルに下記が含まれていること。 |

| 現行ベンダー名 | | 富士通株式会社 | | |
|---------|---|-------------------|--------------|---|
| システム名 | | 医事会計システム・医事統計システム | | |
| パッケージ名 | | HOPE X-W・医事DWH | | |
| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 744 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・入外別・科別・日別稼働額集計表 ・入外別・科別・診療区分別・診療内容別稼働額集計表 ・病棟別・日別稼働額集計表 ・病棟別・診療区分別・診療内容別稼働額集計表 ・入外別・科別・診療区分別稼働額集計表 ・病棟別・診療区分別稼働額集計表 ・病名別・入外別稼働額集計表 ・病名別・診療区分別稼働額集計表 ・医師別・診療区分別稼働額集計表 ・地域別稼働額集計表 ・診療区分別・診療行為別・日別稼働額集計表 |
| 2 | 1 | 745 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・月別・入外別・科別稼働額集計表 ・月別・病棟別稼働額集計表 ・月別・診療区分別稼働額集計表 ・月別・病名別稼働額集計表 ・月別・医師別稼働額集計表 ・月別・地域別稼働額集計表 ・稼働額前年度対比表（外来：科別） ・稼働額前年度対比表（外来：診療区分別） ・稼働額前年度対比表（外来：医師別） ・稼働額前年度対比表（入院：科別） ・稼働額前年度対比表（入院：病棟別） ・稼働額前年度対比表（入院：診療区分別） ・稼働額前年度対比表（入院：医師別） |
| 2 | 1 | 746 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> 診療稼働額（随時） ・新－旧稼働額比較(改定前) ・新－旧稼働額比較(改定以降) |
| 2 | 1 | 747 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・病名別診療内容集計表 ・特定診療行為実施患者一覧表（I D順） ・特定診療行為実施患者一覧表（科別・I D順） ・診療材料利用高集計表 ・生保患者一覧表 ・輸血製剤別患者別使用量集計表 ・薬剤使用量集計表 ・薬剤使用量集計表（科別） ・手術台帳 ・手術台帳（外来分） ・手術件数表（入外別） ・手術件数表（科別） ・リハビリ件数統計 ・検査件数集計表 ・検査件数集計表（科別） ・放射線業務集計表 ・病名未登録子エックリスト |
| 2 | 1 | 748 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> 外来患者数（月報） ・科別初診再診別患者数集計表【外来】 ・科別・年齢別実患者数、延患者数 ・科別・地区別実患者数、延患者数 ・時間外区分別受付患者一覧表 ・救急車来院患者一覧表 ・科別患者数日報集計表【外来】 |
| 2 | 1 | 749 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> 外来患者数（随時） ・初診料算定患者一覧表 ・時間外区分別初診料算定患者一覧（6歳未満） |
| 2 | 1 | 750 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> 外来患者数（年報） 年度別・科別患者数集計表【外来】 |
| 2 | 1 | 751 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> 入院患者数（月報） ・科別延患者数集計表【入院】 ・病棟別延患者数集計表【入院】 ・病室別延患者数集計表 ・年齢別科別実患者数、延患者数 ・地区別科別実患者数、延患者数 ・病棟別患者数日報集計表 ・科別患者数日報集計表【入院】 |
| 2 | 1 | 752 | 【医事統計業務】標準提供 | <ul style="list-style-type: none"> ・再入院患者一覧（同一層入院） ・90日以上入院患者リスト ・転帰区分別退院患者一覧 ・指定日平均在院日数集計表 ・特別室使用患者数集計表 ・入院患者50音順別一覧表 ・退院患者50音順別一覧表 ・外泊患者子エックリスト ・病室使用状況一覧表 ・死亡患者一覧 ・病名別・平均入院日数一覧 ・新生児入院患者数 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|---------------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 753 | 【医事統計業務】標準提供 | 入院患者数（年報） ・月別・科別患者数集計表【入院】 ・月別・病棟別患者数集計表 |
| 2 | 1 | 754 | 【医事統計業務】標準提供 | 取崩し情報一覧 ・未収データ一覧 ・状態区分別請求書一覧表 ・定期（定時）請求書一覧表 ・退院請求書一覧表 ・入金データ一覧 ・入金データ集計表 ・指定患者年間入金金額集計 |
| 2 | 1 | 755 | 【医事統計業務】標準提供 | 患者情報一覧 ・新規登録患者一覧 ・患者登録洗い出しリスト |
| 2 | 1 | 756 | 【医事統計業務】標準提供 | 保険情報一覧 ・期限切れ保険一覧 ・法別登録患者一覧 |
| 2 | 1 | 757 | 【医事統計業務】標準提供 | 受診履歴リスト ・カルテ追出しリスト【中央カルテ】：医科 ・カルテ追出しリスト【中央カルテ】：歯科 ・カルテ追出しリスト【各科カルテ】 |
| 2 | 1 | 758 | 【医事統計業務】標準提供 | 受付会計集計表 ・受付時間帯別来院患者数集計表 ・会計時間帯別会計患者数集計表 ・受付時間帯別院内滞留時間別患者数 ・会計時間帯別院内滞留時間別患者数 |
| 2 | 1 | 759 | 【医事統計業務】標準提供 | 個人病名リスト ・指定病名登録患者洗い出しリスト（病名） ・指定病名登録患者洗い出しリスト（病名コード） |
| 2 | 1 | 760 | 【医事統計業務】標準提供 | マスター一覧 ・点数マスター一覧 ・住所マスター一覧 ・病名マスター一覧 ・病名マスター一覧（指定病名） ・医師マスター一覧 ・診療科マスター一覧 ・診療区分マスター一覧 |
| 2 | 1 | 761 | 【医事統計業務】標準提供 | 約20種類のダッシュボードコンテンツを提供すること。 |
| 2 | 1 | 762 | 【医事統計業務】標準提供 | ダッシュボードコンテンツとして下記が含まれていること。 |
| 2 | 1 | 763 | 【医事統計業務】標準提供 | 日次外来 ・新来患者数 ・外来延患者数 ・未収金額 |
| 2 | 1 | 764 | 【医事統計業務】標準提供 | 日次入院 ・当日在院数 ・新入院患者数 |
| 2 | 1 | 765 | 【医事統計業務】標準提供 | 月次外来 ・新来患者数 ・外来延患者数 ・稼働額（外来） |
| 2 | 1 | 766 | 【医事統計業務】標準提供 | 月次入院 ・新入院患者数 ・稼働額（入院） ・当月在院患者数 ・入院延患者数 ・平均在院日数 |
| 2 | 1 | 767 | 【医事統計業務】標準提供 | 月次入外共通 ・稼働額（入外合計） ・手術件数（入外合計） |
| 2 | 1 | 768 | 【医事統計業務】標準提供 | 推移 ・平均在院日数推移（月別） ・診療稼働額推移（月別） |
| 2 | 1 | 769 | 【医事統計業務】平均在院日数算出ツール | 施設基準の申請に必要な平均在院日数を算出することができること。 |
| 2 | 1 | 770 | 【医事統計業務】統合メニュー画面 | 統合化されたメニュー画面から医事統計システムの各運用操作ができること。 |
| 2 | 1 | 771 | 【医事統計業務】取込画面 | 画面から取込処理を実行できること。 |
| 2 | 1 | 772 | 【医事統計業務】取込画面 | 画面から取込処理の実行状況を確認できること。 |
| 2 | 1 | 773 | 【医事統計業務】取込画面 | 画面から取込処理の実行ログを表示できること。 |
| 2 | 1 | 774 | 【医事統計業務】帳票出力画面 | 画面から帳票出力処理を実行できること。 |
| 2 | 1 | 775 | 【医事統計業務】帳票出力画面 | 画面から帳票出力処理の実行状況を確認できること。 |
| 2 | 1 | 776 | 【医事統計業務】帳票出力画面 | 画面から帳票出力処理の実行ログを表示できること。 |
| 2 | 1 | 777 | 【医事統計業務】データ分析画面 | 画面からデータ分析ツールの抽出・集計定義ファイルを選択して実行できること。 |
| 2 | 1 | 778 | 【医事統計業務】バックアップ | 画面からバックアップ処理を実行できること。 |
| 2 | 1 | 779 | 【医事統計業務】バックアップ | 画面からバックアップ処理の実行状況を確認できること。 |
| 2 | 1 | 780 | 【医事統計業務】バックアップ | 画面からバックアップ処理の実行ログを表示できること。 |
| 2 | 1 | 781 | 【医事統計業務】スケジュール | 画面から定期実行するバッチの実行パラメータ、実行スケジュールを登録・編集できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 782 | 【医事統計業務】スケジュール | 定期実行する取込対象データ、出力対象帳票をマスク設定等で登録・編集できること。 |
| 2 | 1 | 783 | 【医事統計業務】監査 | 各業務画面を起動した日時、端末のIPアドレス、ユーザIDを記録したアクセスログをDBに格納できること。 実行した処理名（コンテンツ名）、実行した日時端末のIPアドレス、ユーザIDを記録したアクセスログをDBに格納できること。 |
| 2 | 1 | 784 | 【医事統計業務】監査 | データ分析ツールでデータ抽出を行った日時、ユーザID、端末のIPアドレス、抽出対象のテーブルおよび列、抽出行数を記録したアクセスログを出力できること。 |
| 2 | 1 | 785 | 【医事統計業務】権限 | 取込処理、処理、帳票出力処理、各種メンテナンスにおいて、それぞれ参照、実行権限を利用者ごとに設定できること。 |
| 2 | 1 | 786 | 【各種システム連携】 | 他部門（電子カルテシステム、オーダリング）からのデータに対し、コード変換や検査の丸めの処理ができること。 |
| 2 | 1 | 787 | 【各種システム連携】 | 外来即入院時に未取込となった外来オーダーを取り込むことができること。 |
| 2 | 1 | 788 | 【各種システム連携】 | 長期投与（100日越え）の処方データを受信できること。 |
| 2 | 1 | 789 | 【各種システム連携】 | 退院後にオーダされた入院期間中のオーダ情報を取り込むかどうかの設定ができること。 |
| 2 | 1 | 790 | 【各種システム連携】 | コード変換処理を検体（検査材料）と診療行為を対にして行うことができること。 |
| 2 | 1 | 791 | 【各種システム連携】 | 入院分のオーダ情報を締切時刻まで累積できること。 |
| 2 | 1 | 792 | 【各種システム連携】 | 外来の検査オーダーを累積し、一日単位のまるめ処理ができること。 |
| 2 | 1 | 793 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムからのデータを受信し、点数計算ができること。 |
| 2 | 1 | 794 | 【各種システム連携】 | コード変換を行うマスクの登録・変更ができること。 |
| 2 | 1 | 795 | 【各種システム連携】 | マスクの登録・変更内容をシミュレーションできること。 |
| 2 | 1 | 796 | 【各種システム連携】 | 他部門へ患者属性の送信ができること。（患者登録・変更時、入院登録時、診療会計時） |
| 2 | 1 | 797 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムへ受付情報の送信又は受信（運用により選択）ができること。 |
| 2 | 1 | 798 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムへ計算済情報の送信ができること。 |
| 2 | 1 | 799 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムから会計情報【依頼・実施】の受信ができること。 |
| 2 | 1 | 800 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムから入院等の移動・給食情報の受信ができること。 |
| 2 | 1 | 801 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムから予約情報の受信ができること。 |
| 2 | 1 | 802 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムからDPC情報の受信ができること。 |
| 2 | 1 | 803 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムから病名情報の受信ができること。 |
| 2 | 1 | 804 | 【各種システム連携】 | 電子カルテシステムから症状詳細情報の受信ができること。 |
| 2 | 1 | 805 | 【各種システム連携】 | 診察券発行機との連携ができること。 |
| 2 | 1 | 806 | 【各種システム連携】 | カルテ管理システムとの連携ができること。 |
| 2 | 1 | 807 | 【各種システム連携】 | レセプト債権管理システムとの連携ができること。 |
| 2 | 1 | 808 | 【各種システム連携】 | チェックアイと連携しレセプトチェックが行えること。 |
| 2 | 1 | 809 | 【各種システム連携】 | 経営支援システムとの連携ができること。 ・患者情報 ・稼働額情報 |
| 2 | 1 | 810 | 【各種システム連携】 | 睡眠時無呼吸システムと患者属性連携ができること。 |
| 2 | 1 | 811 | 【データ移行】 | 既存医事会計システムのデータについては、実作業者の責任のもとで以下のデータベース・マスク等のファイル内容を機械的に全レコードを移行すること。 |
| 2 | 1 | 812 | 【データ移行】 | 移行できないデータや移行できるデータに制限がある場合は事前に代替案を提示すること。 |
| 2 | 1 | 813 | 【データ移行】 | 本稼働前にデータ修正や登録が必要な場合は出来るだけ省力化できるように対策を講じること。 |
| 2 | 1 | 814 | 【データ移行】 | 移行データが膨大で何回かに分けて行う場合は事前に相談すること。 |
| 2 | 1 | 815 | 【データ移行】 | 下記のデータ移行ができること。 |
| 2 | 1 | 816 | 【データ移行】 | 患者情報 |
| 2 | 1 | 817 | 【データ移行】 | カルテ情報 |
| 2 | 1 | 818 | 【データ移行】 | 保険情報（過去の保険履歴、保険確認履歴情報） |
| 2 | 1 | 819 | 【データ移行】 | 保険パターン情報 |
| 2 | 1 | 820 | 【データ移行】 | 治験情報 |
| 2 | 1 | 821 | 【データ移行】 | 労災情報 |
| 2 | 1 | 822 | 【データ移行】 | 受診情報 |
| 2 | 1 | 823 | 【データ移行】 | 算定情報 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|---------|---|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 824 | [データ移行] | 会計カード情報 |
| 2 | 1 | 825 | [データ移行] | 会計カードフリーコメント情報 |
| 2 | 1 | 826 | [データ移行] | 入退院情報 |
| 2 | 1 | 827 | [データ移行] | 移動歴情報 |
| 2 | 1 | 828 | [データ移行] | 入院算定歴情報 |
| 2 | 1 | 829 | [データ移行] | 収納情報 |
| 2 | 1 | 830 | [データ移行] | 入金歴情報 |
| 2 | 1 | 831 | [データ移行] | 徴収金情報 |
| 2 | 1 | 832 | [データ移行] | レジ歴情報 |
| 2 | 1 | 833 | [データ移行] | 受付情報 |
| 2 | 1 | 834 | [データ移行] | 予約情報 |
| 2 | 1 | 835 | [データ移行] | 会計済情報 |
| 2 | 1 | 836 | [データ移行] | 医科個人病名情報 |
| 2 | 1 | 837 | [データ移行] | 歯科個人病名情報 |
| 2 | 1 | 838 | [データ移行] | 個人病名算定情報 |
| 2 | 1 | 839 | [データ移行] | DPC診療情報 |
| 2 | 1 | 840 | [データ移行] | DPC診療明細情報 |
| 2 | 1 | 841 | [データ移行] | DPC情報履歴 |
| 2 | 1 | 842 | [データ移行] | DPC移動歴情報 |
| 2 | 1 | 843 | [データ移行] | DPCレセプト請求履歴情報 |
| 2 | 1 | 844 | [データ移行] | 住所マスタ |
| 2 | 1 | 845 | [データ移行] | 氏名辞書マスタ |
| 2 | 1 | 846 | [データ移行] | 病名マスタ |
| 2 | 1 | 847 | [データ移行] | 点数マスタ |
| 2 | 1 | 848 | [データ移行] | セットマスタ |
| 2 | 1 | 849 | [データ移行] | 外部コードマスタ |
| 2 | 1 | 850 | [データ移行] | 変換マスタ |
| 2 | 1 | 851 | [データ移行] | DPCマスタ |
| 2 | 1 | 852 | [データ移行] | 会計情報ファイル（外来・入院別） |
| 2 | 1 | 853 | [データ移行] | 分散累積ファイル（外来・入院別） |
| 2 | 1 | 854 | [データ移行] | 分散情報管理ファイル |
| 2 | 1 | 855 | [データ移行] | 分散DPC情報ジャーナル |
| 2 | 1 | 856 | [データ移行] | 分散DPC管理ジャーナル |
| 2 | 1 | 857 | [データ移行] | 分散入院情報ファイル |
| 2 | 1 | 858 | [データ移行] | 分散病名情報ファイル |
| 2 | 1 | 859 | [データ移行] | 分散データ制限ファイル |
| 2 | 1 | 860 | [データ移行] | 分散データ通知ファイル |
| 2 | 1 | 861 | [データ移行] | 以下のイメージデータが移行できること。 |
| 2 | 1 | 862 | [データ移行] | レセプトイメージデータ（過去5年間） 医科、労災、アタケア、自賠、公害、治験 |
| 2 | 1 | 863 | [データ移行] | 会計カードイメージデータ（過去5年間） 医科、労災、アタケア、自賠、公害、治験 |
| 2 | 1 | 864 | [データ移行] | 以下の統計情報が移行できること。 |
| 2 | 1 | 865 | [データ移行] | 外来患者統計データ（過去5年間） |
| 2 | 1 | 866 | [データ移行] | 入院患者統計データ（過去5年間） |
| 2 | 1 | 867 | [データ移行] | 稼働額統計データ（過去5年間） |
| 2 | 1 | 868 | [データ移行] | 旧システムのBIツールの辞書情報を移行できること。 |
| 2 | 1 | 869 | [データ移行] | 旧システムのBIツールで作成したカタログ情報を移行できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 医事会計システム・医事統計システム |
| パッケージ名 | HOPE X-W・医事DWH |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|---------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 1 | 870 | 【オンライン資格確認連携】 | 患者登録業務から被保険者証によるオンライン資格確認を実施できること。 |
| 2 | 1 | 871 | 【オンライン資格確認連携】 | 患者登録業務からマイナンバーカードによるオンライン資格確認結果を取り込むことができること。 |
| 2 | 1 | 872 | 【オンライン資格確認連携】 | 取得した資格確認結果と登録済みの保険情報との差異がある場合は、差異箇所がわかるように主保険欄、従保険欄に表示されること。 |
| 2 | 1 | 873 | 【オンライン資格確認連携】 | マイナンバーカードによる資格確認結果取り込みにおいては保険確認日が資格確認日で自動的に更新されること。 |
| 2 | 1 | 874 | 【オンライン資格確認連携】 | 新患において、患者氏名等を入力する前に、オンライン資格確認（被保険者証、マイナンバーカード経由とも）を行うことができ、取得した患者情報（漢字氏名、カナ氏名、性別、生年月日、郵便番号、詳細住所）を反映することができること。 |
| 2 | 1 | 875 | 【オンライン資格確認連携】 | 顔認証付きカードリーダーによるマイナンバーカードを使用した資格確認結果と、登録済みの患者情報・保険情報との差異を顔認証付きカードリーダーを使用した患者一覧形式で表示できること。 |
| 2 | 1 | 876 | 【オンライン資格確認連携】 | 取得した資格確認結果の内容を患者単位に一覧形式で確認できること。 |
| 2 | 1 | 877 | 【オンライン資格確認連携】 | 照会番号が登録済みの患者において、顔認証付きカードリーダーによるマイナンバーカードを使用した資格確認結果を窓口業務を介さずに自動的に保険情報に反映できること。 |
| 2 | 1 | 878 | 【オンライン資格確認連携】 | 患者登録時に、照会番号（患者ID）をオンライン資格確認等システム側に都度、登録できること。 |
| 2 | 1 | 879 | 【オンライン資格確認連携】 | バッチ処理にて、指定した患者IDの照会番号（患者ID）をオンライン資格確認等システム側に一括で登録できること。 |
| 2 | 1 | 880 | 【オンライン資格確認連携】 | 照会番号登録（窓口業務、バッチ処理）において、エラーが発生し、オンライン資格確認等システム側に登録できなかった場合はエラーリストに該当患者の情報を出力できること。 |
| 2 | 1 | 881 | 【オンライン資格確認連携】 | 翌日または当日の外来予約患者に対して、登録されている保険情報を用いて、事前一括で資格確認が実施でき、結果をCSVファイルに出力できること。 |
| 2 | 1 | 882 | 【オンライン資格確認連携】 | 入院中患者に対して、登録されている保険情報を用いて、一括で資格確認が実施でき、結果をCSVファイルに出力できること。 |
| 2 | 1 | 883 | 【オンライン資格確認連携】 | 利用者が指定した任意の患者に対して、登録されている保険情報を用いて、一括で資格確認が実施でき、結果をCSVファイルに出力できること。 |
| 2 | 1 | 884 | 【オンライン資格確認連携】 | 外来予約患者、入院中の患者に対する一括資格確認はスケジュール設定を行うことで、任意のタイミングで自動的に実行できること。 |
| 2 | 1 | 885 | 【オンライン資格確認連携】 | 一括資格確認で保険が無効であることが確認できた場合は、対象の保険情報の終了日を自動的に登録できること。 |
| 2 | 1 | 886 | 【オンライン資格確認連携】 | 一括資格確認で保険が無効であることが確認できた場合、終了日を自動的に登録するかは処理実行時に指定できること。 |
| 2 | 1 | 887 | 【オンライン資格確認連携】 | 一括資格確認で照会番号が未登録であることが確認できた場合、患者IDをオンライン資格確認システム側に登録できること。 |

| | |
|---------|---------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 調定システム |
| パッケージ名 | 調定システム |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|---------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 2 | | 機能 | 機能要件 |
| 2 | 2 | 1 | 【調定機能】利用者権限 | 利用者毎にパスワード設定ができること。また利用者ごとに使用可能な業務の設定ができること。 |
| 2 | 2 | 2 | 【調定機能】収納情報管理 | 医事システムにて発生する請求書情報とリアルタイムで連携できること。 |
| 2 | 2 | 3 | 【調定機能】収納情報管理 | 保険適用／保険適用外／自費明細などの請求書情報の詳細が確認できること。 |
| 2 | 2 | 4 | 【調定機能】収納情報管理 | 国保、社保、労災および市町村等への保険請求情報や、医業外請求など、医事システムの収納で発生しない請求情報(以下、保険者等収益情報)を科目指定で登録できること。 |
| 2 | 2 | 5 | 【調定機能】収納情報管理 | 保険者等収益情報について請求書(領収書)の発行ができること。 |
| 2 | 2 | 6 | 【調定機能】収納情報管理 | 保険者等収益情報に対し、査定、返戻情報を登録することができること。 |
| 2 | 2 | 7 | 【調定機能】収納情報管理 | 請求期間を指定して、請求書の一覧表の表示と印刷ができること。 |
| 2 | 2 | 8 | 【調定機能】入金情報管理 | 医事システムまたは入金機などで発生する入金情報とリアルタイムで連携できること。 |
| 2 | 2 | 9 | 【調定機能】入金情報管理 | 医事システムにて発生する請求書情報に対し、一部入金に対応し、入金消し込み順位の設定がマスターにより設定できること。 |
| 2 | 2 | 10 | 【調定機能】入金情報管理 | 医事システムにて発生する請求書情報に対し、請求書明細毎の入金額情報が確認できること。 |
| 2 | 2 | 11 | 【調定機能】入金情報管理 | 保険者等収益情報に対し、入金情報を登録することができること。 |
| 2 | 2 | 12 | 【調定機能】入金情報管理 | 保険者等収益情報と入金情報により、保険請求分の未収入金を管理することができること。 |
| 2 | 2 | 13 | 【調定機能】入金情報管理 | 入金日、入金時間、入金種別(現金、預金、クレジットなど)、金額の履歴確認ができること。 |
| 2 | 2 | 14 | 【調定機能】入金情報管理 | 入金履歴については、請求書毎に無限に保存ができ、参照できること。 |
| 2 | 2 | 15 | 【調定機能】入金情報管理 | 入金期間を指定して、入金種別(現金、預金、クレジットなど)毎の入金の一覧表の表示と印刷ができること。 |
| 2 | 2 | 16 | 【調定機能】未収金情報管理 | 状態毎に請求書の確認ができること。 |
| 2 | 2 | 17 | 【調定機能】未収金情報管理 | 患者本人情報として、氏名、カナ氏名、住所、性別、生年月日、電話番号は、医事システムから連携されること。 |
| 2 | 2 | 18 | 【調定機能】未収金情報管理 | 債務者情報として、患者本人情報以外に、最大3つ登録ができ、参照できること。 |
| 2 | 2 | 19 | 【調定機能】未収金情報管理 | 処理てん末情報として、日付、種別、処理内容(電話連絡、訪問などの債権回収状況)、担当者を登録ができ、参照できること。 |
| 2 | 2 | 20 | 【調定機能】未収金情報管理 | 処理てん末の処理内容は、フリー入力とマスターによる例文入力ができること。 |
| 2 | 2 | 21 | 【調定機能】未収金情報管理 | コメント情報を患者毎、請求書毎に登録ができ参照できること。 |
| 2 | 2 | 22 | 【調定機能】未収金情報管理 | 分割入金の計画が登録でき、参照できること。 |
| 2 | 2 | 23 | 【調定機能】未収金情報管理 | 滞納者の種別の登録ができ、参照ができること。 |
| 2 | 2 | 24 | 【調定機能】未収金情報管理 | 外国人かどうかの指定と国籍を登録することができること。 |
| 2 | 2 | 25 | 【調定機能】未収金情報管理 | 基準日に遡って時点未収の確認ができること。 |
| 2 | 2 | 26 | 【調定機能】未収金情報管理 | 請求書の期間と基準日を指定して、未収の一覧表の表示と印刷ができること。 |
| 2 | 2 | 27 | 【調定機能】未収金情報管理 | 書損(削除)した請求書の一覧表の表示と印刷ができること。 |
| 2 | 2 | 28 | 【調定機能】未収金情報管理 | 入金種別(現金、預金、クレジットなど)毎の日計表や月計表の表示と印刷ができること。 |
| 2 | 2 | 29 | 【調定機能】未収金情報管理 | 未収金台帳の表示と印刷ができること。 |
| 2 | 2 | 30 | 【調定機能】督促管理 | 督促対象者の一覧表の表示と印刷ができること。 |
| 2 | 2 | 31 | 【調定機能】督促管理 | 患者単位で督促内容(お知らせ、督促、催告など)を選択できること。 |
| 2 | 2 | 32 | 【調定機能】督促管理 | 督促文面は、マスターにより自由に設定できること。 |
| 2 | 2 | 33 | 【調定機能】督促管理 | 患者本人の他、保証人や保護者情報の登録ができ、督促状の発行先を変更できること。 |
| 2 | 2 | 34 | 【調定機能】督促管理 | 督促状は、期間指定により一括で発行できること。 |
| 2 | 2 | 35 | 【調定機能】督促管理 | 督促状は、一括の他、患者を指定して発行することができること。 |
| 2 | 2 | 36 | 【調定機能】督促管理 | 督促状は、未収金額の範囲を指定して発行することができること。 |
| 2 | 2 | 37 | 【調定機能】督促管理 | 督促状は、未収金額の範囲を指定する際、患者別未収金額か、請求書別未収金額を選択することができること。 |
| 2 | 2 | 38 | 【調定機能】督促管理 | 督促状は、請求書に登録された未収理由により、督促金額に含めるか除外するかを設定することができること。 |
| 2 | 2 | 39 | 【調定機能】督促管理 | 督促状の発行履歴が保存され、参照できること。 |
| 2 | 2 | 40 | 【調定機能】標準帳票 | 標準帳票として以下の帳票を出力すること。 |
| 2 | 2 | 41 | 【調定機能】標準帳票 | 収入金調定および入金内訳日計表 日毎の患者請求情報を科目単位に仕訳し、出力すること。 現金、口座、クレジットなど、入金種別によってページを分け、それぞれの内訳を出力すること。 |
| 2 | 2 | 42 | 【調定機能】標準帳票 | 収入金調定および入金内訳月計表 日毎・月毎の患者請求情報を科目単位に仕訳し、出力すること。 現金、口座、クレジットなど、入金種別によってページを分け、それぞれの内訳を出力すること。 |
| 2 | 2 | 43 | 【調定機能】標準帳票 | 入金一覧表 日毎の患者入金情報を一覧表にて出力することができ、かつ入金種別毎に分類することができること。 |
| 2 | 2 | 44 | 【調定機能】標準帳票 | 調定一覧表 日毎に発生する債権情報(調定情報)を一覧表にて出力することができること。 |

| | |
|---------|---------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 調定システム |
| パッケージ名 | 調定システム |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 2 | 45 | 【調定機能】標準帳票 | 未納通知、督促状、催告状 個人未収入金情報と、患者の住所等の情報により、督促状等が発行でき、発行の際は発行履歴を登録し管理することができること。 |
| 2 | 2 | 46 | 【調定機能】標準帳票 | 診療費の未納のお知らせ 督促状の内訳として、請求書単位の未収一覧を出力することができること。 |
| 2 | 2 | 47 | 【調定機能】標準帳票 | 督促状発行対象者チェックリスト 患者毎の、現在の未収金の一覧と督促の設定、住所等の個人情報が記載された一覧を出力することができること。 |
| 2 | 2 | 48 | 【調定機能】標準帳票 | 書損一覧表 日付指定により、指定日に書損となった請求書の一覧が出力できること。 |
| 2 | 2 | 49 | 【調定機能】標準帳票 | 未収一覧表 日毎の患者未収入金情報を一覧表にて出力することができ、かつ過去の日付を指定するとその時点の未収入金を一覧表にて出力することができること。 また、複数の未収理由を指定して、出力対象を限定できること。 |
| 2 | 2 | 50 | 【調定機能】標準帳票 | 滞納者区分別未収一覧表 滞納者区分を設定した患者について、日毎の患者未収入金情報を一覧表にて出力することができ、かつ過去の日付を指定するとその時点の未収入金を一覧表にて出力することができること。 |
| 2 | 2 | 51 | 【調定機能】標準帳票 | 債権管理票未収金整理簿 患者毎の未収金台帳として、未収額合計、本人連絡先、督促状の送付先、入外ごとの未収金回収の状況、処理てん末などが記載された帳票を出力できること。 |
| 2 | 2 | 52 | 【調定機能】標準帳票 | 領収証明書 日付指定により、請求書ごと、または、月毎の領収証明書を発行できること。 |
| 2 | 2 | 53 | 【調定機能】標準帳票 | 処理てん末出力 登録された処理てん末をCSV出力できること。 |
| 2 | 2 | 54 | 【調定機能】標準帳票 | 帳票の出力結果をCSV出力し、EXCELなどで2次加工できること。 |

| | |
|---------|----------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 自動再来受付機 |
| パッケージ名 | HOPE自動再来受付システム |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|--------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 3 | | 機能 | 機能要件 |
| 2 | 3 | 1 | 再来受付画面 | 電子カルテシステムの当日予約受付業務と同等以上の受付機能を有し、予約枠や受付番号の管理を共有すること。 |
| 2 | 3 | 2 | 再来受付画面 | 電子カルテシステムの科歴に基づいて表示する（選択可能な）科を調整できること。 |
| 2 | 3 | 3 | 再来受付画面 | 電子カルテシステムの保険情報をチェックし、有効な保険が無い場合にエラー画面やワーニング画面を表示できること。 |
| 2 | 3 | 4 | 再来受付画面 | 電子カルテシステムの保険情報をチェックし、保険証の確認状態を元にエラー画面やワーニング画面を表示できること。 |
| 2 | 3 | 5 | 再来受付画面 | 電子カルテシステムの入退院情報をチェックし、入退院状態を元にエラー画面やワーニング画面を表示できること。 |
| 2 | 3 | 6 | 再来受付画面 | 受付時に電子カルテシステムの受付情報を更新し、受付済みのチェックも行うこと。 |
| 2 | 3 | 7 | 再来受付画面 | 予約ありの受付では、予約情報（科、予約枠、内容、予約時間）を一覧で確認してからの受付が可能なこと。 |
| 2 | 3 | 8 | 再来受付画面 | 予約なしの受付では、診療科、予約枠、内容、時間を選択することが可能なこと。 |
| 2 | 3 | 9 | 再来受付画面 | 診療科は最大40まで表示できること。 |
| 2 | 3 | 10 | 再来受付画面 | 一回の受付処理で最大10明細まで処理可能なこと。 |
| 2 | 3 | 11 | 再来受付画面 | 診療科は識別しやすいように【内科系】⇒【循環器科】のように代表科の選択後に詳細科を表示する仕組みが取れること。 |
| 2 | 3 | 12 | 再来受付画面 | 受付済み、予約済みがわかるように科ボタンに【受付済】や【予約済】等の状態表示ができること。 |
| 2 | 3 | 13 | 再来受付画面 | 予約枠、時間の表示スケジュールは電子カルテシステムの予約枠と連動していること。 |
| 2 | 3 | 14 | 再来受付画面 | 受付票には受付日時、患者番号、カナ氏名、氏名、受付情報、ワーニングメッセージ、任意の固定文言を印字可能なこと。 |
| 2 | 3 | 15 | 再来受付画面 | 受付票には患者番号のバーコードを印字可能なこと。 |
| 2 | 3 | 16 | 再来受付画面 | 受付の開始、休止、終了等の運用時間を設定できるメンテナンス機能を有すること |
| 2 | 3 | 17 | 再来受付画面 | 予約のみ受付可能な任意の時間帯を設定できること。また、この時間帯は予約の無い利用者にはエラー画面を表示できること。 |
| 2 | 3 | 18 | 再来受付画面 | 画面デザイン（診療科ボタン数、メッセージ）や受付票レイアウトの単純な変更はプログラムの入替えをせずに対応できること。 |
| 2 | 3 | 19 | 再来受付画面 | 各画面ごとに音声ガイダンスの発声が可能なこと。 |
| 2 | 3 | 20 | 再来受付画面 | 受付機と同等の画面（ユーザインタフェース）を備えた職員用の窓口受付機能を提供できること。 |
| 2 | 3 | 21 | 再来受付画面 | 電子カルテシステムまたはWindowsOSのPCやサーバとの時刻補正機能を有すること。 |
| 2 | 3 | 22 | 再来受付画面 | カラーユニバーサルデザイン認定を受けている画面であること。 |
| 2 | 3 | 23 | 再来受付画面 | 診察券に含まれる患者生年月日と電子カルテシステムに登録されている生年月日が一致しているかチェックできること。一致していない場合はエラー画面を表示できること。 |

| | |
|---------|-------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 収納POSレジシステム |
| パッケージ名 | 収納POSレジシステム |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|-----------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 4 | | 機能 | 機能要件 |
| 2 | 4 | 1 | 入金、返金処理 | 請求書に印字されたバーコードや診察券から患者情報を読み取ることで、容易に請求金を表示し、入金が可能であること。また領収書の発行ができること。 |
| 2 | 4 | 2 | 入金、返金処理 | 患者ID + 請求書番号の入力により、該当の未収請求書をPOSレジ上に表示し、入金処理ができること。 |
| 2 | 4 | 3 | 入金、返金処理 | 入金処理時に手近なレーザプリンタに対して領収書および診療明細書の発行ができること。 |
| 2 | 4 | 4 | 入金、返金処理 | レジ入金情報と医事会計システムの収納情報とのリアルタイム連携が可能であること。 |
| 2 | 4 | 5 | 入金、返金処理 | 一度に30枚までの請求書を入金することができ、異なる患者（親子・夫婦など）の請求書についても同時に入金することが可能であること。 |
| 2 | 4 | 6 | 入金、返金処理 | 開局からレジ締めまでの現金集計処理が容易に行え、科別の入外・科目別に精算レポートを出力することができること。 |
| 2 | 4 | 7 | 入金、返金処理 | 一部入金（部分入金）が可能であること。またその際、レジから実施結果のレシートを出力できること。 |
| 2 | 4 | 8 | 入金、返金処理 | 一部入金済みの請求書に対しても、現在の未収金額が表示でき、全額または一部入金処理ができること。またその際、レジから実施結果のレシートを出力すること。 |
| 2 | 4 | 9 | 入金、返金処理 | 預かり金額として入力した値が請求額よりも小さい場合、一部入金かどうかの確認チェックの機能を有すること。 |
| 2 | 4 | 10 | 入金、返金処理 | 入金金額に応じ、つり銭が自動的に放出されること。（自動釣銭機を接続した場合） |
| 2 | 4 | 11 | 入金、返金処理 | 他のシステムで操作中の患者のデータに対しては、入金処理を行なうことができないよう制限されること。 |
| 2 | 4 | 12 | 入金、返金処理 | 既に入金処理済（完納済）の伝票に対しては、入金できないことが、警告音とメッセージでアナウンスできること。 |
| 2 | 4 | 13 | 入金、返金処理 | 医事システムに存在しない患者ID、伝票番号に対しては、処理できないことをエラー音とメッセージでアナウンスできること。 |
| 2 | 4 | 14 | 入金、返金処理 | 未収以外の伝票状態（告知、書損等）の伝票を検索した場合、処理できないことを警告音とメッセージでアナウンスできること。 |
| 2 | 4 | 15 | 入金、返金処理 | 返金伝票に対して、返金処理が実施できること。また、そのときに返金レシートが出力されること。 |
| 2 | 4 | 16 | 入金、返金処理 | 既に入金済（完納済）の伝票に対して、返金または差替処理が実施できること。また、そのときに実施結果のレシートが出力されること。 |
| 2 | 4 | 17 | 入金、返金処理 | 入金の請求書と返金の請求書を一度の処理で差額分の入金または返金処理として処理することができること。 |
| 2 | 4 | 18 | 入金、返金処理 | 担当者コードとパスワードを入力することにより、POSレジの処理担当者を判断することができること（画面に担当者名を表示）。 |
| 2 | 4 | 19 | 入金、返金処理 | 入金行為を行なった際、自動的に医事会計システムの収納情報の更新を行なうことができること。 |
| 2 | 4 | 20 | 入金、返金処理 | カスタマイズディスプレイにより、患者へ判りやすい金額提示（請求金額、預かり金額、お釣の表示）が可能であること。 |
| 2 | 4 | 21 | 入金、返金処理 | 異なる患者（親子・夫婦など）の複数請求書に対し、入金・返金処理を同時に行うことができること。 |
| 2 | 4 | 22 | 医業収益以外での入金、返金管理 | 『科目』として任意の項目をマスタ登録することができ、その項目に対して入金および出金を行うことができること。 |
| 2 | 4 | 23 | 医業収益以外での入金、返金管理 | 科目に対しての入金処理および出金処理において、結果をレシートにて出力できること。 |
| 2 | 4 | 24 | 医業収益以外での入金、返金管理 | 通常の請求書と科目を同時に処理することができること。 |
| 2 | 4 | 25 | 現金、情報管理 | 業務開始時につり銭として準備した金額を登録できること。また、その際に登録した金額の結果をレシートにて出力できること。 |
| 2 | 4 | 26 | 現金、情報管理 | POSレジ運用中において、その時点までの現金との突合せができること。また、その際につき合わせ結果をレシートにて出力できること。 |
| 2 | 4 | 27 | 現金、情報管理 | 1日のPOSレジ運用完了時に精算処理を行い、それまでの現金との突合せ状態や入金／出金状態をレシートとして出力できること。 |
| 2 | 4 | 28 | 現金、情報管理 | POSレジ上での動作は全てジャーナルデータとして保存できること。また、画面上でもその内容をいつでも参照できること。 |
| 2 | 4 | 29 | ハード関連、その他 | ハードウェアはレジ専用機で動作可能であること。 |
| 2 | 4 | 30 | ハード関連、その他 | タッチスクリーンにより、バーコードを読み取ることができること。 |
| 2 | 4 | 31 | ハード関連、その他 | 磁気カードリーダーにより、診察券の患者IDを読み取ることができること。 |
| 2 | 4 | 32 | ハード関連、その他 | レシートプリンタにより、各業務に即した情報の印刷ができること。また、用紙不足状態、用紙切れ状態を感じ、画面に通知ができること。 |
| 2 | 4 | 33 | ハード関連、その他 | 釣銭機、釣札機を接続し、お釣の排出が自動でできること。 |
| 2 | 4 | 34 | ハード関連、その他 | 各POSレジの情報を別途帳票（取引伝票明細一覧）として、医事会計システム等の端末から出力できること。（CoReportsV7.2以降のOCXがインストールされている必要があります。） |
| 2 | 4 | 35 | ハード関連、その他 | 患者からの預かり金を直接釣銭機、釣札機に投入することにより、自動的に預かり金額を計測することができること。また、その結果を画面に反映させることができること。 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | リハビリ部門システム |
| パッケージ名 | SERAPORT |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 5 | | 機能要件 | 機能要件 |
| 2 | 5 | 1 | 患者基本情報 | 患者基本情報の登録、更新、照会が行えること。 |
| 2 | 5 | 2 | 患者基本情報 | オーダリング/電子カルテシステム経由で、患者属性（ID、氏名、住所、生年月日、保険情報など）を取り込むことができること。 |
| 2 | 5 | 3 | 患者基本情報 | オーダリング/電子カルテシステム経由で、患者の生年月日、血液型、身長、体重、感染症などを取り込むことができること。 |
| 2 | 5 | 4 | 移動情報 | 患者の入退院、転科・転棟情報が参照できること。 |
| 2 | 5 | 5 | 移動情報 | 移動履歴情報をオーダリング/電子カルテシステム経由で医事システムから受信できること。 |
| 2 | 5 | 6 | 移動情報 | 移動情報の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 7 | 保険情報 | 患者の保有する保険情報を参照できること。 |
| 2 | 5 | 8 | 保険情報 | 保険情報をオーダリング/電子カルテシステム経由で医事システムから受信できること。 |
| 2 | 5 | 9 | 保険情報 | 保険情報の一覧を表示できること。 |
| 2 | 5 | 10 | 詳細情報 | 患者の趣味、家屋構造等、特記事項を登録、更新できること。 |
| 2 | 5 | 11 | 緊急連絡先 | 患者の自宅や緊急時連絡先等を登録、更新できること。 |
| 2 | 5 | 12 | 障害者手帳情報 | 患者が保有する障害者手帳内容を登録、更新できること。 |
| 2 | 5 | 13 | 主担当者情報 | 患者の主担当を登録、更新できること。 |
| 2 | 5 | 14 | 算定情報 | 患者の算定情報（算定起算日、算定区分名）を登録、更新できること。 |
| 2 | 5 | 15 | 算定情報 | 患者の継続理由を登録、更新できること。 |
| 2 | 5 | 16 | 算定情報 | 算定情報の一覧を表示できること。 |
| 2 | 5 | 17 | 算定情報 | 疾患別リハビリテーションによる算定情報を受信できること。 |
| 2 | 5 | 18 | 算定情報 | 回復期リハビリの算定上限日数の管理が行えること。 |
| 2 | 5 | 19 | 同姓同名候補者情報 | 患者カナ氏名の同姓同名候補者を表示できること。 |
| 2 | 5 | 20 | 新規オーダ通知 | リハビリオーダの着信を即座に通知できること。 |
| 2 | 5 | 21 | 着信一覧 | 着信したオーダを一覧で確認できること。 |
| 2 | 5 | 22 | 着信一覧 | 確認日時、確認者を登録できること。 |
| 2 | 5 | 23 | 着信一覧 | 着信一覧を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 24 | 着信一覧 | 着信一覧を、「着信日」「印刷済」「確認有無」「伝票」「オーダ区分」「職種」「病棟」「新着確認」「患者ID」で絞り込み表示できること。 |
| 2 | 5 | 25 | 着信一覧 | 着信一覧上に、予約有無を表示できること。 |
| 2 | 5 | 26 | 着信一覧 | 一覧上に表示されている項目で、自由に並び替え表示ができること。 |
| 2 | 5 | 27 | 着信一覧 | 未確認の処方に対し、新着表示ができること。 |
| 2 | 5 | 28 | 着信一覧 | 一覧の表示条件を利用者毎に設定できること。 |
| 2 | 5 | 29 | 処方箋印刷 | 着信したオーダを一覧から選択して出力できること。 |
| 2 | 5 | 30 | 処方箋印刷 | 印刷済みの場合、一覧に「*」を表示できること。 |
| 2 | 5 | 31 | 処方箋 | 患者ごとに、リハビリオーダ内容を表示できること。 |
| 2 | 5 | 32 | 処方箋 | 確認日時、確認者を登録できること。 |
| 2 | 5 | 33 | リハビリ履歴 | 患者の処方の履歴を一覧で確認できること。 |
| 2 | 5 | 34 | 処方箋印刷 | 処方箋を出力できること。 |
| 2 | 5 | 35 | スケジュール | 指定した「日付」「職種」「グループ」「担当者」「入/出」「病棟」で療法士別のスケジュールが表示できること。 |
| 2 | 5 | 36 | スケジュール | 指定した日のスケジュールが療法士別に表示できること。 |
| 2 | 5 | 37 | スケジュール | 患者の個別予約・実施登録が行えること。 |
| 2 | 5 | 38 | スケジュール | 患者の集団予約・実施登録が行えること。 |
| 2 | 5 | 39 | スケジュール | 療法士のリハビリ以外の予定が登録できること。 |
| 2 | 5 | 40 | スケジュール | 療法士間での予約移動をドラッグ&ドロップで行えること。 |
| 2 | 5 | 41 | スケジュール | 予約日、予約時間の移動をドラッグ&ドロップで行えること。 |
| 2 | 5 | 42 | スケジュール | 予約日、予約時間の複写をドラッグ&ドロップで行えること。 |
| 2 | 5 | 43 | スケジュール | 療法士のリハビリ以外の予定の移動をドラッグ&ドロップで行えること。 |
| 2 | 5 | 44 | スケジュール | 療法士のリハビリ以外の予定の複写をドラッグ&ドロップで行えること。 |
| 2 | 5 | 45 | スケジュール | 予約情報の修正が行えること。 |
| 2 | 5 | 46 | 予約機能 | 予約情報の削除が行えること。 |
| 2 | 5 | 47 | 予約機能 | スケジュールの表示条件を利用者毎に設定できること。 |
| 2 | 5 | 48 | 選択日予約/実施一覧 | カレンダーで選択した日の部門内の予約内容を表示できること。 |
| 2 | 5 | 49 | 他部門予約状況 | 本日の日付以降の他部門予約状況を表示できること。 |
| 2 | 5 | 50 | 予約登録 | 患者の予定を他科での検査などを含めて確認しながらリハビリを予約できること。 |
| 2 | 5 | 51 | 予約登録 | 予約期間、予約曜日、予約時間、会計区分、実施場所を登録できること。 |
| 2 | 5 | 52 | 予約登録 | 予約登録画面で、担当者・患者の空き時間の候補を自動表示し、予約入力できること。 |
| 2 | 5 | 53 | 予約登録 | 患者の予約スケジュールを1日、1週間、1か月単位毎に確認できること。 |
| 2 | 5 | 54 | 予約登録 | 担当者の予約スケジュールを表示できること。 |
| 2 | 5 | 55 | 予約登録 | 日別に任意で担当者を選択し、予約確認できること。 |
| 2 | 5 | 56 | 予約登録 | 担当者の複数日予約の予約確認が表示できること。 |
| 2 | 5 | 57 | 予約登録 | 担当者の1日当りの上限単位数及び予約単位数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 58 | 予約登録 | 担当者の1週間当りの上限単位数及び予約単位数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 59 | 予約登録 | 会計区分の分類毎の上限単位数及び予約単位数、または上限人数及び予約人数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 60 | 予約登録 | 会計区分毎の上限人数及び予約人数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 61 | 予約登録 | 他職種と重複した場合、警告メッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 62 | 予約登録 | 担当者が院内不在の場合、警告メッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 63 | 予約登録 | 1日の単位数が上限を超えた場合、警告メッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 64 | 予約登録 | 1週間の単位数が上限を超えた場合、警告メッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 65 | 予約登録 | 1日の患者数が上限を超えた場合、警告メッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 66 | 予約登録 | 個別と集団を同日に算定した場合、警告メッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 67 | 予約登録 | 期間、曜日指定による一括予約が行えること。 |
| 2 | 5 | 68 | 予約登録 | 予約の取消が行えること。 |
| 2 | 5 | 69 | 予約登録 | 時間未定での予約取得ができること。 |
| 2 | 5 | 70 | 予約詳細 | 実施項目、会計項目、算定区分を登録できること。 |
| 2 | 5 | 71 | 予約取得状況 | 一括予約時に不都合が生じた場合、予約されなかった日付とその理由を表示できること。 |
| 2 | 5 | 72 | 予約再取得 | 予約取得状況に表示された予約されなかった日の予約再取得ができること。 |
| 2 | 5 | 73 | 予約複数取得 | 同一日の同一職種の複数予約が取得できること。 |
| 2 | 5 | 74 | 集団予約 | 担当者毎の集団予約状況を表示できること。 |
| 2 | 5 | 75 | 集団予約 | 同一日時、同一区分、同一担当者の予約が会計区分限度人数まで一括で取得できること。 |
| 2 | 5 | 76 | 集団予約 | 同一日時、同一区分、同一担当者で予約された複数の患者の予約を一括削除できること。 |
| 2 | 5 | 77 | 設備スケジュール | 設備ごとの予約スケジュールを表示できること。 |
| 2 | 5 | 78 | 設備スケジュール | 設備ごとに予約登録ができること。 |
| 2 | 5 | 79 | 設備スケジュール | 設備予約が重複した場合、警告メッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 80 | 設備スケジュール | 選択した日の設備予約状況が表示されること。 |
| 2 | 5 | 81 | 設備スケジュール | 設備予約がドラッグ&ドロップで移動できること。 |
| 2 | 5 | 82 | 設備スケジュール | 設備予約がドラッグ&ドロップで複写できること。 |
| 2 | 5 | 83 | 設備スケジュール | 設備予約情報の削除が行えること。 |
| 2 | 5 | 84 | 予約一覧 | 患者の予約一覧を担当者別に確認できること。 |
| 2 | 5 | 85 | 予約一覧 | 患者の予約一覧を職種別に確認できること。 |
| 2 | 5 | 86 | 予約一覧 | 患者の予約を一括で削除できること。 |
| 2 | 5 | 87 | 予約一覧 | 予約一覧を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 88 | 予約票印刷 | 患者の予約票を印刷できること。 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | リハビリ部門システム |
| パッケージ名 | SERAPORT |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 5 | 89 | 予約カレンダー | 患者の1ヶ月毎のカレンダーを表示できること。 |
| 2 | 5 | 90 | 予約カレンダー | 予約の有無を表示できること。 |
| 2 | 5 | 91 | 予約カレンダー | 予約の削除ができること。 |
| 2 | 5 | 92 | 予約カレンダー | 他部門予約情報を参照できること。 |
| 2 | 5 | 93 | 受付一覧 | 受付一覧を担当者別に表示できること。 |
| 2 | 5 | 94 | 受付一覧 | 受付一覧を職種別に表示できること。 |
| 2 | 5 | 95 | 受付一覧 | 受付一覧を入院、外来別で表示できること。 |
| 2 | 5 | 96 | 受付一覧 | 受付一覧を診療科別で表示できること。 |
| 2 | 5 | 97 | 受付一覧 | 受付一覧を病棟別で表示できること。 |
| 2 | 5 | 98 | 受付一覧 | 受付一覧を状態別（予約、実施、未実施、送信、未送信、中止、未実施および未送信）で表示できること。 |
| 2 | 5 | 99 | 受付一覧 | 受付一覧を会計区分別で表示できること。 |
| 2 | 5 | 100 | 受付一覧 | 受付一覧の表示順を「患者ID、患者氏名、最終予約、入外、現病棟、現病室、区分予約、受付、予約時間、実施、計、送信、処、印、職種、場所、担当者」で任意に選択できること。 |
| 2 | 5 | 101 | 受付一覧 | 患者の実施状況を一覧で確認できること。 |
| 2 | 5 | 102 | 受付一覧 | 予約、受付、実施、送信、計画書、処方等で処理済み業務に「*」印を表示できること。 |
| 2 | 5 | 103 | 受付一覧 | 受付画面から予約登録、実施詳細画面へ遷移できること。 |
| 2 | 5 | 104 | 受付一覧 | 受付一覧に患者の最終予約日を表示できること。 |
| 2 | 5 | 105 | 受付一覧 | 一覧の表示条件を利用者毎に設定できること。 |
| 2 | 5 | 106 | 患者検索 | I D、カナ氏名、入外区分、生年月日、病棟、性別、主担当者、職種、予約実施、処方の終了を除く、削除済み情報、本日の予約有無で検索できること。 |
| 2 | 5 | 107 | 患者検索 | 検索した結果を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 108 | 受付処理 | 患者の受付処理ができること。 |
| 2 | 5 | 109 | 受付処理 | 選択した患者の受付取消処理ができること。 |
| 2 | 5 | 110 | 一括実施 | 予約登録済みの患者を対象に一括実施できること。 |
| 2 | 5 | 111 | 未予約実施 | 予約のない患者の実施処理ができること。 |
| 2 | 5 | 112 | 追加実施 | 同日同一職種の追加実施ができること。 |
| 2 | 5 | 113 | 予約実施件数 | 会計区分毎に予約、実施件数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 114 | 実施詳細登録 | 算定区分、算定起算日、継続理由、実施項目、会計項目、実施場所、疾患名、実施時間を登録できること。 |
| 2 | 5 | 115 | 実施詳細登録 | 実施項目欄にフリー入力ができること。 |
| 2 | 5 | 116 | 実施詳細登録 | 前回の実施内容を複写できること。 |
| 2 | 5 | 117 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「算定区分のチェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 118 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「算定期間、算定回数のチェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 119 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「担当機能療法の算定回数のチェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 120 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「担当者の1日及び1週当りの単位数チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 121 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「担当者の1日当りの患者数チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 122 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「患者1人当りの単位数チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 123 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「早期リハビリテーション加算チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 124 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「障害児（者）リハビリ料算定時の年齢チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 125 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「在宅訪問リハビリ指導管理料の算定有無チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 126 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「集団コミュニケーション療法チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 127 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「標準的リハビリテーション実施日数後チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 128 | 実施詳細登録 | 実施登録時、「リハビリテーション総合計画評価料チェック」が行えること。 |
| 2 | 5 | 129 | 実施詳細登録 | 実施中止の入力が行えること。 |
| 2 | 5 | 130 | 実施詳細登録 | 算定区分、算定起算日、入外情報を元に会計項目候補が表示できること。 |
| 2 | 5 | 131 | 集団実施 | 担当者毎の集団実施状況を表示できること。 |
| 2 | 5 | 132 | 集団実施 | 同一日時、同一区分、同一担当者の実施が会計区分限度人数まで一括で取得できること。 |
| 2 | 5 | 133 | 集団実施 | 同一日時、同一区分、同一担当者の実施が会計区分限度人数まで一括削除できること。 |
| 2 | 5 | 134 | ガイダンス表示 | 担当者の1日当りの上限単位数及び実施単位数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 135 | ガイダンス表示 | 担当者の1週当りの上限単位数及び実施単位数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 136 | ガイダンス表示 | 会計区分の分類毎の上限単位数及び実施単位数、または上限人数及び実施人数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 137 | ガイダンス表示 | 会計区分毎の上限人数及び実施人数を表示できること。患者の算定情報（算定区分名、算定可能期間）を表示できること。 |
| 2 | 5 | 138 | ガイダンス表示 | 実施開始日からの経過月数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 139 | ガイダンス表示 | 急性発症起算日、算定起算日からの経過日数を表示できること。 |
| 2 | 5 | 140 | ガイダンス表示 | 摂食機能療法の算定期間を表示できること。 |
| 2 | 5 | 141 | ガイダンス表示 | リハビリ総合実施計画評価料の算定有無を表示できること。 |
| 2 | 5 | 142 | ガイダンス表示 | 他職種の同日リハビリ情報を表示できること。 |
| 2 | 5 | 143 | ガイダンス表示 | 患者の保険情報を表示できること。 |
| 2 | 5 | 144 | 会計情報送信 | 実施詳細で登録した会計情報を医事システムに送信できること。 |
| 2 | 5 | 145 | 一覧表示 | 処方情報の履歴を時系列に表示できること。 |
| 2 | 5 | 146 | 一覧表示 | 実施情報、予約情報、報告書情報の履歴を時系列に表示できること。 |
| 2 | 5 | 147 | 印刷 | 履歴の印刷ができること。 |
| 2 | 5 | 148 | リハビリ履歴表示設定 | 履歴に表示する項目を指定できること。 |
| 2 | 5 | 149 | 勤務表カレンダー | 療士の勤務状況を登録できること。 |
| 2 | 5 | 150 | 勤務表カレンダー | 時間外、会議などのリハビリ以外の予定を登録できること。 |
| 2 | 5 | 151 | 勤務表カレンダー | 実施時に担当者不在の場合は警告メッセージを表示できること。 |
| 2 | 5 | 152 | 勤務表作成 | 担当者の勤務表が作成できること。 |
| 2 | 5 | 153 | 検索 | 退院日で退院患者検索が行えること。 |
| 2 | 5 | 154 | 一覧表示 | 検索結果を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 155 | 印刷 | 退院患者一覧を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 156 | 患者検索 | 患者ID、カナ氏名、入外区分、生年月日、病棟名、性別、主担当者、職種、予約実施、処方の終了を除く、削除済みの情報も表示する、本日の予約有、本日の実施有で患者検索が行えること。 |
| 2 | 5 | 157 | 一覧表示 | 検索結果を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 158 | 検索 | 算定区分、職種、処方日、主担当、検索日、基準日、上限日で検索できること。 |
| 2 | 5 | 159 | 一覧表示 | 検索結果を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 160 | 印刷 | 検索結果一覧を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 161 | 担当患者一覧 | 入外、病棟、担当、職種、本日の予約・実施有無で担当患者検索が行えること。 |
| 2 | 5 | 162 | 担当患者一覧 | 検索結果を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 163 | 担当患者一覧 | 選択した患者情報を管理画面に表示できること。 |
| 2 | 5 | 164 | 検索 | カンファレンス日、主担当、職種、入外区分、診療科、病棟により患者検索が行えること。 |
| 2 | 5 | 165 | 一覧表示 | 検索結果を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 166 | 一覧表示 | 前回登録した患者情報を複写できること。 |
| 2 | 5 | 167 | 一覧表示 | 患者IDを直接追加できること。 |
| 2 | 5 | 168 | カンファレンス | カンファレンス内容を登録できること。 |
| 2 | 5 | 169 | カンファレンス | カンファレンス内容を削除できること。 |
| 2 | 5 | 170 | カンファレンス | 登録したカンファレンス内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 171 | 一覧表示 | リハビリを実施している患者について、実施計画書の作成有無を表示できること。 |
| 2 | 5 | 172 | 一覧表示 | リハビリを実施している患者について、計画評価料の算定有無を表示できること。 |
| 2 | 5 | 173 | 一覧表示 | 担当者毎に、作成したレポートの一覧を表示できること。 |
| 2 | 5 | 174 | 一覧表示 | 報告日、報告者、状態、業務、文書名、文書名フリー検索で検索できること。 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | リハビリ部門システム |
| パッケージ名 | SERAPORT |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 5 | 175 | 一覧表示 | 複数の職種で作成するレポートについて、それぞれの職種ごとの作成状況を表示できること。 |
| 2 | 5 | 176 | 一覧表示 | 選択したレポートの詳細内容を表示できること。 |
| 2 | 5 | 177 | レポート作成 | 指定した患者のレポート作成ができること。 |
| 2 | 5 | 178 | 一覧表示 | 作成した報告書の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 179 | サマリ評価 | サマリ評価履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 180 | サマリ評価 | 評価項目に対して評価内容を登録できること。 |
| 2 | 5 | 181 | サマリ評価 | 登録したサマリ評価を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 182 | ADL評価 | A D L 評価履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 183 | ADL評価 | A D L 評価項目一覧から選択した評価項目に対して評価内容を点数で登録できること。 |
| 2 | 5 | 184 | ADL評価 | 評価結果をチャート式のグラフで表示できること。 |
| 2 | 5 | 185 | ADL評価 | 登録した A D L 評価を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 186 | 簡易知能評価 | 簡易知能評価履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 187 | 簡易知能評価 | 各分類の質問内容に対して、点数で登録できること。 |
| 2 | 5 | 188 | 簡易知能評価 | 登録した簡易知能評価の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 189 | 標準失語症検査 | 標準失語症検査の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 190 | 標準失語症検査 | 検査項目に対する点数を入力し、登録できること。 |
| 2 | 5 | 191 | 標準失語症検査 | 検査結果をグラフで表示できること。 |
| 2 | 5 | 192 | 標準失語症検査 | 登録した標準失語症検査の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 193 | 関節可動域評価 | 関節可動域評価の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 194 | 関節可動域評価 | 各部位の運動方向に対する評価角度を登録できること。 |
| 2 | 5 | 195 | 関節可動域評価 | 登録した関節可動域評価の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 196 | 摂食、嚥下障害評価 | 摂食、嚥下障害評価の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 197 | 摂食、嚥下障害評価 | 評価項目に対する評価内容を登録できること。 |
| 2 | 5 | 198 | 摂食、嚥下障害評価 | 登録した摂食、嚥下障害評価の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 199 | 徒手筋力検査 | 徒手筋力検査の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 200 | 徒手筋力検査 | 各部位の運動方向に対する評価角度を登録できること。 |
| 2 | 5 | 201 | 徒手筋力検査 | 登録した徒手筋力検査の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 202 | 知能診断評価 | 知能診断評価の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 203 | 知能診断評価 | 評価項目に対する粗点を入力し、点数で登録できること。 |
| 2 | 5 | 204 | 知能診断評価 | 評価結果をグラフで表示できること。 |
| 2 | 5 | 205 | 知能診断評価 | 登録した知能診断評価の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 206 | 構成力評価 | 構成力評価の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 207 | 構成力評価 | 各項目に対する所要時間を登録できること。 |
| 2 | 5 | 208 | 構成力評価 | 登録した構成力評価の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 209 | 簡易上肢機能検査 | 簡易上肢機能検査の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 210 | 簡易上肢機能検査 | 各項目に対する所要時間、合否を点数で登録できること。 |
| 2 | 5 | 211 | 簡易上肢機能検査 | 登録した簡易上肢機能検査の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 212 | 栄養摂取評価 | 栄養摂取評価の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 213 | 栄養摂取評価 | 各項目に対する点数を登録できること。 |
| 2 | 5 | 214 | 栄養摂取評価 | 登録した栄養摂取評価の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 215 | リハビリ実施計画 | リハビリ実施計画の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 216 | リハビリ実施計画 | リハビリ実施計画を登録できること。 |
| 2 | 5 | 217 | リハビリ実施計画 | 登録したリハビリ実施計画の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 218 | リハビリ総合実施計画 | リハビリ総合実施計画の履歴を一覧表示できること。 |
| 2 | 5 | 219 | リハビリ総合実施計画 | リハビリ総合実施計画を登録できること。 |
| 2 | 5 | 220 | リハビリ総合実施計画 | 登録したリハビリ総合実施計画の内容を印刷できること。 |
| 2 | 5 | 221 | フリー入力報告書 | フリー入力による報告書を作成できること。 |
| 2 | 5 | 222 | フリー入力報告書 | 作成済みの文書をもとに別文書として保存できること。 |
| 2 | 5 | 223 | フリー入力報告書 | 作成した文書に、以前に作成した別の文書を一覧選択し添付できること。 |
| 2 | 5 | 224 | フリー入力報告書 | 過去に作成した文書を参照しながら、別文書の作成ができること。 |
| 2 | 5 | 225 | フリー入力報告書 | デジタルカメラから映像の取込みが可能であること。 |
| 2 | 5 | 226 | フリー入力報告書 | スキャナによる画像取込みが可能であること。 |
| 2 | 5 | 227 | フリー入力報告書 | パソコンに取り込んだ音声ファイルの取り込みが可能であること。 |
| 2 | 5 | 228 | 報告書排他制御 | 他者が編集中のレポートは閲覧のみ可能であること。 |
| 2 | 5 | 229 | 報告書使用者管理 | 障害等で編集が不可能になった文書を再度編集可能にすること。 |
| 2 | 5 | 230 | リハビリ報告書 | リハビリ報告書を電子カルテ上に保存し、電子媒体で情報を参照できること。 |
| 2 | 5 | 231 | CSV出力 | 「実施データ」をCSV形式に変換し、自由に院内で統計処理を行えること。 |
| 2 | 5 | 232 | CSV出力 | 「処方データ」をCSV形式に変換し、自由に院内で統計処理を行えること。 |
| 2 | 5 | 233 | CSV出力 | 「報告書データ」をCSV形式に変換し、自由に院内で統計処理を行えること。 |
| 2 | 5 | 234 | CSV出力 | EXCELで作成したテンプレートについて、指定した情報をCSV形式に変換し、自由に院内で統計処理を行えること。 |
| 2 | 5 | 235 | メッセージ送信 | 患者に対するメッセージを指定した担当者へ送信できること。 |
| 2 | 5 | 236 | メッセージ受信 | 患者に対するメッセージを受信できること。 |
| 2 | 5 | 237 | メッセージ表示 | 受信したメッセージが表示できること。 |
| 2 | 5 | 238 | メッセージ編集 | 受信したメッセージに対して、コメント記載及び確認処理を行えること。 |
| 2 | 5 | 239 | メッセージ編集 | 送信したメッセージの修正ができること。 |
| 2 | 5 | 240 | メッセージ削除 | 送信したメッセージの削除ができること。 |
| 2 | 5 | 241 | メッセージ受信 | 担当者別に患者に対するメッセージを受信できること。 |
| 2 | 5 | 242 | メッセージ確認 | 担当者別に受信したメッセージに対して、コメント記載及び確認処理を行えること。 |
| 2 | 5 | 243 | メッセージ確認 | 未読のメッセージがある場合は、ログイン後にメッセージ一覧を表示できること。 |
| 2 | 5 | 244 | 入院患者確認 | 入院中の患者のスケジュールを確認できること。 |
| 2 | 5 | 245 | お知らせ確認 | リハビリシステムを使用するスタッフに対して通知・通達ができること。 |
| 2 | 5 | 246 | お知らせ編集 | お知らせ内容の変更ができること。 |
| 2 | 5 | 247 | お知らせ削除 | お知らせ内容が削除できること。 |
| 2 | 5 | 248 | 印刷 | 「処方箋」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 249 | 印刷 | 「着信一覧」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 250 | 印刷 | 「リハビリ予約予約票」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 251 | 印刷 | 「療法別日報」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 252 | 印刷 | 「担当者時間割表」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 253 | 印刷 | 「担当者別週間予約一覧」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 254 | 印刷 | 「担当者別予約患者一覧」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 255 | 印刷 | 「治療訓練時間表」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 256 | 印刷 | 「病棟別予約一覧」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 257 | 印刷 | 「担当者別月報」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 258 | 印刷 | 「病棟別業務月報」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 259 | 印刷 | 「実施記録」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 260 | 印刷 | 「療法別月報」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 261 | 印刷 | 「カンファレンス一覧」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 262 | 印刷 | 「患者算定区分一覧」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 263 | 印刷 | 「業務日報（担当者別、項目別、療法別）」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 264 | 印刷 | 「業務月報（担当者別、診療科別、項目別、療法別）」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 265 | 印刷 | 「業務年報（診療科別、療法別）」が印刷できること。 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | リハビリ部門システム |
| パッケージ名 | SERAPORT |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|---------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 5 | 266 | 印刷 | 「疾患別年報」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 267 | 印刷 | 「療法別年報」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 268 | 印刷 | 「ラベル印刷」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 269 | 印刷 | 「患者数統計」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 270 | 印刷 | 「疾患別取扱件数」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 271 | 印刷 | 「サマリ評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 272 | 印刷 | 「ADL評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 273 | 印刷 | 「簡易知能評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 274 | 印刷 | 「標準失語症検査」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 275 | 印刷 | 「関節可動域評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 276 | 印刷 | 「摂食・嚥下障害評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 277 | 印刷 | 「徒手筋力検査」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 278 | 印刷 | 「知能診断評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 279 | 印刷 | 「構成力評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 280 | 印刷 | 「簡易上肢機能検査」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 281 | 印刷 | 「栄養摂取評価」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 282 | 印刷 | 「リハビリ実施計画（平成16年度版）」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 283 | 印刷 | 「リハビリ総合実施計画（平成16年度版）」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 284 | 印刷 | 「勤務情報一覧」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 285 | 印刷 | 「お知らせ」が印刷できること。 |
| 2 | 5 | 286 | 印刷 | 印刷物はレビュー表示ができること。 |
| 2 | 5 | 287 | 利用者一覧 | 利用者一覧を表示できること。 |
| 2 | 5 | 288 | 利用者登録 | 全利用者を登録し、個々に権限の設定が可能であること。 |
| 2 | 5 | 289 | パスワード変更 | 利用者本人によるパスワード変更が可能であること。 |
| 2 | 5 | 290 | 有効期間 | パスワード有効期限が過ぎたら、ログインの際に警告を表示できること。 |
| 2 | 5 | 291 | マスタ登録 | 各画面に表示されるマスタを病院毎に設定が可能であること。 |
| 2 | 5 | 292 | ログ保存 | 操作履歴、DB変更内容のログを保存できること。 |
| 2 | 5 | 293 | 情報受信 | 患者基本情報の受信が可能であること。 |
| 2 | 5 | 294 | 情報受信 | 患者プロフィール情報の受信が可能であること。 |
| 2 | 5 | 295 | 情報受信 | 患者保険情報の受信が可能であること。 |
| 2 | 5 | 296 | 情報受信 | 患者移動歴情報の受信が可能であること。 |
| 2 | 5 | 297 | 情報受信 | 患者算定区分情報の受信が可能であること。 |
| 2 | 5 | 298 | 情報受信 | リハビリオータの受信が可能であること。 |
| 2 | 5 | 299 | 情報受信 | 会計情報の送信が可能であること。 |
| 2 | 5 | 300 | 情報参照 | リハビリ報告書を電子カルテ上に保存し、電子媒体で情報を参照できること。 |
| 2 | 5 | 301 | 情報受信 | 患者基本情報の受信が可能であること。（オータリング／電子カルテシステム連携により受信） |
| 2 | 5 | 302 | 情報受信 | 患者保険情報の受信が可能であること。（オータリング／電子カルテシステム連携により受信） |
| 2 | 5 | 303 | 情報受信 | 患者移動歴情報の受信が可能であること。（オータリング／電子カルテシステム連携により受信） |

| | |
|---------|-----------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 診断RISシステム |
| パッケージ名 | EE版生体検査OP |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|--------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 6 | | 機能要件 | 機能要件 |
| 2 | 6 | 1 | 基本共通事項 | 当仕様書記載内容を全て満たしていること |
| 2 | 6 | 2 | 基本共通事項 | 今回の見積価格には、ハードウェア、ソフトウェアとともに、機器の設置作業、セットアップ、設定作業、機器の搬入に要する費用など、本システム導入に係る一切の費用を見積すること。 |
| 2 | 6 | 3 | 基本共通事項 | 本システムを導入するにあたっては、現在使用中のシステムからのデータ移行を行う必要があるため、そのデータ移行費用も見積価格に含むこと。ただし、移行するデータの種別、内容等については、当院より別途提示する。 |
| 2 | 6 | 4 | 基本共通事項 | 本システムを導入するにあたっては、同時に導入を行う病院情報システム（当院電子カルテシステム）との接続連携を前提としているため、病院情報システムの導入業務契約業者との連絡調整を十分に行い、導入作業が円滑に行われるよう務めること。 |
| 2 | 6 | 5 | 基本共通事項 | 本システムの導入作業中、及び納品後にトラブル等が発生した場合も、上記同様に病院情報システム（当院電子カルテシステム）の導入・メンテナンス業務の契約業者との連絡調整を十分に行い、協力して問題解決に努めること。 |
| 2 | 6 | 6 | 概要 | 本システムは、以下の仕様を満たすこと。 |
| 2 | 6 | 7 | 概要 | 対象範囲は、放射線検査、内視鏡検査とする。 |
| 2 | 6 | 8 | 概要 | 障害発生時に迅速な対応が可能であること。また、障害窓口等も一本化すること。 |
| 2 | 6 | 9 | 概要 | リモートメンテナンスによる遠隔保守が可能であること。 |
| 2 | 6 | 10 | 概要 | HIS及び本システムのすべての機能をシングルサインオンで利用できること。 |
| 2 | 6 | 11 | 概要 | HISと本システムで利用者を自動連携し利用できること。 また、HISに保有していない本システム固有の利用者権限設定が行えること。 |
| 2 | 6 | 12 | 概要 | HISと本システムは同一端末で動作すること。 |
| 2 | 6 | 13 | 概要 | 端末の資源管理もHISと一元化して行えること。 |
| 2 | 6 | 14 | 概要 | 利用者の有効期限チェック、開始日の設定、チェックができること。 |
| 2 | 6 | 15 | RIS機能 | 利用者パスワードの有効期限チェック、開始日の設定、チェックができること。 |
| 2 | 6 | 16 | RIS機能 | 受付機能として以下の機能を有すること HISから取得したオーダ情報取得をもとにID番号入力やカードリーダーやバーコードリーダによる受付が可能であること。 |
| 2 | 6 | 17 | RIS機能 | 依頼オーダ受信時に自動で撮影室を振り分けができ、また必要時に任意で撮影室の変更ができること。 実施時に撮影を行った端末に自動で撮影室振り分けができること。 |
| 2 | 6 | 18 | RIS機能 | フィルム保存袋用ラベル発行ができること。 |
| 2 | 6 | 19 | RIS機能 | 受付時に依頼内容を参照できること。また複数検査がある場合にも参照、一括受付が行なえること。 |
| 2 | 6 | 20 | RIS機能 | 患者IDが分からなくてもカナ氏名、病棟などで患者検索ができること。 |
| 2 | 6 | 21 | RIS機能 | 受付画面にて感染症を表示すること。 |
| 2 | 6 | 22 | RIS機能 | 受付予定の患者一覧の表示機能を有すること。一覧は検査種別等条件を指定して表示できること。 |
| 2 | 6 | 23 | RIS機能 | 患者の受付画面上で「放射線検査」、「内視鏡検査」が確認できること。 |
| 2 | 6 | 24 | RIS機能 | 受付からの伝言機能としてメッセージをオーダに対して入力することができ、その内容を検査室から参照できること。 |
| 2 | 6 | 25 | RIS機能 | 入院患者の場合、現在の病棟を表示できること。また移動履歴も表示できること。 |
| 2 | 6 | 26 | RIS機能 | 受付は権限のある利用者のみ受付を行うことが可能なこと。また検査種別毎に受付を制御することができること。 |
| 2 | 6 | 27 | RIS機能 | 患者撮影順番制御のため、受付時刻は時間、分、秒まで保持していること。 |
| 2 | 6 | 28 | RIS機能 | 検査室一覧では受付時刻順にソートする機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 29 | RIS機能 | 最新の患者プロフィールやアレルギー有無、感染症情報リアルタイムに反映されること。 |
| 2 | 6 | 30 | RIS機能 | 患者の過去の検査履歴、未来の検査予定も参照できること。 |
| 2 | 6 | 31 | RIS機能 | 患者の過去使用した造影剤情報が一目で把握できること。 |
| 2 | 6 | 32 | RIS機能 | 患者の来院状況、検査進捗状況を確認できること。 |
| 2 | 6 | 33 | RIS機能 | 撮影室業務では以下の一覧表示機能を有すること 受付された検査の一覧を表示できること。また一覧の検索条件は撮影室や病棟、検査状態等を指定できること。 |
| 2 | 6 | 34 | RIS機能 | 検査一覧の検索条件を複数作成し、任意の名称をつけ登録できること。 登録はいつでも呼び出して検索、複数可能、検索条件並び順の変更できること。 |
| 2 | 6 | 35 | RIS機能 | 一覧に表示される項目をカスタマイズできること。また一覧上の項目名をクリックすることで、その項目でソートできること。 |
| 2 | 6 | 36 | RIS機能 | 一覧に表示される項目からフィルタを掛けて表示内容を絞り込みできること。 |
| 2 | 6 | 37 | RIS機能 | 一覧上で以下のステータス管理できること。 オーダ：予約、未受付、受付済、実施済、検査中止、削除 |
| 2 | 6 | 38 | RIS機能 | 一覧では感染症患者、至急検査、緊急検査、病棟連絡済み、他室で表示中、保留(依頼内容を変更して保存した状態)など色をつけて表示できること。表示色はフルカラーの中から自由に選択可能とし、またどの状態を優先して色をつけて表示するかのカスタマイズできること。 |
| 2 | 6 | 39 | RIS機能 | 病棟連絡済み(呼出) 履歴を保持し、前回の呼出時刻、呼出者を参照できること。 |
| 2 | 6 | 40 | RIS機能 | 同姓同名患者のチェックを行い、該当患者がいる場合には注意を促す機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 41 | RIS機能 | 類似氏名（当日検査内で似ている患者氏名）患者のチェックを行い、該当患者がいる場合には注意を促す機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 42 | RIS機能 | 当日複数検査予定がある患者については、一覧上でその予定が確認できること。 |
| 2 | 6 | 43 | RIS機能 | 当日時間帯の2日間に跨る検査をまとめて一覧で表示できること。 |
| 2 | 6 | 44 | RIS機能 | HISからの定型コメントに対し、重要性の高いものを自動で一覧に表示できること。また対象とするコメントを検査種別毎にカスタマイズできること。 |
| 2 | 6 | 45 | RIS機能 | HISからの定型コメントで指定された緊急、至急オーダが一覧上でアイコン表示されること。 |
| 2 | 6 | 46 | RIS機能 | 検査一覧上から検査内容、検査薬品情報、コメント情報、プロフィール情報、依頼時の検査目的、診断名、が確認できること。 |
| 2 | 6 | 47 | RIS機能 | 車椅子やストレッチャー等の搬送状態を一覧上に移動状態に応じたアイコンで表示できること。 |
| 2 | 6 | 48 | RIS機能 | 患者放置防止のため、受付後の経過時間が長くなった場合は一覧上でわかるように表示できること。 |
| 2 | 6 | 49 | RIS機能 | 検査一覧上で「放射線検査」、「内視鏡検査」、で当日他検査がある場合はアイコンが表示され、予約時間、検査の進捗、検査中情報が確認できること。 |
| 2 | 6 | 50 | RIS機能 | 受付件数、実施件数、未受付件数など各ステータス毎に件数が表示可能なこと。 |
| 2 | 6 | 51 | RIS機能 | 一般撮影など複数の撮影室で空いている部屋から撮影を行う場合、同じ条件の検査一覧を複数の撮影室で共有できること。また他の撮影室で表示中の検査は一覧上で視覚的に確認できること。 |
| 2 | 6 | 52 | RIS機能 | 一覧からの患者選択は、マウスによる選択以外にIDカードリーダーやバーコードリーダによる選択も可能であること。 |
| 2 | 6 | 53 | RIS機能 | 撮影室でも検査の受付が行えること。また複数の患者やオーダの一括受付も可能なこと。 |
| 2 | 6 | 54 | RIS機能 | インターネットブラウザ機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 55 | RIS機能 | 患者の来院状況、検査進捗状況を確認できること。 |
| 2 | 6 | 56 | RIS機能 | 実施画面を開くとなく、一覧でオーダに対するコメントを入力できること。(技師間での連絡事項等) |
| 2 | 6 | 57 | RIS機能 | 各プロセスごとの業務に適するよう、検査一覧のオーダ表示はフロントサイズが端末ごとに自由に設定できること。 |
| 2 | 6 | 58 | RIS機能 | 検査一覧の画面サイズをディスプレイサイズに応じて可変に設定、登録できること。 |
| 2 | 6 | 59 | RIS機能 | 撮影室実施入力では以下の機能を有すること。 |

| | |
|---------|-----------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 診断RISシステム |
| パッケージ名 | EE版生体検査OP |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|-------|--|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 6 | 60 | RIS機能 | 患者情報（患者プロフィールを含む）、依頼情報（検査目的、臨床情報、シエマなどを含む）の確認ができること。 |
| 2 | 6 | 61 | RIS機能 | RISより当院電子カルテで管理している「造影剤副作用歴」、「身長」、「体重」、「インプラント」情報が登録できること。 登録した内容は当院電子カルテ上でデータ一元管理できること。 |
| 2 | 6 | 62 | RIS機能 | 患者の写真(JPEG)を取り込んでいる場合、目視による患者確認用に写真を表示できること。 取り込んでいない場合には、受付画面に性別のシンボルマークが表示されること。 |
| 2 | 6 | 63 | RIS機能 | 実施入力時、当日の他検査状況が時系列で一目で確認ができること。 他検査がある場合は、視覚的に把握できること。 |
| 2 | 6 | 64 | RIS機能 | 実施画面を参照モードで起動できること。 |
| 2 | 6 | 65 | RIS機能 | 安全のため、過去の検査の実施画面を開いた際に、過去の検査であることを警告表示できること。 |
| 2 | 6 | 66 | RIS機能 | 実施画面を他端末で展開しているオーダに対して、別端末や利用者から実施画面を起動する場合は参照モードで起動できること。 |
| 2 | 6 | 67 | RIS機能 | 運用により、実施入力画面でのオーダの追加・変更・削除などの処理が可能なること。また変更内容は実施時にHIS側へ通知され、実施内容が依頼内容と異なることがわかるよう表示されること。 |
| 2 | 6 | 68 | RIS機能 | 過去の撮影検査データがある患者については、前回の撮影条件を自動で撮影条件として展開されること。 (自動で展開しない設定も可能とする。) |
| 2 | 6 | 69 | RIS機能 | 過去の撮影検査データがない場合、デフォルト値を患者の身体的条件に基づいて自動で撮影条件として展開（管電流、管電圧、フィルム枚数等）されること。 |
| 2 | 6 | 70 | RIS機能 | 実施画面から前回画像、レポート情報の日付を確認でき、ワンクリックで参照できること。 |
| 2 | 6 | 71 | RIS機能 | 実施画面から実施中患者のHISの画面を開くことができ、カルテ内容や検体検査の結果などの確認ができること。その際、ID、パスワードや患者IDの再入力が必要なく。 |
| 2 | 6 | 72 | RIS機能 | 同一種別間で申し送り可能なコメント入力、参照機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 73 | RIS機能 | 患者に対するコメントが入力可能なること。 |
| 2 | 6 | 74 | RIS機能 | オーダ内容の修正履歴を版数管理し保持すること。 またRIS上より修正履歴が参照できること。 |
| 2 | 6 | 75 | RIS機能 | 依頼オーダを受信した際、警報機等で音声通知できること。 |
| 2 | 6 | 76 | RIS機能 | 電子カルテからRISに登録されていない検査内容が送信されてきた場合、そのようなオーダが発生していることが一瞥上でわかること。 |
| 2 | 6 | 77 | RIS機能 | DICOM MWMに対応し、患者情報・オーダ情報などを撮影装置に渡せること。 |
| 2 | 6 | 78 | RIS機能 | DICOM MPPSに対応し、撮影装置から実績値をオンラインで受け取れること。 |
| 2 | 6 | 79 | RIS機能 | 検査一覧上で選択した複数のオーダ情報に対してDICOM MWMが行えること。（ポータブル撮影等） 一連の実施時に同一薬品を複数登録した場合、展開される薬品は1つのみとする。また医事会計システムに送信される薬品は1つのみとする。 |
| 2 | 6 | 80 | RIS機能 | 実施時の入力内容に応じて必要なチェックがされること。 (フィルム入力、最大枚数、造影剤入力、薬品・器材の有効期限、検査室（機器）の有効期限) |
| 2 | 6 | 82 | RIS機能 | 必要に応じて、部位及び方向、左右両側毎にフィルム、撮影条件、照射線量の変更ができること。 |
| 2 | 6 | 83 | RIS機能 | フィルム、撮影条件、薬品器材を検査内容毎にデフォルト設定できること。またデフォルト値は同一検査内容でも年齢や撮影室ごとに複数パターン設定可能なること。 |
| 2 | 6 | 84 | RIS機能 | 実施時注意したい指示情報、アラーム情報に関しては実施画面上の一箇所にとまどって表示されること。 また注意したい指示情報、アラーム情報は任意に設定できること。 |
| 2 | 6 | 85 | RIS機能 | 実施時によく利用する読影要/不要、至急等のフラグ情報を定型コメントとしてワンクリックで入力できること。 |
| 2 | 6 | 86 | RIS機能 | 実施時に二目で認識しづらい部位情報の認識をさけるため、照射部位画像を表示できること。 |
| 2 | 6 | 87 | RIS機能 | 実施画面の検査内容、撮影条件内容等、オーダ内容のフォントサイズを可変に設定できること。 |
| 2 | 6 | 88 | RIS機能 | 薬品・器材入力画面では、あいまい検索、前後一致検索で薬品・器材を絞り込み、検索でき入力できること。 |
| 2 | 6 | 89 | RIS機能 | 照射線情報の一部として、技師名の入力・保存ができ、かつ、技師名の変更は実施入力中でも変更できること。 |
| 2 | 6 | 90 | RIS機能 | 実施者、実施場所情報が歴として管理されること。 |
| 2 | 6 | 91 | RIS機能 | 薬品器材がバーコード管理されている場合、利用した薬品器材のバーコード読み取りによる実施入力が可能なること。 |
| 2 | 6 | 92 | RIS機能 | HISからの依頼シエマを部位毎に受信できること。また全てのシエマを簡単に参照できること。 |
| 2 | 6 | 93 | RIS機能 | HISから取得したプロフィール情報からeGFR値（参考値）を計算して表示できること。 |
| 2 | 6 | 94 | RIS機能 | 実施入力可能な利用者の制御が可能であること。また実施入力は検査種別毎に制御が可能なること。 |
| 2 | 6 | 95 | RIS機能 | 当院電子カルテから依頼受信時に検査の種別に応じて自動実施できる機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 96 | RIS機能 | 以下の台帳、統計表の出力が行えること。 |
| 2 | 6 | 97 | RIS機能 | 検査台帳の一覧表示・印刷及びCSV出力が可能であること。 |
| 2 | 6 | 98 | RIS機能 | 各機器ごとの予約状況が台帳形式で一目で参照できること。未受付、実施済みの各検査状態に応じて色わけで表示され、視覚的に検査状態を確認できること。またオーダに対するコメント情報の表示項目設定機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 99 | RIS機能 | ポータブル撮影台帳の一覧表示・印刷及びCSV出力が可能であること。 |
| 2 | 6 | 100 | RIS機能 | 照射線作成・印刷及びCSV出力が可能であること。 |
| 2 | 6 | 101 | RIS機能 | 日報・月報・年報等の作成・印刷・CSV出力が可能であること。 |
| 2 | 6 | 102 | RIS機能 | RISデータベースの項目すべてを検索条件として設定可能な汎用データ抽出機能を有すること。検索条件は複数項目を組み合わされること。 |
| 2 | 6 | 103 | RIS機能 | 以下のマスタメンテナンス機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 104 | RIS機能 | 撮影マスタのメンテナンスがEXCEL及びGUI画面にて容易に行えること。 |
| 2 | 6 | 105 | RIS機能 | RIS内で追加したマスタ欄目、カルテで登録したマスタ項目が一連の画面でメンテナンスでき、相互に自動反映されること。 |
| 2 | 6 | 106 | RIS機能 | メンテナンスを考慮して、RISで利用するマスタコードは電子カルテで利用するコードをそのまま流用できること。 |
| 2 | 6 | 107 | RIS機能 | RISで作成した撮影マスタからHISの撮影マスタをコンバートして作成できること。 |
| 2 | 6 | 108 | RIS機能 | 以下の連携機能を有すること。 |
| 2 | 6 | 109 | RIS機能 | オーダ修正、操作履歴を管理しその時点のオーダ状態をできること。 またソケット連携タイミングにより受付後修正オーダが来た際にオーダ発行受信層が参照できること。 |
| 2 | 6 | 110 | RIS機能 | 稼働後、検査名称やコメント名称を変更しても変更前のデータ参照時は過去の名称のまま表示されること。 |
| 2 | 6 | 111 | RIS機能 | 医事システムから患者属性情報をリアルタイムに連携できる機能を有すること。 当院電子カルテ マスタメンテナンスで追加した項目がRIS側のマスタに自動反映されること。 |
| 2 | 6 | 112 | RIS機能 | 当院電子カルテ マスタメンテナンス画面とRISのマスタメンテナンス画面は連携して一連のマスタメンが出来ること。 |
| 2 | 6 | 113 | RIS機能 | RIS内で別途検査項目マスタを作成しない伝票に関しては当院電子カルテのマスタをベースとしてRISが動作すること。 |
| 2 | 6 | 114 | RIS機能 | RISで作成した撮影マスタからHISの撮影マスタをコンバートして作成できること。 |
| 2 | 6 | 115 | RIS機能 | 技師、医師・看護師、その他患者に関わる病院スタッフが情報共有できるよう、当院電子カルテシステム・オーダリングシステム・本システムはデータベース・サーバが一体化したものであること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 病歴部門システム・がん登録システム |
| パッケージ名 | 病歴大将 |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|----|--------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 7 | | 機能要件 | 機能要件 |
| 2 | 7 | 1 | 【病歴部門】基本要件 | 本システムは、入院の診療情報管理を行うものとする。 |
| 2 | 7 | 2 | 【病歴部門】基本要件 | 入院診療録の貸出し管理も実行のものとする。 |
| 2 | 7 | 3 | 【病歴部門】基本要件 | 医事システム等より入院患者の基本情報、入退院情報を取り込むこととする。 |
| 2 | 7 | 4 | 【病歴部門】基本要件 | 電子カルテ導入時には、電子カルテ上の退院サマリより病名、手術などを取り込むこととする。 |
| 2 | 7 | 5 | 【病歴部門】セキュリティ | ログインID・パスワードを入力し、ログイン認証を行えること。 |
| 2 | 7 | 6 | 【病歴部門】セキュリティ | 利用者の権限管理により、利用可否、機能制限を設けることができること。 |
| 2 | 7 | 7 | 【病歴部門】病歴登録 | 患者基本情報、死亡情報、入退院情報、病棟情報、科歴情報、病名情報、手術情報、分娩情報、医療費情報を管理できること。 |
| 2 | 7 | 8 | 【病歴部門】病歴登録 | 【患者基本情報】として、以下の項目を登録できること。 氏名、カナ氏名、旧氏名、旧氏名カナ、性別、生年月日、血液型、輸血歴有無、飲酒有無、国籍、喫煙有無、 妊娠歴有無、妊娠回数、出産歴有無、出産回数、連絡先（郵便番号、電話番号、氏名、続柄、住所）、 初回来院日、最終来院日、最終受診科、コメント |
| 2 | 7 | 9 | 【病歴部門】病歴登録 | 【死亡情報】として、以下の項目を登録できること。 死亡場所、死亡場所詳細、死亡日時、死亡時年齢、死亡区分、術後死亡区分、剖検有無、剖検番号、 直接死因、原死因、コメント |
| 2 | 7 | 10 | 【病歴部門】病歴登録 | 【入退院情報】として、以下の項目を登録できること。 主たる診療科、主たる病棟、代表医師、 入院日時、入院時年齢、入院経路、退院日時、退院時年齢、退院経路、退院転帰、在院日数、身長、体重、医療費合計、 診療目的、院内感染有無、転科有無、兼科有無、輸血有無、治験有無、予定緊急区分、救急車搬送有無、時間外フラグ、 入院前在宅医療、入院前場所区分、入院前場所、紹介元医療機関、紹介元医師名、紹介状有無、 退院後在宅医療、退院後場所区分、退院後場所、紹介先医療機関、紹介先医師名、逆紹介状有無、コメント、統計対象外フラグ |
| 2 | 7 | 11 | 【病歴部門】病歴登録 | 【病棟情報】として、以下の項目を登録できること。 病棟、入棟前場所区分、入棟日、退棟後場所区分、退棟日、在棟日数、診療科、統計対象外フラグ |
| 2 | 7 | 12 | 【病歴部門】病歴登録 | 【科歴情報】として、以下の項目を登録できること。 郵便番号、住所、診療圏、電話番号、診療科、主たる病棟、医師（区分と医師名を何人でも）、 開始日時、開始時年齢、開始経路、終了日時、終了時年齢、終了経路、終了転帰、在科日数、 院内感染有無、輸血有無、手術有無、治験有無、対診科有無、感染症、アレルギー、コメント、統計対象外フラグ |
| 2 | 7 | 13 | 【病歴部門】病歴登録 | 【病名情報】として、以下の項目を登録できること。 病名区分、ICD10コード、病名、病名転帰、発症日、診断日、終了日、外傷分類、ICD-O-M（組織形態）コード |
| 2 | 7 | 14 | 【病歴部門】病歴登録 | 【手術情報】として、以下の項目を登録できること。 手術区分、点数表コード、ICD9CMコード、手術名、開始日時、終了日時、所要時間、麻酔、麻酔時間、 予定緊急区分、時間外フラグ、出血量、輸血量、術前日数、術後日数、術後合併症有無、 |
| 2 | 7 | 15 | 【病歴部門】病歴登録 | 【分娩情報】として、以下の項目を登録できること。 対応病名、助産師、介助医、麻酔医、STEM7コード 分娩日、所要時間、分娩時年齢、在胎日数、出血量、早産フラグ、流産フラグ、帝王切開有無、新生児数、 新生児情報として、 性別、身長、体重、アプガー指数、新生児番号、患者番号 死産情報として、 死産番号、死産日時、死産回数、死産場所、剖検有無、剖検番号、人口中絶有無、母体合併症有無 |
| 2 | 7 | 16 | 【病歴部門】病歴登録 | 【医療費情報】として、以下の項目を登録できること。 医療費明細（45項目以上） |
| 2 | 7 | 17 | 【病歴部門】病歴登録 | 病院独自に自由に使える項目を200項目以上保有していること。 |
| 2 | 7 | 18 | 【病歴部門】病歴登録 | 病名マスタは I C D 1 0 に準拠していること。また、二重分類にも対応できること。 |
| 2 | 7 | 19 | 【病歴部門】病歴登録 | 手術マスタは I C D 9 C M マスタと点数表マスタに対応していること。 |
| 2 | 7 | 20 | 【病歴部門】病歴登録 | 病名、手術の入力時には、それぞれのマスタから、カナ検索、漢字検索、コード検索、分類検索ができること。 |
| 2 | 7 | 21 | 【病歴部門】病歴登録 | 登録できる病名、手術の数に制限がないこと。（ただし主病名は1つの科歴に1つであること） |
| 2 | 7 | 22 | 【病歴部門】病歴登録 | 病名、手術、紹介元医療機関、紹介先医療機関、入院前場所、退院後場所の入力時には、該当患者の過去の情報から複写できること。 |
| 2 | 7 | 23 | 【病歴部門】病歴登録 | 死亡情報は、退院時死亡だけでなく、院外死亡についても登録できること。 |
| 2 | 7 | 24 | 【病歴部門】検索処理 | 基本的には、登録したすべての項目に対して検索条件を設定できること。 |
| 2 | 7 | 25 | 【病歴部門】検索処理 | 検索条件は、コメントを付加して保存できること。また、保存した検索条件は、印刷や復元ができること。 |
| 2 | 7 | 26 | 【病歴部門】検索処理 | 全検索、再検索（AND）、再検索（OR）、NOT検索に対応できること。 |
| 2 | 7 | 27 | 【病歴部門】検索処理 | 検索結果として、該当する患者数、入退院数、科歴数、病棟一覧を一度に表示できること。 |
| 2 | 7 | 28 | 【病歴部門】検索処理 | 検索した結果は、患者一覧、入退院一覧、科歴一覧、病棟一覧、病名一覧、手術一覧などの一覧形式で表示できること。また、それぞれ、キーを指定して並べ替えが行えること。 |
| 2 | 7 | 29 | 【病歴部門】検索処理 | 結果の一覧画面では、表示する項目を自由に変更できること。項目の並び順も変更できること。また、一覧画面の内容をそのまま出力できること。 |
| 2 | 7 | 30 | 【病歴部門】検索処理 | 検索結果は、紙、EXCEL、および市販の O A ソフトで加工できる形式（ C S V 形式）でのファイル出力に対応できること。 |
| 2 | 7 | 31 | 【病歴部門】検索処理 | 検索結果の紙への出力では、タイトルを設定できること。 |
| 2 | 7 | 32 | 【病歴部門】検索処理 | 検索結果の EXCEL への出力では、出力用テンプレートの追加・修正ができること。 |
| 2 | 7 | 33 | 【病歴部門】検索処理 | 検索結果のファイル出力では、出力項目および項目の並び順を設定できること。また、出力パターンを登録し、再利用ができること。 |
| 2 | 7 | 34 | 【病歴部門】検索処理 | 検索結果の病名情報に対して、一括で、ICD10コードを変更できること。 |
| 2 | 7 | 35 | 【病歴部門】検索処理 | 検索結果の手術情報に対して、一括で、ICD9CMコードおよび点数表コードを変更できること。 |
| 2 | 7 | 36 | 【病歴部門】検索処理 | 検索、参照のみができるアクセス権を設定できること。 |
| 2 | 7 | 37 | 【病歴部門】検索処理 | 一覧画面から登録処理や参照処理に遷移できること。 |
| 2 | 7 | 38 | 【病歴部門】集計処理 | 検索処理によって絞り込まれた結果を母集団とし、集計処理が行えること。 |
| 2 | 7 | 39 | 【病歴部門】集計処理 | 検索結果から、さらに集計対象を絞り込みできること。 |
| 2 | 7 | 40 | 【病歴部門】集計処理 | 集計軸を指定できること。 |
| 2 | 7 | 41 | 【病歴部門】集計処理 | 集計画面では、対象データの在院日数（延べ、最小、中央、最大、平均）、平均年齢が表示されること。 |
| 2 | 7 | 42 | 【病歴部門】集計処理 | 集計結果の明細件数は、平均在院日数、平均年齢などともに、一覧形式で表示されること。また、グラフ表示されること。 |
| 2 | 7 | 43 | 【病歴部門】集計処理 | 集計結果一覧は、一覧上の項目で並べ替えができること。 |
| 2 | 7 | 44 | 【病歴部門】集計処理 | 集計結果は、画面と同じ内容で EXCEL に出力ができること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 病歴部門システム・がん登録システム |
| パッケージ名 | 病歴大将 |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|----|---------------------|---|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 7 | 45 | 【病歴部門】集計処理 | 集計結果の明細件数をクリックすることにより、検索結果一覧に遷移できること。そのとき、対象となっている明細が特定できること。 |
| 2 | 7 | 46 | 【病歴部門】統計処理 | 退院統計、入院統計、入院中統計、実施日別統計、その他統計に対応していること。 |
| 2 | 7 | 47 | 【病歴部門】統計処理 | 日本病学会の標準統計が出力できること。 |
| 2 | 7 | 48 | 【病歴部門】統計処理 | 疾病統計が出力できること。(疾病大分類・中分類・小分類・300分類別、上位疾病など) |
| 2 | 7 | 49 | 【病歴部門】統計処理 | 手術統計が出力できること。(ICD9CM大分類・ICD9CM中分類・ICD9CM3桁分類・点数表コード別、上位手術など) |
| 2 | 7 | 50 | 【病歴部門】統計処理 | 入退院歴統計、病棟歴統計、科歴統計、分娩統計など、および、死亡統計に対応していること。 |
| 2 | 7 | 51 | 【病歴部門】統計処理 | 退院統計では、1入院単位および科歴単位を指定できること。 |
| 2 | 7 | 52 | 【病歴部門】統計処理 | 在院期間別の統計、および年齢階層別の統計については、階層の区切り方は自由に設定できること。 |
| 2 | 7 | 53 | 【病歴部門】統計処理 | その他統計では、診療録受領率、サマリ作成率、貸出件数、医療行為比較報告、残存患者数、業務量統計などに対応していること。 |
| 2 | 7 | 54 | 【病歴部門】統計処理 | サマリ作成率の統計は、サマリ受領の情報をもとに出力できること(科・医師・病棟別)。また、退院後1週間以内、2週間以内、1ヶ月以内等の期間を自由に設定できること。 |
| 2 | 7 | 55 | 【病歴部門】統計処理 | 統計結果は、画面上に表示できること。結果画面上で、男女別、構成比、総数などの表示、非表示を変更できること。 |
| 2 | 7 | 56 | 【病歴部門】統計処理 | 統計結果画面の明細件数をクリックすることにより、検索結果一覧画面に遷移でき、対象となるデータを特定できること。 |
| 2 | 7 | 57 | 【病歴部門】統計処理 | 市販の表計算ソフト上に、統計表を表示できること。 |
| 2 | 7 | 58 | 【病歴部門】統計処理 | 統計帳票のタイトルは、自由に設定できること。 |
| 2 | 7 | 59 | 【病歴部門】統計処理 | 入退院情報、科歴情報、病棟情報にある統計対象外フラグを有効とした場合は、該当データを統計対象データから除くことができること。 |
| 2 | 7 | 60 | 【病歴部門】統計処理 | 以下のマスタについては、複数の値を一つの値にまとめて(グループ化して)統計が作成できること。グループ化は個々のマスタについて5種類以上、登録できること。 住所、診療科、病棟、紹介先(元)医療機関、入院前(退院後)場所、入院経路、退院経路、退院転帰 |
| 2 | 7 | 61 | 【病歴部門】統計処理 | 検索処理で絞り込んだ結果を母集団とした統計処理が行えること。 |
| 2 | 7 | 62 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 個々の患者の入院歴または科歴に紐付いている物(診療録、サマリなど)の受領、貸出し、返却の管理ができること。 |
| 2 | 7 | 63 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 一括貸出し、一括返却ができること。 |
| 2 | 7 | 64 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 貸出票、貸出しリストが出力できること。 |
| 2 | 7 | 65 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 貸出目的別に貸出日数をマスタ登録し、貸出時に返却予定日を自動設定できること。 |
| 2 | 7 | 66 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 検索処理と連動し、検索した結果の一覧から、一括貸出し、一括返却処理を行えること。 |
| 2 | 7 | 67 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 貸出し情報は、履歴管理できること。また、返却日の期間を指定して、過去の貸出し情報を一括削除できること。 |
| 2 | 7 | 68 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 以下の項目を登録できること。 診療録受領日、診療録管理状況、診療録保管場所、診療録整理状況、サマリ受領日、サマリ管理状況、サマリ作成者、サマリ承認日、貸出し目的、貸出し場所、貸出日、返却予定日、借入者部門、借入者、帯出者部門、帯出者名、貸出取扱者、返却日、返却取扱者、コメント |
| 2 | 7 | 69 | 【病歴部門】入院診療録貸出管理 | 返納督促用(回収督促用)リスト、返却督促用のリストを出力できること。 |
| 2 | 7 | 70 | 【病歴部門】他システムとの連携 | 医事システムなどから、患者属性、入退院情報(入退院日・診療科・担当医師など)を取り込む仕組みを保有していること。 |
| 2 | 7 | 71 | 【病歴部門】他システムとの連携 | 電子カルテ上の退院サマリ、病名、手術などを取り込む仕組みを保有していること。 |
| 2 | 7 | 72 | 【病歴部門】他システムとの連携 | 連携履歴を参照できること。 |
| 2 | 7 | 73 | 【病歴部門】他システムとの連携 | 連携ログの取得、参照ができること。 |
| 2 | 7 | 74 | 【病歴部門】その他 | 使用者ごとにアクセス権を設定できること。 |
| 2 | 7 | 75 | 【病歴部門】その他 | 入力漏れやデータ不整合のチェック機能を有すること。 |
| 2 | 7 | 76 | 【病歴部門】その他 | 病名・手術マスタは、ユーザー側で追加・変更できること。 |
| 2 | 7 | 77 | 【病歴部門】その他 | 住所マスタの最新情報を取り込む仕組みを提供できること。 |
| 2 | 7 | 78 | 【病歴部門】その他 | 病名マスタ・手術マスタの最新情報を取り込む仕組みを提供できること。 |
| 2 | 7 | 79 | 【がん登録機能】基本要件 | 本システムは、院内がん登録及び全国がん登録を行えること。 |
| 2 | 7 | 80 | 【がん登録機能】基本要件 | 「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年版」および「がん診療連携拠点病院 院内がん登録 登録項目とその定義 2006年度版 修正版 II」に準拠していること。 |
| 2 | 7 | 81 | 【がん登録機能】基本要件 | 全国がん登録における項目の登録及び届出に対応可能であること。 |
| 2 | 7 | 82 | 【がん登録機能】基本要件 | 診療情報管理システムからのデータの連携が可能であること。 |
| 2 | 7 | 83 | 【がん登録機能】セキュリティ | ログインID・パスワードを入力し、ログイン認証を行えること。 |
| 2 | 7 | 84 | 【がん登録機能】セキュリティ | 利用者の権限管理により、利用可否、機能制限を設けることができること。 |
| 2 | 7 | 85 | 【がん登録機能】ケースファインディング | がん登録すべき患者かどうかを判定するための情報を取り込む仕組みを有していること。 |
| 2 | 7 | 86 | 【がん登録機能】ケースファインディング | 取り込んだ情報を参照し、判定結果を登録できること。 |
| 2 | 7 | 87 | 【がん登録機能】ケースファインディング | 判定処理画面より、腫瘍追加ができること。 |
| 2 | 7 | 88 | 【がん登録機能】ケースファインディング | 腫瘍追加するとき、医師を登録できること。 |
| 2 | 7 | 89 | 【がん登録機能】データ移行 | 既存のがん登録システムから抽出されたがん診療連携拠点病院全国集計形式(標準登録様式)のデータを、新システムに移行できること。 |
| 2 | 7 | 90 | 【がん登録機能】腫瘍登録 | 患者基本情報、腫瘍情報、診断情報、治療情報、診療科情報等、予後情報を管理できること。 |

| | |
|---------|-------------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 病歴部門システム・がん登録システム |
| パッケージ名 | 病歴大将 |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|--|---|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 7 | 91 | 【がん登録機能】腫瘍登録 | <p>1がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式「2016年版」に準拠した以下の項目を管理できること。</p> <p>尚、2006年度版修正版にも対応できること。</p> <p>基本情報：カナ氏名、氏名、性別、生年月日など</p> <p>腫瘍情報：診断時都道府県コード、診断時住所、診断時郵便番号、原発部位（局在コード）、原発部位（テキスト）、</p> <p>側性、病理診断（形態コード）、病理診断（テキスト）、診断根拠、当該腫瘍初診日、他施設診断日、</p> <p>自施設診断日、診断日、診断施設、治療施設、症例区分、来院経路、発見経緯、病名の告知の有無、</p> <p>ステージ、TNM分類など</p> <p>初回治療情報：外科的治療の有無、外科的治療の施行日（自施設）、鏡視下治療の有無、鏡視下治療の施行日（自施設）、</p> <p>内視鏡的治療の有無、内視鏡的治療の施行日（自施設）、</p> <p>外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲、放射線療法の有無、放射線療法の施行日（自施設）、</p> <p>化学療法の有無、化学療法の施行日（自施設）、内分泌療法の有無、内分泌療法の施行日（自施設）、</p> <p>その他の治療の有無、経過観察の選択の有無（自施設）、症状緩和的治療の有無（自施設）など</p> <p>生存状況情報：生存最終確認日、死亡日、生存状況、生存確認調査方法、死因情報（全国がん登録）など</p> |
| 2 | 7 | 92 | 【がん登録機能】腫瘍登録 | 病院独自に自由に使える項目を48項目以上保有していること。 |
| 2 | 7 | 93 | 【がん登録機能】腫瘍登録 | 病理診断情報（組織形態）マスタはICD-O第3版(3.2版)に準拠していること。 |
| 2 | 7 | 94 | 【がん登録機能】腫瘍登録 | 病理診断情報（組織形態）の入力時には、マスタから、漢字検索、コード検索、分類検索ができること。 |
| 2 | 7 | 95 | 【がん登録機能】腫瘍登録 | 5大がんについて、TMNとステージの変換マスタを有していること。UICC8版に準拠していること。 |
| 2 | 7 | 96 | 【がん登録機能】腫瘍登録 | 入院外来の区分にかかわらず、がん登録ができること。 |
| 2 | 7 | 97 | 【がん登録機能】検索処理 | 基本的には、登録したすべての項目に対して検索条件を設定できること。 |
| 2 | 7 | 98 | 【がん登録機能】検索処理 | 全検索、再検索（AND）、再検索（OR）、NOT検索に対応できること。 |
| 2 | 7 | 96 | 【がん登録機能】検索処理 | 検索した結果は、一覧形式で表示でき、キーを指定して並べ替えが行え、出力できること。 |
| 2 | 7 | 97 | 【がん登録機能】検索処理 | 出力帳票のタイトルは自由に設定できること。 |
| 2 | 7 | 98 | 【がん登録機能】検索処理 | 検索した結果は、市販のO Aソフトで加工できる形式でファイルに出力できること。 |
| 2 | 7 | 99 | 【がん登録機能】統計処理 | 統計対象は、検索処理で自由に絞り込みができること。 |
| 2 | 7 | 100 | 【がん登録機能】統計処理 | 統計対象の絞り込みでは、登録したすべての項目に対して検索条件を設定できること。 |
| 2 | 7 | 101 | 【がん登録機能】統計処理 | 統計対象の絞り込みでは、検索結果一覧から個別に除外するデータを選択できること。 |
| 2 | 7 | 102 | 【がん登録機能】統計処理 | 実測生存率統計と相対生存率統計が出力できること。 |
| 2 | 7 | 103 | 【がん登録機能】統計処理 | 生存率統計は、直接法とKaplan-Meier法に対応していること。 |
| 2 | 7 | 104 | 【がん登録機能】統計処理 | 腫瘍数統計を出力できること。 |
| 2 | 7 | 105 | 【がん登録機能】統計処理 | 腫瘍数統計の帳票のタイトルは、自由に設定できること。 |
| 2 | 7 | 106 | 【がん登録機能】統計処理 | 市販の表計算ソフト上に、統計表を表示できること。 |
| 2 | 7 | 107 | 【がん登録機能】統計処理 | 年齢階層別の統計については、階層の区切り方は自由に設定できること。 |
| 2 | 7 | 108 | 【がん登録機能】統計処理 | 男女別が性別なしを切り替えて、統計表示できること。 |
| 2 | 7 | 109 | 【がん登録機能】統計処理 | 腫瘍数統計では、縦軸と横軸の入れ替えが可能であること。 |
| 2 | 7 | 110 | 【がん登録機能】 他システムとの連携 | 診療情報管理システムに登録した、がん病名をはじめとする以下の項目を連携できること。 患者番号、氏名、生年月日、ICDコード、病名、形態コード、入院日、退院日、医師、診療科、死亡日 |
| 2 | 7 | 111 | 【がん登録機能】 他システムとの連携 | 医事システム等から、最終来院日を取り込む仕組みを有していること。 |
| 2 | 7 | 112 | 【がん登録機能】 院内がん登録 がん診療連携拠点病院 全国集計データ出力 | がん診療連携拠点病院としての腫瘍データ収集時のデータ出力に対応できること。 |
| 2 | 7 | 113 | 【がん登録機能】 全国がん登録向け届出対応 | 全国がん登録届出のためのデータ出力が行えること。 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 看護勤務管理システム |
| パッケージ名 | タイムリフォーマー |

| 項番 | | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|---|----|---------------------|---|
| 部 | 章 | 節 | 項 | | |
| 2 | 8 | 1 | | 機能 | 基本機能 |
| 2 | 8 | 1 | 1 | 【メインメニュー】利用者認証 | 利用者認証画面より、職員毎に利用者 I D、パスワードを入力しログインできること |
| 2 | 8 | 1 | 2 | 【メインメニュー】利用者認証 | パスワードは、利用者が変更できること |
| 2 | 8 | 1 | 3 | 【メインメニュー】利用者認証 | 初回ログイン時にパスワード変更を必須とすることが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 4 | 【メインメニュー】利用者認証 | パスワードを変更してから指定された期間経過した時にパスワードの変更を促すことが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 5 | 【メインメニュー】利用者認証 | パスワードの桁数を設定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 6 | 【メインメニュー】利用者認証 | 電子カルテシステムからのシングルサインオンに対応可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 7 | 【メインメニュー】利用者認証 | 但し、以下のケースはログイン出来ないものとする ・退職日以降 ・採用日以前 ・ログイン試行回数が規定値を超えた場合 |
| 2 | 8 | 1 | 8 | 【メインメニュー】画面表示 | オプション機能利用権限により、メニュー画面表示内容が変更されること |
| 2 | 8 | 1 | 9 | 【メインメニュー】画面表示 | 利用者権限により、表示メニューが変更されること |
| 2 | 8 | 1 | 10 | 【メインメニュー】画面表示 | 施設名、ログインユーザ名を表示すること |
| 2 | 8 | 1 | 11 | 【メインメニュー】画面表示 | ログイン、ログアウト、終了機能を有すること |
| 2 | 8 | 1 | 12 | 【メインメニュー】画面表示 | 表示される機能ボタンは、配色および配置位置を設定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 13 | 【メインメニュー】画面表示 | 行事予定の表示が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 14 | 【メインメニュー】画面表示 | 操作マニュアルが参照可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 15 | 【メインメニュー】画面表示 | 自己学習用動画コンテンツが参照可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 16 | 【マイメニュー】通知機能 | ログインした利用者に以下の情報を表示させるマイメニュー機能を有すること |
| 2 | 8 | 1 | 17 | 【マイメニュー】通知機能 | ・勤務予定情報を1ヶ月または2週間で表示及び1か月の勤務予定が印刷できること |
| 2 | 8 | 1 | 18 | 【マイメニュー】通知機能 | ・承認依頼情報の通知メッセージが表示可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 19 | 【マイメニュー】通知機能 | ・行事予定が表示されること |
| 2 | 8 | 1 | 20 | 【勤務表表示】表示色設定 | 曜日により、画面表示色を設定可能なこと。 月～日、祝の背景色は変更できること 勤務表表示時に、以下表示期間を切替できること |
| 2 | 8 | 1 | 21 | 【勤務表表示】表示期間 | ・1か月 ・28日単位 |
| 2 | 8 | 1 | 22 | 【勤務表表示】表示期間 | 前後期間の表示範囲を最大56日まで設定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 23 | 【勤務表表示】表示職員 | ボタンで前後期間に移動が容易であること |
| 2 | 8 | 1 | 24 | 【勤務表表示】表示職員 | 職員の部署異動歴を参照し、該当部署の所属期間を表示すること |
| 2 | 8 | 1 | 25 | 【勤務表表示】表示職員 | 職員の雇用歴を参照し、雇用期間のみ表示すること 兼務職員を表示すること 但し、表示期間は兼務期間のみとする 氏名表示欄に、以下表示切替が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 26 | 【勤務表表示】表示職員 | ・氏名のみ ・職位 + 氏名 ・職種 + 氏名 ・採用区分 + 氏名 |
| 2 | 8 | 1 | 27 | 【勤務表表示】表示単位 | 標準画面 縦：職員 30名 ※但し予定モード時 横：日付 36日（前期間5日 + 当月31日） 単位の1マス1勤務の勤務表を表示すること |
| 2 | 8 | 1 | 28 | 【勤務表表示】表示単位 | 拡大画面 縦：職員 15名 ※但し予定モード時 横：日付 18日 単位の1マス1勤務の勤務表を表示すること |
| 2 | 8 | 1 | 29 | 【勤務表表示】表示単位 | 表示サイズは利用者が任意に倍率を変更して拡大、縮小可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 30 | 【勤務表表示】表示単位 | 個人毎にカレンダー形式での画面表示が可能なこと また先頭の曜日を月曜または日曜から選択可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 31 | 【勤務表表示】表示単位 | チームで絞り込み表示が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 32 | 【勤務表表示】表示単位 | メンバーグループ設定で絞り込み表示が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 33 | 【勤務表表示】表示単位 | チームメンバー間の境目に区切り線を表示することが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 34 | 【勤務表表示】表示単位 | チームカラーの設定が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 35 | 【勤務表表示】表示単位 | 登録、編集した勤務情報の変更履歴が参照可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 36 | 【勤務表表示】表示単位 | 他部署からの応援者の表示、非表示が切替可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 37 | 【勤務表 縦集計機能】日別回数 | 画面は、100種以上登録できること |
| 2 | 8 | 1 | 38 | 【勤務表 縦集計機能】日別回数 | 集計項目は、勤務グループマスターより自由に選択できること |
| 2 | 8 | 1 | 39 | 【勤務表 縦集計機能】日別回数 | 表示タイトルが設定できること |
| 2 | 8 | 1 | 40 | 【勤務表 縦集計機能】チーム別回数 | チームごとの回数集計ができること |
| 2 | 8 | 1 | 41 | 【勤務表 縦集計機能】チーム別回数 | 職種ごとの回数集計ができること、対象となる職種は複数指定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 42 | 【勤務表 縦集計機能】チーム別回数 | 職位ごとの回数集計ができること、対象となる職位は複数指定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 43 | 【勤務表 縦集計機能】チーム別回数 | 採用形態ごとの回数集計ができること、対象となる採用形態は複数指定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 44 | 【勤務表 縦集計機能】チーム別回数 | 登録した内容に従い、規定値を超える場合には色付け表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 45 | 【勤務表 縦集計機能】行事予定 | 病院行事、部署行事を表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 46 | 【勤務表 縦集計機能】行事予定 | 行事予定を見ながら、勤務表入力可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 47 | 【勤務表 縦集計機能】行事予定 | 勤務表入力に従い、リアルタイムで集計できること |
| 2 | 8 | 1 | 48 | 【勤務表 縦集計機能】行事予定 | 不要な場合には、非表示とできること |
| 2 | 8 | 1 | 49 | 【勤務表 縦集計機能】行事予定 | 他部署からの応援者について応援時間に応じてどちらの部署へ集計するか設定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 50 | 【勤務表 横集計機能】集計表示 | 個人ごとに以下の集計を、リアルタイムで表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 51 | 【勤務表 横集計機能】集計表示 | 画面は、100種以上登録できること 集計項目は、以下より自由に選択できること 1. 勤務回数 2. 勤務時間 3. 夜間時間 4. 特定期間の特定勤務の累計（例：7月～9月の夏休累計） 5. 特定勤務の残数（例：週休残数） 6. 勤務時間（4週前期/当期/次期） 7. 勤務日数（4週前期/当期/次期） 8. 所定時間 9. 所定時間（4週前期/当期/次期） |
| 2 | 8 | 1 | 53 | 【勤務表 横集計機能】集計項目 | 夜間時間の集計については、会議、委員会、応援等の業務時間の控除が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 54 | 【勤務表 横集計機能】集計項目 | 表示タイトルが設定できること |
| 2 | 8 | 1 | 55 | 【勤務表 横集計機能】1週2休チェック | 1週間ごとの休み回数を表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 56 | 【勤務表 横集計機能】1週2休チェック | 登録した内容に従い、規定値を超える場合には色付け表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 57 | 【勤務表 横集計機能】個人別チェック | 個人別に事前に条件登録した内容に従い、集計表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 58 | 【勤務表 横集計機能】個人別チェック | 登録した内容に従い、規定値を超える場合には色付け表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 59 | 【勤務表 横集計機能】年休 | 個人別に年休残日数、年休残時間を表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 60 | 【勤務表 横集計機能】週休調整 | 規定週休回数と、当月に取得した日数の差異が表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 61 | 【勤務表 横集計機能】週休調整 | 前月までの規定週休回数との差異が表示できること |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 看護勤務管理システム |
| パッケージ名 | タイムリフォーマー |

| 項番 | | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|---|-----|----------------------|---|
| 部 | 章 | 節 | 項 | | |
| 2 | 8 | 1 | 62 | 【勤務表 横集計機能】週休調整 | 今月の週休調整数を入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 63 | 【勤務表 横集計機能】週休調整 | 修正後の週休残数を表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 64 | 【勤務表 横集計機能】週休調整 | 個人単位で週休の繰越対象、非対象の設定が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 65 | 【勤務表 横集計機能】週休調整 | 各月の所定週休数はマスクで設定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 66 | 【勤務表 横集計機能】業務集計 | 各業務を入力した回数を集計できること |
| 2 | 8 | 1 | 67 | 【勤務表編集機能】勤務入力 | マウス操作で、勤務を入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 68 | 【勤務表編集機能】勤務入力 | キーボード操作で、勤務を入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 69 | 【勤務表編集機能】勤務入力 | 部署毎に勤務記号の並び順、配置設定が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 70 | 【勤務表編集機能】勤務入力 | 配置設定の中でグループ分けを行うことが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 71 | 【勤務表編集機能】勤務入力 | 最後に入力した勤務記号箇所が、背景色変更されること |
| 2 | 8 | 1 | 72 | 【勤務表編集機能】勤務入力 | 当月編集期間外は、入力できないこと 下記入力が可能であること |
| 2 | 8 | 1 | 73 | 【勤務表編集機能】予定/実績編集機能 | ・予定編集モード：勤務予定の入力 ・実績編集モード：上段に勤務予定、下段に勤務実績の入力 |
| 2 | 8 | 1 | 74 | 【勤務表編集機能】予定/実績編集機能 | 実績管理では、勤務予定と変更があった場合の勤務実績を別々に管理できること |
| 2 | 8 | 1 | 75 | 【勤務表編集機能】予定/実績編集機能 | 勤務計画で作成された予定に対し、実際の勤務が異なった場合のみ実績を入力し、実績が入力されていない場合は、予定と同じ勤務を行なったとみなすことができること |
| 2 | 8 | 1 | 76 | 【勤務表編集機能】入力モード変更機能 | ・入力モードは、通常/希望/命令/否定 の4種類 |
| 2 | 8 | 1 | 77 | 【勤務表編集機能】入力モード変更機能 | ・希望、命令、否定入力は、勤務表2段目に表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 78 | 【勤務表編集機能】入力モード変更機能 | ・希望理由、命令理由、否定理由を入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 79 | 【勤務表編集機能】勤務表コメント入力機能 | ・勤務表2段表示とし、コメント入力機能を有する ・コメントは、10文字まで入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 80 | 【勤務表編集機能】個人別入力機能 | ・カレンダー形式（6曜）で、個人別に勤務表を入力する機能を有する ・2段表示で下段にコメント入力表示機能を有する |
| 2 | 8 | 1 | 81 | 【勤務表編集機能】チーム/並び順登録機能 | ・並び順は、画面用と印刷用の2種類の並び順を有する ・並び順は、部署毎/月毎により変更した内容を保持すること |
| 2 | 8 | 1 | 82 | 【勤務表編集機能】勤務パターン入力機能 | ・連続した31日までのパターンを、100程度登録できること ・選択したパターンを入力できる機能を有すること |
| 2 | 8 | 1 | 83 | 【勤務表編集機能】業務種別入力機能 | ・業務種別（リーダー、オンコールなど）は、勤務記号とは別にマスクで登録できること |
| 2 | 8 | 1 | 84 | 【勤務表編集機能】業務種別入力機能 | ・業務登録を行った箇所は背景色を変更できること |
| 2 | 8 | 1 | 85 | 【勤務表編集機能】UNDO/REDO機能 | ・勤務表入力内容について、UNDOが出来ること |
| 2 | 8 | 1 | 86 | 【勤務表編集機能】UNDO/REDO機能 | ・勤務表入力内容について、REDOが出来ること |
| 2 | 8 | 1 | 87 | 【勤務表編集機能】コピー/切取、貼付機能 | ・勤務表に入力された内容をコピー・貼付可能な機能を有していること |
| 2 | 8 | 1 | 88 | 【勤務表編集機能】クリア機能 | 1人1日単位でのクリアが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 89 | 【勤務表編集機能】クリア機能 | マウス操作で範囲指定を行い、指定した範囲を一括でクリアすることが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 90 | 【勤務表編集機能】詳細業務内容登録 | 会議、委員会、他部署への応援等の内容が時間単位で入力可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 91 | 【勤務表編集機能】詳細業務内容登録 | 複数人数、複数日を指定し同一画面で同時入力可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 92 | 【勤務表編集機能】詳細業務内容登録 | 複数人数、複数日を指定し同一画面でコピー、貼付けが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 93 | 【勤務表編集機能】自動設定 | 個人毎に各曜日、平日、土日祝、土日、日祝、毎日の中から選択し勤務内容の設定が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 94 | 【勤務表編集機能】自動設定 | 自動設定の内容に沿って勤務内容が自動で表示されること |
| 2 | 8 | 1 | 95 | 【希望入力機能】希望入力 | スタッフ自ら、勤務表へ勤務希望を入力する機能を有する事 |
| 2 | 8 | 1 | 96 | 【希望入力機能】希望入力 | 勤務表全体入力出来ること |
| 2 | 8 | 1 | 97 | 【希望入力機能】希望入力 | 入力中に、他者の入力状況が参照できること |
| 2 | 8 | 1 | 98 | 【希望入力機能】希望入力 | 希望理由および入力モード（希望/否定）が選択できること |
| 2 | 8 | 1 | 99 | 【希望入力機能】希望入力 | 締切日以降は、入力不可となること |
| 2 | 8 | 1 | 100 | 【希望入力機能】希望入力 | 師長が設定した、最大入力回数を超えて入力できないこと |
| 2 | 8 | 1 | 101 | 【希望入力機能】希望入力 | 希望は1日の中で最大10種類の希望（第1希望～第10希望）を登録可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 102 | 【希望入力機能】希望入力 | 登録された10種類の希望の中から選択し、確定することが可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 103 | 【希望入力機能】希望入力制御機能 | 師長がコメントを入力し、スタッフに掲示できること |
| 2 | 8 | 1 | 104 | 【希望入力機能】希望入力制御機能 | 部署毎、月毎に勤務表画面上で希望入力最大回数を設定できること |
| 2 | 8 | 1 | 105 | 【希望入力機能】希望入力制御機能 | スタッフの希望入力可否を勤務表画面上で設定できること |
| 2 | 8 | 1 | 106 | 【希望入力機能】希望入力制御機能 | 部署毎、月毎に希望入力締切日を設定できること |
| 2 | 8 | 1 | 107 | 【勤務表チェック機能】勤務条件 | 勤務条件として、以下が登録できること ・勤務人数設定 ・勤務回数設定 ・禁止パターン設定 ・勤務間隔設定 ・連続勤務回数設定 |
| 2 | 8 | 1 | 108 | 【勤務表チェック機能】勤務条件 | 勤務条件は、部署単位で登録可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 109 | 【勤務表チェック機能】勤務条件 | 上記登録した勤務条件に従い、勤務表のエラーチェック機能を有すること |
| 2 | 8 | 1 | 110 | 【勤務表チェック機能】勤務条件 | 禁止パターン設定と勤務間隔設定については、勤務表予定入力時に即時チェックがかかること |
| 2 | 8 | 1 | 111 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 日別に行事予定入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 112 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 定例会行事入力機能 ※定例会は、開始～終了日を持つこと |
| 2 | 8 | 1 | 113 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 部署別行事入力機能 |
| 2 | 8 | 1 | 114 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 勤務表へ行事予定を表示すること |
| 2 | 8 | 1 | 115 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 同一日に複数の予定が登録された場合でも全て表示可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 116 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 部署の定例行事を入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 117 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 各行事に参加、出席メンバーの登録が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 118 | 【行事予定入力機能】責任者行事入力機能 | 各行事の参加、出席メンバーに勤務記号の設定が可能なこと また、登録する勤務のモード（通常、命令など）の指定が可能なこと 代休管理機能では、以下情報を表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 119 | 【代休管理】代休機能 | ・職員番号 ・氏名 ・種別 ・条件 ・発生代休 日付、記号、勤務、取得状況、取得期限 ・取得代休 記号、勤務、日付 ・確認 |
| 2 | 8 | 1 | 120 | 【代休管理】代休機能 | 種別では、以下を設定できること ・コード ・名称 ・優先順位 ・取得期限（前後） ・対象者（部署、職位、職種、採用区分） ・条件 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 看護勤務管理システム |
| パッケージ名 | タイムリフォーマー |

| 項番 | | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|---|-----|------------------|---|
| 部 | 章 | 節 | 項 | | |
| 2 | 8 | 1 | 121 | 【代休管理】代休機能 | 条件では、以下設定できること ・条件名 ・取得種別（通常、合算） ・自動紐付け ON/OFF ・代休発生条件 ・代休取得条件 |
| 2 | 8 | 1 | 122 | 【代休管理】代休機能 | 代休発生条件として、以下設定できること ・名称 ・対象勤務グループ ・対象曜日 ・代休発生勤務時間 |
| 2 | 8 | 1 | 123 | 【代休管理】代休機能 | 代休取得条件として、以下設定できること ・名称 ・対象勤務グループ ・対象曜日 |
| 2 | 8 | 1 | 124 | 【代休管理】代休機能 | 発生した代休に対して、 ・代休取得する ・代休取得しない が手動で選択入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 125 | 【代休管理】代休機能 | 確認処理ができること |
| 2 | 8 | 1 | 126 | 【代休管理】代休機能 | 確認処理された代休取得日は、勤務実績が変更されていても代休取得日が変更されないこと 代休関連チェック機能により、保存した勤務実績が変更されていないことを確認できること |
| 2 | 8 | 1 | 127 | 【入院基本加算】入院基本 | 入院基本加算届出添付書類様式9が、勤務実績から算出され出力できること |
| 2 | 8 | 1 | 128 | 【入院基本加算】入院基本 | 会議時間など、入院基本料から控除する時間を勤務表へ入力できること |
| 2 | 8 | 1 | 129 | 【入院基本加算】入院基本 | 会議時間などは複数指定（人、日）を行い一括登録可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 130 | 【入院基本加算】入院基本 | 会議時間などは一括登録の際に会議出席メンバーによる検索が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 131 | 【入院基本加算】入院基本 | 会議時間などを、入院基本加算届出添付書類様式9から時間控除できること |
| 2 | 8 | 1 | 132 | 【入院基本加算】入院基本 | 勤務記号マスタに登録されている申し送り時間内に会議時間を指定されていた場合、申し送り時間内の会議時間は控除されないこと |
| 2 | 8 | 1 | 133 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 勤務予定表、勤務実績表、時間外申請、個人情報登録申請など各種伝票種別を管理できること |
| 2 | 8 | 1 | 134 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 伝票を検索するために、伝票種別、申請状態、申請開始日～終了日、部署で検索できること |
| 2 | 8 | 1 | 135 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 申請状態は、伝票種別により可変なこと |
| 2 | 8 | 1 | 136 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 検索結果は一覧表示でき、並び替え、フィルタリング、Excel出力機能を有すること |
| 2 | 8 | 1 | 137 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 詳細内容は、一覧画面より容易に確認できること表示画面は伝票により切り替え可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 138 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 回送情報表示機能 |
| 2 | 8 | 1 | 139 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 伝票区分、伝票番号、伝票内容および操作履歴が一画面に表示できること |
| 2 | 8 | 1 | 140 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 操作履歴は、状態、操作、操作者、操作日が表示されること |
| 2 | 8 | 1 | 141 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 未来の操作予定は変更可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 142 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | その他伝票管理機能 |
| 2 | 8 | 1 | 143 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 自身が起票した伝票を一覧表示可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 144 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 自分あての承認伝票を一覧表示でき、承認できること |
| 2 | 8 | 1 | 145 | 【伝票管理機能】伝票管理一覧機能 | 代理承認可能なリストを一覧表示でき、代理承認できること 看護職員の個人基本情報として以下の情報を登録・変更・修正・参照できること |
| 2 | 8 | 1 | 146 | 【職員情報管理】個人基本情報 | ・職員番号 ・姓名/ミドルネーム ・同姓同名時の識別マーク ・カナ氏名 ・生年月日 ・性別 |
| 2 | 8 | 1 | 147 | 【職員情報管理】履歴情報 | 看護職員の履歴情報として以下の情報を登録・変更・修正・参照できること ・職員番号 ・利用者番号 ・氏名 ・雇用歴（採用日、採用理由、退職日などを保有） ・部署異動歴 ・職位異動歴 ・担当科異動歴 ・採用区分異動歴 ・兼務部署歴 ・年休歴 年休歴では、年休繰越日、年休種、繰越回数、前年度繰越数、今年度支給数、繰越日時点残数、1繰越年月、部署、職位、職種、採用日を指定して職員を検索し、該当職員の年休繰越し処理が実施できること |
| 2 | 8 | 1 | 148 | 【年休繰越】年休繰越 | 繰越一覧画面では、対象者の前回繰越情報を表示し、マスタ設定に従って今年度の繰越数・支給数を自動で登録できること。なお、前回繰越情報には、繰越日、終了日、年休種、年休残数、取得数を表示すること |
| 2 | 8 | 1 | 149 | 【年休繰越】年休繰越 | 繰越一覧画面は、CSV形式でデータ出力できること |
| 2 | 8 | 1 | 150 | 【年休繰越】年休繰越 | 採用区分ごとに年休種マスタを作成し、年休支給日・繰越回数・支給日数・繰越上限数を設定できること |
| 2 | 8 | 1 | 151 | 【年休繰越】年休繰越 | 年休繰越は、年休種毎に繰越設定が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 152 | 【年休繰越】年休繰越 | -繰越は月ごと/年ごとが選択できること -繰越回数によって、年休支給数、繰越上限数を指定できること |
| 2 | 8 | 1 | 153 | 【帳票】勤務表帳票出力 | 勤務表マスタでの表示が出力できること ・勤務計画表（1段） ・勤務計画表（2段） ・勤務実績表（1段） ・指定休勤務表 ・コメント勤務表 ・週間勤務計画表 ・業務分担表 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 看護勤務管理システム |
| パッケージ名 | タイムリフォーマー |

| 項番 | | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|---|-----|---------------------|--|
| 部 | 章 | 節 | 項 | | |
| 2 | 8 | 1 | 154 | 【帳票】その他帳票出力 | 下記の帳票が出力されること ・勤務回数表 ・連休回数表 ・年休消化回数表 ・部署別年休消化回数表 ・勤務データCSV（月別） ・休取得状況一覧CSV |
| 2 | 8 | 1 | 155 | 【帳票】その他帳票出力 | 入院基本料届出申請に必要な下記帳票が出力できること ・入院基本料 様式9（表紙） ・入院基本料 様式9（計画表） ・入院基本料 様式8（要員名簿） ・入院基本料 様式9時間控除明細表 ・入院基本料 様式9時間控除集計表 ・入院基本料 様式9-フ |
| 2 | 8 | 1 | 156 | 【帳票】帳票一括機能出力 | 帳票一括機能により、部署を複数選択することで以下帳票が一括で出力できること出力条件は、日付、予定／実績が選択できること |
| 2 | 8 | 1 | 157 | 【帳票】帳票一括機能出力 | ・勤務表（1段） |
| 2 | 8 | 1 | 158 | 【帳票】帳票一括機能出力 | ・勤務表（2段） |
| 2 | 8 | 1 | 159 | 【帳票】帳票一括機能出力 | ・コメント勤務表 |
| 2 | 8 | 1 | 160 | 【帳票】勤務表出力詳細 | 勤務表印刷の際にログイン者の氏名を自動で印字可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 161 | 【帳票】勤務表出力詳細 | 勤務表印刷の際に部署毎に設定した責任者の氏名を自動で印字可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 162 | 【帳票】勤務表出力詳細 | 勤務表印刷の際に縦横集計の集計結果がゼロの場合に印字するか否かを設定可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 163 | 【帳票】勤務表出力詳細 | 勤務表印刷の際に総夜勤時間、平均夜勤時間の出力が可能なこと また、集計に含める職種、職位の指定が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 164 | 【帳票】勤務表出力詳細 | 勤務表印刷の際に入力モード（希望、命令、否定）の情報が出力可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 165 | 【帳票】勤務表出力詳細 | 勤務表印刷の際に時間休で登録した時間を対象日の記号周辺に出力可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 166 | 【帳票】勤務表出力詳細 | 勤務表印刷の際に業務選択（リーター、オンコールなど）で登録した情報が対象日の記号周辺に出力可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 167 | 【連携】日誌連携 | 富士通製電子カルテシステムの日誌へ勤務予定及び勤務実績の連携が可能なこと |
| 2 | 8 | 1 | 168 | 【連携】日誌連携 | 上記日誌連携を行うための振分設定が可能であること |
| 2 | 8 | 1 | 169 | 【マスタ登録機能】勤務記号マスタ | マスタ登録画面は、並び替え、フィルタリング機能を有すること |
| 2 | 8 | 1 | 170 | 【マスタ登録機能】勤務記号マスタ | 勤務記号は画像イメージが登録できること |
| 2 | 8 | 1 | 171 | 【マスタ登録機能】勤務記号マスタ | 勤務記号は4000種以上登録できること |
| 2 | 8 | 1 | 172 | 【マスタ登録機能】勤務記号マスタ | 勤務記号は、利用部署を登録できること |
| 2 | 8 | 1 | 173 | 【マスタ登録機能】勤務記号マスタ | 勤務記号の一覧をファイルで出力できること 勤務記号を管理するため、以下項目を登録できること |
| 2 | 8 | 1 | 174 | 【マスタ登録機能】勤務記号マスタ | ・コード ・記号名 ・ショートカットキー ・記号イメージ ・勤務時間（開始～終了） ・実働時間 ・休憩時間（開始～終了） ・夜勤時間（開始～終了） ・夜勤加算時間 ・超過勤務開始時間 ・所定労働時間（秒単位で登録可能であること） ・超過勤務割増 ・定時休日割増／当日時間／翌日時間 ・定時夜間割増／当日時間／翌日時間 ・勤務の日跨り |
| 2 | 8 | 1 | 175 | 【マスタ登録機能】勤務記号控除マスタ | 勤務記号の控除時間を管理するため、以下項目を登録できること ・控除時間 ・控除理由 |
| 2 | 8 | 2 | | 機能 | 超過勤務管理オプション |
| 2 | 8 | 2 | 1 | 【出退勤機能】出退勤 | ログインした職員の出勤時間、退勤時間を記録する機能を有すること |
| 2 | 8 | 2 | 2 | 【出退勤機能】出退勤 | 出退勤画面で過去3日分の出勤／退勤記録を参照できること |
| 2 | 8 | 2 | 3 | 【出退勤機能】出退勤 | 出勤／退勤画面に、現在時刻を表示できること |
| 2 | 8 | 2 | 4 | 【出退勤機能】出退勤 | 同一画面に、勤務記号と勤務時間を表示していること |
| 2 | 8 | 2 | 5 | 【出退勤機能】出退勤 | 出退勤画面から時間管理入力画面の起動が可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 6 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧 | 対象期間を翌月／前月へくボタンクリックなどで容易に異動できること |
| 2 | 8 | 2 | 7 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧 | 左表に、選択病棟の所属職員を表示すること。左表の職員を選択することで、右表の詳細内容を切り替え可能であること |
| 2 | 8 | 2 | 8 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧 | 明細行には、以下を表示すること 日別申請状態、日付、曜日、勤務記号、定時時間、出勤時間、退勤時間 |
| 2 | 8 | 2 | 9 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 切り替えにより、明細行へ以下情報を表示すること |
| 2 | 8 | 2 | 10 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 時間外： 命令時間、実施時間、休憩時間、100/100、125/100、135/100、150/100、160/100、超過勤務理由 |
| 2 | 8 | 2 | 11 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 業務内容： 開始、終了時間、業務内容 |
| 2 | 8 | 2 | 12 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 時間休： 開始、終了時間、時間休理由 |
| 2 | 8 | 2 | 13 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 手当て： 手当て内容 |
| 2 | 8 | 2 | 14 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 上記の時間外、業務内容、時間休、手当ては一日に複数入力された場合には、複数行にわたり表示できること |
| 2 | 8 | 2 | 15 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 合計行に、個人超過合計、時間外（100/100、125/100、135/100、150/100、160/100）合計、病棟超過合計を表示すること |
| 2 | 8 | 2 | 16 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 遅刻早退、時間外の規定値超過の場合には、背景色を変更し、警告表示できること |
| 2 | 8 | 2 | 17 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 職員の表示順は勤務表とは別に並び順を設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 18 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 職員の表示順は任意に設定した順番とは別に勤務の種類でのソートが可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 19 | 【時間管理一覧機能】個人別一覧切り替え | 一覧画面で複数職員の詳細データを同時に入力可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 20 | 【時間管理一覧機能】日別一覧 | 左表に、日付を表示し選択することで、右表の詳細内容を切り替え可能であること |
| 2 | 8 | 2 | 21 | 【時間管理一覧機能】日別一覧 | 明細行には、以下を表示すること 月次申請状態、日別申請状態、氏名、勤務記号、定時時間、出勤時間、退勤時間 |
| 2 | 8 | 2 | 22 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 切り替えにより、明細行へ以下情報を表示すること |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 看護勤務管理システム |
| パッケージ名 | タイムリフォーマー |

| 部 | 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|---|----|--------------------|--|
| | 章 | 節 | 項 | | |
| 2 | 8 | 2 | 23 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 時間外： 命令時間、実施時間、休憩時間、100/100、125/100、135/100、150/100、160/100、超過勤務理由 |
| 2 | 8 | 2 | 24 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 業務内容： 開始、終了時間、業務内容 |
| 2 | 8 | 2 | 25 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 時間休： 開始、終了時間、時間休理由 |
| 2 | 8 | 2 | 26 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 手当： 手当て内容 |
| 2 | 8 | 2 | 27 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 上記の時間外、業務内容、時間休、手当ては一日に複数回入力された場合には、複数行にわたり表示できること |
| 2 | 8 | 2 | 28 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 合計行に、本日超過勤合計、時間外（100/100、125/100、135/100、150/100、160/100）合計、病棟超過勤合計を表示すること |
| 2 | 8 | 2 | 29 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 遅刻早退、時間外の規定値超過の場合には、背景色を変更し、警告表示できること |
| 2 | 8 | 2 | 30 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 個人毎に1ヶ月の超過勤務時間の上限値が設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 31 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 上限値を超えた場合はアラートが表示されること |
| 2 | 8 | 2 | 32 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 個人毎に1回あたりの超過勤務時間の上限値が設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 33 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 上限値を超えた場合はメッセージが表示されること |
| 2 | 8 | 2 | 34 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 時間外の管理項目（命令、実績、休憩）を選択可能とし不要な項目は非表示可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 35 | 【時間管理一覧機能】日別一覧切り替え | 日当たり勤務後に時間外を行った場合の表示の方法を選択可能なこと（勤務入り日表示または実勤務日） |
| 2 | 8 | 2 | 36 | 【時間入力】表示内容 | 入力画面から画面の内容をExcel出力可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 37 | 【時間入力】定時時間 | 入力画面から超過勤務命令簿の出力が可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 38 | 【時間入力】定時時間 | 表示／入力は以下を有すること |
| 2 | 8 | 2 | 39 | 【時間入力】定時時間 | 定時時間、出退勤、時間休、業務内容、時間外、手当、合計 |
| 2 | 8 | 2 | 40 | 【時間入力】出退勤時間 | 表示は、定時開始時間、終了時間、休憩開始時間、休憩終了時間を有する |
| 2 | 8 | 2 | 41 | 【時間入力】出退勤時間 | スタッフは変更出来ないこと |
| 2 | 8 | 2 | 42 | 【時間入力】出退勤時間 | 出退勤機能と連動し、遅刻、早退があれば、自動で変更されること |
| 2 | 8 | 2 | 43 | 【時間入力】時間休 | 出退勤機能と連動し、内容が表示されること |
| 2 | 8 | 2 | 44 | 【時間入力】時間休 | スタッフは時間を変更出来ないこと但し、理由とコメントは変更可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 45 | 【時間入力】時間休 | 一日に複数回出退勤があった場合、勤務開始時間と終了時間を考慮し、出退勤打刻の中から1つ自動で選択できること |
| 2 | 8 | 2 | 46 | 【時間入力】時間休 | 以下を表示すること |
| 2 | 8 | 2 | 47 | 【時間入力】時間休 | ・時間休（開始時間～終了時間） |
| 2 | 8 | 2 | 48 | 【時間入力】時間休 | ・時間休理由 |
| 2 | 8 | 2 | 49 | 【時間入力】業務内容 | 時間休は、一日に10行まで登録できること |
| 2 | 8 | 2 | 50 | 【時間入力】業務内容 | 時間休種別は、マスタで登録できること |
| 2 | 8 | 2 | 51 | 【時間入力】業務内容 | 時間休は、分単位で入力できること |
| 2 | 8 | 2 | 52 | 【時間入力】業務内容 | 時間休は、診療報酬 様式 9 に時間が減算されて出力されること |
| 2 | 8 | 2 | 53 | 【時間入力】業務内容 | 時間休は最低入力単位の設定が可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 54 | 【時間入力】業務内容 | 最低単位での入力ではない場合にエラーメッセージが表示されること |
| 2 | 8 | 2 | 55 | 【時間入力】時間外 | 以下を表示すること |
| 2 | 8 | 2 | 56 | 【時間入力】時間外 | ・命令時間（開始時間～終了時間） |
| 2 | 8 | 2 | 57 | 【時間入力】時間外 | ・超過勤務（開始時間～終了時間） |
| 2 | 8 | 2 | 58 | 【時間入力】時間外 | ・残業休憩時間（開始時間～終了時間） |
| 2 | 8 | 2 | 59 | 【時間入力】時間外 | ・超過勤務理由 |
| 2 | 8 | 2 | 60 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・特殊勤務手当 |
| 2 | 8 | 2 | 61 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 1つ超過勤務に対し、以下の超過勤務理由が登録できること |
| 2 | 8 | 2 | 62 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・主理由 1種 |
| 2 | 8 | 2 | 63 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・副理由 9種 |
| 2 | 8 | 2 | 64 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・コメント 1種 |
| 2 | 8 | 2 | 65 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 超過勤務は、一日10行まで登録できること |
| 2 | 8 | 2 | 66 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 超過勤務理由は必須入力とするかどうか設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 67 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 必須の場合未入力時にエラーメッセージが表示されること |
| 2 | 8 | 2 | 68 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 超過勤務理由は最大3階層まで分類表示を行い入力可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 69 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 手当ては、手当て種別、分単位、回数単位、フリーコメントを入力できること |
| 2 | 8 | 2 | 70 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 分／回数はマスタで選択可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 71 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 手当てを一日10行まで登録できること |
| 2 | 8 | 2 | 72 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 入力可能な手当ては、マスタで、勤務、部署、職位、職種、採用種別、対象週、対象曜日を制御できること |
| 2 | 8 | 2 | 73 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 時間管理画面からも勤務実績の変更が可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 74 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 時間外入力の際に所定勤務時間内の時刻で登録された場合エラーチェックがかかること |
| 2 | 8 | 2 | 75 | 【時間入力】特殊勤務手当 | スタッフが入力可能な範囲（過去5日など）を設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 76 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 画面上管理する項目（時間休、業務内容、時間外、手当、補足情報）の選択が可能で不要な項目は非表示可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 77 | 【時間入力】特殊勤務手当 | 手当の入力制限、自動支給を行うため、以下条件を登録できること |
| 2 | 8 | 2 | 78 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・手当て種別 |
| 2 | 8 | 2 | 79 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・勤務グループ |
| 2 | 8 | 2 | 80 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・部署 |
| 2 | 8 | 2 | 81 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・職位 |
| 2 | 8 | 2 | 82 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・職種 |
| 2 | 8 | 2 | 83 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・採用種別 |
| 2 | 8 | 2 | 84 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・対象週 |
| 2 | 8 | 2 | 85 | 【時間入力】特殊勤務手当 | ・対象曜日 |
| 2 | 8 | 2 | 86 | 【申請・承認機能】申請・承認 | ログインにより識別された特定の職員のみ入力できること |
| 2 | 8 | 2 | 87 | 【申請・承認機能】申請・承認 | 日単位の申請、承認、却下、取り戻し 機能を有すること |
| 2 | 8 | 2 | 88 | 【申請・承認機能】申請・承認 | 月単位の申請、承認機能を有すること |
| 2 | 8 | 2 | 89 | 【申請・承認機能】申請・承認 | 承認は2段階行うことが可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 90 | 【申請・承認機能】申請・承認 | 申請／承認操作の内容は、伝票管理機能に連携すること |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 看護勤務管理システム |
| パッケージ名 | タイムリフォーマー |

| 項番 | | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|---|----|------------------|--|
| 部 | 章 | 節 | 項 | | |
| 2 | 8 | 2 | 81 | 【申請・承認機能】申請・承認 | 申請／承認の仕組みは画面上でのチェック式か伝票階層式かを選択可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 82 | 【申請・承認機能】申請・承認 | 承認時に承認者の氏名を表示するか指定のマークを表示するか設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 83 | 【申請・承認機能】申請・承認 | 部署単位で日々の承認状況を一覧表示する画面を有すること |
| 2 | 8 | 2 | 84 | 【統計出力機能】集計 | 以下条件を設定し、汎用的にデータを集計し出力できること |
| 2 | 8 | 2 | 85 | 【統計出力機能】集計 | 出力単位：部署ごと／個人ごと |
| 2 | 8 | 2 | 86 | 【統計出力機能】集計 | 出力単位は、職位・職種・採用区分ごとにフィルタリングできること |
| 2 | 8 | 2 | 87 | 【統計出力機能】集計 | 出力内容：勤務回数、時間休、時間外（手当ごと）、時間外（理由ごと）、業務内容 |
| 2 | 8 | 2 | 88 | 【統計出力機能】集計 | 集計単位：年度、月、日付、曜日 |
| 2 | 8 | 2 | 89 | 【帳票】帳票出力 | 設定した条件は、保存でき、いつでも呼出できること |
| 2 | 8 | 2 | 90 | 【帳票】帳票出力 | 以下の帳票が出力できること |
| 2 | 8 | 2 | 91 | 【帳票】帳票出力 | ・超過勤務命令簿 |
| 2 | 8 | 2 | 92 | 【帳票】帳票出力 | ・超過勤務理由統計表 |
| 2 | 8 | 2 | 93 | 【帳票】帳票出力 | ・超過勤務データCSV（集計） |
| 2 | 8 | 2 | 94 | 【帳票】帳票出力 | ・個人別超過勤務理由統計表 |
| 2 | 8 | 2 | 95 | 【他機能連携】勤務表 | 超過勤務が承認されている日は勤務表作成画面で勤務変更の際にメッセージを表示することが可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 96 | 【他機能連携】勤務表 | メッセージはエラーまたは警告の種類を設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 97 | 【メニュー】通知機能 | チェックを行う超過勤務承認ステータスを設定可能なこと |
| 2 | 8 | 2 | 97 | 【メニュー】通知機能 | 月間・年間それぞれの時間外上限値を、システム全体で1つ設定ができ、上限値に基づき、ログインした利用者の時間外制限に対する注意、警告メッセージが表示可能なこと |
| 2 | 8 | 3 | | 機能 | 職員管理オプション |
| 2 | 8 | 3 | 1 | 【登録内容】個人基本情報 | 看護職員の個人基本情報として以下の情報を登録・変更・修正・参照できること |
| 2 | 8 | 3 | 2 | 【登録内容】個人基本情報 | ・職員番号 |
| 2 | 8 | 3 | 3 | 【登録内容】個人基本情報 | ・姓/ミドルネーム |
| 2 | 8 | 3 | 4 | 【登録内容】個人基本情報 | ・同姓同名時の識別マーク |
| 2 | 8 | 3 | 5 | 【登録内容】個人基本情報 | ・カナ氏名 |
| 2 | 8 | 3 | 6 | 【登録内容】個人基本情報 | ・生年月日 |
| 2 | 8 | 3 | 7 | 【登録内容】個人基本情報 | ・性別 |
| 2 | 8 | 3 | 8 | 【登録内容】個人基本情報 | ・血液型 |
| 2 | 8 | 3 | 9 | 【登録内容】個人基本情報 | ・現住所 |
| 2 | 8 | 3 | 10 | 【登録内容】個人基本情報 | ・電話番号/携帯番号1/携帯番号2 |
| 2 | 8 | 3 | 11 | 【登録内容】個人基本情報 | ・顔写真 |
| 2 | 8 | 3 | 12 | 【登録内容】個人基本情報 | ・緊急時連絡先（氏名・カナ氏名・続柄・住所・電話番号・携帯番号） |
| 2 | 8 | 3 | 13 | 【登録内容】個人基本情報 | ・婚姻状況 |
| 2 | 8 | 3 | 14 | 【登録内容】個人基本情報 | ・本籍 |
| 2 | 8 | 3 | 15 | 【登録内容】個人基本情報 | ・通勤方法 |
| 2 | 8 | 3 | 16 | 【登録内容】個人基本情報 | ・通勤時間 |
| 2 | 8 | 3 | 17 | 【登録内容】個人基本情報 | ・E-mail（2種） |
| 2 | 8 | 3 | 18 | 【登録内容】個人基本情報 | ・予備項目（12種） |
| 2 | 8 | 3 | 19 | 【登録内容】履歴情報 | 看護職員の履歴情報として以下の情報を登録・変更・修正・参照できること |
| 2 | 8 | 3 | 20 | 【登録内容】履歴情報 | ・職員番号 |
| 2 | 8 | 3 | 21 | 【登録内容】履歴情報 | ・利用者番号 |
| 2 | 8 | 3 | 22 | 【登録内容】履歴情報 | ・氏名 |
| 2 | 8 | 3 | 23 | 【登録内容】履歴情報 | ・雇用歴（採用日、採用理由、退職日などを保有） |
| 2 | 8 | 3 | 24 | 【登録内容】履歴情報 | ・部署異動歴 |
| 2 | 8 | 3 | 25 | 【登録内容】履歴情報 | ・職位異動歴 |
| 2 | 8 | 3 | 26 | 【登録内容】履歴情報 | ・担当科異動歴 |
| 2 | 8 | 3 | 27 | 【登録内容】履歴情報 | ・採用区分異動歴 |
| 2 | 8 | 3 | 28 | 【登録内容】履歴情報 | ・兼務部署歴 |
| 2 | 8 | 3 | 29 | 【登録内容】履歴情報 | ・年休歴 |
| 2 | 8 | 3 | 30 | 【登録内容】履歴情報 | ・家族情報 |
| 2 | 8 | 3 | 31 | 【登録内容】履歴情報 | ・研修歴 |
| 2 | 8 | 3 | 32 | 【登録内容】履歴情報 | ・学歴 |
| 2 | 8 | 3 | 33 | 【登録内容】履歴情報 | ・免許資格歴 |
| 2 | 8 | 3 | 34 | 【登録内容】履歴情報 | ・委員会歴 |
| 2 | 8 | 3 | 35 | 【登録内容】履歴情報 | ・職歴 |
| 2 | 8 | 3 | 36 | 【登録内容】履歴情報 | ・賞罰歴 |
| 2 | 8 | 3 | 37 | 【登録内容】履歴情報 | ・休暇歴 |
| 2 | 8 | 3 | 38 | 【登録内容】履歴情報 | ・研究発表歴 |
| 2 | 8 | 3 | 39 | 【登録内容】履歴情報 | ・院内教育 |
| 2 | 8 | 3 | 40 | 【登録内容】履歴情報 | ・院外教育 |
| 2 | 8 | 3 | 41 | 【登録内容】履歴情報 | ・ラダー |
| 2 | 8 | 3 | 42 | 【登録内容】履歴情報 | ・施設内活動歴 |
| 2 | 8 | 3 | 43 | 【登録内容】履歴情報 | ・施設外活動歴 |
| 2 | 8 | 3 | 44 | 【登録内容】履歴情報 | ・分娩介助歴 |
| 2 | 8 | 3 | 45 | 【登録内容】履歴情報 | ・妊婦健康診査歴 |
| 2 | 8 | 3 | 46 | 【登録内容】履歴情報 | ・褥瘡の健康診査歴 |
| 2 | 8 | 3 | 47 | 【登録内容】履歴情報 | ・新生児の健康診査歴 |
| 2 | 8 | 3 | 48 | 【プロフィール編集】プロフィール | ログインスタッフ自身のプロフィールを参照/編集できること |
| 2 | 8 | 3 | 49 | 【プロフィール編集】プロフィール | 編集可能な範囲は、権限により設定できること |
| 2 | 8 | 3 | 50 | 【プロフィール編集】プロフィール | スタッフが変更した場合には、確認通知を発行すること |
| 2 | 8 | 3 | 51 | 【プロフィール編集】プロフィール | 更新時に入力内容のエラーチェックを行い、ユーザ操作誤りを予防すること |
| 2 | 8 | 3 | 52 | 【プロフィール編集】プロフィール | エラー内容を見ながら修正操作が可能なこと |
| 2 | 8 | 3 | 53 | 【職員検索機能】職員検索 | 以下の条件を指定して職員検索できる機能を有すること |
| 2 | 8 | 3 | 54 | 【職員検索機能】職員検索 | ・職員番号、カナ姓、カナ名、権限、部署、職位、職種、年齢、勤続年数、性別、結婚有無、顔写真有無 勤続年数は、以下保有すること ・当院経過年数 ・看護師免許取得後年数 ・実務経過年数 |
| 2 | 8 | 3 | 55 | 【職員検索機能】職員検索 | 上記検索に関して、部署、職位、職種は、基準日検索できること |
| 2 | 8 | 3 | 56 | 【職員検索機能】職員検索 | 上記検索に関して、年齢、勤続年数は、起算日検索できること |
| 2 | 8 | 3 | 57 | 【職員検索機能】職員検索 | 履歴条件を指定して、職員検索できる機能を有すること |
| 2 | 8 | 3 | 58 | 【職員検索機能】職員検索 | 検索項目は、上記1～2で指定した内容を全て指定できること |
| 2 | 8 | 3 | 59 | 【職員検索機能】職員検索 | 検索結果は、権限範囲に従うこと |
| 2 | 8 | 3 | 60 | 【職員検索機能】職員検索 | 検索結果は、一覧表示できること |
| 2 | 8 | 3 | 61 | 【職員検索機能】職員検索 | 一覧画面の表示内容は、上記1～2で指定した内容に切り替え表示可能なこと |
| 2 | 8 | 3 | 62 | 【職員検索機能】職員検索 | 一覧画面の各項目毎に、フィルタリング機能を有すること |
| 2 | 8 | 3 | 63 | 【職員検索機能】職員検索 | 一覧画面の内容を、CSV形式で出力することができること |
| 2 | 8 | 3 | 64 | 【職員検索機能】職員検索 | 検索パターンを、職員ごとに保存でき、かつ呼び出しで使用できること |
| 2 | 8 | 3 | 65 | 【職員検索機能】職員検索 | 以下検索を用意に実施できること ・部門検索 ・採用区分検索 |

| | |
|---------|------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 看護勤務管理システム |
| パッケージ名 | タイムリフォーマー |

| 項番 | | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|---|----|---------------------------|--|
| 部 | 章 | 節 | 項 | | |
| 2 | 8 | 3 | 66 | 【職員一括登録】一括登録機能 | 所定のCSVファイルに従い、一括登録機能を有すること |
| 2 | 8 | 3 | 67 | 【職員一括登録】一括登録機能 | ・職員の基本情報（職員番号、氏名、カナ氏名、部署、職位、職種、採用区分、採用日） |
| 2 | 8 | 3 | 68 | 【職員一括登録】一括登録機能 | ・各種履歴情報（職員番号歴、氏名歴、職位歴、職種歴、学歴など） |
| 2 | 8 | 3 | 69 | 【職員一括登録】一括登録機能 | 一括登録用のCSVファイル作成時に、表計算ソフト（EXCEL）で編集用機能を有すること |
| 2 | 8 | 3 | 70 | 【職員一括登録】一括登録機能 | 登録前のエラーチェック機能を有すること |
| 2 | 8 | 3 | 71 | 【職員一括登録】一括登録機能 | 上記職員情報は、出力機能を有し、再度取込可能な形式で職員情報を出力できること |
| 2 | 8 | 3 | 72 | 【配置シミュレーション】職員一覧 | 部署毎に所属する職員氏名の一覧が表示されること |
| 2 | 8 | 3 | 73 | 【配置シミュレーション】職員一覧 | 表示する所属部署を選択することができること 表示する職員氏名の右側に表示する内容を下記より選択することができること |
| 2 | 8 | 3 | 74 | 【配置シミュレーション】職員一覧 | ・職種 ・職位 ・採用区分 ・年齢 ・当院経験年数 ・実務経験年数 ・部署所属年日 |
| 2 | 8 | 3 | 75 | 【配置シミュレーション】職員一覧 | 職員の情報表示の基準日を選べること |
| 2 | 8 | 3 | 76 | 【配置シミュレーション】職員一覧 | 職員をドラッグアンドドロップすることで職員を他部署に移動させることができること |
| 2 | 8 | 3 | 77 | 【配置シミュレーション】配置シミュレーション分布表 | シミュレーションした配置状況により、下記分布（人数、棒グラフ）が表示できること ・年齢 ・当院経験年数 ・実務経験年数 ・部署所属年日 |
| 2 | 8 | 3 | 78 | 【配置シミュレーション】サマリ出力 | シミュレーションした配置状況により、下記サマリが表計算ソフトで表示されること 表示内容：各部署毎に下記が表示されること ・年齢毎の人数 ・当院経験年数毎の人数 ・実務経験年数毎の人数 ・所属年日毎の人数 |
| 2 | 8 | 3 | 79 | 【配置シミュレーション】配置表出力 | シミュレーションした配置状況により、配置表が印刷できること |
| 2 | 8 | 3 | 80 | 【配置シミュレーション】配置表出力 | シミュレーション内容を保存することができ、呼び出すことができること また、保存した内容を破棄することができること |
| 2 | 8 | 3 | 81 | 【帳票】帳票出力 | 以下の帳票が出力できること |
| 2 | 8 | 3 | 82 | 【帳票】帳票出力 | ・個人台帳（単票） |
| 2 | 8 | 3 | 83 | 【帳票】帳票出力 | ・職員配置表 |
| 2 | 8 | 3 | 84 | 【帳票】帳票出力 | ・各種休暇一覧 |
| 2 | 8 | 3 | 85 | 【帳票】帳票出力 | ・平均年齢表 |
| 2 | 8 | 3 | 86 | 【連携】連携 | 新規職員の情報を当社指定のフォーマットにて取込むことができること |
| 2 | 8 | 3 | 87 | 【連携】連携 | 既存職員の経歴情報を当社指定のフォーマットにて取込むことができること |
| 2 | 8 | 3 | 88 | 【連携】連携 | 任意の条件にて職員を検索しCSVファイルで出力可能なこと |
| 2 | 8 | 3 | 89 | 【他機能連携】勤務表 | 休暇歴の登録内容に沿って勤務表に自動反映可能なこと |

| | |
|---------|-------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 診療DWHシステム |
| パッケージ名 | HOPE DWH-GX |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|----|--------------|--|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 9 | | 機能要件 | 機能要件 |
| 2 | 9 | 1 | 利用者認証 | 利用者認証を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 2 | 患者選択 | 受付患者一覧から患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 3 | 患者選択 | 予約患者一覧から患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 4 | 患者選択 | カナ患者検索から患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 5 | 患者選択 | 病棟患者一覧から患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 6 | 患者選択 | 病棟マップから患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 7 | 患者選択 | 担当患者一覧から患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 8 | 患者選択 | 救急患者一覧から患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 9 | 患者選択 | 診察振分一覧から患者選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 10 | カルテ基本 | ロールブラウザの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 11 | カルテ基本 | 患者基本情報の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 12 | カルテ基本 | 患者プロフィールの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 13 | カルテ基本 | 病名の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 14 | カルテ基本 | 電子カルテ同等のスクリーンセーバー機能を有すること。 |
| 2 | 9 | 15 | 診療カレンダー | 診療カレンダーの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 16 | 診療カレンダー | バス参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 17 | その他参照機能 | 検査歴（一般）参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 18 | その他参照機能 | 検査歴（細菌）参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 19 | その他参照機能 | 画像検査の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 20 | その他参照機能 | オーディオの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 21 | その他参照機能 | HTML文書の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 22 | その他参照機能 | シエマの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 23 | その他参照機能 | 薬歴の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 24 | その他参照機能 | DI参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 25 | 診療支援参照機能 | 予約票印刷を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 26 | 診療支援参照機能 | サマリ文書管理の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 27 | 診療支援参照機能 | 文書の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 28 | 診療支援参照機能 | カルテ控え印刷（指示歴印刷）を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 29 | 診療支援参照機能 | 指示実施レポート一覧の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 30 | 診療支援参照機能 | 退院サマリの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 31 | 診療支援参照機能 | 統合問題点一覧の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 32 | 診療支援参照機能 | 患者掲示板の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 33 | 診療支援参照機能 | 指示歴印刷を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 34 | 診療支援参照機能 | 診療科・病棟選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 35 | 診療支援参照機能 | フレグラムの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 36 | 部門業務参照 | 服薬指導患者スケジュールの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 37 | 部門業務参照 | 服薬指導スケジュールの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 38 | 病棟業務参照 | 病床管理一覧の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 39 | 病棟業務参照 | ベッドスケジュールの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 40 | 病棟業務参照 | 移動予定患者一覧の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 41 | 病棟業務参照 | 入院退院診療計画書一覧の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 42 | 病棟業務参照 | 入院診療計画書の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 43 | 病棟業務参照 | 退院診療計画書の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 44 | 病棟業務参照 | 病棟マップの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 45 | 病棟業務参照 | 指示簿一覧の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 46 | 病棟業務参照 | ベッド名印刷を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 47 | 病棟業務参照 | バーコード台紙印刷を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 48 | 病棟業務参照 | 入院連絡患者一覧の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 49 | 病棟業務参照 | 医療区分・ADLの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 50 | レジメン参照 | レジメンカレンダーの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 51 | 看護業務参照 | 看護師業務分担の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 52 | 看護業務参照 | 管理日誌の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 53 | 看護業務参照 | 経過表の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 54 | 看護業務参照 | 看護計画の参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 55 | 看護業務参照 | 看護ファイルの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 56 | 看護業務参照 | 患者スケジュールの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 57 | 看護業務参照 | 看護サマリの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 58 | 看護業務参照 | 看護ワークシートの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 59 | 看護業務参照 | インチャージシートの参照を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 60 | 単独検索 | 単独の情報内で条件を入力し、検索を行なうことができること。 複数の情報にまたがって検索を行いたい場合に、1度に複数の情報の条件を入力し、項目間はAND条件で検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 61 | クロス検索 | 複数の情報にまたがって検索を行いたい場合に、1度に複数の情報の条件を入力し、項目間はOR条件で検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 62 | クロス検索 | 複数の情報にまたがって検索を行いたい場合に、各検索結果を確認しながら絞り込んで検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 63 | 絞り込み検索 | 患者IDを指定し、その患者の情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 64 | 個人検索 | よく使用する検索条件の保存を行なうことができること。次回からお気に入りメニューより条件を展開して使用することができること。 |
| 2 | 9 | 65 | お気に入り機能 | 検索結果をCSV形式（Excel）でファイル出力を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 66 | ダウンロード機能 | 絞り込み検索より、検索を行った場合に、相対日入力ができ、基準日より前の期間での検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 67 | 相対日検索 | 絞り込み検索より、検索を行った場合に、相対日入力ができ、基準日より後の期間での検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 68 | 相対日検索 | 絞り込み検索より、検索を行った場合に、相対日入力ができ、同一日（基準日と同一日）での検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 69 | 相対日検索 | 絞り込み検索より、検索を行った場合に、相対日入力ができ、同一日（基準日と同一日）での検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 70 | 患者基本検索 | 検索条件を指定し、患者基本情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 71 | 患者基本検索 | （初期検索条件） |
| 2 | 9 | 72 | 患者プロフィール検索 | 患者プロフィール項目を検索条件に指定し、検索を行なうことができること。※但し、看護プロフィール項目・科別項目は対象外とする。 |
| 2 | 9 | 73 | 各種オーダー伝票検索 | 各伝票別に検索条件を指定、オーダー情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 74 | 外来患者情報検索（受付） | 検索条件を指定し、受付情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 75 | 入院退院情報検索 | 検索条件を指定し、入院退院情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 76 | 病名情報検索 | 検索条件を指定し、病名情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 77 | 予約情報検索 | 検索条件を指定し、予約情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 78 | 検体検査結果検索 | 検索条件を指定し、検体検査結果の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 79 | 検体検査結果検索 | （検査項目の値の範囲指定も条件指定に可能） |
| 2 | 9 | 80 | 細菌検査結果検索 | 検索条件を指定し、細菌検査結果の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 81 | 細菌検査結果検索 | （検査項目の値の範囲指定も条件指定に可能） |
| 2 | 9 | 82 | 文書検索 | キーワードを条件に指定し、記載されたカルテ情報の検索を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 83 | 退院サマリ | 検索条件を指定し、退院サマリ情報の検索を行なうことができること。 |

| | |
|---------|-------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 診療DWHシステム |
| パッケージ名 | HOPE DWH-GX |

| 部 | 項番 | | 機能 | 要求仕様 |
|---|----|-----|-------------------------|---|
| | 章 | 項 | | |
| 2 | 9 | | 機能要件 | 機能要件 |
| 2 | 9 | 84 | テンプレート検索 | 検索したいテンプレート項目の条件を指定し、検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 85 | バス適用検索 | 検索条件を指定し、バス適用がされている患者の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 86 | バス評価検索 | 検索条件を指定し、バス評価がされている患者の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 87 | バリアンス検索 | 検索条件を指定し、バリアンス情報の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 88 | バスアウトカム | 検索条件を指定し、アウトカム、アセスメント、バリアンスが入力されている患者の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 89 | バスメモ | 検索条件を指定し、バスメモが入力されている患者の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 90 | 経過表検索 | 検索条件を指定し、経過表情報の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 91 | 経過表検索 | (経過表画面上で入力された経過表項目が対象) |
| 2 | 9 | 92 | バイタル検索 | 検索条件を指定し、経過表バイタル情報の検索を行うことができること。(バイタル項目の値の範囲指定も条件指定に可能) |
| 2 | 9 | 93 | 看護計画検索 | 検索条件に指定し、立案された診断・看護計画情報の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 94 | 条件検索 | 条件指定による情報の検索を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 95 | 明細データ処理 | 検索結果として明細情報を表示することができること。 |
| 2 | 9 | 96 | 集計データ処理 | 検索結果として集計情報を表示することができること。 |
| 2 | 9 | 97 | ドリルダウン処理 | 集計結果より明細情報の参照を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 98 | ファイル出力 | 検索した結果をCSVファイル形式などでファイル出力を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 99 | レシート保存 | 作成したレシートを保存し、定型帳票として登録を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 100 | 定型検索(共通フォルダ) | カテゴリ別に標準定型帳票が格納されていること。 |
| 2 | 9 | 101 | 定型検索(個人フォルダ) | カテゴリを作成し、個人用に帳票を管理することができること。 |
| 2 | 9 | 102 | 非定型検索 | 自由にレシートを指定し、集計表を作成することができること。 |
| 2 | 9 | 103 | カテゴリ新規作成機能 | 共通フォルダ・個人フォルダのカテゴリを新規作成することができること。 |
| 2 | 9 | 104 | カテゴリ変更・削除機能 | 共通フォルダ・個人フォルダのカテゴリ名称の変更と削除を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 105 | カテゴリフォルダ変更・削除機能 | 共通フォルダ・個人フォルダカテゴリ内のカテゴリフォルダの変更・削除を行うことができること。 |
| 2 | 9 | 106 | カテゴリフォルダ保存機能 | InterStageNavigatorでカテゴリフォルダが更新された場合、サーバのカテゴリフォルダをその内容で更新することができること。 |
| 2 | 9 | 107 | カテゴリフォルダアップロード機能 | クライアントで保存してあるカテゴリフォルダを共通フォルダ・個人フォルダ内のカテゴリへアップロードすることを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 108 | 各種オーダ情報 | 各種オーダ情報データを元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 109 | 外来患者情報 | 外来患者情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 110 | 外来患者情報 | (例) 診療科別受付医師別患者数/前日・診療科別・診察待ち時間(平均)など |
| 2 | 9 | 111 | バス評価情報 | バス評価情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 112 | バス評価情報 | (例) バス効果別バス別件数/バス別適用日数(平均) |
| 2 | 9 | 113 | バリアンス情報 | バリアンス情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 114 | バリアンス情報 | (例) バス別バリアンス種別別/バリアンス一覧 |
| 2 | 9 | 115 | 利用ログ情報 | 電子カルテ操作ログ情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 116 | 利用ログ情報 | (例) 前日利用者別操作患者数 |
| 2 | 9 | 117 | 病歴 | 病名情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 118 | 検歴 | 検歴情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 119 | 看護 | 看護情報(管理日誌・看護計画・経過表バイタル・経過表データ)を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 120 | 看護 | (例) 病棟別看護度別患者数 |
| 2 | 9 | 121 | テンプレート | テンプレート情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 122 | 退院サマリ | 退院サマリ情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 123 | 退院サマリ | ※但し看護サマリは対象外 |
| 2 | 9 | 124 | 患者プロフィール | 患者プロフィール情報を元に統計分析を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 125 | 患者プロフィール | ※但し看護プロフィール項目・科別項目は対象外 |
| 2 | 9 | 126 | カタログダウンロード | ツール起動時に自動で最新のカタログをサーバからクライアント端末にダウンロードを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 127 | カタログ選択機能 | ダウンロードしたカタログを画面のツリービューから選択を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 128 | カタログ絞り込み機能 | 任意の文字を入力することで、ツリー上からカタログの絞り込み表示を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 129 | カタログ読み込み機能 | 利用者が選択したカタログを解析し、画面の上にグラフの縦軸、横軸、データの検索条件の表示を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 130 | 検索条件初期値設定 | 検索条件の初期値がマスクで登録を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 131 | 検索条件変更(期間) | 検索対象の期間を入力し、条件として指定可能。 |
| 2 | 9 | 132 | 検索条件変更(期間) | ※期間は前月、年月、日付で指定を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 133 | 検索条件変更(電子カルテマスク) | 検索対象の内外区分、診療科、病棟、性別の値を電子カルテのマスクを読み込み、画面上にボタン形式で表示、選択することで条件として指定することができること。 |
| 2 | 9 | 134 | 検索条件変更(電子カルテマスク) | また、診療行為を電子カルテのマスクから検索し、条件として指定を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 135 | 検索条件変更(D B) | 検索対象の患者、利用者をDWHのレプリカDBの中から検索し、条件として指定を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 136 | 検索条件変更(フリー入力) | 検索対象の項目をフリー入力された文字列を条件として指定を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 137 | 検索結果表示(集計表) | 検索の結果を集計表として画面上に表示を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 138 | 検索結果表示(グラフ) | 検索の結果をグラフとして画面上に表示を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 139 | 検索結果表示(グラフ) | ※同時にグラフに表示しているデータを表形式で表示を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 140 | 検索結果表示(グラフ) | ※グラフの種類は棒グラフ、折れ線グラフ、エリアグラフ、レーダーチャート、ステップチャートを有すること。 |
| 2 | 9 | 141 | 印刷機能 | 画面上に表示されている結果の印刷を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 142 | 印刷機能 | ※集計表表示時は、集計結果を印刷することができること。グラフ表示時は、グラフとグラフのデータを個別に印刷することができること。 |
| 2 | 9 | 143 | Excel連携機能 | 画面上に表示されている結果をExcelで表示を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 144 | Excel連携機能 | ※集計表表示時は、集計結果をExcelで表示することができること。グラフ表示時は、グラフのデータをExcelで表示することができること。(グラフは対象外) |
| 2 | 9 | 145 | InterStageNavigator連携機能 | 選択しているカタログをInterStageNavigatorで起動を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 146 | InterStageNavigator連携機能 | ※但しカタログファイルアップロードはできなくともよい。 |
| 2 | 9 | 147 | ログイン | 利用者IDとパスワードでログインを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 148 | 電子カルテ利用者連携 | 電子カルテシステムの利用者情報を引き継いで使用できること。 |
| 2 | 9 | 149 | DWH独自利用者管理 | DWH独自の利用者を作成し、管理することができること。 |
| 2 | 9 | 150 | 利用者権限 | 利用者単位に権限付与を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 151 | 職種権限 | 職種単位に権限付与を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 152 | 機能別・情報別 | 機能別、情報別に権限付与を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 153 | 検索条件設定 | 検索条件指定項目を設定することができること。 |
| 2 | 9 | 154 | 検索結果出力項目設定 | 検索結果出力項目を設定することができること。 |
| 2 | 9 | 155 | 除外設定 | 検索対象より除外する患者の設定を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 156 | マスク機能(項目指定) | 任意の項目に対して、検索結果表示時にマスクをかける設定を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 157 | 暗号化機能(項目指定) | 任意の項目に対して、検索結果表示時に暗号化する設定を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 158 | 検索実行管理 | 実行中のカルテ検索処理をキャンセルすることを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 159 | オーダ | マート処理の対象項目を設定することを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 160 | 患者プロフィール | マート処理の対象項目を設定することを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 161 | テンプレート | マート処理の対象項目を設定することを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 162 | オーダ | マートテーブルの構造を設定することを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 163 | 患者プロフィール | マートテーブルの構造を設定することを行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 164 | テンプレート | マートテーブルの構造を設定することを行なうことができること。 |

| | |
|---------|-------------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 診療DWHシステム |
| パッケージ名 | HOPE DWH-GX |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|---|-----|-------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 9 | | 機能 | 機能要件 |
| 2 | 9 | 165 | 操作歴参照 | 操作歴を参照することができること。 |
| 2 | 9 | 166 | マート処理 | 電子カルテシステムより抽出を行なうことができること。ジョブスケジュール管理を行なうことができること。 |
| 2 | 9 | 167 | マート処理 | データマートを行った際のログを表示することができること。 |
| 2 | 9 | 168 | ログ参照 | データマートを行った際のログを表示することができること。 |
| 2 | 9 | 169 | お知らせメッセージ設定 | ログイン画面、TOP画面に表示するメッセージを設定することができること。 |

| | |
|---------|-----------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 表示盤システム |
| パッケージ名 | HOSPISION |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|----|----|-------------------------------|--|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 10 | | 機能 | 機能要件 |
| 2 | 10 | 1 | 患者誘導制御機能_電子カルテ /オーダリング連携機能 | 【電子カルテ/オーダリング連携機能として、以下の要件を満たすこと。】 |
| 2 | 10 | 2 | 患者誘導制御機能_電子カルテ /オーダリング連携機能 | 電子カルテシステム及びオーダリングシステムとの接続実績が100病院以上あること。 |
| 2 | 10 | 3 | 患者誘導制御機能_電子カルテ /オーダリング連携機能 | 電子カルテシステムの予約情報及び受付情報との連携が可能であり、電子カルテシステムとの連携に関する全ての費用を含むこと。 |
| 2 | 10 | 4 | 患者誘導制御機能_電子カルテ /オーダリング連携機能 | 電子カルテサーバの負荷が最小限となるよう、患者情報は電子カルテサーバから随時患者誘導サーバに取り込み患者誘導サーバ上のデータベースにて動作することができること。 |
| 2 | 10 | 5 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 【電子カルテシステム端末上の操作可能とし、看護師及び受付職員専用の受付患者一覧画面があること。患者の振り分けや待合室、診察室への呼出操作が1画面で対応可能で、以下の要件を満たすこと。】 |
| 2 | 10 | 6 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 電子カルテ端末で、予約患者と当日受付した患者の一覧を表示することができること。 |
| 2 | 10 | 7 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 予約患者は電子カルテの再診予約オーダ情報と連携し、事前に各診察室毎の予約患者の一覧を表示できること。 |
| 2 | 10 | 8 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 一覧は診察室ごとの分類で表示され、1画面で2・4・6診を同時に表示することが可能で、タブを切り替えることによりそれぞれの診察室が切り替えて表示することができること。本画面により、それぞれの診察室への呼び出し状況が確認可能なこと。 |
| 2 | 10 | 9 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 予約患者は予め医師が使用する診察室の枠に表示され、予約外患者は受付枠に表示されること。 |
| 2 | 10 | 10 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 受付枠に表示された患者はドラッグ&ドロップ操作及び右クリックメニュー操作により各診察室枠に患者の振り分けができること。 |
| 2 | 10 | 11 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 受付枠に表示された患者をドラッグ&ドロップ操作により、各診察室前（中待合）や診察室への呼出しができること。 |
| 2 | 10 | 12 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 受付枠に表示された患者をドラッグ&ドロップ操作により、受付窓口へ呼出しすることができること。 |
| 2 | 10 | 13 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 受付枠に表示された患者をドラッグ&ドロップ操作により、保留枠へと移動することができること。 |
| 2 | 10 | 14 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 予約外患者を受付枠から医師枠が紐づいた診察室に振り分けを行った際、電子カルテの再診予約オーダを発行し、予約枠の変更ができること。また、設定により、予約枠を変更しない医師（診察室）に振り分ける運用も可能であること。 |
| 2 | 10 | 15 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 一覧上で患者選択しドラッグすることで、診察の順番を任意に並びかえることができること。 |
| 2 | 10 | 16 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 診察室毎に来院予定患者（予約患者）と当日受付患者の患者待ち順番が予約変更することなく一覧で表示できること。 |
| 2 | 10 | 17 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 患者一覧には以下の受付情報が表示可能であること。 （受付No.・患者氏名・予約時間・来院時間・状態・検査進捗情報・障害情報・オーダコメント・予約票コメント・予約枠名・病棟名・併科受診情報・カナ氏名・性別・年齢・任意のマーク・初診再診種別） 患者一覧は次の条件でソートする機能を有すること。 |
| 2 | 10 | 18 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | （①予約時間+紹介+事前予約+来院時間 ②予約時間+受付時間、③予約時間+予約取得時間、④来院順）但し、予約無し患者はソート対象とする/しない、が選択できること。 |
| 2 | 10 | 19 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 一覧上の患者を選択し、右クリックメニューを選択することにより、以下の機能が実現可能であること。 （患者基本スケジュール印刷、状態変更、カルテ起動、検査結果一覧） |
| 2 | 10 | 20 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 検査部門システムの情報表示が可能であり、「検体検査」「放射線検査」「生理検査」「内視鏡検査」などが、適時「依頼あり」、「検査中」、「結果済み」、などをマークして表示（表現）できる機能を有していること。 |
| 2 | 10 | 21 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 診察室毎の担当医を表示盤に表示することが可能であること。曜日毎に医師が使用する診察室を設定しておくことにより自動的に表示することができること。 |
| 2 | 10 | 22 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 急遽医師が急患対応などでその後の診察を行なうことができない場合などに、担当患者を複数選択し一括して他の診察室の医師に振り分ける操作ができること。 |
| 2 | 10 | 23 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 診察室で医師が午前/午後/夕方などで変わる場合は、担当医切り替え機能により、それぞれの医師に対応した予約枠を切替えて患者一覧を表示できること。 |
| 2 | 10 | 24 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 1週間の担当医をスケジュール設定することにより、医師が外来到着以前に当日の担当医師名が表示可能であること。また、代診や特殊外来など任意の名称に変更して表示を行うことが看護師や受付職員により簡単にできること。 |
| 2 | 10 | 25 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 患者検索機能により、併科受診患者が不在の場合など、他科での呼出し状態や、診察完了状態などが一目で確認できること。 |
| 2 | 10 | 26 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 受付患者単位に右クリックであらかじめマスタに登録したマークをつけることが可能であり、マークは2種類つけることができること。また、呼出エリアの移動可否を制御する事ができること。 |
| 2 | 10 | 27 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 受付患者単位に右クリックで任意のフリーコメントの登録することにより、一覧上にコメントを表示することが可能であること。 |
| 2 | 10 | 28 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 予約時間に対して遅刻して受付を行った場合、一覧上に「遅」マークを表示できること。 |
| 2 | 10 | 29 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 患者一覧でのドラッグ&ドロップなど患者の移動操作履歴を患者単位に時系列で表示する画面を有すること。 |
| 2 | 10 | 30 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 電子カルテ端末の解像度により自動的に受付一覧の画面サイズを最適に表示できること。 |
| 2 | 10 | 31 | 患者誘導制御機能_受付職員 /看護師画面 | 受付画面の診察室枠または受付枠の表示幅をボタンの切り替えにより、一時的に幅に広げることができること。 |
| 2 | 10 | 32 | 診察室機能_医師画面 | 電子カルテシステム上の機能と動作し、診察室に必要な機能を担い、以下の要件を満たすこと。 |
| 2 | 10 | 33 | 診察室機能_医師画面 | 診察室の電子カルテ端末にて該当診察室の患者一覧が表示可能であること。 |
| 2 | 10 | 34 | 診察室機能_医師画面 | 患者一覧には以下の情報が表示可能であること。 （受付No.・患者氏名・予約時間・来院時間・状態・検査進捗情報・オーダコメント・予約票コメント・予約枠名・病棟名・併科受診情報・カナ氏名・性別・年齢・任意のマーク） 患者呼び込みボタンのクリック操作により該当患者カルテ画面を起動するとともに、患者の呼び込みが行なえること。また、同時に診察の順番に従って待機患者を3名程度表示盤に自動的に表示を行うこと。その場合、検査結果や到着情報を考慮し、診察可能患者のみ表示できること。 |
| 2 | 10 | 35 | 診察室機能_医師画面 | 診察する順番を任意に変更、指定可能とし、診察する順番に並べることができること。 |
| 2 | 10 | 36 | 診察室機能_医師画面 | 呼出しに対して患者の入室が無い場合、受付へ誘導する機能を有していること。 |
| 2 | 10 | 37 | 診察室機能_医師画面 | 検査などで再診察が必要な場合、患者を一時保留などにできる機能を有していること。 |
| 2 | 10 | 38 | 診察室機能_医師画面 | カルテ保存時に中断状態でカルテを閉じると、自動的に検査中の枠に患者が移動し、検査後再診察があることが判断できること。 |
| 2 | 10 | 39 | 診察室機能_医師画面 | 診察済み一覧として医師ごとに診察を行った患者の一覧が表示可能なこと。また、本一覧からカルテ画面の起動ができること。 |
| 2 | 10 | 40 | 診察室機能_医師画面 | 診察済み一覧の患者を再度診察を行う場合に、診察の順番に戻し、表示盤に番号を表示できること。 |
| 2 | 10 | 41 | 診察室機能_医師画面 | 患者一覧は次の条件でソートする機能を有すること。 |
| 2 | 10 | 42 | 診察室機能_医師画面 | （①予約時間+紹介+事前予約+来院時間 ②予約時間+受付時間、③予約時間+予約取得時間、④来院順）但し、予約無し患者はソート対象とする/しない、が選択できること。 |
| 2 | 10 | 43 | 診察室機能_医師画面 | 一覧上の患者を選択し、右クリックメニューを選択することにより、以下の機能が実現可能であること。 （患者基本スケジュール印刷、状態変更、カルテ画面起動、検査結果一覧） |

| | |
|---------|-----------|
| 現行ベンダー名 | 富士通株式会社 |
| システム名 | 表示盤システム |
| パッケージ名 | HOSPISION |

| 項番 | | | 機能 | 要求仕様 |
|----|----|----|------------|---|
| 部 | 章 | 項 | | |
| 2 | 10 | 44 | 診察室機能_医師画面 | 電子カルテシステムを経由等により検査部門システムの情報表示が可能であり、「検体検査」「放射線検査」「生理検査」「内視鏡検査」などが、適時"依頼あり"、"検査中"、"結果済み"、などとマークとして表示（表現）できる機能を有していること。 |
| 2 | 10 | 45 | 診察室機能_医師画面 | 急遽医師が急患対応などでその後の診察を行なうことができない場合などに、担当患者を複数選択し一括して他の診察室の医師に振り分ける操作ができること。 |
| 2 | 10 | 46 | 診察室機能_医師画面 | 診察室で医師が午前/午後/夕方などで変わる場合は、担当医切替え機能により、それぞれの医師に対応した3つまでの予約枠を切替えて患者一覧を表示することができること。 |
| 2 | 10 | 47 | 診察室機能_医師画面 | 併科患者等、1つ目の診療科で呼出をされている患者は、他の診療科での呼出できないチェック機能を有していること。 |
| 2 | 10 | 48 | 診察室機能_医師画面 | 患者検索機能により、併科受診患者が不在の場合など、他科での呼出し状態や、診察完了状態などが一目で確認できること。 |
| 2 | 10 | 49 | 診察室機能_医師画面 | マルチディスプレイ使用時、電子カルテと患者一覧を別画面に表示する機能を有すること。設定は端末毎に可能であること。 |

| 現行ベンダー名 | | 株式会社トーショー | |
|---------|----|-----------|--|
| システム名 | | 調剤支援システム | |
| パッケージ名 | | | |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | | | 調剤支援システムは以下のシステムを要すること。 |
| 1 | 1 | | 受信システム |
| 1 | 2 | | サーバーシステム |
| 1 | 3 | | 処方解析システム |
| 1 | 4 | | 注射解析システム |
| 1 | 5 | | 混注監査支援システム |
| 1 | 6 | | 薬袋印字システム |
| 1 | 7 | | 錠剤分包機制御システム |
| 1 | 8 | | 散薬監査支援システム |
| 1 | 9 | | 散薬分包機制御システム |
| 1 | 10 | | 注射薬払出装装置制御システム |
| 1 | 11 | | 注射薬充填監査支援システム |
| 1 | 1 | | 受信システム 機能 |
| 1 | 1 | 1 | 当院電子カルテシステムとの接続が可能で、外来・入院の処方データの取り込みを行えること。 |
| 1 | 1 | 2 | 院外処方データの取り込みもできること。 |
| 1 | 1 | 3 | 当院電子カルテシステムより受信したデータは各種ファイルとして保存し、ネットワーク管理ができること。 |
| 1 | 1 | 4 | 画面上には受信件数（ID番号、患者名、診療科、処方区分等）を表示すること。 |
| 1 | 1 | 5 | 当院電子カルテシステムから、患者基本情報（患者氏名・年齢・性別）、内服薬に関する情報（オーダ区分・オーダ番号・病棟名・診療科名・医師名・患者番号・患者氏名・年齢・性別・薬品名・1日本数・実施日・手技・手技コメント・用法・用法コメント）、実施情報（処方、注射、検査薬剤、処置薬剤等の種別を含む）、等を取り込めるとともに、その情報を日々の業務や統計等に利用できること。 |
| 1 | 2 | | サーバーシステム 機能 |
| 1 | 2 | 1 | サーバーシステムは、調剤注射用メインシステムサーバー1台で構成されること。 |
| 1 | 2 | 2 | 処方情報をバックアップする機能が有ること。 |
| 1 | 2 | 3 | 各制御装置に係わるファイルの保存管理ができること。 |
| 1 | 2 | 4 | 各装置間をLANで繋ぎ、システムを構築すること。 |
| 1 | 2 | 5 | 調剤業務支援システム全てのデータ及び情報変換のためのマスタを保管・管理ができること。 |
| 1 | 2 | 6 | オペレーティングシステムはWindows Server 2016 Standard 64bit 日本語版 相当以上であること。 |
| 1 | 2 | 7 | CPUがインテルXeon E-2224(3.4GHz)相当以上、主記憶装置の容量は8GB以上であること。 |
| 1 | 2 | 8 | 300GB以上の物理的容量を持つ磁気ディスク装置を2台内蔵し、RAID1以上で構成されていること。 |
| 1 | 2 | 9 | DVD-ROMドライブを内蔵していること。 |
| 1 | 2 | 10 | 1000Base-T以上のインターフェースがあり、通信プロトコルはTCP/IPであること。 |
| 1 | 2 | 11 | 本装置は無停電電源装置（UPS）が付属していること。 |
| 1 | 3 | | 処方解析システム 機能 |
| 1 | 3 | 1 | 本院の電子カルテシステムより受信した情報を薬局部門システム用データに変換できること。 |
| 1 | 3 | 2 | 現在構築されている処方解析システムより、患者Do情報を変換し利用できること。 |
| 1 | 3 | 3 | 処方情報を画面上に表示し、処方のチェックを実施できること。 |
| 1 | 3 | 4 | 処方情報は内規に合致した情報処理をし、各既設調剤機器（薬袋印字/散薬監査/散薬分包/錠剤分包システム）へデータ送信できること。 |
| 1 | 3 | 5 | 情報提供文書の出力指示をし、薬袋印字システムに送信できること。 |
| 1 | 3 | 6 | お薬手帳用の情報が出力できること。 |
| 1 | 4 | | 注射解析システム 機能 |
| 1 | 4 | 1 | 本院の電子カルテシステムより受信した情報を薬局部門システム用データに変換できること。 |
| 1 | 4 | 2 | 現在構築されている注射解析システムより、患者Do情報を変換し利用できること。 |
| 1 | 4 | 3 | 処方情報を画面上に表示し、処方のチェックを実施できること。 |
| 1 | 4 | 4 | 処方情報は病棟・日付別等の組み合わせで抽出し、注射薬払出装装置と各プリンタへデータ送信を行い、各プリンタから自動で輸液ラベル、取り揃えラベル（薬品集計表）、IVHラベルの出力が行えること。輸液ラベル、取り揃えラベルについては現在使用している機器を利用できること。 |
| 1 | 4 | 5 | 輸液ラベルには患者毎の注射処方箋及び患者名、科名、薬品名、点滴速度、JANコードが印字できること。 |
| 1 | 4 | 6 | 輸液ラベルには患者投薬確認に使用する患者リストバンドと整合性がとれるバーコードを印字できる機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 7 | 輸液ラベルには患者情報、薬品名称等必要事項を記載し、Rp単位、輸液単位、施用回数の考慮した必要枚数を印字できること。 |
| 1 | 4 | 8 | 取り揃えラベルは抽出したデータに基づき、必要な薬品の合計が印字されること。また、取り揃えがしやすいように、棚番が印字されること。 |
| 1 | 4 | 9 | 取り揃えラベルはアンプル・バイアル、輸液、保冷品のような区分で、それぞれ出力されること。 |
| 1 | 4 | 10 | IVHラベルプリンタは印字は仮名、漢字、片仮名、英数文字、バーコード等での印字ができること。 |
| 1 | 5 | | 混注監査支援システム 機能 |
| 1 | 5 | 1 | 注射薬混注監査システムは、サーバー1台、注射薬混注監査システム端末（クライアントPC）2台、プロジェクター2台、バーコードリーダー2台、電子天秤2台、付属品2式で構成されること。 |
| 1 | 5 | 2 | 注射薬混注監査システムは、既存の電子カルテシステムから注射処方オーダーを受信し混注対象処方データの取り込みが出来ること。 |
| 1 | 5 | 3 | 注射薬混注監査システムはバーコードリーダーを利用して処方データバーコードの確定や薬品のバーコード認識ができ、天秤を用いた重量鑑査が行えること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社トーショー |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 調剤支援システム |
| パッケージ名 | | | |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 5 | 4 | 注射薬混注鑑査システムは安全キャビネット内システム表示面及び作業面は日々のクリンネスを考慮し、抗がん剤を不活性化させる薬剤に耐食性があること。 |
| 1 | 5 | 5 | 注射薬混注鑑査システム表示面は上記の性能を確保しつつ認識が良いこと、また表示する装置は抗がん剤に暴露する恐れが無いように作業スペース内に設置しないこと。 |
| 1 | 5 | 6 | システム画面は調製作業を行う手元と同じ目線で確認ができるように正面に表示すること。 |
| 1 | 5 | 7 | 調製鑑査機能のほかに、調製鑑査終了データを最終鑑査できる機能を有すること。また、その結果データは印刷できること。 |
| 1 | 5 | 8 | 調製作業者のIDバーコードを読み取るログイン機能を有すること。さらに、調製鑑査データとの紐付けを行い、誰がどの患者の注射薬調製を行ったかの履歴を保持できること。 |
| 1 | 5 | 9 | 調製作業者ログイン認証にはIDパスワード入力の他に二次元バーコード認証、虹彩認証も可能であること。 |
| 1 | 5 | 10 | 抗がん剤の凍結乾燥剤が複数本含まれる処方の場合に、端数の抜き取り対象本数と全量抜き取り対象本数を各々でまとめ、同じオーダー行として表示し重量鑑査処理が可能であること。 |
| 1 | 5 | 11 | 溶解液を用いる手順の場合は、溶解液を秤量後、秤量された実際の溶解液量に合わせて、最終抜き取り量を自動で再計算する機能があること。 |
| 1 | 5 | 12 | システムで自動計算された重量と、実際の秤量された重量で自動鑑査を行うが、許容誤差範囲は重量毎に設定可能であること。 |
| 1 | 5 | 13 | 各種調製手技に対する調製モードを使用でき、薬品毎に使用する調製モードのみが登録できること。 |
| 1 | 5 | 14 | 調製データはRpごとの管理にしてあり、同一患者の複数Rpを同時に調製できること。 |
| 1 | 5 | 15 | 調製件数・調製内容・調製作業者・鑑査者等のデータ集計機能があり、集計結果はすべて印刷およびCSV形式のファイルに出力が可能であること。 |
| 1 | 5 | 16 | 調製鑑査機能のほかに、調製鑑査終了データを最終鑑査できる機能を有すること。また、その結果データは印刷および保存できること。 |
| 1 | 5 | 17 | 作業者が処方に応じて調製モードを選択でき、バイアル単位、シリンジ単位、ポンプ単位などに対応できること。 |
| 1 | 5 | 18 | 凍結乾燥剤、もしくは粘度の高い液体を調製する際に、複数の溶解液を選択できること。 |
| 1 | 5 | 19 | 凍結乾燥剤、もしくは粘度の高い液体を調製する際に、同一の溶解液であっても溶解液量を変えて選択できること。 |
| 1 | 5 | 20 | 凍結乾燥剤の溶解液量を指定しない場合でも、溶かした量に応じて抜き取り量を再計算し、最終的にはオーダー成分量が守れる機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 21 | 処方に含まれる薬品が液体、または凍結乾燥剤であり過量充填がなされている場合でも抜き取り調製量がオーダー量の5%範囲内であるかチェック可能であること。 また、誤差範囲は投与量に応じて誤差範囲を変えることができること。 |
| 1 | 5 | 22 | オーダー連携できない場合でも、誰が、どの薬品を、どれだけ調製したか履歴が残せること。 |
| 1 | 5 | 23 | オーダー連携できない場合でも、誰が、どの薬品を、どれだけ調製したかレシート印刷できること。 |
| 1 | 5 | 24 | オーダー連携できない場合でも、誰が、どの薬品を、どれだけ調製したか離れた場所でも結果が表示できること。 |
| 1 | 5 | 25 | 調製中に一旦保留し、ログアウトした後でも再度ログインして同一処方の調製が続けられること。 |
| 1 | 5 | 26 | 調製対象薬品区分はTPN、抗がん剤、抗生剤、リウマチ薬、その他の薬品を含み6つの区分に分けて統計が取れること。 |
| 1 | 5 | 27 | Rpごとの調製時間を記録し、データ出力できること。 |
| 1 | 5 | 28 | 期間を指定して薬剤師ごとの調製合計時間を出力できること。 |
| 1 | 5 | 29 | 調製日以外の調製データを行おうとしたら調製者にワーニングする機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 30 | オーダーシステムとの連携を行い、調製開始の信号を受けるまで調製できないようにデータロックできる機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 31 | システムの操作は全ての操作をフットペダルのみで行うこと。 |
| 1 | 5 | 32 | 患者ごとの注意喚起をマスター登録でき、調製時にワーニングできること。 |
| 1 | 5 | 33 | 調製中の操作を行う際に、操作機器が被曝されないよう調製スペース以外に置かれている装置を操作する必要がないこと。 |
| 1 | 5 | 34 | 操作を行う装置はカート内に装備され、調製キャビネットの下部に収納でき、キャビネット前面のスペースを使用することのないように設置できること。 |
| 1 | 5 | 35 | 調製Rpデータの進捗は、調製前、調製中、調製完了、鑑査完了、払出完了の進捗管理ができ、院内ネットワーク端末で利用可能なブラウザを用いて調製Rpデータの進捗が検索、表示、自動更新が可能であること。 |
| 1 | 5 | 36 | 調製完了した信号を任意の端末に送り、音声などで知らせる機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 37 | 薬剤部門で受信したオーダー歴を比較表示して、追加薬品があった場合や同一薬品での投与量の増減を見つけ、色分けなどをして知らせる機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 38 | レジメン内容を患者ごとに登録でき、履歴管理ができること。 |
| 1 | 5 | 39 | お薬手帳に貼る薬薬連携ラベルが出力でき、オーダー内容またはレジメン内容が印字できること。 |
| 1 | 5 | 40 | 副作用情報などの文章を登録でき、指導説明書が出力できること。 |
| 1 | 5 | 41 | 副作用の項目を患者ごとに設定でき、グレード別の管理ができること（1～5） |
| 1 | 5 | 42 | 前回オーダーとの比較を行い、新規薬品があった場合は判りやすく色付けを行って発見しやすくすること |
| 1 | 5 | 43 | 前回オーダーとの比較を行い、同一薬品でも増減があった場合は判りやすく色付けを行って発見しやすくすること |
| 1 | 5 | 44 | 集計機能があり、集計結果はすべてCSV形式のファイルに出力が可能であること。 |
| 1 | 5 | 45 | 薬品を撮影するカメラは薬品をセットする台に固定されていること。 |
| 1 | 5 | 46 | 撮影用カメラはオートフォーカス機能があること。 |
| 1 | 5 | 47 | プロジェクターは設置、取り外しが容易に行えること。 |
| 1 | 5 | 48 | プロジェクターは500g以下の軽量なものを採用すること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社トーショー | |
|---------|---|----|--|----------------|
| システム名 | | | 調剤支援システム | |
| パッケージ名 | | | | |
| 項番 | | | 要求仕様 | |
| 1 | 5 | 49 | プロジェクターは300ルーメン 以上でWXGA（解像度1280×800） 最大100インチ画面を投影できること。 | |
| 1 | 5 | 50 | プロジェクターは台形補正、ピント調整機能があること。 | |
| 1 | 5 | 51 | 電子天秤は測定範囲は0.01～2000gであり、0.1g/0.01gで測定レンジを切替える機能があること。 | |
| 1 | 5 | 52 | 電子天秤は検定付であり、精度等級は2級以上であること。 | |
| 1 | 5 | 53 | バーコードリーダーはGS1データバーを読み取ることができること。 | |
| 1 | 5 | 54 | 注射薬混注監査システムは現行の安全キャビネット内で使用できること。 | |
| 1 | | | 6 | 薬袋印字システム 機能 |
| 1 | 6 | 1 | 処方箋、薬袋等の表記は本体処方箋情報で、自動的に印刷され、表記内容は最適で整合性が取られていること。（氏名、I D 番号、生年月日、診療科、用法、投与日数、投薬番号、同姓同名有り印字、併診有り等） | |
| 1 | 6 | 2 | 印字にはWindowsフォントを使用できること。 | |
| 1 | 6 | 3 | 粉碎等の指示、シロップ剤の混合、外用剤の練合等の指示が出力できること。 | |
| 1 | 6 | 4 | 薬袋へは薬剤名、簡単な薬効が印字できること。 | |
| 1 | 6 | 5 | 印字は仮名、漢字、片仮名、英数文字、バーコード等での印字ができること。 | |
| 1 | 6 | 6 | 薬袋の種類、サイズ等は本体処方情報で自動的に判断されること。 | |
| 1 | 6 | 7 | 薬袋印字装置からは処方箋、薬袋、薬剤情報が印刷され、患者毎にセットされること。 | |
| 1 | 6 | 8 | 処方内容や区分、患者状態によって、機器または排紙先の指定切替が自動で行えること。 | |
| 1 | 6 | 9 | 薬袋の別包処理ができること。 | |
| 1 | 6 | 10 | 麻薬処方箋の仮処方箋が出力できること。 | |
| 1 | 6 | 11 | 至急の割り込みができること。 | |
| 1 | 6 | 12 | ラベルの種類（水剤、外用）は本体処方情報で自動的に判断されること。 | |
| 1 | 6 | 13 | ラベルの印字は仮名、漢字、片仮名、英数文字、バーコード等での印字ができること。 | |
| 1 | 6 | 14 | 台数は制御用PC1台、薬袋印字装置2台、ラベルプリンタ1台とすること。 | |
| 1 | 6 | 15 | 薬袋印字装置は6種類の用紙（薬袋）をセットできること。 | |
| 1 | 6 | 16 | 薬袋印字装置は印字方式はカラーレーザー方式であること。 | |
| 1 | 6 | 17 | 薬袋印字装置は印字スピードは35枚/分以上であること。 | |
| 1 | 6 | 18 | 薬袋印字装置は遮音性等の室内環境への配慮がされていること。 | |
| 1 | 6 | 19 | 薬袋印字装置はセットできる紙は平紙薬袋及びガゼット薬袋（横マチ付薬袋）、普通用紙が使用できること。 | |
| 1 | 6 | 20 | 薬袋印字装置にセットできる薬袋は単票で、JIS規定のサイズであること。 | |
| 1 | 6 | 21 | 薬袋印字装置は機器の操作、メンテナンス、消耗品の補充又は交換がトレー方式で容易にできること。 | |
| 1 | 6 | 22 | 薬袋印字装置は作業効率の面から薬袋の補充が容易にできること。 | |
| 1 | 6 | 23 | 薬袋印字装置は薬袋が1カセットに200枚以上、手差しに30枚以上ストックできること。 | |
| 1 | 6 | 24 | ラベルプリンタは印字は仮名、漢字、片仮名、英数文字、バーコード等での印字ができること。 | |
| 1 | 6 | 25 | ラベルプリンタの印字方式は、熱転写方式または感熱方式であること。 | |
| 1 | 6 | 26 | ラベルプリンタはラベルを500枚以上を1セットとした連続式であること。また自動でカットできること。 | |
| 1 | 6 | 27 | ラベルプリンタは解像度は、150 d p i 以上であること。 | |
| 1 | 6 | 28 | ラベルプリンタは印字幅は、3インチ以上であること。 | |
| 1 | 6 | 29 | ラベルプリンタは機器の操作、メンテナンス、消耗品の補充又は交換が容易にできること。 | |
| 1 | 6 | 30 | ラベルプリンタは機器のサイズは本院薬局で指定する場所に設置できるサイズであること。 | |
| 1 | 6 | 31 | ラベルプリンタはラベルの補充が容易であること。 | |
| 1 | | | 7 | 錠剤分包機制御システム 機能 |
| 1 | 7 | 1 | 錠剤分包機制御システムは、制御PC1台、錠剤分包機1台で構成されること。 | |
| 1 | 7 | 2 | 処方解析監査装置から分割生成処理・包装形態指示を制御装置が受け取り、順次1包化分包を行えること。 | |
| 1 | 7 | 3 | 現在構築されている錠剤分包機制御システムより、患者Do情報を変換し利用できること。 | |
| 1 | | | 8 | 散薬監査支援システム 機能 |
| 1 | 8 | 1 | 散薬監査支援システムは制御用PC1台、電子天秤1台、バーコードリーダー1台、サーマルプリンタ1台で構成されること。 | |
| 1 | 8 | 2 | 散剤及び錠剤粉碎により散薬調剤の指示のある処方データを処方解析監査装置より受け取り、モニターに表示できること。 | |
| 1 | 8 | 3 | 秤量結果をプリンターで印字し、監査記録として記憶装置に保存できる機能を有していること。 | |
| 1 | 8 | 4 | 監査記録紙にはバーコードを印字し、そのバーコードを利用して散薬分包機にて分包する際に処方データを自動で呼び出せること。同時に散薬分包機用に合わせたデータを作成できること。（処方番号等） | |
| 1 | 8 | 5 | 監査システムは処方情報との整合性が容易に確認でき、薬剤名及び用法・用量が確認が行え、また、記録は監査システム内に最低1カ月は記憶され、必要に応じ出力できること。 | |
| 1 | 8 | 6 | 薬剤認識はバーコードを利用して自動で行えること。JANコードが使用できること。 | |
| 1 | 8 | 7 | 薬剤容器の配置場所は固定されないこと。 | |
| 1 | 8 | 8 | 各薬剤のオンライン以外の手入力による調剤も利用できること。 | |
| 1 | 8 | 9 | 電子天秤の測定範囲は0.01～400gであり、0.1g/0.01gで測定レンジを切り替えられること。 | |
| 1 | 8 | 10 | 電子天秤は検定付であり、精度等級は2級以上であること。 | |
| 1 | 8 | 11 | バーコードリーダーはGS1データバーを読み取ることができること。 | |
| 1 | 8 | 12 | サーマルプリンターは用紙幅80mm以上でオートカット機能があること。 | |
| 1 | 8 | 13 | 散薬監査用モニターは画面サイズが15インチ以上、解像度1024×768以上のタッチパネル方式であること。 | |
| 1 | | | 9 | 散薬分包機制御システム 機能 |

| | | | |
|----------------|----|----|---|
| 現行ベンダー名 | | | 株式会社トーショー |
| システム名 | | | 調剤支援システム |
| パッケージ名 | | | |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 9 | 1 | 散薬分包機制御システムは、制御PC1台、散薬分包機1台で構成されること。 |
| 1 | 9 | 2 | 散薬調剤の指示のある処方データを処方解析監査装置より受け取れること。また、散薬監査システムにて出力された監査記録紙のバーコードを読み込むことで分包する患者を限定し、薬包紙に患者名、用法名、薬品名等を印字できること。 |
| 1 | 9 | 3 | 現在構築されている散薬分包機制御システムより、患者Do情報を変換し利用できること。 |
| 1 | 10 | | 注射薬払出装置制御システム 機能 |
| 1 | 10 | 1 | 注射薬払出装置システムは、制御PC2台、注射薬払出装置1台で構成されること。 |
| 1 | 10 | 2 | 適切な薬品管理を考慮して、薬品は全て薬品カセットに整列収納されること。また、全ての薬品カセットは先に補充された薬品から順に払い出しが行える先入れ先出し構造であること。 |
| 1 | 10 | 3 | 現在構築されている注射薬払出システムより、患者Do情報を変換し利用できること。 |
| 1 | 10 | 4 | 使用するトレーは、本院で既に使用している、サカセ化学工業製のトレーが流用できること。 |
| 1 | 10 | 5 | 使用するカートは、本院で既に使用している、サカセ化学工業製のカートが流用できること。 |
| 1 | 10 | 6 | トレー側面には、トレー個体を識別できるよう、本院の希望する以下の情報が表示できるトレー表示器(電子式の情報表示器)が搭載されること。 |
| 1 | 10 | 7 | トレー表示器は、視認性の高い電子ペーパーを採用すること。 |
| 1 | 10 | 8 | トレー表示器は、経済性を考慮して5年以上電池交換不要であること。 |
| 1 | 10 | 9 | トレー表示器は、個人情報保護を考慮してリモコンで表示内容を消せること。 |
| 1 | 10 | 10 | 注射薬、注射箋、ラベルが欠品した場合や完了トレーが満杯になった場合、画面表示及び音で知らせること。 |
| 1 | 10 | 11 | 注射薬払出装置の全ユニットは背面を開けることなく、正面からメンテナンスが完結することにより壁付け設置ができること。また部屋の中央などにも多彩な設置ができること。 |
| 1 | 10 | 12 | 各装置にて薬品及び消耗品欠品や装置エラーが発生した際には、対象箇所、薬品名称を音声にて通知すること。 |
| 1 | 11 | | 注射薬充填監査支援システム 機能 |
| 1 | 11 | 1 | 注射薬充填監査支援システムは、充填用PDA1台、アクセスポイント1台、充電器1台で構成されること。 |
| 1 | 11 | 2 | 現在の各マスターをそのまま利用して、使用可能なこと。 |
| 1 | 11 | 3 | 既存の注射薬払出装置の薬品カセットのバーコードと充填薬品のチェックを行え、充填の際に誰が充填したか確認ができ、充填履歴の管理もできること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | | | システム基本仕様 |
| 1 | 1 | 1 | システムの基本形態はクライアント/サーバシステムであること。 |
| 1 | 1 | 2 | リレーショナルデータベースを採用し、オープン仕様SQL、ODBCに対応していること。 |
| 1 | 1 | 3 | マルチアクセス機能を有すること。ネットワーク上の複数のサーバで管理している各データベースを任意のクライアントからアクセスできること。 |
| 1 | 1 | 4 | 排他制御ができること。 |
| 1 | 1 | 5 | 各サーバはメンテナンス時を除き365日24時間連続稼働できること。 |
| 1 | 1 | 6 | メインサーバダウン時に代替運用が可能であること。 そのために他サーバに常にデータをバックアップしていること。 |
| 1 | 1 | 7 | 日替処理は自動で行われ、業務の停止がない条件下で処理できること。 |
| 1 | 1 | 8 | 光またはADSLにてVPN接続で遠隔メンテナンスできること。 |
| 1 | 1 | 9 | ファイアウォール等セキュリティに充分配慮されていること。 |
| 2 | | | ソフトウェア基本性能 |
| 2 | 1 | 1 | 1日の最大依頼受付数は999999受付が可能であること。 |
| 2 | 1 | 2 | 検査項目マスターは999999項目の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 3 | 1検査項目あたり999材料の検査材料を登録できること。 |
| 2 | 1 | 4 | 1検査依頼あたりに登録できる検査項目数に制限はなし。 |
| 2 | 1 | 5 | 容器マスターに登録できる検査項目数に制限はなし。 (各項目に対して容器を割り当てているため、無制限) |
| 2 | 1 | 6 | 1ワークシートマスターに登録できる検査項目数に制限はなし。 |
| 2 | 1 | 7 | セット項目マスターの登録数に制限はなし。 |
| 2 | 1 | 8 | 1検査依頼あたりに登録できるセット項目数に制限はなし。 |
| 2 | 1 | 9 | 1セット項目あたりに登録できる項目数に制限はなし。 |
| 2 | 1 | 10 | 1検査依頼に999種類検査容器が登録できること。 |
| 2 | 1 | 11 | ワークシートマスターは999種類の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 12 | 1ワークシートあたりの検査容器を999種類以上の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 13 | 精度管理試料は999種類の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 14 | 検査材料は999種類の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 15 | 依頼科・病棟は999種類の登録が可能であること。コードに数字・アルファベットを使用できること。 |
| 2 | 1 | 16 | 検査結果報告書は999種類の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 17 | 基準値は男女あわせて年齢256段階の設定が可能であること。 |
| 2 | 1 | 18 | 患者ID桁数は14桁までの登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 19 | 患者ID表示フォーマットがマスターで設定できること。 |
| 2 | 1 | 20 | 患者カナ氏名は半角128桁の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 21 | 患者漢字氏名は全角64文字(半角128桁)の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 22 | 職員ID桁数を16桁までの登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 23 | 職員漢字氏名は全角16文字(半角32桁)の登録が可能であること。 |
| 2 | 1 | 24 | 計算する必要がある項目は自動的に計算できること。また、計算式・要素がマスターで設定できること。 |
| 2 | 1 | 25 | 計算項目計算式の要素数は25要素まで登録できること。 |
| 2 | 1 | 26 | 時系列結果検索時の同時表示項目数に制限はないこと。 |
| 2 | 1 | 27 | データ抽出時の抽出可能項目数に制限はないこと。 |
| 2 | 1 | 28 | フリーコメントは3070文字まで入力可能であること。 |
| 2 | 1 | 29 | 検査結果文字数は512文字まで入力可能であること。 |
| 2 | 1 | 30 | 検査結果に付加するコメントとして1項目につき2種類のコメントコード入力が可能であること。 |
| 2 | 1 | 31 | 検査結果に付加するコメントとして1項目につき2種類のコメントフリー入力が可能であること。 |
| 2 | 1 | 32 | 施設数は10桁まで登録が可能であること。 |
| 3 | | | 検査依頼 |
| 3 | 1 | | 検査依頼入力 |
| 3 | 1 | 1 | 検査依頼を新規登録できること。 |
| 3 | 1 | 2 | 検査依頼項目を修正、削除、追加できること。 |
| 3 | 1 | 3 | 検査依頼属性を入力できること。 |
| 3 | 1 | 4 | 検査属性を修正できること。 |
| 3 | 1 | 5 | 検査依頼を削除できること。 |
| 3 | 1 | 6 | 削除された検査依頼を復活できること。 |
| 3 | 1 | 7 | 検査材料を材料単位で一括変更できること。 |
| 3 | 1 | 8 | 検査材料を項目単位で変更できること。 |
| 3 | 1 | 9 | コメントの入力ができること。 |
| 3 | 1 | 10 | 検査依頼時に新規患者を登録できること。 |
| 3 | 1 | 11 | 検査依頼時に患者属性を修正できること。 |
| 3 | 1 | 12 | 検査運用番号(以下受付番号)は目的に応じて番号帯を分けて設定できること。 |
| 3 | 1 | 13 | 受付番号を任意に指定して検査依頼を登録できること。 |
| 3 | 1 | 14 | 検査室内検査依頼として、上位システムからの検査依頼に影響しない任意の上位キー(オーダ番号)が設定できること。上位キー発番に関しては、HISとの調整で決定すること。 |
| 3 | 1 | 15 | 当日・過去・未来と入外区分別に、依頼登録時に自動到着する設定ができること。 |
| 3 | 1 | 16 | 起動時の依頼モード(緊急・至急・ルーチン)を設定できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 3 | 1 | 17 | 検査依頼時に採取ラベルを同時出力するかしないかを設定できること。また、1次分注ラベル、2次分注ラベル、3次分注ラベルの同時出力も設定できること。 |
| 3 | 1 | 18 | 検査依頼時に同時出力ラベルの出力先を選択できること。 |
| 3 | 1 | 19 | 未来分の検査依頼は採血管予約ラベル（予約一括）の対象にできること。 |
| 3 | 1 | 20 | ログインする担当者の特権により属性表示のマスクができること。 |
| 3 | 1 | 21 | 指定した日の検査依頼情報一覧を確認できること。 |
| 3 | 1 | 22 | 上位システムから依頼された検査依頼項目を修正できること。 |
| 3 | 1 | 23 | よく依頼する検査項目を、複数TABに分けて表示設定でき、設定内容を依頼画面に反映できること。ここで設定された一覧から依頼項目をマウス選択することで検査依頼を行えること。 |
| 3 | 1 | 24 | 依頼項目指定時に材料を指定できること。 |
| 3 | 1 | 25 | 依頼項目の測定モード（緊急、至急、ルーチン）をマウスで選択し、一括または部門ごとに修正できること。 |
| 3 | 1 | 26 | 依頼項目として単項目、ファミリー、セット項目の依頼ができること。 |
| 3 | 1 | 27 | 依頼の新規入力時、参照時のそれぞれで、子項目やセット項目の内容を展開しないようにできること。 |
| 3 | 1 | 28 | 項目名称、外注種別、部門、容器、規定項目グループのいずれかで検査項目を検索し依頼できること。 |
| 3 | 1 | 29 | 患者IDが未発番の場合は、ダミー患者IDを自動作成し、検査依頼ができること。 |
| 3 | 1 | 30 | ダミー患者IDを指定し、一覧形式で正式患者IDに修正できること。 |
| 3 | 1 | 31 | 病院情報システムとの通信により、検査依頼項目と患者属性情報を受信できること。 |
| 3 | 1 | 32 | 検査部内依頼を病院情報システムの仕様に準拠して結果送信できること。 |
| 3 | 1 | 33 | 検査依頼情報の変更として依頼項目の削除をした場合、削除した項目を画面上で確認できること。 |
| 3 | 1 | 34 | 追加項目マスターにて、任意の結果条件、項目条件、属性条件の組み合わせを設定することにより、自動で追加項目依頼を発生できること。 |
| 3 | 1 | 35 | 依頼内容登録後、全ラベルまたは追加ラベル、1次分注、2次分注、3次分注ラベルを出力できること。 |
| 3 | 1 | 36 | 新規依頼作成にて患者ID入力時、同一受付日で同一患者IDの既存の検査依頼が存在していた時には、その旨を示すメッセージ表示ができること。既存検査依頼の受付番号、受付項目が全て表示できること。 |
| 3 | 1 | 37 | 新規依頼作成にて患者ID入力時、同一受付日かつ同一科病棟の同一患者IDの既存の検査依頼が存在していた時には、その旨を示すメッセージ表示ができること。既存検査依頼の受付番号、依頼項目が全て表示できること。 |
| 3 | 1 | 38 | 依頼項目TABに表示する項目を設定する画面を呼び出すことができること。 |
| 3 | 1 | 39 | 患者指定時に、患者情報のカナ名検索できること。 |
| 3 | 1 | 40 | 追加報告先を複数選択できること。 |
| 3 | 1 | 41 | 患者IDを指定し、過去の検査履歴を表示できること。 |
| 3 | 2 | | 一括検査依頼入力 |
| 3 | 2 | 1 | 検査依頼件数、科病棟、依頼項目を指定し、一括で検査依頼ができること。 |
| 3 | 2 | 2 | 指定のレイアウトで作成されたテキストファイルを読み込み、一括で団体検査依頼ができること。 |
| 3 | 2 | 3 | 項目追加マスターにて、任意の結果条件、項目条件、属性条件の組み合わせを設定することにより、自動で追加項目依頼を発生させることができること。 |
| 3 | 2 | 4 | 患者指定時に、患者情報のカナ名検索ができること。 |
| 3 | 2 | 5 | 受付日、受付番号範囲を指定し、一括で検査依頼を削除できること。 |
| 3 | 2 | 6 | 受付日、受付番号範囲を指定し、一括で削除された検査依頼を復活できること。 |
| 3 | 2 | 7 | 受付日、受付番号範囲を指定し、一括で任意の検査項目を追加依頼できること。 |
| 3 | 3 | | 依頼属性一括修正 |
| 3 | 3 | 1 | 受付日範囲、科病棟などを指定して、目的の依頼情報を絞り込み、患者情報、科病棟、医師などを一覧形式で修正できること。 |
| 3 | 3 | 2 | 変更前、変更後を比較しながら、修正できること。 |
| 4 | | | 検査準備 |
| 4 | 1 | | ラベル出力 |
| 4 | 1 | 1 | 科病棟一括ラベル、採取指示リストは出力履歴から選択して、再出力または再印刷ができること。 |
| 4 | 1 | 2 | 作成済みワークシート順に、検体ラベルを出力できること。 |
| 4 | 1 | 3 | 受付日、受付番号の範囲指定にて一括で指定容器の検査ラベル（採取・1次分注・2次分注ラベル・3次分注ラベル）を出力できること。 |
| 4 | 1 | 4 | 受付日、受付番号の個別指定にて指定容器の検査ラベル（採取・1次分注・2次分注ラベル・3次分注ラベル）を出力できること。 |
| 4 | 1 | 5 | 分注種別、分注日、分注番号範囲指定にて、分注ラベルを出力できること。 |
| 4 | 1 | 6 | バーコード番号、属性（最大10種類）指定にて、任意のバーコードラベルを出力できること。 |
| 4 | 1 | 7 | 患者ID指定にて（ただし、検査システム内に患者情報が存在すること）、患者IDをバーコードとした属性記載ラベルを出力できること。記載する患者属性は施設、患者区分、患者ID、カナ、氏名、性別、生年月日、血液型、Rh、カルテ番号から選択でき、選択した上記属性が10種類以下の場合にはフリー属性が印字できること。 |
| 4 | 1 | 8 | 分析装置、精度管理種別指定にて、精度管理試料用バーコードラベルを出力できること。 |
| 4 | 1 | 9 | 受付日、受付番号、容器コード、検査依頼内容番号、固定数字などから任意に選択して、バーコード情報とでき、NW7、CODE39、ITF2 of 5などの形式で印刷できること。ただし、形式はシステム内で統一すること。 |
| 4 | 1 | 10 | システム内で規定された情報を採取ラベル内に印刷できること。 |
| 4 | 1 | 11 | 発行済みの検体ラベルをバーコードリーダーで読み、同一ラベルが発行できること。 |
| 4 | 1 | 12 | 外注業者、受付番号の範囲、容器などを指定し、ラベル発行ができること。 |
| 4 | 1 | 13 | 健診用のラベルについては、検査システムより採血管オートラバーへ出力指示を出すことができること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 4 | 1 | 14 | 診察カードをバーコードリーダーで読み込み、手動または自動で検査ラベルが発行できること。 |
| 4 | 2 | | 検体受取業務 |
| 4 | 2 | 1 | 検体を到着確認する前に、検体搬送者と受取確認者・受取時間を表示または管理できること。 |
| 4 | 2 | 2 | 検体の検体受取処理を行った際に検体受取リストを出力できること。 |
| 4 | 2 | 3 | 検体受取と同時に到着確認処理も行えるようにできること。 |
| 4 | 2 | 4 | ラベル出力ができること。 |
| 4 | 3 | | 到着確認 |
| 4 | 3 | 1 | 手入力、バーコードリーダーにより、検体到着確認ができること。 |
| 4 | 3 | 2 | 検体到着確認を許可する過去日数または未来日数を設定できること。 指定日数範囲外の検体到着確認処理はエラーにできること。 |
| 4 | 3 | 3 | 受付日受付番号を指定し、検査依頼の採取容器の一覧を確認できること。 |
| 4 | 3 | 4 | オーダー番号より、検査依頼の採取容器の一覧を確認できること。 |
| 4 | 3 | 5 | 特定の採取容器の場合、到着確認時に設定した音を鳴らすことができること。また、システム固定の注意を促すメッセージを表示できること。 |
| 4 | 3 | 6 | 指定項目の場合、到着確認時に設定した音を鳴らすことができること。また、結果値が設定した結果値内容に該当した場合のみ、音を鳴らすことができること。 |
| 4 | 3 | 7 | 検査注意マークが指定コメントの場合、到着確認時に設定した音を鳴らすことができること。また、システム固定の注意を促すメッセージを表示できること。 |
| 4 | 3 | 8 | 感染症マークが指定コメントの場合、到着確認時に設定した音を鳴らすことができること。また、結果値が設定した結果値内容に該当した場合のみ、音を鳴らすことができること。 |
| 4 | 3 | 9 | コメントが指定コメントの場合、到着確認時に設定した音を鳴らすことができること。また、コメント結果値が設定したコメント内容に該当した場合のみ、音を鳴らすことができること。 |
| 4 | 3 | 10 | 検体の到着確認時に自動でワークシートを作成できること。 |
| 4 | 3 | 11 | 特定端末での検体到着時のみ作成するワークシートを設定できること。 |
| 4 | 3 | 12 | 当日以外の依頼検体の到着確認時にはメッセージを表示できること。 |
| 4 | 3 | 13 | 設定により、容器単位に容器部門番号を発番できること。 |
| 4 | 3 | 14 | 検体到着確認と同時に、採取・1次分注・2次分注・3次分注ラベルを出力できること。 |
| 4 | 3 | 15 | コメントの表示・入力・修正ができること。 |
| 4 | 3 | 16 | 尿量、身長、体重、負荷薬剤情報などの入力画面をポップアップで表示し、入力ができること。 |
| 4 | 3 | 17 | 当日の到着確認済み検体一覧を確認できること。 絞り込みは、端末又はログオン者で行えること。 |
| 4 | 3 | 18 | 表示中の検査依頼内容容器情報選択により、容器に該当する依頼項目を確認できること。 |
| 4 | 3 | 19 | 同一バーコードの2度読みをエラーとできること。 |
| 4 | 3 | 20 | 検査依頼参照中に、その検査依頼の基本属性を参照できること。 |
| 4 | 3 | 21 | ラベル出力を行う場合、出力先のバーコードプリンターを選択できること。 |
| 4 | 3 | 22 | バーコード読み取り時、同一受付日で同一患者IDの既存の検査依頼が存在していた時には、その旨を示すメッセージ表示ができること。また、既存検査依頼の受付番号、依頼項目が全て表示できること。 |
| 4 | 3 | 23 | バーコード読み取り時、同一受付日かつ同一科病棟の同一患者IDの既存の検査依頼が存在していた時には、その旨を示すメッセージ表示ができること。また、既存検査依頼の受付番号、依頼項目が全て表示できること。 |
| 4 | 3 | 24 | 受付日、受付番号を指定後、容器を選択して到着確認できること。 |
| 4 | 4 | | 検体状況確認 |
| 4 | 4 | 1 | 受付日番号範囲、対象容器、ラベル発行有無、到着状況などを指定し、依頼単位に検体状況を一覧で確認できること。また、検索時に一部到着など、到着の状態により絞り込みができること。 |
| 4 | 4 | 2 | 一定期間未採取の未到着容器に手動で「取り消し」などの結果を一括入力できること。 |
| 4 | 4 | 3 | 抽出した検体情報に「再採血」や「取り消し」等のコメントを入力できること。 |
| 4 | 5 | | 検体キャンセル |
| 4 | 5 | 1 | 受付日・受付番号、バーコード番号、オーダー番号のいずれかを指定し、その容器内に「取り消し」などのコメントを一括入力できること。 |
| 4 | 5 | 2 | 受付日・受付番号、バーコード番号、オーダー番号のいずれかを指定し、その容器内の項目を削除できること。 |
| 4 | 6 | | ワークシート |
| 4 | 6 | 1 | ワークシートマスターの設定により、ワークシートを自動（検体到着時、分注情報受信時、分析装置からの問い合わせ情報受信時、分析装置からの結果情報受信時）に作成できること。 |
| 4 | 6 | 2 | ワークシートは検査依頼単位又は容器単位で作成できること。 |
| 4 | 6 | 3 | 手動でワークシートを作成できること。その際、ワークシートコード、作成条件（到着済みの検体から、検査状態：未検査、未検査を含む全項目、異常値、異常値を含む全項目、全検体／緊急区分：ルーチン、緊急、至急／勤務帯区分：日勤、当直、日直）、検索範囲を指定できること。 |
| 4 | 6 | 4 | 手動でのワークシート発行は、同時に10種類以上のワークシートを作成できること。 |
| 4 | 6 | 5 | ワークシート作成と同時に、ワークシートリストの印刷ができること。 |
| 4 | 6 | 6 | 印刷レイアウトを帳票設定にて設定できること。 |
| 4 | 6 | 7 | 印刷レイアウト種別をワークシートマスターにて設定できること。 |
| 4 | 6 | 8 | リストに印刷する前回値回数をワークシートマスターにて設定できること。 |
| 4 | 6 | 9 | 並びを任意に決定するワークシートを作成する場合、ワークシートコードを指定しバーコードを読み取り、1件ずつワークシートを作成できること。 |
| 4 | 6 | 10 | 作成済みのワークシートは、ワークシートコード、印刷範囲、緊急区分、到着日時、検査状態、再検有無、異常値、結果チェック、レイアウトを指定してワークシート印刷ができること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 4 | 6 | 11 | ワークシートには検査結果や前回値も同時に印刷できること。 |
| 4 | 6 | 12 | 印刷先プリンターを任意に選択できること。 |
| 4 | 6 | 13 | 作成済みワークシートを指定し、並びを修正またはシーケンスの削除ができること。 |
| 4 | 6 | 14 | ワークシートのシーケンスをワークシート種別ごとに、日通番、月通番、年通番、完全通番（無制限）のいずれかで発番できること。 |
| 4 | 6 | 15 | 印刷したワークシートリストの出力管理ができること。 |
| 5 | | | 分析装置オンライン接続 |
| 5 | 1 | | オンライン処理 |
| 5 | 1 | 1 | 以下の分析装置とオンライン接続ができること。 |
| 5 | 1 | 1 | ①免疫血清分析装置:HISCL5000,Atelica |
| 5 | 1 | 1 | ②生化学分析装置:DxC700AU①,DxC700AU② |
| 5 | 1 | 1 | ③血液ガスシステム:RapidPoint500 |
| 5 | 1 | 1 | ④血糖分析装置:GA1170 |
| 5 | 1 | 1 | ⑤グリコヘモグロビン分析装置:HA8160 |
| 5 | 1 | 1 | ⑥血球係数分析装置:YN3100,XS800i |
| 5 | 1 | 1 | ⑦血液凝固分析装置:CA1500 |
| 5 | 1 | 1 | ⑧小型尿定性分析装置:US2200 |
| 5 | 1 | 1 | ⑨尿定性分析装置:US3500 |
| 5 | 1 | 1 | ⑩尿沈渣分析装置:UF5000 |
| 5 | 1 | 1 | ⑪その他分析装置:AA01,NX10N,OM6060,SMAS,Viva-E |
| 5 | 1 | 2 | 測定時に発生した分析装置からのエラーコードを取り込むことができ、表示できること。 |
| 5 | 1 | 3 | 測定時に発生した分析装置からのエラーコードにより、結果の変換および再検判定ができること。 |
| 5 | 1 | 4 | 分析装置からのエラーコードにより結果の変換ができること。 |
| 5 | 1 | 5 | オンライン結果の照合キーはシーケンス、患者ID、ワークシートシーケンス、バーコード番号、受付日受付番号の選択が可能であること。 |
| 5 | 1 | 6 | 再検値管理は、検体単位または項目単位で行うことができること。 |
| 5 | 1 | 7 | 自動登録条件は検体検査結果、精度管理試料別に設定できること。 |
| 5 | 1 | 8 | 患者検体の自動登録条件として、測定単位、項目単位、ワークシート内の項目グループ単位のいずれかで登録する設定ができること。 |
| 5 | 1 | 9 | 患者検体の自動登録時に、結果異常値があった場合、検体単位または項目単位に自動登録を止めることができること。 |
| 5 | 1 | 10 | 精度管理試料の測定結果が設定範囲を超えた場合、検体単位または項目単位に自動登録を止めることができること。 |
| 5 | 1 | 11 | 精度管理試料の測定結果に関して日差計算を自動で行うかどうか設定できること。 |
| 5 | 1 | 12 | バーコードエラー情報を検査結果確認画面に反映させることができること。 |
| 5 | 1 | 13 | 検査依頼情報を設定により事前に分析装置に送信できること。 |
| 5 | 1 | 14 | 分析装置からの問い合わせにより、検査依頼情報を送信できること。 |
| 5 | 1 | 15 | 分析装置から受信した検査結果をシステムに取り込むことができること。 |
| 5 | 1 | 16 | 波形データの数字結果を取り込み、波形画像に変換表示できること。 |
| 5 | 1 | 17 | 分析装置より、画像結果を取り込み、表示できること。 |
| 5 | 1 | 18 | 分析装置から出力されたバーコード情報により、到着確認業務を自動で行うことができること。 |
| 5 | 1 | 19 | マスター設定により、分析装置毎に測定項目の追加・削除が容易にできること。 |
| 5 | 1 | 20 | 希釈指示が可能な分析装置に対して、条件を設定して希釈指示ができること。 |
| 5 | 1 | 21 | 尿定性分析装置、尿沈渣分析装置の結果でクロスチェックを行い、尿沈渣鏡検項目の追加ができること。 |
| 5 | 1 | 22 | 血球分析装置の結果により、血液像鏡検項目の追加ができること。 |
| 5 | 2 | | オンライン起動/停止 |
| 5 | 2 | 1 | 操作端末にて、起動しているすべてのオンラインの開始・停止がリモートで切り替えできること。 |
| 5 | 2 | 2 | 操作端末にて、オンラインしているすべての分析装置への依頼送信がリモートで行えること。 |
| 5 | 2 | 3 | 操作端末にて、オンラインしているすべての分析装置との通信履歴を閲覧できること。 |
| 5 | 2 | 4 | 操作端末にて、オンラインしているすべての分析装置との通信ログを閲覧できること。 |
| 6 | | | 検査結果入力 |
| 6 | 1 | | オンライン受信データ確認（オンラインモニター） |
| 6 | 1 | 1 | ワークシートコード、日付を指定し、ワークシート上の検体を一覧表示できること。 |
| 6 | 1 | 2 | ワークシートはマスターで設定した期間内の過去のワークシートも選択できること。 |
| 6 | 1 | 3 | 複数のワークシートをグループ化して表示できる、マルチワークシートを作成できること。 |
| 6 | 1 | 4 | 一覧は、マルチワークシートまたは単独ワークシートの形式で表示できること。 |
| 6 | 1 | 5 | 一覧に表示する属性情報は、ワークシート毎に選択できること。 |
| 6 | 1 | 6 | 一覧は進捗マークや文字色により、検査状態（再検指示待ち、再検測定済み、再検指示済み、初検測定済み、再検測定中、測定中、保留、暫定登録、未検査、確定、承認）を把握できること。 |
| 6 | 1 | 7 | ワークシートごとに各検査状態の優先順位を設定することができること。 |
| 6 | 1 | 8 | 一覧表示に、再検回数を表示できること。 |
| 6 | 1 | 9 | 一覧に検査の測定完了予測時刻を表示できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 6 | 1 | 10 | 一覧に検査結果、付加コメント、フリー入力の付加コメントを表示できること。 |
| 6 | 1 | 11 | 一覧にコメントを表示できること。またコメントを入力し登録が可能であること。 |
| 6 | 1 | 12 | 一覧表示の絞り込み条件は、対象検体（患者、QC検体）、入外区分、受付情報（緊急区分、受付番号範囲）、依頼科・病棟、依頼医師、進捗状況（未検査、再検中、測定中、登録済み）の組み合わせで、設定できること。 |
| 6 | 1 | 13 | 一覧表示の絞り込み条件は、ワークシート単位に設定できること。 |
| 6 | 1 | 14 | 一覧表示の絞り込み条件は、ひとつのワークシートに対して、複数種類設定できること。 |
| 6 | 1 | 15 | 一覧に表示されている各フィールドのタイトルをクリックすることで、進捗情報のソートが可能であること。 |
| 6 | 1 | 16 | 単独ワークシートの場合、一覧表示画面にてワークシート作成指示ができること。 |
| 6 | 1 | 17 | 一覧に表示されている進捗情報は、自動で更新されること。 |
| 6 | 1 | 18 | 結果取り込みにより自動で画面が更新されること。 |
| 6 | 1 | 19 | マルチワークシートで一覧を表示した状態から、単独ワークシートに表示切替できること。 |
| 6 | 1 | 20 | マルチワークシートで一覧を表示した場合、該当する単独ワークシートと、その検査進捗状態を一覧で確認できること。 |
| 6 | 1 | 21 | マルチワークシートで一覧を表示した場合、該当検体行の該当する単独ワークシートのセルをクリックすることにより、該当ワークシートの個別結果確認画面を表示できること。 |
| 6 | 1 | 22 | 一覧表示状態で、ワークシートのシーケンス範囲を指定して一括で暫定登録、通常登録、強制登録、承認、否認ができること。 |
| 6 | 1 | 23 | 検査対象者の一覧表示状態で、患者ID、日付・番号、バーコード、ラック、オーダー番号のいずれかを指定して対象患者データを検索できること。 |
| 6 | 1 | 24 | 一覧表示状態で、指定の開始時刻から一定時刻を超過した場合、注意表記とアラート通知が可能であること。 |
| 6 | 1 | 25 | 測定エラーが発生した場合、画面でアラート通知が可能であること。 |
| 6 | 1 | 26 | 測定エラー情報の履歴表示が可能であること。 |
| 6 | 1 | 27 | 測定エラー情報の確認管理が可能であること。 |
| 6 | 1 | 28 | マルチルールチェックエラーが発生した場合、画面でアラート通知が可能であること。 |
| 6 | 1 | 29 | マルチルールチェックエラーが発生した場合、エラー解除するまで、以後の患者検体の自動登録を停止できること。 |
| 6 | 1 | 30 | マルチルールチェックエラーに該当した履歴を表示できること。 |
| 6 | 1 | 31 | マルチルール情報の確認管理ができること。 |
| 6 | 1 | 32 | 個別結果確認画面（以下、結果画面）で、検査結果・付加コメント・検査コメントを登録・修正・削除できること。 |
| 6 | 1 | 33 | 結果画面で、結果コメントまたは付加コメントの入力候補をウィンドウから選択できること。 |
| 6 | 1 | 34 | 結果コメントまたは付加コメントの入力候補ウィンドウ表示時、結果グループが設定されている項目の場合、結果グループの内容を優先で表示できること。 |
| 6 | 1 | 35 | 結果画面で、検査結果・付加コメントの入力支援として、ショートカットキー入力機能があること。 |
| 6 | 1 | 36 | 結果画面で、検査結果・付加コメントの入力支援として、ファンクションボタンに入力内容を割り当てる機能があること。 |
| 6 | 1 | 37 | 結果画面で、1検体に対し結果または付加コメントの一括入力処理ができること。 |
| 6 | 1 | 38 | 結果画面で、検査結果の編集可・不可を切り替えてできること。 |
| 6 | 1 | 39 | 結果画面で、確定登録、承認登録、暫定登録ができること。 |
| 6 | 1 | 40 | 結果画面で、特定項目グループ単位の登録が可能であること。 |
| 6 | 1 | 41 | 結果画面に、項目グループ単位で任意の項目群を一括追加できるファンクションボタンを設定できること。 |
| 6 | 1 | 42 | 結果画面に、項目グループ単位で任意の結果値を一括入力できるファンクションボタンを設定できること。 |
| 6 | 1 | 43 | 結果画面に、項目グループ単位で結果値をクリアできるファンクションボタンを設定できること。 |
| 6 | 1 | 44 | 結果画面に、項目グループ単位で付加コメントを一括入力できるファンクションボタンを設定できること。 |
| 6 | 1 | 45 | 結果画面に、項目グループ単位で付加コメントをクリアできるファンクションボタンを設定できること。 |
| 6 | 1 | 46 | 結果画面で、設定した結果チェックに該当した場合、登録時に警告画面を表示できること。 |
| 6 | 1 | 47 | 結果画面で、時系列画面を表示し、患者情報を反映した時系列情報を参照できること。 |
| 6 | 1 | 48 | 結果画面で、一度に検査結果・付加コメント・前回値・再検値を表示できること。 |
| 6 | 1 | 49 | 結果画面で、前回値は常に画面を開いたときの最新の情報を反映できること。 |
| 6 | 1 | 50 | 結果画面で、コメントの前回値を表示できること。 |
| 6 | 1 | 51 | 結果画面で、再検値を照合する場合は、項目単位に選択された情報（結果、付加コメント）を照合できること。 |
| 6 | 1 | 52 | 結果画面で、照合する再検値の選択・解除は、再検回数単位に一括で操作できること。 |
| 6 | 1 | 53 | 結果画面で、検査依頼内全結果を参照できること。また、同一日別検査依頼内全結果を参照できること。 |
| 6 | 1 | 54 | 結果画面で、ワークシート毎の設定により項目の画像を表示できること。 |
| 6 | 1 | 55 | 結果画面で、画像はクリックにより拡大画像として表示できること。 |
| 6 | 1 | 56 | 結果画面で、検体の分析機通過情報を表示できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 6 | 1 | 57 | 結果画面で、分注情報を表示できること。 |
| 6 | 1 | 58 | 結果画面で、報告書出力指示ができること。 |
| 6 | 1 | 59 | 結果画面で、F A X 指示ができること。 |
| 6 | 1 | 60 | 結果画面で、1 画面に結果が表示しきれない時は、画面のスクロールが可能で、結果を確認することができること。 |
| 6 | 1 | 61 | 結果画面で、分析装置のエラー情報を項目毎に表示できること。 |
| 6 | 1 | 62 | ワークシートマスターにて参照項目（編集、登録不可）を設定できること。 |
| 6 | 1 | 63 | 複数のワークシートを同一端末で、表示できること。 |
| 6 | 1 | 64 | 受付別結果入力で入力した結果は、オンラインモニターに反映できること。 |
| 6 | 1 | 65 | 再検のデータについて、データを上書きせずに取り込むことができること。 |
| 6 | 1 | 66 | 報告異常値があった場合、マーク表示およびアラート音にて対処を促し、対処を行った際はコメントを入力できること。 |
| 6 | 1 | 67 | 結果値を判断する補助として、結果値と基準値範囲を視覚的に表示できること。 |
| 6 | 1 | 68 | 検査項目を指定し、T A T グラフを表示できること。 |
| 6 | 1 | 69 | 検査項目グループを指定し、検査結果を表示できること。 |
| 6 | 1 | 70 | 結果画面で、今回値を 2 ～ 3 列に折り返しての表示ができること。 |
| 6 | 1 | 71 | 結果値を手入力する際には入力値のダブルチェックができること。 |
| 6 | 1 | 72 | 一覧画面で、バーコード読み込みによるワークシート作成ができること。 |
| 6 | 1 | 73 | 結果画面で、精度管理検体は日差グラフを表示できること。 |
| 6 | 2 | | ワークシート別結果入力 |
| 6 | 2 | 1 | ワークシートと検査日を指定し、縦型、横型、縦型（用手法）、横型（用手法）単位のいずれかで表示することができ、一覧形式で検査結果と付加コメントの編集・登録・削除ができること。 |
| 6 | 2 | 2 | ワークシートのシーケンス範囲にて一括登録ができること。 |
| 6 | 2 | 3 | ワークシートのシーケンス範囲にて一括で特定の結果または付加コメント入力ができること。 |
| 6 | 2 | 4 | 検査結果の確認時に前回値・再検値を表示できること。 |
| 6 | 2 | 5 | 結果コメント、付加コメントは入力候補ウィンドウから選択できること。 |
| 6 | 2 | 6 | 結果コメントまたは付加コメントの入力候補ウィンドウ表示時、結果グループが設定されている項目の場合、結果グループの内容を優先で表示できること。 |
| 6 | 2 | 7 | 表示しているワークシート別結果入力から、時系列画面を表示し、患者情報を反映した時系列情報を参照できること。 |
| 6 | 2 | 8 | 検査依頼内全結果を参照できること。 |
| 6 | 2 | 9 | 検査コメントを表示、入力できること。 |
| 6 | 2 | 10 | 報告書出力指示ができること。 |
| 6 | 2 | 11 | F A X 指示ができること。 |
| 6 | 2 | 12 | 確定登録、承認登録、暫定登録ができること。 |
| 6 | 2 | 13 | 結果値の一括補正ができること。 |
| 6 | 3 | | 受付別結果入力 |
| 6 | 3 | 1 | 受付日受付番号を指定し、検査依頼単位の結果情報を呼び出し編集できること。 |
| 6 | 3 | 2 | 容器部門番号を使用する場合、容器部門、日付、番号を指定し、検査依頼情報を呼び出し編集できること。 |
| 6 | 3 | 3 | 検体バーコード番号を指定し、検査依頼単位の結果情報を呼び出し編集できること。 |
| 6 | 3 | 4 | H I S オータ番号を指定し、検査依頼単位の結果情報を呼び出し編集できること。 |
| 6 | 3 | 5 | 患者カナ名を指定し、検査依頼単位の結果情報を呼び出し編集できること。 |
| 6 | 3 | 6 | 検査結果、付加コメント、検査コメントの入力、修正、削除ができること。 |
| 6 | 3 | 7 | 患者コメント（身長、体重、注意情報など）と感染情報の修正ができること。 |
| 6 | 3 | 8 | 該当検査依頼に関する全画像情報を表示できること。 |
| 6 | 3 | 9 | 該当検査依頼の時系列検査結果照会画面を呼び出すことができること。 |
| 6 | 3 | 10 | 該当検査依頼の全ての結果を印刷できること。 |
| 6 | 3 | 11 | 該当検査依頼の報告書を印刷指示できること。 |
| 6 | 3 | 12 | 該当検査依頼の登録、H I S 再送信指示、報告書発行ができること。 |
| 6 | 3 | 13 | 該当検査依頼の削除項目を再表示できること。 |
| 6 | 3 | 14 | 患者の感染情報を表示、入力できること。 |
| 6 | 3 | 15 | 指定日付、入外区分、依頼元、医師を検索条件として検査依頼一覧を表示し、選択することにより検査依頼情報を呼び出すことができること。 |
| 6 | 3 | 16 | 検査依頼一覧は患者検体、Q C 検体で絞り込めること。 |
| 6 | 3 | 17 | 依頼情報読み込み時、結果変更不可状態にできること。 |
| 6 | 3 | 18 | 検査値、付加コメントに対して、一括入力が入力が可能であること。 |
| 6 | 3 | 19 | 一括入力の条件として、未検査、未登録、登録済みの検査項目条件を指定できること。 |
| 6 | 4 | | 末梢血液像カウンター |
| 6 | 4 | 1 | 受付日・受付番号、またはワークシートシーケンスを指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 4 | 2 | バーコード番号を指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 4 | 3 | オーダー番号を指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 4 | 4 | カウンター該当受付を一覧表示し、一覧から検査依頼を選択してカウンター業務ができること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 6 | 4 | 5 | カウンター検査を行った検査者を保存できること。 |
| 6 | 4 | 6 | キーボードに項目を割り当ててカウントできること。 |
| 6 | 4 | 7 | 依頼のない項目キーを選択したら項目を追加できること。 |
| 6 | 4 | 8 | カウントのインクリメント、デクリメントを指定できること。 |
| 6 | 4 | 9 | キーに対して、それぞれインクリメント音、デクリメント音を設定できること。 |
| 6 | 4 | 10 | 100%に含まない項目を設定できること。 |
| 6 | 4 | 11 | カウント時に画像を表示できること。 |
| 6 | 4 | 12 | 画像は分析装置画像、撮影画像と分けて参照できること。 |
| 6 | 4 | 13 | 画像の並びを項目単位で設定できること。 |
| 6 | 4 | 14 | カウント時に元の白血球分画の値を参照できること。 |
| 6 | 4 | 15 | 未入力の項目に設定した結果を入力できること。 |
| 6 | 4 | 16 | カウント開始時、確定時、登録時、未カウント登録時、それぞれの処理時において、任意の項目の結果や付加コメントを削除することができること。 |
| 6 | 4 | 17 | カウント開始時、確定時、登録時、未カウント登録時、それぞれの処理時において、任意の項目に設定した結果や付加コメントを入力できること。 |
| 6 | 4 | 18 | 100%にならない場合、最大の項目で100%補正を行う設定ができること。 |
| 6 | 4 | 19 | E B L、M G K補正（白血球補正）ができること。 |
| 6 | 4 | 20 | 設定されたコメントの結果を長文で入力できること。また、入力はコメントに設定されたマスターを参照して簡便に入力できること。 |
| 6 | 4 | 21 | 再検値を表示できること。 |
| 6 | 4 | 22 | 前回値を表示できること。 |
| 6 | 4 | 23 | 検査依頼内全結果を表示できること。また、同一日別検査依頼内全結果を参照できること。 |
| 6 | 4 | 24 | 設定された時系列セットの時系列結果参照画面を呼び出すことができること。 |
| 6 | 4 | 25 | 血液像の項目を追加してカウントできること。 |
| 6 | 4 | 26 | カウント後、所見項目の入力ができること。 |
| 6 | 4 | 27 | カウント値を保存できること。 |
| 6 | 4 | 28 | 保存したカウント値とコメント、検査者を呼び出して、継続カウントまたは採用できること。 |
| 6 | 4 | 29 | 保存したカウント値とコメント、検査者を削除できること。 |
| 6 | 4 | 30 | 保存したカウント値の平均または合計値をカウント値として呼び出すことができること。 |
| 6 | 4 | 31 | 規定のカウント数以外でカウント値を確定できること。 |
| 6 | 4 | 32 | 規定のカウント数に満たない場合は実数報告できること。 |
| 6 | 4 | 33 | 撮影画面（別プログラム）から撮影画像を取り込むことができること。 |
| 6 | 4 | 34 | 画像取り込み時に画像コメントを入力し保存できること。 |
| 6 | 4 | 35 | 報告書の出力画面を呼び出すことができること。 |
| 6 | 4 | 36 | 検査依頼を指定しないでカウントのみ行うことができる（登録不可）。 |
| 6 | 4 | 37 | 参照項目（結果変更不可）を設定できること。 |
| 6 | 4 | 38 | 血液像目視依頼を材料や染色別に一覧表示し、検査状況の確認ができること。また、一覧画面からカウンター画面に遷移できること。 |
| 6 | 5 | | 骨髓像カウンター |
| 6 | 5 | 1 | 受付日・受付番号、またはワークシートシーケンスを指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 5 | 2 | バーコード番号を指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 5 | 3 | オーダー番号を指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 5 | 4 | カウンター該当検査依頼を一覧表示し、一覧から検査依頼を選択してカウンター業務ができること。 |
| 6 | 5 | 5 | カウンター検査を行った検査者を保存できること。 |
| 6 | 5 | 6 | キーボードに項目を割り当てて処理できること。 |
| 6 | 5 | 7 | 依頼のない項目キーを選択したら項目を追加できること。 |
| 6 | 5 | 8 | カウントのインクリメント、デクリメントを指定できること。 |
| 6 | 5 | 9 | キーに対して、それぞれインクリメント音、デクリメント音を設定できること。 |
| 6 | 5 | 10 | 100%に含まない項目を設定できること。 |
| 6 | 5 | 11 | カウント時に画像を表示できること。 |
| 6 | 5 | 12 | 画像は分析装置画像、撮影画像と分けて参照できること。 |
| 6 | 5 | 13 | 画像の並びを項目単位で設定できること。 |
| 6 | 5 | 14 | 未入力の項目に設定した結果を入力できること。 |
| 6 | 5 | 15 | カウント開始時、確定時、登録時、未カウント登録時、それぞれの処理時において、任意の項目の結果や付加コメントを削除することができること。 |
| 6 | 5 | 16 | カウント開始時、確定時、登録時、未カウント登録時、それぞれの処理時において、任意の項目に設定した結果や付加コメントを入力できること。 |
| 6 | 5 | 17 | 100%にならない場合、最大の項目で100%補正ができること。 |
| 6 | 5 | 18 | カウントをストップするカウント数を設定できること。 |
| 6 | 5 | 19 | カウンターの設定でM/E比を計算できること。 |
| 6 | 5 | 20 | 設定されたコメントの結果を長文で入力できること。また、入力はコメントに設定されたマスターを参照して簡便に入力できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 6 | 5 | 21 | 再検値を表示できること。 |
| 6 | 5 | 22 | 前回値を表示できること。 |
| 6 | 5 | 23 | 検査依頼内全結果を表示できること。また、同一日別検査依頼内全結果を参照できること。 |
| 6 | 5 | 24 | 設定された時系列セットの時系列結果参照画面を呼び出すことができること。 |
| 6 | 5 | 25 | 骨髓像の項目を追加してカウントできること。 |
| 6 | 5 | 26 | カウント後、所見項目の入力ができること。 |
| 6 | 5 | 27 | カウント値を保存できること。 |
| 6 | 5 | 28 | 保存したカウント値とコメント、検査者を呼び出して、継続カウントまたは採用できること。 |
| 6 | 5 | 29 | 保存したカウント値とコメント、検査者を削除できること。 |
| 6 | 5 | 30 | 保存したカウント値の平均または合計値をカウント値として呼び出すことができること。 |
| 6 | 5 | 31 | 規定のカウント数以外でカウント値を確定できること。 |
| 6 | 5 | 32 | 規定のカウント数に満たない場合は実数報告できること。 |
| 6 | 5 | 33 | 撮影画面（別プログラム）から撮影画像を取り込むことができること。 |
| 6 | 5 | 34 | 画像取り込み時に画像コメントを入力し保存できること。 |
| 6 | 5 | 35 | 報告書の出力画面を呼び出すことができること。 |
| 6 | 5 | 36 | 検査依頼を指定しないでカウントのみ行うことができる（登録不可）。 |
| 6 | 5 | 37 | 参照項目（結果変更不可）を設定できること。 |
| 6 | 5 | 38 | 骨髓像目視依頼を染色別に一覧表示し、検査状況の確認ができること。また、一覧画面からカウンター画面に遷移できること。 |
| 6 | 6 | | 沈渣カウンター |
| 6 | 6 | 1 | 受付日・受付番号、またはワークシートシーケンスを指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 6 | 2 | バーコード番号を指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 6 | 3 | オーダー番号を指定して検査依頼を呼び出し、カウンター業務ができること。 |
| 6 | 6 | 4 | カウンター該当検査依頼を一覧表示し、一覧から検査依頼を選択してカウンター業務ができること。 |
| 6 | 6 | 5 | カウンター検査を行った検査者を保存できること。 |
| 6 | 6 | 6 | キーボードに項目を割り当ててカウントできること。 |
| 6 | 6 | 7 | 依頼のない項目キーを選択したら項目を追加できること。 |
| 6 | 6 | 8 | 一覧から項目（上皮・円柱・結晶）の追加ができること。 |
| 6 | 6 | 9 | カウントのインクリメント、デクリメントを指定できること。 |
| 6 | 6 | 10 | キーに対して、それぞれインクリメント音、デクリメント音を設定できること。 |
| 6 | 6 | 11 | 100%に含まない項目を設定できること。 |
| 6 | 6 | 12 | カウント時に設定された画像を参照できること。 |
| 6 | 6 | 13 | 画像は分析装置画像、撮影画像と分けて参照できること。 |
| 6 | 6 | 14 | 画像の並びを項目単位で設定できること。 |
| 6 | 6 | 15 | カウント時に元の尿沈渣の結果値を参照できること。 |
| 6 | 6 | 16 | 未入力の項目に設定した結果を入力できること。 |
| 6 | 6 | 17 | カウント開始時、確定時、登録時、未カウント登録時、それぞれの処理時において、任意の項目の結果や付加コメントを削除することができること。 |
| 6 | 6 | 18 | カウント開始時、確定時、登録時、未カウント登録時、それぞれの処理時において、任意の項目に設定した結果や付加コメントを入力できること。 |
| 6 | 6 | 19 | 100%にならない場合、最大の項目で100%補正を行う設定ができること。 |
| 6 | 6 | 20 | 設定されたコメントの結果を長文で入力できること。入力はコメントに設定されたマスターを参照して簡便に入力できること。 |
| 6 | 6 | 21 | 再検値を表示できること。 |
| 6 | 6 | 22 | 前回値を表示できること。 |
| 6 | 6 | 23 | 検査依頼内全結果を表示できること。また、同一日別検査依頼内全結果を参照できること。 |
| 6 | 6 | 24 | 設定された時系列セットの時系列結果参照画面を呼び出すことができること。 |
| 6 | 6 | 25 | カウント項目は任意に設定できること。 |
| 6 | 6 | 26 | カウント後、所見項目の入力ができること。 |
| 6 | 6 | 27 | カウント値を保存できること。 |
| 6 | 6 | 28 | 保存したカウント値とコメント、検査者を呼び出して、継続カウントまたは採用できること。 |
| 6 | 6 | 29 | 保存したカウント値とコメント、検査者を削除できること。 |
| 6 | 6 | 30 | 保存したカウント値の平均または合計値をカウント値として呼び出すことができること。 |
| 6 | 6 | 31 | 規定のカウント数以外でカウント値を確定できること。 |
| 6 | 6 | 32 | 規定のカウント数に満たない場合は実数報告できること。 |
| 6 | 6 | 33 | 画像保存時に同時に画像コメント入力が行えること。 |
| 6 | 6 | 34 | 報告書の出力画面を呼び出すことができること。 |
| 6 | 6 | 35 | 検査依頼を指定しないでカウントのみ行うことができる（登録不可）。 |
| 6 | 6 | 36 | 必須入力項目の設定ができること。 |
| 6 | 6 | 37 | 参照項目（結果変更不可）を設定できること。 |
| 6 | 6 | 38 | 尿沈渣目視依頼を材料別に一覧表示し、検査状況の確認ができること。また、一覧画面からカウンター画面に遷移できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|----|------|--|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 6 | 7 | | 汎用カウンター |
| 6 | 7 | 1 | 上記以外のカウンター画面（穿刺液など）を作成できること。 |
| 6 | 8 | | 画像結果入力 |
| 6 | 8 | 1 | 外部メディアに保存された画像情報の取込みができ、指定した検査依頼に紐付けて保存できること。 |
| 6 | 8 | 2 | 画像項目を選択して、任意の画像を結果として取り込むことができること。 |
| 6 | 8 | 3 | 取り込んだ画像を削除できること。 |
| 6 | 8 | 4 | 画像単位にコメントを最大 6 種類まで入力できること。 |
| 6 | 8 | 5 | 取り込んだ画像の編集（文字・矢印・手書き・切り抜き）ができること。 |
| 6 | 8 | 6 | 画像を編集後、上書き・追加保存を選択できること。 |
| 6 | 9 | | 結果値・付加コメントの制限 |
| 6 | 9 | 1 | 検査結果を最大 5 1 2 文字まで入力できること。 |
| 6 | 9 | 2 | 1 つの項目結果に対し、最大 2 つまで結果コメントコードを付随できること。 |
| 6 | 9 | 3 | 1 つの項目結果に対し、最大 2 つまで結果フリーコメントを付随できること。 |
| 6 | 9 | 4 | 数字結果の小数桁数をマスターで規定できること。 |
| 6 | 9 | 5 | 特定の項目に対し、入力結果を制限できること。 |
| 6 | 9 | 6 | 数字結果入力時にマスター条件により自動で付加コメントを付随できること。 |
| 6 | 10 | | 計算項目 |
| 6 | 10 | 1 | 計算項目の要素に結果入力されると速やかに計算処理が行われ、計算項目に計算値が入力されること。 |
| 6 | 10 | 2 | 計算項目の要素の依頼が不足している場合は、計算項目を検査済みまたは未検査として処理できること。 |
| 6 | 10 | 3 | 計算項目の要素に計算不能な結果が入力された場合は、任意に設定した結果が計算結果に入力されること。 |
| 6 | 10 | 4 | 計算項目の要素が不足している場合は、設定した結果コメントを入力することができること。 |
| 6 | 10 | 5 | 計算項目の要素の条件で、計算結果に任意の結果を入れることができること。 |
| 6 | 10 | 6 | 計算項目の要素を未検査に戻した場合、計算項目の結果は未検査に戻されること。 |
| 6 | 10 | 7 | 計算項目に直接結果を入れた場合、結果はそのまま反映されること。 |
| 6 | 10 | 8 | 計算項目の要素が結果無し（カンマ）の場合、結果を 0 または 1 に置き換えて計算できること。 |
| 6 | 10 | 9 | 通常登録は結果修正が行われた項目に対してのみ処理できること。 |
| 7 | | | 検査データチェック設定 |
| 7 | 1 | | 検査結果精度管理 |
| 7 | 1 | 1 | 基準値（HL）チェックができること。 |
| 7 | 1 | 2 | 基準値チェックは、年齢、性別、透析フラグ、手術フラグ、依頼元を判定条件に設定できること。 |
| 7 | 1 | 3 | 警告値チェックができる（警告値は、基準値とパニック値の中間的な値）。 |
| 7 | 1 | 4 | パニック値チェックができること。 |
| 7 | 1 | 5 | 前回値チェックができること。 |
| 7 | 1 | 6 | 前回値チェックは、年齢、性別、透析フラグ、手術フラグ、依頼元を判定条件に設定できること。 |
| 7 | 1 | 7 | 前回値エラー条件は差と比の設定が可能で、両方または片方のエラーによってエラーと判定できること。 |
| 7 | 1 | 8 | 定性値は定性値として、基準値、警告値、パニック値、前回値エラーが設定できること。 |
| 7 | 1 | 9 | 項目間チェックができること。 |
| 7 | 1 | 10 | 項目間チェックは年齢、性別、透析フラグ、手術フラグ、依頼元を判定条件に設定できること。 |
| 7 | 1 | 11 | 項目間チェックは、対象項目同士の計算値、または対象項目同士の定性値比較を設定できること。 |
| 7 | 1 | 12 | 項目間チェックを定性値比較で行う場合、それぞれの項目の定性値を 2 0 種類まで判定比較できること。 |
| 7 | 1 | 13 | 項目間チェックにてエラー判定の場合、入力項目のみをエラーとするか、対象項目すべてをエラーとするかを選択できること。 |
| 7 | 1 | 14 | 異常値を基準値チェック、警告値チェック、パニック値チェック、前回値チェック、項目間チェックの任意の組み合わせで、項目ごとに設定できること。 |
| 7 | 2 | | 管理検体精度管理 |
| 7 | 2 | 1 | データ入力時に、マルチルールに基づいたチェックができること。 |
| 7 | 2 | 2 | QC 検体でのデータ異常が発生した場合、以後の測定データをエラーにできること。 |
| 7 | 2 | 3 | QC 検体でのデータ異常が発生した場合、患者検体の自動登録を止めることができること。 |
| 7 | 2 | 4 | 画面上で QC 検体での異常状況を識別できること。 |
| 7 | 3 | | 検査異常値 |
| 7 | 3 | 1 | 精度管理の結果により、結果を異常値とする条件が設定できること。 |
| 7 | 3 | 2 | 異常値と判定された結果はワークシート毎に、自動で付加コメント（再検指示など）をつけることができること。 |
| 8 | | | 外注検査 |
| 8 | 1 | | 外注依頼作成 |
| 8 | 1 | 1 | 外注業者毎に設定された条件で検査依頼情報（到着済み・未検査分）を MEDISフォーマットに準拠した形式で、指定された媒体、ファイルに出力できること。 |

| | | | |
|---------|---|----|--|
| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 8 | 1 | 2 | ファイルに出力した情報を設定された印字形式で印刷できること。 |
| 8 | 1 | 3 | ファイル出力順は、受付番号順、到着順、分注順から選択できること。 |
| 8 | 1 | 4 | 過去に作成した依頼情報を参照し、外注依頼情報を再作成・再印字できること。 |
| 8 | 1 | 5 | 依頼ファイルを分注順に作成する場合は、分注された項目を対象に依頼情報を作成できること。 |
| 8 | 1 | 6 | 項目コード変換形式を外注業者毎に設定できること。 |
| 8 | 1 | 7 | 指定範囲内の該当項目情報を出力できること。 |
| 8 | 1 | 8 | 依頼ファイルと依頼リストの出力管理ができること。 |
| 8 | 1 | 9 | ファイル出力しない形で一覧・リスト出力できること。 |
| 8 | 1 | 10 | 出力対象外の依頼元を選択できること。 |
| 8 2 | | | 外注結果取込業務 |
| 8 | 2 | 1 | 外注業者毎に設定された条件でMEDISフォーマットに準拠した形式の結果ファイルを読み込み、外注検査結果をシステムに取り込むことができること。 |
| 8 | 2 | 2 | 取り込み時に取り込み結果を印刷できること。 |
| 8 | 2 | 3 | 取り込み時にエラーとなった内容を印刷できること。 |
| 8 | 2 | 4 | 既に登録済みの結果に対して、上書きする／しないを設定できること。 |
| 8 | 2 | 5 | 外注業者からの画像ファイルを取り込むことができること。 |
| 8 | 2 | 6 | 任意のフォルダーを監視し、リアルタイムで結果ファイルを取り込めること。 |
| 8 3 | | | 外注検査状況確認 |
| 8 | 3 | 1 | 外注業者、受付日範囲を指定し、外注検査項目の未到着／到着済み、外注未依頼／依頼済みの情報を検査依頼属性情報と容器情報毎に一覧表示できること。 |
| 8 | 3 | 2 | 各検査依頼内の容器を選択すると、その容器に該当する外注項目を表示できること。 |
| 8 | 3 | 3 | 検査依頼情報は、受付日受付番号順、患者カナ名順、患者ID順、到着順で並び順を指定できること。 |
| 9 | | | 台帳 |
| 9 | 1 | 1 | 部門、依頼科、病棟、対象容器、対象項目種別（緊急区分、内外区分、院内外）を指定し、以下の帳票を出力できること。また項目に関しては子項目を出力しない指定ができること。 |
| 9 | 1 | 1 | ・依頼リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・結果リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・未検査リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・未到着リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・未受付リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・未到着／未検査リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・未到着／検査なしリスト |
| 9 | 1 | 1 | ・ワークシート依頼リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・コメントリスト |
| 9 | 1 | 1 | ・未承認リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・一部未承認リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・受取済み／未到着リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・一部受取済みリスト |
| 9 | 1 | 1 | ・予約リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・ラベル発行済み未到着リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・特定項目リスト（この場合特定結果の指定が必要） |
| 9 | 1 | 1 | ・採取指示リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・送信台帳 |
| 9 | 1 | 1 | ・外注報告期限切れリスト |
| 9 | 1 | 1 | ・異常値リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・報告異常値リスト |
| 9 | 1 | 1 | ・パニック値リスト |
| 9 | 1 | 1 | 依頼科に報告義務のある異常値に該当した検査結果をリスト印刷できること。 |
| 9 | 1 | 2 | 各種リストは、条件に該当した検査依頼一覧が画面に表示され、必要に応じて印刷できること。 |
| 9 | 1 | 3 | 帳票のレイアウトは帳票設定にて設定が可能であり、イメージ確認できること。 |
| 9 | 1 | 4 | 未到着リストの検索範囲は、時間範囲でも指定できること。 |
| 9 | 1 | 5 | 出力帳票種類を設定できること。 |
| 10 | | | 検査報告 |
| 10 1 | | | 報告書一括作成 |
| 10 | 1 | 1 | 報告書、対象科病棟などを選択し（複数可能）、報告書を印刷できること。 |
| 10 | 1 | 2 | 報告書出力範囲条件は受付日番号範囲または結果更新時間範囲にて指定できること。 |
| 10 | 1 | 3 | 報告書、患者IDを指定し、報告書を印刷できること。 |
| 10 | 1 | 4 | 報告書は履歴情報より再印刷できること。 |
| 10 | 1 | 5 | 報告書に印字する情報やレイアウトは帳票設定にて設定が可能であり、イメージ確認できること。 |
| 10 | 1 | 6 | 追加報告先に報告書を印刷できること。 |
| 10 2 | | | 自動報告書作成 |
| 10 | 2 | 1 | 設定項目の結果情報がそろった時点で、自動でプリンター印刷またはFAX送信できること。 |
| 10 | 2 | 2 | 報告書は通常FAX先または、追加FAX先に印刷できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 10 | 2 | 3 | 送信先 F A X に送信できなかった場合、あらかじめ指定したプリンタに印刷できること。 |
| 10 | 2 | 4 | 送信先 F A X に送信できなかった場合、アラートで知らせる機能があること。 |
| 10 | 2 | 5 | 報告異常値に該当した検査結果のみリアルタイムで報告書を送信できること。 |
| 10 | 2 | 6 | パニック値に該当した検査結果のみリアルタイムで報告書を送信できること。 |
| 10 | 3 | | 画像報告書作成 |
| 10 | 3 | 1 | 画像の選択ができること。 |
| 10 | 3 | 2 | 画像の編集（文字・矢印・手書き・切り抜き）ができること。 |
| 10 | 3 | 3 | 画像を編集後、上書き・追加保存を選択できること。 |
| 10 | 3 | 4 | 画像報告用の所見が入力できること。 |
| 10 | 3 | 5 | コメントの入力ができること。 |
| 10 | 3 | 6 | 報告書のレイアウトをテンプレートとし、画像報告書作成ができること。 |
| 10 | 3 | 7 | 報告書のレイアウトのテンプレートには、実際の検査依頼の属性情報を表示できること。 |
| 10 | 3 | 8 | 検査依頼の全項目結果を参照できること。 |
| 10 | 3 | 9 | 過去に入力したコメントを参照し、同一コメント情報を入力できること。 |
| 10 | 3 | 10 | 画像報告書の印刷ができること。 |
| 10 | 4 | | 帳票設定 |
| 10 | 4 | 1 | 帳票の基本設定ができること（用紙サイズ、余白など）。 |
| 10 | 4 | 2 | 任意の文字を印字座標、文字フォントなど指定し、印刷設定できること。 |
| 10 | 4 | 3 | 項目を印刷する条件設定ができること。 |
| 10 | 4 | 4 | 任意の報告書項目グループを定義し、依頼があったものだけ印刷する設定ができること。 |
| 10 | 4 | 5 | 参照項目（報告書に印刷するが、それだけでは出力対象としない）の設定ができること。 |
| 10 | 4 | 6 | 項目名、結果、H L マーク、付加コメントなどの印刷位置設定ができること。 |
| 10 | 4 | 7 | 患者属性、検査属性の印刷位置設定ができること。 |
| 11 | | | 検査結果照会 |
| 11 | 1 | | 検査結果照会 |
| 11 | 1 | 1 | 患者 I D 指定により、検索期間範囲の検査依頼一覧を表示できること。 |
| 11 | 1 | 2 | 患者 I D を受付日・受付番号から特定し検索できること。 |
| 11 | 1 | 3 | 患者 I D をバーコード番号から特定し、検索できること。 |
| 11 | 1 | 4 | 患者 I D をオーダ番号（H I S 番号）から特定し検索できること。 |
| 11 | 1 | 5 | 患者 I D をカナ名から候補一覧を表示し、その一覧から患者を特定し検索できること。 |
| 11 | 1 | 6 | 検索結果の検査依頼一覧モニターより検査依頼を選択し、患者の検査情報を参照できること。 |
| 11 | 1 | 7 | 検査依頼一覧の並びは、検査開始時刻順、受付日受付番号順のいずれかを選択できること。 |
| 11 | 1 | 8 | 検査結果を参照できること。 |
| 11 | 1 | 9 | 表示項目を任意に選択し、絞り込むことができること。 |
| 11 | 1 | 10 | 検査属性を参照できること。 |
| 11 | 1 | 11 | 採取容器情報、分注容器情報を参照できること。 |
| 11 | 1 | 12 | 検査コメント情報を参照できること。 |
| 11 | 1 | 13 | 検査画像を参照できること。 |
| 11 | 1 | 14 | 報告書または F A X を選択し出力できること。 |
| 11 | 1 | 15 | 全項目結果リストを出力できること。 |
| 11 | 1 | 16 | 検査項目を指定し、T A T グラフを表示できること。 |
| 11 | 1 | 17 | 検査項目グループを指定し、検査結果を表示できること。 |
| 11 | 2 | | 時系列結果照会 |
| 11 | 2 | 1 | 患者 I D 指定により、患者の検査依頼・結果一覧を検索できること。 |
| 11 | 2 | 2 | 患者 I D を受付日・受付番号から特定し検索できること。 |
| 11 | 2 | 3 | 患者 I D をバーコード番号から特定し、検索できること。 |
| 11 | 2 | 4 | 患者 I D をオーダ番号（H I S 番号）から特定し検索できること。 |
| 11 | 2 | 5 | 患者 I D をカナ名から候補一覧を表示し、その一覧から患者を特定し検索できること。 |
| 11 | 2 | 6 | マスターで設定された項目グループを指定して時系列の結果を参照できること。また、個別項目選択により表示項目の追加ができること。 |
| 11 | 2 | 7 | 時系列結果参照は選択項目、透析情報、手術情報で絞って表示できること。 |
| 11 | 2 | 8 | 時系列検索によって表示される内容（結果、付加コメントなど）は設定により選択できること。 |
| 11 | 2 | 9 | 検査属性、コメント、画像、詳細属性を参照できること。 |
| 11 | 2 | 10 | 検索結果をエクセル形式のファイルに保存できること。 |
| 11 | 2 | 11 | 検索結果をグラフ表示できること。 |
| 11 | 2 | 12 | 検索結果をレーダーチャート表示できること。 |
| 11 | 2 | 13 | 対象項目が複数世代存在する場合、世代管理ができること。 |
| 11 | 3 | | 問い合わせ照会 |
| 11 | 3 | 1 | 指定した日から最大 7 日間まで、入外・科病棟・医師により検査依頼一覧を絞り込み、選択した検査依頼の検査情報を照会できること。 |
| 11 | 3 | 2 | 患者 I D 指定により、検索対象検査依頼を絞り込み、検査情報を照会できること。 |
| 11 | 3 | 3 | 検査結果の結果リストを印刷できること。 |
| 11 | 3 | 4 | 問い合わせ照会画面から各報告書の印刷ができること。 |
| 12 | | | 統計業務・抽出 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 12 | 1 | | 検査集計 |
| 12 | 1 | 1 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、保険点数包括集計ができること。 |
| 12 | 1 | 2 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、月別保険点数包括集計ができること。 |
| 12 | 1 | 3 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、日別項目件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 4 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、月別項目件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 5 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、依頼元別項目件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 6 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、医師別項目件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 7 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、日別部門別オーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 8 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、月別部門別オーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 9 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、日別依頼元別オーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 10 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、月別依頼元別オーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 11 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、日別集計部門別オーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 12 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、月別集計部門別オーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 13 | 条件（検索範囲、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、依頼元別集計部門別オーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 1 | 14 | 集計結果はエクセル形式のファイルとして保存できること。 |
| 12 | 1 | 15 | 出力するファイルレイアウトを自由に設定できること。 |
| 12 | 1 | 16 | 集計結果を印刷できること。 |
| 12 | 2 | | 容器件数集計 |
| 12 | 2 | 1 | 条件（検索範囲、緊急区分、容器、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、日別容器件数集計ができること。 |
| 12 | 2 | 2 | 条件（検索範囲、緊急区分、容器、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、月別容器件数集計ができること。 |
| 12 | 2 | 3 | 条件（検索範囲、緊急区分、容器、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、依頼元別容器件数集計ができること。 |
| 12 | 2 | 4 | 条件（検索範囲、緊急区分、容器、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、日別容器グループ件数集計ができること。 |
| 12 | 2 | 5 | 条件（検索範囲、緊急区分、容器、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、月別容器グループ件数集計ができること。 |
| 12 | 2 | 6 | 条件（検索範囲、緊急区分、容器、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、依頼元別容器グループ件数集計ができること。 |
| 12 | 2 | 7 | 集計結果はエクセル形式のファイルとして保存できること。 |
| 12 | 2 | 8 | 出力するファイルレイアウトを自由に設定できること。 |
| 12 | 2 | 9 | 集計結果を印刷できること。 |
| 12 | 3 | | 時間帯別件数集計 |
| 12 | 3 | 1 | 条件（検索期間、集計時刻、集計対象時刻ポイント、緊急区分、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、時間帯別依頼元別のオーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 3 | 2 | 条件（検索期間、集計時刻、集計対象時刻ポイント、緊急区分、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、時間帯別部門別のオーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 3 | 3 | 条件（検索期間、集計時刻、集計対象時刻ポイント、緊急区分、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、時間帯別集計部門別のオーダー件数集計ができること。 |
| 12 | 3 | 4 | 条件（検索期間、集計時刻、集計対象時刻ポイント、緊急区分、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、時間帯別の容器件数集計ができること。 |
| 12 | 3 | 5 | 条件（検索期間、集計時刻、集計対象時刻ポイント、緊急区分、部門、医師、入外区分、依頼元）を指定する事により、時間帯別の容器グループ件数集計ができること。 |
| 12 | 3 | 6 | 集計結果はエクセル形式のファイルとして保存できること。 |
| 12 | 3 | 7 | 出力するファイルレイアウトを自由に設定できること。 |
| 12 | 3 | 8 | 集計結果を印刷できること。 |
| 12 | 4 | | 分析装置別件数集計 |
| 12 | 4 | 1 | 条件（検索範囲、測定時刻範囲、緊急区分、再検状況、分析装置、入外区分、依頼元）を指定する事により、分析装置毎に項目件数集計ができること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 12 | 4 | 2 | 条件（検索範囲、測定時刻範囲、緊急区分、再検状況、分析装置、入外区分、依頼元）を指定する事により、分析装置毎に容器件数集計ができること。 |
| 12 | 4 | 3 | 集計結果はエクセル形式のファイルとして保存できること。 |
| 12 | 4 | 4 | 出力するファイルレイアウトを自由に設定できること。 |
| 12 | 4 | 5 | 集計結果を印刷できること。 |
| 12 | 5 | | データ抽出 |
| 12 | 5 | 1 | 検索条件（検索範囲、対象項目、対象属性、依頼元、項目結果条件など）を指定し、条件に合致した検査データを抽出しCSVファイル、エクセルファイルに出力できること。 |
| 12 | 5 | 2 | 検索条件をログインユーザーごと、または全ユーザー共通で保存することができ、保存した条件を読み入れること。 |
| 12 | 5 | 3 | データ抽出対象項目はマスターからグループコード指定で選択するか、または個別項目選択により追加できること。 |
| 12 | 5 | 4 | 属性（性別、血液型など）だけの指定でも抽出できること。 |
| 12 | 5 | 5 | QC結果も抽出できること。 |
| 12 | 5 | 6 | 画像ファイルも抽出できること。 |
| 12 | 5 | 7 | 検査コメントも抽出できること。 |
| 12 | 5 | 8 | 感染症情報も抽出できること。 |
| 12 | 5 | 9 | 結果コメントや結果判定の条件を指定して抽出できること。 |
| 12 | 5 | 10 | 抽出する項目に対して任意の結果値のみ抽出する条件を設定できること。 |
| 12 | 5 | 11 | 複数項目の結果値条件を組み合わせで抽出できること。 |
| 12 | 6 | | 当直日誌 |
| 12 | 6 | 1 | 検査の当直時間帯を設定し、その時間内の検査内容をファイルに出力できること。 |
| 12 | 6 | 2 | 集計対象とする検査項目は、マスターで設定できること。 |
| 12 | 6 | 3 | 集計条件として、特定の端末で到着確認した検査依頼のみ抽出対象にできること。 |
| 13 | | | 精度管理 |
| 13 | 1 | | リアルタイム精度管理 |
| 13 | 1 | 1 | リアルタイムで精度管理検体データを一覧表示・監視を行い、警告発生時にエラー表示および音を鳴らすことができること。 |
| 13 | 1 | 2 | 精度管理検体データから、精度管理グラフを表示できること。 |
| 13 | 1 | 3 | 同一項目で複数濃度のコントロール結果の場合、2濃度間における分布表示ができること。 |
| 13 | 1 | 4 | 精度管理グラフの一覧表示・監視ができること。 |
| 13 | 1 | 5 | マルチルールチェックエラーに該当した精度管理検体を絞り込んで表示できること。 |
| 13 | 2 | | X-R管理 |
| 13 | 2 | 1 | 指定期間、指定コントロール検体の管理血清の測定一覧を表示できること。 |
| 13 | 2 | 2 | 指定期間、指定コントロール検体の項目を複数選択しX-R、X-Rs、X-S、X-Rs-R、日内変動の何れかのグラフを一覧表示できること。 |
| 13 | 2 | 3 | 一覧から選択してグラフ、データの印刷、データの出力（CSV、エクセル）ができること。 |
| 13 | 2 | 4 | 一覧から選択したグラフを重ねて表示し、グラフ、データの印刷、データの出力（CSV、エクセル）ができること。 |
| 13 | 2 | 5 | 上記は日内データ、日差データ、日差データ+日内データを対象として表示できること。 |
| 13 | 2 | 6 | 精度管理報告を分析装置毎に一覧表で出力できること（平均値、SD、CV、R）。 |
| 13 | 2 | 7 | 画面に表示するグラフを5段階表示で拡大、縮小できること。 |
| 13 | 2 | 8 | 表示する分析装置、コントロールを予め定義・登録し、呼び出せること。 |
| 13 | 2 | 9 | 項目単位、またはコントロール単位にコメントを登録することができること。 |
| 13 | 2 | 10 | 任意のコントロールを選択し、コントロールの情報を引き継いでツインプロット参照画面に遷移できること。 |
| 13 | 3 | | ツインプロット |
| 13 | 3 | 1 | 指定期間、指定コントロール検体、項目をX軸Y軸に選択し、日内、日差データをツインプロット表示できること。 |
| 13 | 3 | 2 | 最大4種類のグラフを表示できること。 |
| 13 | 3 | 3 | 表示するコントロールを予め定義・登録し、呼び出せること。 |
| 13 | 4 | | 精度管理マスター |
| 13 | 4 | 1 | 精度管理マスターは管理物質のロット番号で管理でき、管理物質毎に値（平均値）などを入力できること。 |
| 13 | 4 | 2 | 世代管理機能を持ち、使用前に管理物質の値を入力できること。 |
| 13 | 4 | 3 | 検査システムに登録されている管理物質の測定結果から、精度管理基準値の設定できること。 |
| 13 | 4 | 4 | CSVファイルの管理物質の測定結果を取り込んで、精度管理基準値を設定できること。 |
| 13 | 5 | | 精度管理データ出力 |
| 13 | 5 | 1 | データの集計期間、抽出日数、分析装置、コントロールを条件とし、内部精度管理データを出力できること。 |
| 13 | 5 | 2 | 出力した内部精度管理データをもとに、コントロールごとに不確かさを算出し（日本臨床検査標準協議会（JCCLS）提供の出力形式を参考とする）、また装置ごとに不確かさの推定一覧を作成できること。 |
| 14 | | | 検査工程管理 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 14 | 1 | | 検査状況モニター |
| 14 | 1 | 1 | 検査の進捗状況を一画面で表示できること。 |
| 14 | 1 | 2 | 画面への表示情報は、任意に設定できること。 |
| 14 | 1 | 3 | 表示内容を絞り込む条件を任意に設定できること。 |
| 14 | 1 | 4 | 表示条件として、受付日、検査グループ、並び順が指定できること。 |
| 14 | 1 | 5 | 表示内容は列名でソートできること。 |
| 14 | 1 | 6 | 表示内容の開始条件（依頼済み、出力済み、受取済み、到着済み）を時間帯別、入外区分別に任意に設定できること。 |
| 14 | 1 | 7 | 表示内容の終了条件（すべて確定済み、すべて送信済み、すべて印刷済み）を任意に設定できること。 |
| 14 | 1 | 8 | 表示されている情報について、患者ID、受付番号を条件に検索できること。 |
| 14 | 1 | 9 | 警告開始条件から、一定期間を超えた場合、「警告」、「限界」のアイコンで知らせることができること。 |
| 14 | 1 | 10 | 「警告」、「限界」の時刻設定は、入外区分別、依頼状態別（ルーチン・緊急・至急・時間外）に設定できること。 |
| 14 | 1 | 11 | 表示される検査依頼をクリックすると、検査依頼内項目一覧を表示することができること。 |
| 14 | 2 | | 検査統合モニター |
| 14 | 2 | 1 | 項目グループごとの検査の進捗状況を一画面で表示できること。 |
| 14 | 2 | 2 | 画面への表示情報は、任意に設定できること。 |
| 14 | 2 | 3 | 表示内容を絞り込む条件を任意に設定できること。 |
| 14 | 2 | 4 | 表示条件として、受付日、検査グループ、並び順が指定できること。 |
| 14 | 2 | 5 | 表示内容は列名でソートできること。 |
| 14 | 2 | 6 | 表示内容の開始条件（依頼済み、出力済み、受取済み、到着済み）を時間帯別、入外区分別に任意に設定できること。 |
| 14 | 2 | 7 | 表示内容の終了条件（すべて確定済み、すべて送信済み、すべて印刷済み）を任意に設定できること。 |
| 14 | 2 | 8 | 表示されている情報について、患者ID、受付番号を条件に検索できること。 |
| 14 | 2 | 9 | 警告開始条件から、一定期間を超えた場合、「警告」、「限界」のアイコンで知らせることができること。 |
| 14 | 2 | 10 | 「警告」、「限界」の時刻設定は、入外区分別、依頼状態別（ルーチン・緊急・至急・時間外）に設定できること。 |
| 14 | 2 | 11 | 表示される検査依頼をクリックすると、検査依頼内項目一覧を表示することができること。 |
| 14 | 3 | | ターンアラウンドタイム（TAT） |
| 14 | 3 | 1 | TAT集計ができること。 |
| 14 | 3 | 2 | 結果をファイル出力できること。 |
| 14 | 3 | 3 | 計測業務ポイントは10ポイント以上あること。 |
| 14 | 3 | 4 | 抽出条件をログオンユーザーごと、または全ユーザー共通で保存することができ、保存した条件を読み込めること。 |
| 15 | | | マスター |
| 15 | 1 | | 患者情報入力 |
| 15 | 1 | 1 | 患者属性情報の入力、訂正、削除が可能であること。また、登録済みの属性情報については、ID入力時に自動的に該当する属性が表示されること。 |
| 15 | 1 | 2 | 検査結果と連動し、患者の感染症情報を更新できること。 |
| 15 | 1 | 3 | 患者の感染症情報は、履歴表示できること。 |
| 15 | 1 | 4 | 血液型検査結果と連動し、患者の血液型情報を更新できること。 |
| 15 | 1 | 5 | 患者の付帯情報は、履歴表示できること。 |
| 15 | 2 | | 業務移行メニュー |
| 15 | 2 | 1 | 各アプリケーションから他のアプリケーションに遷移できるボタンをアプリケーション単位で設定できること。 |
| 15 | 2 | 2 | 他のアプリケーションに遷移する際は元アプリケーションにて参照していた検査依頼情報を引き継いで遷移できること。 |
| 15 | 3 | | アプリケーション画面構成設定 |
| 15 | 3 | 1 | 各アプリケーションのカラムの表示内容や並び順を容易に変更できること。 |
| 15 | 4 | | マスターメンテナンス |
| 15 | 4 | 1 | 権限のあるユーザーのみメンテナンスできること。 |
| 15 | 4 | 2 | 項目情報・容器情報・精度管理検体情報に関してはマスターの世代管理ができること。 |
| 15 | 4 | 3 | マスターの内容に関して十分に教育すること。 |
| 15 | 4 | 4 | マスターの更新管理として、更新コメントを残せること。 |
| 15 | 4 | 5 | マスターの更新管理として、「いつ」、「だれが」更新したかを残せること。 |
| 15 | 4 | 6 | 更新管理の情報を条件指定（「期間」「マスター」「更新端末」「更新者」）し、抽出できること。 |
| 15 | 4 | 7 | マスター整合性チェックが、手動・自動（定時起動）で行えること。 |
| 15 | 4 | 8 | マスターに不整合があった場合、メッセージ表示で通知できる機能があること。 |
| 15 | 4 | 9 | マスターの設定時にナビゲーションが表示されること。 |
| 15 | 4 | 10 | 複数項目のマスター内容を一括で設定できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社エイアンドティー |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 検体検査システム |
| パッケージ名 | | | CLINILAN GL-3 |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 16 | | | システム利用者間コミュニケーション機能 |
| 16 | 1 | 1 | メニューウインドウで、メッセージの有無を確認できること。 |
| 16 | 1 | 2 | メッセージの受信ボックスで、既読/未読、分類、受信日時、送信者、メッセージ内容を確認できること。 |
| 16 | 1 | 3 | 利用者単位、または利用者区分、または全利用者に対して、メッセージの分類を指定して、メッセージを送信できること。 |
| 16 | 1 | 4 | メッセージ送信では、選択した任意の端末に対して送信できること。 |
| 16 | 1 | 5 | 利用者へ送信したメッセージの既読確認ができること。 |
| 17 | | | 負荷テストツール |
| 17 | 1 | 1 | テストオーダーを自動作成し、登録した処理時間を計測できること。 |
| 17 | 1 | 2 | 依頼を作成した処理時間を計測できること。 |
| 17 | 1 | 3 | ラベル出力指示をした処理時間を計測できること。 |
| 17 | 1 | 4 | ラベル管理情報をラベル出力済みに更新した処理時間を計測できること。 |
| 17 | 1 | 5 | 到着確認した処理時間を計測できること。 |
| 17 | 1 | 6 | 結果入力した処理時間を計測できること。 |
| 17 | 1 | 7 | 依頼作成する件数を指定できること。 |
| 17 | 1 | 8 | 依頼作成、到着確認、結果入力等を並列に処理して計測するか、時間を空けて処理するかを指定できること。 |
| 17 | 1 | 9 | テストオーダーする患者 I D の範囲を指定できること。 |
| 17 | 1 | 10 | 項目をランダムにオーダーするか、依頼項目を指定するか選択できること。 |
| 17 | 1 | 11 | 1 オーダーに対する依頼項目数を指定できること。 |
| 17 | 1 | 12 | オーダーする依頼科、病棟を指定できること。 |
| 17 | 1 | 13 | ラベル出力先を指定できること。 |
| 17 | 1 | 14 | 件数 (%) と処理時間の分布グラフが表示できること。 |
| 17 | 1 | 15 | 任意の期間で最も時間のかかった処理時間と、全体の経過時間の分布グラフが表示できること。 |
| 17 | 1 | 16 | テストした処理時間を C S V ファイルに出力できること。 |
| 18 | | | 院内システム連携関連 |
| 18 | 1 | | 病院情報システム (H I S) 連携 |
| 18 | 1 | 1 | 電子カルテシステムとの接続実績が豊富であること。(年 2 0 施設程度を目安とする) |
| 18 | 1 | 2 | 病院情報システムとの接続は、 T C P / I P プロトコルによるソケット通信でのデータ連携ができること。 |
| 18 | 1 | 3 | 依頼情報の受信ができること。 |
| 18 | 1 | 4 | 検査結果の送信ができること。 |
| 18 | 2 | | 他社システム連携 |
| 18 | 2 | 1 | 他システムとの接続実績が豊富であること。 |
| 19 | | | セキュリティ、ダウン対策 |
| 19 | 1 | 1 | 端末起動時だけでなく、検査システムメニューの起動時にも認証 I D (ログオン I D ・パスワード) を入力する機能を有していること。 |
| 19 | 1 | 2 | 各検査技師別に認証 I D (ログオン I D ・パスワード) を設定できること。 |
| 19 | 1 | 3 | ログオン時に、 F e l i c a カードなどの R F I D を使用してログオン、ログオフができること。 |
| 19 | 1 | 4 | パスワードの長さ・複雑さを設定できること。 |
| 19 | 1 | 5 | パスワードエラー回数を設定できること。 |
| 19 | 1 | 6 | 個人認証 I D 別に実行できる業務の権限 (アクセス権限) を設定できること。 |
| 19 | 1 | 7 | 操作者の権限レベルに応じたメニュー表示する機能を有すること。 |
| 19 | 1 | 8 | 各検査技師が操作した履歴を保存し、表示できる (データ入出力のすべての履歴管理 [技師名・時間・項目名・変更前データ・変更後データなど]) 。 |
| 19 | 1 | 9 | 設定により患者氏名を非表示にする機能を有すること。 |
| 19 | 1 | 10 | バックアップサーバへの切替操作が容易であること。 |
| 19 | 1 | 11 | マスターやデータの登録・変更時の情報 (「いつ」「誰が」「どこで」「何を」「どのように」といった要素) を保存し、参照できること。 |
| 19 | 1 | 12 | 特定患者を参照した情報 (「いつ」「誰が」「どこで」「だれを」といった要素) を保存し、参照できること。 |
| 19 | 1 | 13 | 入出力ファイル (外注依頼、外注結果、 C S V ファイルなど) の情報を保存し、参照できること。 |
| 19 | 1 | 14 | ログファイルを暗号化できること。 |
| 20 | | | その他 |
| 20 | 1 | 1 | システム操作方法ツールとしてのヘルプメニューを有すること。 |
| 20 | 1 | 2 | 日本語版の操作マニュアルを提供できること。 |
| 20 | 1 | 3 | 画面表示、説明マニュアルは可能な限り日本語表示されていること。 |
| 20 | 1 | 4 | 各種マスターの設定は、ユーザーが設定できること。 |
| 20 | 1 | 5 | 新規項目の追加が容易に行え、使用開始日を指定できること。 |
| 20 | 1 | 6 | 検査稼動中でも E X C E L 、 W O R D などのソフトが無理なく使用できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | ベックマン・コールター株式会社 |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 細菌検査システム |
| パッケージ名 | | | SMILE Honest |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | 1 | | 共通機能 |
| 1 | 1 | 1 | ログインユーザーの権限により、機能を制限できること |
| 1 | 1 | 2 | エラー発生時、一覧画面にてエラー内容を確認できること |
| 1 | 1 | 3 | 画面レイアウトはマスタ設定で変更できること |
| 1 | 1 | 4 | 帳票レイアウトはExcel形式であり、Excelを編集することで変更できること |
| 1 | 1 | 5 | 統計の出力項目をマスタ設定で変更できること |
| 1 | 1 | 6 | コードによる入力時、マスタの参照入力ができること |
| 1 | 1 | 7 | マスタの参照入力時、名称の一部を入力することで、マスタ表示内容の絞り込めること |
| 1 | 1 | 8 | コードによる入力時、コード入力エリアと名称表示エリアを同一とすることでマスタの参照をより多くできること |
| 1 | 1 | 9 | 一覧画面から詳細画面、詳細画面から前回値画面、帳票出力画面等への遷移が簡単にできること |
| 1 | 1 | 10 | 詳細入力画面の表示検体に関するワークシートや培地ラベルなどの帳票をワンボタンで出力できること |
| 1 | 1 | 11 | 帳票毎に専用の出力指示画面を設定でき、出力条件も複数設定できること |
| 1 | 1 | 12 | データの抽出条件は初期値の設定が可能であり、初期値は必要に応じて変更できること |
| 1 | 1 | 13 | 日付を条件とした範囲指定時、カレンダーによる日付指定ができること |
| 1 | 1 | 14 | 日付を条件とした範囲指定時、カレンダーにて開始と終了を一度に指定できること |
| 1 | 1 | 15 | 各画面のメニューボタンはマスタ設定により変更できること |
| 1 | 1 | 16 | 各画面のメニューボタンは24個以上設定できること |
| 1 | 1 | 17 | 各画面のファンクション（操作処理）ボタンはマスタ設定で変更できること |
| 1 | 1 | 18 | 各画面のファンクション（操作処理）ボタンは稼働後も容易に変更できること |
| 1 | 1 | 19 | 各画面のファンクション（操作処理）ボタンは1画面につき、48種類以上設定できること |
| 1 | 1 | 20 | ログインユーザー毎に権限レベルを設定でき、メニュー及びサブメニューの表示内容を変更できること |
| 1 | 1 | 21 | ワイドモニターに対応できること |
| 1 | 1 | 22 | 市中感染か院内感染かを判断する材料とするため、入院日と採取日より入院日数を算出できること |
| 1 | 2 | | 到着確認 |
| 1 | 2 | 1 | 電子カルテ又はオーダーリングシステムで出力された採取ラベルバーコードを読み取り、検体の到着確認ができること |
| 1 | 2 | 2 | 一般細菌、抗酸菌、迅速検査の到着確認ができること |
| 1 | 2 | 3 | 一般細菌は、材料グループ毎に検体番号の番号帯を指定し、到着確認ができること |
| 1 | 2 | 4 | 採取予定日が過ぎたオーダー情報は、一括で削除できること |
| 1 | 2 | 5 | 到着確認時、電子カルテ又は上位システムに対し、受付電文の送信ができること |
| 1 | 2 | 6 | 到着確認時、培地ラベルの出力ができること |
| 1 | 2 | 7 | 到着確認時、血液培養装置へ依頼送信ができること |
| 1 | 2 | 8 | 到着確認を実施した検体の依頼詳細情報を画面に表示できること |
| 1 | 3 | | 受付入力 |
| 1 | 3 | 1 | 受付入力時、1検体ごとに検査依頼と患者属性情報の登録及び訂正ができること |
| 1 | 3 | 2 | 受付入力時、検体番号の自動採番ができること |
| 1 | 3 | 3 | 検体番号発番は、日付及び番号で任意指定ができること |
| 1 | 3 | 4 | 検体番号は、年通番、月通番、日通番から選択できること |
| 1 | 3 | 5 | 一般細菌、抗酸菌で個別に検体番号の通番方法を選択できること |
| 1 | 3 | 6 | 受付入力時、入力簡素化のために、前検体番号の患者情報の複製ができること |
| 1 | 3 | 7 | 同一検体番号にて、一般細菌、抗酸菌、迅速検査の依頼項目を選択できること |
| 1 | 3 | 8 | 受付入力画面から、前回値画面へ遷移できること |
| 1 | 3 | 9 | 詳細受付画面に表示されている検体情報を培地ラベル（帳票）に出力できること |
| 1 | 3 | 10 | 受付入力時、患者番号入力のタイミングで上位システムより患者属性情報を取り込めること |
| 1 | 3 | 11 | 材料、検査依頼の組み合わせにより、培地情報を自動で表示できること |
| 1 | 3 | 12 | 感染履歴として、特定菌毎に初回、前回、最新の検出日付を持つことができること |
| 1 | 3 | 13 | 感染履歴の特定菌は20種類まで指定できること |
| 1 | 3 | 14 | 受付入力時、血液培養分析器への依頼送信ができること |
| 1 | 4 | | 依頼受付チェックリスト |
| 1 | 4 | 1 | 受け付けた検体を対象に検体情報の一覧を出力できること |
| 1 | 4 | 2 | 受付チェックリストの出力管理ができること |
| 1 | 5 | | 未到着リスト |
| 1 | 5 | 1 | 未到着検体の一覧を出力できること |
| 1 | 5 | 2 | 一覧画面から未到着リストを印刷できること |
| 1 | 5 | 3 | 未到着リスト作成時、「印刷済み」の検体は対象外にできること |
| 1 | 6 | | ワークシート |
| 1 | 6 | 1 | ワークシートを出力できること |
| 1 | 6 | 2 | 1検体に対して複数のワークシートフォーマットを出力できること |
| 1 | 6 | 3 | ワークシートの出力管理ができること |
| 1 | 6 | 4 | ワークシートに前回値を印字できること |
| 1 | 6 | 5 | 前回値情報として、全材料、同一材料、同一材料グループを選択して表示できること |
| 1 | 7 | | 培地ラベル |
| 1 | 7 | 1 | 培地ラベルの印刷ができること |
| 1 | 7 | 2 | 培地ラベルは、培地毎に必要な枚数分を印刷できること |

| 現行ベンダー名 | | | ベックマン・コールター株式会社 |
|---------|----|----|---|
| システム名 | | | 細菌検査システム |
| パッケージ名 | | | SMILE Honest |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 7 | 3 | 培地名を印字できること |
| 1 | 7 | 4 | 培地ラベルの出力管理ができること |
| 1 | 8 | | 一般細菌結果入力（詳細） |
| 1 | 8 | 1 | 一般細菌、特殊（迅速）検査の結果登録及び訂正は1検体毎に行なえること |
| 1 | 8 | 2 | 詳細結果入力画面から、前回値画面へ遷移できること |
| 1 | 8 | 3 | 塗抹鏡検の画像を表示できること |
| 1 | 8 | 4 | 検査結果は、コード入力ができること |
| 1 | 8 | 5 | 結果入力エリアにワンボタンでマスタを表示し、マスタは文字列検索機能で一覧から絞り込めること |
| 1 | 8 | 6 | コメントの入力エリアはコード入力、フリー入力に対応していること |
| 1 | 8 | 7 | 塗抹鏡検検査からB Vスコアを自動で計算できること |
| 1 | 8 | 8 | 1検体あたり10菌株の結果を登録できること |
| 1 | 8 | 9 | 1菌株あたり64薬剤の結果を登録できること |
| 1 | 8 | 10 | 薬剤感受性結果はMIC値、阻止円径、判定を入力できること |
| 1 | 8 | 11 | 電子ノギスで入力した阻止円径を取込めること（電子ノギスは細菌部門システムのハードには含まない） |
| 1 | 8 | 12 | 菌と薬剤MIC値の組み合わせにより、判定の自動計算ができること |
| 1 | 8 | 13 | 菌と薬剤阻止円径の組み合わせにより、判定の自動計算ができること |
| 1 | 8 | 14 | 判定の自動計算は、マスタの設定により条件の追加及び変更ができること |
| 1 | 8 | 15 | 同定、薬剤感受性結果の入力内容により、警告菌チェック（警告・耐性・異常・注意）ができること |
| 1 | 8 | 16 | 無菌材料からの菌検出内容により、警告菌チェック（警告・耐性・異常・注意）ができること |
| 1 | 8 | 17 | 警告菌チェックにて菌名の変更及び菌説明コメントエリアにマスタ設定したコメントを自動で表示できること |
| 1 | 8 | 18 | 警告菌チェックはマスタの設定により条件の追加及び変更ができること |
| 1 | 8 | 19 | 警告菌チェックにて菌名の変更後、再度、判定の自動計算ができること |
| 1 | 8 | 20 | 警告菌チェックは、菌株コメントで菌名変更ならびに感染履歴を持つことができること |
| 1 | 8 | 21 | 菌名、菌量などの結果は、マスタで指定した色で表示できること |
| 1 | 8 | 22 | 結果入力時、菌に関する辞書情報が表示できること ※辞書情報のライセンス含む |
| 1 | 8 | 23 | 結果入力時、薬剤に関する医学書院の書籍情報が表示できること ※医学書院のライセンス含む |
| 1 | 8 | 24 | 薬剤感受性結果の時系列参照ができること |
| 1 | 8 | 25 | 薬剤感受性結果の時系列参照画面にて感受性時系列結果の複写入力ができること |
| 1 | 8 | 26 | パネル指定時の薬剤以外に、使用（投与）薬剤、追加薬剤を感受性薬剤として、展開可能であること |
| 1 | 8 | 27 | 迅速検査結果として、定性値、定量値、コメントの入力ができること |
| 1 | 8 | 28 | 血液培養装置からの測定結果をボトル毎に自動で取り込み、登録できること |
| 1 | 8 | 29 | 前検体、次検体へはワンボタンで表示切替ができること |
| 1 | 8 | 30 | 1検体毎に受付済み検査依頼を削除できること |
| 1 | 8 | 31 | 結果入力画面で表示した検体の報告書を出力できること |
| 1 | 8 | 32 | 結果入力画面で表示した検体の結果情報を電子カルテに送信できること |
| 1 | 9 | | 抗酸菌結果入力（詳細） |
| 1 | 9 | 1 | 抗酸菌検査の結果登録及び訂正は1検体毎に行なえること |
| 1 | 9 | 2 | 詳細結果入力画面から、前回値画面へ遷移できること |
| 1 | 9 | 3 | 塗抹鏡検の画像を表示できること |
| 1 | 9 | 4 | 検査結果は、コード入力ができること |
| 1 | 9 | 5 | 結果入力エリアにワンボタンでマスタを表示し、マスタは文字列検索機能で一覧から絞り込めること |
| 1 | 9 | 6 | コメントの入力エリアはコード入力、フリー入力に対応していること |
| 1 | 9 | 7 | QFT検査結果を入力できること |
| 1 | 9 | 8 | 塗抹鏡検の結果入力時、蛍光法及びチールネンゼン法の検査結果を入力できること |
| 1 | 9 | 9 | PCR検査結果を入力できること |
| 1 | 9 | 10 | 培養検査は固形培地、液体培地の検査結果を入力できること |
| 1 | 9 | 11 | 1検体あたり3菌株の結果登録ができること |
| 1 | 9 | 12 | 1菌株あたり5項目の同定検査の結果登録ができること |
| 1 | 9 | 13 | 1菌株あたり32薬剤の結果登録ができること |
| 1 | 9 | 14 | 薬剤結果は耐性検査、感受性検査の結果入力ができること |
| 1 | 9 | 15 | 1検体毎に受付済み検査依頼を削除できること |
| 1 | 9 | 16 | 結果入力画面で表示した検体の報告書を出力できること |
| 1 | 9 | 17 | 結果入力画面で表示した検体の結果情報を電子カルテに送信できること |
| 1 | 10 | | 一般細菌結果入力（一覧） |
| 1 | 10 | 1 | 塗抹検査、迅速検査の結果登録及び訂正は1画面で複数検体の入力ができること |
| 1 | 10 | 2 | 一覧入力画面で対象となる検体を目的に応じて絞り込みできること |
| 1 | 10 | 3 | 一覧入力画面で対象となる検体の表示順を変更でき、一覧順に入力ができること |
| 1 | 10 | 4 | 一覧入力画面で同一結果の一括入力ができること |
| 1 | 10 | 5 | 一覧入力画面から詳細画面に遷移可能であること |
| 1 | 10 | 6 | 一覧表示されている検体の報告書を出力できること |
| 1 | 10 | 7 | 一覧表示されている検体の結果情報を電子カルテに送信できること |
| 1 | 11 | | 抗酸菌結果入力（一覧） |
| 1 | 11 | 1 | 塗抹、PCR、培養の結果登録及び訂正は複数検体を1画面で入力できること |
| 1 | 11 | 2 | 一覧入力画面で対象となる検体を目的に応じて絞り込めること |

| 現行ベンダー名 | | | ベックマン・コールター株式会社 |
|---------|----|----|--|
| システム名 | | | 細菌検査システム |
| パッケージ名 | | | SMILE Honest |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 11 | 3 | 一覧入力画面で対象となる検体の表示順を変更でき、一覧順に入力できること |
| 1 | 11 | 4 | 一覧入力画面で同一結果の一括入力できること |
| 1 | 11 | 5 | 培養検査は固形培地、液体培地の検査結果を入力できること |
| 1 | 11 | 6 | 固形培養は培養週毎に指定して入力できること |
| 1 | 11 | 7 | 一覧表示されている検体の報告書を出力できること |
| 1 | 11 | 8 | 一覧表示されている検体の結果情報を電子カルテに送信できること |
| 1 | 12 | | 前回値表示 |
| 1 | 12 | 1 | 詳細画面又は一覧画面でカーソル指定されている患者IDから、ワンボタンで前回値画面に遷移できること |
| 1 | 12 | 2 | 前回値情報として、全材料、同一材料、同一材料グループを選択して表示できること |
| 1 | 12 | 3 | 基準となる検体から前回値検体、全検体を選択して表示できること |
| 1 | 12 | 4 | 一般細菌の前回値画面に表示されている検体から、指定された菌を時系列で参照できること |
| 1 | 12 | 5 | 一般細菌の培養同定エリアで指定された菌の時系列表示から、薬剤感受性結果を薬剤毎に時系列で表示できること |
| 1 | 13 | | 分析器オンライン |
| 1 | 13 | 1 | 分析器へ依頼情報の送信及び結果情報の受信ができること |
| 1 | 13 | 2 | 検査結果報告書を出力できること |
| 1 | 13 | 3 | 1 検体に対し、複数種類の報告書を出力できること |
| 1 | 13 | 4 | 報告書毎に出力管理ができること |
| 1 | 13 | 5 | 詳細画面で指定した報告順で、菌株毎の結果を並び替えて印字できること |
| 1 | 13 | 6 | 血液培養結果受信時ボトル毎の判定が全て陰性の場合、検査陰性として電子カルテに最終報告を自動送信できること |
| 1 | 14 | | 検査結果台帳 |
| 1 | 14 | 1 | 検査結果台帳を出力できること |
| 1 | 14 | 2 | 検体毎の登録菌株数により、印字行数を可変に出力できること |
| 1 | 15 | | 管理帳票 |
| 1 | 15 | 1 | 検査終了後の特定情報を一覧帳票に出力できること |
| 1 | 15 | 2 | 医事会計追加検査一覧を出力できること |
| 1 | 15 | 3 | 感染対策提出用の特定菌検出一覧を出力できること |
| 1 | 16 | | 任意データ抽出 |
| 1 | 16 | 1 | 指定の条件で抽出された検体情報をCSVファイルに出力できること |
| 1 | 16 | 2 | 一般細菌・抗酸菌・特殊検査の結果データを出力できること |
| 1 | 16 | 3 | 一般細菌・抗酸菌の結果データは検体単位及び菌株単位に出力できること |
| 1 | 16 | 4 | データ抽出で同検体判断の設定ができること |
| 1 | 16 | 5 | 感染対策用の特定菌検出一覧を出力できること |
| 1 | 16 | 6 | 感染対策用の特定菌はマスク設定にて追加及び変更ができること |
| 1 | 16 | 7 | 特定菌検出情報は新規検出のみで出力できること |
| 1 | 16 | 8 | JANIS検査部門のフォーマット形式でサーベイランスデータを出力できること |
| 1 | 16 | 9 | MRSA検出患者一覧を出力できること |
| 1 | 16 | 10 | 警告菌検出患者一覧を出力できること |
| 1 | 17 | | 検索 |
| 1 | 17 | 1 | 検索画面にて検体の検索後、対象検体の検査結果の問い合わせができること |
| 1 | 17 | 2 | 検索画面にて、患者番号、患者名、科、病棟等で検体の検索ができること |
| 1 | 17 | 3 | 検索後、ワンボタンで対象検体の結果入力画面へ遷移し、結果入力ができること |
| 1 | 17 | 4 | 検査進捗状態を1 検体毎に抽出でき、進捗状態を一覧表示できること |
| 1 | 18 | | 統計 |
| 1 | 18 | 1 | 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に各種統計の出力ができること |
| 1 | 18 | 2 | 統計結果は表及びグラフで出力できること |
| 1 | 18 | 3 | 統計結果はExcel形式で出力できること |
| 1 | 18 | 4 | 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に菌出現率を出力できること |
| 1 | 18 | 5 | 菌出現率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること |
| 1 | 18 | 6 | 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に菌陽性率を出力できること |
| 1 | 18 | 7 | 菌陽性率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること |
| 1 | 18 | 8 | 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に菌検出率を出力できること |
| 1 | 18 | 9 | 菌検出率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること |
| 1 | 18 | 10 | 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に薬剤感受性率が出力できること |
| 1 | 18 | 11 | 薬剤感受性率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること |
| 1 | 18 | 12 | 薬剤感受性率の%計算は、小数点以下を切り捨て計算にできること |
| 1 | 18 | 13 | 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に累積MIC率を出力できること |
| 1 | 18 | 14 | 累積MIC率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること |
| 1 | 18 | 15 | 統計画面から、検索条件に合致した検体を対象に特殊検査陽性率を出力できること |
| 1 | 18 | 16 | 特殊検査陽性率の統計出力時、同検体判断をマスクにて設定できること |
| 1 | 18 | 17 | 検体件数が出力できること |
| 1 | 18 | 18 | 3 ステップ以内の操作で統計が出力できること |
| 1 | 18 | 19 | 統計画面から、統計種及び期間を選択することで特定の統計を出力できること |

| 現行ベンダー名 | | | ベックマン・コールター株式会社 |
|---------|----|----|---|
| システム名 | | | 細菌検査システム |
| パッケージ名 | | | SMILE Honest |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 18 | 20 | 統計画面から、診療科別、病棟別でアウトブレイクを監視、警告するための一覧を作成できること。また、マスタに設定した閾値を越えた場合にアラートが表示されること |
| 1 | 18 | 21 | 薬剤感受性はスパイダーチャートで表示できること |
| 1 | 18 | 22 | 累積MIC率が3年分比較できるグラフを作成できること |
| 1 | 18 | 23 | 統計画面から血液培養陽性者リストを出力できること |
| 1 | 18 | 24 | 依頼科別に血液培養陽性セット率を出力できること |
| 1 | 18 | 25 | 依頼科別に複数セット内の陽性率を出力できること（1/2陽性率、2/2陽性率 等） |
| 1 | 18 | 26 | 病棟別に血液培養陽性セット率を出力できること |
| 1 | 18 | 27 | 病棟別に複数セット内の陽性率を出力できること（1/2陽性率、2/2陽性率 等） |
| 1 | 18 | 28 | 依頼科別に血液培養コンタミ率を出力できること |
| 1 | 18 | 29 | 病棟別に血液培養コンタミ率を出力できること |
| 1 | 19 | | 集計 |
| 1 | 19 | 1 | 各種検査依頼項目の件数集計ができること |
| 1 | 19 | 2 | 薬剤感受性検査は感受性検査実施済の株数から件数集計ができること |
| 1 | 19 | 3 | 薬剤感受性検査は真菌のみで件数集計ができること |
| 1 | 19 | 4 | 各種検査依頼等の件数と、その件数に医事点数を積算した集計ができること |
| 1 | 20 | | 委託検査 |
| 1 | 20 | 1 | 委託検査用の画面から委託検査依頼リストを出力できること |
| 1 | 20 | 2 | 委託検査用の画面から外注ラベルを出力できること |
| 1 | 20 | 3 | 委託検査用の画面から依頼ファイルを外部媒体（USBメモリ等）へ出力できること |
| 1 | 20 | 4 | 委託検査用の画面から外注依頼対象項目（依頼作成済及び未作成）と院内検査依頼対象項目の区別ができること |
| 1 | 20 | 5 | 委託検査用の画面から結果ファイルを外部媒体（USBメモリ等）から結果を取り込めること |
| 1 | 21 | | 電子カルテ・オーダーリングシステム連携 |
| 1 | 21 | 1 | 電子カルテ・オーダーリングシステムとのオンライン接続が可能であること |
| 1 | 21 | 2 | 細菌部門のオーダー情報の受信、到着確認情報の送信、検査結果情報の送信が可能であること |
| 1 | 22 | | データ保存 |
| 1 | 22 | 1 | 外部媒体に検査データ及びマスタを保存できること |
| 1 | 23 | | マスタメンテナンス |
| 1 | 23 | 1 | マスタメンテナンス画面にて材料マスタ、菌マスタ、薬剤マスタ等のコードを容易に修正、登録できること |
| 1 | 23 | 2 | マスタメンテナンスは権限を付与されたログインユーザーのみ、修正、登録できること |
| 1 | 24 | | 帳票レイアウト設定 |
| 1 | 24 | 1 | 帳票は、文字のフォント、ポイントの指定が自由に設定できること |
| 1 | 24 | 2 | 帳票は、罫線でポイント、実線又は破線の指定が自由に設定できること |
| 1 | 24 | 3 | 帳票は、網掛け、色指定が自由に設定できること |
| 1 | 24 | 4 | 帳票は、縦連、横連が自由に設定できること |
| 1 | 24 | 5 | 帳票は、一般細菌と抗酸菌で20種類づつのフォーマット設定ができ、カラー印刷できること |
| 1 | 24 | 6 | 帳票は、検体番号及び患者番号のバーコード情報が印字できること |
| 1 | 25 | | 画像 |
| 1 | 25 | 1 | 画像取込み画面にて、任意のフォルダーから指定画像を取込めること |
| 1 | 25 | 2 | 画像を帳票に印字できること |
| 1 | 25 | 3 | 画像毎に関連するコメントを登録できること |
| 1 | 25 | 4 | 画像毎に登録したコメントで画像を検索できること |
| 1 | 25 | 5 | 画像編集機能として、登録した画像に丸や四角などの図形、線、矢印、コメントなどを記載できること |
| 1 | 25 | 6 | 画像に表示するコメントはフォント、サイズ、色を指定できること |
| 1 | 26 | | 保存菌株管理 |
| 1 | 26 | 1 | 保存菌株管理画面にて、保存菌株の管理ができること |
| 1 | 26 | 2 | 保存菌株管理画面にて、保存菌株用にラベルの出力ができること |
| 1 | 26 | 3 | 保存菌株管理画面にて、過去に登録した保存菌株の結果を参照できること |
| 1 | 27 | | 警告菌リアルタイムチェック機能 |
| 1 | 27 | 1 | 警告菌リアルタイムチェックができること |
| 1 | 27 | 2 | 特定期間で特定の患者数異常警告菌が検出されるとアラートを表示することができること |
| 1 | 27 | 3 | 警告菌が検出された患者の一覧を出力できること |
| 1 | 27 | 4 | 警告菌が検出された患者数を日別に出力できること |
| 1 | 28 | | データ移行 |
| 1 | 28 | 1 | 現行システム（弊社システム）より全ての項目についてデータ移行が行なえること |
| 1 | 28 | 2 | 現行システム（弊社システム）より保存期間内全てのデータ移行が行なえること |
| 1 | 28 | 3 | 現行システム（弊社システム）より全てのマスタについて移行が行なえること |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|---|---|--|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 1 | | | | 標本番号管理 |
| 1 | 1 | | | 標本番号は、組織診・一般細胞診・婦人科細胞診・剖検・外注婦人科・外注一般・患者・その他毎に管理できる。また、標本番号体系は、マスタにより追加が可能である。 |
| 1 | 2 | | | 標本番号は到着確認時自動カウントアップする。 |
| 2 | | | | 組織診検査業務支援機能 |
| 2 | 1 | | | 検体受取 |
| 2 | 1 | 1 | | 病理に搬送されてきた検体の受取管理機能を有する。 |
| 2 | 1 | 1 | 1 | ・検体の搬送者、受取者、受取日、検体容器数、検体容器の確認結果を記録できる。 |
| 2 | 1 | 1 | 2 | ・検体容器の確認は、検体容器に貼られたオーダ番号バーコードを読み取ることで結果を記録できる。また手動でも結果を記録できる。 |
| 2 | 1 | 1 | 3 | ・電子カルテシステムまたはオーダリングシステムから取り込んだ検査依頼情報、患者属性情報に紐づいて管理できる。 |
| 2 | 1 | 1 | 4 | ・検体受取の記録は、到着確認処理をする前に行える。 |
| 2 | 1 | 1 | 5 | ・検体受取の記録は、条件を指定して検索、及び一覧表示ができる。 |
| 2 | 1 | 1 | 6 | ・検体の搬送者、受け取り者は、IDのバーコードを読み取って、マスタからセットできる。 |
| 2 | 1 | 1 | 7 | ・複数のオーダに紐づく検体の受取を、まとめて記録できる機能を有する。 |
| 2 | 2 | | | 検査依頼受付 |
| 2 | 2 | 1 | | 電子カルテシステムまたはオーダリングシステムから送信された病理検査依頼情報、患者属性情報、シエマ画像を取り込める機能を有する。 |
| 2 | 2 | 2 | | 検査依頼情報は、一覧形式又で表示でき、迅速依頼で絞り込んで表示もできる。 |
| 2 | 2 | 3 | | 検査依頼情報に対する到着確認処理をする機能を有する。 |
| 2 | 2 | 3 | 1 | ・バーコード読み込みによる到着確認ができる。 |
| 2 | 2 | 3 | 2 | ・検査依頼単位、または、検査依頼一括登録機能を有する。 |
| 2 | 2 | 3 | 3 | ・検体容器に貼られたオーダ番号バーコードを読み取ることで容器確認結果を記録できる。また手動でも容器確認結果を記録できる。 |
| 2 | 2 | 3 | 4 | ・オーダ情報受付時に、同時にオーダ情報の変更ができる。 |
| 2 | 2 | 4 | | 病理検査依頼情報、患者属性情報が送信されてなくても、部門発番による新規受付登録が行える。 |
| 2 | 2 | 4 | 1 | ・部門発番した依頼情報に、後から送信された検査依頼情報（オーダ）を割り付ける機能を有する。 |
| 2 | 2 | 5 | | 標本番号の自動発行機能を有する。 |
| 2 | 2 | 6 | | 患者情報登録機能を有する。 |
| 2 | 2 | 6 | 1 | ・患者番号入力時、患者属性情報を表示でき、登録、訂正する機能を有する。 |
| 2 | 2 | 6 | 2 | ・患者の感染症情報に陽性例がある場合、注意を促すためにアラート表示される。 |
| 2 | 2 | 7 | | 依頼書取込機能を有する。 |
| 2 | 2 | 7 | 1 | ・依頼書を連続して取り込んだ後、標本に割り当てる機能を有する。 |
| 2 | 2 | 8 | | 標本情報等登録機能を有する。 |
| 2 | 2 | 8 | 1 | ・既往標本番号表示機能及び、既往歴の詳細内容の閲覧機能を有する。 |
| 2 | 2 | 8 | 2 | ・到着確認時にも既往歴が閲覧できる。 |
| 2 | 2 | 8 | 3 | ・既往標本同士の関連を登録する機能を有する。 |
| 2 | 2 | 8 | 4 | ・保険点数登録機能を有する。臓器数に応じて初期値が自動的にチェックされる。 必要に応じて、電子カルテシステムまたはオーダリングシステムへ診療報酬情報返信機能を有する。 |
| 2 | 2 | 8 | 5 | ・採取部位は最大40件まで登録できる。 |
| 2 | 2 | 9 | | 受付情報登録後、次番号に自動で遷移する機能を有する。前受付番号、次受付番号へはワンクリックで移動及び表示が可能である。 |
| 2 | 3 | | | 受付情報編集 |
| 2 | 3 | 1 | | 受付情報の入力・訂正・削除処理機能を有し、更新履歴管理機能を有する。 |
| 2 | 3 | 1 | 1 | ・また、履歴管理された情報は容易に参照できる機能を有する。 |
| 2 | 3 | 2 | | 標本番号ラベル、材料ラベル、容器ラベルの印字機能を有する。 |
| 2 | 3 | 3 | | フリー入力の標本番号ラベル印字機能を有する。 |
| 2 | 3 | 4 | | 標本作製状況ステータス管理機能を有する。 |
| 2 | 3 | 4 | 1 | ・標本作製進捗状況の閲覧、変更機能を有する。作業状況により自動的に工程が更新され、手動でも変更可能である。 |
| 2 | 3 | 4 | 2 | ・標本作製状況は、Web病理結果Webレポートからも参照できる機能を有する。 |
| 2 | 3 | 4 | 3 | ・標本作製状況にコメントが登録できる。 |
| 2 | 3 | 5 | | 診断状況ステータス管理機能を有する。 |
| 2 | 3 | 5 | 1 | ・診断状況の閲覧、変更機能を有する。診断状況により自動的に工程が更新され、手動でも変更可能である。 |
| 2 | 3 | 5 | 2 | ・診断状況は、病理結果Webレポートからも参照できる機能を有する。 |
| 2 | 3 | 5 | 3 | ・診断作製状況にコメントが登録できる。 |
| 2 | 3 | 6 | | 依頼が電子的に行われていた場合、シエマを利用することができる。 |
| 2 | 3 | 7 | | 検体（臓器）固定（開始、終了時間、固定方法）の管理機能を有する。 |
| 2 | 4 | | | 切出し/染色 |
| 2 | 4 | 1 | | 切出し情報を登録及び変更できる。 |
| 2 | 4 | 1 | 1 | ・採取部位、採取方法の登録及び変更ができる。 |
| 2 | 4 | 1 | 2 | ・ブロックの枝番、コメントの入力機能を有する。 |
| 2 | 4 | 1 | 3 | ・リンパの枝番、コメントの入力機能を有する。 |
| 2 | 4 | 1 | 4 | ・ブロックに紐つけて採取部位を登録できる。 |
| 2 | 4 | 1 | 5 | ・ブロック毎に、包埋（開始、終了日時、作業者、確認者）の登録ができる。 |
| 2 | 4 | 1 | 6 | ・カセットプリンタから切出し情報をカセット印刷する機能を有する。 |
| 2 | 4 | 1 | 7 | ・切出者、切出し日の指定ができる。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|----|----|---|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 2 | 4 | 1 | 8 | ・検体容器に貼られたバーコードとカセット印刷された2次元コードを読み取ることで、容器とカセットの一致確認を行う機能を有する。また確認の結果を記録できる。また手動でも容器確認結果を記録できる。 |
| 2 | 4 | 2 | | 染色情報の入力機能を有する。 |
| 2 | 4 | 2 | 1 | ・染色名入力および入力済みブロックの染色依頼機能を有する。特殊染色名の登録及び変更ができる。 |
| 2 | 4 | 2 | 2 | ・採取部位毎に設定されている特殊染色名とラベル枚数が自動的に入力される機能を有する。 |
| 2 | 4 | 2 | 3 | ・セット染色登録機能を有し、一括で染色を選択することができる。 |
| 2 | 4 | 2 | 4 | ・セット染色数に制限がない。また、セット染色情報は保守機能よりメンテナンス可能である。 |
| 2 | 4 | 2 | 5 | ・切出し数及びラベル枚数の登録及び変更ができる。 |
| 2 | 4 | 2 | 6 | ・染色ラベル枚数は制限がない。 |
| 2 | 4 | 2 | 7 | ・優先してラベル印刷する染色を指定できる。 |
| 2 | 4 | 2 | 8 | ・染色の入力操作では、染色マスタに登録された染色を表形式で表示し、染色コード・染色名・遺伝子検査用・外注用でフィルタリングして選択できる。 |
| 2 | 4 | 2 | 9 | ・染色情報は保守機能よりメンテナンス可能である。また染色情報は一般・特染・免染・遺伝子・その他でグループ分けでき、外注用染色のマーキングもできる。 |
| 2 | 4 | 2 | 10 | ・染色情報登録時に、予約の未染登録が可能である。 |
| 2 | 5 | | | ワークシート |
| 2 | 5 | 1 | | 標本作製工程管理機能を有する。 |
| 2 | 5 | 1 | 1 | ・指定された受付日または受付範囲にある標本の進捗状況を表示する機能を有する。また工程進捗は自動的に更新され、手動による変更も可能である。 |
| 2 | 5 | 1 | 2 | ・任意の標本、ブロック、スライドに対して、一括で進捗状況を変更できる。 |
| 2 | 5 | 1 | 3 | ・脱灰（開始、終了時間、固定方法の管理）の管理ができる。 |
| 2 | 5 | 2 | | 材料の追加切り出し管理機能を有する。またその履歴管理機能を有する。 |
| 2 | 5 | 3 | | ワークシート印刷機能を有する。 |
| 2 | 5 | 4 | | ワークシート一覧上から、指定された標本の受付情報を簡単に変更する機能を有する。 |
| 2 | 6 | | | 報告書の作成（診断支援機能） |
| 2 | 6 | 1 | | 診断標本の診断フェーズ選択（診断原案、最終診断等のフェーズ選択）機能を有する。 |
| 2 | 6 | 2 | | 依頼書もしくはプレバートに添付されたバーコードを読み取ることにより、該当標本を表示できる。 |
| 2 | 6 | 2 | 1 | ・依頼書とプレバートに添付されたバーコードの両方を読取らないと、診断を開始できないようにする機能を有する。 |
| 2 | 6 | 3 | | 診断コードによる診断文作成機能を有する。標準コードは任意とする。但し、ICD-O-3準拠コード及び当病院の独自コードも対応可能で、自由文入力・編集も可能である。 |
| 2 | 6 | 4 | | 臓器コードと採取法コードによる診断名絞り込み表示機能を有する。 |
| 2 | 6 | 4 | | また、診断名の選択は、診断名マスタからの検索入力や、入力履歴一覧からの選択、ユーザ毎の頻度順一覧からの選択が可能である。 |
| 2 | 6 | 5 | | 採取部位毎に診断名入力できる機能を有する。 |
| 2 | 6 | 6 | | 画像管理機能で入力したマクロ所見を参照し、所見欄に展開する機能を有する。 |
| 2 | 6 | 7 | | 定型文による所見文作成機能を有する。 |
| 2 | 6 | 8 | | 診断編集画面から、過去の確定した診断の検索画面を表示して、診断名、所見を検索条件として検索を行える機能を有する。検索を行った結果から選択した診断の診断名、所見を診断編集画面へコピーする機能を有する。 |
| 2 | 6 | 9 | | 診断名、所見文へのスペルチェック機能を有する。 |
| 2 | 6 | 10 | | 診断名から、診断名マスタに登録されたICD-O-3、SNOMEDのコーディングをする機能を有する。ICD-O-3、SNOMED用の登録欄を有する。 |
| 2 | 6 | 11 | | 入力した診断名を臓器に紐づけて診断名マスタに登録できる機能を有する。 |
| 2 | 6 | 12 | | 所見文への文字装飾機能を有する。また所見文字数に制限がない。 |
| 2 | 6 | 13 | | 所見文の定型文登録が利用ユーザ毎に登録できる機能を有する。 |
| 2 | 6 | 14 | | 診断を確定し、改竄できない状態にできる。 |
| 2 | 6 | 15 | | 診断を確定するときに、診断結果の重要度及び、臨床側に通知したいコメントを登録する機能を有する。診断結果連携先システムが対応している場合、登録した重要度及びコメントを送信することもできる。 |
| 2 | 6 | 16 | | 診断を確定し改竄できない状態にする操作には、ログインパスワードとは異なるパスワード認証が可能である。 |
| 2 | 6 | 17 | | 診断を確定するために、対象診断のスライドガラスのバーコード読み取りを必須とすることもできる。 |
| 2 | 6 | 18 | | 診断を確定し改竄できない状態にする操作は、複数標本をまとめてできる。 |
| 2 | 6 | 19 | | がん取扱規約に基づく臓器別報告書作成機能を有する。 |
| 2 | 6 | 19 | 1 | ・がん取扱規約入力画面は、がん取扱規約マスタ機能で登録した画像を表示できる。 |
| 2 | 6 | 19 | 2 | ・がん取扱規約入力画面は、入力した数値間の簡便な計算を行い、計算結果をセットすることができる。 |
| 2 | 6 | 19 | 3 | ・がん取扱規約入力画面は、規約マスタ機能で登録した付加文字列を入力内容に付加できる。 |
| 2 | 6 | 20 | | リンパ節入力用テンプレート機能を有する。 |
| 2 | 6 | 21 | | 診断報告書の更新履歴管理機能を有する。 |
| 2 | 6 | 21 | 1 | ・履歴管理された情報は容易に参照できる機能を有する。 |
| 2 | 6 | 22 | | 染色結果に関する診断入力補助機能を有する。 |
| 2 | 6 | 23 | | 報告書印刷機能を有する。 |
| 2 | 6 | 23 | 1 | ・報告書に画像を添付出来る。 |
| 2 | 6 | 23 | 2 | ・仮報告書、本報告書、再出力の区別が可能である。 |
| 2 | 6 | 23 | 3 | ・指定された受付日または標本番号範囲でまとめて報告書印刷ができる。標本番号指定の場合には、任意に選択された番号で印刷が可能である。 |
| 2 | 6 | 23 | 4 | ・診断の入力中に登録をしていない状態でも報告書の印刷プレビュー画面が表示できる。ただし、そのプレビュー画面から印刷する場合は、登録も可能なこと。 |
| 2 | 6 | 23 | 5 | ・報告書のレイアウトは現在のレイアウトを踏襲すること。 |
| 2 | 6 | 24 | | 重要度（重要、研究、希少、学会）の登録機能を有する。 |
| 2 | 6 | 25 | | 既往歴参照機能を有する。必要に応じて詳細内容を参照できる。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|----|---|--|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 2 | 6 | 26 | | 電子カルテ起動（外部プログラム呼び出し）機能を有する。 |
| 2 | 6 | 27 | | 最終診断後の追加・訂正レポート作成機能を有する。 |
| 2 | 6 | 28 | | 確定した病理診断結果をWebで閲覧する機能を有する。 |
| 2 | 6 | 28 | 1 | ・診断入力画面より病理結果Webレポートのプレビュー画面を参照できる機能を有する。 |
| 2 | 6 | 28 | 2 | ・診断画面において、Web参照で臨床側が内容を確認したかどうかを表示する機能を有する。 |
| 2 | 6 | 28 | 3 | ・臨床から参照する病理結果のWebレポートは現在のレポートを踏襲すること。 |
| 2 | 6 | 29 | | 診断画面から、症例をカンファレンスタスクとしてスケジュール登録する機能を有する。 |
| 2 | 6 | 30 | | 診断画面から、症例をライブラリ登録する機能を有する。ライブラリ登録時には、症例に対するコメントを登録できる。 |
| 2 | 7 | | | 追加染色依頼 |
| 2 | 7 | 1 | | 診断中に追加染色依頼を行う機能を有する。 |
| 2 | 7 | 1 | 1 | ・追加した染色情報を染色依頼用紙に印刷できる機能を有する。 |
| 2 | 7 | 1 | 2 | ・追加した染色情報にコメントを登録できる機能を有する。 |
| 2 | 7 | 1 | 3 | ・染色依頼用紙には、染色コメントも印刷できる。 |
| 2 | 7 | 1 | 4 | ・免疫抗体法 4 種以上の追加免疫を依頼した場合、診療報酬加算可能であることを知らせるアラート機能を有する。 |
| 2 | 7 | 1 | 5 | ・染色依頼用紙は現在のレイアウトを踏襲すること。 |
| 3 | | | | 細胞診検査業務支援機能 |
| 3 | 1 | | | 検体受取 |
| 3 | 1 | 1 | | 病理に搬送されてきた検体の受取管理機能を有する。 |
| 3 | 1 | 1 | 1 | ・検体の搬送者、受取者、受取日、検体容器数、検体容器の確認結果を記録できる。 |
| 3 | 1 | 1 | 2 | ・検体容器の確認は、検体容器に貼られたオーダ番号バーコードを読み取ることで結果を記録できる。また手動でも結果を記録できる。 |
| 3 | 1 | 1 | 3 | ・電子カルテシステムまたはオーダリングシステムから取り込んだ検査依頼情報、患者属性情報に紐づいて管理できる。 |
| 3 | 1 | 1 | 4 | ・検体受取の記録は、到着確認処理をする前に行える。 |
| 3 | 1 | 1 | 5 | ・検体受取の記録は、条件を指定して検索、及び一覧表示ができる。 |
| 3 | 1 | 1 | 6 | ・検体の搬送者、受け取り者は、IDのバーコードを読み取って、マスクからセットできる。 |
| 3 | 1 | 1 | 7 | ・複数のオーダに紐づく検体の受取を、まとめて記録できる機能を有する。 |
| 3 | 2 | | | 検査依頼受付 |
| 3 | 2 | 1 | | 電子カルテシステムまたはオーダリングシステムから送信された細胞診検査依頼情報、患者属性情報、シエマ画像を取り入れる機能を有する。 |
| 3 | 2 | 2 | | 検査依頼情報は、一覧形式で表示でき、迅速依頼で絞り込んで表示もできる。 |
| 3 | 2 | 3 | | 検査依頼情報に対する到着確認処理をする機能を有する。 |
| 3 | 2 | 3 | 1 | ・バーコード読み込みによる到着確認ができる。 |
| 3 | 2 | 3 | 2 | ・検査依頼単位、または、検査依頼一括登録機能を有する。 |
| 3 | 2 | 3 | 3 | ・検体容器に貼られたオーダ番号バーコードを読み取ることで容器確認結果を記録できる。また手動でも容器確認結果を記録できる。 |
| 3 | 2 | 3 | 4 | ・オーダ情報受付時に、同時にオーダ情報の変更ができる。 |
| 3 | 2 | 4 | | 細胞診検査依頼情報、患者属性情報が送信されてなくても、部門発番による新規受付登録が行える。 |
| 3 | 2 | 4 | 1 | ・部門発番した依頼情報に、後から送信された検査依頼情報（オーダ）を割り付ける機能を有する。 |
| 3 | 2 | 5 | | 標本番号の自動発行機能を有する。 |
| 3 | 2 | 5 | 1 | ・一般、婦人科を含めた管理機能を有する。 |
| 3 | 2 | 6 | | 患者情報登録機能を有する。 |
| 3 | 2 | 6 | 1 | ・患者番号入力時、患者属性情報を表示でき、登録、訂正する機能を有する。 |
| 3 | 2 | 6 | 2 | ・患者の感染症情報に陽性例がある場合、注意を促すためにアラート表示される。 |
| 3 | 2 | 7 | | 依頼書取込機能を有する。 |
| 3 | 2 | 7 | 1 | ・依頼書を連続して取り込んだ後、標本に割り当てる機能を有する。 |
| 3 | 2 | 8 | | 標本情報等登録機能を有する。 |
| 3 | 2 | 8 | 1 | ・既往標本番号表示機能及び、既往歴の詳細内容の閲覧機能を有する。 |
| 3 | 2 | 8 | 2 | ・到着確認時にも既往歴が閲覧できる。 |
| 3 | 2 | 8 | 3 | ・既往標本同士の関連を登録する機能を有する。 |
| 3 | 2 | 8 | 4 | ・保険点数登録機能を有する。材料に応じて婦人科、一般の保険項目の初期値がチェックされる。 |
| 3 | 2 | 8 | 5 | ・採取部位、採取方法の登録及び変更ができる。採取部位は最大40件まで登録できる。 |
| 3 | 2 | 8 | 6 | ・受付情報登録後、次番号に自動で遷移する機能を有する。前受付番号、次受付番号へはワンクリックで移動及び表示が可能である。 |
| 3 | 3 | | | 受付情報編集 |
| 3 | 3 | 1 | | 受付情報の入力・訂正・削除処理機能を有し、更新履歴管理機能を有する。 また、履歴管理された情報は容易に参照できる機能を有する。 |
| 3 | 3 | 2 | | 標本番号ラベル、材料ラベル、容器ラベルの印字機能を有する。 |
| 3 | 3 | 3 | | フリー入力の標本番号ラベル印字機能を有する。 |
| 3 | 3 | 4 | | 標本作製状況ステータス管理機能を有する。 |
| 3 | 3 | 4 | 1 | ・標本作製進捗状況の閲覧、変更機能を有する。作業状況により自動的に工程が更新され、手動でも変更可能である。 |
| 3 | 3 | 4 | 2 | ・標本作製状況は、病理結果Webレポートからも参照できる機能を有する。 |
| 3 | 3 | 4 | 3 | ・標本作製状況にコメントが登録できる。 |
| 3 | 3 | 5 | | 診断状況ステータス管理機能を有する。 |
| 3 | 3 | 5 | 1 | ・診断状況の閲覧、変更機能を有する。診断により自動的に工程が更新され、手動でも変更可能である。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|----|---|---|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 3 | 3 | 5 | 2 | ・診断状況は、病理結果Webレポートからも参照できる機能を有する。 |
| 3 | 3 | 5 | 3 | ・診断作製状況にコメントが登録できる。 |
| 3 | 4 | | | 切出し/染色 |
| 3 | 4 | 1 | | ・採取検体、採取方法の登録及び変更ができる。 |
| 3 | 4 | 2 | | ・セルブロック用に、カセットプリンタから標本番号、検体名をカセット印刷する機能を有する。 |
| 3 | 4 | 3 | | 染色情報の入力機能を有する。 |
| 3 | 4 | 3 | 1 | ・染色名入力および入力済検体の染色依頼機能を有する。 |
| 3 | 4 | 3 | 2 | ・採取検体毎に設定されている特殊染色名とラベル枚数が自動的に入力される機能を有する。 |
| 3 | 4 | 3 | 3 | ・染色ラベル枚数は制限がない。 |
| 3 | 4 | 3 | 4 | ・染色の入力操作では、染色マスタに登録された染色を表形式で表示し、染色コード・染色名・遺伝子検査用・外注用でフィルタリングして選択できる。 |
| 3 | 4 | 3 | 5 | ・染色情報は保守機能よりメンテナンス可能である。また染色情報は一般・特染・免染・遺伝子・その他でグループ分けでき、外注用染色のマーキングもできる。 |
| 3 | 4 | 3 | 6 | ・染色情報登録時に、予約の未染登録が可能である。 |
| 3 | 5 | | | ワークシート |
| 3 | 5 | 1 | | 工程進捗段階の入力機能を有する。指定された受付日または受付範囲にある標本の進捗状況を表示する機能を有する。また工程進捗は自動的に更新され、手動による変更も可能である。 |
| 3 | 5 | 2 | | 染色情報の入力機能を有する。 |
| 3 | 5 | 3 | | ワークシート印刷機能を有する。 |
| 3 | 5 | 4 | | 提出医登録機能を有する。 |
| 3 | 5 | 5 | | 追加標本作製機能を有する。作業追加した標本の履歴管理を有する。 |
| 3 | 5 | 6 | | ワークシート一覧上から、指定された標本の受付情報を簡単に変更する機能を有する。 |
| 3 | 6 | | | 報告書の作成（診断支援機能） |
| 3 | 6 | 1 | | 診断標本の診断フェーズ選択（スクリーニング、最終診断等のフェーズ選択）機能を有する。 |
| 3 | 6 | 2 | | 依頼書もしくは本病理検査システムで出力したプレバートに添付されたバーコードを読み取ることにより、該当標本を表示できる。 |
| 3 | 6 | 2 | 1 | ・依頼書とプレバートに添付されたバーコードの両方を読み取らないと、診断を開始できないようにする機能を有する。 |
| 3 | 6 | 3 | | 診断コードによる診断文作成機能を有する。標準コードは任意とする。但し、ICD-O-3準拠コード及び当病院の独自コードも対応可能で、自由文入力・編集も可能である。 |
| 3 | 6 | 4 | | 臓器コードと採取法コードによる診断名絞り込み表示機能を有する。 また、診断名の選択は、診断名マスタからの検索入力や、入力履歴一覧からの選択、ユーザ毎の頻度順一覧からの選択が可能である。 |
| 3 | 6 | 5 | | 細胞検査士毎に、クラス分類、判定（Negative等）、出現細胞の入力を行なう機能を有する。 |
| 3 | 6 | 6 | | 定型文による所見文作成機能を有する。 |
| 3 | 6 | 7 | | 診断編集画面から、過去の確定した診断の検索画面を表示して、診断名、所見を検索条件として検索を行える機能を有する。検索を行った結果から選択した診断の診断名、所見を診断編集画面へコピーする機能を有する。 |
| 3 | 6 | 8 | | 診断名、所見文へのスペルチェック機能を有する。 |
| 3 | 6 | 9 | | 所見文への文字装飾機能を有する。また所見文字数に制限がない。 |
| 3 | 6 | 10 | | 所見文の定型文登録が利用ユーザ毎に登録できる機能を有する。 |
| 3 | 6 | 11 | | 診断を確定し、改竄できない状態にできる。 |
| 3 | 6 | 12 | | 診断を確定するときに、診断結果の重要度及び、臨床側に通知したいコメントを登録する機能を有する。診断結果連携先システムが対応している場合、登録した重要度及びコメントを送信することもできる。 |
| 3 | 6 | 13 | | 診断を確定し改竄できない状態にする操作には、ログインパスワードとは異なるパスワード認証が可能である。 |
| 3 | 6 | 14 | | 診断を確定するために、対象診断のスライドガラスのバーコード読み取りを必須とすることもできる。 |
| 3 | 6 | 15 | | 診断を確定し改竄できない状態にする操作は、複数標本をまとめてできる。 |
| 3 | 6 | 16 | | 診断報告書の更新履歴管理機能を有する。他の細胞検査士が入力した結果を閲覧可能なこと。 |
| 3 | 6 | 16 | 1 | ・履歴管理された情報は容易に参照できる機能を有する。 |
| 3 | 6 | 16 | 2 | ・最終診断作成時、複数の細胞検査士が入力した内容が各々異なる場合、自動的に1画面に並べてその内容を表示することが可能なこと。 |
| 3 | 6 | 16 | 3 | ・1画面に並べて表示した内容を選択し、簡単に診断入力画面に反映できる。 |
| 3 | 6 | 17 | | 報告書印刷機能を有する。 |
| 3 | 6 | 17 | 1 | ・報告書に画像を添付出来る。 |
| 3 | 6 | 17 | 2 | ・仮報告書、本報告書、再出力の区別が可能である。 |
| 3 | 6 | 17 | 3 | ・指定された受付日または標本番号範囲でまとめて報告書印刷ができる。標本番号指定の場合には、任意に選択された番号で印刷が可能である。 |
| 3 | 6 | 17 | 4 | ・診断の入力中に登録をしていない状態でも報告書の印刷プレビュー画面が表示できる。ただし、そのプレビュー画面から印刷する場合は、登録も可能なこと。 |
| 3 | 6 | 17 | 5 | ・報告書のレイアウトは現在のレイアウトを踏襲すること。 |
| 3 | 6 | 18 | | 重要度（重要、研究、希少、学会）の登録機能を有する。 |
| 3 | 6 | 19 | | 既往歴参照機能を有する。必要に応じて詳細内容を参照できる。 |
| 3 | 6 | 20 | | 電子カルテ起動（外部プログラム呼び出し）機能を有する。 |
| 3 | 6 | 21 | | 最終診断後の追加・訂正レポート作成機能を有する。 |
| 3 | 6 | 22 | | 確定した病理診断結果をWebで閲覧する機能を有する。 |
| 3 | 6 | 22 | 1 | ・診断入力画面より病理結果Webレポートのプレビュー画面を参照できる機能を有する。 |
| 3 | 6 | 22 | 2 | ・診断画面において、Web参照で臨床側が内容を確認したかどうかを表示する機能を有する。 |
| 3 | 6 | 22 | 3 | ・臨床から参照する病理結果のWebレポートは現在のレポートを踏襲すること。 |
| 3 | 6 | 23 | | 診断画面から、症例をカンファレンスタスクとしてスケジュール登録する機能を有する。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|----|---|---|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 3 | 6 | 24 | | 診断画面から、症例をライブラリ登録する機能を有する。ライブラリ登録時には、症例に対するコメントを登録できる。 |
| 3 | 7 | | | 追加染色依頼 |
| 3 | 7 | 1 | | 診断中に追加染色依頼を行う機能を有する。 |
| 3 | 7 | 1 | 1 | ・追加した染色情報を染色依頼用紙に印刷できる機能を有する。 |
| 3 | 7 | 1 | 2 | ・追加した染色情報にコメントを登録できる機能を有する。 |
| 3 | 7 | 1 | 3 | ・染色依頼用紙には、染色コメントも印刷できる。 |
| 3 | 7 | 1 | 4 | ・染色依頼用紙は現在のレイアウトを踏襲すること。 |
| 4 | | | | 剖検業務支援機能 |
| 4 | 1 | | | 検査依頼受付 |
| 4 | 1 | 1 | | 電子カルテシステムまたはオーダーリングシステムから送信された検査依頼情報、患者属性情報、シエマ画像を取り込める機能を有する。 |
| 4 | 1 | 2 | | 検査依頼情報は、一覧形式で表示できる。 |
| 4 | 1 | 3 | | 検査依頼情報に対する到着確認処理をする機能を有する。 |
| 4 | 1 | 3 | 1 | ・バーコード読み込みによる到着確認ができる。 |
| 4 | 1 | 3 | 2 | ・検査依頼単位、または、検査依頼一括登録機能を有する。 |
| 4 | 1 | 3 | 3 | ・オーダー情報受付時に、同時にオーダー情報の変更ができる。 |
| 4 | 1 | 4 | | 検査依頼情報、患者属性情報が送信されてなくても、部門発番による新規受付登録が行える。 |
| 4 | 1 | 4 | 1 | ・部門発番した依頼情報に、後から送信された検査依頼情報（オーダー）を割り付ける機能を有する。 |
| 4 | 1 | 5 | | 標本番号の自動発行機能を有する。 |
| 4 | 1 | 6 | | 患者情報登録機能を有する。 |
| 4 | 1 | 6 | 1 | ・患者番号入力時、患者属性情報を表示でき、登録、訂正する機能を有する。 |
| 4 | 1 | 6 | 2 | ・患者の感染症情報に陽性例がある場合、注意を促すためにアラート表示される。 |
| 4 | 1 | 7 | | 依頼書取込機能を有する。 |
| 4 | 1 | 7 | 1 | ・依頼書を連続して取り込んだ後、標本に割り当てる機能を有する。 |
| 4 | 1 | 8 | | 標本情報等登録機能を有する。 |
| 4 | 1 | 8 | 1 | ・既往標本番号表示機能及び、既往歴の詳細内容の閲覧機能を有する。 |
| 4 | 1 | 8 | 2 | ・到着確認時にも既往歴が閲覧できる。 |
| 4 | 1 | 8 | 3 | ・既往標本同士の関連を登録する機能を有する。 |
| 4 | 1 | 9 | | 受付情報登録後、次番号に自動で遷移する機能を有する。前受付番号、次受付番号へはワンクリックで移動及び表示が可能である。 |
| 4 | 2 | | | 受付情報編集 |
| 4 | 2 | 1 | | 受付情報の入力・訂正・削除処理機能を有し、更新履歴管理機能を有する。 |
| 4 | 2 | 1 | 1 | ・また、履歴管理された情報は容易に参照できる機能を有する。 |
| 4 | 2 | 2 | | 標本番号ラベルの印字機能を有する。 |
| 4 | 2 | 3 | | フリー入力の標本番号ラベル印字機能を有する。 |
| 4 | 2 | 4 | | 標本作製状況ステータス管理機能を有する。 |
| 4 | 2 | 4 | 1 | ・標本作製進捗状況の閲覧、変更機能を有する。作業状況により自動的に工程が更新され、手動でも変更可能である。 |
| 4 | 2 | 4 | 2 | ・標本作製状況は、病理結果Webレポートからも参照できる機能を有する。 |
| 4 | 2 | 4 | 3 | ・標本作製状況にコメントが登録できる。 |
| 4 | 2 | 5 | | 診断状況ステータス管理機能を有する。 |
| 4 | 2 | 5 | 1 | ・診断状況の閲覧、変更機能を有する。診断状況により自動的に工程が更新され、手動でも変更可能である。 |
| 4 | 2 | 5 | 2 | ・診断状況は、病理結果Webレポートからも参照できる機能を有する。 |
| 4 | 2 | 5 | 3 | ・診断作製状況にコメントが登録できる。 |
| 4 | 3 | | | 切出し/染色 |
| 4 | 3 | 1 | | 切出し情報を登録及び変更できる。 |
| 4 | 3 | 1 | 1 | ・ブロックの枝番、コメントの入力機能を有する。 |
| 4 | 3 | 1 | 2 | ・リンパの枝番、コメントの入力機能を有する。 |
| 4 | 3 | 1 | 3 | ・ブロック毎に、包埋（開始、終了日時、作業者、確認者）の登録ができる。 |
| 4 | 3 | 1 | 4 | ・カセットプリンタから切出し情報をカセット印刷する機能を有する。 |
| 4 | 3 | 1 | 5 | ・切出者、切出し日の指定ができる。 |
| 4 | 3 | 1 | 6 | ・検体容器に貼られたバーコードとカセット印刷された2次元コードを読み取ることで、容器とカセットの一致確認を行う機能を有する。また確認の結果を記録できる。また手動でも容器確認結果を記録できる。 |
| 4 | 3 | 2 | | 染色情報の入力機能を有する。 |
| 4 | 3 | 2 | 1 | ・染色名入力および入力済みブロックの染色依頼機能を有する。特殊染色名の登録及び変更ができる。 |
| 4 | 3 | 2 | 2 | ・セット染色登録機能を有し、一括で染色を選択することができる。 |
| 4 | 3 | 2 | 3 | ・セット染色数に制限がない。また、セット染色情報は保守機能よりメンテナンス可能である。 |
| 4 | 3 | 2 | 4 | ・切出し数及びラベル枚数の登録及び変更ができる。 |
| 4 | 3 | 2 | 5 | ・染色ラベル枚数は制限がない。 |
| 4 | 3 | 2 | 6 | ・優先してラベル印刷する染色を指定できる。 |
| 4 | 3 | 2 | 7 | ・染色の入力操作では、染色マスタに登録された染色を表形式で表示し、染色コード・染色名・遺伝子検査用・外注用でフィルタリングして選択できる。 |
| 4 | 3 | 2 | 8 | ・染色情報は保守機能よりメンテナンス可能である。また染色情報は一般・特染・免染・遺伝子・その他でグループ分けでき、外注用染色のマーキングもできる。 |
| 4 | 3 | 2 | 9 | ・染色情報登録時に、予約の未染登録が可能である。 |
| 4 | 4 | | | ワークシート |
| 4 | 4 | 1 | | 材料の追加切出し管理機能を有する。またその履歴管理機能を有する。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|----|---|--|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 4 | 4 | 2 | | 標本作製工程管理機能を有する。 |
| 4 | 4 | 2 | 1 | ・指定された受付日または受付範囲にある標本の進捗状況を表示する機能を有する。また工程進捗は自動的に更新され、手動による変更も可能である。 |
| 4 | 4 | 2 | 2 | ・任意の標本、ブロック、スライドに対して、一括で進捗状況を変更できる。 |
| 4 | 4 | 2 | 3 | ・任意の標本単位で提出管理ができる。 |
| 4 | 4 | 3 | | ワークシート印刷機能を有する。 |
| 4 | 4 | 3 | 1 | ・ワークシート一覧上から、指定された標本の受付情報を簡単に変更する機能を有する。 |
| 4 | 5 | | | 報告書の作成（診断支援機能） |
| 4 | 5 | 1 | | 診断標本の診断フェーズ選択（診断原案、最終診断等のフェーズ選択）機能を有する。 |
| 4 | 5 | 2 | | 依頼書もしくは本病理検査システムで出力したプレパラートに添付されたバーコードを読み取ることで、該当標本を表示できる。 |
| 4 | 5 | 2 | 1 | ・依頼書とプレパラートに添付されたバーコードの両方を読み取らないと、診断を開始できないようにする機能を有する。 |
| 4 | 5 | 3 | | 診断コードによる剖検主診断名作成機能を有する。標準コードは任意とする。但し、ICD-O-3準拠コード及び当病院の独自コードも対応可能で、自由文入力・編集も可能である。 |
| 4 | 5 | 4 | | 定型文による所見文作成機能を有する。 |
| 4 | 5 | 5 | | 主病変、副病変、剖検総括の入力機能を有する。 |
| 4 | 5 | 5 | 1 | ・スペルチェック機能を有する。 |
| 4 | 5 | 5 | 2 | ・所見文への文字装飾機能を有する。また所見文字数に制限がない。 |
| 4 | 5 | 6 | | 臓器重量表の入力機能を有する。 |
| 4 | 5 | 7 | | 所見文の定型文登録が利用ユーザー毎に登録できる機能を有する。 |
| 4 | 5 | 8 | | 診断を確定し、改竄できない状態にできる。 |
| 4 | 5 | 9 | | 診断を確定するときに、診断結果の重要度及び、臨床側に通知したいコメントを登録する機能を有する。診断結果連携先システムが対応している場合、登録した重要度及びコメントを送信することもできる。 |
| 4 | 5 | 10 | | 診断を確定し改竄できない状態にする操作には、ログインパスワードとは異なるパスワード認証が可能である。 |
| 4 | 5 | 11 | | 診断を確定するために、対象診断のスライドガラスのバーコード読み取りを必須とすることもできる。 |
| 4 | 5 | 12 | | 診断を確定し改竄できない状態にする操作は、複数標本をまとめてできる。 |
| 4 | 5 | 13 | | 診断報告書の更新履歴管理機能を有する。また、同時に既往歴情報も閲覧可能なこと。 |
| 4 | 5 | 13 | 1 | ・履歴管理された情報は容易に参照できる機能を有する。 |
| 4 | 5 | 14 | | 報告書印刷機能を有する。 |
| 4 | 5 | 14 | 1 | ・報告書に画像を添付出来る。 |
| 4 | 5 | 14 | 2 | ・仮報告書、本報告書、再出力の区別が可能である。 |
| 4 | 5 | 14 | 3 | ・指定された受付日または標本番号範囲でまとめて報告書印刷ができる。標本番号指定の場合には、任意に選択された番号で印刷が可能である。 |
| 4 | 5 | 14 | 4 | ・報告書のレイアウトは現在のレイアウトを踏襲すること。 |
| 4 | 5 | 15 | | 重要度（重要、研究、希少、学会）の登録機能を有する。 |
| 4 | 5 | 16 | | 既往歴参照機能を有する。必要に応じて詳細内容を参照できる。 |
| 4 | 5 | 17 | | 電子カルテ起動（外部プログラム呼び出し）機能を有する。 |
| 4 | 5 | 18 | | 最終診断後の追加・訂正レポート作成機能を有する。 |
| 4 | 5 | 19 | | 剖検の診断情報編集に、受付情報の項目を容易に編集できる。 |
| 4 | 5 | 20 | | 剖検のCPC記録機能及びコメント記録機能を有し、診断確定後で合っても編集可能である。 |
| 4 | 5 | 21 | | 確定した病理診断結果をWebで閲覧する機能を有する。 |
| 4 | 5 | 21 | 1 | ・診断入力画面より病理結果Webレポートのレビュー画面を参照できる機能を有する。 |
| 4 | 5 | 21 | 2 | ・診断画面において、Web参照で臨床側が内容を確認したかどうかを表示する機能を有する。 |
| 4 | 5 | 21 | 3 | ・臨床から参照する病理結果のWebレポートは現在のレポートを踏襲すること。 |
| 4 | 5 | 22 | | 診断画面から、症例をカンファレンスタスクとしてスケジュール登録する機能を有する。 |
| 4 | 5 | 23 | | 診断画面から、症例をライブラリ登録する機能を有する。ライブラリ登録時には、症例に対するコメントを登録できる。 |
| 4 | 7 | | | 追加染色依頼 |
| 4 | 7 | 1 | | 診断中に追加染色依頼を行う機能を有する。 |
| 4 | 7 | 1 | 1 | ・追加した染色情報を染色依頼用紙に印刷できる機能を有する。 |
| 4 | 7 | 1 | 2 | ・追加した染色情報にコメントを登録できる機能を有する。 |
| 4 | 7 | 1 | 3 | ・染色依頼用紙には、染色コメントも印刷できる。 |
| 4 | 7 | 1 | 4 | ・染色依頼用紙は現在のレイアウトを踏襲すること。 |
| 5 | | | | 画像管理機能 |
| 5 | 1 | | | 画像管理、画像編集、画像印刷、画像の取り扱いに関して、以下の機能を有する。 |
| 5 | 2 | | | 画像取り込み機能 |
| 5 | 2 | 1 | | イメージスキャナ、デジタルカメラを利用して、画像を取り込む機能を有する。画像ファイル取り込み機能により、取り込まれた画像は、自動的に該当標本と関連付けられる。 |
| 5 | 2 | 2 | | 画像ファイルをWindowsエクスプローラ上で選択し、ドラッグ&ドロップで一括で標本に割り付けることができる。 |
| 5 | 2 | 3 | | 取り込まれた画像は、画像単位でマクロ画像、ミクロ画像、依頼書画像、シエマ画像、工程画像、その他の画像として属性管理できる。取り込まれた画像はJPEGフォーマットで保存される。1検査に対して、マクロ画像、顕微鏡画像をそれぞれ複数枚（1標本に対し合計で最大500枚まで）取り込むことができる。システムのハードウェア的あるいはソフトウェア的な画像取り込み数制限は、運用上問題の無いレベルである。 |
| 5 | 2 | 4 | | マクロカメラ、ミクロカメラ共に、撮影と同時に自動的に対象標本に取り込まれる。また、自動で取り込みたくない場合は、利用端末単位で撮影画面上で簡単に切り替える。 |
| 5 | 3 | | | 画像加工機能 |
| 5 | 3 | 1 | | 取り込んだ画像上に図形やテキストを描画する、画像加工機能を有する。 |
| 5 | 3 | 2 | 1 | 描画項目について、一般的な描画機能として、以下の機能を有する。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|---|---|--|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 5 | 3 | 2 | 2 | ・直線描画機能 |
| 5 | 3 | 2 | 3 | ・円、楕円描画機能 |
| 5 | 3 | 2 | 4 | ・フリーハンド曲線描画機能 |
| 5 | 3 | 2 | 5 | ・矩形描画機能 |
| 5 | 3 | 2 | 6 | ・描画オブジェクトの色、太さを変更する機能 |
| 5 | 3 | 2 | 7 | ・テキスト入力機能（定型文化できる。また定型文の数に制限がない。） |
| 5 | 3 | 2 | 8 | ・入力文字の色、フォント、大きさを変更する機能 |
| 5 | 3 | 2 | 9 | ・輝度・コントラストを調整する機能 |
| 5 | 3 | 3 | 1 | 組織標本の切出し図を描くために、以下の機能を有する。 |
| 5 | 3 | 3 | 2 | ・切出し番号の自動ナンバリング機能 |
| 5 | 3 | 3 | 3 | ・枝番号の自動ナンバリング機能 |
| 5 | 3 | 3 | 4 | ・斜め矩形描画機能 |
| 5 | 3 | 3 | 5 | ・矩形の自動分割機能 |
| 5 | 3 | 3 | 6 | ・同一サイズの矩形の連続描画機能 |
| 5 | 3 | 3 | 7 | ・2点間距離計測ツール |
| 5 | 3 | 3 | 8 | ・指定閉区間面積計測ツール |
| 5 | 3 | 4 | | 原画像保存について、画像加工前の原画像は必ず保存されている。画像加工後の画像と、画像加工前の画像の両方を、システムは必ず保存・管理する。描画した線や文字等の情報は、保存後であっても何度でも修正が可能である。 |
| 5 | 3 | 5 | | 白紙からの画像加工が可能である。 |
| 5 | 4 | | | 画像印刷機能 |
| 5 | 4 | 1 | | ・1枚の用紙に何枚の画像を印刷するかを印刷実行時に選択できる。なお、選択は1枚、2枚、4枚、8枚から選択できる。また、縦、横印刷の選択も可能である。 |
| 5 | 4 | 2 | | ・印刷時には、標本属性情報も含めて印刷できる。標本属性情報には患者属性情報、バーコード、印刷日時、撮影日を有し、印刷実行時に自由にそれらを印刷するかどうかを選択できる。 |
| 5 | 5 | | | その他画像管理 |
| 5 | 5 | 1 | | 4500万画素の画像を質を落とさずに画像加工、ビューア表示できる。 |
| 5 | 5 | 2 | | マクロ所見を入力する機能を有する。 |
| 5 | 5 | 3 | | 未受付オーダでも事前にマクロ画像を取込むことができ、対象オーダに紐付けることができる。オーダの受付時には自動でその画像が表示される。 |
| 5 | 5 | 4 | | オーダのない標本でも事前にマクロ画像を取込み、患者IDで紐付けることができる。また、紐付けられた画像は、対象患者のオーダを受付ける際に、事前に取り込んだ画像があることを通知し、そのオーダに紐付けるかどうか画像単位で選択することができる。 |
| 5 | 5 | 5 | | 標本、患者、オーダに紐つかない画像も取り込んで未割り当て画像として管理することができる。また、未割り当て画像は、オーダを受付ける際に、事前に取り込んだ画像があることを通知し、そのオーダに紐付けるかどうか画像単位で選択することができる。 |
| 6 | | | | スライド管理機能 |
| 6 | 1 | | | 組織診、細胞診、剖検スライドラベル、ガラス印刷機能を有する。 |
| 6 | 1 | 1 | | 受付、診断等の作業中に、スライドラベル、ガラス印刷機能を併用して利用することが可能である。 |
| 6 | 1 | 2 | | 標本番号情報を持ったバーコードをスライドラベル又はガラスに印字できる。 |
| 6 | 1 | 3 | | ラベル印字を行なう際に、用紙の開始位置指定ができる。 |
| 6 | 1 | 4 | | フリー入力によるラベル又はガラス印字機能を有する。 |
| 6 | 1 | 5 | | 自動免疫染色装置と連携する場合は、自動免疫染色装置で読み取り可能なスライドラベル又はガラス印字もできる。 |
| 6 | 1 | 6 | | 組織診、剖検において、本病理検査システムで出力したカセットに印字されたバーコードを読み取ることで、対象カセットに紐づいた染色のスライドガラスを印字することができる。 |
| 6 | 2 | | | 印刷対象ラベル、ガラスの検索機能を有する。 |
| 6 | 2 | 1 | | 未印刷および印刷済での検索が可能である。 |
| 6 | 2 | 2 | | 指定された受付日または標本番号範囲での印刷ができる。標本番号指定の場合には、任意に選択された番号で印刷が可能である。印刷されたラベル、ガラスの出力管理ができる。 |
| 6 | 2 | 3 | | 印刷された特殊染色ラベル、ガラスの管理が行なえる。また、指定された受付日以前に指示されている特殊染色を一覧形式で表示、印刷できる。 |
| 7 | | | | スライド管理機能 |
| 7 | 1 | | | 確定した病理診断結果をWebで閲覧する機能を有する。 |
| 7 | 1 | 1 | | 病理診断結果は、最終診断、訂正・追加レポートといった、診断履歴毎に閲覧できる。 |
| 7 | 1 | 2 | | 診断に紐づいて公開対象とした画像を閲覧できる。また画像のダウンロードや画面印刷を防御する仕組みを有する。 |
| 7 | 1 | 3 | | 診断確定時に重要度・コメントを登録していた場合、病理診断結果に表示する機能を有する。 |
| 7 | 1 | 4 | | 臨床側が内容を確認したことを登録する機能を有する。 電子カルテシステムが対応可能な場合は、内容を確認したユーザー情報を記録・表示もできる。 |
| 7 | 1 | 5 | | 臨床側が病理診断結果を患者説明をしたことを登録する機能を有する。 電子カルテシステムが対応可能な場合は、患者説明をしたユーザー情報を記録・表示もできる。 |
| 7 | 1 | 6 | | 検索条件を指定して病理診断結果を検索する機能を有する。 |
| 7 | 1 | 7 | | 検索条件は、診断確定時に登録した重要度を指定することも出来る。 |
| 7 | 1 | 8 | | 検索結果は一覧で表示でき、CSV形式でファイルダウンロードする機能を有する。 |
| 7 | 1 | 9 | | 電子カルテシステムからWeb病理診断結果閲覧をする場合、閲覧者が病理オーダの依頼医又は主治医であり、かつ未読の病理診断結果がある場合アラート表示する機能を有する。 |
| 8 | | | | 検索機能 |
| 8 | 1 | | | 業務検索機能 |
| 8 | 1 | 1 | | 検索条件のセットは複数用意することが可能であり、その数に制限がない。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|----|---|--|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 8 | 1 | 2 | | 問い合わせ（簡易検索）機能 |
| 8 | 1 | 3 | | 患者IDおよび患者氏名などの項目で検索でき作業工程の進捗表示が可能である。 |
| 8 | 1 | 4 | | 入力した複数問い合わせ条件項目は、AND（かつ）条件で検索が可能である。 |
| 8 | 1 | 5 | | 受付、診断等の作業中に、問い合わせ機能を併用して利用することが可能である。 |
| 8 | 1 | 6 | | 問い合わせ結果から診断済み標本の診断内容を表示することが可能である。 |
| 8 | 1 | 7 | | 問い合わせ結果は、印刷およびファイル出力(Excel形式もしくはCSV形式)が可能である。 |
| 8 | 2 | | | 汎用検索機能 |
| 8 | 2 | 1 | | 受付および診断情報を複合せ検索が可能である。 |
| 8 | 2 | 2 | | 標本種別毎（組織診、細胞診、剖検）に検索が可能である。 |
| 8 | 2 | 3 | | 受付日を範囲指定して任意の条件で検索が可能である。 |
| 8 | 2 | 4 | | 任意（複数可）の条件で検索が可能。 （依頼元、診断医、検査項目、採取部位、採取法、良悪、クラス、判定、診断コード、診断フリー、総合所見、コメントフリー、年齢、画像コメント等） |
| 8 | 2 | 5 | | 各検索条件項目はAND（かつ）条件、同一検索条件項目(所見および受付情報)はOR（または）およびAND（かつ）条件で検索が可能である。 |
| 8 | 2 | 6 | | 診断名、所見内容での検索が可能であり、診断名と所見内容をまとめて検索できる検索条件設定を有する。 |
| 8 | 2 | 7 | | 臓器コード、診断コード、採取法のセットによる検索が可能である。 |
| 8 | 2 | 8 | | がん取扱規約に基づく登録項目を個別検索可能である。 |
| 8 | 2 | 9 | | 受付、診断等の作業中に、検索機能を併用して利用することが可能である。 |
| 8 | 2 | 10 | | 検索結果は、対象件数表示を行った後に一覧表示および詳細表示が可能である。 |
| 8 | 2 | 11 | | 一度利用した検索条件については、条件登録により再利用が可能であること |
| 8 | 2 | 12 | | 検索結果は、印刷およびファイル出力(Excel形式もしくはCSV形式)が可能である。また、がん取扱規約情報も抽出可能である。 |
| 8 | 2 | 12 | 1 | ・一覧に対して、選択された任意の行のみ印刷およびファイル出力が可能である。 |
| 8 | 2 | 13 | | 汎用検索は、検索中にヒット件数がシステム設定の上限以上に達した場合、検索条件を絞るよう促し、検索実行の中止ができる。 |
| 8 | 2 | 14 | | 検索結果一覧から、受付情報の履歴と診断情報の履歴が参照できる。 |
| 9 | | | | 検索機能 |
| 9 | 1 | | | 以下の統計情報及び精度管理情報を作成する機能を有する。 |
| 9 | 1 | 1 | | 月別業務統計 |
| 9 | 1 | 2 | | 診療科別業務統計 |
| 9 | 1 | 3 | | 依頼元別業務統計 |
| 9 | 1 | 4 | | 月別業務詳細統計 |
| 9 | 1 | 5 | | 業務日報 |
| 9 | 1 | 6 | | 受付材料別統計 |
| 9 | 1 | 7 | | 染色種類別統計 |
| 9 | 1 | 8 | | 保険点数統計 |
| 9 | 1 | 9 | | 細胞学会認定施設〔標準〕(検体)統計 |
| 9 | 1 | 9 | 1 | ・細胞診と組織診の対比件数も統計される。 |
| 9 | 1 | 10 | | 細胞学会認定施設〔材料分類〕(検体)統計 |
| 9 | 1 | 11 | | 細胞学会認定施設(標本)統計 |
| 9 | 1 | 12 | | クラス別(検体)統計、クラス別(標本)統計 |
| 9 | 1 | 13 | | 判定別(検体)統計、判定別(標本)統計 |
| 9 | 1 | 14 | | 標本の適否別統計 |
| 9 | 1 | 15 | | 材料別陽性率 |
| 9 | 1 | 16 | | 診断者別陽性率 |
| 9 | 1 | 17 | | ダブルチェック率 |
| 9 | 1 | 18 | | 臨床確認率（病理結果Webレポート） |
| 9 | 1 | 19 | | ターンアラウンド（集計） |
| 9 | 1 | 20 | | ターンアラウンド（詳細） |
| 9 | 1 | 21 | | 統計／精度管理結果は、EXCELファイルに出力できる。また、EXCELに出力された値から、その詳細の対象標本一覧が表示できる。 |
| 10 | | | | 貸し出し管理機能 |
| 10 | 1 | | | 以下の項目を入力し、標本の貸し出し管理機能を有する。 （依頼元、標本番号、患者番号、患者カナ氏名、患者漢字氏名、受付日、貸出日、返却予定日、貸出先、コメント） |
| 10 | 2 | | | 未返却標本の検索、貸し出し状況が表示できる機能を有する。 |
| 10 | 3 | | | 貸し出した標本の返却入力ができる機能を有する。 |
| 10 | 4 | | | 貸出時に対象となる本病理検査システムで出力したスライド、カセットのバーコードを読み取ることで自動で貸出情報が入力される。 |
| 10 | 5 | | | 返却期限が超えている場合、督促状を印刷する機能を有する。 |
| 10 | 6 | | | 貸出伝票レイアウト及び督促状は現在のレイアウトを踏襲すること。 |
| 11 | | | | 借用管理機能 |
| 11 | 1 | | | 以下の項目を入力し、借用管理機能を有する。 （依頼元、標本番号、患者番号、患者カナ氏名、患者漢字氏名、受付日、貸出日、返却予定日、貸出先、コメント） |
| 11 | 2 | | | 未返却標本の検索、貸し出し状況が表示できる機能を有する。 |
| 11 | 3 | | | 借用した標本の返却入力ができる機能を有する。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|---|---|--|---|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 12 | | | | 会計機能 |
| 12 | 1 | | | 検査部門側で、診療報酬算定を変更した場合、医事側で係る情報を印字する機能を有する。 |
| 12 | 2 | | | 一回の印字で、同一標本番号で診療報酬算定が複数回ある場合、最新の診療報酬算定のみ表示するフィルタリング機能を有する。 |
| 13 | | | | スケジュール管理機能 |
| 13 | 1 | | | ・スケジュール管理機能によるタスク管理ができる。タスクは利用者の権限ごとにアクセス制限が設けられる。 |
| 13 | 2 | | | ・カンファレンスタスクには、カンファレンス対象の病理標本番号を複数登録できる。 |
| 14 | | | | ライブラリ機能 |
| 14 | 1 | | | 任意の標本をライブラリ化できる機能を有する。 |
| 14 | 1 | 1 | | ・カテゴリの作成、削除ができる。 |
| 14 | 1 | 2 | | ・1つの標本を複数のカテゴリに割り当てることができる。割り当てる際は、診断画面から登録できる。また、検索結果の一覧からも複数を選択し一括で登録できる。 |
| 14 | 1 | 3 | | ・カテゴリは、病理部員の個人と病理部全体の共有に分類できる。 |
| 14 | 1 | 4 | | ・ライブラリのカテゴリ単位で一覧を印刷・ファイル出力することができる。 |
| 14 | 2 | | | 診断済みの標本をユーザ独自のカテゴリで分けて管理できる機能を有する。分けられたカテゴリから、画像も含めて診断参照することができる。またカテゴリは複数人で共有することも可能である。 |
| 15 | | | | ダッシュボード機能 |
| 15 | 1 | | | 病理業務の作業進捗を表示するダッシュボード機能を有する。 |
| 15 | 1 | 1 | | ・当日の検体採取予定件数と、受付実績件数を表示する機能を有する。 |
| 15 | 1 | 2 | | ・当日の迅速予定件数と、迅速未受付数を表示する機能を有する。 |
| 15 | 1 | 3 | | ・当日の迅速予定一覧を表示する機能を有する。 |
| 15 | 1 | 4 | | ・病理業務の進捗状況をシグナル方式で表示する機能を有する。 |
| 15 | 1 | 5 | | ・当日のスケジュールを表示する機能を有する。 |
| 15 | 1 | 6 | | ・業務統計グラフを表示する機能を有する。 |
| 15 | 1 | 7 | | ・URL指定した先のHTMLを埋め込み表示する機能を有する。 |
| 15 | 1 | 8 | | ・表示されている情報は、一定時間経過すると自動で更新できる。 |
| 16 | | | | 保守機能 |
| 16 | 1 | | | マスタデータ管理機能を有する。 |
| 16 | 1 | 1 | | ・ユーザ毎に利用できる機能と機能内での権限が定義可能である。また、この定義はユーザ毎とし、別端末を使用してもユーザ毎の制約が適用される。 |
| 16 | 1 | 2 | | ・各マスタは、印刷およびファイル出力(Excel形式)が可能である。 |
| 16 | 2 | | | バックアップ機能を有する。 |
| 16 | 3 | | | リモートメンテナンス |
| 16 | 3 | 1 | | ・リモートメンテナンス環境がある場合、リモートによるメンテナンスが可能である。 |
| 17 | | | | セキュリティ、トレーサビリティ |
| 17 | 1 | | | ユーザ名とログインパスワード入力によるログイン管理が可能である。電子カルテ用IDと電子カルテ用パスワードでもログインが可能である。 |
| 17 | 1 | 1 | | ・Windows認証もしくは電子カルテ認証による、シングルサインオンの機能に対応できる。 |
| 17 | 2 | | | 端末を利用していないときに、不正アクセスを避けるため、画面のロックがかけられる機能を有する。 |
| 17 | 2 | 1 | | ・画面のロックは、ユーザ任意に手動でかけられる。 |
| 17 | 2 | 2 | | ・画面のロックは、端末に対して一定時間アクセスがないときに自動的にかかる。また一定時間はシステム管理者の設定で変更できる。 |
| 17 | 2 | 3 | | ・画面のロック解除は、ログインしているユーザ、あるいは管理者専用の解除パスワードを入力することで解除できる。 |
| 17 | 3 | | | VIP患者は他システムへの情報公開を行わない。病理部内でも、権限のある人のみ参照可能とする機能を有する。 |
| 17 | 4 | | | システム管理者権限ユーザはシステム管理を行う個人に紐づいて1対1で登録できる。 |
| 17 | 5 | | | システムのアクセスログ機能を有する。 |
| 17 | 5 | 1 | | ・システムへのログイン/ログアウトのログを記録し、検索、表示できる。 |
| 17 | 5 | 2 | | ・システムログには、患者名、入力値は記録されない。 |
| 18 | | | | 画面レイアウト |
| 18 | 1 | | | 受付画面・診断画面などで、画面サイズや画面配置を自由に変更できる。また、各ユーザ単位で、変更後の画面レイアウトを保存できる。 |
| 18 | 2 | | | モニタの解像度が1920×1080以上であればどの解像度でも対応できる。 |
| 18 | 2 | 1 | | ・システムはマルチディスプレイに対応できる。 |
| 18 | 2 | 2 | | ・各画面の表示位置・構成レイアウトは、利用者単位、目付、モニタ数単位、目付解像度単位で保持され、利用者は、シングルディスプレイ端末、マルチディスプレイ端末の混在や、解像度の異なるモニタの環境でも、正しく表示される。 |
| 18 | 3 | | | すべての一覧における列順の入替が可能である。また、各ユーザ単位で保存できる。 |
| 18 | 4 | | | 受付画面・診断画面・ワークシートの初期表示項目は、組織・細胞診・剖検毎に最適化された状態である。 |
| 19 | | | | その他システム全般 |
| 19 | 1 | | | 全ての画面に関して、閉じる行為のショートカットはESCキーとして割り当てられている。 |
| 19 | 2 | | | 登録・削除処理、検索実行処理の結果は、必ずその処理が完了したことを表示する。表示されている間でも各操作ができる。 |
| 19 | 3 | | | 各業務機能において、業務の残数が常に表示されている。また、その残数の詳細がワンクリックで一覧表示され、その一覧から各業務機能を利用できる。 |
| 19 | 4 | | | すべての業務機能において、編集したい標本が他者利用中の場合、「誰が」、「どの端末で」、「どの業務機能」を利用しているか、即時に情報が得られる。 |

| 現行ベンダー名 | | | | 株式会社インテック |
|---------|----|---|---|--|
| システム名 | | | | 病理部門システム |
| パッケージ名 | | | | EXpath |
| 項番 | | | | 要求仕様 |
| 19 | 5 | | | 各業務機能に於いて、表示中の画面上で現在表示している標本とは異なる標本種別のバーコード（依頼書、本病理検査システムで出力したスライドラベル、カセット等）を読み込んでも、対象の標本が表示できる。 |
| 19 | 6 | | | すべての業務機能において、業務機能排他がかからず、同時に複数の業務機能が利用できる。 |
| 19 | 7 | | | 各業務機能に於いて、検索した結果一覧は業務機能を切り替えても保持され、再度同じ業務機能に戻ることで、結果一覧を再利用できる。また、結果一覧をクリアしたい場合は、クリアすることも可能な。 |
| 19 | 8 | | | 標本作業チェック |
| 19 | 8 | 1 | | ・標本単位で、作業もれチェック、いつ誰が何の作業をしたか、していないかを表示する機能を有する。 |
| 19 | 9 | | | ファイル管理機能(Word, Excel, PDF等さまざまな形式のファイルを標本単位で登録)を有する。 |
| 19 | 9 | 1 | | ・ファイル登録先は公開用途と非公開用途で分けることができる。 |
| 19 | 9 | 2 | | ・公開用途で登録したファイルは、病理結果Webレポートで表示できリンククリックでファイル参照することもできる。 |
| 19 | 10 | | | 病理システムの状態を監視できる機能を有する。 |
| 19 | 10 | 1 | | ・バックアップが失敗している場合、回復するまで定期的にエラー通知が表示される。また、エラー通知は任意の端末に設定することができる。 |
| 19 | 10 | 2 | | ・各種システム連携で、正しく送信出来ていない場合、回復するまで定期的にエラー通知が表示される。また、エラー通知は任意の端末に設定することができる。 |
| 19 | 11 | | | 伝言メモ |
| 19 | 11 | 1 | | ・受付時または診断時に登録・参照できる伝言メモ機能を有する。 |
| 19 | 11 | 2 | | ・伝言メモに追記する際に、ログインユーザ、日時の情報も同時に記録され履歴として残る。 |
| 19 | 11 | 3 | | ・伝言メモに追記したテキスト情報は、履歴として一目で確認できる。 |
| 19 | 11 | 4 | | ・伝言メモに追記したテキスト情報を編集する操作は、ユーザ権限で管理できる。 |
| 19 | 11 | 5 | | ・利用者間共通に利用する伝言メモと、ユーザーのみ利用する個人用メモ機能を有する。 |
| 19 | 12 | | | ブロック管理 |
| 19 | 12 | 1 | | ・複数の標本にまたがってブロック一覧を表示し、ブロック単位で作業管理する機能を有する。 |
| 19 | 12 | 1 | 1 | ・作業登録は、選択したブロックに対してまとめて行うことができる。 |
| 19 | 12 | 2 | | ・ブロック一覧で選択したブロックに対して、カセット印刷できる。 |
| 20 | | | | システム間連携 |
| 20 | 1 | | | 電子カルテ/オーダリングシステムと、システム間連携を行える。 |
| 20 | 1 | 1 | | ・電子カルテ/オーダリングシステムから、病理オーダを受信する連携行える。 |
| 20 | 1 | 2 | | ・病理で到着確認した結果及び検査結果報告を電子カルテ/オーダリングシステムに送信する連携を行える。 |
| 20 | 1 | 3 | | ・病理で発生した診療情報加算/変更情報を電子カルテ/オーダリングシステムに送信する連携を行える。 |
| 21 | | | | データ移行 |
| 21 | 1 | | | 既存システムからデータ移行用に出力されたデータ、画像全てを移行することが可能である。 |
| 21 | 1 | 1 | | ・受付情報、診断情報の文字情報と病理画像の関連性を維持した上で移行が可能である。 |

| 現行ベンダー名 | | | バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 輸血管理システム |
| パッケージ名 | | | バイオ・ラッド輸血管理システムⅢ |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | 1 | | 画面表示機能 |
| 1 | 1 | 1 | 画面表示サイズは、1920×1080ピクセルの表示に対応している。 |
| 1 | 1 | 2 | データ一覧表示部分の文字サイズが変更でき、ログイン者ごとに設定を保存できる。 |
| 1 | 1 | 3 | 各機能を呼び出すボタンは、日当直者が使用する際に簡素化することができる。 |
| 1 | 2 | | 製剤依頼機能 |
| 1 | 2 | 1 | 電子カルテシステムで発行した輸血オーダー情報について、オーダー発行されたタイミングで輸血管理システムにて受信し表示できる。また輸血管理システムでは進捗状態を「依頼中」にできる。 |
| 1 | 2 | 2 | 輸血製剤管理および血漿分画製剤管理を実施するために必要な情報全てを受信できる。 |
| 1 | 2 | 3 | 患者基本情報を管理できる（漢字氏名、カナ氏名、年齢、性別、血液型、感染症、入外区分、診療科、病棟） |
| 1 | 2 | 4 | 輸血オーダー情報を管理できる（依頼日、輸血実施予定日、実施予定場所、依頼医名、製剤種別・型・単位数・照射 有無、緊急度、病名、目的、異型輸血理由、同意書の有無、輸血室へのコメント） |
| 1 | 2 | 5 | 緊急度については緊急度の段階も受信でき、表示できる。 |
| 1 | 2 | 6 | 採血計画（予定日、予定時間、予定量）の管理ができる。 |
| 1 | 2 | 7 | その他問診情報（副作用歴、輸血歴、妊娠歴など）の管理ができる。 |
| 1 | 2 | 8 | 受信した輸血オーダー情報に対して、輸血実施予定一覧・依頼情報の表示および印刷ができる。 |
| 1 | 2 | 9 | 一か月分の輸血予定が、カレンダー形式で簡易に参照できる。 |
| 1 | 2 | 10 | 電子カルテシステムがダウンした際、仮オーダー入力（患者ID、氏名、製剤名、単位数を輸血管理システムへ登録）を行って業務を継続できる。（仮オーダーをもとに、輸血管理システム内で割付・出庫処理を行い、データを保持しておく） |
| 1 | 2 | 11 | 患者IDなどによる患者検索と、検索した患者の輸血予定情報・実施情報を参照できる。 |
| 1 | 2 | 12 | 電子カルテシステムにて輸血オーダーの変更を行った際に、電子カルテシステムから送信された変更情報を輸血管理システムで受信できる。（輸血オーダー変更は輸血管理システムでの「受付済」前までとすること） |
| 1 | 2 | 13 | 電子カルテシステムにて輸血オーダーの中止を行った際に、電子カルテシステムから送信された中止情報を輸血管理システムで受信し、輸血オーダーを中止できる。（輸血オーダー中止は輸血管理システムでの「受付済」前までとすること） |
| 1 | 2 | 14 | 輸血オーダー情報受信時に輸血管理に必要なワークシートなどの帳票を印刷できる。 |
| 1 | 2 | 15 | 輸血管理システムの依頼コメントにおいて「T&S運用」（仮称）等、決められた文字列が入力されている場合に限り、輸血オーダー受信時にオーダーモードを通常モードからT&Sモードへ自動変更できる。 |
| 1 | 2 | 16 | 輸血オーダー毎に患者の住所情報を蓄積、管理できる。 |
| 1 | 2 | 17 | コンピュータクロスマッチ適用可能な患者かどうかを、輸血依頼表示画面で参照できる。 |
| 1 | 2 | 18 | 輸血オーダー情報受信時に、画面表示およびネットワーク監視表示灯を鳴動させて通知することができる。 |
| 1 | 2 | 19 | 輸血オーダー登録時に、当日以外の輸血オーダーの場合、アラート表示することができる。 |
| 1 | 2 | 20 | 輸血オーダー中止時に、中止専用のコメント入力欄を設けることができる。 |
| 1 | 3 | | 製剤管理機能 |
| 1 | 3 | 1 | 日赤血液センターから供給される製剤バッグに貼付された二次元バーコードを読み取り、入庫処理ができる。また、手入力での入庫処理もできる。 |
| 1 | 3 | 2 | 製剤別、血液型ごとに在庫製剤を表示でき、有効期限順に色別表示され、状態が確認できる。 |
| 1 | 3 | 3 | 期限切れが近い製剤が容易に把握できる。また、期限切れが近いことを知らせる表示を何日前から出すか、製剤ごとに設定できる。 |
| 1 | 3 | 4 | 製剤ごとに院内照射の処理（照射済情報の付与、照射日情報の付与）ができる。 |
| 1 | 3 | 5 | バーコードによる返品作業ができる。また、手入力にも対応できる。 |
| 1 | 3 | 6 | 返品処理時に返品理由が記載できる。 |
| 1 | 3 | 7 | アルブミン製剤の場合、入庫処理時に製剤に枝番号を付与してバーコードを印刷し貼付することにより、製剤ごとの個別管理を実現できる。 |
| 1 | 3 | 8 | アルブミン製剤の入庫処理以降は、血液製剤と同様の手順にて実施までの管理ができる。 |
| 1 | 3 | 9 | 輸血用製剤の保管場所移動ができ、保管先在庫数の管理ができる |
| 1 | 3 | 10 | コンピュータクロスマッチ対応として、在庫製剤の血液型確認の有無の登録ができる。また、入庫時以外でも一括処理画面にて処理が可能である。 |
| 1 | 3 | 11 | バイオ・ラッド製輸血検査装置と接続し、血液型確認検査の依頼情報を送信し、結果情報を受信できる。 |
| 1 | 3 | 12 | 在庫製剤の因子情報、抗体情報の入力管理が可能である。 |
| 1 | 3 | 13 | 製剤割付等の処理を行っている際に、簡易的に現在の在庫状況を参照できる。 |
| 1 | 3 | 14 | 血液センターへ発注する血液製剤の種類、血液型、本数、特記事項、因子、納品日、配送便を画面上で指定して、日本赤十字社の血液製剤（WEB）発注システムに対応するQRコードが印字された製剤発注票を印刷することができる。 |
| 1 | 3 | 15 | 輸血オーダー表示画面から製剤発注票を印刷する画面に連携し、輸血オーダー内容に沿った製剤発注票を印刷することができる。 |
| 1 | 3 | 16 | 製剤発注票印刷済みおよび、血液センター発注済みの管理ができる。 |
| 1 | 4 | | 自己血製剤管理機能 |
| 1 | 4 | 1 | 電子カルテシステムより送信された採血オーダー情報を受信、表示できる。 |
| 1 | 4 | 2 | 採血オーダーを受信後、自己血製剤のラベルを印刷でき、任意に再発行できる。また、採血オーダー表示画面において、自己血ラベルが印刷済であるかを明確に確認できる。 |
| 1 | 4 | 3 | 自己血ラベル印字情報として、製剤種別、患者氏名、患者ID、血液型、製剤種別、採取日、使用期限、製剤番号、依頼医師名、患者の署名欄を文字で、製剤種別、採取日、使用期限、製剤番号をバーコードで印字できる。（バーコードの形式は日赤製剤のバーコードと同様の形式を設定できること）併せて患者基本情報の感染症情報にて何らかの感染症項目が陽性の場合、感染症を示す任意のマークをラベルに印字できる。 |
| 1 | 4 | 4 | 自己血採血予定が、複数日に渡って一覧表示できる。 |

| 現行ベンダー名 | | | バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 |
|---------|----|----|---|
| システム名 | | | 輸血管理システム |
| パッケージ名 | | | バイオ・ラッド輸血管理システムⅢ |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 4 | 5 | オーダー送信された採血計画情報について、実際の採血日および採血量を修正入力できる。 |
| 1 | 4 | 6 | 採血予定登録時は患者血液型が未確定だった場合も、確定後に自己血製剤に血液型を反映できる。 |
| 1 | 4 | 7 | 自己血の入庫処理を行った際に、患者ID、オーダーID、送信日、採血日、採血量、担当者名を電子カルテシステムに送信できる。 |
| 1 | 5 | | 造血幹細胞移植管理機能 |
| 1 | 5 | 1 | 電子カルテシステムより送信された造血幹細胞採取オーダー情報を受信、表示できる。 |
| 1 | 5 | 2 | 造血幹細胞採取オーダーを受信後、造血幹細胞移植ラベルを印刷でき、任意に再発行できる。 |
| 1 | 5 | 3 | また、造血幹細胞採取オーダー表示画面において、造血幹細胞移植ラベルが印刷済であるかを明確に確認できる。 |
| 1 | 5 | 4 | 造血幹細胞採取オーダー情報として、ドナー及びレシピエントの情報を受信、表示できる。 |
| 1 | 5 | 4 | 造血幹細胞移植ラベル印字情報として、造血幹細胞名称、ドナー患者情報、レシピエント患者情報、採取日、使用期限、製剤番号、依頼医師名を文字で、造血幹細胞種別、採取日、使用期限、製剤番号をバーコードで印字できる（バーコードの形式は日赤製剤のバーコードと同様の形式を設定できること）。併せて患者基本情報の感染症情報にて何らかの感染症項目が陽性的場合、感染症を示す任意のマークをラベルに印字できる。 |
| 1 | 5 | 5 | 造血幹細胞採取予定が、複数日に渡って一覧表示できる。また、一か月単位でのカレンダー表示ができる。 |
| 1 | 5 | 6 | オーダー送信された造血幹細胞採取計画情報について、実際の採取日および採取量を修正入力できる。 |
| 1 | 5 | 7 | 造血幹細胞の入庫処理を行った際に、患者ID、オーダーID、送信日、採取日、採取量、担当者名を電子カルテシステムに送信できる。 |
| 1 | 5 | 8 | 造血幹細胞の入庫時は、採取した個数を登録することで個数分の在庫情報が登録でき、移植ラベルを印刷できる。 |
| 1 | 6 | | 割付処理機能 |
| 1 | 6 | 1 | 製剤割付画面では、患者基本情報や依頼内容が表示できる。 |
| 1 | 6 | 2 | 依頼情報に製剤を割り付けたタイミングで、割付情報を電子カルテシステムへ送信できる。また、輸血管理システムでは進捗状態を「割付済」にできる。 |
| 1 | 6 | 3 | 割付処理を行ったオーダーについては、オーダー変更・中止入力が不可となる制御を実現できる。 |
| 1 | 6 | 4 | 輸血管理システムにて1オーダー内で割り付けられたすべての製剤について割付解除を行ったタイミングで、割付解除情報を電子カルテシステム送信できる。また輸血管理システムでは進捗状態を「依頼中」にできる。 |
| 1 | 6 | 5 | 指示された血液型と異なる血液型の製剤を割り付けようとした場合は、警告が表示される。 |
| 1 | 7 | | 出庫処理機能 |
| 1 | 7 | 1 | 製剤出庫画面では、患者基本情報、依頼内容、検査結果内容が表示できる。 |
| 1 | 7 | 2 | 依頼情報に割り付けた製剤を出庫したタイミングで、出庫情報（出庫したロットごとの血液型、製剤名、ロット番号、数量の情報）を電子カルテシステムへ送信できる。また、輸血管理システムでは進捗状態を「出庫済」にできる。 |
| 1 | 7 | 3 | バーコードによる出庫作業が行え、また手入力にも対応できる。 (日赤血液製剤バーコード、自己血ラベルバーコード) |
| 1 | 7 | 4 | 出庫作業が可能な製剤は、在庫登録された血液製剤および血漿分画製剤のみと限定できる。 |
| 1 | 7 | 5 | 患者輸血歴・副作用歴・出庫歴が参照できる。 |
| 1 | 7 | 6 | 指示された血液型と異なる血液型の製剤を出庫しようとした場合は、警告が表示される。 |
| 1 | 7 | 7 | 患者及び血液製剤に抗原因子情報が登録されている場合、出庫時に警告を表示できる。 |
| 1 | 7 | 8 | 交差試験が終了しているか否かをチェックできる。 |
| 1 | 7 | 9 | 製剤出庫時に、必要に応じて出庫製剤リスト、ロットごとの交差試験適合票を印刷できる。 |
| 1 | 7 | 10 | 出庫する製剤の照射状況について、日赤照射血が院内照射血かを区別して電子カルテシステムに送信できる。 |
| 1 | 7 | 11 | T&Sオーダーの場合、以下の条件チェックにより不適合である場合は、警告表示がされる。 (1)結果の不一致や製剤の選択が正しいこと (2)患者の血液型が2回以上異なる検体により確認がされていること (3)製剤の血液型が再確認されていること（製剤血液型確認済みフラグの入力） (4)抗体スクリーニング検査結果が有効期限内で陰性であること 有効期限は施設ごとに輸血歴ありなしの場合で設定できる。 |
| 1 | 7 | 12 | コンピュータクロスマッチの場合、以下の条件により不適合である場合は、警告表示がされる。 (1)上記T&Sオーダーの要件が満たされていること (2)割付・出庫を行う血液製剤の血液型が確認されていること |
| 1 | 8 | | 実施処理機能 |
| 1 | 8 | 1 | 電子カルテシステムで実施確認処理をおこなった際、ロット番号、使用量、使用状況（使用前、使用中、中止（未使用））、輸血実施日、輸血実施者の情報をリアルタイムに輸血管理システムで受信でき、画面で確認できる。また輸血管理システムでは進捗状態を「実施済」にできる。 |
| 1 | 8 | 2 | 輸血管理システムでも製剤ごとに副作用情報を入力できる。 |
| 1 | 8 | 3 | 副作用情報は、輸血開始5分後、15分後、終了時の状態をそれぞれ登録できる。 |
| 1 | 9 | | 返納処理機能 |
| 1 | 9 | 1 | バーコードにより返納破損作業を実施でき、手入力にも対応できる。 |
| 1 | 9 | 2 | 破棄（破損）理由の記載ができる。 |
| 1 | 10 | | 輸血関連検査処理機能 |
| 1 | 10 | 1 | 電子カルテシステムから発行された輸血関連検査オーダー情報（血液型検査、交差試験、不規則性抗体検査等）について、臨床検査システムで検体到着確認処理を行った後に、臨床検査システムを経由して輸血管理システムで受信し表示できる。 |
| 1 | 10 | 2 | 依頼情報参照とともに簡易に過去の検査結果を参照できる。 |

| 現行ベンダー名 | | | バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 |
|---------|----|----|--|
| システム名 | | | 輸血管理システム |
| パッケージ名 | | | バイオ・ラッド輸血管理システムⅢ |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 10 | 3 | 血液型、不規則抗体、直接クームスについては、前回値と異なる検査結果が出た場合に確認を促すことができる。 |
| 1 | 10 | 4 | 依頼項目に対して、詳細結果、最終判定結果が登録できる。また、詳細結果と最終判定結果に矛盾がある場合は、警告を表示することができる。 |
| 1 | 10 | 5 | 患者属性と異なる血液型結果を登録した際は、画面上で通知することができる。 |
| 1 | 10 | 6 | 通常行わない検査法は、初期値を「**」にするなどして判定対象外とすることができる。また、検査を行う必要が生じた場合は、そのまま結果を登録できる。 |
| 1 | 10 | 7 | 血液型検査については、検査者と承認者が登録できる。 |
| 1 | 10 | 8 | バイオ・ラッド製輸血検査装置と接続し、検査依頼情報を送信し、結果情報を受信できる。 |
| 1 | 10 | 9 | バイオ・ラッド製輸血検査装置から受信した検査結果情報を受信し、自動で反映できる。 |
| 1 | 10 | 10 | バイオ・ラッド製輸血検査装置から受信した検査結果情報を、臨床検査システムに送信できる。 |
| 1 | 10 | 11 | 交差試験の結果情報を電子カルテシステムに送信できる。 |
| 1 | 10 | 12 | 交差試験結果が不適合の場合でも、技師の操作により出庫処理が実施できる。 |
| 1 | 10 | 13 | 交差試験終了後に交差試験報告書を印刷できる。 |
| 1 | 10 | 14 | 抗体価測定について、使用する試薬および希釈倍率を指定して、分析装置で測定することができる。 |
| 1 | 10 | 15 | 抗体価測定の結果値は、各希釈倍率の結果を参照でき、一覧から選択することができる。 |
| 1 | 10 | 16 | 当日をデフォルトとし、指定した日の製剤依頼の進捗状況が一覧表示でき、一覧から各依頼毎の割付、交差、出庫、実施などの結果情報入力に遷移することが出来る。 |
| 1 | 10 | 17 | 製剤依頼の進捗は、進捗状況を表す記号および、処理された製剤の単位数で把握することができる。 |
| 1 | 10 | 18 | 製剤依頼の一覧は、任意の日付範囲で表示できる。 |
| 1 | 10 | 19 | 一か月分の製剤依頼を、カレンダー形式で表示できる。 |
| 1 | 10 | 20 | 血液型、抗体スクリーニング、直接クームス、間接クームスの検査依頼状況進捗状況が一覧表示でき、一覧から各依頼毎の結果情報入力に遷移することが出来る。 |
| 1 | 10 | 21 | 操作ガイドによる簡易ナビゲーション機能搭載し、「次に行う処理」を赤色で表示することができる。 |
| 1 11 | | | 患者情報管理機能 |
| 1 | 11 | 1 | 患者属性情報は、権限が与えられたログイン者により任意に編集することができる。（基本属性（氏名等）、検査結果（血液型、不規則抗体スクリーニング等）、コメント等） |
| 1 | 11 | 2 | 総赤血球輸血量が管理できる。 |
| 1 | 11 | 3 | 重要度が高い患者コメントを、画面上で強調表示できる。 |
| 1 | 11 | 4 | 日本輸血・細胞治療学会推奨の「輸血関連情報カード」を印刷できる。 |
| 1 12 | | | 感染症検査管理機能 |
| 1 | 12 | 1 | 臨床検査システムより送信された感染症検査結果情報を受信し、蓄積できる。 |
| 1 | 12 | 2 | 製剤依頼、割付、出庫、実施の各入力画面より、感染症検査の実施日、結果が参照できる。 |
| 1 | 12 | 3 | 輸血実施後に感染症検査が必要な患者が抽出できる。抽出条件は以下の指定ができる。 ・輸血後の期間：「輸血後〇ヶ月以上経過」または「輸血後の経過期間〇ヶ月～〇ヶ月」 ・感染症項目：「指定した複数感染症項目の全て、またはいずれかが未検査」 |
| 1 13 | | | 輸血効果評価支援機能 |
| 1 | 13 | 1 | 臨床検査システムより送信された、輸血効果の評価で用いる検査結果情報を受信し、蓄積できる。 |
| 1 | 13 | 2 | 製剤種別ごとに、輸血履歴および検査結果の推移をグラフ表示できる。 （赤血球製剤：Hb値、血小板製剤：PLT値、血漿製剤：PT値、APTT値、Fib値、アルブミン製剤：ALB値） |
| 1 | 13 | 3 | 輸血実施後の検査結果に関して、輸血時の投与量・循環血液量などに基づいて計算された検査結果予測値を表示できる。 |
| 1 | 13 | 4 | 血小板製剤の輸血実施前後の検査結果に関して、補正血小板増加数（CCI）を表示できる。 |
| 1 | 13 | 5 | 輸血履歴および検査項目の検査結果の推移を、印刷およびCSV形式で出力することができる。 |
| 1 | 13 | 6 | 輸血トリガー値を項目ごとに設定ことができ、直近の検査結果が輸血トリガー値を上回った患者に関しては、輸血オーダー受信後の画面上に識別用のマークを表示し、確認を促すことができる。また、設定した輸血トリガー値を下回った患者のリストを、印刷およびCSV形式で出力することができる。 |
| 1 14 | | | 検体保管管理機能 |
| 1 | 14 | 1 | 輸血前後の患者血液を凍結保管する際の保管情報と保管場所の管理ができる。 |
| 1 | 14 | 2 | 親検体より分注した、保管検体用のバーコードラベル発行ができる |
| 1 | 14 | 3 | 保管場所（フリーザー番号、検体ボックス番号）が登録、管理できる。 |
| 1 | 14 | 4 | 保管された検体情報は、「保存日付」「保存検体ID」「患者ID」「輸血オーダー番号」「使用製剤番号」「保存場所」により検索ができる。 |
| 1 | 14 | 5 | 輸血関連検査で使用していない検体についても、患者情報を入力することで保管登録できる。 |
| 1 | 14 | 6 | 交差試験結果を登録する画面から、検体保管登録画面に遷移できる。 |
| 1 15 | | | 統計・検索機能 |
| 1 | 15 | 1 | 患者ID入力もしくは患者氏名入力により、当該患者の輸血履歴、検査結果履歴、副作用歴が確認できる。 |
| 1 | 15 | 2 | 製造番号・製剤コードをキーにして製剤履歴の検索ができる。 |
| 1 | 15 | 3 | 製剤の最新の状態・情報が検索できる。 |
| 1 | 15 | 4 | 日赤血液センター納品数、返品数の統計ができる。 |
| 1 | 15 | 5 | 使用人数、使用単位数、使用製剤数の統計ができる。 |
| 1 | 15 | 6 | 使用率（使用数／依頼数）の統計ができる。 |
| 1 | 15 | 7 | 依頼科別、病棟別の使用数および使用率の統計ができる。 |
| 1 | 15 | 8 | 副作用数、副作用率、副作用種類別の統計ができる。 |
| 1 | 15 | 9 | 術式別の統計ができる。 |

| | | | |
|----------------|----|----|--|
| 現行ベンダー名 | | | バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 |
| システム名 | | | 輸血管理システム |
| パッケージ名 | | | バイオ・ラッド輸血管理システムⅢ |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 15 | 10 | 疾患種別ごとの統計ができる。 |
| 1 | 15 | 11 | 上記データを日報・月報・年報の形式で抽出し、印刷およびCSV形式で出力することができる。 |
| 1 | 15 | 12 | 血漿分画製剤と赤血球製剤の使用比率の統計表ができる。 |
| 1 | 15 | 13 | 厚労省主催の「血液製剤使用実態調査」への回答を支援する統計が印刷できる。 |
| 1 | 15 | 14 | 輸血オーダーに中止コメントを入れたオーダーをCSV形式で出力することができる。 |
| 1 | 16 | | 精度管理機能 |
| 1 | 16 | 1 | バイオ・ラッド製輸血検査装置から精度管理データを受信し、データを蓄積できる。 |
| 1 | 16 | 2 | 精度管理データの一覧表示、CSV出力、月報印刷、グラフ表示ができる。 |
| 1 | 16 | 3 | 測定データ毎に承認／除外の登録ができ、承認データのみ月報を印刷することができる。 |
| 1 | 16 | 4 | グラフ表示では、期間を設定して時系列表示できる。また、指定した期間内にコントロール検体が複数ロット存在する場合は、異なる色でグラフ表示できる。 |
| 1 | 16 | 5 | 測定項目毎に精度管理データの正常値範囲が設定でき、異常値の場合は一覧及びグラフにて強調表示できる。 |
| 1 | 16 | 6 | バイオ・ラッド製輸血検査装置で使用する試薬のロット情報、有効期限、使用開始日、使用終了日、納品日、注文日、数量を管理できる。 |
| 1 | 16 | 7 | バイオ・ラッド製輸血検査装置より受信したデータから、試薬のロット情報、有効期限、使用開始日、使用終了日を自動登録できる。 |
| 1 | 17 | | データ保持・セキュリティ機能 |
| 1 | 17 | 1 | 蓄積したデータは、20年間保存・参照ができる。 (20年間経過したデータは別媒体などへ蓄積できる) |
| 1 | 17 | 2 | ユーザID・パスワードの登録ができ、ユーザ認証を行うことができる。 |
| 1 | 17 | 3 | 検査、輸血、製剤、自己血、造血幹細胞採取、移植における処理の日時、操作者を検索できることによりトレーサビリティを確保できる。 |
| 1 | 18 | | マスタメンテナンス |
| 1 | 18 | 1 | マスタ登録機能 業務で使用する各種マスタの登録・変更・削除を行うことができる。 |
| 1 | 19 | | その他 |
| 1 | 19 | 1 | 印刷物（検査報告書、輸血検査報告書、交差試験適合票、出庫票、自己血ラベル、造血幹細胞移植ラベル、製剤発注票）は任意にフォーマットを作成することができる。 |
| 1 | 19 | 2 | 輸血管理部門内での業務引き継ぎ事項を、システムに登録・参照できる。 |
| 1 | 19 | 3 | 血液製剤保管庫などの、温度管理記録を登録・参照できる。 |
| 1 | 19 | 4 | 外部連携等でエラーが発生した場合、画面上で通知できる。 |

| 現行ベンダー名 | | | 丸文通商株式会社 |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 放射線画像管理システム |
| パッケージ名 | | | EV Insite |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | | | 画像管理システム |
| 1 | 1 | | PACS（画像の保存と管理） |
| 1 | 1 | 1-1 | 平成11年4月に厚生省（現、厚生労働省）が公表した電子保存の三原則である「見読性」「保存性」 |
| 1 | 1 | 1-2 | 電子保存の三原則の範囲内において国際的な標準的技術（DICOM、TCP/IP等）を用いて構築すること。 |
| 1 | 1 | 1-3 | マルチベンダ、マルチモダリティ対応のシステムであること。 |
| 1 | 1 | 1-4 | 画像サーバは各種DICOM準拠の検査装置及び、画像ワークステーションから送られるデータを画像とタグを別に保管することなくDICOM形式で保管管理することが可能であること。 |
| 1 | 1 | 1-5 | バックアップは自動化されており、定期的に行なうことができること。また、バックアップ中でもシステムが停止せず、通常の業務を行うことができること。 |
| 1 | 1 | 1-6 | DICOM対応モダリティで発生した画像を、可逆圧縮（RLE圧縮・LossLess圧縮など）して保存する機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 1-7 | 受信したDICOMタグ情報にモダリティの種類や部位が存在する場合、そのモダリティの種類や部位を元に情報を分類してデータベースに登録する機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 1-8 | DICOMに既定されるStorage Service ClassのSCU及びSCPとして画像の保存に対応する機能を有すること。DICOMに規定されるQuery/Retrieve Service ClassのSCPとして画像の問い合わせ、検索に対する機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 1-9 | DICOM画像サーバに保存されたデータについて、結合、分割、内容の修正を行なうアプリケーションを有すること。ただしデータの修正は、原本は変更せずにデータベースを修正する方式とし、修正履歴の管理機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 1-10 | 他院に渡すCDやDVDに書きだす際には修正された正しい情報で書きだすこと。 |
| 1 | 1 | 1-11 | 画像ストレージ・画像配信機能はロードバランサを使用するなどして経路二重化を実現し、障害が発生した場合も画像の表示・書き込み等に影響が出ない構成であること。 |
| 1 | 1 | 1-12 | 画像データは二重化して保存されるシステム構成であること。 |
| 1 | 1 | 1-13 | 撮影装置からストレージされた画像データは、リアルタイムに複製される仕組みであること。 |
| 1 | 1 | 1-14 | 所見の作成および配信機能は経路二重化を実現した冗長化されたシステム構成であること。 |
| 1 | 1 | 1-15 | 過去画像データについては、新画像管理システムの稼働時点において、移行作業が完了し、全ての画像が参照可能な状態であること。 |
| 1 | 1 | 1-16 | 過去所見データについては、新レポートシステムの稼働時点において、移行作業が完了し、全ての過去所見データが参照可能な状態であること。 |
| 1 | 1 | 1-17 | 過去に作成されたティーチングファイルについては、新システムの稼働時点において、移行作業が完了し、全て使用可能な状態であること。 |
| 1 | 1 | 1-18 | 電子カルテシステムとの連携を行うこと。なお、電子カルテシステムの端末のOSはWin10を予定しており該当のWEBブラウザで本調達ベンダーが提供するビューワが問題なく動作すること |
| 1 | 1 | 1-18 | 既存のシステムで実施されている撮影装置、およびワークステーションとのPACS側の接続および連携を行うこと。 |
| 1 | 2 | | 画像ビューワ |
| 1 | 2 | 2-1 | 既存の読影画像ビューワシステムが実装している機能は全て実現可能であること。 |
| 1 | 2 | 2-2 | 放射線科医が読影に使用する画像ビューワと電子カルテから起動する画像ビューワは同じ製品で同一の機能、操作性であること。また、ユーザ設定等で電子カルテで使用する際に機能制限等を行うことが可能な製品であること。 |
| 1 | 2 | 2-3 | 検索された結果リストに名前をつけて、保存する機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-4 | ユーザが指定した任意の検査リストに名前をつけて保存することが可能であること。当該リストを読み込むことで、任意の検査リストを検索画面上に再現することができる機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-5 | レポートシステムと完全連携し、ひらいたレポートからビューワを起動する方法として、自動・手動いずれでもユーザごとに設定可能とすること。 |
| 1 | 2 | 2-6 | 検査履歴に表示された全てのスタディのサムネイルを同時に表示できる機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-7 | サムネイルまたは検査履歴に表示されている項目を、ドラッグアンドドロップあるいはダブルクリックすることにより、ビューワ画面に画像表示できること。 |
| 1 | 2 | 2-8 | サムネイルからドラッグアンドドロップしてビューワ画面にレイアウトする際に、画面分割数を示した補助画面を表示し、そこへ操作することで画像表示できる機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-9 | 指定したサムネイル以降の複数のシリーズ画像を一度にビューワ上に表示できる機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-10 | 画像ビューワ上のアクティブスタックがサムネイルリスト上で枠が表示され、常に表示される機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-11 | 1シリーズに多時相が含まれている場合、自動的にシリーズを分割する機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-12 | オーバーレイ情報の表示をon/Offで切替えること。また、オーバーレイ情報を最大3つまで登録することができ、ユーザー操作でオーバーレイを切替えて表示できること。 |
| 1 | 2 | 2-13 | スタック表示している画像のウィンドウ幅とウィンドウレベルについては、表示中の1枚の画像で変更した場合には、同一シリーズの他の画像にもその値を継続できること。 |
| 1 | 2 | 2-14 | スタディでスタック読み込みをした画像については、シリーズごとに撮影時のウィンドウ幅/ウィンドウレベル/ガンマカーブ/任意のLUT/モダリティLUTで表示できること。 |
| 1 | 2 | 2-15 | スタック表示とタイトル表示はビューワの画面上で任意の分割数を指定して切り替えることができる機能を有すること。分割数については、視覚的に指定することが可能であること。 |
| 1 | 2 | 2-16 | スライスの薄い画像を複数枚重ね合わせて表示する機能を有すること。この際に、平均、MIP、Minipで表示できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 丸文通商株式会社 |
|---------|---|------|--|
| システム名 | | | 放射線画像管理システム |
| パッケージ名 | | | EV Insite |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 2 | 2-17 | 計測結果は自動的にクリップボードに登録することが可能で、他のアプリケーションへ貼り付ける機能を有すること。また、この際に表示する値とは別に、貼り付けする値のレイアウトを指定することが可能であること。 |
| 1 | 2 | 2-18 | 距離計測を専用ツールを使用せずに行えること。その場合でも、計測結果をクリップボードに入れて、他のアプリケーションへ貼り付けることができること。 |
| 1 | 2 | 2-19 | 指定した複数のフレームの位置あわせがボタン1つで行えること。 |
| 1 | 2 | 2-20 | 異なったスタディ、異なったモダリティのFOVについてはボタン1つであわせる機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-21 | 選択した複数フレームのスライス厚が異なる場合、自動的に計算をして同期ページングを行う機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-22 | 複数スタックの同期ページング操作中に、同期ページングのモードを抜けることなく、特定スタックだけを操作することが可能であること。操作後は、継続して同期ページングすることが可能であること。モダリティの種類を問わず、フュージョン操作を行うことができ、フュージョンしている2枚の画像の表示割合を変更することが可能であること。 |
| 1 | 2 | 2-23 | また、フュージョン時には位置、FOVを自動的に合わせ、色を付けるなどの設定をユーザー毎に個別設定できること。 |
| 1 | 2 | 2-24 | 表示中の画像の断面を瞬時に変換する機能を有すること。例えば、アキシャル画像をサジタル、コロナル画像に変換して表示できること。 |
| 1 | 2 | 2-25 | 別のソフトに画像を転送することなく、MPRおよびCurvedMPRができること。 |
| 1 | 2 | 2-26 | ビュー画面で表示している画面の状態を一時的に記憶させることができること。ユーザ操作を行うことで、保存した時のビュー画面の表示状態を復元することができること。 |
| 1 | 2 | 2-27 | ビュー画面で表示している画面の状態をファイル形式で保存することが可能であり、そのファイルを読み込むことで、保存した時のビュー画面の表示状態を復元することができること。 |
| 1 | 2 | 2-28 | ビュー画面で表示している画面の状態を検査に関連づけてシステム的に保持することが可能であること。院内のどの端末からでも保持している情報を呼び出して、保存時のビュー画面の表示状態を復元することができること。 |
| 1 | 2 | 2-29 | 画像の最終表示状態を自動的に保存し、履歴として管理できること。いつでもその履歴を指定することによって、当該検査の最終表示状態に戻ることができ、その履歴は最低でも過去20件分を保持すること。 |
| 1 | 2 | 2-30 | ユーザ・モダリティ種別ごとにハンギングプロトコルの設定できる機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-31 | 画像上に表示するオーバーレイ情報については、表示する位置・内容をユーザごとに指定できること。 |
| 1 | 2 | 2-32 | ウィンドウ幅とウィンドウレベルのプリセット（8種類以上）を設定することが可能であること。また、そのプリセットをアクティブスタックにワンタッチで適用することができること。 |
| 1 | 2 | 2-33 | ウィンドウ幅とウィンドウレベルについては、マウスのドラッグ及び直接数値入力、ドラッグバーの操作により、小数点第一位まで変更することが可能であること。 |
| 1 | 2 | 2-34 | マウスの右ドラッグ、左ドラッグ、ホイールドラッグ、右+左クリックに任意の機能を割り振ることが可能であること。 |
| 1 | 2 | 2-35 | アノテーション機能を有すること。アノテーションで表示する線の色、文字の色を変更でき、画像上のアノテーションは表示/非表示の切り替えが行える機能を有すること。また、アノテーションは一部消去ならびに全消去の機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-36 | 初期表示の際に、対象検査の全シリーズを決められた分割レイアウトで表示し、表示しきれない画像についてはページ送り機能や、スクロールバーで画面を切り替えて表示する機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2-37 | 長さ、面積、角度、比率、濃度、画素値、各種ROIの計測ができる機能を有すること。計測結果の表示する数値を整数値、小数点第一位などと指定することが可能であること。 |
| 1 | 3 | | ThinSlice画像参照機能 |
| 1 | 3 | 3-1 | ThinSlice画像を保存、管理、参照できる仕組みを提供すること。 |
| 1 | 3 | 3-2 | ThinSlice画像は一定期間保持する仕組みとし、指定期間を経過したデータは自動的に削除する仕組みであること。保存期間については病院と協議し、決定すること。 |
| 1 | 3 | 3-3 | ThinSlice画像の参照については、端末単位で参照をさせるか否かを設定することが可能であること。 |
| 1 | 3 | 3-4 | ThinSlice画像を参照する際には、通常の画像と同一ビューで参照することを可能とすること。 |
| 1 | 3 | 3-5 | ThinSlice画像が存在する検査は、画像ビューワ上に識別可能なマークが表示され、ユーザに通知する仕組みを有すること。また、手動または自動でサムネールリスト上にThinSlice画像を表示させることができる機能を有すること。 |
| 1 | 3 | 3-6 | 病院が指定する特定の端末において、画像ビューワで参照したThinSlice画像を院内PACSにDICOM送信する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | | 外部出力機能 |
| 1 | 4 | 4-1 | 各端末機からは、権限に応じてDICOM画像をサーバからダウンロードすることができる機能を有すること。ダウンロードする際にビューワソフトを添付するか、しないかの選択ができること。 |
| 1 | 4 | 4-2 | 添付したビューワソフトで外部メディアに焼き付けた画像を表示することができ、その媒体を配布することができること。 |
| 1 | 4 | 4-3 | DICOM画像を保存する際にThinSlice画像も選択し、同時に保存することが可能であること。 |
| 1 | 4 | 4-4 | 複数人の画像を1枚のメディアに保存することが可能であること。この際に、同一検査種別、同一部位の過去の検査を自動で選択する機能を有すること。 |
| 1 | 5 | | ディスクバリュエーション |
| 1 | 5 | 5-1 | PACSが作動する全ての端末から、任意の検査データを選択してCD/DVD/BDを作成できること。また、作成指示権限はユーザーごとに付与できること。 |
| 1 | 5 | 5-2 | CD/DVD/BDの作成目的に応じて、匿名化の有無や画像形式等の設定をユーザーごとにプリセット登録できること（例：他施設紹介用、患者参照用、研究用）。 |
| 1 | 5 | 5-3 | 作成指示をしたCD/DVD/BDの作成状況を確認できること。また、作成状況を色分け表示できること。 |
| 1 | 5 | 5-4 | CD/DVD/BDに書き込みたい画像を選択すると、画像データの概算総容量を表示できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 丸文通商株式会社 |
|---------|----|------|---|
| システム名 | | | 放射線画像管理システム |
| パッケージ名 | | | EV Insite |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 5 | 5-5 | 書き込み時に患者情報を自動的に匿名化してCD/DVD/BDに保存できること。 |
| 1 | 5 | 5-6 | 媒体に印字する病院名、患者名、検査内容などについては、配置、フォントサイズ、カラーを編集できること。 |
| 1 | 6 | | 画像取り込み機能 |
| 1 | 6 | 6-1 | 次の形式のファイルを取込めること。非DICOMデータは検査情報・患者情報を付加し、DICOM化して取込めること。また、取り込み権限はユーザーごとに付与できること。 ・DICOM形式画像（非圧縮、JPEG可逆圧縮） ・DICOMマルチフレーム画像（非圧縮、JPEG可逆圧縮） ・BITMAP、JPEG、PNGなどの汎用画像 ・PDFファイル |
| 1 | 6 | 6-2 | 取り込み時に拡張子を指定することにより、取り込むファイルを自動で識別できること。 |
| 1 | 6 | 6-3 | ワークリスト連携機能を有すること。 |
| 1 | 6 | 6-4 | 取り込むファイルの一部DICOMタグを書き換えられること。 |
| 1 | 6 | 6-5 | 取り込み時に既に存在する検査の別シリーズとして画像を登録することができる機能を有すること。 |
| 1 | 7 | | 読影レポートシステム |
| 1 | 7 | | 読影レポート機能 |
| 1 | 7 | 7-1 | 既存の所見システムが実装している機能は全て実現可能であること。 |
| 1 | 7 | 7-2 | ユーザ認証管理による表示設定、検索初期設定、操作権限設定、定型文管理の機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-3 | レポートの作成時に必要となるオーダー情報は予/受付/実施時にRISシステムと連携して取得可能であり、手入力を省くものであること。 |
| 1 | 7 | 7-4 | 登録データの改定履歴および版数管理機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-5 | 検索機能として患者番号・患者氏名・検査種別・検査装置名・日付（始終範囲）状態（未記入・記入済み・未確定・確定）の基本検索に加えデータベースに登録されている項目及び文中検索が出来る機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-6 | 検索結果をCSV形式でファイルに書き出しができる機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-7 | ログイン処理時に、ユーザの辞書ファイルがサーバよりダウンロードされる仕組みを有し、どの端末でも自分の辞書を使用することができること。 |
| 1 | 7 | 7-8 | 過去レポートを常に入力画面上に表示でき、文言等のコピーが行える機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-9 | 過去レポートリストはモダリティによるフィルタリングが可能で、初期フィルタの内容はユーザごとに設定可能であること。 |
| 1 | 7 | 7-10 | 所見レポート作成画面においてビュー呼び出し、キー画像貼り付けの連携機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-11 | キー画像として、ビュー上の複数枚の画像を1枚のキー画像として保存する機能や、ビューの読影状態保存ファイルを保存する機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-12 | キー画像から当該検査をビュー画面上に展開表示することが可能であること。その際に、当該キー画像が先頭に指定された状態であること。また、表示中のビューレイアウトに変更を加えずに、当該画像をサブウィンドウに表示する機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 7-13 | キー画像として貼り付ける画像に、参照ラインが表示された任意のスカウト画像を埋め込むことが可能であること。また、スカウト画像の貼り付け位置、貼り付けサイズ等の指定が可能であること。 |
| 1 | 7 | 7-14 | キー画像として貼り付けているデータに対して、印刷対象とするか否かを設定することが可能であること。 |
| 1 | 7 | 7-15 | 指定のシエマ登録が可能でキー画像と同様に貼付け添付することが出来ること。 |
| 1 | 7 | 7-16 | 患者に紐づく情報を登録することができること。この情報は当該患者のレポート記入時にはいつでも参照・編集が可能であること。 |
| 1 | 7 | 7-17 | 各検査情報ごとに、任意のコメント、キーワード登録が可能で、登録した情報で検索処理を行うことが可能な仕組みを有すること。 |
| 1 | 7 | 7-18 | 確定したレポートを依頼医が閲覧したかを確認することができる機能（既読管理）を実装していること。 |
| 1 | 9 | | ハードウェア |
| 1 | 9 | | DICOM サーバ ハードウェア |
| 1 | 9 | 9-1 | DICOMサーバは、2機設置し本番系のハードまたはソフトウェアに障害が発生した場合も画像の表示・書き込み等に影響が出ない構成であること。 |
| 1 | 9 | 9-2 | 主記憶装置容量は、32GB以上であること。 |
| 1 | 9 | 9-3 | CPUはIntel製でXeon®プロセッサSilver 4309以上の性能を有すること。 |
| 1 | 9 | 9-4 | サーバ本体の内蔵ディスクはRAID6の構成で、ホットスワップを有すること。 |
| 1 | 9 | 9-5 | OSはWindows Server 2019と同等以上の性能であり、稼働時点で最新のアップデートが適用されていること。 |
| 1 | 9 | 9-6 | 1000BASE-T（Gigabit Ethernet）インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。 |
| 1 | 9 | 9-7 | 停電時に5分間以上のサーバへの電源供給が可能である無停電電源装置を有すること。また、電源供給が必要となった際に、瞬間的に電源が落ちることがない機器を選定すること。 |
| 1 | 10 | | レポートサーバ ハードウェア |
| 1 | 10 | 10-1 | レポート/DBサーバは、2機設置し本番系のハードまたはソフトウェアに障害が発生した場合も画像の表示・書き込み等に影響が出ない構成であること。 |
| 1 | 10 | 10-2 | 主記憶装置容量は48GB以上であること。 |
| 1 | 10 | 10-3 | CPUはIntel製でXeon®プロセッサGold 5222以上の性能を有すること。 |
| 1 | 10 | 10-4 | サーバ本体の内蔵ディスクは、RAID6の構成でホットスワップを有すること。実行容量は1TB以上を確保すること。 |
| 1 | 10 | 10-5 | OSはWindows Server 2019と同等以上の性能であり、稼働時点で最新のアップデートが適用されていること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 丸文通商株式会社 |
|---------|----|------|--|
| システム名 | | | 放射線画像管理システム |
| パッケージ名 | | | EV Insite |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 10 | 10-6 | 1000BASE-T (Gigabit Ethernet) インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。 |
| 1 | 10 | 10-7 | 停電時に5分以上のサーバへの電源供給が可能である無停電電源装置を有すること。また、電源供給が必要となった際に、瞬間的に電源が落ちることがない機器を選定すること。 |
| 1 | 11 | | 管理サーバ ハードウェア |
| 1 | 11 | 11-1 | 主記憶装置容量は、32GB以上であること。 |
| 1 | 11 | 11-2 | CPUはIntel製で Xeon® プロセッサ Silver 4210以上の性能を有すること。 |
| 1 | 11 | 11-3 | サーバ本体の内蔵ディスクは、Raid 6の構成でホットスワップを有すること。実行容量は4TB以上を確保すること。 |
| 1 | 11 | 11-4 | OSはWindows Server 2019と同等以上の性能であり、稼働時点で最新のアップデートが適用されていること。 |
| 1 | 11 | 11-5 | 1000BASE-T (Gigabit Ethernet) インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。 |
| 1 | 11 | 11-6 | 停電時に5分以上のサーバへの電源供給が可能である無停電電源装置を有すること。また、電源供給が必要となった際に、瞬間的に電源が落ちることがない機器を選定すること。 |
| 1 | 12 | | ThinSliceサーバ ハードウェア |
| 1 | 12 | 12-1 | 主記憶装置容量は、32GB以上であること。 |
| 1 | 12 | 12-2 | CPUはIntel製で Xeon® プロセッサ Silver 4210以上の性能を有すること。 |
| 1 | 12 | 12-3 | サーバ本体の内蔵ディスクは、Raid 6の構成でホットスワップを有すること。実行容量は8TB以上を確保すること。 |
| 1 | 12 | 12-4 | OSはWindows Server 2019と同等以上の性能であり、稼働時点で最新のアップデートが適用されていること。 |
| 1 | 12 | 12-5 | 1000BASE-T (Gigabit Ethernet) インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。 |
| 1 | 12 | 12-6 | 停電時に5分以上のサーバへの電源供給が可能である無停電電源装置を有すること。また、電源供給が必要となった際に、瞬間的に電源が落ちることがない機器を選定すること。 |
| 1 | 13 | | ロードバランサー ハードウェア |
| 1 | 13 | 13-1 | ロードバランサーは2台構成で、冗長性が考慮されていること。 |
| 1 | 14 | | PACS読影端末 ハードウェア |
| 1 | 14 | 14-1 | 主記憶装置容量は16GB以上であること。 |
| 1 | 14 | 14-2 | OSはWindows 10 Professional x64相当以上の性能を有すること。 |
| 1 | 14 | 14-3 | CPUはIntel製で Core® i5-12600プロセッサ以上の性能を有すること。 |
| 1 | 14 | 14-4 | 1000BASE-T (Gigabit Ethernet) インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。 |
| 1 | 14 | 14-5 | レポート用モニターは24.1型のワイドカラーモニタ相当以上の性能を有すること。 |
| 1 | 14 | 14-6 | 画像用モニターは2Mカラー2面相当以上の性能を有すること。 |
| 1 | 14 | 14-7 | 読影端末は2台用意すること。 |
| 1 | 15 | | PACSキー用端末 ハードウェア |
| 1 | 15 | 15-1 | 主記憶装置容量は8GB以上であること。 |
| 1 | 15 | 15-2 | OSはWindows 10 Professional x64相当以上の性能を有すること。 |
| 1 | 15 | 15-3 | CPUはIntel製でCore™ i3-12100プロセッサ以上の性能を有すること。 |
| 1 | 15 | 15-4 | 1000BASE-T (Gigabit Ethernet) インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。 |
| 1 | 15 | 15-5 | モニターは19インチ相当以上の性能を有すること。 |
| 1 | 15 | 15-6 | スキャナ用端末は1台用意すること。 |
| 1 | 16 | | パブリッシャー ハードウェア |
| 1 | 16 | 16-1 | 主記憶装置容量は4GB以上であること。 |
| 1 | 16 | 16-2 | OSはWindows 10 Professional x64相当以上の性能を有すること。 |
| 1 | 16 | 16-3 | CPUはIntel製でCore™ i3-10100Tプロセッサ以上の性能を有すること。 |
| 1 | 16 | 16-4 | 1000BASE-T (Gigabit Ethernet) インタフェースを有し、通信プロトコルはTCP/IPとすること。 |
| 1 | 16 | 16-5 | モニターは17インチ相当以上の性能を有すること。 |
| 1 | 16 | 16-6 | パブリッシャー端末は1台用意すること。 |
| 1 | 8 | | デジタルシステム |
| 1 | 8 | 8-1 | CDまたはDVDのDICOM画像をインポートする機能を有すること。 |
| 1 | 8 | 8-2 | CDまたはDVDの非DICOM画像を自動でDICOMに変換しインポートする機能を有すること。 |
| 1 | 8 | 8-3 | 読込んだ画像にDICOM MWMの機能により患者情報を付加する機能を有すること。 |
| 1 | 8 | 8-4 | インポートした画像は、DICOM属性を編集してDICOM画像サーバへ転送する機能を有すること。 |
| 1 | 8 | 8-5 | 制御端末のCPUはIntel Xeon W1250プロセッサと同等以上のスペックを有すること。 |
| 1 | 8 | 8-6 | 制御端末は、8GB以上の記憶容量を有すること。 |
| 1 | 8 | 8-7 | 制御端末は、SSD512GB以上の容量を有すること。 |
| 1 | 8 | 8-8 | 既設2905型レーザーフィルムデジタルサイザの制御を行う機能を有すること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 日本光電工業株式会社 |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 生理検査システム (PrimeVitaPlus) |
| パッケージ名 | | | PRM-4000 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 1 | | システム機能概要 |
| 1 | 1 | 1 | 基本データ管理機能は以下の機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 2 | 本システムで管理保存するデータは、心電図(患者映像)、筋電図・誘発電位、画像系の検査(超音波・内視鏡)、ともに単一のデータベースで管理されること。 |
| 1 | 1 | 3 | DBMS(Data Base Management System)はOracle19c相当であること。 |
| 1 | 1 | 4 | アクセス権限の組み合わせは個人単位で自由に設定する管理機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 5 | 保存されているデータへのアクセスに対し、その処理内容をログ出力する機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 6 | サーバハードウェア、サーバプログラムに障害が発生した場合は、生理検査システム端末に随時通知する機能を有すること |
| 1 | 1 | 7 | サーバプログラムが異常終了した場合でも、該当プログラムを自動起動する設定機能を有すること。 |
| 1 | 1 | 8 | 既存システム (日本光電製PRM-4000) に保存されているデータを、データ形式を変更する事なく移行可能であること。 |
| 1 | 2 | | データ管理機能 |
| 1 | 2 | 1 | 指定の心電計 (日本光電社製 ECG-1460、ECG-1560、ECG-2550) から送出される心電図検査データをデータベース管理する機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 2 | 心電計から送出されたデータは12誘導最大5分間のデータを、原波形の状態 で保存すること。 |
| 1 | 2 | 3 | 指定の運動負荷試験装置 (日本光電社製 STS-2100) から送出される運動負荷試験検査データをデータベース管理する機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 4 | 指定の心肺運動負荷試験装置 (ミナト社製 AE-310S) から送出される運動負荷試験検査データをデータベース管理する機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 5 | 指定の肺機能検査装置GW装置 (チェスト社製 CDBS) から送出されるデータをデータベース管理する機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 6 | その他オンライン接続出来ない検査装置についても、データのオフライン登録が可能であること。 |
| 1 | 2 | 7 | 将来的に脳波計 (日本光電社製 EEG-1218、EEEG-9100)、誘発筋電計 (日本光電社製 MEB-2306)、エコー装置(キヤノン社製 2台)、血圧脈波検査装置の接続が可能であること。 |
| 1 | 3 | | 電子カルテ連携機能 |
| 1 | 3 | 1 | HISからのオーダ情報(患者基本情報、検査種別、検査予約日時、依頼科名)を受信する機能を有すること。 |
| 1 | 3 | 2 | オーダ情報の受信タイミングはオーダ新規発行時、患者受付時であること。 |
| 1 | 3 | 3 | 電子カルテに検査結果のURLを送信する機能を有すること |
| 1 | 3 | 4 | 本システムに接続された検査装置の要求に対し、受信したオーダ情報を送信する機能を有すること。 |
| 1 | 3 | 5 | HIS端末の要求に応え、管理しているデータをWebブラウザで表示が可能であり、心電図(運動負荷とホルターを含む)、画像、脳神経について、統合された1つのWebサーバで構築できること。 |
| 1 | 3 | 6 | HIS端末でのデータ参照に際して患者ID、氏名、検査日、検査種別、オーダ番号を引数として利用し、検索条件として使用できること。 |
| 1 | 3 | 7 | HISからのマスタ分類項目 (分類1、分類2) を生理検査システムと連携し表示させる機能を有すること。 |
| 1 | 4 | | データ表示機能 |
| 1 | 4 | 1 | 端末へのログインに際してはユーザ名、パスワードなどによる認証をおこなうこと。 |
| 1 | 4 | 2 | 端末アプリケーションの画面内には検査業務の流れに合わせワンクリックで次の作業に進めるナビゲーションボタンが表示されていること。 |
| 1 | 4 | 3 | ログインした際に表示される画面、内容、操作権限、動作ボタン、情報については、ユーザアカウント毎で個別に設定できる機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 4 | 各種の検索条件はユーザアカウント毎に設定する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 5 | 作業内容を保持したまま離席するための画面ロック機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 6 | 生理検査システムサーバからの障害通知を常時通知できる機能を有すること |
| 1 | 4 | 7 | 基本検索条件は以下のとおりであること。 患者ID、氏名、検査ID(任意の範囲指定)、年齢(任意の範囲指定)、性別(男・女・不明)、検査日(任意の範囲指定) |
| 1 | 4 | 8 | レポートへの検索条件は以下のとおりであること。 確定、承認待ち、未保存などレポートの作成ステータスによる検索 レポートに入力したフリーコメント レポートに入力した数値情報 心電図基本計測値(HR、PR間隔、QRS幅、QT間隔、QTc間隔、P軸、QRS軸、T軸、RV5、SV1) |
| 1 | 4 | 9 | リスト表示機能は以下の機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 10 | 表示項目は以下のとおりであること 患者ID、氏名、年齢、入外区分、病棟名、依頼科名、検査種別、検査(予定)日時、検査データ登録数(画像枚数)、レポート版数 |
| 1 | 4 | 11 | 表示項目は設定により、並び順を変更する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 12 | 表示項目のグリッド検索する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 13 | リストの表示は最新の状態を表示するために、自動更新する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 14 | 表示されたリストはCSV出力する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 15 | 表示されたリストからワンクリックで該当患者の前回検査データを表示する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 16 | リスト画面で検査オーダ情報とは別に、患者固有のコメントを入力でき、そのコメントの有無をリストで確認できること。また、当日以外の検査時においても、その情報を引き継ぎ、参照できること。 |
| 1 | 4 | 17 | リスト画面において、同姓同名の患者が存在する場合は注意を喚起するため、他の患者とは別の色で表示をおこなうこと。 |
| 1 | 4 | 18 | リスト画面で、画像系の検査において患者取り間違えをした場合に、間違えた画像を切り離し、別の検査情報に貼り付け直しができること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 日本光電工業株式会社 |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 生理検査システム (PrimeVitaPlus) |
| パッケージ名 | | | PRM-4000 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 4 | 19 | オーガ連携時は以下の表示機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 20 | 表示リストは検査状態(ステータス)毎に識別しやすいように色分け表示をおこなうこと。 |
| 1 | 4 | 21 | 検査状態(ステータス)が変更された場合は、接続された各端末にその都度自動的に反映をおこなうこと。 |
| 1 | 4 | 22 | 表示されたリストからワンクリックで依頼された詳細情報を確認する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 23 | 表示されたリストからワンクリックで該当患者に関する当日以降の予約情報を表示する機能を有すること。 |
| 1 | 4 | 24 | 院内でオンライン接続されている心電計からファイリングした場合、検査オーガ情報と連携してなくても、どこ の心電計で検査をおこなったか生理検査システム端末の一覧画面で表示できること。 |
| 1 | 5 | | オフライン登録機能 |
| 1 | 5 | 1 | 登録可能なファイル形式はDICOM、JPEG、PNG、PDFであること。 |
| 1 | 5 | 2 | オーガ情報をリスト表示し、オーガ情報にくりつけてデータを登録する機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 3 | 登録前にデータを事前確認するため、プレビュー機能を有すること。 |
| 1 | 6 | | 集計機能 |
| 1 | 6 | 1 | 日報、月報の作成機能を有すること。 |
| 1 | 6 | 2 | 作成された日報、月報はレーザープリンタに印字する機能を有すること。 |
| 1 | 6 | 3 | 受付、検査開始、検査終了、レポート仮確定、レポート確定はじめ、ステータス変遷した全ての時刻を有し ていること。 |
| 1 | 6 | 4 | 全てのステータス間の時間について、最短、平均、最長が抽出でき、入外でも区分分けができること。 |
| 1 | 6 | 5 | 同時に5つのステータス間の時間が集計できること。 |
| 1 | 7 | | 心電図検査データ表示機能 |
| 1 | 7 | 1 | 安静心電図データの表示について以下の機能を有すること。 ・導出18誘導心電図、15誘導心電図の同時表示、カブレラ誘導表示 ・6ch、3ch連続および同期表示 ・詳細計測値表示 ・時系列比較機能(過去9件+重ね合わせ機能 もしくは過去10件の比較) ・感度設定、掃引速度(25or50mm/sec)、ハイカットフィルタの変更表示機能 |
| 1 | 7 | 2 | マスタステップ心電図データの表示について以下の機能を有すること。 ・マスタステップファイナルレポートデータ(安静時・最大ST下降時の代表拍波形比較表示、心拍数トレ ンド、STトレンド) ・6ch、3ch連続および同期表示 ・詳細計測値表示 ・時系列比較機能(過去9件+重ね合わせ機能 もしくは過去10件の比較) ・感度設定、掃引速度(25or50mm/sec)、ハイカットフィルタの変更表示機能 |
| 1 | 7 | 3 | リズム心電図の表示について以下の機能を有すること。 ・最大5分記録されたリズム記録の12誘導心電図 ・感度設定、掃引速度(25or50mm/sec)、ハイカットフィルタの変更表示機能 |
| 1 | 7 | 4 | R-R間隔解析結果の表示について以下の機能を有すること。 ・R-R間隔解析に使用した連続波形 ・感度設定、掃引速度(25or50mm/sec)、ハイカットフィルタの変更表示機能 ・R-R間隔表示(平均/最大/最小) ・R-RヒストグラムおよびR-Rトレンドグラフ表示 ・標準偏差およびRCV値表示 |
| 1 | 7 | 5 | エクストラ誘導の表示について以下の機能を有すること。 ・右側胸部誘導などEXTRA誘導波形の表示 ・掃引速度(25もしくは50mm/sec)の変更表示機能 |
| 1 | 7 | 6 | 運動負荷心電図(トレッドミル・エルゴメータ)について、以下のサマリ情報及び波形を表示する機能を有す ること。 ・サマリデータ(プロトコル名、負荷時間、終了条件) ・トレンドグラフ(ST-L、ST Slope、ST-HRループ) ・アベレージ波形(サマリ、各分毎) ・数値データ(心拍数、血圧値、VE数、DP、MET s、推定VO2、SPO2、PWTT) ・ドミナント波形記録 ・ドミナント登録時リズム波形 ・各分毎の12誘導定時記録 ・各分毎のリズム記録 ・負荷中、負荷後の12誘導心電図波形 |
| 1 | 8 | | 心電図検査データ編集機能 |
| 1 | 8 | 1 | 安静時心電図、マスタステップ心電図に対して以下の編集機能を有すること。 ・所見のテキスト入力機能として全角120文字以上の入力機能 ・所見の定形文登録機能、入力機能 ・ミネソタコードの編集機能 ・所見コードの編集機能 ・基本計測値(HR,PR間隔、QRS幅、QT間隔)の編集機能 ・編集者、編集日時確認入力機能 |
| 1 | 9 | | 心電図データレポート作成機能 |
| 1 | 9 | 1 | 検査報告書は検査種別ごとにテンプレートを登録できること。 |
| 1 | 9 | 2 | 定型文をテンプレート上に貼り付ける機能を有すること。 |
| 1 | 9 | 3 | 定型文は任意に作成した文章を登録する機能を有すること。 |
| 1 | 9 | 4 | 定型文はカテゴリ別に登録する機能を有すること。 |

| | | | |
|----------------|---|----|--|
| 現行ベンダー名 | | | 日本光電工業株式会社 |
| システム名 | | | 生理検査システム（PrimeVitaPlus） |
| パッケージ名 | | | PRM-4000 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 9 | 5 | 作成したレポートは一時保存、承認依頼、仮確定、確定の四段階に分けて登録する機能を有すること。 |
| 1 | 9 | 6 | レポートを複数回作成する場合は、上書せず全て保存すること。 |
| 1 | 9 | 7 | 過去の検査レポートが登録されている場合には、一画面内で同時参照する機能を有すること。 |
| 1 | 9 | 8 | レポート作成画面でオーガ情報(依頼情報)を一画面内で同時参照する機能を有すること。 |
| 1 | 9 | 9 | 結果参照画面において、その画面を開いた状態から、検査結果一覧に戻ることなく、当該患者の全ての検査結果を参照できること。 |
| 1 | 9 | 10 | 結果参照画面において、同一ウィンドウを左右に分割し、片方に心電図データ、もう片方に画像データなど、異なる検査種別・項目が表示できること。 |
| 2 | 1 | | システム全般 |
| 2 | 1 | 1 | システムの操作性や機能美が評価され、日本デザイン振興会より、グッドデザイン賞を受賞していること。 |
| 2 | 1 | 2 | 安全・優良なソフトウェアとして、ヘルスソフトウェア推進協議会より、GHS開発ガイドライン適合ソフトウェアとして登録が完了していること。 |
| 2 | 1 | 3 | 医療情報の標準化に対応するため、IHE-Japan 2021コネクタソンにおいて、以下の[部門][統合プロフィール]アクタの全てに対応を終えていること。 [循環器分野] 【ECG】Display、Information Source 【ECHO】Image Manager/Archive、Image Display、Order Filler 【CATH】Order Filler [内視鏡検査] 【EWF】Order Filler + Performed Procedure Reporter [ITインフラストラクチャ] 【CT】Time Client |
| 3 | 1 | | 保守体制 |
| 3 | 1 | 1 | 納入されたシステムの定期点検、オンコールサービスをおこなうための保守契約を別途締結すること。 |
| 3 | 1 | 2 | 保守契約の中には障害発生時の対応をおこなうためにデータコネクタ回線によるリモートメンテナンスの体制を整えていること。 |
| 3 | 1 | 3 | リモートメンテナンス拠点は、天災時を考慮し、2拠点以上の体制を備えていること。 |
| 3 | 1 | 4 | 保守を実施するための体制として、医療機器修理業の認可を受けたものであること。 |
| 3 | 1 | 5 | 本社機構に24時間365日対応可能なコールセンタを設置していること。 |
| 3 | 1 | 6 | リモートメンテナンス拠点、ならびにコールセンタはISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)「JIS Q 27001(ISO/IEC 27001)」の認証を取得していること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 富士フイルムメディカル株式会社 |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 内視鏡部門システム |
| パッケージ名 | | | NEXUS |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | 1 | | 基本機能概要 |
| 1 | 1 | 1 | 内視鏡検査データが管理でき、画像保存・参照及び専用レポート作成が可能であること |
| 1 | 1 | 2 | 既存内視鏡装置6台との接続を行うこと |
| 1 | 2 | | 検査データ保存機能 |
| 1 | 2 | 1 | 既存データの引継ぎをおこない、過去検査の画像、検査レポートを参照する機能を有すること。データ移行については、既存データ引継ぎ仕様の通りとする。 |
| 1 | 2 | 2 | 検査画像をデジタルデータとしてサーバへ蓄積できる機能を有すること。 |
| 1 | 2 | 3 | アナログデータだけでなく、DICOM出力機能を持った検査装置のデータ取得出来る機能を有すること。データは将来的に標準化されたネットワークシステムの構築ができるよう、JPEG画像・DICOM画像の両方で保存することが可能であること。 |
| 1 | 2 | 4 | DICOM画像は一定期間保存し、画像保存領域を圧迫しないように消去できる機能を有すること。また独自プロトコルでの画像保存は行わないこと |
| 1 | 2 | 5 | 3つ以上のユーザレベル管理が行えること。また認証したユーザーの権限による機能制限が出来ること。 |
| 1 | 3 | | 予約管理機能 |
| 1 | 3 | 1 | 基幹システムからのオーダー情報を受け取ることができること |
| 1 | 3 | 2 | 検査予約、依頼済みの患者リストを表示する機能を有すること。 |
| 1 | 3 | 3 | 検査進捗状況を表示する機能を有すること。 |
| 1 | 3 | 4 | 内視鏡依頼情報を確認できる機能を有すること。 |
| 1 | 3 | 5 | 内視鏡検査の検査予約を各専用端末から部門内でおこなうことができる機能を有すること。 |
| 1 | 3 | 6 | スケジュールを一覧表形式で表示できること。 |
| 1 | 3 | 7 | 各検査状態（予約・受付・検査中・終了等）をアイコンで表示できる機能を有すること |
| 1 | 3 | 8 | 依頼医師からの検査方法等指示が、コメント等で解り易く表示できること |
| 1 | 3 | 9 | 予約受付リストの患者情報が表示されること。 |
| 1 | 3 | 10 | 予約受付リストの検索条件は、検査状態（予約・受付・終了）などで検索できること。 |
| 1 | 3 | 11 | 予約・受付リストより任意患者を指定し個人画面を開くことで、オーダーリングから送られた検査依頼情報の確認ができること。 |
| 1 | 4 | | 画像表示機能 |
| 1 | 4 | 1 | 1台のモニタに過去検査画像と最新検査画像など2件の検査を同時に並列して表示することができること |
| 1 | 4 | 2 | 過去検査画像と最新検査画像を並列表示する際、取り違えが無いよう、過去検査画像には自動的に、撮影年月日が明示的に表示されること |
| 1 | 4 | 3 | 過去検査画像を最新検査画像と同一用紙に印刷を行うことができること。また、その際は、取り違えが無いよう過去検査画像には自動的に、撮影年月日が明示的に表示されること |
| 1 | 4 | 4 | サーバ内に登録されている同一患者のデータを自動的に読み込むことができること。また、当日の検査画像を閲覧中にワンクリックで指定の日付の画像を表示することができること |
| 1 | 4 | 5 | 同一検査項目で絞込みをして過去画像を表示することができること |
| 1 | 4 | 6 | 画像にアノテーションを書き込むことができること |
| 1 | 4 | 7 | 画像に書き込みをしたアノテーションを削除できること |
| 1 | 4 | 8 | 画像に書き込みをしたアノテーションをワンクリックで非表示にできること |
| 1 | 4 | 9 | 画像表示のコマ割を変更することができること |
| 1 | 4 | 10 | 画像を紙印刷にすることが可能であること |
| 1 | 4 | 11 | 画像のファイル出力をJPEG形式・DICOM形式で可能であること |
| 1 | 5 | | 所見登録機能基本要件 |
| 1 | 5 | 1 | 検査後の検査レポート作成が端末上で行えること。 |
| 1 | 5 | 2 | 検査レポートは、内視鏡専用画面を有すること。 |
| 1 | 5 | 3 | 以下の項目を含む検査レポートを作成できること。 |
| 1 | 5 | 4 | 患者ID、患者名、性別、生年月日、年齢、検査実施年月日、検査者名、検査装置種別、機種名、検査実施項目、検査部位、病変部位、所見名、診断名、処置、コメント、検査画像、シエマ図 |
| 1 | 5 | 5 | レポートはセキュリティの担保とトレーサビリティの担保のため版管理を行うことができること |
| 1 | 5 | 5 | 確定レポートに関して編集をする場合は、次版作成とし、これまで作成された確定レポートは全て版ごとに保存されていること |
| 1 | 5 | 6 | また、過去に作成された版番のレポートをレポート作成中に同一端末にてすぐに参照することができること。 |
| 1 | 5 | 7 | キー画像の選択がドラッグ&ドロップの操作で可能であること。 |
| 1 | 5 | 8 | キー画像のレポートへの添付は10枚以上行えること |
| 1 | 5 | 9 | 検査レポート入力に簡素化し入力時間を要しないシステムとすること。 |
| 1 | 5 | 9 | 簡易にレポートを入力するため、部位、診断を入力した後、診断に関連付けられた所見のみを選択入力可能なシステムを提供可能であること |
| 1 | 5 | 10 | マスタ式のレポートはプルダウン式の展開ではなく、階層での用語表示が可能であること。 |
| 1 | 5 | 11 | 同一患者の過去レポートを自動的に読み込み、タブの切り替えのみで過去レポートを参照することができること。 |
| 1 | 5 | 12 | 異常なし患者の場合は、ワンクリックにて、上部検査であれば「食道・胃・十二指腸」などの部位項目が「全て異常なし」登録されること。 |
| 1 | 5 | 13 | 同一患者の過去レポートを容易に転記できること。 |
| 1 | 5 | 14 | 検査種別毎にシエマを保有できること。 |
| 1 | 5 | 15 | シエマの検査レポート添付および画像貼り付けが簡単であること。 |
| 1 | 5 | 16 | 患者ID、属性、検査種別、撮影部位別、疾患分類、検査年月日などによるAND、OR検索ができること。 |
| 1 | 5 | 17 | 仮保存状態の検査レポート（未完了検査も含む）は、レポート上仮保存状態であることを明示したうえで配信が可能なこと。 |

| 現行ベンダー名 | | | 富士フイルムメディカル株式会社 |
|---------|----|----|--|
| システム名 | | | 内視鏡部門システム |
| パッケージ名 | | | NEXUS |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 5 | 18 | レポート上に合併症を登録できる機能を有すること。また合併症は詳細検索にて、And・Or検索ができること |
| 1 | 5 | 19 | 検査レポートにはあらかじめ登録されたシェーマ図と選択画像を添付でき、そのシェーマ図及び選択画像に対しそれぞれ任意箇所へのマーキングが可能であること。 |
| 1 | 5 | 20 | 定型文章は任意に作成した文章を登録する機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 21 | 各種検査レポートがレーザープリンタなどで出力できる機能を有すること。 |
| 1 | 5 | 22 | 報告書を変更する場合は、修正した記録が保存されること。 |
| 1 | 5 | 23 | 検査レポートに記載された内容は、すべてデータサーバに保存され、検索条件として設定できること。 |
| 1 | 5 | 24 | 記載した検査レポート情報を、病理依頼書として利用できること。 |
| 1 | 5 | 25 | 病理依頼書の提供フォーマットは通常の内視鏡レポートの印刷フォーマットと異なるフォーマットで提供可能であること |
| 1 | 5 | 26 | 内視鏡レポート内に、病理診断を記載できる場所を個別に設けること |
| 1 | 5 | 27 | 内視鏡レポートのコメント内に、使用した薬剤を転記できるエリアを設けること |
| 1 | 5 | 28 | 内視鏡レポート内のフリーコメントはリッチテキスト方式に対応していること |
| 1 | 5 | 31 | 上記テンプレートについては施設と協議の上、施設意向に極力沿う仕様であること |
| 1 | 6 | | 院内配信機能 |
| 1 | 6 | 1 | 基幹システム端末から、WEBシステムを利用し、本システムサーバ上の画像及び所見などの参照が可能であること |
| 1 | 7 | | 画像取込機能（画像入力装置）は以下の機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 1 | 画像入力装置は6台 納品すること |
| 1 | 7 | 2 | 映像入出力信号は、コンポジット、S-ビデオ、RGBに対応していること。 |
| 1 | 7 | 3 | サンプリング周波数帯域は、12.27MHz～110MHz以上であること。 |
| 1 | 7 | 4 | 画像記録保存用に40GB以上のハードディスクを内蔵していること。 |
| 1 | 7 | 5 | 記録画像サイズは最大2048×1500画素以上であること。 |
| 1 | 7 | 6 | 磁気カードリーダー及びバーコードリーダーを有しており当院で使用している磁気カード（診療券）に記録されている情報を読み取ることができること。 |
| 1 | 7 | 7 | 画像を1秒以内に画像を取り込むことができ、1検査256枚以上の画像記録が行えること。 |
| 1 | 7 | 8 | 100Base-TXのネットワークインターフェースを有していること。 |
| 1 | 7 | 9 | 電気的安全規格に準拠していること。 |
| 1 | 7 | 10 | 映像入出力端子はHD-SDI、SD-SDI、BNCに対応していること。 |
| 1 | 7 | 11 | 映像及び音声入出力信号はDVI、S-Video、コンポジット、音声（アナログ）に対応していること。 |
| 1 | 7 | 12 | 10/100/1000Base-TXのネットワークインターフェースを有していること。 |
| 1 | 7 | 13 | 記録画像サイズは640×480（NTSCサイズ）～1920×1080（ハイビジョンサイズ）及びSVGA、XGA、SXGAの各種サイズに対応していること。 |
| 1 | 7 | 14 | 画像ファイル形式は、静止画：JPEG、TIFF（非圧縮モード）、動画：H.264に対応していること。 |
| 1 | 7 | 15 | 装置の形状はコンパクトなユニット型で各アナログ出力装置に、本装置が1台接続されること。 |
| 1 | 7 | 16 | 検査の「開始」「終了」については付属のタッチパネル等で簡単に操作が行え、時刻管理が可能であること。 |
| 1 | 7 | 17 | ネットワークに接続して画像ファイルをデータ管理装置に転送する機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 18 | 画像データはデータ管理装置に転送後も内蔵ハードディスク内に一定期間保存されること。 |
| 1 | 7 | 19 | ネットワークから切り離して移動先で本装置単体でも画像記録ができ、データ管理装置と再接続された際には記録データを自動的にデータベースに登録する機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 20 | 検査開始時若しくは途中で内視鏡スコープに添付されたバーコードを読み取ることで、スコープのメーカーを問わず現在行っている検査に使用したスコープを当該レポート情報に付加する機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 21 | 内視鏡装置のメーカーを問わず、内視鏡装置の架台に設置されたディスプレイに、キーボードから手入力することなく患者ID、患者名、スコープ番号を表示する機能を有すること。 |
| 1 | 7 | 22 | 検査開始操作は、事前オーダの情報を元にタッチパネル画面から該当検査を選択操作ができること。 |
| 1 | 7 | 23 | 本機器のエラー発生時には、メッセージ表示及び音声でエラー状態を通知できること。 |
| 1 | 8 | | カプセル内視鏡連携機能 |
| 1 | 8 | 1 | コヴィディエンジャパン社カプセル内視鏡のワークステーションに、カプセル内視鏡オーダを送信し、カプセル内視鏡ワークステーションでは、送信されたオーダ情報を参照し、カプセル内視鏡レポートを作成できること。 |
| 1 | 8 | 2 | コヴィディエンジャパン社カプセル内視鏡のワークステーションにて選択されたキー画像を、内視鏡部門システムサーバに送信し、内視鏡部門システムの格納データとして管理できること。また、送信された画像を貼付画像として、内視鏡部門システムでカプセル内視鏡レポートを作成できること。 |
| 1 | 8 | 3 | コヴィディエンジャパン社カプセル内視鏡のワークステーションにて、作成したカプセル内視鏡のレポートを内視鏡部門システムサーバに送信し、内視鏡部門システムの格納データとして管理し、内視鏡部門システム上にて参照できること。 |
| 1 | 9 | | 既存データ引継ぎ |
| 1 | 9 | 1 | 既存に導入されているnexus sif server上のデータを全て新システムに移行すること。また、データ移行に関しては移行障害などに留意するため、既存サーバの販売元である富士フイルムメディカル側が作業を行うこと |
| 1 | 9 | 2 | また、上述の作業にかかる全ての費用を新規にシステム導入を行うメーカーが負担すること |
| 1 | 10 | | 保守サポート |
| 1 | 10 | 1 | 導入後、無償期間を1年とすること。 |
| 1 | 10 | 2 | 迅速なサポート体制を実現するため、金沢市内にサービスステーションを有していること。 |
| 1 | 10 | 3 | 操作マニュアルは全ての機器について、日本語版を有すること |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社 ジェイ・エス・エス |
|---------|---|------|--|
| システム名 | | | 診療材料・一般消耗品等在庫管理システム |
| パッケージ名 | | | 物品管理システム |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | 1 | | 機能概要 |
| 1 | 1 | 1 | 電子カルテシステムに準じた操作性を有すること。 |
| 1 | 1 | 2 | 基本的に、画面のデザイン、用語、メッセージ操作等がシステム内でわかりやすく統一され、見やすく、ミスの発生しにくいものであること。 |
| 1 | 1 | 3 | 各種入力機能については、マウスやキーボード入力により操作できること。また、マウス操作によりカットアンドペーストもしくはコピーアンドペーストが容易にできること。 |
| 1 | 1 | 4 | エラーのメッセージ表示については、対象データ、エラーの理由、対処方法をわかりやすく表示し、修正入力が容易であること。 |
| 1 | 1 | 5 | ヘルプ機能ボタンを押下することにより、ヘルプ、各種マニュアル等の参照（Web、PDF等）ができること。 |
| 1 | 1 | 6 | システムの起動及び画面表示については利用者にストレスを与えない範囲であり、それを維持（患者数の増加、格納情報の増加にも対応）できるソフトウェア上の工夫がされていること。 |
| 1 | 1 | 7 | 電子カルテシステムの利用者情報と連携できること。 |
| 1 | 1 | 8 | 利用者毎に登録及び修正が可能であること。 |
| 1 | 1 | 9 | パスワードは利用者本人でシステム利用中に随時変更できること。 |
| 1 | 1 | 10 | システム障害対策の為、十分な対策をとること。 |
| 1 | 1 | 11 | 自然災害（火災、地震等）により、病院施設に影響があった場合についても、バックアップ等から復旧できること。他システムからのデータ移入により復旧できる場合を除いて、復旧を可能とするために、定期的なバックアップを取得すること。 |
| 1 | 1 | 12 | システムを利用する場合は、利用者IDとパスワードを入力しログインする必要があること。 |
| 1 | 2 | | 診療材料・一般消耗品等在庫管理システム共通機能 |
| 1 | 2 | 1 | 診療材料（試薬を含む）・一般消耗品(事務物品等)等の管理ができること。 |
| 1 | 2 | 2 | 物品の払受ついで、単品ごとに箱入れ箱出し、箱入れ散出しの管理ができること。 |
| 1 | 2 | 3 | 電子カルテシステムと連携して診療材料等の管理ができること。 |
| 1 | 2 | 4 | 部門別の実績（使用実績等）について、CSVファイル等による入力ができること。 |
| 1 | 2 | 5 | 物品マスタ等のマスタ連携についても、CSVファイル等による入力ができること。 |
| 1 | 2 | 6 | 経営管理システム（DWH含む）と実績・費用情報等の連携ができること。 |
| 1 | 2 | 7 | 医薬品在庫管理システムと統合されていること。 |
| 1 | 3 | | 払出請求管理機能 |
| 1 | 3 | 1 | 各部門から、物品管理担当部門に対して物品の払出請求ができること。 |
| 1 | 3 | 2 | 各部門に設置された、ネットワーク接続及びクライアント機能が導入されたクライアント端末から、物品払出請求情報の入力ができること。また、入力された物品払出請求情報が物品管理担当部門に伝達されること。払出請求情報の入力のためのクライアント機能については、サイトライセンスであること。また、クライアント機能アプリケーションソフトウェアを配布管理機能を有するか、あるいは、Web型等の専用アプリケーションソフトウェアの導入を必要としないこと。 |
| 1 | 3 | 3 | 定期払出請求と臨時払出請求に区分して対応できること。なお、定期払出請求とは、物品管理部門において事前に請求サイクル及び締切時間等を指定して行う払出請求のことであり、随時払出請求とは定期払出請求以外の場合に行うものことである。 |
| 1 | 3 | 4 | 請求物品はマスタ管理できること。 |
| 1 | 3 | 5 | 部門毎に頻出する請求物品を、マスタよりピックアップし、各部門用頻出マスタとして管理できること。 |
| 1 | 3 | 6 | 最頻出の払出請求物品については、バーコードリストをシステムから出力し、そのバーコードの読み取りで払出請求が行えること。 |
| 1 | 3 | 7 | 定期請求においては、請求物品はマスタからの選択しかできないこと。 |
| 1 | 3 | 8 | 臨時請求では請求物品をマスタから選択できること。 |
| 1 | 3 | 9 | 払出請求入力を確定せずに、未確定状態で一時保存ができること。 |
| 1 | 3 | 10 | 払出請求入力の確定時に、物品管理担当部門に情報が伝達されること。 |
| 1 | 3 | 11 | 払出請求入力の確定後も、各部門側で請求内容の修正又は請求内容の取消ができること。 |
| 1 | 4 | | 払出管理機能 |
| 1 | 4 | 1 | 各部門からの請求情報をとりまとめ、物品管理担当部門からの払情報とすることができること。 |
| 1 | 4 | 2 | 電子カルテシステムと連携する際には、実使用数と破損・紛失などを別に管理できること。 |
| 1 | 4 | 3 | マスタの設定により、電子カルテシステム等から実施情報が取り込まれる物品品目を指定できること。 |
| 1 | 4 | 4 | 定期請求においては、締切時間により自動処理又は、物品管理担当部門の手動処理により請求内容が決定され、払出情報となること。 |
| 1 | 4 | 5 | 臨時請求においては、物品管理担当部門において請求入力受付を行うことで、請求が自動的に決定され、払出情報となること。 |
| 1 | 4 | 6 | 請求内容決定後は、請求内容について請求元部門からの修正又は取消が行えない状態となること。 |
| 1 | 4 | 7 | 払出情報を物品管理担当部門において、修正できること。 |
| 1 | 4 | 8 | 請求別／部門別に物品払出一覧（ピッキングリスト）を印刷できること。 |
| 1 | 4 | 9 | 物品別に在庫数以上の払出情報が存在した場合、不足分を発注予定情報とすることができること。 |
| 1 | 4 | 10 | 払出（請求）情報が存在しない場合でも、払出を行うことができること。 |
| 1 | 4 | 11 | 誤請求時に払戻処理ができること。 |
| 1 | 4 | 12 | 期間指定で、部門別／払出品目払出数量集計データをCSVファイル等で出力することができること。 |
| 1 | 5 | | 発注管理機能 |
| 1 | 5 | 1 | 払出情報発生時の在庫不足分について発生した発注予定情報を取り込むことができること。 |
| 1 | 5 | 2 | 在庫不足状態でない物品についても、マスタ設定（発注点・自動発注区分等）により、自動的に発注予定情報を発生させ、取り込みを行えること。 |
| 1 | 5 | 3 | 発注情報を物品管理担当部門において、修正できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社 ジェイ・エス・エス |
|---------|----|----|---|
| システム名 | | | 診療材料・一般消耗品等在庫管理システム |
| パッケージ名 | | | 物品管理システム |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 5 | 4 | 実績データに基づいて、次期購入数量の予測を計算し、購入予測リストの作成及び、発注数量の自動設定ができること。 |
| 1 | 5 | 5 | 発注単位に、発注集計データをCSVファイル等で出力することができること。 |
| 1 | 5 | 6 | 直送先の設定ができること。 |
| 1 | 6 | | 業者発注 |
| 1 | 6 | 1 | 発注情報に基づいて、発注別／業者別に発注書を印刷することができること。 |
| 1 | 6 | 2 | 発注書は、在庫管理等で利用できるバーコードが印字されていること。 |
| 1 | 6 | 3 | 必要に応じて発注書の再発行ができること。 |
| 1 | 6 | 4 | 発注書はFAX送信にも対応できるレイアウトであること。 |
| 1 | 6 | 5 | 現在の発注処理を行いながら、次回以降分の発注データの作成ができること。 |
| 1 | 7 | | 在庫管理機能 |
| 1 | 7 | 1 | 基本的に物品の発注書どおりに納品されることがほとんどであるため、その場合、在庫データを一括して自動的に入力できること。 |
| 1 | 7 | 2 | 臨時の納品に対しても、バーコードで簡易な入力ができること。 |
| 1 | 7 | 3 | 分納管理による在庫に対応すること。 |
| 1 | 7 | 4 | 発注処理が行われていない物品についても在庫可能であること。 |
| 1 | 7 | 5 | 在庫即出庫への対応が可能であること。 |
| 1 | 7 | 6 | 在庫データを確認しながらの修正が可能であること。 |
| 1 | 7 | 7 | 発注別／業者別／物品別に未納品を一覧表示できる画面があり、未納品毎に在庫消込を行うことができること。 |
| 1 | 7 | 8 | 未納品一覧表の出力ができること。 |
| 1 | 7 | 9 | 誤発注、誤納品時に返品処理ができること。 |
| 1 | 7 | 10 | 値引きの管理ができること。 |
| 1 | 7 | 11 | 値引きや返品の履歴管理し、それらを物品毎に一覧で参照することができること。 |
| 1 | 8 | | 在庫管理機能 |
| 1 | 8 | 1 | 部門別／物品別にシステム上の在庫数を表示し、部門における棚卸し時に実数を記入することができる、棚卸を支援する帳票の印刷ができること。 |
| 1 | 8 | 2 | 棚卸時の実数で、システム上の在庫数を調整入力できること。 |
| 1 | 8 | 3 | 棚卸数とシステム上の在庫数の差を管理し、差を比較できる画面、帳票及びファイル等ができること。 |
| 1 | 9 | | 入札・見積管理機能 |
| 1 | 9 | 1 | 物品単価契約を行うために、入札参加業者の指名と契約業者の選考を支援する機能を有すること。 |
| 1 | 9 | 2 | 契約単価の適用期間は、物品により年1回、半期（6ヶ月に1回）、四半期（3ヶ月に1回）及び毎月という期間で管理でき、期間毎の変更に対応できること。 |
| 1 | 9 | 3 | 契約単価は履歴管理ができること。 |
| 1 | 9 | 4 | 過去の購入実績により契約予定期間における、物品の購入予定数量及び金額を自動的に算出できること。 |
| 1 | 9 | 5 | 購入予定数量の算出方法については、過去1～3年の同一期間における購入実績の平均値から求めることができること。 |
| 1 | 9 | 6 | その他、必要な購入予定数量の算出方式に対応すること。 |
| 1 | 9 | 7 | 予定単価については、定価、割引率等を元にシミュレーションを行い、予定単価の設定を行うことができること。 |
| 1 | 9 | 8 | 購入予定数量及び予定単価については、利用者側で変更することができること。 |
| 1 | 9 | 9 | 契約単価の適用期間に基づいて、今回入札・見積合わせ対象品目を自動的に抽出できること。 |
| 1 | 9 | 10 | 今回入札・見積合わせ対象品目の抽出は、利用者による手動でも行うことができること。 |
| 1 | 9 | 11 | 今回入札・見積合わせ対象品目毎に、入札・見積合わせの執行単位とできること。 |
| 1 | 9 | 12 | 入札・見積合わせの執行単位について、手動で合併を行うことができること。 |
| 1 | 9 | 13 | 入札・見積合わせの執行単位毎に、契約予定日の設定ができること。 |
| 1 | 9 | 14 | 契約予定日の変更ができること。 |
| 1 | 9 | 15 | 入札・見積合わせ対象品目毎に複数の指名業者を設定できること。 |
| 1 | 9 | 16 | 入札・見積合わせ執行単位及び指名業者単位に、入札・見積合わせ通知書を作成できること。 |
| 1 | 9 | 17 | 入札・見積通知書の単位で、入札・見積書雛形及び入札・見積明細書（品目別一覧）を作成できること。 |
| 1 | 9 | 18 | 入札・見積明細書については、同一内容・同一フォーマットにて一般的な表計算ソフトウェアで内容の修正が可能な形式のファイル（以下、「見積依頼データ」という。）を出力することができ、それをフロッピーディスク等に格納して、指名業者へ提供することができること。 |
| 1 | 9 | 19 | 見積依頼データについては品目別に応札額を入力することができること。 |
| 1 | 9 | 20 | 見積依頼データについては品目別に「辞退」を表現するデータ入力ができること。 |
| 1 | 9 | 21 | 見積依頼データの応札額及び辞退情報以外については、入力・変更できないようにロックすることができること。 |
| 1 | 10 | | 入札・見積合わせ結果入力機能 |
| 1 | 10 | 1 | 各指名業者より、応札額を入力してある見積依頼データを回収して、そのデータから応札データの取り込みができること。 |
| 1 | 10 | 2 | 利用者側で手動により、業者／品目別の応札単価の入力及び修正ができること。 |
| 1 | 10 | 3 | 応札金額の最も安い業者について、自動的に落札候補業者として設定されること。 |
| 1 | 10 | 4 | 同一応札金額があった場合は、自動的に落札候補業者を設定しないこと。 |
| 1 | 10 | 5 | 落札候補業者については、品目毎に利用者側で変更できること。 |
| 1 | 10 | 6 | 利用者側で一括して、落札候補業者を落札決定業者にすることができること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社 ジェイ・エス・エス |
|---------|----|----|---|
| システム名 | | | 診療材料・一般消耗品等在庫管理システム |
| パッケージ名 | | | 物品管理システム |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 10 | 7 | 応札業者が存在しない（全応札額が予定金額又は全業者が辞退）品目については、2回目入札対象として抽出できること。 |
| 1 | 10 | 8 | 2回目入札対象の品目については、利用者側で業者別に2回目応札額を入力できること。 |
| 1 | 10 | 9 | 2回目応札の情報入力によって、1回目応札額を上書き等することがないこと（1回目応札額を残すことができること）。 |
| 1 | 10 | 10 | 2回目応札後も、応札業者が存在しない場合は、それらの品目を抽出し、不調協議対象とできること。 |
| 1 | 10 | 11 | 落札決定業者の検討や、再度入札を行うために以下の情報を分かりやすく表示する帳票又はCSV等のファイル形式の出力ができること。 |
| 1 | 10 | 12 | 品目別／業者別の応札金額一覧 |
| 1 | 10 | 13 | 最低応札額の業者が複数存在する品目の一覧。 |
| 1 | 10 | 14 | 最低応札額が現行契約価格に対して、高すぎるあるいは安すぎる品目の一覧。 |
| 1 | 10 | 15 | 最低応札額が定に対して、高すぎるあるいは安すぎる品目の一覧。 |
| 1 | 10 | 16 | 最低応札額の業者が現行と異なる品目の一覧。 |
| 1 | 10 | 17 | 落札者がいない品目の一覧。 |
| 1 | 10 | 18 | 業者毎の落札品目の一覧。 |
| 1 | 10 | 19 | 現行単価と新単価（最低応札額）の比較一覧。 |
| 1 | 10 | 20 | 購入金額シミュレーション表（新単価（最低応札額）×購入予定数量）。 |
| 1 | 10 | 21 | 不調協議対象の品目については不調協議落札金額に、自動的に最低応札額の業者と、その応札額が設定されること。 |
| 1 | 10 | 22 | 不調協議対象の品目について、応札額及び落札決定業者の入力ができること。 |
| 1 | 10 | 23 | 決定応札額及び落札業者を物品マスタ等に一括反映することで契約単価とできること。 |
| 1 | 10 | 24 | 決定応札額及び落札業者を物品マスタ等に一括反映するまでは、落札業者決定後も、落札業者及び応札額の変更ができること。 |
| 1 | 11 | | その他機能 |
| 1 | 11 | 1 | マスタのメンテナンスを行うことができること。 |
| 1 | 11 | 2 | マスタのメンテナンスを支援するために、マスタ内容の一覧を表形式で印刷できるか、又は、CSVファイル等の形式で出力できること。 |
| 1 | 11 | 3 | 定価の修正ができること。 |
| 1 | 11 | 4 | 入札・見積管理機能を利用しなくても、契約単価の登録・修正が適用期間を用いてできること。 |
| 1 | 11 | 5 | 物品コード、日付、業者などの項目で検索できること。 |
| 1 | 11 | 6 | 検索結果をCSVファイル等に出力できること。 |
| 1 | 11 | 7 | 以下にあるような情報が、帳票印刷又は画面表示ができること。なお、経営情報DWHシステム及び経営管理システムとの連携により実現されても良い。 |
| 1 | 11 | 8 | 物品別に、任意の期間での入庫、出庫、返品、破損の数量を集計したもの。 |
| 1 | 11 | 9 | 物品別に、任意の期間での入庫、出庫、返品、破損の状況を日付順に表示し、払出先等の内容確認ができるもの |
| 1 | 11 | 10 | 任意の期間での発注点以下の在庫状況の物品を物品別に示したもの。 |
| 1 | 11 | 11 | 任意の期間での払出別／物品別の一覧表。 |
| 1 | 11 | 12 | 任意の期間での、品目別の購入金額一覧表。 |
| 1 | 11 | 13 | 指定した時点での、品目別の単価及び契約業者の一覧表。 |
| 1 | 11 | 14 | 任意の期間での入出庫の無かった物品の一覧表。 |
| 1 | 11 | 15 | バーコードを利用した発注を行うため、任意の複数の物品についてのバーコードが掲載された表。 |
| 1 | 11 | 16 | 月別／品目別入出庫実績推移表 |
| 1 | 11 | 17 | 各種マスタリスト |
| 1 | 11 | 18 | なお、これらの帳票又は画面については、同様の情報を一般的な表計算ソフトウェア（MicrosoftExcel等）用ファイル形式で出力でき、出力ファイルは書式等も設定され、印刷帳票又は画面表示に近似した表示状態であること。 |
| 1 | 11 | 19 | ABC分析ができること。 |

| 現行ベンダー名 | | 株式会社 ジエイ・エス・エス | |
|---------|---|----------------|---|
| システム名 | | 薬剤管理システム | |
| パッケージ名 | | 薬剤管理システム | |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | 1 | | 機能概要 |
| 1 | 1 | 1 | 電子カルテシステムに準じた操作性を有すること。 |
| 1 | 1 | 2 | 基本的に、画面のデザイン、用語、メッセージ操作等がシステム内でわかりやすく統一され、見やすく、ミスの発生しにくいものであること。 |
| 1 | 1 | 3 | 各種入力機能については、マウスやキーボード入力により操作できること。また、マウス操作によりカットアンドペーストもしくはコピーアンドペーストが容易にできること。 |
| 1 | 1 | 4 | エラーのメッセージ表示については、対象データ、エラーの理由、対処方法等をわかりやすく表示し、修正入力が容易であること。 |
| 1 | 1 | 5 | ヘルプ機能ボタンを押下することにより、ヘルプ、各種マニュアル等の参照（Web、PDF等）ができること。 |
| 1 | 1 | 6 | システムの起動及び画面表示については利用者にストレスを与えない範囲であり、それを維持（患者数の増加、格納情報の増加にも対応）できるソフトウェア上の工夫がされていること。 |
| 1 | 1 | 7 | 電子カルテシステムの利用者情報と連携できること。 |
| 1 | 1 | 8 | 利用者毎に登録及び修正が可能であること。 |
| 1 | 1 | 9 | パスワードは利用者本人でシステム利用中に随時変更できること。 |
| 1 | 1 | 10 | システム障害対策の為、十分な対策をとること。 |
| 1 | 1 | 11 | 自然災害（火災、地震等）により、病院施設に影響があった場合についても、バックアップ等から復旧できること。他システムからのデータ移入により復旧できる場合を除いて、復旧を可能とするために、定期的なバックアップを取得すること。 |
| 1 | 1 | 12 | システムを利用する場合は、利用者IDとパスワードを入力しログインする必要があること。 |
| 1 | 2 | | 医薬品在庫管理システム共通機能 |
| 1 | 2 | 1 | 医薬品（内服薬、外用薬、注射薬等）在庫の管理ができること。 |
| 1 | 2 | 2 | 薬品の払受ついて、単品ごとに箱入れ箱出し、箱入れ散出しの管理ができること。 |
| 1 | 2 | 3 | 電子カルテシステムと連携して薬品在庫管理ができること。 |
| 1 | 2 | 4 | 経営管理システム（DWH含む）と実績・費用情報等の連携ができること。 |
| 1 | 2 | 5 | 診療材料・一般消耗品等在庫管理システムと統合されていること。 |
| 1 | 3 | | 払出請求管理機能 |
| 1 | 3 | 1 | 各部門から、薬剤部門に対して薬剤の払出請求ができること。 |
| 1 | 3 | 2 | 各部門に設置された、ネットワーク接続及びクライアント機能が導入されたクライアント端末から、薬剤払出請求情報の入力ができること。また、入力された薬剤払出請求情報が薬剤部門に伝達されること。 |
| 1 | 3 | 3 | 払出請求情報の入力のためのクライアント機能については、サイトライセンスであること。また、クライアント機能アプリケーションソフトウェアを配布管理機能を有するか、あるいは、Web型等の専用アプリケーションソフトウェアの導入を必要としないこと。 |
| 1 | 3 | 4 | 定期払出請求と臨時払出請求に区分して対応できること。なお、定期払出請求とは、薬剤部門において事前に請求サイクル及び締切時間等を指定して行う払出請求のことであり、随時払出請求とは定期払出請求以外の場合に行うものことである。 |
| 1 | 3 | 5 | 請求薬剤はマスタ管理できること。 |
| 1 | 3 | 6 | 部門毎に頻出する請求薬剤を、マスタよりピックアップし、各部門用頻出マスタとして管理できること。 |
| 1 | 3 | 7 | 最頻出の払出請求薬剤については、バーコードリストをシステムから出力し、そのバーコードの読み取りで払出請求が行えること。 |
| 1 | 3 | 8 | 過去の払出請求情報を元に、払出請求情報を複写作成できること。 |
| 1 | 3 | 9 | 払出請求入力を確定せずに、未確定状態で一時保存ができること。 |
| 1 | 3 | 10 | 払出請求入力の確定時に、薬剤部門に情報が伝達されること。 |
| 1 | 3 | 11 | 臨時請求では、払出請求入力の確定時にバーコード付の依頼伝票が発行されること。 |
| 1 | 3 | 12 | 払出請求入力の確定後も、各部門側で請求内容の修正又は請求内容の取消ができること。 |
| 1 | 4 | | 払出管理機能 |
| 1 | 4 | 1 | 電子カルテシステム等の実施情報、定数配置処方オーダ情報、定数配置注射オーダ情報等を取り込み、払出情報とすることができること。 |
| 1 | 4 | 2 | 電子カルテシステムの情報だけでなく、各部門からの請求情報をとりまとめ、薬剤部門からの払出情報とすることができること。 |
| 1 | 4 | 3 | 電子カルテシステムと連携する際には、実使用数と破損・紛失などを別に管理できること。 |
| 1 | 4 | 4 | 定期請求においては、締切時間により自動処理又は、薬剤部門の手動処理により請求内容が決定され、払出情報となること。 |
| 1 | 4 | 5 | 臨時請求においては、薬剤部門において請求入力受付を行うことで、請求が自動的に決定され、払出情報となること。 |
| 1 | 4 | 6 | 請求内容決定後は、請求内容について請求元部門からの修正又は取消が行えない状態となること。 |
| 1 | 5 | | 物品払出（出庫）機能 |
| 1 | 5 | 1 | 払出情報を薬剤部門において、修正できること。 |
| 1 | 5 | 2 | 請求別／部門別に物品払出一覧（ピッキングリスト）を印刷できること。 |
| 1 | 5 | 3 | 物品別に在庫数以上の払出情報が存在した場合、不足分を発注予定情報とすることができること。 |
| 1 | 5 | 4 | 払出（請求）情報が存在しない場合でも、払出を行うことができること。 |
| 1 | 5 | 5 | 誤請求時に払戻処理ができること。 |
| 1 | 5 | 6 | 期間指定で、部門別／払出品目払出数量集計データをCSVファイル等で出力することができること。 |
| 1 | 6 | | 発注管理機能 |
| 1 | 6 | 1 | 払出情報発生時の在庫不足分について発生した発注予定情報を取り込むことができること。 |
| 1 | 6 | 2 | 電子カルテシステム等の処方オーダ情報、注射オーダ情報、化学療法オーダ情報等を取り込み、発注情報とすることができること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社 ジエイ・エス・エス |
|---------|----|----|---|
| システム名 | | | 薬剤管理システム |
| パッケージ名 | | | 薬剤管理システム |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 6 | 3 | 調剤支援システムより処方情報等を取り込み、発注情報とすることができること（電子カルテシステム情報に対する補正等）。 |
| 1 | 6 | 4 | 在庫不足状態でない物品についても、マスタ設定（発注点・自動発注区分等）により、自動的に発注予定情報を発生させ、取り込みを行えること。 |
| 1 | 7 | | 発注機能 |
| 1 | 7 | 1 | 発注情報を薬剤部門において、修正できること。 |
| 1 | 7 | 2 | 実績データに基づいて、次期購入数量の予測を計算し、購入予測リストの作成及び、発注数量の自動設定ができること。 |
| 1 | 7 | 3 | 発注単位の、発注集計データをCSVファイル等で出力することができること。 |
| 1 | 7 | 4 | 直送先の設定ができること。 |
| 1 | 8 | | 業者発注機能 |
| 1 | 8 | 1 | 発注情報に基づいて、発注別／業者別に発注書を印刷することができること。 |
| 1 | 8 | 2 | 発注書は、在庫管理等で利用できるバーコードが印字されていること。 |
| 1 | 8 | 3 | 必要に応じて発注書の再発行ができること。 |
| 1 | 8 | 4 | 発注書はFAX送信にも対応できるレイアウトであること。 |
| 1 | 8 | 5 | 現在の発注処理を行いながら、次回以降分の発注データの作成ができること。 |
| 1 | 9 | | 在庫管理機能 |
| 1 | 9 | 1 | 基本的に医薬品の発注書どおりに納品されることがほとんどであるため、その場合、在庫データを一括して自動的に入力できること。 |
| 1 | 9 | 2 | 臨時の納品に対しても、バーコードで簡易な入力ができること。 |
| 1 | 9 | 3 | 分納管理による在庫に対応すること。 |
| 1 | 9 | 4 | 発注処理が行われていない物品についても在庫可能であること。 |
| 1 | 9 | 5 | 在庫即出庫への対応が可能であること。 |
| 1 | 9 | 6 | 在庫データを確認しながらの修正が可能であること。 |
| 1 | 9 | 7 | 発注別／業者別／医薬品別に未納品を一覧表示できる画面があり、未納品毎に在庫消込を行うことができること。 |
| 1 | 9 | 8 | 未納品一覧表の出力ができること。 |
| 1 | 9 | 9 | 誤発注、誤納品時に返品処理ができること。 |
| 1 | 9 | 10 | 値引きの管理ができること。 |
| 1 | 9 | 11 | 値引きや返品の履歴管理し、それらを医薬品毎に一覧で参照することができること。 |
| 1 | 10 | | 在庫管理機能 |
| 1 | 10 | 1 | 部門別／医薬品別にシステム上の在庫数を表示し、部門における棚卸し時に実数を記入することができる。棚卸を支援する帳票の印刷ができること。 |
| 1 | 10 | 2 | 棚卸時の実数で、システム上の在庫数を調整入力できること。 |
| 1 | 10 | 3 | 棚卸数とシステム上の在庫数の差を管理し、差を比較できる画面、帳票及びファイル等ができること。 |
| 1 | 10 | 4 | 在庫物品の使用期限管理ができること。 |
| 1 | 11 | | 入札・見積管理機能 |
| 1 | 11 | 1 | 物品単価契約を行うために、入札参加業者の指名と契約業者の選考を支援する機能を有すること。 |
| 1 | 11 | 2 | 契約単価の適用期間は、医薬品により年1回、半期（6ヶ月に1回）、四半期（3ヶ月に1回）及び毎月という期間で管理でき、期間毎の変更に対応できること。 |
| 1 | 11 | 3 | 契約単価は履歴管理ができること。 |
| 1 | 11 | 4 | 過去の購入実績により契約予定期間における、医薬品の購入予定数量及び金額を自動的に算出できること。 |
| 1 | 11 | 5 | 購入予定数量の算出方法については、過去1～3年の同一期間における購入実績の平均値から求めることができること。 |
| 1 | 11 | 6 | その他、必要な購入予定数量の算出方式に対応すること。 |
| 1 | 11 | 7 | 予定単価については、定価、割引率等を元にシミュレーションを行い、予定単価の設定を行うことができること。 |
| 1 | 11 | 8 | 購入予定数量及び予定単価については、利用者側で変更することができること。 |
| 1 | 11 | 9 | 契約単価の適用期間に基づいて、今回入札・見積合わせ対象品目を自動的に抽出できること。 |
| 1 | 11 | 10 | 今回入札・見積合わせ対象品目の抽出は、利用者による手動でも行うことができること。 |
| 1 | 11 | 11 | 今回入札・見積合わせ対象品目毎に、入札・見積合わせの執行単位とできること。 |
| 1 | 11 | 12 | 入札・見積合わせの執行単位について、手動で合併を行うことができること。 |
| 1 | 11 | 13 | 入札・見積合わせの執行単位毎に、契約予定日の設定ができること。 |
| 1 | 11 | 14 | 契約予定日の変更ができること。 |
| 1 | 11 | 15 | 入札・見積合わせ執行単位及び指名業者単位に、入札・見積合わせ通知書を作成できること。 |
| 1 | 11 | 16 | 入札・見積通知書の単位で、入札・見積書雛形及び入札・見積明細書（品目別一覧）を作成できること。 |
| 1 | 11 | 17 | 入札・見積明細書については、同一内容・同一フォーマットにて一般的な表計算ソフトウェアで内容の修正が可能な形式のファイル（以下、「見積依頼データ」という。）を出力することができ、それをフロッピーディスク等に格納して、指名業者へ提供することができること。 |
| 1 | 11 | 18 | 見積依頼データについては品目別に応札額を入力することができること。 |
| 1 | 11 | 19 | 見積依頼データについては品目別に「辞退」を表現するデータ入力ができること。 |
| 1 | 11 | 20 | 見積依頼データの応札額及び辞退情報以外については、入力・変更できないようにロックすることができること。 |
| 1 | 12 | | 入札・見積合わせ結果入力機能 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社 ジエイ・エス・エス |
|---------|----|----|---|
| システム名 | | | 薬剤管理システム |
| パッケージ名 | | | 薬剤管理システム |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 12 | 1 | 各指名業者より、応札額を入力してある見積依頼データを回収して、そのデータから応札データの取り込みができること。 |
| 1 | 12 | 2 | 利用者側で手動により、業者／品目別の応札単価の入力及び修正ができること。 |
| 1 | 12 | 3 | 応札金額の最も安い業者について、自動的に落札候補業者として設定されること。 |
| 1 | 12 | 4 | 同一応札金額があった場合は、自動的に落札候補業者を設定しないこと。 |
| 1 | 12 | 5 | 落札候補業者については、品目毎に利用者側で変更できること。 |
| 1 | 12 | 6 | 利用者側で一括して、落札候補業者を落札決定業者にすることができること。 |
| 1 | 12 | 7 | 応札業者が存在しない（全応札額が予定金額又は全業者が辞退）品目については、2回目入札対象として抽出できること。 |
| 1 | 12 | 8 | 2回目入札対象の品目については、利用者側で業者別に2回目応札額を入力できること。 |
| 1 | 12 | 9 | 2回目応札の情報入力によって、1回目応札額を上書き等することがないこと（1回目応札額を残すことができること）。 |
| 1 | 12 | 10 | 2回目応札後も、応札業者が存在しない場合は、それらの品目を抽出し、不調協議対象とできること。 |
| 1 | 12 | 11 | 落札決定業者の検討や、再度入札を行うために以下の情報を分かりやすく表示する帳票又はCSV等のファイル形式の出力ができること。 |
| 1 | 12 | 12 | 品目別／業者別の応札金額一覧 |
| 1 | 12 | 13 | 最低応札額の業者が複数存在する品目の一覧。 |
| 1 | 12 | 14 | 最低応札額が現行契約価格に対して、高すぎるあるいは安すぎる品目の一覧。 |
| 1 | 12 | 15 | 最低応札額が定に対して、高すぎるあるいは安すぎる品目の一覧。 |
| 1 | 12 | 16 | 最低応札額の業者が現行と異なる品目の一覧。 |
| 1 | 12 | 17 | 落札者がいない品目の一覧。 |
| 1 | 12 | 18 | 業者毎の落札品目の一覧。 |
| 1 | 12 | 19 | 現行単価と新単価（最低応札額）の比較一覧。 |
| 1 | 12 | 20 | 購入金額シミュレーション表（新単価（最低応札額）×購入予定数量）。 |
| 1 | 12 | 21 | 不調協議対象の品目については不調協議落札金額に、自動的に最低応札額の業者と、その応札額が設定されること。 |
| 1 | 12 | 22 | 不調協議対象の品目について、応札額及び落札決定業者の入力ができること。 |
| 1 | 12 | 23 | 決定応札額及び落札業者を医薬品マスタ等に一括反映することで契約単価とできること。 |
| 1 | 12 | 24 | 決定応札額及び落札業者を医薬品マスタ等に一括反映するまでは、落札業者決定後も、落札業者及び応札額の変更ができること。 |
| 1 | 13 | | その他機能 |
| 1 | 13 | 1 | マスタのメンテナンスを行うことができること。 |
| 1 | 13 | 2 | マスタのメンテナンスを支援するために、マスタ内容の一覧を表形式で印刷できるか、又は、CSVファイル等の形式で出力できること。 |
| 1 | 13 | 3 | 定価の修正ができること。 |
| 1 | 13 | 4 | 入札・見積管理機能を利用しなくても、契約単価の登録・修正が適用期間を用いてできること。 |
| 1 | 13 | 5 | 薬価改定に対応できること。 |
| 1 | 13 | 6 | 表計算形式ファイル等で新薬価を一括登録できること。 |
| 1 | 13 | 7 | 医薬品コード、日付、業者などの項目で検索できること。 |
| 1 | 13 | 8 | 検索結果をCSVファイル等に出力できること。 |
| 1 | 13 | 9 | 以下にあるような情報が、帳票印刷又は画面表示ができること。なお、経営情報DWHシステム及び経営管理システムとの連携により実現されても良い。 |
| 1 | 13 | 10 | 医薬品別に、任意の期間での入庫、出庫、返品、破損の数量を集計したもの。 |
| 1 | 13 | 11 | 医薬品別に、任意の期間での入庫、出庫、返品、破損の状況を日付順に表示し、払出先等の内容確認ができるもの |
| 1 | 13 | 12 | 任意の期間での発注点以下の在庫状況の医薬品を医薬品別に示したもの。 |
| 1 | 13 | 13 | 任意の期間での払出別／医薬品別の一覧表。 |
| 1 | 13 | 14 | 任意の期間での、品目別の購入金額一覧表。 |
| 1 | 13 | 15 | 指定した時点での、品目別の単価及び契約業者の一覧表。 |
| 1 | 13 | 16 | 任意の期間での入出庫の無かった医薬品の一覧表。 |
| 1 | 13 | 17 | バーコードを利用した発注を行うため、任意の複数の医薬品についてのバーコードが掲載された表が出力可能であること |
| 1 | 13 | 18 | 月別／品目別入出庫実績推移表 |
| 1 | 13 | 19 | 薬効別金額集計表 |
| 1 | 13 | 20 | 病棟定数表 |
| 1 | 13 | 21 | 各種マスタリスト |
| 1 | 13 | 22 | 部署別薬品使用量一覧表 |
| 1 | 13 | 23 | なお、これらの帳票又は画面については、同様の情報を一般的な表計算ソフトウェア（MicrosoftExcel等）用ファイル形式で出力でき、出力ファイルは書式等も設定され、印刷帳票又は画面表示に近似した表示状態であること。 |
| 1 | 13 | 24 | ABC分析ができること。 |
| 1 | 14 | | 特定生物由来機能 |
| 1 | 14 | 1 | 特定生物由来製品の払出管理ができること。 |
| 1 | 14 | 2 | 特定生物由来製品の使用状況について、日報・月報等の出力が可能であること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社 ジェイ・エス・エス |
|---------|---|------|--|
| システム名 | | | 健診システム |
| パッケージ名 | | | JUST健診システム |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | 1 | | 機能概要 |
| 1 | 1 | 1 | 基本的に、画面のデザイン、用語、メッセージ操作等がシステム内でわかりやすく統一され、見やすく、ミスの発生しにくいものであること。 |
| 1 | 1 | 2 | 各種入力機能については、マウスやキーボード入力により操作できること。また、マウス操作によりカットアンドペーストもしくはコピーアンドペーストが容易にできること。 |
| 1 | 1 | 3 | エラーのメッセージ表示については、対象データ、エラーの理由、対処方法等をわかりやすく表示し、修正入力が容易であること。 |
| 1 | 1 | 4 | システムの起動及び画面表示については利用者にストレスを与えない範囲であり、それを維持（患者数の増加、格納情報の増加にも対応）できるソフトウェア上の工夫がされていること。 |
| 1 | 1 | 5 | 一覧表示より選択することで、詳細表示画面に遷移すること。 |
| 1 | 1 | 6 | パスワードは利用者本人でシステム利用中に随時変更できること。 |
| 1 | 1 | 7 | 利用者本人による初回ログイン時にパスワード変更を促す画面が表示されることが望ましい。 |
| 1 | 1 | 8 | 最低パスワード長の設定が可能であることが望ましい。 |
| 1 | 1 | 9 | パスワード強度の設定（数字のみ可、数字のみ不可英数字混合可、英数字混合不可英数字記号混合可等）が可能であることが望ましい。 |
| 1 | 1 | 10 | パスワード有効期限の設定が可能であり、有効期限が終了するとパスワード変更を促す画面が利用者に表示されることが望ましい。 |
| 1 | 1 | 11 | いつ（日付）、誰（操作者）が、誰（患者）のデータに、どこで（端末等）、どのように（参照・更新等）アクセスしたかをアクセスログとして取得することができること。 |
| 1 | 1 | 12 | システム障害対策の為、十分な対策をとること。 |
| 1 | 1 | 13 | 自然災害（火災、地震等）により、病院施設に影響があった場合についても、バックアップ等から復旧できること。他システムからのデータ移入により復旧できる場合を除いて、復旧を可能とするために、定期的なバックアップを取得すること。 |
| 1 | 1 | 14 | 健診業務として、受診者管理、予約・受付、結果入力、検歴参照、結果報告、請求業務ができること。 |
| 1 | 1 | 15 | 予防接種者の管理ができること。 |
| 1 | 1 | 16 | 人間ドック受診者だけでなく、団体健診受診者の管理もできること。 |
| 1 | 2 | | 受診者管理機能 |
| 1 | 2 | 1 | 団体契約及び個人契約ができること。 |
| 1 | 2 | 2 | 基本的な個人情報入力は、電子カルテシステム又は医事会計システムとの連携にて実現されること。 |
| 1 | 2 | 3 | 健診独自に必要な情報の追加入力ができること。 |
| 1 | 2 | 4 | 団体情報の入力ができること。 |
| 1 | 2 | 5 | 日帰り人間ドック、一泊二日人間ドック及び生活習慣病等ができること。 |
| 1 | 2 | 6 | 人間ドック、定期検診、生活習慣病検診、特定検診等に対応できること。 |
| 1 | 2 | 7 | 既設システムから出力されている名簿が印刷出力できること。 |
| 1 | 2 | 8 | 受診者一覧表（ドック用） |
| 1 | 2 | 9 | ワクチン実施者名簿 |
| 1 | 2 | 10 | 団体検診受診者名簿 |
| 1 | 3 | | 予約・受付機能 |
| 1 | 3 | 1 | 団体契約及び個人契約ができること。 |
| 1 | 3 | 2 | カレンダー管理ができること。 |
| 1 | 3 | 3 | 受付については事前受付とすること。 |
| 1 | 3 | 4 | コースに対応した受診スケジュール表が印刷できること。 |
| 1 | 3 | 5 | 電話等で問い合わせがあった時、即座に状況が検索できること。 |
| 1 | 3 | 6 | 空き状況と予約残及び重複登録の確認が即座にできること。 |
| 1 | 3 | 7 | 既設システムから出力されている帳票が印刷出力できること。 |
| 1 | 3 | 8 | 問診表 |
| 1 | 3 | 9 | 人間ドック受診案内票 |
| 1 | 4 | | 健診検査依頼 |
| 1 | 4 | 1 | 健診による検体検査の依頼オーダーを、電子カルテシステム上から発行できること。 |
| 1 | 5 | | 結果入力 |
| 1 | 5 | 1 | 各種グループ入力、一覧入力及び個人入力ができること。 |
| 1 | 5 | 2 | 指導区分等の自動判定処理ができること。 |
| 1 | 5 | 3 | 性別判定基準の詳細設定ができること。 |
| 1 | 5 | 4 | 総合判定入力が自動設定と手動設定に分かれていること。 |
| 1 | 5 | 5 | 検査結果は検査科の検査システムと接続しデータの入力及び転記ミスを軽減することができること。受診カルテ等印刷物のタイトル（頭書き）が印字できること。 |
| 1 | 5 | 6 | 電子カルテシステム連動し、検査結果を管理できること。 |
| 1 | 5 | 7 | 中間報告書を印刷することにより、総合入力の判定処理が軽減できること。 |
| 1 | 5 | 8 | 外注検査の対応もできること。 |
| 1 | 5 | 9 | コメントは参照表示しその内容をフリーコメント入力で加工できること。 |
| 1 | 6 | | 検歴参照 |
| 1 | 6 | 1 | 受診歴を個人ごとに過去3回分を検索できること。 |
| 1 | 6 | 2 | 総合判定表示ができること。 |
| 1 | 6 | 4 | 結果表示を印刷せずに表示できること。 |
| 1 | 7 | | 結果報告 |
| 1 | 7 | 1 | 検査結果やレポートは電子カルテシステムを参照しながら、入力できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社 ジェイ・エス・エス |
|---------|----|----|--|
| システム名 | | | 健診システム |
| パッケージ名 | | | JUST健診システム |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 7 | 2 | 問診票等のデータも保存できること。 |
| 1 | 7 | 3 | 結果報告書の出力ができること。 |
| 1 | 7 | 4 | 人間ドック用の結果報告書（成績書）は既設システム同様の病院指定の内容で作成できること。 |
| 1 | 7 | 5 | 結果報告書として、団体健診等の簡易な健診及び脳ドックにも対応するため、人間ドック用以外に2種類以上の様式を持ち、健診内容によって選択できること。 |
| 1 | 7 | 6 | 報告書には最低でも今回、前回、前々回を印字できること。 |
| 1 | 7 | 7 | 中間報告書及びコース別の報告書が印字できること。 |
| 1 | 7 | 8 | 特定健診にかかるデータ（厚生労働省指定のXMLファイル）が作成できること。 |
| 1 | 7 | 9 | 患者渡し用CD-R（成績データ及び検査撮影写真等を格納）を簡単に作成することができること。 |
| 1 | 7 | 10 | 成績報告書フォーマットは簡単に修正することができること。 |
| 1 | 8 | | 請求業務 |
| 1 | 8 | 1 | 個人別請求書及び団体別の請求書を発行できること。 |
| 1 | 8 | 2 | 消費税は有無を指定できること。 |
| 1 | 8 | 3 | 政府管掌保険の対応ができること。 |
| 1 | 9 | | 他システム連携 |
| 1 | 9 | 1 | 検査結果は電子カルテシステムより取り込めること。 |
| 1 | 9 | 2 | 結果報告書は電子カルテシステムから参照できること。 |
| 1 | 9 | 3 | 健診システムの利用者は電子カルテシステムとの連携を行えること。 |
| 1 | 9 | 4 | 問診情報ファイルの取り込みが可能であること。 |
| 1 | 10 | | マスタメンテナンス |
| 1 | 10 | 1 | コースマスタにてコースの登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 2 | 検査項目マスタにて検査項目の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 3 | 所見マスタにて検査項目に対応する所見名称の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 4 | 基準値マスタにて検査項目に対する基準値の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 5 | 問診回答マスタにて問診に対応する回答が登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 6 | 問診項目マスタにて問診項目の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 7 | 受診者マスタにて受診者情報の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 8 | 利用者マスタにて利用者の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 9 | 事業所マスタにて事業所の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 10 | 特定健診契約マスタにて特定健診データ出力先の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 11 | 特定健診機関マスタにて対象の機関の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 12 | 報告書テーブルにて報告書に印字する項目の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 13 | 企業別請求契約マスタにて事業者、コース毎に金額の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 14 | 総合コメントマスタにて使用したいコメントの登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 15 | 結果一括入力パターンマスタにて一括入力項目の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 16 | 名称マスタにてシステム内で使用する名称の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 17 | 計算項目マスタにて計算項目の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 18 | 検査項目コード変換マスタにて項目コード変換による入出力の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 19 | 出力コード変換マスタにて結果コード変換による入力の登録/修正/削除ができること。 |
| 1 | 10 | 20 | グループマスタにて電子カルテ参照画面の登録/修正/削除ができること。 |

| 現行ベンダー名 | | ファーストプレス | |
|---------|---|---------------------------|--|
| システム名 | | 地域連携システム | |
| パッケージ名 | | firstpass/community-link4 | |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | | | 地域連携システム |
| 1 | 1 | | 基本機能 |
| 1 | 1 | 1 | システム管理業務（ユーザマスタ等の登録等）と日常業務が使用者権限設定により区別できること。 |
| 1 | 1 | 2 | 地域連携室の利用者内で共有できる掲示板機能を保持しており、掲載期間を設定でき、掲示内容は色分けできること。 |
| 1 | 1 | 3 | 連携医療機関との対応状況をマスタで分類し登録管理できること。またその情報は統計処理画面より出力できること。 |
| 1 | 1 | 4 | 電子カルテシステム又は医事会計システムと患者基本情報が連携できること。 |
| 1 | 1 | 5 | 電子カルテシステムと入退院情報が連携できること。 |
| 1 | 1 | 6 | 電子カルテシステムと患者病名情報が連携できること。 |
| 1 | 1 | 7 | 連携医療機関の情報を患者がタブレット端末等で院内で検索できる仕組みを用意すること。 |
| 1 | 1 | 8 | 連携室が連携医療機関に送付する文書はシステムから直接FAXすることができること。 |
| 1 | 1 | 9 | 連携医療機関から事前に送付される診療情報提供書等を複合機等で受信しPDF形式で転送された後システムに取り込むことができること。 |
| 1 | 2 | | 紹介受付 |
| 1 | 2 | 1 | 紹介受付情報を登録／変更／削除ができ、紹介受付時の文書情報（紹介状等）をPDF等のイメージデータで管理できること。 |
| 1 | 2 | 2 | 新患の場合、患者IDの登録を行わず、後日来院し、患者IDを登録した段階で、紹介情報と患者IDの関連付けができること。 |
| 1 | 2 | 3 | 依頼目的、紹介経路（連携室経由の予約、医師間での予約、事前予約なし）が管理できること。 |
| 1 | 2 | 4 | 患者の二重登録チェック機能を有していること。 |
| 1 | 2 | 5 | 連携医療機関情報は医療機関名、診療科、医師名、電話番号、FAX番号が登録できること。 |
| 1 | 2 | 6 | 紹介受付時の当院担当医、及びその後担当する医師が変更された場合に履歴で管理できること。 |
| 1 | 2 | 7 | 紹介患者情報として氏名、フリガナ、性別、生年月日、患者番号が登録できること。 |
| 1 | 2 | 8 | 連携医療機関への予約票（予約回答）が作成できること。 |
| 1 | 2 | 9 | 検査予約時の説明用添付文書等は予め用意されたPDFファイルから選択して同時に印刷ができること。また当該添付文書は紹介受付の検査依頼内容と連動して初期選択されること。 |
| 1 | 2 | 10 | 予約票発行画面において頼信紙の作成ができ、予約票と同時に印刷ができること。 |
| 1 | 3 | | 患者管理 |
| 1 | 3 | 1 | 紹介や逆紹介患者の管理ができるとともに、紹介・逆紹介関係の無い情報提供依頼や情報入手のみの患者も合わせて管理できること。 |
| 1 | 3 | 2 | 病名情報が管理できること。病名は紹介依頼時の病名、受診後に確定した病名の登録ができること。なお確定した病名は病名マスタの画面から選択入力できること。また既に電子カルテシステムに患者病名が登録されている場合、選択登録が可能なこと。 |
| 1 | 3 | 3 | 一画面にて当該患者の紹介／逆紹介／情報提供／情報入手の履歴が一覧で確認でき、それぞれに、依頼日、連携医療機関名、連携医、依頼内容、担当医、依頼病名が表示されること。 |
| 1 | 3 | 4 | 上記一覧画面は新規登録順以外に、連携医療機関別、依頼病名別にまとめて表示ができ、選択するとその詳細内容が表示され、連続して切り替え表示ができること。 |
| 1 | 3 | 5 | 入退院履歴のある患者は、電子カルテと連携し、地域連携システム上で入退院日、診療科、病棟、病室を表示できること。 |
| 1 | 3 | 6 | 連携室より発行する報告書の種類はマスタ上で設定でき、患者状態（受診、入院、退院等）に応じて送付する予定文書が自動生成できること。また当該文書の添付文書等は予め用意されたPDFファイルから選択して同時に印刷ができること。なお頼信紙の作成もできること。 |
| 1 | 3 | 7 | 紹介や逆紹介情報登録時、紹介医療機関以外に関係機関情報（かかりつけ医、居宅介護支援事業者、訪問看護ステーション等）を登録できること。またその内容は、関係機関名、担当者、電話番号、FAX番号、備考とすること。 |
| 1 | 3 | 8 | 汎用的に使用できる連絡票が作成できること。また当該文書の添付文書等は予め用意されたPDFファイルから選択して同時に印刷ができること。なお頼信紙の作成もできること。 |
| 1 | 3 | 9 | 送付文書を履歴で管理できること。 |
| 1 | 3 | 10 | 連携患者に対し、連携室で行わなければならない業務を、患者の紹介／逆紹介／情報提供／情報入手ごとに進捗管理（予定実績管理）でき、業務種別、発生日、期限日、完了日、内容が登録できること。 |
| 1 | 3 | 11 | 進捗管理の内容は、別画面にて、複数患者を一覧表示でき、患者番号、患者氏名、医療機関名、期限日（範囲指定）、発生日（範囲指定）、完了日（範囲指定）、完了状態で検索できること。 |
| 1 | 3 | 12 | 紹介患者を受診予定日指定で一覧表示でき、更に印刷することができること。 |
| 1 | 3 | 13 | 紹介患者の状況（入院中、退院、転帰、治癒、逆紹介等）が管理できること。 |
| 1 | 3 | 14 | 紹介／逆紹介／情報提供／情報入手ごとに、マスタで自由設定可能な統計分類項目を、最大5項目まで設定でき、診療科別の件数統計として集計できること。 |
| 1 | 3 | 15 | 逆紹介は紹介元返送（Uターン）、他機関逆紹介（Jターン）、新規逆紹介（Iターン）を区別して、登録できること。 |
| 1 | 3 | 16 | 最終更新者の表示ができること。 |
| 1 | 4 | | 業務進捗管理 |
| 1 | 4 | 1 | 紹介受付、受診報告、入院報告、退院報告、その他連携室が対応する各管理項目を切り替えて進捗管理ができること。 |
| 1 | 4 | 2 | 設定された期限日を元に処理すべき未対応項目が一覧表示でき、対応を促せること。 |
| 1 | 4 | 3 | 紹介／逆紹介情報にて管理される項目を検索項目として進捗状況の一覧を表示できること。内容は、紹介、フェーズ（イベント）、受診連絡、医師報告書、逆紹介等の選択表示が可能なこと。 |
| 1 | 4 | 4 | 以下の表示内容は各種項目別に並び替えができること。 （来院日、患者氏名、紹介元医療機関、受診報告書の報告予定日及び報告日、逆紹介日、逆紹介先医療機関） |

| 現行ベンダー名 | | | ファーストプレス |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 地域連携システム |
| パッケージ名 | | | firstpass/community-link4 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 4 | 5 | 検索後に表示された一覧画面より画面表示内容をCSV形式で直接出力できること。 |
| 1 | 5 | | 返書管理 |
| 1 | 5 | 1 | 医師による作成が必要な文書情報を、連携室が紹介患者の来院情報を登録した時点で、未報告文書として自動生成できること。 |
| 1 | 5 | 2 | 自動生成する文書は、第一報、経過報告、最終報告等、当院で自由に設定できること。 |
| 1 | 5 | 3 | それぞれの文書に対し、必要に応じて作成期限日を来院日を起点に自動設定できること。 |
| 1 | 5 | 4 | 作成された文書に対し実績登録できること。 |
| 1 | 5 | 5 | 未報告文書を検索でき、一覧で画面表示できること。 |
| 1 | 5 | 6 | 未報告文書のチェックリストが科別、医師別に出力できること。 |
| 1 | 6 | | 統計 |
| 1 | 6 | 1 | 統計データの有効活用を考慮し、統計帳票はEXCEL形式で出力できること。 |
| 1 | 6 | 2 | 紹介統計として、科別医師別紹介患者数 科別依頼内容別紹介患者数 科別検査項目別紹介患者数 連携医療機関別医師別患者数 科別経路別紹介患者数 年齢別紹介患者数 報告状況表 科別医療機関別患者数 科別地区別医療機関別患者数 科別種別別医療機関別患者数 経路別医療機関別患者数が出力できること。 |
| 1 | 6 | 3 | 逆紹介統計として、科別医師別逆紹介患者数 連携医療機関別医師別患者数 逆紹介患者数、年齢別逆紹介患者数 報告状況表 科別医療機関別逆紹介患者数 科別地区別医療機関別逆紹介患者数 科別種別別医療機関別逆紹介患者数が出力できること。 |
| 1 | 6 | 4 | 紹介/逆紹介/情報提供/情報入手/連携医療機関のデータをCSV形式等で出力できること。 |
| 1 | 6 | 5 | 統計は汎用的に利用できるよう抽出データ（紹介、逆紹介、文書情報）、抽出条件、表示項目を指定し、月別推移やクロス集計を作成できること。作成条件は登録でき、統計処理画面に表示されること。 |
| 1 | 6 | 6 | 抽出条件をユーザごとに保存できること。また保存条件は永久、ログアウトまで、保存なし、で設定できること。 |
| 1 | 7 | | 他部門共有 |
| 1 | 7 | 1 | 電子カルテシステムで選択されている患者の紹介や逆紹介情報が医療機関別に一覧で参照できること。 |
| 1 | 7 | 2 | 一覧の紹介や逆紹介情報へ関連付けられている文書やPDFを閲覧できること。 |
| 2 | | | 連携文書管理システム |
| 2 | 1 | | 文書作成管理 |
| 2 | 1 | 1 | 地域連携システムで指定された報告必要(予定)文書・作成済報告書を医師が確認できること。 |
| 2 | 1 | 2 | 患者IDを指定した場合は、報告必要文書情報と作成済報告書情報が同一画面上で表示できること。 |
| 2 | 1 | 3 | 患者IDを指定しない場合は、使用（ログイン）している医師の文書情報を多く表示させるため、報告必要文書情報と作成済報告書情報をタブで切り替えて表示できること。 |
| 2 | 1 | 4 | 既に地域連携室で紹介患者登録を行っている患者の文書を作成する場合、患者情報、送付先医療機関及び医師名が自動で設定されていること。 |
| 2 | 1 | 5 | 院内医師による受診時報告(第一報)が作成できること。 |
| 2 | 1 | 6 | 院内医師による経過報告文書が作成できること。 |
| 2 | 1 | 7 | 院内医師による診療情報提供書(紹介状)が作成できること。 |
| 2 | 1 | 8 | 電子カルテシステムと利用者情報の連携が可能なこと。 |
| 2 | 1 | 9 | 新規逆紹介（Iターン）や紹介元以外の医療機関への逆紹介（Jターン）の場合は、地域連携システムで保持している医療機関情報から検索することができること。なおマスタに無い場合は、直接手入力が可能なこと。更にその場合は連携室に手入力したことをマーク等で通知できること。 |
| 2 | 1 | 10 | 新規逆紹介（Iターン）や紹介元以外の医療機関への逆紹介（Jターン）の場合、連携室で登録した逆紹介情報と関連付けが連携室でできること。 |
| 2 | 1 | 11 | 文書作成時、当該患者、別患者を問わず、過去に作成した文書からの複写ができること。 |
| 2 | 1 | 12 | 診療科ごとの文章テンプレートを作成できること。 |
| 2 | 1 | 13 | 医師ごとの文章テンプレートを作成できること。当該テンプレートは文書作成時にそのままタイトル（キーワード）を登録してテンプレートとして新規に登録ができること。またテンプレートを利用する場合は、タイトルで検索ができ、必要に応じてそのテンプレートの修正ができること。 |
| 2 | 1 | 14 | 診療情報提供書作成時、紹介先受入確認中の場合は紹介先未確定とし、医療機関名を表記せず印刷できること。 |
| 2 | 1 | 15 | 文書は書きかけ保留（一時保存）ができること。 |
| 2 | 1 | 16 | 連携室に対し、システム上で郵送依頼ができること。また連携室では、連携文書の一括印刷、郵送ラベルが発行ができること。 |
| 2 | 1 | 17 | 連携先医療機関の事前予約が必要な場合は、連携室に対し、システム上で発行依頼ができること。 |
| 2 | 1 | 18 | 郵送依頼した連携文書に添付資料（CD-ROM等）の有無をチェック式で登録できること。またその内容は連携室で確認できること。 |
| 2 | 1 | 19 | 連携室に郵送やFAXを依頼した場合、連携室の対応状況が医師側で確認できること。 |
| 2 | 1 | 20 | 文書を作成する医師名の連名対応ができること。 |
| 2 | 1 | 21 | 医師が自ら最終報告の管理ができ自身の判断で最終報告とすることができること。 |
| 2 | 1 | 22 | 文書が作成完了した後に修正された場合、過去の文書も保持し、改版履歴が管理できること。 |
| 2 | 1 | 23 | 上記修正に関して更新履歴（日時、更新者）の管理ができること。 |
| 2 | 1 | 24 | 返書作成が不要の場合は医師自ら予定返書を返書不要状態とするか、連携室でのみ設定変更可能とするか設定できること。 |
| 2 | 1 | 25 | 医師自身の予定以外に診療科全体の報告必要文書状況も把握できること。 |
| 2 | 1 | 26 | 各文書は送付先医療機関の住所印刷ができ、窓空き封筒での対応が可能であること。 |
| 2 | 1 | 27 | 受診日からの期限日数をマスタで設定でき、報告必要文書一覧に報告期限日をわかりやすく表示できること。 |
| 2 | 1 | 28 | 診療情報提供書を作成した際は、診療情報提供料の算定を電子カルテ等と連携できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | ファーストプレス |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 地域連携システム |
| パッケージ名 | | | firstpass/community-link4 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 2 | 1 | 29 | 作成した返書や診療情報提供書等は電子カルテと連携し電子カルテ側からも参照できること。 |
| 3 | | | 医療相談システム |
| 3 | 1 | | 基本機能 |
| 3 | 1 | 1 | 地域連携システムと連携し、紹介医療機関が共有できること。 |
| 3 | 1 | 2 | 使用者権限設定により地域連携システムとワンタッチで画面の切り替えができること。 |
| 3 | 1 | 3 | システム管理業務（ユーザマスタ等の登録等）と日常業務が使用者権限設定により区別できること。 |
| 3 | 1 | 4 | 医療相談室の利用者内で共有できる掲示板機能を保持しており、掲載期間を設定でき、掲示内容は色分けできること。 |
| 3 | 1 | 5 | 連携医療機関との対応状況をマスタで分類し登録管理できること。またその情報は統計処理画面より出力できること。 |
| 3 | 1 | 6 | 電子カルテシステム又は医事会計システムと患者基本情報が連携できること。 |
| 3 | 1 | 7 | 電子カルテシステムと入院退院情報が連携できること。 |
| 3 | 1 | 8 | 電子カルテシステムと患者病名情報が連携できること。 |
| 3 | 2 | | 相談票 |
| 3 | 2 | 1 | 相談情報はケースNo、部門、相談種別、対象者名、対象者患者番号、相談者、相談者患者番号、対応者、初回相談日、対応日、相談方法、対応区分（複数選択が可能なこと）、相談結果、終了区分、退院日、退院区分により検索ができること。 |
| 3 | 2 | 2 | 記録内容の文章をキーワードにて検索できること。 |
| 3 | 2 | 3 | 検索結果はケース単位（相談票単位）、経過記録単位（対応単位）の双方で表示できること。 |
| 3 | 2 | 4 | 相談票は受付情報、対応者情報、相談者情報、対象者（患者）情報が登録できること。 |
| 3 | 2 | 5 | 相談票は受付情報として対応時間が管理できること。開始時間と終了時間より簡便に計算できること。 |
| 3 | 2 | 6 | 相談票は相談者と対象者が同一の場合はどちらかに登録した情報を複写できること。 |
| 3 | 2 | 7 | 相談票は相談内容、対応内容、対応結果が登録できること。 |
| 3 | 2 | 8 | 相談票は相談者、相談内容、依頼ルートが分類（コード）化されて、統計集計に反映できること。 |
| 3 | 2 | 9 | 相談者情報が匿名でも登録できること。 |
| 3 | 2 | 10 | 相談票は対象者は当院の患者以外（当院患者番号無し）も登録できること。 |
| 3 | 2 | 11 | 相談票を印刷できること。 |
| 3 | 2 | 12 | 相談票に対し他部門で作成された文書やシステム管理外の情報を、以下の拡張子のファイルで添付登録できること。（PDF、JPG、JPEG、JPE、GIF、PNG、DOC、DOCX、XLS、XLSX） |
| 3 | 2 | 13 | システムで標準で管理される項目以外に、当院で自由に項目をマスタで追加設定できる補足情報を管理できる画面機能を保持すること。またその内容は印刷可能なこと。 |
| 3 | 2 | 14 | 過去の相談票と補足情報を複写して新規に相談票を登録できること。 |
| 3 | 2 | 15 | 相談方法と対応区分は項目の選択以外に回数の登録もできること。 |
| 3 | 2 | 16 | 入院退院情報を連携している場合は、入院に関する各種日数を表示できること。 |
| 3 | 2 | 17 | 備考欄は必要に応じて日報に記載できること。 |
| 3 | 2 | 18 | 相談記録内容は過去の内容を参照して入力できること。 |
| 3 | 2 | 19 | 依頼元及び転帰先は連携医療機関マスタから登録できること。 |
| 3 | 3 | | 経過記録 |
| 3 | 3 | 1 | 継続的にフォローが必要な場合に経過を記録できること。 |
| 3 | 3 | 2 | 備考欄は必要に応じて日報に記載できること。 |
| 3 | 3 | 3 | 経過記録に対し他部門で作成された文書やシステム管理外の情報を、以下の拡張子のファイルで添付登録できること。（PDF、JPG、JPEG、JPE、GIF、PNG、DOC、DOCX、XLS、XLSX） |
| 3 | 3 | 4 | 経過記録が印刷できること。 |
| 3 | 3 | 5 | 相談方法と対応区分は項目の選択以外に回数の登録もできること。 |
| 3 | 3 | 6 | 経過記録内容は過去の内容を参照して入力できること。 |
| 3 | 4 | | その他業務支援機能 |
| 3 | 4 | 1 | 相談票に当院独自の統計分類を最大10項目登録でき、統計分類別の集計が出力できること。 |
| 3 | 4 | 2 | 統計分類はマスタ化され、当院で自由に追加/変更が行えること。 |
| 3 | 4 | 3 | 事前にマスタ登録したテンプレート文書を元に、カンファレンス議事録等の定型文書を相談票の添付文書として登録できること。 |
| 3 | 4 | 4 | 相談票、経過記録以外にメモを登録できる機能を有すること。 |
| 3 | 4 | 5 | 事前にマスタ登録したExcel形式のテンプレートを元に、相談票単位で簡便に資料を作成し印刷できること。また当該資料は作成時に自動で相談票にファイル添付できること。 |
| 3 | 5 | | 統計・帳票 |
| 3 | 5 | 1 | 指定日、指定期間における相談者一覧及び、相談件数の集計ができること。 |
| 3 | 5 | 2 | 相談票をいくつかの部門に分け、一覧および統計集計可能なこと。 |
| 3 | 5 | 3 | 相談票を対応者別に一覧および統計集計可能なこと。 |
| 3 | 5 | 4 | 統計はEXCEL形式で出力し、加工が可能なこと。 |
| 3 | 5 | 5 | 月報は実件数（相談票単位）と延件数（経過記録単位）で集計できること。 |
| 3 | 5 | 6 | 月報は科別と病棟別で集計できること。また、科別には、匿名、当院患者外の件数も表記されること。 |
| 3 | 5 | 7 | 月報は転帰先で集計できること。集計は施設の種類別、施設別に集計できること。 |
| 3 | 5 | 8 | 相談票情報の各区分単位に集計が行えること。 |
| 3 | 5 | 9 | 相談票情報の各区分は、相談者一覧、相談件数集計の双方に表示されていること。 |
| 3 | 5 | 10 | 当院独自の分類で相談票を集計できること。 |
| 3 | 5 | 11 | 月報は日付範囲指定をすることで、任意の期間で集計を行えること。 |
| 3 | 5 | 12 | 相談票や経過記録の情報を一覧で出力できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | ファーストプレス |
|---------|---|----|--|
| システム名 | | | 地域連携システム |
| パッケージ名 | | | firstpass/community-link4 |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 3 | 5 | 13 | 相談票や経過記録の情報はCSV形式で出力できること。 |
| 3 | 5 | 14 | 各種CSVデータを簡便にクロス集計することができ、更にグラフ化できること。 |
| 3 | 5 | 15 | 統計は汎用的に利用できるよう抽出データ、抽出条件、表示項目を指定し、月別推移やクロス集計を作成できること。作成条件は登録でき、統計処理画面に表示されること。 |
| 3 | 5 | 16 | 抽出条件をユーザごとに保存できること。また保存条件は永久、ログアウトまで、保存なし、で設定できること。 |
| 4 | | | 退院支援システム |
| 4 | 1 | | 入退院支援一覧 |
| 4 | 1 | 1 | スクリーニング対象者が一覧で表示できること。 |
| 4 | 1 | 2 | 入退院支援一覧画面にて、画面で指定された病棟に現在入院中の患者のみ表示することができること。 |
| 4 | 1 | 3 | 入退院支援一覧画面に、在院日数、相談依頼状況、スクリーニング実施状況、転帰先、患者家族面談実施状況、カンファレンス実施状況、退院支援計画書作成状況、介護支援連携実施状況、退院時共同指導実施状況、退院後訪問指導実施状況等が表示されること。またこのような入退院支援に関係する全ての確認プロセスの内、スクリーニングや退院支援計画書を除くプロセスは、最大4プロセスまで汎用的に管理できること。 |
| 4 | 1 | 4 | スクリーニングや退院支援計画書以外の汎用的に管理するプロセスは実施日ごとにその日付を複数表示できること。 |
| 4 | 1 | 5 | プロセスの内容項目はマスタで設定管理できること。 |
| 4 | 1 | 6 | 設定した全ての確認プロセスは昇順・降順で表示の並び替えができること。 |
| 4 | 1 | 7 | 確認プロセスが多い場合、入退院支援一覧画面の表示内容を必要最低限に縮小した簡易表示に切り替えができること。またその表示項目は各確認プロセスごとにマスタで設定できること。 |
| 4 | 1 | 8 | 電子カルテシステムと利用者情報の連携が可能なこと。 |
| 4 | 1 | 9 | 表示された一覧画面より画面表示内容をCSV型式で直接出力できること。 |
| 4 | 2 | | スクリーニング票 |
| 4 | 2 | 1 | スクリーニング票が登録できること。 |
| 4 | 2 | 2 | スクリーニング票が印刷できること。 |
| 4 | 2 | 3 | スクリーニング票の登録内容に応じて、入退院支援対象かどうかシステムで自動判定できること。 |
| 4 | 2 | 4 | スクリーニング票画面にて前回複写後、内容を編集できること。 |
| 4 | 2 | 5 | スクリーニング票画面から入退院支援部門への調整依頼が可能な相談依頼画面が起動できること。 |
| 4 | 2 | 6 | スクリーニング票は入院前の外来時にも作成ができ、その後当該患者が入院した場合は情報をシームレスに継続できること。 |
| 4 | 3 | | 退院支援計画書 |
| 4 | 3 | 1 | 退院支援計画書が登録できること。 |
| 4 | 3 | 2 | 退院支援計画書登録時、スクリーニング票に登録した内容が複写されること。 また、複写する内容は事前にマスタ登録できること。 |
| 4 | 3 | 3 | 退院支援計画書画面の各登録内容はチェック形式で登録できるようにすること。また、これらのチェック項目は、マスタ画面にて追加／削除や名称変更が行えること。 |
| 4 | 3 | 4 | 退院支援計画書画面にて、事前に登録した定型文章を選択し、画面に設定後、編集できること。 |
| 4 | 3 | 5 | 退院支援計画書画面にて、過去に入院し退院支援計画書が作成されている場合には、計画書情報を複写でき、内容を編集できること。 |
| 4 | 3 | 6 | 退院支援計画書が印刷できること。 |
| 4 | 4 | | その他確認プロセス(患者家族面談、カンファレンス、退院時共同指導書、介護支援連携書等) |
| 4 | 4 | 1 | その他確認プロセスの項目が登録できること。 |
| 4 | 4 | 2 | その他確認プロセスの各画面にて画面項目を前回複写後、その内容を編集できること。 |
| 4 | 4 | 3 | その他確認プロセスの項目が印刷できること。 |
| 4 | 4 | 4 | 画面内容はテンプレートや文章雛型の活用ができること。 |
| 4 | 5 | | 相談依頼一覧 |
| 4 | 5 | 1 | 入退院支援部門側の画面に相談依頼された患者の一覧を表示できること。 |
| 4 | 5 | 2 | 相談依頼者に報告する相談の経過を登録できること。また医療相談システムの記録から簡単に情報を登録し編集できること。 |
| 4 | 5 | 3 | 情報を依頼した側と確認する側とで未読及び既読の表示ができること。 |
| 4 | 5 | | 統計 |
| 4 | 5 | 1 | 入退院支援に関する情報はCSV形式で出力できること。 |
| 4 | 5 | 2 | 上記CSVデータを簡便にクロス集計することができ、更にグラフ化できること。 |
| 4 | 5 | 3 | その他確認プロセスの情報は各プロセス単位にCSV形式で出力ができること。 |
| 4 | 5 | 4 | 抽出条件をユーザごとに保存できること。また保存条件は永久、ログアウトまで、保存なし、で設定できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 株式会社グリーン |
|---------|---|------|---|
| システム名 | | | 栄養管理システム |
| パッケージ名 | | | Kokuran21 |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 1 | 1 | | システム基本仕様 |
| 1 | 1 | 1 | パスワード、ユーザIDにより職種権限を管理し、すべての業務に対し職種制限により、利用制限ができること。 |
| 1 | 1 | 2 | 日付は元号改正に適用していること。 |
| 1 | 1 | 3 | 日付は和暦、西暦のどちらにも対応していること。 |
| 1 | 1 | 4 | 食品成分表や食事摂取基準は、最新版に対応していること。 |
| 1 | 1 | 5 | 各入力項目は、すべて検索機能(カナ検索、一覧検索等)をもつこと。 |
| 1 | 1 | 6 | 食事区分は朝・昼・夕及び間食(3食)の6区分で、食数、献立関連の入力及び変更に対応でき、システム全般に反映すること。 |
| 1 | 1 | 7 | すべての帳表に対し、プレビュー機能があること。 |
| 1 | 1 | 8 | システムは複数施設管理(患者、老健、デイケア、デイサービス等最大10区分)が可能であり、各々の区分は名簿管理又は食数入力のいづれかを設定できること。 |
| 1 | 1 | 9 | 栄養報告書、材料関連等システム全般に渡り、食種毎(又は成分管理毎)の献立及び患者毎の主食量が反映すること。 |
| 1 | 1 | 10 | 過去の月報及び年報の再出力及び患者情報の参照が可能なこと。 (過去は稼働後全て保有する事、未来に対しては、6ヵ月程度の情報表示が可能なこと) |
| 1 | 1 | 11 | 軽減税率に対応していること。 |
| 1 | 1 | 12 | 画面の起動、ボタンクリック等の操作がログとして各端末に出力されること。 |
| 2 | 1 | | 電子カルテシステム連携 |
| 2 | 1 | 1 | 電子カルテとの接続の場合、リアルタイムまたはバッチ的に運用にそって自動的に食事箋データの取り込みができること。 |
| 2 | 1 | 2 | 電子カルテと連系し、病棟から送られてくる食事オーダーの内容、患者移動情報を自動で取り込み、患者個人ごとの食事等情報を履歴形式で管理することが可能なこと。 |
| 3 | 1 | | 食事箋管理 |
| 3 | 1 | 1 | 患者コード及び患者属性の変更ができること。 |
| 3 | 1 | 2 | 食事区分は朝・昼・夕・間食(3食)の6区分で入院、退院、変更ができること。 |
| 3 | 1 | 3 | 食種による加算/非加算及び患者毎に個別に算定できること。 |
| 3 | 1 | 4 | 患者毎に主食の選択ができ、主食数の集計、食品量の集計及び栄養報告書等に反映すること。 |
| 3 | 1 | 5 | 外来透析やデイケア等の外来の患者を曜日別パターンを選択することで登録できること。 |
| 3 | 1 | 6 | 術後食のパターン登録ができ、患者毎にその内容を変更できること。 |
| 3 | 1 | 7 | 食事箋入力画面上で、カレンダー方式による食種、主食、病棟の変化を表示、照会が可能なこと。また併せて摂取献立の内容を表示、照会可能なこと。また最終入力状況が把握できること。 |
| 3 | 1 | 8 | 患者毎のコメント情報(禁止項目の肉禁、魚禁等)に対し、現場指示表、発注材料関係等に自動的に反映すること。 |
| 3 | 1 | 9 | 指定した患者のすべての食事履歴照会及び管理が可能であることまた患者の食事履歴は入院退院を繰り返した場合も一連の履歴として照会できること。 |
| 3 | 1 | 10 | 病棟、食種、主食、コメント、フリーコメント、性別、生年月日、誕生日、年齢、加算/非加算、入院日及び退院日の幅指定等の組合せによる患者検索表示及び印刷が可能なこと。 |
| 3 | 1 | 11 | また、検索条件は999パターンまで保存できること。また、印刷設定もパターン毎に設定が可能なこと。 |
| 3 | 1 | 12 | 患者毎に日々、コメント数毎食単位それぞれ15ヶと30文字のメモ機能を持つこと。 |
| 3 | 1 | 13 | 通常のコメントとは別に栄養部門でのみ管理できるコメントを別途保持できること。 |
| 3 | 1 | 14 | 食事変更患者(食種、主食、コメント、経腸、調乳、病棟、病室、入院、退院等)の表示及び印刷ができること。 |
| 3 | 1 | 15 | 食札は入力時刻の範囲指定、食種範囲指定、病棟範囲指定、患者個人指定、食事変更患者で印刷が可能なこと。 |
| 3 | 1 | 16 | 食札への印字の必要がない禁止項目、コメント等を指定できること。 |
| 3 | 1 | 17 | 食札はカラー対応かつ指定フォーマットで出力できること。またディスプレイ食札として使用可能であり、食札にはミシン目入りの用紙を使用できること。 |
| 3 | 1 | 18 | 食札はシステム導入後であっても任意にレイアウト変更ができること。 |
| 3 | 1 | 19 | 配膳一覧表は必要項目、文字サイズ及び用紙サイズの設定ができ、その条件の表示及び出力が可能であること。 |
| 3 | 1 | 20 | 禁止コメントの患者リストが表示及び印刷できること。 |
| 3 | 1 | 21 | アレルギー対象患者のリストが表示および印刷でき、かつ代替料理の確認が同時に行え、個人献立作成が可能なこと。 |
| 3 | 1 | 22 | 病棟別に提供料理数の集計表が出力できること。 |
| 3 | 1 | 23 | 食事箋入力画面にて登録した、身長・体重・検査項目の履歴管理が可能で、尚且つ入院期間に対する時系列の表示が出来ること。 |
| 3 | 1 | 24 | 上記登録に伴い、時系列での表示及び、グラフ表示が可能なこと。 |
| 3 | 1 | 25 | 調乳の管理が出来ること。(製品名・容量・濃度・本数) |
| 3 | 1 | 26 | 上記調乳の管理に伴い、必要帳票の出力が可能なこと。(調乳集計表・調乳患者一覧) |
| 3 | 1 | 27 | 濃厚流動食(補助食品)の管理が出来ること。(製品名・回数・一回量) |
| 3 | 1 | 28 | 上記濃厚流動食の管理に伴い、必要帳票の出力が可能なこと。 (濃厚流動食集計表・濃厚流動食患者一覧・食札) |
| 4 | 1 | | 献立機能 |
| 4 | 1 | 1 | 献立管理 |
| 4 | 1 | 2 | 献立は予定、実施献立両方を管理でき、サイクルメニューに対応していること。 |
| 4 | 1 | 3 | 献立作成状況を一覧表示でき、献立未入力食種の把握が簡単にできること。 |

| | | | |
|---|---|----|--|
| 4 | 1 | 4 | 献立作成時、栄養価、糖尿単位、腎臓単位、予定材料費を見ながら(各数値を表示する時、料理、食品の表示が消えてはならない)料理及び食品の入力・変更等ができること。 |
| 4 | 1 | 5 | 栄養価は朝・昼・夕・間食・1日計・目標・料理・食品のそれぞれの表示が同時にできること。 |
| 4 | 1 | 6 | 献立作成時、1日の栄養価は総括成分表、アミノ酸組成、脂肪酸組成のすべての栄養価が計算できること。 |
| 4 | 1 | 7 | 献立作成時、基準となる食種の献立を同時に対比表示(他食種の献立内容及び他日付の献立内容)でき、自由にコピー編集ができること。 |
| 4 | 1 | 8 | 献立作成時、栄養素は献立種別(食種)に任意に21種類まで、食品成分表より自由に選択し表示順を設定することができること。 |
| 4 | 1 | 9 | 献立作成中、新規の料理マスタの作成が可能であり、料理変更をしたい時、形態別(煮物、焼物等)の料理参照ができること。 |
| 4 | 1 | 10 | 献立作成時、使用した食品に対し、りんご1個、みかん1/2個等の入力ができ現場用の献立表に反映できること。 |
| 4 | 1 | 11 | 献立作成時、食品検索はカナ、名前、食品群別にでき、料理検索はカナ、名前、成分量、分類(煮物、焼物、汁物等)別にできること。 |
| 4 | 1 | 12 | 料理マスタおよび食品マスタの検索では、空番の検索も行えること。 |
| 4 | 1 | 13 | 献立は一面7食種ずつの入力、修正及び登録ができること。 |
| 4 | 1 | 14 | 献立は一面7日間での入力、修正及び登録ができること。また、料理分類・料理・食品群・食品での重複チェックが可能なこと。 |
| 4 | 1 | 15 | 献立は一面7食種の異なる日付で献立の組合せ表示が可能で、かつ献立の入力、修正及び登録ができること。 |
| 4 | 1 | 16 | 献立は一面3食種でツリー形式で料理構成の表示、非表示の切替を行うことができ、かつ献立の入力、修正及び登録ができること。 |
| 4 | 1 | 17 | 間食は食種毎、朝(10時頃)、昼(15時頃)、夕(20時頃)自由に設定できること。 |
| 4 | 1 | 18 | 予定献立は本体内に全食種2年以上のデータを常駐できること。 |
| 4 | 1 | 19 | 献立入力軽減の為、編集機能を持つこと。 1)1食毎、1日毎、日付幅指定により、ある食種から指定範囲食種へのコピー 2)食品/料理の指定範囲食種及び日付における一括変更、挿入及び差し替え 3)日付毎の交換 4)料理単位指定によりコピー(例：糖尿食のみそ汁は常食からコピー、焼魚は高血圧食からコピー等) |
| 4 | 1 | 20 | 1ページに複数の食種の献立表は1ページに2～8食種指示した食種順に並べることができ、下記の設定で出力できること。また、間食のある食種は間食の印刷ができること。 1) 栄養価出力 有/無 2) 主食出力 する/しない 3) 人数 食事箋人数/発注人数 4) 印鑑欄の出力 する/しない 5) 文字サイズ 食品、料理の文字サイズ9ポイント～18ポイントの設定 6) 文字体 明朝体/ゴシック体 |
| 4 | 1 | 21 | 選択メニューに対応していること。 |
| 4 | 1 | 22 | 選択メニュー/回答の入力は患者一人に対し、一週間等のまとめ入力ができること。 |
| 4 | 1 | 23 | アレルギー、合併症等の患者は患者個人の献立が作成でき、現場指示書、発注書等へ自動的に反映すること。 |
| 4 | 1 | 24 | 献立作成画面上でコメント対応(カリウム制限、肉禁等)の料理の作成及び修正が簡単にできること。 |
| 4 | 1 | 25 | 選択メニュー表は料理写真を出力できること。 |
| 4 | 1 | 26 | 病棟掲示のメニュー表はイラスト又は写真の出力ができること。イラスト又は写真は600程度内蔵していること。 |
| 4 | 1 | 27 | 病棟掲示のメニュー表は、5日、7日、10日、半月、月間で印刷できること。 また以下の条件で印刷が可能なこと 1)栄養価出力 あり/なし 2)文字サイズ 10ポイント～18ポイント 3)文字体 明朝体/ゴシック体 4)用紙サイズ B5～A3 |
| 4 | 1 | 28 | 期間指定し、献立に使用している料理、食品コードにて検索が可能なこと。 |
| 4 | 1 | 29 | 調理指示書は各食毎に料理名、食品名、1人分量、食種別に出力できること。 |
| 4 | 1 | 30 | 現場指示関連表の料理、食品は設定により出力有/無が可能であること。 |
| 4 | 1 | 31 | 登録された献立データより加熱加工記録簿の作成ができること。 |
| 4 | 1 | 32 | 検食簿、給食日誌に献立が反映すること。 |
| 4 | 1 | 33 | 検食簿、給食日誌に各コメント入力機能が搭載されていること。 |
| 4 | 1 | 34 | 個人毎の摂取状況管理ができること。 |
| 4 | 1 | 35 | 摂取状況は個人指定、期間幅指定の栄養価を表示及び印刷できること。 |
| 4 | 1 | 36 | 患者個人の献立作成時、患者様の食種・コメント対応内容が反映された献立が自動表示されること。また、患者の食事情報が献立作成画面上で確認できること。 |
| 4 | 1 | 37 | 患者個人の献立は一面7日間での入力、修正及び登録ができること。 |
| 4 | 1 | 38 | 患者個人の献立を同一患者の別日付や別患者へ期間指定にて一括コピーできること。 |
| 4 | 1 | 39 | 献立作成時に、コメントと日付を条件として個人献立作成患者の抽出を行う事で、1料理毎に献立をコピーできること。 |
| 4 | 1 | 40 | 単一日付、単一献立管理の献立入力画面では、Undo機能にて3回まで変更内容を戻せること。 |
| 4 | 1 | 41 | 献立一覧入力画面ではドラッグ&ドロップにて料理単位でのコピーと、移動が可能なこと。 |
| 4 | 1 | 42 | 指定した期間内に指定した料理、料理分類、食品、食品群が登録されているかチェックする機能を有すること。 |

| | | | |
|---|---|----|---|
| 4 | 1 | 43 | 食品成分表改定時(栄養素の追加、栄養価の変更)は、マスタ設定、またはCD媒体の更新等の対応が可能であること。 |
| 4 | 1 | 44 | 献立画面上で、料理○日前に調理を開始する指示が、料理毎に可能なこと。 |
| 4 | 1 | 45 | 献立上で、設定された調理日開始日に従い、現場指示書、発注書に調理日に基づいた印刷機能に連動すること。 |
| 4 | 1 | 46 | アレルギー、合併症等の患者は患者個人の献立が作成でき、現場指示書、発注書等へ自動的に反映すること。 |
| 4 | 1 | 47 | 献立作成画面上でコメント対応(カリウム制限、肉禁等)の料理の作成及び修正が簡単にできること。 |
| 5 | 1 | | 発注機能 |
| 5 | 1 | 1 | 発注・見積管理 |
| 5 | 1 | 2 | 食品は即日、準貯蔵(数日の冷蔵品等)、貯蔵の3区分で管理できること |
| 5 | 1 | 3 | 貯蔵食品は先入れ先出し法とし、旧単価分が終わり次第、自動的に新単価に更新できること。 |
| 5 | 1 | 4 | 貯蔵食品は廃棄処理(油、缶詰類等)ができ廃棄分は食材費に反映すること。但し栄養価へは反映させないこと。 |
| 5 | 1 | 5 | 在庫食品自動引き落とし処理により作成された出入庫データは、食品毎に月末時又は随時、現在庫量をもとに一括修正できること。 |
| 5 | 1 | 6 | 棚卸処理は随時できること。その時の単位は調理単位、発注単位のどちらでも可能であること。 |
| 5 | 1 | 7 | 見積処理ができること。 |
| 5 | 1 | 8 | 見積は1食品に対し10業者の単価比較ができること。 |
| 5 | 1 | 9 | 見積入力は食品一覧に対し、10業者の単価を一括入力できる機能を持つこと。 |
| 5 | 1 | 10 | 見積依頼書は食品毎の見積期間別(15日、1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月)に自動的に出力できること。 |
| 5 | 1 | 11 | 見積書は、発行部数とタイトルの変更が可能なこと。 |
| 5 | 1 | 12 | 見積比較は、発行部数とタイトルの変更が可能なこと。 |
| 5 | 1 | 13 | 契約品名規格及び単価表の出力が可能なこと。 |
| 5 | 1 | 14 | 購入入書の出力が、即日食品と在庫食品で設定可能なこと。 |
| 5 | 1 | 15 | 発注は見積処理の仕入業者及び単価が自動的に反映すること。 |
| 5 | 1 | 16 | 発注集計は何度でもやり直しができ、同一食品を同一期間内で複数業者に発注できること。 |
| 5 | 1 | 17 | 発注集計や発注用食数処理は、集計期間と実行日時の履歴を参照できること。 |
| 5 | 1 | 18 | 指定日の発注を一括で違う仕入先に変更できること。 |
| 5 | 1 | 19 | 納品日を一括で変更できること。 |
| 5 | 1 | 20 | 発注時の単位(1g、10g、100g、箱、袋等)は食品毎に設定できること。 |
| 5 | 1 | 21 | 発注は常食、軟食、特食の区分、あるいは患者合計のみの区分どちらでも出力ができること。 |
| 5 | 1 | 22 | 発注量と最終予定必要量の比較が一覧で随時表示、印刷ができ、食材の無駄を極力無くす仕組みがあること。 |
| 5 | 1 | 23 | 食品は全食品に対して曜日により納品日及び朝・昼・夕の指定ができること。(朝・昼使用食品は月～金曜日分は前日の昼まで、土、日曜日は前々日の夕まで等) |
| 5 | 1 | 24 | コメント指示の内容(肉禁、魚禁、牛乳禁等)により、材料の発注を自動的に調整できること。 |
| 5 | 1 | 25 | 発注用食数は現時点の入院患者データをもとに集計し、この食数を修正、変更することにより確定できること。 |
| 5 | 1 | 26 | 発注食数は日別/食種別/朝・昼・夕別の予定人数の修正ができること。 |
| 5 | 1 | 27 | 食種毎に食数の増減数の設定ができ、発注用食数登録画面にて、設定された増減数分の食数がワンクリックで自動計算されること。 |
| 5 | 1 | 28 | 発注用食数は過去の指定した日付からコピーが可能なこと。 |
| 5 | 1 | 29 | 購入処理中は常に仕入先の合計金額を表示できること。 |
| 5 | 1 | 30 | 食品の検収時に、検収簿の作成ができ、温度、鮮度等の管理ができること。 |
| 5 | 1 | 31 | 消費税は内税、非課税、税率設定ができ、かつ各々仕入毎に登録できること。 |
| 5 | 1 | 32 | 食材費は食種毎に朝・昼・夕で印刷できること。 |
| 6 | 1 | | 帳票機能 |
| 6 | 1 | 1 | 栄養管理計画書 |
| 6 | 1 | 2 | 栄養管理計画書に関しては、2種類以上のフォーマットが印刷できること。 |
| 6 | 1 | 3 | 病棟毎に患者を一覧表示し、そこから様々な項目(栄養補給方法、褥瘡等)が入力できること。 |
| 6 | 1 | 4 | 上記の一覧表に関しては、プレビュー、印刷、エクセルへの出力が可能なこと。 |
| 6 | 1 | 5 | 栄養管理計画書の最終作成日を表示出来ること。 |
| 6 | 1 | 6 | B M I、体重減少率は自動計算されること。 |
| 6 | 1 | 7 | 自動リスク判定機能があること。 |
| 6 | 1 | 8 | 食事箋登録と連動して、身長・体重・検査項目の管理が出来ること。 |
| 6 | 1 | 9 | 食数管理帳票出力 |
| 6 | 2 | | 次の食数表関係のレビュー及び印刷ができること。 |
| 6 | 2 | 1 | ・食札 |
| 6 | 2 | 2 | ・食数集計表(食、日区分) |
| 6 | 2 | 3 | ・主食集計表(食、日区分) |
| 6 | 2 | 4 | ・食種、主食別集計表 |
| 6 | 2 | 5 | ・コメント集計表(食区分) |
| 6 | 2 | 6 | ・コメント集計表(食種・コメント) |
| 6 | 2 | 7 | ・コメント集計表(コメント・食種) |
| 6 | 2 | 8 | ・コメント該当者一覧表 |
| 6 | 2 | 9 | ・食事箋変更者一覧表 |
| 6 | 2 | 10 | ・配膳一覧表 |
| 6 | 2 | 11 | ・調乳集計表 |
| 6 | 2 | 12 | ・調乳患者一覧 |
| 6 | 2 | 13 | ・濃厚流動食集計表 |
| 6 | 2 | 14 | ・濃厚流動患者一覧 |

| | | | |
|---|---|----|---|
| 6 | 2 | 15 | ・時間外変更者リスト |
| 6 | 2 | 16 | ・食数関連帳票は、自動出力設定が可能なこと。 また、時間、出力調整は、マスタにて設定可能なこと。 |
| 6 | 3 | | 献立関連帳票出力 |
| 6 | 3 | 1 | 次の献立表関係のプレビュー及び印刷ができること。 |
| 6 | 3 | 2 | ・メニュー表(5日、7日、10日、半月、1ヶ月) |
| 6 | 3 | 3 | ・献立表(食種・日別) |
| 6 | 3 | 4 | ・献立表(日・食種別) |
| 6 | 3 | 5 | ・複数食種献立表(2食種～8食種並び/1P) |
| 6 | 3 | 6 | ・献立表(糖尿単位) |
| 6 | 3 | 7 | ・献立表(腎臓単位) |
| 6 | 3 | 8 | ・選択食メニュー一覧表 |
| 6 | 3 | 9 | ・選択食用献立表(配布用) |
| 6 | 3 | 10 | ・食品量検討表 |
| 6 | 3 | 11 | ・栄養試算表 |
| 6 | 3 | 12 | ・食種別食品量日計表 |
| 6 | 4 | | 調理関連帳票出力 |
| 6 | 4 | 1 | 次の現場指示表関係のプレビュー及び印刷ができること。 |
| 6 | 4 | 2 | ・料理一覧表 |
| 6 | 4 | 3 | ・料理作成指示書 |
| 6 | 4 | 4 | ・食品別料理仕訳表 |
| 6 | 4 | 5 | ・食品仕訳表 |
| 6 | 4 | 6 | ・調理指示書 |
| 6 | 4 | 7 | ・食品仕訳カード |
| 6 | 4 | 8 | ・加熱加工記録簿 |
| 6 | 5 | | 食材関連帳票出力 |
| 6 | 5 | 1 | 次の見積・発注・購入・在庫表関係のプレビュー及び印刷ができること。 |
| 6 | 5 | 2 | ・見積依頼書 |
| 6 | 5 | 3 | ・見積比較表 |
| 6 | 5 | 4 | ・同値一覧表 |
| 6 | 5 | 5 | ・予定価格調書 |
| 6 | 5 | 6 | ・契約品目内訳書 |
| 6 | 5 | 7 | ・購入伺書 |
| 6 | 5 | 8 | ・発注チェック表 |
| 6 | 5 | 9 | ・発注差分チェック表 |
| 6 | 5 | 10 | ・発注表 |
| 6 | 5 | 11 | ・発注人数表 |
| 6 | 5 | 12 | ・未納品リスト |
| 6 | 5 | 13 | ・購入チェック表 |
| 6 | 5 | 14 | ・在庫食品使用予定表 |
| 6 | 5 | 15 | ・在庫一覧表 |
| 6 | 5 | 16 | ・食品検収簿 |
| 6 | 5 | 17 | ・食品単価変動表 |
| 6 | 6 | | 栄養管理関連帳票出力 |
| 6 | 6 | 1 | 次の食品構成・摂取状況関係のプレビュー及び印刷ができること。 |
| 6 | 6 | 2 | ・食品構成表 |
| 6 | 6 | 3 | ・食品群別荷重平均成分表 |
| 6 | 6 | 4 | ・食品群別荷重平均成分集計表 |
| 6 | 6 | 5 | ・摂取状況表 |
| 6 | 6 | 6 | ・摂取状況一覧表 |
| 7 | 1 | | 統計帳票機能 |
| 7 | 1 | 1 | 日報出力 |
| 7 | 1 | 2 | 次の日報のプレビュー及び印刷ができること。 |
| 7 | 1 | 3 | ・栄養日報 |
| 7 | 1 | 4 | ・実施献立表 |
| 7 | 1 | 5 | ・食品消費一覧表 |
| 7 | 1 | 6 | ・群別消費金額一覧表 |
| 7 | 1 | 7 | ・実施給食集計表(病棟別) |
| 7 | 1 | 8 | ・実施給食集計表(合計) |
| 7 | 1 | 9 | ・実施給食集計表(病棟別・食種グループ分類) |
| 7 | 1 | 10 | ・実施給食集計表(合計・食種グループ分類) |
| 7 | 1 | 11 | ・入退院一覧表 |
| 7 | 1 | 12 | ・選択食数表 |
| 7 | 1 | 13 | ・仕入一覧表 |
| 7 | 1 | 14 | ・仕入明細表 |
| 7 | 1 | 15 | ・検食簿 |
| 7 | 1 | 16 | ・給食日誌 |
| 7 | 2 | | 月報出力 |
| 7 | 2 | 1 | 次の月報のプレビュー及び印刷ができること。 |
| 7 | 2 | 2 | ・栄養月報 |

別紙 2.パッケージソフトウェア機能及び業務機能詳細要件

| | | | |
|---|---|----|---|
| 7 | 2 | 3 | ・給食食品量表 |
| 7 | 2 | 4 | ・食品量日計表 |
| 7 | 2 | 5 | ・食品消費一覧表 |
| 7 | 2 | 6 | ・群別消費金額一覧表 |
| 7 | 2 | 7 | ・実施給食集計表(病棟別) |
| 7 | 2 | 8 | ・実施給食集計表(合計) |
| 7 | 2 | 9 | ・実施給食集計表(病棟別・食種グループ分類) |
| 7 | 2 | 10 | ・実施給食集計表(合計・食種グループ分類) |
| 7 | 2 | 11 | ・患者年齢構成加重平均所要量表 |
| 7 | 2 | 12 | ・食数日計表 |
| 7 | 2 | 13 | ・人数日計表 |
| 7 | 2 | 14 | ・患者食歴表 |
| 7 | 2 | 15 | ・食事箋履歴一覧表 |
| 7 | 2 | 16 | ・仕入明細表 |
| 7 | 2 | 17 | ・仕入一覧表 |
| 7 | 2 | 18 | ・仕入先別購入金額日計表 |
| 7 | 2 | 19 | ・受払一覧表 |
| 7 | 2 | 20 | ・在庫一覧表 |
| 7 | 2 | 21 | ・棚卸一覧表 |
| 7 | 2 | 22 | ・在庫残高記入表 |
| 7 | 2 | 23 | ・特定給食施設栄養報告書(指定様式) |
| 7 | 2 | 24 | ・食種別栄養価一覧表 |
| 7 | 2 | 25 | ・食種別単価一覧表 |
| 7 | 3 | | 年報出力 |
| 7 | 3 | 1 | 次の年報のプレビュー及び印刷ができること。 |
| 7 | 3 | 2 | ・群別給食集計表(病棟別) |
| 7 | 3 | 3 | ・実施給食集計表(合計) |
| 7 | 3 | 4 | ・実施給食集計表(病棟別、食種グループ分類) |
| 7 | 3 | 5 | ・実施給食集計表(合計、食種グループ分類) |
| 8 | 1 | | データ移行 |
| 8 | 1 | 1 | 全てのマスタ情報の移行が可能なこと。 |
| 8 | 1 | 2 | 全ての患者情報のデータ形式での移行が可能なこと。 |
| 8 | 1 | 3 | 全ての食歴情報がデータ形式で移項可能なこと。 |
| 8 | 1 | 4 | 食品に紐づいた単価履歴全てを、データ形式で移項出来ること。 |
| 8 | 1 | 5 | 全ての食品見積履歴がデータ形式で移項可能なこと。 |
| 8 | 1 | 6 | 全ての献立情報がデータ形式で移項可能なこと。 |
| 8 | 1 | 7 | 全ての発注情報がデータ形式で移項可能なこと。 |
| 9 | 1 | | サポート |
| 9 | 1 | 1 | 365日 7:00～19:00までサポート窓口が営業していること。 |
| 9 | 1 | 2 | 土日祝及び年末年始含め、問合せ対応が出来、リモート等で円滑に対応できる保守体制であること。 |
| 9 | 1 | 3 | サポート窓口には、SE含め10名以上の体制が整っていること。 |

| | | | |
|----------------|---|---|--|
| 現行ベンダー名 | | | 株式会社ドッドウエル ビー・エム・エス 金沢支店 |
| システム名 | | | 診察券発行機 |
| パッケージ名 | | | NBS-9300E (裏磁気仕様) |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 1 | | 接続仕様 |
| 1 | 1 | 1 | 医事システムと診察券発行機は、LAN/232Cコンバーターを経由して接続できること。 |
| 2 | 1 | | 診察券裏面磁気内容 |
| 2 | 1 | 1 | 患者ID番号、カナ氏名、性別、生年月日を、医事システムから受信し磁気内容に埋め込みができること。 |

| | | | |
|----------------|---|---|----------------------------------|
| 現行ベンダー名 | | | 富木医療器株式会社 |
| システム名 | | | 蓄尿システム |
| パッケージ名 | | | Emicnet |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 1 | 1 | | クライアント端末機能 |
| 1 | 1 | 1 | 尿測定装置への患者登録ができること |
| 1 | 1 | 2 | 尿測定装置からの尿測定結果受信ができること |
| 1 | 1 | 3 | 尿測定装置のエラー及びアラームを受信し表示すること |
| 1 | 1 | 4 | 測定結果の観覧、印刷ができること |
| 1 | 1 | 5 | 測定結果を病棟患者情報と結び付けて蓄尿用サーバへ送信ができること |
| 1 | 2 | | サーバ機能 |
| 1 | 2 | 1 | 電子カルテから入院患者情報をリアルタイムに受信すること |
| 1 | 2 | 2 | 尿測定結果をリアルタイムに電子カルテへ送信すること |

| 現行ベンダー名 | | 三谷商事株式会社 |
|---------|----|---|
| システム名 | | リスクマネジメントシステム |
| パッケージ名 | | ePower/CLIP |
| 項番 | | 要求仕様 |
| 1 | | 基本要件 |
| 1 | 1 | インシデントレポート作成・集計・管理業務と、統計・詳細分析業務について、トータルで支援できること。 |
| 1 | 2 | ログインは、ユーザIDとパスワードにより認証できること。 |
| 1 | 3 | 厚生労働省(医療機能評価機構)のヒヤリ・ハット収集事業に準拠した項目を画面から入力できること。 |
| 1 | 4 | 当院が導入を予定している電子カルテシステムの端末に相乗りできること。 |
| 1 | 5 | 電子カルテシステムにログインした状態から、パラメーターを受け取ることで、職員はID、パスワードの入力なしでシステムのメニューを表示できること(SSO起動：シングルサインオン)。 |
| 1 | 6 | 電子カルテシステムと、職員情報(氏名・ID・所属・職種情報等)や患者情報(氏名・ID・性別・年齢情報等)の連携ができること。 |
| 1 | 7 | 本システムログイン時に、新着情報(差戻し・未読レポート件数情報等)を表示できること。 |
| 1 | 8 | 詳細分析機能については、医療現場で実績のある分析機能(RCA)が備わっていること。 |
| 1 | 9 | 同等規模の施設への導入実績が豊富にあること。 |
| 1 | 10 | 既存システムで登録されている報告書データ、改版履歴データ、ログ情報、掲示情報など、全てのデータが漏れなく全て移行できること。 |
| 1 | 11 | 移行された報告書データは、期間を分けることなく新旧データの検索や集計処理が行えること。 |
| 2 | | レポート作成・報告機能 |
| 2 | 1 | システムの運用の基本構造は、報告者・各部署管理者・医療安全管理者の3層構造であること。 |
| 2 | 2 | 厚生労働省(医療機能評価機構)のヒヤリ・ハット収集事業のフォーマットに準拠した形式でインシデントレポート作成ができること。 |
| 2 | 3 | 以下の入力項目を有し、目付、発生日・報告日で管理できること。 ・発生日時、発生場所、事故レベル、報告者所属部署、当事者情報(職種・経験年数・所属部署・部署配属年数・勤務時間)、患者情報(ID・年齢・性別・疾患名・診療科) |
| 2 | 4 | 報告者情報(報告者名・所属部署)は、ログイン情報にて自動で入力できること。 |
| 2 | 5 | 報告者が当事者である場合と、発見者である場合の両方に対応できること。 |
| 2 | 6 | 関係した患者情報については、2人まで入力できること。 |
| 2 | 7 | インシデントの種類(何が発生したか)について、同項目はマス登録できること。 |
| 2 | 8 | インシデント事象を詳細分析するために、有効となる経過情報を時系列に入力(いつ、誰が、何を)できること。 |
| 2 | 9 | インシデントレポートの一時保存ができ、複数回に分けてレポート作成ができること。 |
| 2 | 10 | 報告済みのインシデントレポートは、修正ができないように制限がかかること。なお、参照や印刷はできること。 |
| 2 | 11 | 入力された内容を印刷できること。また、A4用紙1枚に印刷できること。 |
| 2 | 12 | 病院内での情報収集の流れにおいて、「報告」「差戻し」「再報告」「承認」の一連の運用業務フローをシステム上でシームレスに操作できること。 |
| 2 | 13 | 報告者は、自身が作成しているレポートを一覧画面にて確認できること。 |
| 2 | 14 | 入力項目の必須や任意を設定できること。必須設定された入力項目については、入力画面上にて項目名称を赤字で表示できること。 |
| 2 | 15 | レポートを報告する際に、必須設定されている項目で未入力が残っている場合は、報告者に分かりやすく、全ての未入力項目を一覧表示できること。 |
| 2 | 16 | 「編集(作成途中)」で滞留している報告書に対して、一定期間経過後、自動報告される機能を有すること。 |
| 3 | | レポート管理機能 |
| 3 | 1 | 報告された情報は、リアルタイムで一覧表示画面に表示できること。 |
| 3 | 2 | 一覧表示画面で、何が発生しているかを確認できること。「いつ」「どこで」「何を」について確認できること。 |
| 3 | 3 | 報告されたレポート内容を簡易な表示画面(1画面)で容易に確認(表示)できること。 |
| 3 | 4 | 報告されたレポート内容を簡易な表示画面(1画面)で表示でき、同画面にてレポートの表示切替えができること。 |
| 3 | 5 | 報告された情報の一覧表示機能を有し、報告されたレポートを絞り込んで表示できること。 |
| 3 | 6 | 報告されたレポート内容を印刷できること。また、1報告がA4用紙1枚に印刷できること。 |
| 3 | 7 | 所属長や医療安全管理者は、自身が「承認」したレポートを修正できないこと。ただし、参照や印刷はできること。 |
| 3 | 8 | 医療安全管理者が「承認」したレポートは、報告者名が自動的に匿名化できること。 |
| 3 | 9 | レポートを報告者に差戻しできること。その際に、報告者へのコメント入力ができること。 |
| 3 | 10 | 事故発生状況を撮影した画像ファイル(JPEG・BMP)をレポートに添付や保存して管理できること。 |
| 3 | 11 | 「報告者」「管理者」間で情報(コメント)交換ができること。 |
| 3 | 12 | 集計データは、市販のソフトウェア(Excel)へファイル出力ができること。 |
| 3 | 13 | 入力項目の必須や任意の設定ができること。 |
| 3 | 14 | 管理者の一覧画面に表示される項目は、項目(列)単位で並べ替え(昇順・降順)ができること。 |
| 3 | 15 | 各部署管理者又は医療安全管理者の一覧画面にて、レポートの未読や既読を管理できること。 |
| 3 | 16 | 同一事象に対して複数の職員からレポートが報告された場合は、同一事象としてレポートのまとめができること。また、その際に報告件数と事象件数で、別々に件数管理ができること。 |
| 3 | 17 | 集計されたレポートに対して「発生期間」「報告期間」の期間や、「レベル」「発生場所」の項目を対象条件に設定した検索ができること。 |
| 3 | 18 | 集計されたレポートに対して「発生期間」「報告期間」の期間や、「レベル」「発生場所」の項目を対象条件に設定したグラフ作成ができること。 |
| 3 | 19 | グラフ化された数値から、対象となるレポートの一覧画面へ遷移でき、目付、レポート内容を表示できること。 |
| 3 | 20 | 毎月作成するようなグラフに対して管理者個別に定型パターンとして登録できること。また、登録されたグラフは一括出力ができること。 |

| 現行ベンダー名 | | 三谷商事株式会社 | |
|---------|--------|---|---|
| システム名 | | リスクマネジメントシステム | |
| パッケージ名 | | ePower/CLIP | |
| 項番 | | 要求仕様 | |
| 3 | 21 | 各レポートに対して解決や未解決等のフラグ設定ができ、一覧表上で、設定情報を確認できること。 | |
| 3 | 22 | 「転倒・転落入力」「患者様相談」等の専用入力タブ画面を設定できること。 | |
| 3 | 23 | 入力タブ画面にて、ラジオボタン形式・チェックボックス形式・記述形式等の入力項目を設定でき、入力された内容は印刷出力の対象項目として設定できること。 | |
| 3 | 24 | 入力タブ画面にて、ラジオボタン形式・チェックボックス形式・記述形式等の入力項目を設定でき、検索、集計の対象項目として設定できること。 | |
| 4 | 1 | 事例分析支援機能 | |
| 4 | 1 | 基本機能 | |
| 4 | 1 | 1 | 事例分析支援ツールは、医療事故分析手法「ImSAFER」と「VA-RCA」の両方による事例分析ができ、時系列事象関連図、背後要因関連図、対策評価表、P-mSHELLモデル等を使用できること。 |
| 4 | 1 | 2 | 事例分析支援機能は、全ての電子カルテシステムの端末で使用できること。 |
| 4 | 1 | 3 | レポート作成時に入力された経過情報を時系列事象関連図のデータとして連携や反映できること。 |
| 4 | 1 | 4 | 時系列事象関連図や背後要因関連図等、事例分析した結果を視覚的に分かりやすく画面上に表示できること。 |
| 4 | 1 | 5 | 事例分析した情報が蓄積され、一覧表示できること。目つ、ほかの事例分析に活用(複製)できる。 |
| 4 | 1 | 6 | 事例分析のデータ入力を行った際に、分析手法のどの手順を実施しているか画面に明示できること。 |
| 4 | 1 | 7 | 分析手法の各手順について、手順のポイントとなるガイダンス(PDFファイル)を画面上から参照できること。 |
| 4 | 1 | 8 | 事例分析データについて、作成者が閲覧設定(作成者のみ・所属部署内・院内全体)を管理できること。 |
| 4 | 2 | 時系列事象関連図 | |
| 4 | 2 | 1 | 時系列事象関連図の基本的な標記を全て表現できること。 |
| 4 | 2 | 2 | 時系列事象関連図は、縦方向(上から下へ)又は横方向(左から右へ)で時系列情報を入力できること。 |
| 4 | 2 | 3 | マウスのドラッグ操作にて容易な操作で矢印を任意に追加できること。なお、矢印の種類として、直線・クランクも選択できること。 |
| 4 | 2 | 4 | 縦列をまとめて横方向に移動(列の入替え)でき、目つ、矢印の連結がそのまま維持できること。 |
| 4 | 2 | 5 | 画面上に入力された情報(ノード)は、マウスのドラッグ操作で容易に画面上で移動ができること。 |
| 4 | 2 | 6 | 時系列事象関連図を印刷できること。 |
| 4 | 2 | 7 | 時系列事象関連図で入力されたデータをExcelファイルに出力できること。 |
| 4 | 2 | 8 | 登場人物ごとに、列の背景色を設定できること。 |
| 4 | 3 | 背後要因関連図 | |
| 4 | 3 | 1 | 背後要因関連図は、時系列事象関連図とデータ連携ができること。 |
| 4 | 3 | 2 | 背後要因関連図では、「問題点」「背後要因」「改善案」が色分けされ、階層構造で表示できること。 |
| 4 | 3 | 3 | 背後要因関連図では、背後要因を20階層以上入力できること。 |
| 4 | 3 | 4 | 背後要因関連図を印刷できること。 |
| 4 | 3 | 5 | 背後要因入力への支援機能として、背後要因パターン(事象発生のパターン、行動のエラーパターンなど)がテンプレート化され、複数パターン登録されていること。 |
| 4 | 3 | 6 | 背後要因パターンについては追加設定ができ、今後も最新情報が反映されること。 |
| 4 | 3 | 7 | 背後要因を入力する際、推定の漏れを防ぐためのツール(P-mSHELLなど)が活用できること。 |
| 4 | 3 | 8 | 背後要因関連図について、拡大・縮小して印刷できること。 |
| 4 | 3 | 9 | 背後要因関連図で入力されたデータをExcelファイルに出力できること。 |
| 4 | 3 | 10 | 改善案を考える際、支援機能としてツール(STEP4/Mなど)が活用できること。 |
| 4 | 3 | 11 | 一つの背後要因に対し、複数の改善案を紐付けできること。 |
| 4 | 3 | 12 | 行動分析に有効な行動分析シートを作成でき、背後要因と情報連携できること。 |
| 4 | 4 | 改善案の評価・決定・管理 | |
| 4 | 4 | 1 | 入力された改善案を一覧画面で表示できること。 |
| 4 | 4 | 2 | 改善案を評価するための判断基準(コスト・効果)を任意に設定できること。 |
| 4 | 4 | 3 | 入力された評価結果(○・△)を基に、評価の参考となる合計点数を表示できること。 |
| 4 | 4 | 4 | 改善策の採用や不採用情報を入力できること。 |
| 4 | 4 | 5 | 採用された改善策の管理情報として、以下の情報を入力・管理できること。 。改善策の実施責任者 。実施期間 。実施後の評価 |
| 4 | 4 | 6 | 改善策の評価や管理の一覧を印刷できること。 |
| 5 | 是正管理機能 | | |
| 5 | 1 | 報告されたレポートに対して、各部署管理者で是正管理書を作成できること。 | |
| 5 | 2 | 是正管理画面では、是正情報・開始日付・評価日付の項目を入力できること。 | |
| 5 | 3 | 是正管理画面では、是正処置の実施や評価について、複数回(PDCA管理)の入力管理ができること。 | |
| 5 | 4 | 対象レポートを参照しながら、必要な情報入力が行えること。 | |
| 5 | 5 | 医療安全管理者は、是正一覧画面で院内の各部署での実施状況を把握できること。 | |
| 5 | 6 | 是正一覧画面から入力データをExcelファイル形式で出力できること。 | |
| 5 | 7 | 是正一覧画面上にて、各是正管理で入力されている評価日が近づいているデータを分かりやすく表示できること。 | |
| 5 | 8 | 是正管理書を印刷できること。 | |
| 6 | 情報共有機能 | | |
| 6 | 1 | 電子掲示板機能 | |
| 6 | 1 | 1 | 医療安全管理者が自由に書き込みできること。 |
| 6 | 1 | 2 | 閲覧対象者を以下の項目で指定できること。 ・全職員、所属部署、職種、グループ |
| 6 | 1 | 3 | 動画を含めたファイルを添付できること。 |

| 現行ベンダー名 | | | 三谷商事株式会社 |
|---------|---|---|--|
| システム名 | | | リスクマネージメントシステム |
| パッケージ名 | | | ePower/CLIP |
| 項番 | | | 要求仕様 |
| 6 | 1 | 4 | 掲示期間を設定できること。 |
| 6 | 2 | | 院内情報周知機能 |
| 6 | 2 | 1 | 医療安全管理者は、所属部種別・個人別にて、掲示したファイルに対しての参照状況を確認できること。 |
| 6 | 2 | 2 | 周知対象者を以下の内容で指定できること。 ・全職員、所属部署、職種、グループ |
| 6 | 2 | 3 | 参照履歴は、Excelファイル形式で出力できること。 |
| 6 | 2 | 4 | 院内周知期間を設定できること。 |
| 6 | 3 | | レポート公開機能 |
| 6 | 3 | 1 | 報告されたレポートは、医療安全管理者の判断にて職員が閲覧可能な状態で公開できること。 |
| 6 | 3 | 2 | 公開対象者を以下の内容で指定できること。 ・全職員、所属部署、職種、グループ |
| 6 | 3 | 3 | 公開されたレポートは、自動で報告者名が匿名化されること。 |
| 6 | 3 | 4 | 公開期間を設定できること。 |
| 6 | 3 | 5 | 公開されたレポートを印刷できること。 |
| 6 | 3 | 6 | 公開されたレポートに意見等のコメントを書き込めること。また、書き込まれた内容を管理者側で確認できること。 |
| 6 | 3 | 7 | 管理者は、公開対象者の閲覧状況を確認できること。 |
| 6 | 4 | | ファイル掲示機能 |
| 6 | 4 | 1 | マニュアルなど、現場で参照・印刷するようなファイルを誰もがアクセスできる場所に掲示できること。 |
| 7 | | | 任意テーマ報告機能 |
| 7 | 1 | | 日常業務における「気づき」や「業務改善」の情報を各利用者から医療安全管理者に情報提供できること。 |
| 7 | 2 | | 提供された情報に対して医療安全管理者から利用者にフィードバックできること。 |
| 7 | 3 | | 未読・既読の管理ができること。 |
| 7 | 4 | | 一覧画面から入力データをExcelファイル形式で出力できること。 |
| 8 | | | 医療事故調査制度対応 |
| 8 | 1 | | 医療事故調査制度に対応した入力フォームが用意されていること。 |
| 8 | 2 | | 入力された情報を印刷できること。 |
| 8 | 3 | | 入力された情報をExcelファイルに出力できること。 |
| 9 | | | システムマスタ管理機能 |
| 9 | 1 | | 管理者のアカウントやパスワードは、システム画面内から容易にメンテナンスできること。 |
| 9 | 2 | | 閲覧権限設定は稼働後に柔軟に変更でき、院内管理者にて編集できること。 |
| 9 | 3 | | 入力項目の必須や任意を設定できること。 |
| 10 | | | 教育訓練 |
| 10 | 1 | | システム導入後、機能として備わっている詳細分析ツールを有効に活用するための分析手法(ImSAFER)勉強会について、職員向けに実施できること(なお、研修会にかかる費用は都度調整とする)。また、本勉強会については、他施設での豊富な対応実績があること。 |

| 現行ベンダー名 | | キヤノンメディカルシステムズ |
|---------|---|---|
| システム名 | | 循環器動画システム |
| パッケージ名 | | CardioAgentPro |
| 項番 | | 要求仕様 |
| 1 | 1 | 機能概要 |
| 1 | 1 | 1 動画ネットワークサーバを1式有すること。 |
| 1 | 1 | 2 サーバOSはMicrosoft社製Windows Server 2019相当以上であること。 |
| 1 | 1 | 3 データベースはOracle相当であること。 |
| 1 | 1 | 4 CPUはインテル Xeon 3.20GHz/12MB x1 相当以上であること。 |
| 1 | 1 | 5 メモリ容量は32GB以上であること。 |
| 1 | 1 | 6 画像保管用磁気ディスクはRAID6構成であり、画像保管領域として実効20TB以上を有すること。 |
| 1 | 1 | 7 サーバ容量がオーバーした場合であっても、容易に増設が可能であること。 |
| 1 | 1 | 8 外付けHDDに全ての画像がバックアップすること。 |
| 1 | 1 | 9 DICOM規格による検査画像の保管、観察、院内配信が可能であること。 |
| 1 | 1 | 10 当院指定の血管撮影（1台）・IVUS（3台）、超音波装置（2台）、ホリグラフ（1台）各検査機器から発生する画像データを保存管理できること。また各機器側で発生する接続費用は含めること。 |
| 1 | 1 | 11 画像表示端末により、サーバに保管されたDICOM画像の観察が可能であること。 |
| 1 | 1 | 12 電子カルテ等院内端末から動画ネットワークサーバに保管されたDICOM画像の参照が可能であること。また、それらの端末の画像参照に用いられる動画ビューア（以下、参照用ビューア）は、画像表示端末のビューアと同じ操作性を有すること。参照用ビューアでは、動画の再生・停止/コマ送り/コントラスト・輝度・WW・WL調整/拡大・縮小表示/パン/分割表示が可能であること。 |
| 1 | 1 | 13 Web インターフェースを介して画像を参照する際、複数検査の比較観察が可能であること。 |
| 1 | 1 | 14 Webの同時アクセス数は、10以上であること。 |
| 1 | 1 | 15 サーバ内の患者基本情報の修正が可能であること。 |
| 1 | 1 | 16 サーバ内に保存されたDICOM情報はブラウザ内で動作する管理ツールから参照およびメンテナンスが可能であること。 |
| 1 | 1 | 17 既存画像データの移行を行うこと |
| 1 | 1 | 18 レポートサーバを1式有すること。 |
| 1 | 1 | 19 サーバOSはMicrosoft社製Windows Server 2019相当以上であること。 |
| 1 | 1 | 20 CPUはインテル Xeon 2.1GHz/12MB x1 相当以上であること。 |
| 1 | 1 | 21 メモリ容量は32GB以上であること。 |
| 1 | 1 | 22 画像保管用磁気ディスクはRAID6構成であり、実効容量として500GB以上を有すること。 |
| 1 | 1 | 23 外付けHDDにデータのバックアップすること。 |
| 1 | 1 | 24 電子カルテシステムもしくはオーダリングシステムより患者情報や付帯情報を取得すること。 |
| 1 | 1 | 25 電子カルテシステムに画像とレポート登録通知をすること |
| 1 | 1 | 26 レポートから検査画像を開くことが可能であること。 |
| 1 | 1 | 27 作成されたレポートは電子カルテからPDFで参照可能であること。 |
| 1 | 1 | 28 動画ビューアからキーイメージを貼り付けできること。 |
| 1 | 1 | 29 レポートに画像を貼り付ける時に患者情報を照合して、別患者の画像の場合には警告を出すことが可能であること。 |
| 1 | 1 | 30 キーイメージに対して図形描画、コメント記載等の編集が可能であること。 |
| 1 | 1 | 31 描画した図は、レポートに貼り付けた後でもレポートシステムが存続する間は描画部分の再修正が可能であること。 |
| 1 | 1 | 32 既存レポートデータの移行を行うこと |
| 1 | 1 | 33 レポート専用端末を4台用意すること。 |
| 1 | 1 | 34 OSはWindows10 Professional（64bit）相当以上であること。 |
| 1 | 1 | 35 CPUはIntel Core i5-10100相当以上であること。 |
| 1 | 1 | 36 メモリ容量は8GB以上であること。 |
| 1 | 1 | 37 レポート専用端末のモタとして1Mカラーモタ2面構成端末を用意すること |
| 1 | 1 | 38 レポート専用端末は外来（脳神経外科）、外来（循環器）、アンギオ操作室、医局に設置すること |
| 1 | 1 | 39 レポート専用端末4台に対して3Dワークステーションソフト（ZIO）をインストールすること。また3Dワークステーション側で発生する費用は含めること。 |
| 1 | 2 | 動画ビューア機能 |
| 1 | 2 | 1 動画ネットワークサーバと接続し、動画ネットワークサーバに保管されたDICOM画像の観察が専用の動画ビューア（以下、観察用ビューア）で可能であること。 |
| 1 | 2 | 2 動画ネットワークサーバに保管された画像は検査毎にリスト表示されます。また、検査を選択すると検査画像のサムネイル表示、関連検査のリスト表示が画面遷移なしに可能であること。 |
| 1 | 2 | 3 検査日、患者ID、氏名、モタリテ、検査コメントで検査の検索が可能であること。 |
| 1 | 2 | 4 検査日は期間を指定して検索可能であること。また、日付の選択はカレンダー様のGUIから可能であること。 |
| 1 | 2 | 5 患者ID、氏名、検査コメントは前方一致、部分一致、後方一致による検索が可能であること。 |
| 1 | 2 | 6 患者ID、氏名、検査コメントの一字入力毎にリアルタイムで検索結果を表示可能であること。 |
| 1 | 2 | 7 現在の検索条件を保存することが可能であること。また、検索条件は複数保存可能であること。 |
| 1 | 2 | 8 任意の検査を選択し、DICOM CD/DVDの発行が可能であること。 |
| 1 | 2 | 9 DICOM CD/DVDの発行時には匿名化の有無、簡易ビューアの同梱の有無の選択が可能であること。 |
| 1 | 2 | 10 同梱される簡易ビューアにてDICOM CD/DVD内の画像のサブトラクション処理、MPEG4での画像出力が可能であること。 |
| 1 | 2 | 11 サーバの画像を匿名化してローカルに保存し、オフライン環境で画像を観察可能であること。 |
| 1 | 2 | 12 任意の検査を選択し、サムネイルにより画像確認が可能であること。 |
| 1 | 2 | 13 選択された検査の関連検査がリスト表示可能であること。 |
| 1 | 2 | 14 観察用ビューアの画像表示領域は、1024×1024ドット以上が可能であること。 |
| 1 | 2 | 15 3×3以上の分割表示が可能であること。また、分割したエリアには関連検査の任意の画像を表示可能であること。 |
| 1 | 2 | 16 複数の関連検査画像を表示している場合、画像をクリックするとその検査のサムネイル画像が表示されること。 |
| 1 | 2 | 17 分割表示中もワンタッチで任意の画像を1×1表示に切替可能であること。また、ワンタッチで元の分割表示に切替可能であること。 |

| | | | |
|---|---|----|---|
| 1 | 2 | 18 | 分割表示中も表示中の画像表示枠それぞれで5ボタンマウスのクリック・ドラッグ操作により画像の再生、停止、コマ送り、コマ戻し、シリーズ送り、拡大・縮小、パン、画質調整が可能であること。 |
| 1 | 2 | 19 | DSA画像は自動的にサブトラックション表示されます。また、リマスク、ピクセルシフトが可能であること。 |
| 1 | 2 | 20 | コントラスト、ブライトネス、WW、WL、エッジ強調、白黒反転等の画像処理が可能であること。 |
| 1 | 2 | 21 | 画像処理は装置毎に異なるデフォルト設定が可能であること。 |
| 1 | 2 | 22 | 波形情報が含まれる場合、画像表示時に同時表示可能なこと。また、波形内の任意の位相をクリックすると、その位相の画像が表示されます。 |
| 1 | 2 | 23 | IVUSの長軸画像再構成が可能であること。 |
| 1 | 2 | 24 | パイプライン画像は自動的に正面・側面の分割表示が可能であること。 |
| 1 | 2 | 25 | アノテーション、距離・角度・面積測定が可能であること。追記した画像をDICOM SCとして同一シリーズに保存することが可能であること。 |
| 1 | 2 | 26 | 2モニターに同時に異なる画像を表示可能であること。また、分割表示切替、関連検査リスト表示、サムネイル表示、その他各種機能のアイコンはそれぞれのモニターに表示され、それぞれのモニターで独立してビューアの操作が可能であること。 |
| 1 | 2 | 27 | 任意の画像をBMP、JPG、PNG、AVI、MPG、MP4で出力可能であること。出力時にはスタートとエンドのフレーム選択および画角のトリミングが可能であること。また、動画の場合は任意のビットレート指定が可能であること。 |
| 1 | 2 | 28 | DICOM CD/DVDから画像表示、サーバへの取込が可能であること。取込の際は患者情報の修正が可能であること。 |
| 1 | 3 | | 解析ソフトウェア機能 |
| 1 | 3 | 1 | Medis社 Medis Suite XA QAngioXAを1フローティングライセンス有し、QCA、LVAが可能であること。また、観察用ビューアから起動、画像連携可能であること。 |
| 2 | 1 | | レポートシステム |
| 2 | 1 | 1 | 循環器カテレポートの機能に関しては以下の機能を有すること |
| 2 | 1 | 2 | レポートフォームとして基礎記録、CAG、右心カテ、PCI、AOG、EVT、EPS/ABL、PMI、QCA、線量管理を有すること。 |
| 2 | 1 | 3 | レポートの項目としてJ-PCIレジストリの項目を網羅していること。 |
| 2 | 1 | 4 | レポート入力内容から、J-PCIレジストリの登録画面と同一フォーマットにデータを変換し、印刷可能であること。 |
| 2 | 1 | 5 | レポートに入力されたJ-PCIのデータをレジストリのWeb登録ページにて一括転記する機能を有すること。 |
| 2 | 1 | 6 | ポリグラフから圧データをワンクリックで取得可能であること。 |
| 2 | 1 | 7 | Medis社QAngioXAの解析結果を、画像及び数値としてワンクリックで取得可能であること。 |
| 2 | 1 | 8 | 血管撮影装置から照射情報を取得可能であること。 |
| 2 | 1 | 9 | レポートの任意の画面で検索が可能であり、検索結果を保持して一覧画面に戻り、検索結果の中から任意のレポートを開くことが可能であること。 |
| 2 | 1 | 10 | 血管撮影室予約システムの機能に関しては以下の機能を有すること |
| 2 | 1 | 11 | 血管撮影室予約システムは週間画面、月間画面を有します。 |
| 2 | 1 | 12 | 電子カルテシステムより、検査オーダー情報やその付帯情報を取得します。 |
| 2 | 1 | 13 | 血管撮影室予約システムからビューアを起動し関連検査の画像を表示することが可能です。 |
| 2 | 1 | 14 | レポート記入端末において、週刊画面および月間画面から関連するレポートを起動し、参照、記入することが可能です。 |
| 2 | 1 | 15 | 月間画面において、レポート種別毎の予定を切り替えて表示する機能を有します。 |
| 2 | 1 | 16 | 検査種別や担当医師により、表示文字色や背景色を変更することが可能です。 |
| 2 | 1 | 17 | 血管撮影室予約システムに入力されたカテ室の予約状況から稼働率を計算することが可能です。 |
| 2 | 1 | 18 | 脳血管外科レポートの機能に関しては以下の機能を有すること |
| 2 | 1 | 19 | レポートは脳血管撮影及び脳血管内治療専用のレポートであり、入力画面はデスクトップアイコンからその他のレポートとは別個に開くことが可能です。 |
| 2 | 1 | 20 | 診断、治療のそれぞれに、専用の入力画面を用意しています。 |
| 2 | 1 | 21 | デバイスの詳細は、ワンクリックで手術記録欄への転記が可能です。 |
| 2 | 1 | 22 | 定型文を登録することが可能で、マウス操作で迅速に手術記録を作成出来ます。 |
| 2 | 1 | 23 | 各種分類やGradeのヘルプ機能を搭載可能です。 |
| 2 | 1 | 24 | 冠動脈CTレポートの機能に関しては以下の機能を有すること |
| 2 | 1 | 25 | レポート入力フォームとして患者背景、撮影条件、冠動脈、LV/RV、valve、心臓脂肪のテンプレートを有します。 |
| 2 | 1 | 26 | 腹部IVRレポートの機能を有すること |